

府 中 市

**次世代育成支援に関する
市民意向調査**

調査報告書

平成21年3月

府 中 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査目的	3
2 調査の種類と対象者	3
3 各調査の概要	3
(1) 就学前児童調査	3
(2) 小学生調査	6
(3) 中学生・高校生世代調査	9
(4) ひとり親家庭調査	11
4 地区別の分析について	13
5 前回調査との比較について	14
 第2章 各調査の結果	 15
1 就学前児童調査	17
(1) 基本属性	17
(2) 日ごろの子育て	20
(3) 保護者の就労状況	36
(4) 保育サービスの利用状況	41
(5) 保育サービスの利用希望	47
(6) 子どもが病気の場合の対応	52
(7) 一時あずかり	54
(8) トワイライトステイ、ショートステイ、産前産後家庭サポート	57
(9) 学童クラブ、放課後子ども教室	60
(10) ベビーシッター	62
(11) ファミリーサポートセンター	64
(12) 地域における子育て支援サービス	68
(13) 地域とのかかわり	76
(14) 子育て支援サービスに関する情報	78
(15) 児童虐待防止	80
(16) 安全なまちづくり	81
(17) 育児休業制度の利用	82
(18) 子育てと仕事の両立	84
(19) 市の子育て支援施策に関する意見や要望	86

2 小学生調査 -----87

(1) 基本属性 -----	87
(2) 日ごろの子育て -----	91
(3) 保護者の就労状況 -----	105
(4) 子どもの日々のすごし方 -----	110
(5) 学童クラブ、放課後子ども教室 -----	130
(6) 子どもが病気の場合の対応 -----	134
(7) 一時あずかり -----	136
(8) ショートステイ（宿泊を伴う一時あずかり） -----	138
(9) ベビーシッター -----	140
(10) ファミリーサポートセンター -----	142
(11) 地域とのかかわり -----	146
(12) 子育て支援サービスに関する情報 -----	147
(13) 児童虐待防止 -----	149
(14) 安全なまちづくり -----	150
(15) 子育てと仕事の両立 -----	151
(16) 市の子育て支援施策に関する意見や要望 -----	154

3 中学生・高校生世代調査 -----155

(1) 基本属性 -----	155
(2) 日ごろの生活 -----	159
(3) 携帯電話及びインターネットの利用状況 -----	169
(4) 日ごろ関心のあることや感じていること -----	174
(5) 悩み -----	184
(6) 地域生活 -----	187
(7) いじめ -----	191
(8) 自分にとって大切なと思うこと -----	194
(9) 市に実施してほしいこと -----	195
(10) 市やおとなに対する意見や要望 -----	196

4 ひとり親家庭調査 -----197

(1) 基本属性 -----	197
(2) 仕事 -----	200
(3) 暮らし向き -----	207
(4) 日ごろの子育て -----	209
(5) 日ごろの子どものすごし方 -----	216
(6) 生活や子育ての心配ごと -----	223
(7) 子育て支援サービスに関する情報 -----	227
(8) 児童虐待防止 -----	228
(9) 地域とのかかわり -----	229

(10) 子育てと仕事の両立 -----	231
(11) ひとり親への支援制度 -----	232
(12) 悩みや不安、必要と感じる支援 -----	234

資料編 調査票及び調査結果 -----235

1 就学前児童調査 -----	237
2 小学生調査 -----	252
3 中学生・高校生世代調査 -----	265
4 ひとり親家庭調査 -----	275

第1章 調査の概要

1 調査目的

府中市では、「次世代育成支援対策推進法」に基づき、前期行動計画として、平成 17 年に「府中市次世代育成支援行動計画」（平成 17 年度～21 年度）を策定した。

本調査は、後期行動計画（平成 22 年度～26 年度）策定に向けて、市民の子育て支援に関する生活実態や意見・要望を把握するため、市内に居住する児童の保護者と中学生・高校生世代及びひとり親世帯を対象に実施するものである。

2 調査の種類と対象者

本調査では、以下の 4 つの調査を実施している。

区分	調査名	対象者	調査方法	調査時期
調査 1	就学前児童調査	就学前児童の保護者 3,000 人	郵送配布	平成 20 年 10 月 30 日～ 11 月 17 日
調査 2	小学生調査	小学生の保護者 2,000 人		
調査 3	中学生・高校生世代調査	中学生 1,000 人、高校生世代 500 人		
調査 4	ひとり親家庭調査	ひとり親世帯 500 人		

3 各調査の概要

（1）就学前児童調査

① 調査対象

市内に居住する就学前児童（0～5 歳）の保護者 3,000 人
平成 20 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳及び外国人登録原票より層化無作為抽出

② 調査項目

調査項目	問番号	質問内容
基本属性	F 1	あて名のお子さんの生年月
	F 2	子どもの人数、末子の年齢
	F 3	両親・祖父母の近居・同居
	F 4	両親の状況
	F 5	住居形態
	F 6	居住地域
	F 7	調査票に記入している人

第1章 調査の概要

調査項目	問番号	質問内容
A 日ごろの子育て	問1	日ごろ、子どもをあずかってくれる人の有無
	問1-1	祖父母に子どもをあずけていることに関する意識
	問1-2	友人・知人に子どもをあずけていることに関する意識
	問2	主たる保育者
	問3	配偶者や周囲の人の子育てへのかかわり方
	問4	子育てが楽しいと感じる程度
	問4-1	子育てをする中で有効な支援・対策
	問4-2	子育ての辛さを解消するために必要なこと
	問5	日ごろの子育てについて感じていること
	問6	子育ての中で日ごろ悩んでいること、気になること
	問7	子育てについて気軽に相談できる人の有無
	問7-1	子育てについて気軽に相談できる人
B 保護者の就労状況	問8	両親の就労状況（就労の有無（就労形態）、就労日数・時間、帰宅時間、フルタイムへの転換希望）
	問8-1	就労していない母親の就労希望
	問8-2	就労希望がある母親の希望する就労形態（就労日数／週、時間／日）、母親に就労希望がありながら現在働いていない理由
	問8-3	子どもがある程度大きくなったら就労したいと考えている母親が、就労を希望する時の末子の年齢
	問9	出産前後の離職の経験
	問9-1	仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら就労を継続したか
C 保育サービスの利用状況	問10	保育サービスの利用の有無
	問10-1	利用している子育て支援サービスの種類
	問10-2	保育サービスを利用している日数／週、時間／日、時間帯（開始及び就労時間）、利用している理由、施設を選択した理由、施設への要望
	問10-3	保育サービスを利用していない理由
	問11	あて名の子どもを平日に親族や知人にあずけているか
	問11-1	子どもをあずけている日数／週、時間帯（開始及び終了時間）、相手
D 保育サービスの利用希望	問12	希望した時期の保育サービスの利用状況
	問13	保育サービスの利用希望
	問13-1	子どもをあずけたい場所
	問13-2	保育サービスの利用を希望する日数／週、時間／日、時間帯、理由
	問14	土曜日、日曜日・祝日の保育サービスの利用希望、時間帯
E 子どもが病気の場合の対応	問15	この1年間、病気やケガで保育サービスを利用できなかったことの有無
	問15-1	この1年間、病気やケガで保育サービスを利用できなかったときの対処方法と日数、できれば施設にあずけたいと思った日数
	問16	医療機関と連携したサービスで良いと思うもの
	問16-1	医療機関と連携したサービスを希望する頻度
F 一時あずかり	問17	この1年間、自分の時間等のために子どもを家族以外にあずけたことの有無
	問17-1	この1年間、子どもをあずけた日数および理由別日数
	問18	子どもを一時的にあずけるサービスの希望利用日数／月
	問19	子どもを一時的にあずける際に希望するサービス
G トワイライトステイ、ショートステイ、産前産後家庭サポート	問20	トワイライトステイの認知、利用状況
	問20-1	トワイライトステイについての要望
	問21	この1年間、泊りがけの外出の際、子どもを連れて行くことが困難であったことの有無
	問21-1	この1年間、泊りがけで子どもを連れて行くことが困難であった際の対処方法と泊数
	問21-2	子どもを親族・知人にあずけることの困難さ
	問22	ショートステイの利用意向
	問23	産前産後家庭サポートの認知度、利用意向

調査項目	問番号	質問内容
H 学童クラブ、放課後子ども教室	問 24	学童クラブ・放課後子ども教室の利用意向、希望する日数／週
I ベビーシッター	問 25	ベビーシッター利用の有無
	問 25－1	ベビーシッターの利用目的、日数／月、1 回あたりの時間
	問 26	ベビーシッターの利用希望日数／月、1 回あたりの時間
J ファミリーサポートセンター	問 27	ファミリーサポートセンターの認知、利用状況
	問 27－1	ファミリーサポートセンターの利用目的、利用日数／月・1 回あたりの時間、追加希望日数／月・1 回あたりの時間
	問 27－2	ファミリーサポートセンターを利用していない理由、今後の利用意向（日数／月・1 回あたりの時間）
K 地域における子育て支援サービス	問 28	平日の日中や休日に親子でよく過ごす場所
	問 29	親子で集える場の認知、利用状況・回数
	問 30	親子で集える場を利用していない理由
	問 31	親子で集える場の利用意向・回数
	問 32	親子で集える場に期待する役割
	問 33	子どもの遊び場について気になること
	問 34	子育ての相談施設等の認知、利用状況、今後の利用意向
L 地域とのかかわり	問 35	近所づきあいの状況
	問 35－1	近所づきあいの相手
	問 35－2	近所づきあいが希薄な理由
M 子育て支援サービスに関する情報	問 36	子育て情報入手のためのインターネット利用状況
	問 37	子育て支援サービスの情報源としてよいと思うもの
N 児童虐待防止	問 38	児童虐待に関する認知状況（児童虐待防止法、通報先、相談機関）
	問 39	児童虐待の通報先
O 安全なまちづくり	問 40	子どもの安全や防犯について気をつけていること
	問 41	子どもの安全を守るために必要なこと
P 育児休業制度の利用	問 42	育児休業制度の利用状況
	問 42－1	育児休業から復帰したときの子どもの月齢、育児休業明けに希望した保育サービスをすぐに利用できたか、保育サービスが確実に利用できた場合の育児休業期間、育児休業明けに希望する保育サービスが利用できなかったときの対応方法
Q 子育てと仕事の両立	問 43	仕事時間と生活時間の優先度
	問 44	男女とも子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業（職場）に希望すること
R 市への要望	問 45	市の子育て支援施策に関する意見や要望＜自由回答＞

③ 回収率

発送数	回収数 (回収率)	有効回収数 (有効回収率)
3,000	2,028 (67.6%)	2,022 (67.4%)

※返送はあったが無記入の調査票は有効回収数に含めなかった。

(2) 小学生調査

① 調査対象

市内に居住する小学生（6～11歳）の保護者 2,000人
平成20年10月1日現在の住民基本台帳及び外国人登録原票より層化無作為抽出

② 調査項目

調査項目	問番号	質問内容
基本属性	F 1	あて名のお子さんの生年月
	F 2	子どもの人数、末子の年齢
	F 3	両親・祖父母の近居・同居
	F 4	両親の状況
	F 5	住居形態
	F 6	居住地域
	F 7	調査票に記入している人
A 日ごろの子育て	問 1	日ごろ、子どもをあずかってくれる人の有無
	問 1-1	祖父母に子どもをあずけていることに関する意識
	問 1-2	友人・知人に子どもをあずけていることに関する意識
	問 2	主たる保育者
	問 3	配偶者や周囲の人の子育てへのかかわり方
	問 4	子育てが楽しいと感じる程度
	問 4-1	子育てをする中で有効な支援・対策
	問 4-2	子育ての辛さを解消するために必要なこと
	問 5	日ごろの子育てについて感じていること
	問 6	母親、父親がふだんの生活の中で子どもと接する時間
	問 7	子育ての中で日ごろ悩んでいること、気になること
	問 8	子育てについて気軽に相談できる人の有無
	問 8-1	子育てについて気軽に相談できる人
	問 9	希望した時期の保育サービスの利用状況
B 保護者の就労状況	問 10	両親の就労状況（就労の有無（就労形態）、就労日数・時間、帰宅時間、フルタイムへの転換希望）
	問 10-1	就労していない母親の就労希望
	問 10-2	就労希望がある母親の希望する就労形態（就労日数／週、時間／日）、母親に就労希望がありながら現在働いていない理由
	問 10-3	子どもがある程度大きくなったら就労したいと考えている母親が、就労を希望する時の末子の年齢
	問 11	出産前後の離職の経験
	問 11-1	仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら就労を継続したか
C 子どもの日々の過ごし方	問 12	子どものふだんの生活について
	問 13	子どもの学校終了後から夕食前までの過ごし方
	問 14	平日の学校終了後から夕食前までの時間帯における主たる保育者の用事
	問 15	子どもの土日祝日の過ごし方
	問 16	土日祝日における主たる保育者の用事
	問 17	子どもの放課後や休日の過ごし方についての意見＜自由回答＞
	問 18	学校の長期休業中における子どもの過ごし方

調査項目	問番号	質問内容
C 子どもの日々の過ごし方	問 19	朝の時間の一時あずかりサービスについての利用意向、日数／週
	問 20	学校に行くことをしぶるものの有無
	問 20- 1	子どもが学校に行きたがらないときの対応
	問 21	「いじめ」または「いじめと思われること」を受けた経験
	問 22	「いじめ」または「いじめと思われること」を受けたときの対処法
	問 23	子育ての相談施設等の認知、利用状況、今後の利用意向
	問 24	文化センターの子ども向け事業やサークルへの参加経験
	問 25	文化センターへの意見
D 学童クラブ、放課後子ども教室	問 26	子どもが集う場として望ましいもの
	問 27	学童クラブの利用状況
	問 27- 1	学童クラブの利用日数／週、土日の利用状況、利用している理由 利用希望時間／日・時間帯（開始時間および終了時間）
	問 27- 2	学童クラブを利用していない理由、今後の利用意向（日数／週、土日の利用希望、利用したい理由、利用希望時間／日・時間帯（開始時間および終了時間））
	問 28	放課後子ども教室の利用希望（日数／週）
E 子どもが病気の場合の対応	問 29	小学4年生以降の放課後の過ごし方について望むこと、 学童クラブの利用を希望する学年
	問 30	この1年間、病気やケガで学校を休まなければならなかったことの有無
F 一時あずかり	問 30- 1	この1年間、病気やケガで学校を休まなければならなかったときの対処方法と日数、できれば施設にあずけたいと思った日数
	問 31	この1年間、自分の時間等のために子どもを家族以外にあずけたことの有無
	問 31- 1	この1年間、子どもをあずけた日数および理由別日数
	問 32	子どもを一時的にあずけるサービスの希望利用日数／月
	問 33	トワイライトステイの認知、利用状況
G ショートステイ（宿泊を伴う一時あずかり）	問 33- 1	トワイライトステイについての要望（利用者が改善として望むこと、希望する利用時間帯（開始および終了時間））
	問 34	この1年間、泊りがけの外出の際、子どもを連れて行くことが困難であったことの有無
	問 34- 1	この1年間、泊りがけで子どもを連れて行くことが困難であった際の対処方法と泊数
	問 34- 2	子どもを親族・知人にあずけることの困難さ
H ベビーシッター	問 35	ショートステイの利用意向
	問 36	ベビーシッター利用の有無
	問 36- 1	ベビーシッター利用目的、日数／月、1回あたりの時間
I ファミリーサポートセンター	問 37	ベビーシッターの利用希望日数／月、1回あたりの時間
	問 38	ファミリーサポートセンターの認知、利用状況
	問 38- 1	ファミリーサポートセンターの利用目的、利用日数／月・1回あたりの時間、追加希望日数／月・1回あたりの時間
J 地域とのかかわり	問 38- 2	ファミリーサポートセンターを利用していない理由、今後の利用意向（日数／月・1回あたりの時間）
	問 39	近所づきあいの状況
	問 39- 1	近所づきあいの相手
K 子育て支援サービスに関する情報	問 39- 2	近所づきあいが希薄な理由
	問 40	子育て情報入手のためのインターネット利用状況
L 児童虐待防止	問 41	子育て支援サービスの情報源としてよいと思うもの
	問 42	児童虐待に関する認知状況（児童虐待防止法、通報先、相談機関）
M 安全なまちづくり	問 43	児童虐待の通報先
	問 44	子どもの安全や防犯について気をつけていること
	問 45	子どもの安全を守るために必要なこと

第1章 調査の概要

調査項目	問番号	質問内容
N 子育てと仕事の両立	問 46	仕事時間と生活時間の優先度
	問 47	男女とも子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業（職場）に希望すること
O 市への要望	問 48	市の子育て支援施策に関する意見や要望＜自由回答＞

③ 回収率

発送数	回収数 (回収率)	有効回収数 (有効回収率)
2,000	1,314 (65.7%)	1,301 (65.1%)

※返送はあったが無記入の調査票は有効回収数に含めなかった。

(3) 中学生・高校生世代調査

① 調査対象

市内に居住する中学生（12～14 歳） 1,000 人

市内に居住する高校生世代（15～17 歳） 500 人

平成 20 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳及び外国人登録原票より層化無作為抽出

② 調査項目

調査項目	問番号	質問内容
基本属性	F 1	性別
	F 2	年齢
	F 3	学年
	F 4	家族構成
	F 5	同居する家族の人数
	F 6	両親の就労状況
	F 7	居住年数
	F 8	居住地域
A 日ごろの生活	問 1	生活時間（勉強、学習塾、部活・サークル、のんびり、電話・携帯電話、テレビ・ビデオ、ゲーム、メール、インターネット、読書、仕事・アルバイト）
	問 2	ふだんの食事の状況
	問 3	親と話をしたり出かけたりする時間
	問 4	門限
	問 5	通塾日数
	問 6	休日の過ごし方
	問 7	気分転換にすること
	問 8	自分専用のもの
	問 9	1 か月のおこづかい
	問 10	おこづかいの使いみち
B 携帯電話及びインターネットの利用状況	問 11	携帯電話やパソコンでのメールの利用状況・意向
	問 11- 1	メールの頻度
	問 12	学校以外でのインターネットの利用状況・意向
	問 12- 1	学校以外でのインターネットの利用方法
	問 12- 2	インターネットを利用している経験
C 日ごろ関心のあること、感じていること	問 13	今、関心をもっていること
	問 14	気持ちの上で感じる事
	問 15	行動についての考え方
	問 16	おとなになることについて
	問 17	仕事や将来について
D 悩み	問 18	悩みの有無
	問 18- 1	悩みの内容
	問 18- 2	最も悩んでいることの相談相手
	問 19	あればよいと思う相談先

第1章 調査の概要

調査項目	問番号	質問内容
E 地域生活	問 20	友人とおしゃべりしたりする場所
	問 21	近所の人へのあいさつの有無
	問 22	近所の人からほめられたり注意されることの有無
	問 23	地域での活動の参加状況
	問 24	地域での活動の参加意向
F いじめ	問 25	学校や地域におけるいじめや差別の有無
	問 25- 1	いじめや差別の内容
	問 26	いじめや差別を受けたときの望ましい行動
G 自分にとって大切なこと	問 27	大切なこと
	問 28	親や保護者に望むこと
H 市やおとなへの要望	問 29	市に実施してほしいこと
	問 30	市やおとなに対する意見、要望＜自由回答＞

③ 回収率

発送数	回収数 (回収率)	有効回収数 (有効回収率)
1,500	852 (56.8%)	851 (56.7%)

※返送はあったが無記入の調査票は有効回収数に含めなかった。

(4) ひとり親家庭調査

① 調査対象

ひとり親世帯 500 人

平成 20 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳及び外国人登録原票より無作為抽出

② 調査項目

調査項目	問番号	質問内容
基本属性	F 1	回答者の性別
	F 2	回答者の年齢
	F 3	同居する家族
	F 4	子どもの人数
	F 5	子どもの成長段階
	F 6	ひとり親になった理由
	F 7	ひとり親になったときの末子の年齢
	F 8	ひとり親になってからの年数
	F 9	住居形態
	F 10	居住地域
A 仕事	問 1	就労の有無
	問 1 - 1	就労形態
	問 1 - 2	職種
	問 1 - 3	働いていない理由
	問 2	ひとり親になる前となった後での仕事上の変化
	問 2 - 1	求職活動の方法
	問 2 - 2	仕事を探しているときの問題点
	問 3	資格や免許（現在取得、役に立っている、今後の取得希望）
	問 4	資格や免許を取得する際に気がかりなこと
	問 5	新しく仕事を始めようとするときにあったらよいと思うこと
B 暮らし向き	問 6	世帯収入の内訳
	問 7	年間の世帯収入
	問 8	ひとり親の就労収入
	問 9	育児費・教育費の家計への圧迫
	問 9 - 1	育児費・教育費の中で最も負担の大きい支出
C 日ごろの子育て	問 10	日ごろ、子どもをあずかってくれる人の有無
	問 10 - 1	祖父母に子どもをあずけていることに関する意識
	問 10 - 2	友人・知人に子どもをあずけていることに関する意識
	問 11	子育てが楽しいと感じる程度
	問 11 - 1	子育てをする中で有効な支援・対策
	問 11 - 2	子育ての辛さを解消するために必要なこと
	問 12	日ごろの子育てについて感じていること

第1章 調査の概要

調査項目	問番号	質問内容
D 子どもの 過ごし方	問 13	就学前の子どもの過ごし方
	問 14	この1年間、病気やケガで保育サービスを利用できなかったり、学校を休まなければならなかったことの有無
	問 14- 1	この1年間、病気やケガで保育サービスを利用できなかったり、学校を休まなければならなかったときの対処方法と日数、仕事を休むことの困難さ、できれば施設にあずけたいと思った日数
	問 15	就学前及び小学1年から3年生の子どもをもつ人に、自分が病気のときの子どもの世話
	問 16	小学生の子どもの放課後の過ごし方
	問 17	小学生の子どもの学校が長期休業中の過ごし方
	問 18	この1年間、泊りがけの外出の際、子どもを連れて行くことが困難であったことの有無
	問 18- 1	この1年間、泊りがけで子どもを連れて行くことが困難であった際の対処方法と泊数
	問 18- 2	子どもを親族・知人にあずけることの困難さ
	問 19	ショートステイの利用意向
	問 20	子育てに関してあったらよいと思うこと
E 生活や子 育ての心配ご と	問 21	生活をしていくにあたって心配なこと
	問 22	子育ての中で日ごろ悩んでいること、気になること
	問 23	子育てについて気軽に相談できる人の有無
	問 23- 1	子育てについて気軽に相談できる人
F 子育てサ ービスに関す る情報	問 24	子育て相談施設等の利用状況
	問 25	子育て情報入手のためのインターネット利用状況
G 児童虐待 防止	問 26	子育て支援サービスの情報源としてよいと思うもの
	問 27	児童虐待に関する認知状況（児童虐待防止法、通報先、相談機関）
H 地域との かかわり	問 28	児童虐待の通報先
	問 29	近所づきあいの状況
	問 29- 1	近所づきあいの相手
I 子育てと 仕事の両立	問 29- 2	近所づきあいが希薄な理由
	問 30	男女とも子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業（職場）に希望すること
J 市への要 望	問 31	ひとり親への支援制度の利用状況、利用意向
	問 32	悩みや不安、必要と感じる支援＜自由回答＞

③ 回収率

発送数	回収数 (回収率)	有効回収数 (有効回収率)
500	303 (60.6%)	303 (60.6%)

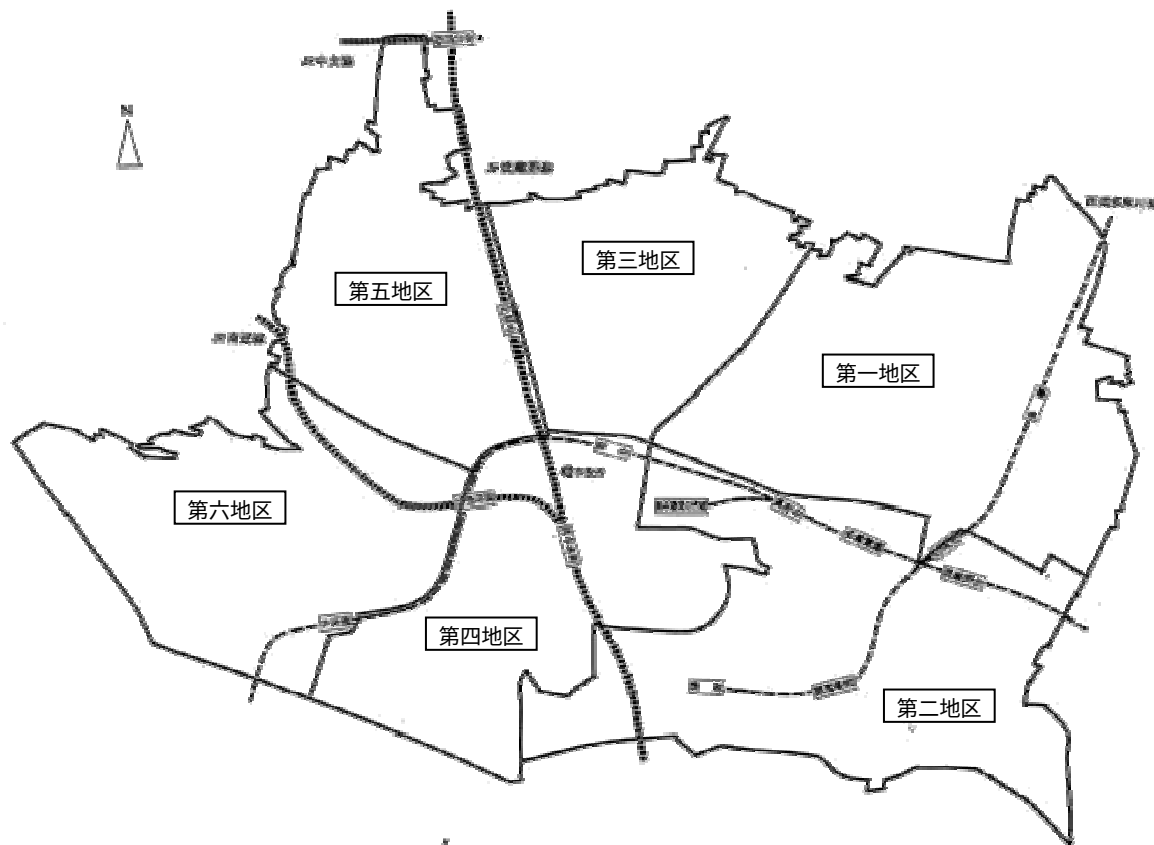
※返送はあったが無記入の調査票は有効回収数に含めなかった。

4 地区別の分析について

地区別の分析に用いたのは、福祉計画で使用した福祉エリアで、第一地区～第六地区に分割している。府中市ではさまざまなエリア分けがあるが、福祉エリアは民生委員・児童委員地区として、また介護保険事業計画の日常生活圏域として位置づけられており、市民や関係者、事業者等にもなじみのある地区分けとなっている。

第一地区～第六地区までの該当町名は次のとおりである。なお、調査では、回答者に住んでいる町名と丁目を記入していただき、集計時に振り分ける形式をとった。

第一地区：多磨町、朝日町、紅葉丘、白糸台（1～3丁目）、若松町、浅間町、緑町
 第二地区：白糸台（4～6丁目）、押立町、小柳町、八幡町、清水が丘、是政
 第三地区：天神町、幸町、府中町、寿町、晴見町、栄町、新町
 第四地区：宮町、日吉町、矢崎町、南町、本町、片町、宮西町
 第五地区：日鋼町、武蔵台、北山町、西原町、美好町（1～2丁目）、
 本宿町（3～4丁目）、西府町（3～4丁目）、東芝町
 第六地区：美好町（3丁目）、分梅町、住吉町、四谷、日新町、本宿町（1～2丁目）、
 西府町（1～2、5丁目）



5 前回調査との比較について

就学前児童調査、小学生調査については、平成16年に実施した「府中市子育て支援に関する市民意向調査」との比較を行っている。調査の概要は以下のとおりである。

	就学前児童調査	小学生調査
調査対象	市内に居住する就学前児童（0～5歳）の保護者 3,000人	市内に居住する小学生の保護者 2,000人
抽出方法	住民基本台帳から地区別・子どもの年齢別に層化無作為抽出	
調査方法	郵送配布	
調査期間	平成16年1月16日～1月30日	

第2章 各調査の結果

<図表のみかた>

- 1 回答は、それぞれの質問の回答者数を母数とした百分率（%）で示しています。それぞれの質問の回答者数は、全体（各調査区分の有効回答数）の場合はN（Number of case）、それ以外の内数等の場合にはnと表記しています。
- 2 %は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。従って、回答の合計が必ずしも 100.0%にならない場合（例えば 99.9%、100.1%）があります。
- 3 年齢別、学年別などは、設問により未回答の方がいたため、各集計の数値が全体（N）とは一致しません。
- 4 回答者が2つ以上回答することのできる質問（複数回答）については、%の合計は100%を超えています。
- 5 本文及びグラフ中の設問文ならびに選択肢の表現は一部省略されています。

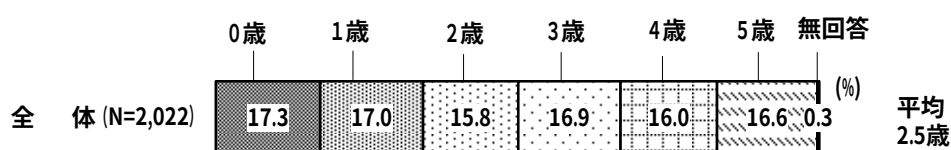
1 就学前児童調査

(1) 基本属性

① 子どもの年齢 (F 1)

子どもの年齢は0歳から5歳まで全体的にほとんど差が無く、ほぼ同じ割合となっている。平均年齢は2.5歳となっている(図表1-1-1)。

図表1-1-1 子どもの年齢(全体)

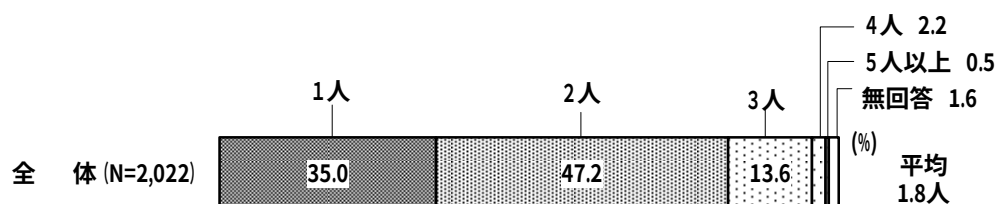


② 子どもの人数、末子の年齢 (F 2)

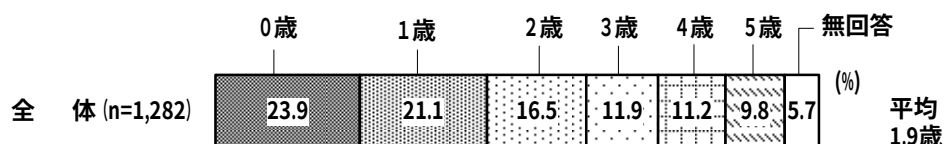
子どもの人数は、「2人」が47.2%で最も多く、次いで「1人」が35.0%、「3人」が13.6%となっている(図表1-1-2-1)。

末子の年齢は、「0歳」が23.9%で最も多く、次いで「1歳」が21.1%、「2歳」が16.5%となっている(図表1-1-2-2)。

図表1-1-2-1 子どもの人数(全体)



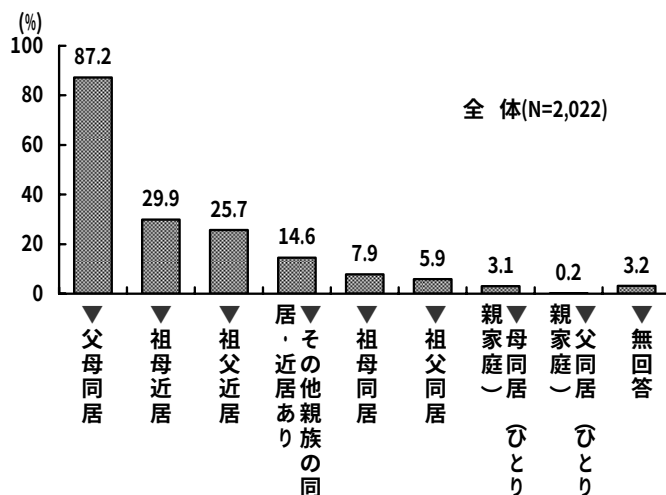
図表1-1-2-2 末子の年齢<子どもが2人以上いる人>(全体)



③ 両親・祖父母の近居・同居（F3）

両親・祖父母の近居・同居の状況は、「父母同居」が87.2%で最も多く、次いで「祖母近居」が29.9%、「祖父近居」が25.7%となっている（図表1-1-3）。

図表1-1-3 両親・祖父母の近居・同居（全体：複数回答）



④ 両親の状況（F4）

両親の年齢は、父母ともに「30歳代」が最も多く、父親では63.2%、母親では71.7%となっている（図表1-1-4-1）。あて名の子もとの同別居状況は、父母ともに「一緒に住んでいる」が90%代後半となっている（図表1-1-4-2）。両親の就労状況は、父親は「常勤の勤め人（正社員・正職員）」が84.6%で最も多く、次いで「自営業・家族従業」が9.9%となっている。また母親は「無職・家事専従」が56.7%で最も多く、次いで「常勤の勤め人（正社員・正職員）」が19.5%、「パート・アルバイト」が14.6%となっている（図表1-1-4-3）。

図表1-1-4-1 保護者の年齢（全体）

	年齢 (%)							
全体 (N=2,022)	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無回答	平均
父親	0.0	7.1	63.2	26.3	1.5	0.1	1.9	36.7歳
母親	0.1	12.6	71.7	14.8	0.0	0.0	0.7	34.7歳

図表1-1-4-2 あて名の子もとの同別居状況（全体）

	状況 (%)				
全体 (N=2,022)	一緒に住んでいる	単身赴任など入居する	別居している	離婚、死などない	無回答
父親	95.7	1.1	0.4	1.6	1.2
母親	98.6	0.0	0.1	0.0	1.2

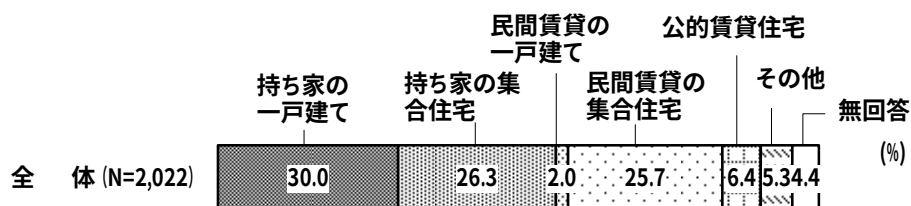
図表 1-1-4-3 保護者の就労状況（全体）

全体 (N=2,022)	社員・常勤の勤め人 正社員	パート・アルバイト	契約社員	派遣社員	自営業・家族従業	在宅勤務・内職	学生	無職・家事専従	その他	無回答
父親	84.6	0.6	1.3	0.3	9.9	0.0	0.2	0.5	0.6	1.9
母親	19.5	14.6	1.3	1.1	3.3	1.6	0.2	56.7	0.7	1.0

⑤ 住居形態（F 5）

住居形態は、「持ち家の一戸建て」が 30.0%で最も多く、次いで「持ち家の集合住宅」が 26.3%、「民間賃貸の集合住宅」が 25.7%となっている（図表 1-1-5）。

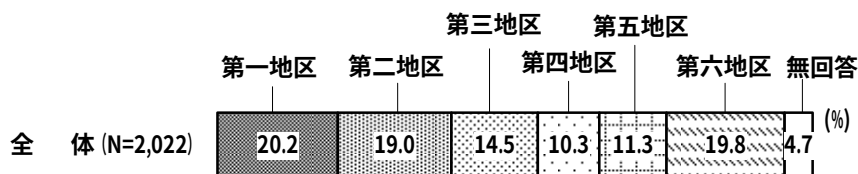
図表 1-1-5 住居形態（全体）



⑥ 居住地区（F 6）

居住地区は、「第一地区」が 20.2%で最も多く、次いで「第六地区」が 19.8%、「第二地区」が 19.0%となっている（図表 1-1-6）。

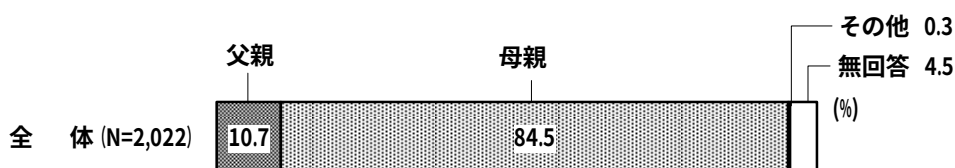
図表 1-1-6 居住地区（全体）



⑦ 記入者（F 7）

記入者は、「母親」が 84.5%であり、「父親」が 10.7%となっている（図表 1-1-7）。

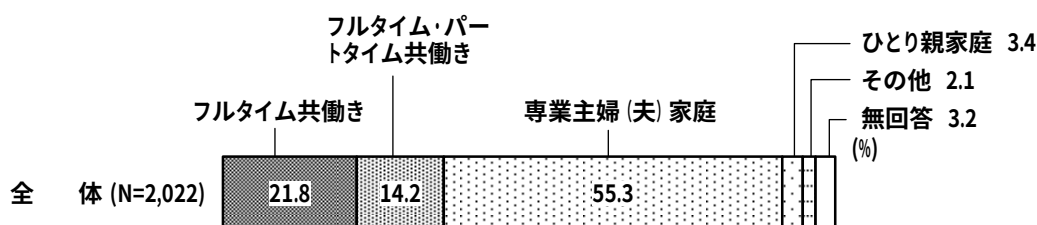
図表 1-1-7 記入者（全体）



⑧ 家族類型（F3×問8）

家族類型は、「専業主婦（夫）家庭」が55.3%で最も多く、次いで「フルタイム共働き」が21.8%、「フルタイム・パートタイム共働き」が14.2%となっている（図表1-1-8）。

図表1-1-8 家族類型（全体）



※家族類型

- ・ひとり親家庭：F3で「父同居（ひとり親家庭）」か「母同居（ひとり親家庭）」と回答した人
- ・フルタイム共働き：問8で父親、母親ともに「就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）」か「就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）」と回答した人（ひとり親家庭をのぞく）
- ・フルタイム・パートタイム共働き：問8で父親、母親の一方が、「就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）」か「就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）」と回答し、もう一方が「就労している（パートタイム・アルバイトなど）」と回答した人（ひとり親家庭をのぞく）
- ・専業主婦（夫）家庭：問8で父親、母親の一方が、「就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）」か「就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）」か「就労している（パートタイム・アルバイトなど）」と回答し、もう一方が「以前は就労していたが、現在は就労していない」か「これまでに就労したことがない」と回答した人（ひとり親家庭をのぞく）

（2）日ごろの子育て

① 日ごろ、子どもをあずかってくれる人の有無（問1）

日ごろ、子どもをあずかってくれる人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にあずかってもらえる」が55.5%で最も多く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子供をあずけられる友人・知人がいる」が19.5%となっている。また、「いずれもない」が17.5%となっている。

家族類型別にみると、ひとり親家庭は他の家庭に比べて、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にあずかってもらえる」、「緊急時もしくは用事の際には子供をあずけられる友人・知人がいる」が少なく、逆に「いずれもない」が多くなっている。

保育サービスの利用の有無別にみると、利用していない人が利用している人に比べて、「日常的に祖父母などの親族にあずかってもらえる」割合が高くなっている（図表1-2-1）。

図表1-2-1 日ごろ、子どもをあずかってくれる人の有無
(全体、家族類型別、保育サービスの利用の有無別：複数回答)

		え親の▼ る族際緊 には急 あは時 ず祖も か父し っくは つてな もど らの事	いけの▼ るら際緊 れは時 友子も 人どし ・く 知をは 人用 がず事	らの▼ え親日 る族常 にに祖 あず父 か母 つてな もど	がず▼ いる日 常的 にに子 友人 人・も 知を 人あ	い ず れ も な い	▼ 無 回 答
全 体 (N=2,022)		55.5	19.5	14.2	3.7	17.5	4.8
家族類型別	フルタイム共働き (n= 441)	59.2	8.4	12.5	1.4	20.0	5.4
	フルタイム・パートタイム共働き (n= 288)	58.7	19.1	17.0	4.5	14.2	4.5
	専業主婦(夫)家庭 (n=1,118)	55.7	24.6	14.7	3.9	15.7	3.8
	ひとり親家庭 (n= 68)	47.1	4.4	16.2	7.4	23.5	10.3
	その他 (n= 42)	42.9	21.4	16.7	11.9	19.0	14.3
保育サービスの利用の有無別	利用している (n=1,107)	55.6	20.1	12.1	3.6	17.9	5.6
	利用していない (n= 914)	55.5	18.7	16.8	3.7	16.8	3.9

② 祖父母に子どもをあずけていることに関する意識（問1-1）

日ごろ祖父母に子どもをあずけることができると回答した人に、あずけていることに関する意識をたずねた。「祖父母が孫をあずかることについては、特に問題はない」が58.9%で最も多く、次いで「祖父母の身体的負担が大きく心配である」が24.2%となっている。

家族類型別にみると、ひとり親家庭とフルタイム共働きは、「祖父母の身体的負担が大きく心配である」、「祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」、「自分たちの子どものことで負担をかけていることが心苦しい」が、全体に比べて多くなっている（図表1-2-2）。

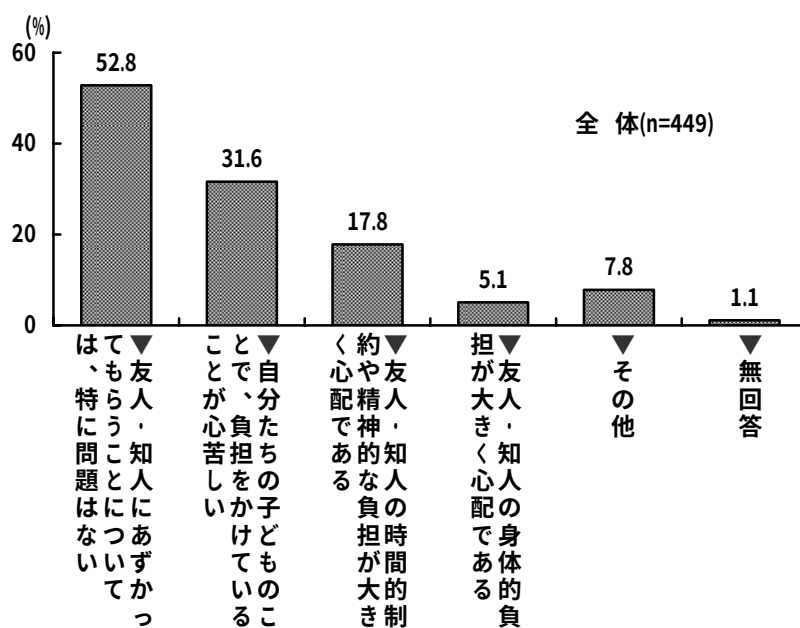
図表1-2-2 祖父母に子どもをあずけていることに関する意識（全体、家族類型別：複数回答）
＜日ごろ祖父母に子どもをあずけることができる人＞

		にる▼ 問題祖 はと父 な母 いにつ いが い孫 はあ ず 特か	が▼ 大祖 き父 く母 心の 配身 で体 ある 負担	く▼ や精 心祖 配神 で父 ある母 な時 る間 負担 が大 制約	る▼ こと自 で分 がた 心ち 苦の しい子 けどど いの	▼ そ 他	▼ 無 回 答
全 体 (n=1,356)		58.9	24.2	20.3	18.4	7.0	0.7
家族類型別	フルタイム共働き (n= 309)	39.2	39.2	31.7	28.2	9.4	0.3
	フルタイム・パートタイム共働き (n= 207)	56.5	25.6	24.6	23.2	4.8	0.0
	専業主婦(夫)家庭 (n= 754)	69.2	17.2	13.1	12.7	6.6	0.8
	ひとり親家庭 (n= 41)	39.0	31.7	39.0	29.3	4.9	4.9
	その他 (n= 23)	65.2	8.7	26.1	8.7	4.3	0.0

③ 友人・知人に子どもをあずけていることに関する意識（問1-2）

日ごろ友人・知人に子どもをあずけることができると回答した人に、あずけていることに関する意識をたずねた。「友人・知人にあずかってもらうことについては、問題はない」が52.8%で最も多く、次いで「自分たちの子どものことで負担をかけていることが心苦しい」が31.6%となっている（図表1-2-3）。

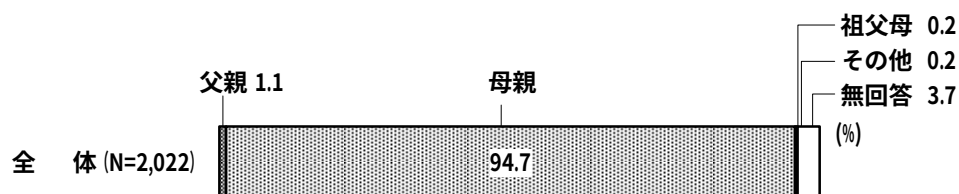
図表1-2-3 友人・知人に子どもをあずけていることに関する意識（全体：複数回答）
＜日ごろ友人・知人に子どもをあずけることができる人＞



④ 主たる保育者（問2）

主たる保育者は「母親」が94.7%を占めている（図表1-2-4）。

図表1-2-4 主たる保育者（全体）

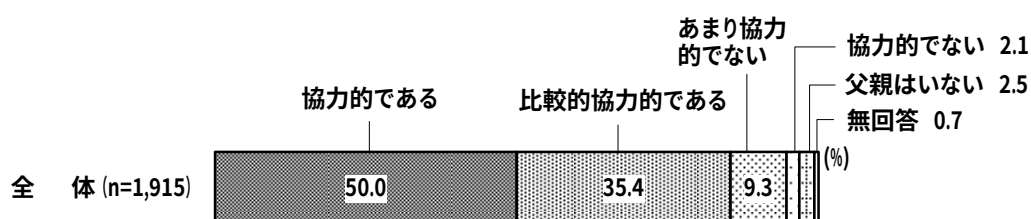


⑤ 配偶者や周囲の人の子育てへの関わり方（問3）

◇父親の子育てへの関わり方

主たる保育者が母親の場合に母親から見た父親の子育てへの関わり方は、「協力的である」が50.0%であり、「比較的協力的である」の35.4%と合計すると85.4%となる。一方、「あまり協力的でない」の9.3%と「協力的でない」の2.1%を合計すると11.4%となる（図表1-2-5-1）。

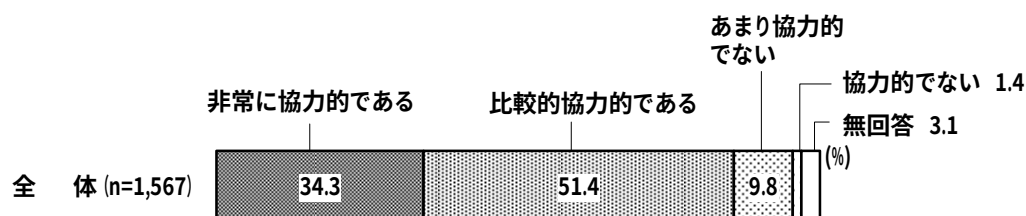
図表1-2-5-1 父親の子育てへの関わり方（全体）
＜主たる保育者が「母親」と回答した人＞



＜前回調査との比較＞

前回調査と比較すると、父親の子育てへの関わり方は、前回調査・今回調査ともに、「あまり協力的でない」と「協力的でない」を合計すると、11%程度となっている（図表1-2-5-2）。

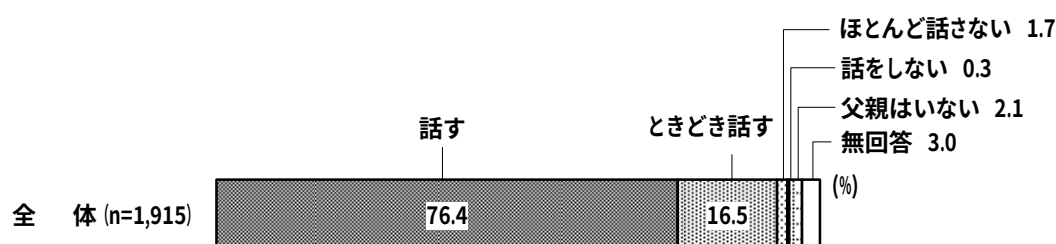
図表1-2-5-2 配偶者の子育てへの関わり方（母親／前回調査）



◇両親間で子どものことについて話す頻度

主たる保育者が母親の場合に子どものことについて両親間で話す頻度は、「話す」が76.4%で最も多く、次いで「ときどき話す」が16.5%となっている（図表1-2-5-3）。

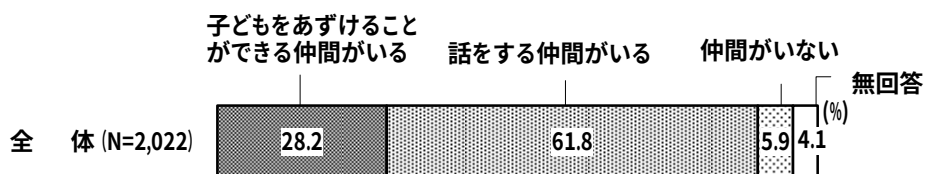
図表1-2-5-3 両親間で子どものことについて話す頻度（全体）
＜主たる保育者が「母親」と回答した人＞



◇子育ての仲間の有無

子育て仲間の有無は、「話をする仲間がいる」が61.8%で最も多く、「子どもをあずけることができる仲間がいる」が28.2%、「仲間がいない」が5.9%となっている（図表1－2－5－4）。

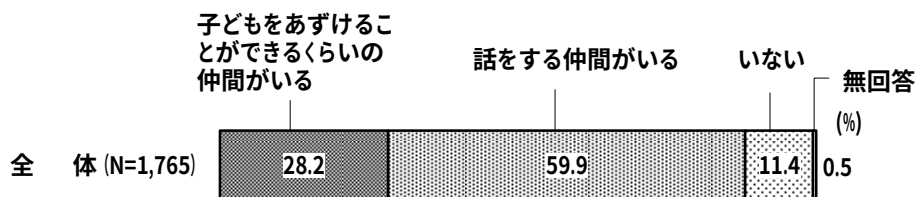
図表1－2－5－4 子育ての仲間の有無（全体）



<前回調査との比較>

前回調査と比較すると、子育ての仲間の有無は、今回調査は「仲間がいない」が5.9%であり、前回調査の「いない」の11.4%を5.5ポイント下回っている（図表1－2－5－5）。

図表1－2－5－5 子育ての仲間の有無（全体／前回調査）



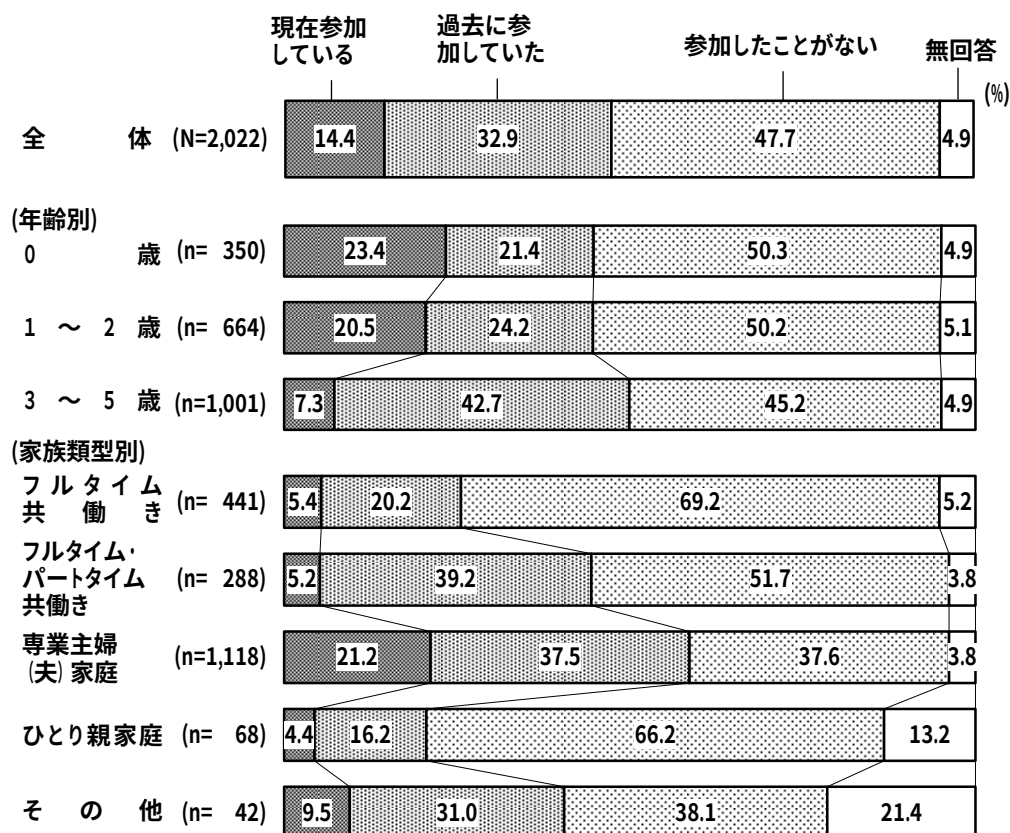
◇子育てサークルへの参加の有無

子育てサークルへの参加の有無は、「参加したことがない」が 47.7%で最も多く、次いで「過去に参加していた」が 32.9%となっている。

子どもの年齢別にみると、0歳、1～2歳では「現在参加している」が 20%を超えている。

家族類型別にみると、専業主婦（夫）家庭では、「現在参加している」が 21.2%で全体に比べて多くなっている。その一方で、ひとり親家庭やフルタイム共働き家庭では「参加したことがない」が 60%台後半となっており、子育てサークルへの参加度合いが低くなっている（図表 1-2-5-6）。

図表 1-2-5-6 子育てサークルへの参加の有無（全体、年齢別、家族類型別）

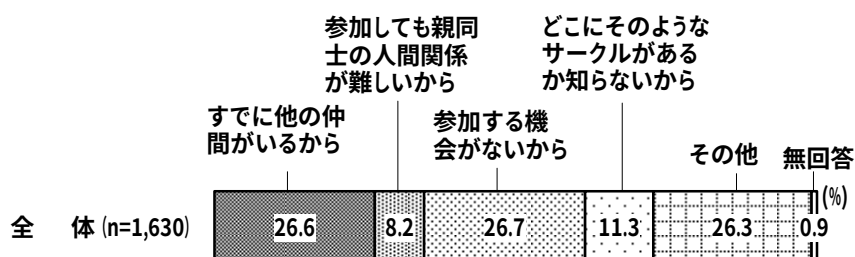


◇子育てサークルに参加していない理由

子育てサークルに参加していない理由は、「参加する機会がないから」が 26.7%、「すでに他の仲間がいるから」が 26.6%であり、ほぼ同じ割合で多くなっている（図表 1-2-5-7）。

図表 1-2-5-7 子育てサークルに参加していない理由（全体）

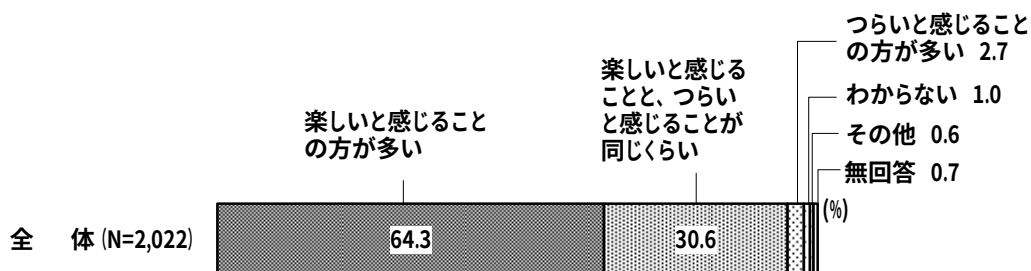
<子育てサークルに現在参加していない人>



⑥ 子育てが楽しいと感じる程度（問4）

子育てが楽しいと感じる程度は、「楽しいと感じることの方が多い」が64.3%、「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」が30.6%となっている（図表1-2-6-1）。

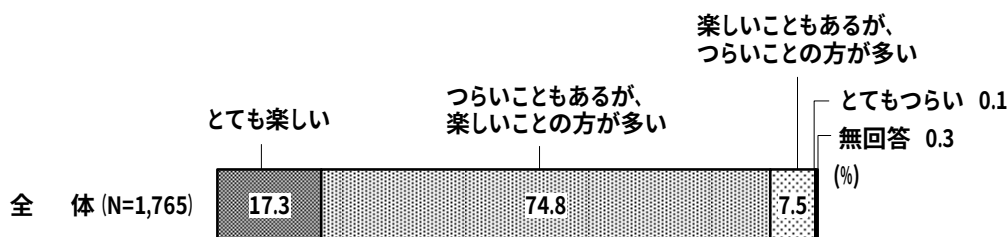
図表1-2-6-1 子育てが楽しいと感じる程度（全体）



＜前回調査との比較＞

前回調査と比較すると、子育てが楽しいと感じる程度は、選択肢が異なるものの、今回調査が前回調査より「つらいことの方が多い」と答える割合が低くなっている（図表1-2-6-2）。

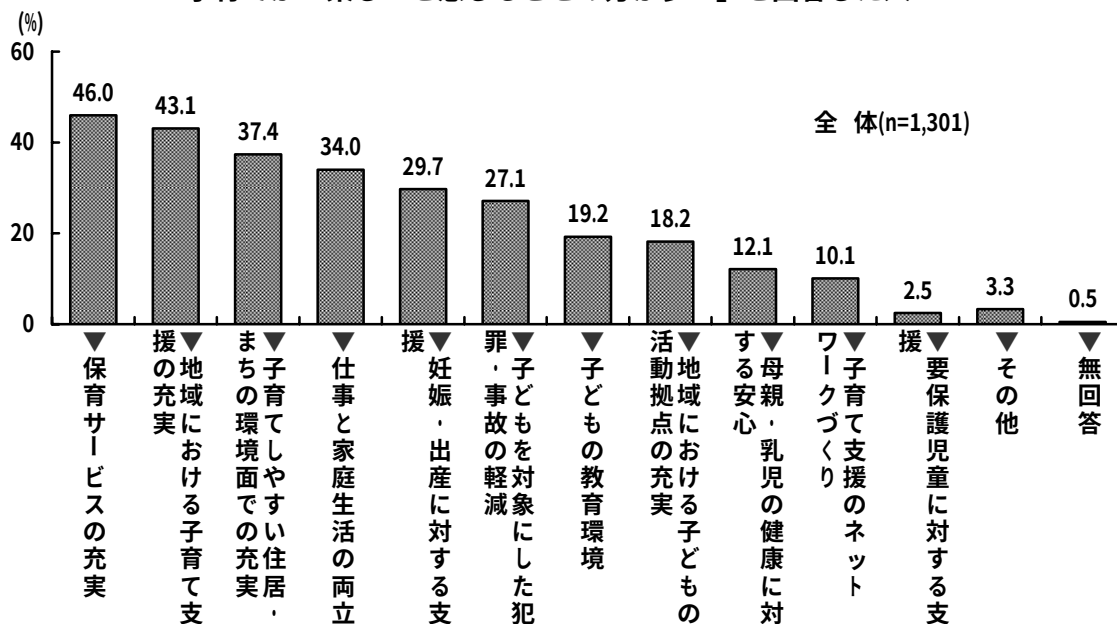
図表1-2-6-2 子育てが楽しいと感じる程度（全体／前回調査）



⑦ 子育てをする中で有効な支援・対策（問4-1）

子育てが「楽しいと感じることの方が多い」人が子育てをする中で有効だと考える支援・対策は、「保育サービスの充実」が46.0%で最も多く、次いで「地域における子育て支援の充実」が43.1%、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が37.4%となっている（図表1-2-7）。

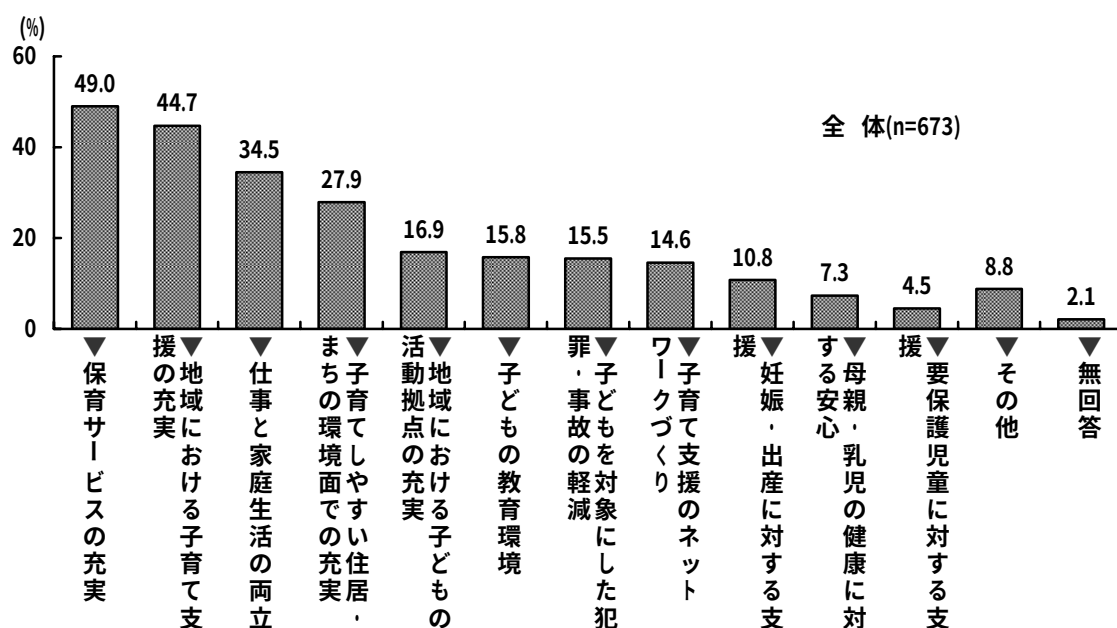
図表1-2-7 子育てをする中で有効な支援・対策（全体：複数回答（3つまで））
 <子育てが「楽しいと感じることの方が多い」と回答した人>



⑧ 子育ての辛さを解消するために必要なこと（問4-2）

子育てが「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」または「つらいと感じることの方が多い」と回答した人に、子育ての辛さを解消するために必要だと考えることをたずねたところ、「保育サービスの充実」が49.0%で最も多く、次いで「地域における子育て支援の充実」が44.7%、「仕事と家庭生活の両立」が34.5%となっている（図表1-2-8）。

図表1-2-8 子育ての辛さを解消するために必要なこと（全体：複数回答（3つまで））
 <子育てが「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」、
 「つらいと感じることの方が多い」と回答した人>

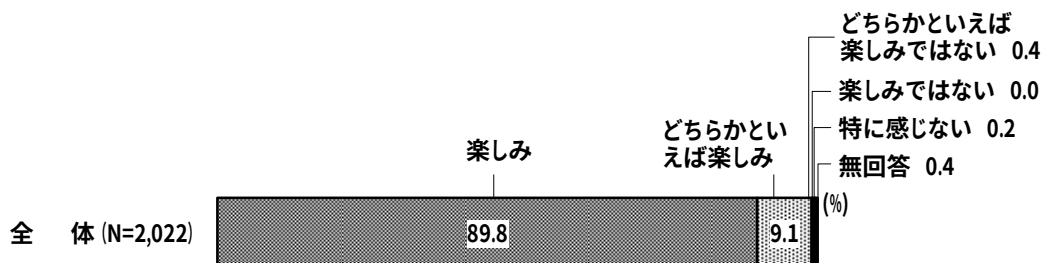


⑨ 日ごろの子育てについて感じていること（問5）

◇子どもの成長について

子どもの成長については、「楽しみ」が89.8%となっている。（図表1-2-9-1）。

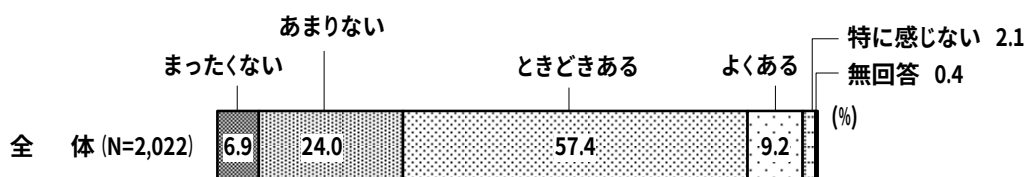
図表1-2-9-1 子どもの成長について（全体）



◇子育てに自信が持てなくなること

子育てに自信が持てなくなることは、「ときどきある」の57.4%と「よくある」の9.2%を合計すると66.6%となる（図表1-2-9-2）。

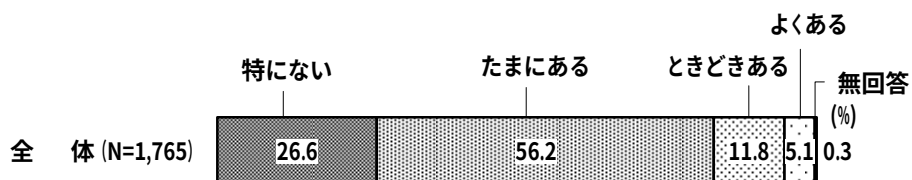
図表1-2-9-2 子育てに自信が持てなくなること（全体）



<前回調査との比較>

前回調査と比較すると、子育てに自信が持てなくなることは、今回調査は「よくある」が9.2%であり、前回調査の5.1%を4.1ポイント上回っている（図表1-2-9-3）。

図表1-2-9-3 子育てに自信が持てなくなること（全体／前回調査）



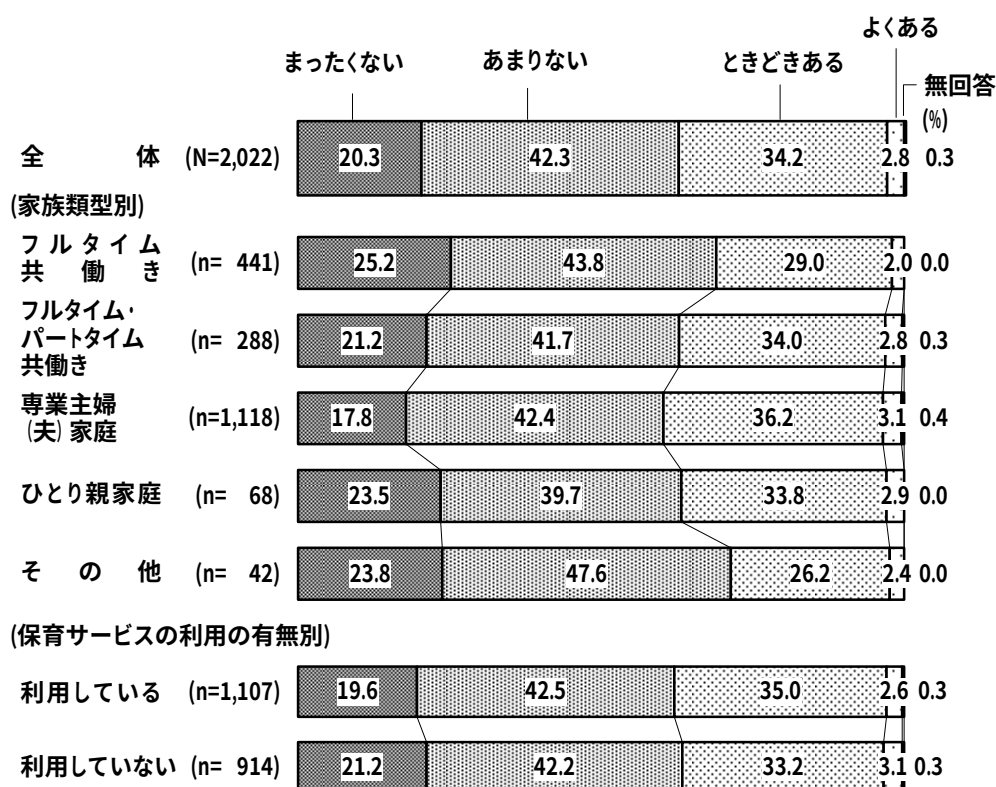
◇子育てが嫌になること

子育てが嫌になることは、「ときどきある」の34.2%と「よくある」の2.8%を合計すると37.0%となる。

家族類型別にみると、「ときどきある」と「よくある」を合計した割合は、専業主婦（夫）家庭で39.3%であり、全体を上回っている。

保育サービスの利用の有無別にみると、「ときどきある」と「よくある」を合計した割合は、利用している人で37.6%、利用していない人で36.3%となっている（図表1-2-9-4）。

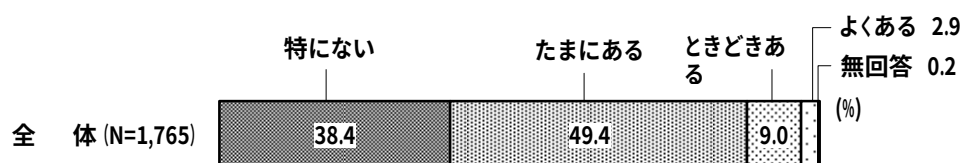
図表1-2-9-4 子育てが嫌になること（全体、家族類型別、保育サービスの利用の有無別）



<前回調査との比較>

前回調査と比較すると、子育てが嫌になることは、選択肢が異なるものの、前回調査・今回調査ともに「よくある」が3%弱となっている（図表1-2-9-5）。

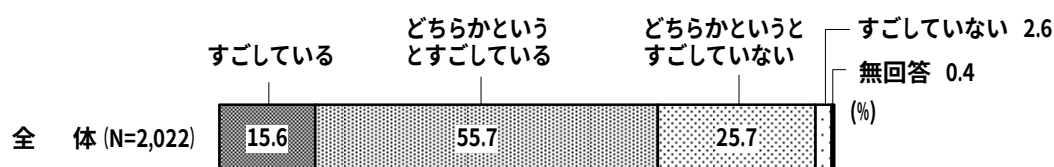
図表1-2-9-5 子育てが嫌になること（全体／前回調査）



◇ゆったりした気分で子どもとすごしているか

ゆったりした気分で子どもとすごしているかについては、「どちらかというとすごしていない」の25.7%と「すごしていない」の2.6%を合計すると28.3%となる（図表1-2-9-6）。

図表1-2-9-6 ゆったりとした気分で子どもとすごしているか（全体）



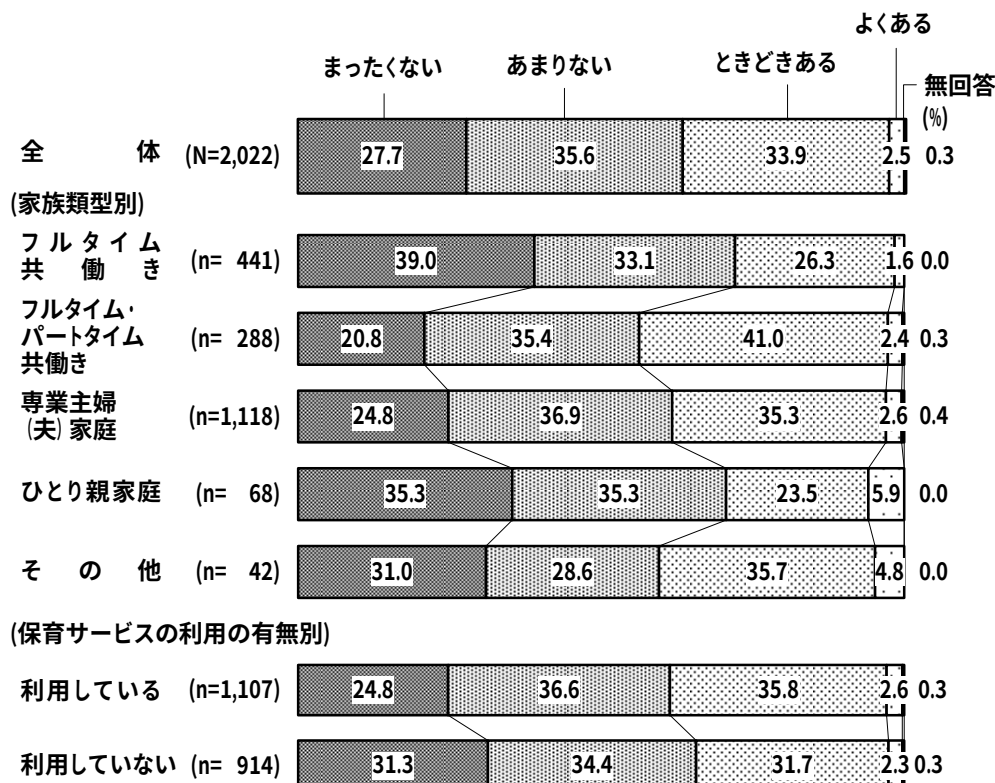
◇イライラして子どもをたたいてしまうこと

イライラして子どもをたたいてしまうことは、「ときどきある」の33.9%と「よくある」の2.5%を合計すると36.4%となる。

家族類型別にみると、「ときどきある」と「よくある」を合計した割合は、フルタイム・パートタイム共働きで43.4%、専業主婦（夫）家庭で37.9%であり、全体を上回っている。

保育サービスの利用の有無別にみると、「ときどきある」と「よくある」を合計した割合は、利用している人で38.4%、利用していない人で34.0%となっている（図表1-2-9-7）。

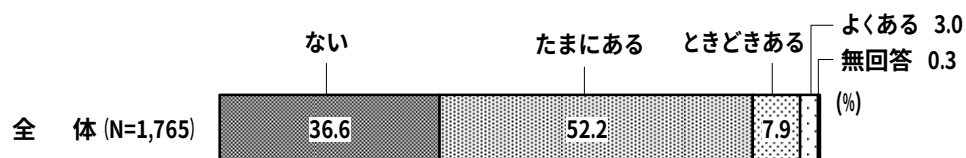
図表1-2-9-7 イライラして子どもをたたいてしまうこと
（全体、家族類型別、保育サービスの利用の有無別）



＜前回調査との比較＞

前回調査と比較すると、子どもをたたいてしまうことは、選択肢が異なるものの、前回調査・今回調査ともに「よくある」が2～3％となっている（図表1－2－9－8）。

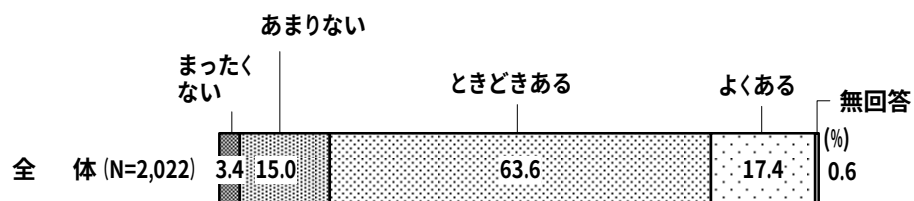
図表1－2－9－8 カッとして子どもをたたいてしまうこと（全体／前回調査）



◇しつけのために子どもを厳しくしかること

しつけのために子どもを厳しくしかることは、「ときどきある」の63.6%と「よくある」の17.4%を合計すると81.0%となる（図表1－2－9－9）。

図表1－2－9－9 しつけのために子どもを厳しくしかること（全体）



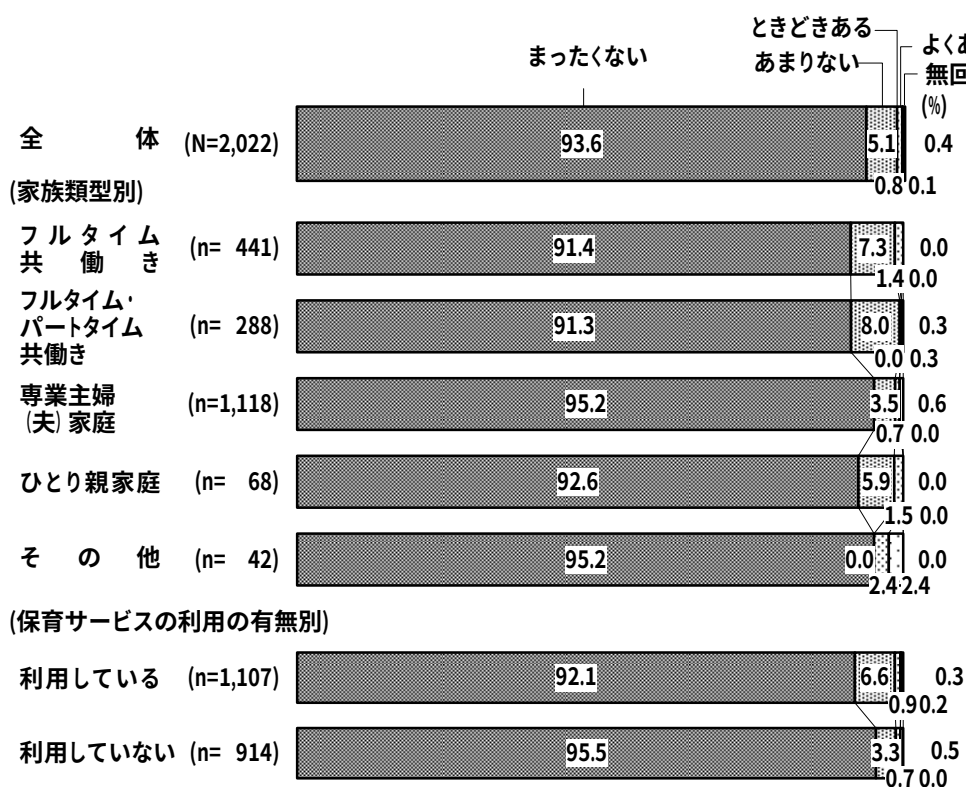
◇子どもの面倒をみないこと

食事を与えない、風呂に入れないなど、子どもの面倒をみないことは、「まったくない」が93.6%を占めているが、「ときどきある」が0.8%（16人）、「よくある」が0.1%（2人）であり、少数ながら回答した人もいる。

家族類型別にみると、ひとり親家庭とフルタイム共働きで「よくある」が1%を超えている。

保育サービスの利用の有無別にみると、利用している人は「ときどきある」が0.9%（10人）であり、「よくある」が0.2%（2人）となっている。利用していない人は「ときどきある」が0.7%（6人）となっている（図表1-2-9-10）。

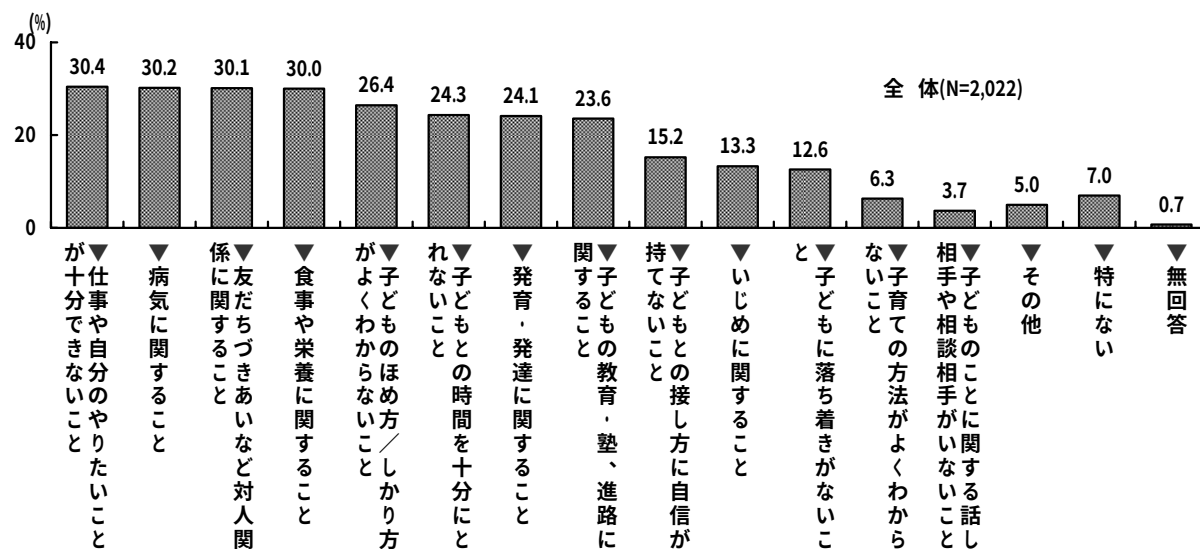
図表1-2-9-10 子どもの面倒をみないこと
（全体、家族類型別、保育サービスの利用の有無別）



⑩ 子育ての中で日ごろ悩んでいること、気になること（問6）

子育ての中で日ごろ悩んでいること、気になることは、「仕事や自分のやりたいことが十分でないこと」が30.4%、「病気に関すること」が30.2%、「友だちづきあいなど対人関係に関すること」が30.1%、「食事や栄養に関すること」が30.0%であり、4項目すべてで30%を超えている（図表1-2-10-1）。

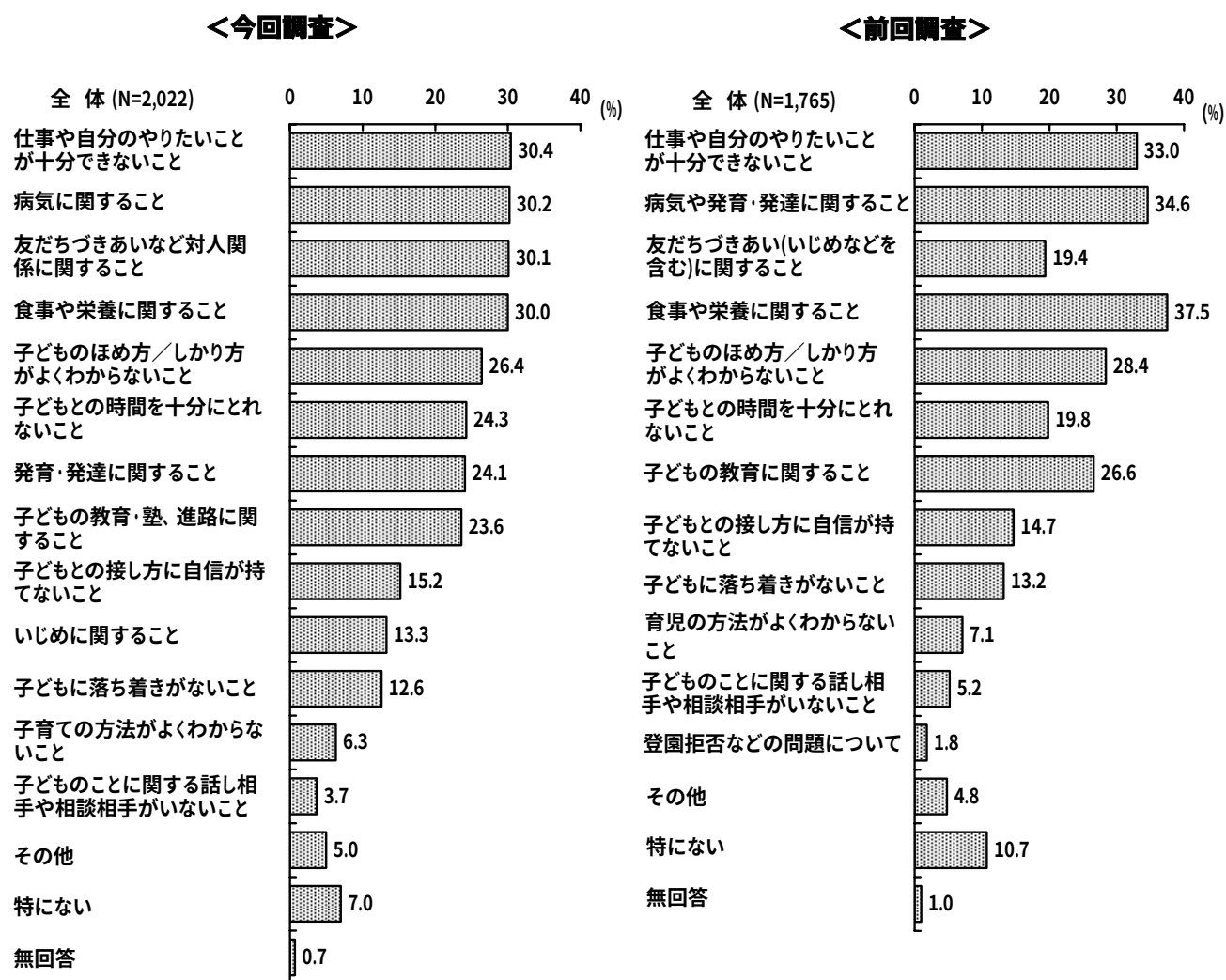
図表1-2-10-1 子育ての中で日ごろ悩んでいること、気になること（全体：複数回答）



＜前回調査との比較＞

前回調査と比較すると、子育ての中で日ごろ悩んでいることは、前回調査・今回調査ともに、「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」、「病気に関すること」、「食事や栄養に関すること」が上位となっている。また、今回調査では、「友だちづきあいなど友達関係に関すること」も30%を超え多くなっている（図表1－2－10－2）。

図表1－2－10－2 子育ての中で日ごろ悩んでいること（全体：複数回答）

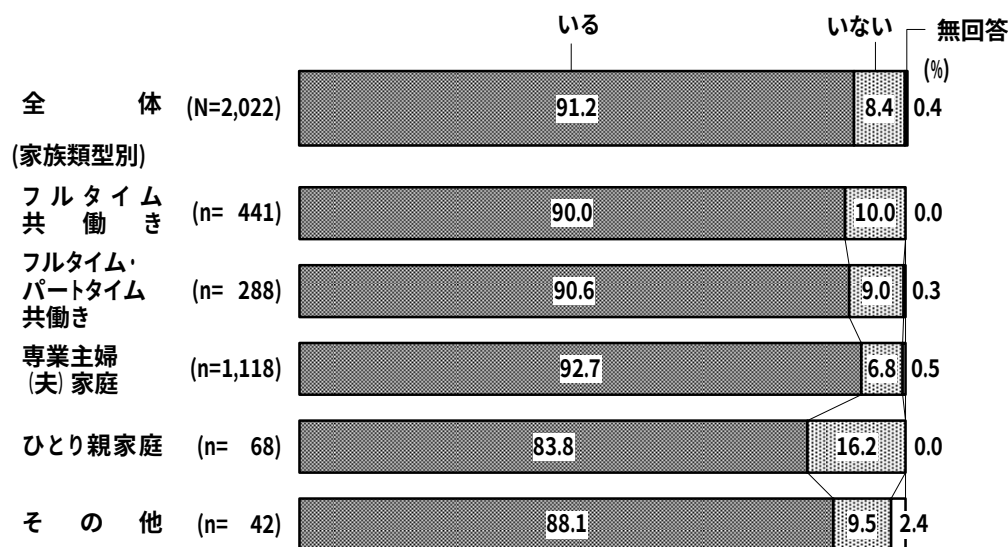


⑪ 子育てについて気軽に相談できる人の有無（問7）

子育てについて気軽に相談できる人の有無は、「いる」が91.2%、「いない」が8.4%となっている。

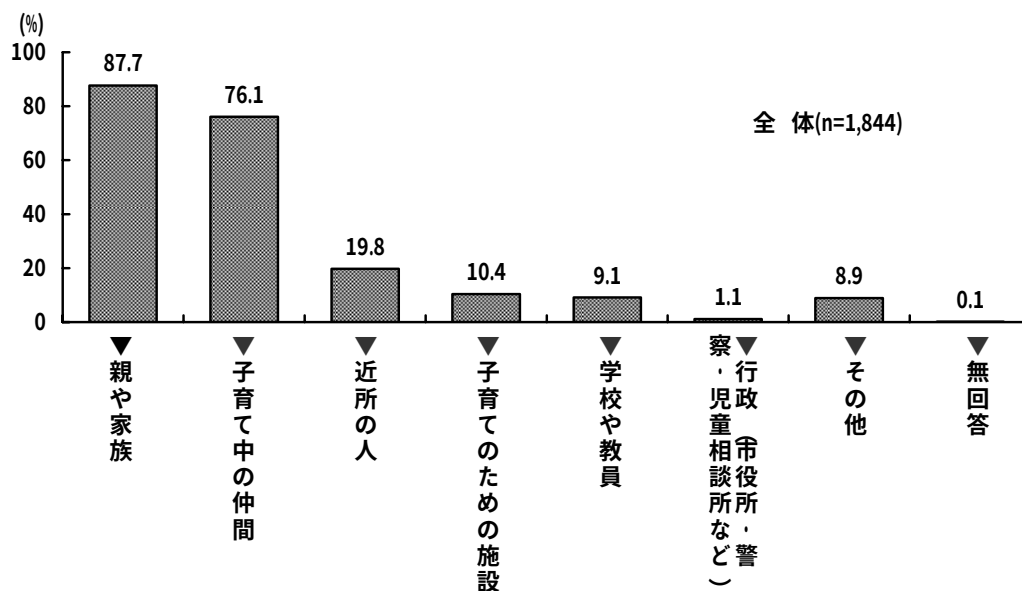
家族類型別にみると、ひとり親家庭は「いない」が16.2%であり、全体を7.8ポイント上回っている（図表1-2-11）。

図表1-2-11 子育てについて気軽に相談できる人の有無（全体、家族類型別）



⑫ 子育てについて気軽に相談できる人（問7-1）

子育てについて気軽に相談できる人がいる場合に、気軽に相談できる人は誰かをたずねたところ、「親や家族」が87.7%で最も多く、次いで「子育て中の仲間」が76.1%となっている（図表1-2-12）。

図表1-2-12 子育てについて気軽に相談できる人（全体：複数回答）
＜子育てについて気軽に相談できる人が「いる」と回答した人＞

(3) 保護者の就労状況

① 両親の就労状況（就労の有無（就労形態）、就労日数・時間、帰宅時間、フルタイムへの転換希望）（問8）

◇両親の就労の有無

就労の有無は、父親は「就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない）」が94.3%となっている。

母親は「以前は就労していたが、現在は就労していない」が52.4%で最も多く、次いで「就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない）」が19.4%、「就労している（パートタイム、アルバイトなど）」が16.2%となっている（図表1-3-1-1）。

図表1-3-1-1 両親の就労の有無（全体）

全体 (N=2,022)	(%)						
	中 は 含 ま な い （ ▼ 就 労 し て い る フル タイム ・ 介 護 休 業 中 ）	休 業 中 （ ▼ 就 労 し て い る フル タイム ・ 介 護 休 業 中 ）	な ど （ ▼ 就 労 し て い る フル タイム ・ 介 護 休 業 中 ）	が 、 以 前 は 就 労 し て い た が 、 現 在 は 就 労 し て い な い （ ▼ 就 労 し て い る フル タイム ・ 介 護 休 業 中 ）	こ の ま で に 就 労 し た こ と が な い （ ▼ 就 労 し て い る フル タイム ・ 介 護 休 業 中 ）	父 親 ／ 母 親 は い な い （ ▼ 就 労 し て い る フル タイム ・ 介 護 休 業 中 ）	無 回 答 （ ▼ 就 労 し て い る フル タイム ・ 介 護 休 業 中 ）
父親	94.3	0.1	0.6	0.5	0.2	2.0	2.2
母親	19.4	4.8	16.2	52.4	5.5	0.1	1.6

◇フルタイムで働く親の1週あたりの就労時間

フルタイムでかつ育休・介護休業中ではない人の、1週あたりの平均就労時間は、父親は50.8時間である。母親は36.6時間となっている（図表1-3-1-2）。

図表1-3-1-2 フルタイムで働く親の1週あたりの就労時間（全体）
＜就労形態がフルタイム（育休・介護休業中は含まない）の人＞

		(%)										平均
		30 時 間 未 満	30 時 間 未 満	40 時 間 未 満	50 時 間 未 満	60 時 間 未 満	70 時 間 未 満	80 時 間 未 満	90 時 間 未 満	100 時 間 未 満	無 回 答	
父親	(n=1,906)	8.9	1.4	22.2	23.2	19.1	7.7	2.0	1.3	0.6	13.6	50.8時間
母親	(n= 392)	11.7	28.6	49.0	4.1	1.5	0.3	0.3	0.3	0.0	4.3	36.6時間

◇フルタイムで働く親の帰宅時間

フルタイムでかつ育休・介護休業中ではない人の帰宅時間は、父親は 20 時～22 時が多くなっている。母親は 18 時～19 時が多くなっている（図表 1－3－1－3）。

図表 1－3－1－3 フルタイムで働く親の帰宅時間（全体）
＜就労形態がフルタイム（育休・介護休業中は含まない）の人＞

													(%)
		1 5 6 時	7 5 11 時	12 5 16 時	17 時	18 時	19 時	20 時	21 時	22 時	23 時	24 時	無 回 答
父親	(n=1,906)	2.8	2.3	0.9	0.8	5.8	12.1	17.0	17.8	15.4	9.9	5.7	9.5
母親	(n= 392)	2.0	0.8	3.1	11.0	47.2	25.3	5.1	0.3	0.3	0.5	0.0	4.6

◇パート・アルバイトで働く親の 1 週あたりの就労日数と 1 日あたりの就労時間

パート・アルバイトなどを行っている親の 1 週あたりの平均就労日数および 1 日あたりの平均就労時間は、父親は 1 週あたり 5.2 日、1 日あたり 8.8 時間となっている。母親は 1 週あたり 3.9 日、1 日あたり 5.5 時間となっている（図表 1－3－1－4、図表 1－3－1－5）。

図表 1－3－1－4 パート・アルバイトで働く親の 1 週あたりの就労日数（全体）
＜就労形態がパート・アルバイトなどの人＞

		(%)								平 均
		1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	無 回 答	
父親	(n= 13)	5.1	0.9	0.8	5.8	12.1	17.0	17.8	15.4	5.2日
母親	(n=327)	2.8	3.1	11.0	47.2	25.3	5.1	0.3	0.3	3.9日

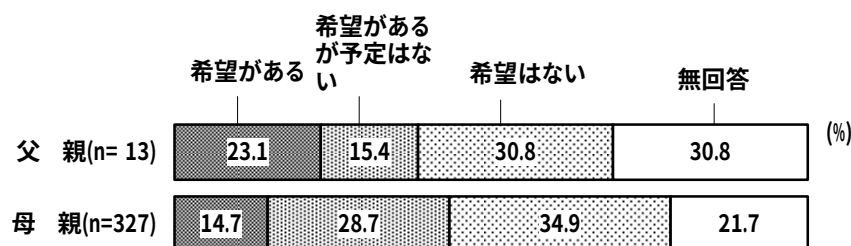
図表 1－3－1－5 パート・アルバイトで働く親の 1 日あたりの就労時間（全体）
＜就労形態がパート・アルバイトなどの人＞

											(%)	
	2 時 間 以 下	3 時 間	4 時 間	5 時 間	6 時 間	7 時 間	8 時 間	9 時 間	10 時 間 以 上	無 回 答	平 均	
父親 (n= 13)	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	46.2	7.7	23.1	7.7	8.8時間	
母親 (n=327)	6.4	9.5	19.9	15.6	14.1	14.7	12.2	1.8	1.5	4.3	5.5時間	

◇パート・アルバイトで働く親のフルタイムへの転換希望

パート・アルバイトなどをしている親のフルタイムへの転換希望は、父親は「希望はない」が30.8%で最も多く、次いで「希望がある」が23.1%となっている。母親は「希望はない」が34.9%で最も多く、次いで「希望はあるが予定はない」が28.7%となっている（図表1-3-1-6）。

図表1-3-1-6 パート・アルバイトで働く親のフルタイムへの転換希望（全体）
＜就労形態がパート・アルバイトなどの人＞

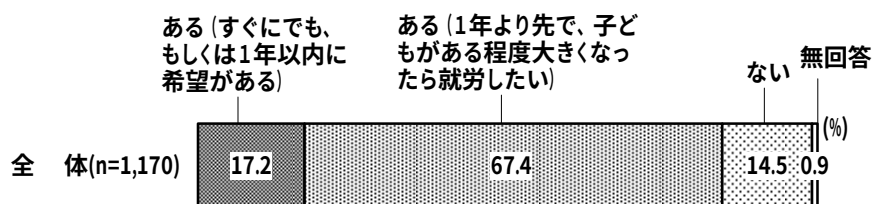


② 就労していない母親の就労希望（問8-1、8-2、8-3）

◇就労していない母親の就労希望

現在就労していない母親の就労希望は、「ある（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」が67.4%であり、「ある（すぐにでも、もしくは1年以内に希望がある）」が17.2%となっている。合計すると、就労希望がある人は84.6%となる（図表1-3-2-1）。

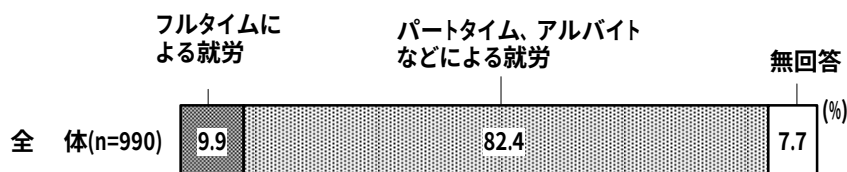
図表1-3-2-1 就労していない母親の就労希望（全体）
＜母親が現在就労していないと回答した人＞



◇就労希望がある母親の希望する就労形態

就労希望がある母親の希望する就労形態は、「フルタイムによる就労」が9.9%、「パートタイム・アルバイトなどによる就労」が82.4%となっている（図表1-3-2-2）。

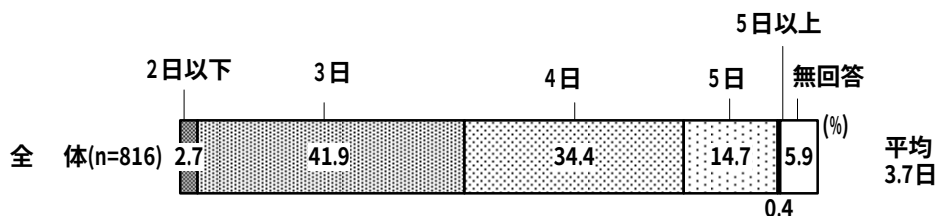
図表1-3-2-2 就労希望がある母親の希望する就労形態（全体）
＜母親に就労希望があると回答した人＞



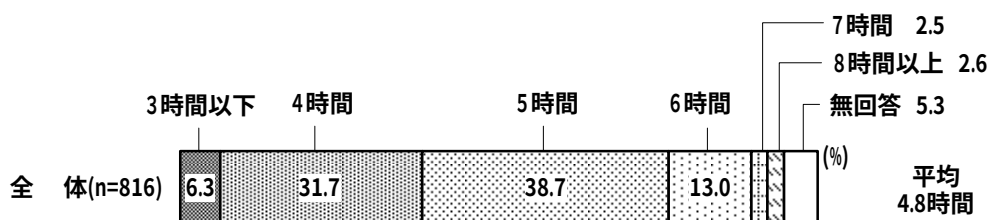
◇パート・アルバイトを希望する母親の希望する週あたりの就労日数、就労時間

パート・アルバイトを希望する母親の希望する週あたりの平均就労日数は 3.7 日、1 日あたりの平均就労時間は 4.8 時間となっている（図表 1-3-2-3、図表 1-3-2-4）。

図表 1-3-2-3 希望する週あたりの就労日数（全体）
＜就労希望がある母親でパート・アルバイトなどを希望すると回答した人＞



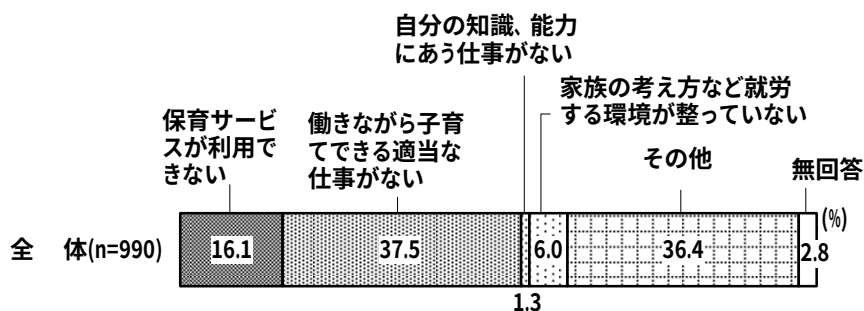
図表 1-3-2-4 希望する1日あたりの就労時間（全体）
＜就労希望がある母親でパート・アルバイトなどを希望すると回答した人＞



◇母親に就労希望がありながら現在働いていない理由

母親に就労希望がありながら現在働いていない理由は、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が 37.5% で最も多くなっている（図表 1-3-2-5）。

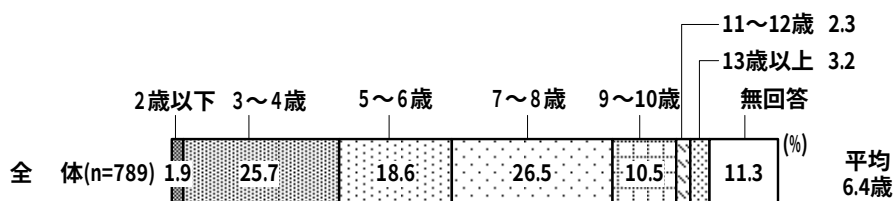
図表 1-3-2-5 母親に就労希望がありながら現在働いていない理由（全体）
＜母親に就労希望があると回答した人＞



◇子どもがある程度大きくなったら就労したいと考えている母親が、就労を希望する時の末子の年齢

子どもがある程度大きくなったら就労したいと考えている母親が、就労を希望する時の末子の年齢は、5歳以降と答える人が61.1%となっている（図表1-3-2-6）。

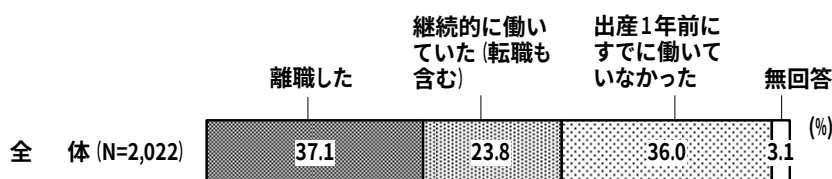
図表1-3-2-6 母親が就労を希望する時の末子の年齢（全体）
＜子どもがある程度大きくなったら就労したいと母親が考えていると回答した人＞



③ 出産前後の離職の経験（問9）

出産前後の離職の経験は、「離職した」が37.1%、「出産1年前にすでに働いていなかった」が36.0%でいずれも30%台であり、「継続的に働いていた（転職も含む）」が23.8%となっている（図表1-3-3）。

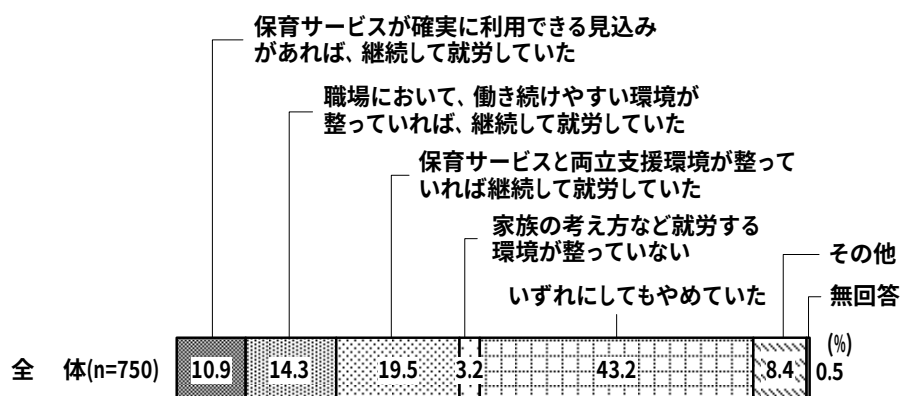
図表1-3-3 出産前後の離職の経験（全体）



④ 保育サービスや環境が整っていたら就労を継続したか（問9-1）

仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら就労を継続したかについては、「いずれにしてもやめていた」が43.2%となっているが、「保育サービスと両立支援環境が整っていれば継続して就労していた」が19.5%、「職場において、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」が14.3%、「保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた」が10.9%であり、両立支援環境が整っていれば就労を継続していた割合を合計すると44.7%となる（図表1-3-4）。

図表1-3-4 保育サービスや環境が整っていたら就労を継続したか（全体）
＜出産前後に母親が「離職した」と回答した人＞

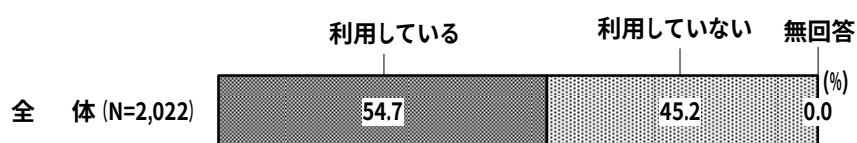


(4) 保育サービスの利用状況

① 保育サービスの利用の有無 (問 10)

保育サービスの利用は、「利用している」が 54.7%、「利用していない」が 45.2%となっている (図表 1-4-1)。

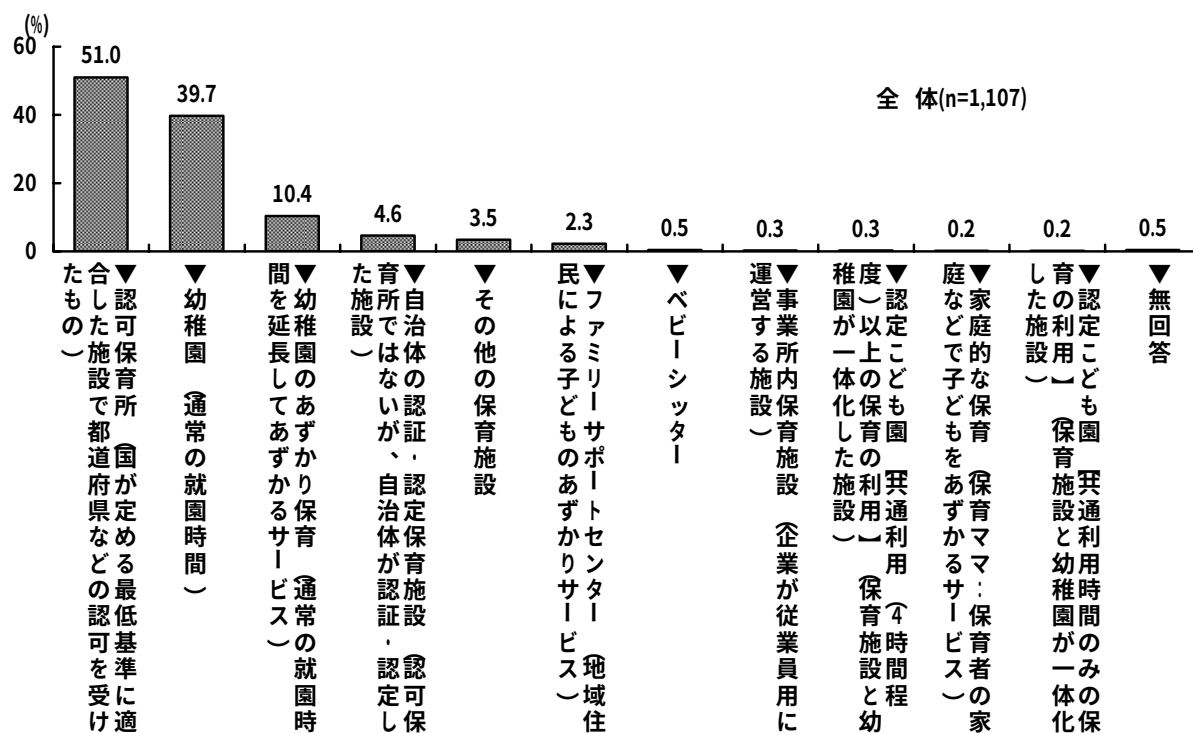
図表 1-4-1 保育サービスの利用の有無 (全体)



② 利用している子育て支援サービスの種類 (問 10-1)

利用している子育て支援サービスは、「認可保育所」が 51.0%で最も多く、次いで「幼稚園」が 39.7%となっている (図表 1-4-2-1)。

図表 1-4-2-1 利用している子育て支援サービスの種類 (全体：複数回答)
 <保育サービスを「利用している」と回答した人>



第2章 各調査の結果

利用している子育て支援サービスについて、子どもをあずかってもらえる人の有無別にみると、あずかってもらえる人がいる人は「幼稚園」で42.6%であり、あずかってもらえる人がいない人の29.3%を13.3ポイント上回っている。

保育サービスを利用している理由別にみると、利用している理由で「特に事情はないが、子どもの教育のため」と回答した人は、「幼稚園」が96.3%となっている（図表1-4-2-2）。

図表1-4-2-2 利用している子育て支援サービスの種類
(全体、子どもをあずかってもらえる人の有無別、保育サービスを利用している理由別：複数回答)
＜保育サービスを「利用している」と回答した人＞

		▼認可保育所 （認定こども園が定める最低基準に適合したもの）	▼幼稚園 （通常の就園時間）	▼幼稚園のあずかり保育 （通常の就園時間を延長してあずかるサービス）	▼自治体の認証・認定保育施設・認可保育施設ではないが、自治体が認証・認定した施設	▼その他の保育施設	▼ファミリーサポートセンター （地域住民による子どものあずかりサービス）	▼ベビーシッター	▼事業所内保育施設 （企業が従業員用に運営する施設）	▼認定こども園 （認定こども園が一体化した施設） （保育施設と幼稚園が一体化した施設）	▼家庭的な保育 （保育ママ：保育者の家庭などで子どもをあずかるサービス）	▼認定こども園 （認定こども園が一体化した施設） （保育施設と幼稚園が一体化した施設）	▼無回答
全 体 (n=1,107)		51.0	39.7	10.4	4.6	3.5	2.3	0.5	0.3	0.2	0.2	0.3	0.5
子どもをあずかってもらえる人の有無	あずかってもらえる人がいる (n= 847)	49.8	42.6	11.1	4.1	2.6	1.7	0.1	0.0	0.2	0.2	0.2	0.5
	あずかってもらえない人がいない (n= 198)	54.0	29.3	7.1	7.1	8.1	5.1	2.5	1.5	0.0	0.0	0.5	0.5
保育サービスを利用している理由	特に事情はないが、子どもの教育のため (n= 400)	0.8	96.3	21.0	0.5	2.0	0.8	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0
	それ以外 (n= 686)	81.5	6.7	4.4	7.1	4.5	2.6	0.9	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0

※子どもをあずかってもらえる人の有無

- あずかってもらえる人がいる：問1で、子どもをあずかってもらえる祖父母などの親族、友人・知人がいると回答した人
- あずかってもらえる人がいない：問1で、子どもをあずかってもらえる人が「いずれもない」と回答した人

③ 保育サービスを利用している日数／週、時間／日、時間帯（開始および終了時間）、利用している理由、施設を選択した理由、施設への要望（問 10－2）

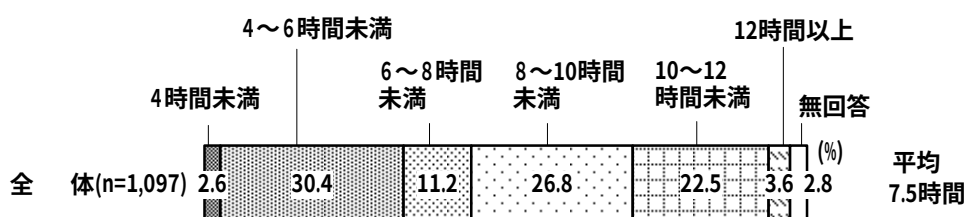
◇保育サービスの利用日数および利用時間

保育サービスを利用している1週あたりの平均日数は5.0日で、1日あたりの平均利用時間は7.5時間となっている（図表1－4－3－1、図表1－4－3－2）。

図表1－4－3－1 保育サービスを利用している日数／週（全体）
＜施設における保育サービスを利用している人＞

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	平均
全体 (n=1,097)	1.7	1.2	1.5	1.4	82.1	9.8	0.1	2.2	5.0日

図表1－4－3－2 保育サービスを利用している時間／日
＜保育サービスを利用している人＞（全体）



◇保育サービスの利用時間帯（開始および終了時間）

保育サービスの利用時間帯は、開始時間は8時と9時が多く、終了時間は14時及び17～18時が多くなっている（図表1－4－3－3）。

図表1－4－3－3 保育サービスの利用時間帯（開始および終了時間）
（全体）＜施設における保育サービスを利用している人＞

●開始時間

	7時以前	8時	9時	10時	11時以降	無回答
全体 (n=1,097)	7.5	33.6	53.7	1.8	2.1	1.3

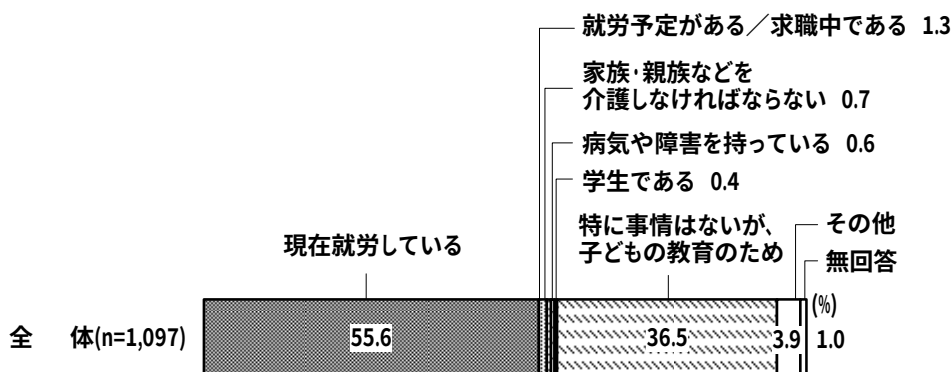
●終了時間

	12時以前	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時以降	無回答
全体 (n=1,097)	1.0	1.8	33.4	4.4	5.7	19.8	22.4	9.6	0.7	1.3

◇保育サービスを利用している理由

保育サービスを利用している理由は、子どもの主たる保育者が「現在就労している」が55.6%で最も多く、次いで「特に事情はないが、子どもの教育のため」が36.5%となっている（図表1-4-3-4）。

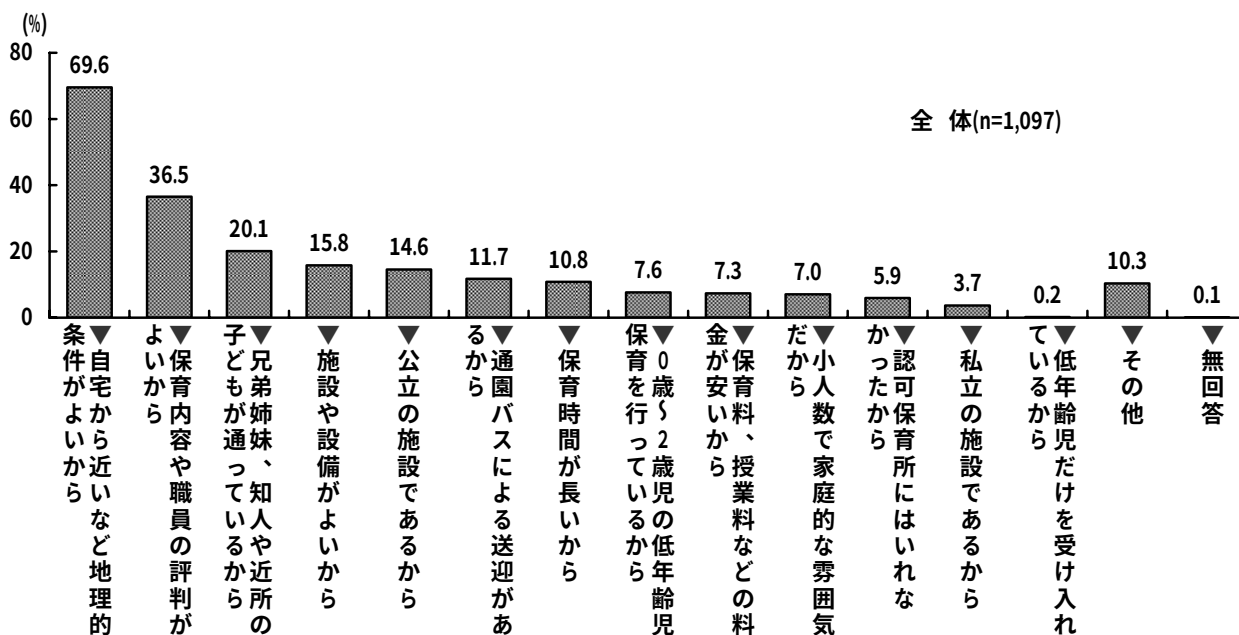
図表1-4-3-4 保育サービスを利用している理由（全体）
＜施設における保育サービスを利用している人＞



◇現在子どもが通っている施設を選択した理由

現在子どもが通っている施設を選択した理由は、「自宅から近いなど地理的条件がよいから」が69.6%で最も多く、次いで「保育内容や職員の評判がよいから」が36.5%、「兄弟姉妹、知人や近所の子どもが通っているから」が20.1%となっている（図表1-4-3-5）。

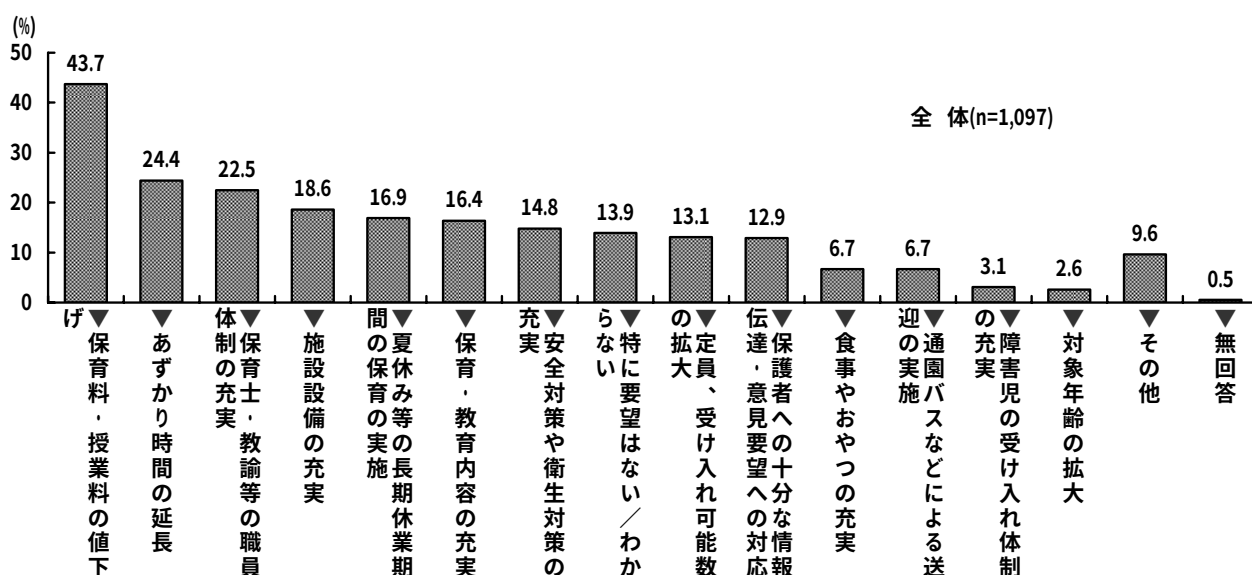
図表1-4-3-5 現在通っている施設を選択した理由（全体：複数回答（3つまで））
＜施設における保育サービスを利用している人＞



◇現在子どもが通っている施設へ望むこと

現在子どもが通っている施設に望むことは、「保育料・授業料の値下げ」が43.7%で最も多く、次いで「あずかり時間の延長」が24.4%、「保育士・教諭等の職員体制の充実」が22.5%となっている（図表1-4-3-6）。

図表1-4-3-6 現在子どもが通っている施設へ望むこと（全体：複数回答）
＜施設における保育サービスを利用している人＞



④ 保育サービスを利用していない理由（問10-3）

保育サービスを利用していない理由は、「必要がない」が51.9%で最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」が13.8%、「あずけたいが、保育サービスに空きがない」が9.6%となっている（図表1-4-4）。

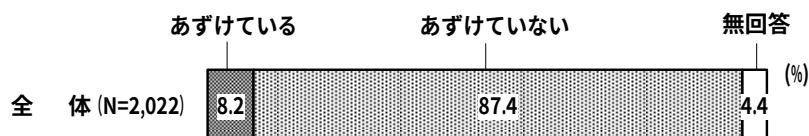
図表1-4-4 保育サービスを利用していない理由（全体）
＜保育サービスを利用していない人＞

	理由が就労して子どもの母親などの必要がない	子どもがみている祖父母や親戚の人	近所の人や父母の友人	あずけたいが、保育サービスに空きがない	あずけたいが、経済的にできない	あずけたいが、時間・夜間などの場所や時間帯の条件が整わない	あずけたいが、保育料が高すぎる	子どもがまだ小さいため	その他	無回答
全体(n=914)	51.9	7.8	0.8	9.6	6.1	0.9	2.0	13.8	4.8	2.4

⑤ あて名の子どもを平日に親族や知人にあずけているか（問 11）

あて名の子どもを平日に親族や知人にあずけているかは、「あずけていない」が 87.4%、「あずけている」が 8.2%となっている（図表 1-4-5）。

図表 1-4-5 あて名の子どもを平日に親族や知人にあずけているか（全体）



⑥ 子どもをあずけている週あたりの日数、時間帯（開始および終了時間）、相手（問 11-1）

◇子どもを親族や知人にあずけている週あたりの日数

子どもを親族や知人にあずけている週あたりの平均日数は、2.6 日となっている（図表 1-4-6-1）。

図表 1-4-6-1 子どもをあずけている日数／週（全体）
＜平日に子どもを親族や知人に「あずけている」と回答した人＞

		1日								平均
		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	
全体	(n=166)	32.5	19.9	10.2	2.4	15.1	3.6	1.2	15.1	2.6日

◇子どもをあずけている時間帯（開始および終了時間）

子どもをあずけている時間帯は、開始時間は「9 時以前」が 24.7%で多くなっている。終了時間は 12 時以前、17 時、18 時、19 時が 10%を超えている（図表 1-4-6-2）。

図表 1-4-6-2 子どもをあずけている時間帯（開始および終了時間）
（全体）＜平日に子どもを親族や知人に「あずけている」と回答した人＞

●開始時間

		9時以前										無回答
		9時以前	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時以降	
全体	(n=166)	24.7	12.7	3.6	4.2	1.8	10.8	8.4	4.8	6.0	10.8	12.0

●終了時間

		12時以前										無回答
		12時以前	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時以降	
全体	(n=166)	11.4	4.8	3.6	4.2	9.6	10.2	13.9	12.0	5.4	7.2	17.5

◇子どもをあずけている相手

子どもをあずけている相手は、「別居している親族」が 66.9%で最も多く、次いで「同居している家族」が 22.3%となっている（図表 1－4－6－3）。

図表 1－4－6－3 子どもをあずけている相手（全体）
＜平日に子どもを親族や知人に「あずけている」と回答した人＞

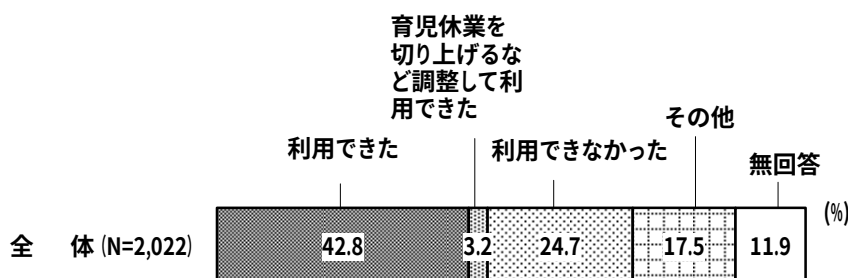


(5) 保育サービスの利用希望

① 希望した時期の保育サービスの利用状況（問 12）

希望した時期に希望した保育サービスを利用できたかは、「利用できた」が 42.8%、「利用できなかった」が 24.7%となっている（図表 1－5－1）。

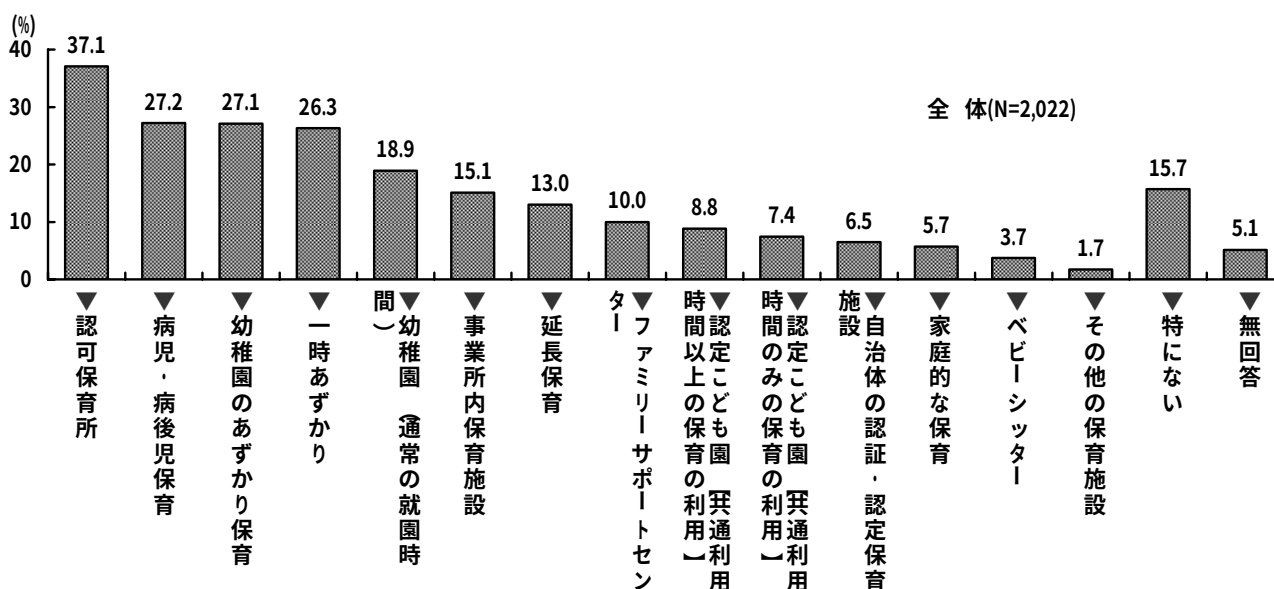
図表 1－5－1 希望した時期の保育サービスの利用状況（全体）



② 保育サービスの利用希望（問 13）

利用したい、あるいは現在足りていないと思う保育サービスは、「認可保育所」が 37.1%で最も多く、次いで「病児・病後児保育」が 27.2%、「幼稚園のあずかり保育」が 27.1%、「一時あずかり」が 26.3%となっている（図表 1－5－2）。

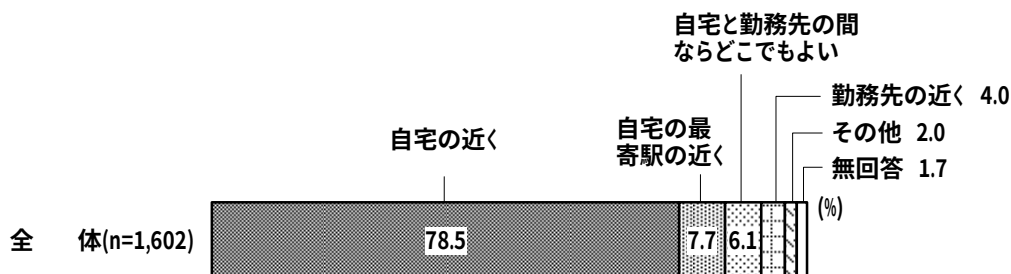
図表 1－5－2 利用したい、現在足りていないと思う保育サービス（全体：複数回答）



③ 子どもをあずけたい場所（問 13-1）

利用したい、現在足りていないと思う保育サービスがある人に子どもをあずけたい場所をたずねた。「自宅の近く」が 78.5%となっている（図表 1－5－3）。

図表 1－5－3 あずけたい場所（全体）
＜利用したい、現在足りていないと思う保育サービスがある人＞



④ 保育サービスの利用を希望する日数／週、時間／日、時間帯、理由

◇保育サービスを利用する週あたりの希望日数、1日あたりの希望時間、希望する時間帯

サービスごとの週あたりの希望日数は、「幼稚園」、「その他の保育施設」、「認可保育所」、「自治体の認証・認定保育施設」で平均 4.8～5.0 日で多くなっている。

1日あたりの希望時間は「自治体の認証・認定保育施設」が平均 9.6 時間で最も多く、次いで「認可保育所」、「その他の保育施設」、「事業所内保育施設」が8時間を超えている（図表 1－5－4－1）。

図表 1－5－4－1 保育サービス利用の希望日数／週、希望時間／日（全体）
 ＜ファミリーサポートセンターを除く【日中の定期的保育】を利用したいと回答した人＞

	希望日数／週 (平均)	希望時間／日 (平均)
認可保育所 (n=562)	4.8日	8.9時間
家庭的な保育 (n= 31)	3.2日	5.5時間
事業所内保育施設 (n=123)	4.5日	8.2時間
自治体の認証・認定保育施設 (n= 51)	4.8日	9.6時間
認定こども園 (共通利用時間のみ利用) (n= 38)	4.3日	7.3時間
認定こども園 (共通利用時間以上の利用) (n= 66)	4.3日	7.4時間
その他の保育施設 (n= 9)	4.9日	8.6時間
幼稚園 (n=233)	5.0日	5.9時間
幼稚園あずかり保育 (n=320)	3.5日	4.4時間
延長保育 (n= 80)	3.2日	4.3時間
ベビーシッター (n= 31)	2.0日	4.7時間

第2章 各調査の結果

サービスごとの利用を希望する時間帯は、ほとんどのサービスで10～14時が多くなっているが、「幼稚園のあずかり保育」では14～16時が多くなっている（図表1－5－4－2）。

図表1－5－4－2 保育サービス利用を希望する時間帯（全体）
＜ファミリーサポートセンターを除く【日中の定期的保育】を利用したいと回答した人＞

(%)

	0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00
認可保育所 (n=562)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	14.6	54.3	89.9	95.0	95.6	95.4
家庭的な保育 (n= 31)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.9	19.4	41.9	51.6	51.6	54.8
事業所内保育施設 (n=123)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	6.5	36.6	80.5	91.1	91.1	91.1
自治体の認証・認定保育施設 (n= 51)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.6	56.9	86.3	94.1	94.1	94.1
認定こども園(共通利用時間のみ利用) (n= 38)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	34.2	78.9	89.5	89.5	89.5
認定こども園(共通利用時間以上の利用) (n= 66)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	37.9	72.7	83.3	84.8	84.8
その他の保育施設 (n= 9)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	66.7	77.8	77.8	66.7
幼稚園 (n=233)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	12.0	91.4	95.7	95.7	94.8
幼稚園あずかり保育 (n=320)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	8.8	28.1	28.4	28.8	29.7
延長保育 (n= 80)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	6.3	13.8	20.0	23.8	23.8	23.8
ベビーシッター (n= 31)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	16.1	25.8	38.7	38.7	41.9

	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	無回答
認可保育所 (n=562)	95.0	93.6	86.7	76.7	50.5	16.7	5.3	2.1	0.9	0.0	0.0	2.5
家庭的な保育 (n= 31)	51.6	51.6	51.6	45.2	38.7	22.6	6.5	6.5	6.5	0.0	0.0	6.5
事業所内保育施設 (n=123)	89.4	86.2	76.4	65.9	37.4	11.4	7.3	3.3	0.0	0.0	0.0	6.5
自治体の認証・認定保育施設 (n= 51)	94.1	94.1	90.2	84.3	66.7	25.5	9.8	2.0	2.0	0.0	0.0	3.9
認定こども園(共通利用時間のみ利用) (n= 38)	84.2	78.9	55.3	47.4	39.5	15.8	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6
認定こども園(共通利用時間以上の利用) (n= 66)	83.3	80.3	71.2	57.6	37.9	10.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1
その他の保育施設 (n= 9)	66.7	66.7	55.6	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1
幼稚園 (n=233)	91.0	49.4	21.5	14.2	3.4	0.9	0.9	0.4	0.0	0.0	0.0	3.9
幼稚園あずかり保育 (n=320)	30.9	86.9	86.3	65.0	27.5	5.3	1.9	0.3	0.0	0.0	0.0	3.4
延長保育 (n= 80)	25.0	57.5	61.3	57.5	52.5	47.5	35.0	10.0	1.3	0.0	0.0	3.8
ベビーシッター (n= 31)	45.2	41.9	38.7	35.5	32.3	32.3	29.0	19.4	6.5	0.0	0.0	16.1

◇保育サービスを利用したい理由

保育サービスを利用したい理由は、「そのうち就労したいと考えている」が42.7%で最も多く、次いで「現在就労している」が16.8%となっている（図表1－5－4－3）。

図表1－5－4－3 保育サービスを利用したい理由（全体）
＜ファミリーサポートセンターを除く【日中の定期的保育】を利用したいと回答した人＞

(%)

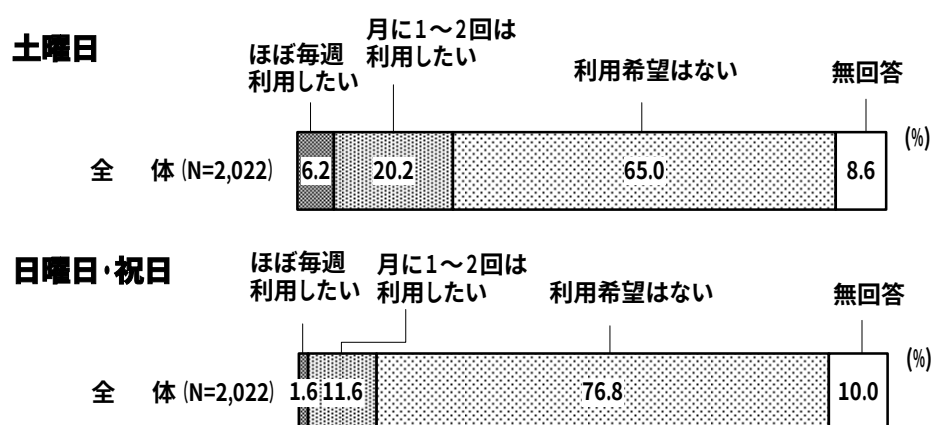
	現在就労している	もともと就労していたが、現在就労しているが増えた	中々就労予定がある／求職中	考えているうちに就労したい	子どもの就労を希望するが、なかなか見つからない	家族・親族などを介護する必要がある	病気や障害を持っている	学生である／就学したい	その他	無回答
全 体(n=1,336)	16.8	7.2	6.4	42.7	11.7	0.8	0.5	0.4	5.6	7.9

⑤ 土曜日、日曜日・祝日の保育サービスの利用希望、時間帯（問 14）

◇保育サービスの利用希望

保育サービスの利用希望は、土曜日では「ほぼ毎週利用したい」が6.2%、「月に1～2回は利用したい」が20.2%であり、合計すると利用したい人は26.4%となる。日曜日・祝日では「ほぼ毎週利用したい」が1.6%、「月に1～2回は利用したい」が11.6%であり、合計すると利用したい人は13.2%となる（図表1-5-5-1）。

図表1-5-5-1 土曜日、日曜日・祝日の保育サービスの利用希望（全体）



◇希望する利用時間帯（開始および終了時間）

保育サービスの利用を希望した人の希望する利用時間帯は、開始時間は土曜日、日曜日・祝日ともに8～9時が多く、終了時間は17～19時が多くなっている（図表1-5-5-2）。

図表1-5-5-2

土曜日、日曜日・祝日の保育サービスの利用希望時間帯（開始および終了時間）
（全体）＜利用希望があると回答した人＞

●開始時間

		7時以前	8時	9時	10時	11時以降	無回答
土曜日	(n=534)	10.3	33.1	41.4	8.2	4.3	2.6
日曜日・祝日	(n=267)	9.4	30.3	40.1	11.2	5.6	3.4

●終了時間

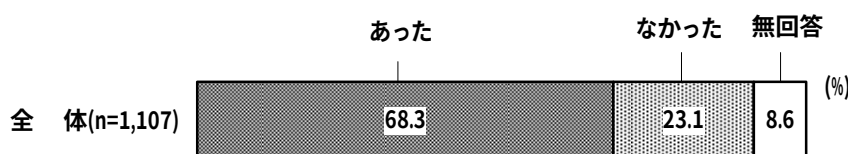
		12時以前	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時以降	無回答
土曜日	(n=534)	3.6	2.1	3.7	8.4	9.6	25.1	28.8	11.6	3.9	3.2
日曜日・祝日	(n=267)	2.6	1.9	3.4	7.1	9.0	23.6	29.2	13.9	6.0	3.4

(6) 子どもが病気の場合の対応

① 病気やケガで保育サービスを利用できなかったことの有無 (問 15)

この1年間に子どもが病気やケガで通常の保育サービスを利用できなかったことの有無は、「あった」が68.3%となっている(図表1-6-1)。

図表1-6-1 この1年間に病気やケガで保育サービスを利用できなかったことの有無
(全体) <保育サービスを利用していると回答した人>



② 病気やケガで保育サービスを利用できなかったときの対処方法と日数 (問 15-1)

◇病気やケガで保育サービスを利用できなかった時の対処方法と対処した日数

この1年間に子どもが病気やケガで保育サービスを利用できなかったときの対処方法は「母親が仕事を休んだ」が64.6%で最も多くなっている(図表1-6-2-1)。

図表1-6-2-1 病気やケガで保育サービスを利用できなかったときの対処方法と対処した平均日数
(全体：複数回答)

<この1年間に病気やケガで保育サービスを利用できなかったことが「あった」と回答した人>

(n=756)

対処方法	割合 (%)	平均日数 (日)
母親が仕事を休んだ	64.6	8.1
就労していない保護者が自宅でみた	32.1	9.6
父親が仕事を休んだ	31.1	3.8
親族・知人(同居者を含む)にあずけた	31.1	7.2
子連れで仕事をした(出勤・在宅とも)	4.0	5.6
病院や診療所の病児・病後児保育を利用した	1.7	7.1
子どもだけで留守番させた	1.5	3.4
ベビーシッターを利用した	0.8	7.8
認可保育所の病後児保育を利用した	0.7	6.3
非営利組織(NPOなど)による子育て支援サービスを利用した	0.5	11.3
ファミリーサポートセンターを利用した	0.5	4.3
子ども家庭支援センターしらとりの病後児保育を利用した	0.3	2.0
その他	3.0	9.6
無回答	0.0	

この1年間に子どもが病気やケガで保育サービスを利用できなかったときの対処方法を年齢別にみると、「子どもだけで留守番させた」と回答しているのは3歳以上であり、4歳、5歳では3%を超えている（図表1-6-2-2）。

図表1-6-2-2 病気やケガで保育サービスを利用できなかったときの対処方法
(全体、年齢別：複数回答)

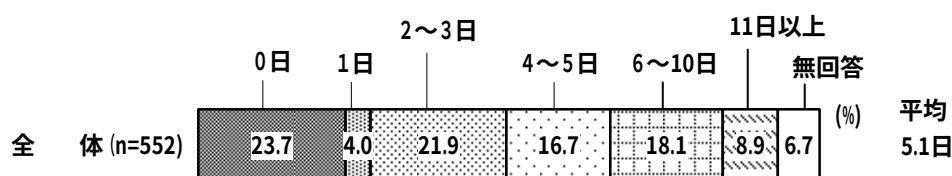
＜この1年間に病気やケガで保育サービスを利用できなかったことが「あった」と回答した人＞

		▼母親が仕事を休んだ	▼就労していない保護者が自宅でみた	▼父親が仕事を休んだ	▼親族・知人（同居者を含む）にあずけた	▼子どもだけで仕事をした（出勤・在宅とも）	▼病院や診療所の病児・病後児保育を利用した	▼子どもだけで留守番させた	▼ベビーシッターを利用した	▼認可保育所の病後児保育を利用した	▼非営利組織（NPOなど）による子育て支援サービスを利用した	▼ファミリーサポートセンターを利用した	▼子ども家庭支援センターしらの病後児保育を利用した	▼その他	▼無回答
全 体 (n=756)		64.6	32.1	31.1	31.1	4.0	1.7	1.5	0.8	0.7	0.5	0.5	0.3	3.0	0.0
年 齢 別	0 歳 (n=52)	92.3	17.3	46.2	42.3	5.8	5.8	0.0	1.9	5.8	0.0	0.0	1.9	1.9	0.0
	1 歳 (n=100)	86.0	8.0	50.0	52.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	2.0	1.0	6.0	0.0
	2 歳 (n=100)	80.0	16.0	43.0	36.0	4.0	4.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0	0.0	3.0	0.0
	3 歳 (n=178)	52.2	43.8	21.9	22.5	3.4	1.7	0.6	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0
	4 歳 (n=164)	53.7	43.3	25.0	25.0	3.0	1.2	3.0	0.6	0.0	1.2	0.6	0.0	1.8	0.0
	5 歳 (n=158)	57.6	37.3	23.4	27.2	6.3	0.6	3.2	1.3	0.0	0.6	0.0	0.0	2.5	0.0

◇できれば施設にあずけたいと思った日数

この1年間に子どもが病気やケガで保育サービスを利用できなかったときの対処方法として、「父母が仕事を休んだ」、「親族・知人にあずけた」、「子連れで仕事をした」、「子どもだけで留守番させた」と回答した人の、できれば施設にあずけたいと思った日数をたずねたところ、1年間で平均5.1日となっている（図表1-6-2-3）。

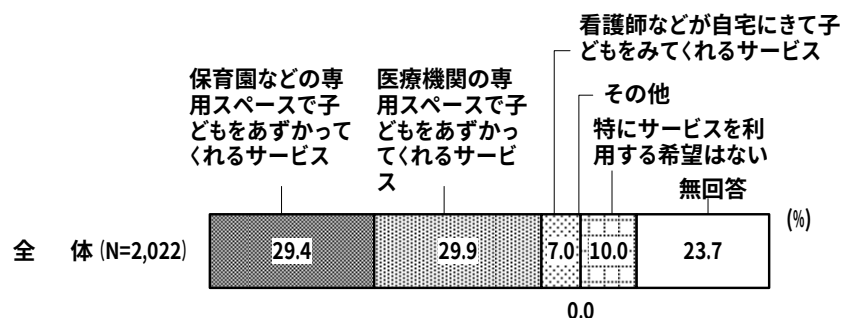
図表1-6-2-3 できれば施設にあずけたいと思った日数【病児・病後児保育の利用希望】（全体）
＜対処方法として「父母が仕事を休んだ」、「親族・知人にあずけた」、「子連れで仕事をした」、「子どもだけで留守番させた」と回答した人＞



③ 医療機関と連携したサービスで良いと思うもの（問 16）

子どもの病中病後に利用できる医療機関と提携したサービスのなかで良いと思うものは、「医療機関の専用スペースで子どもをあずかってくれるサービス」が 29.9%、「保育園などの専用スペースで子どもをあずかってくれるサービス」が 29.4%とともに 30%弱となっている（図表 1－6－3）

図表 1－6－3 医療機関と連携したサービスで良いと思うもの（全体）

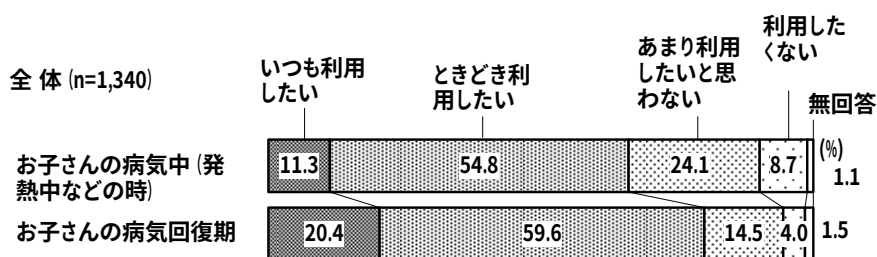


④ 医療機関と連携したサービスを希望する頻度（問 16－1）

医療機関と連携したサービスを希望する頻度は、子どもの病氣中では「いつも利用したい」の 11.3%と「ときどき利用したい」の 54.8%を合計すると 66.1%となる。病氣回復期では「いつも利用したい」の 20.4%と「ときどき利用したい」の 59.6%を合計すると 80.0%となる（図表 1－6－4）。

図表 1－6－4 希望する利用頻度（病氣中、病氣回復期）（全体）

<病氣中や病氣回復期に医療機関と連携したサービスの利用を希望すると回答した人>

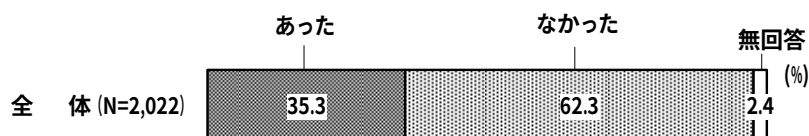


(7) 一時あずかり

① 自分の時間等のために子どもを家族以外にあずけたことの有無（問 17）

この1年間に、自分のための時間等のために、子どもを家族以外に一時的にあずけたことは、「あった」が 35.3%、「なかった」が 62.3%となっている（図表 1－7－1）。

図表 1－7－1 この1年間に自分の時間等のために子どもを家族以外にあずけたことの有無（全体）

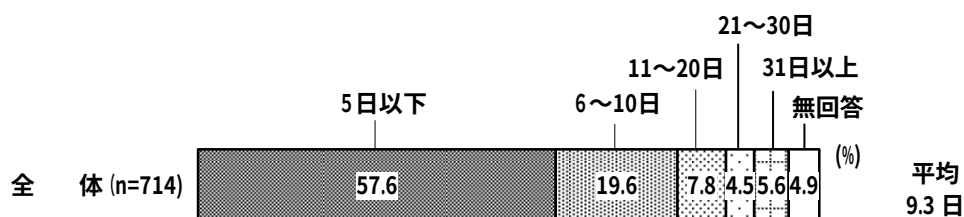


② 子どもをあずけた日数および理由別日数（問 17－1）

◇自分の時間等のために子どもを家族以外にあずけた日数

この1年間に自分の時間等のために子どもを家族以外にあずけた日数は、平均 9.3 日となっている（図表 1－7－2－1）。

図表 1－7－2－1 この1年間に自分の時間等のために子どもを家族以外にあずけた日数（全体）＜自分の時間等のために子どもを家族以外にあずけたことが「あった」と回答した人＞



◇子どもを家族以外にあずけた理由ごとの日数

子どもを家族以外にあずけた理由は「自分のための時間、リフレッシュ目的」が 64.8%で最も多く、理由ごとの年間平均日数は「就労」が 15.0 日で最も長くなっている（図表 1－7－2－2）。

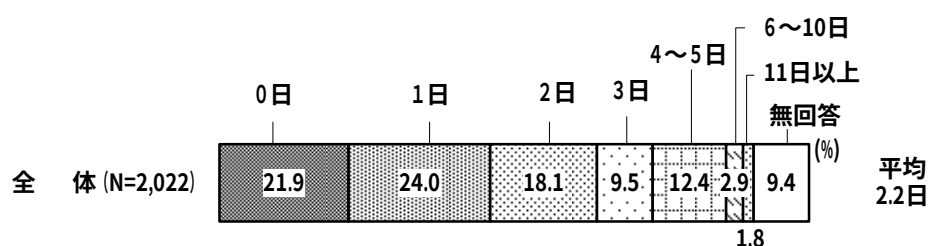
図表 1－7－2－2 子どもを家族以外にあずけた理由ごとの日数（全体：複数回答）
＜自分の時間等のために子どもを家族以外にあずけたことが「あった」と回答した人＞
(n=714)

対処方法	割合 (%)	平均日数 (日)
自分のための時間 (買物、習いごとなど)、リフレッシュ目的	64.8	5.9
冠婚葬祭、子どもの親の病気	28.9	3.2
就労	19.5	15.0
その他	28.4	7.0
無回答	0.8	

③ 子どもを一時的にあずけるサービスの希望利用日数／月（問 18）

子どもを一時的にあずけるサービスの希望利用日数は、月あたり平均 2.2 日となっている（図表 1－7－3）。

図表 1－7－3 子どもを一時的にあずけるサービスの希望利用日数／月（全体）



④ 子どもを一時的にあずける際に希望するサービス（問 19）

日中一時的に子どもをあずける際に希望するサービスは、「認可保育所・幼稚園で子どもをあずかってくれるサービス」が73.8%で最も多く、次いで「普段子ども連れで遊びに行っている公共施設などで子どもをあずかってくれるサービス」が29.8%となっている。

祖父母や友人からの支援の有無別にみると、支援が受けられない世帯は「ファミリーサポートセンターの利用」、「非営利組織（NPOなど）による子育て支援サービス」、「ベビーシッターの利用」が全体を2.0ポイント以上上回っている（図表1-7-4）。

図表1-7-4 子どもを一時的にあずける際に希望するサービス
（全体、祖父母や友人からの支援の有無別：複数回答）

		▼認可保育所・幼稚園で子どもをあずかるサービス	▼公共施設などで子どもを遊びに行かせるサービス	▼認可外保育施設（託児所など）で子どもをあずかるサービス	▼ファミリーサポートセンターの利用	▼保育士などが自宅にきて子どもをみてくれるサービス	▼近所の知り合いが子どもをみてくれるサービス	▼保育士などがその自宅（保育士の自宅）で子どもをあずかるサービス	▼非営利組織（NPOなど）による子育て支援サービス	▼ベビーシッターの利用	▼その他	▼特にサービスを利用する希望はない	▼無回答
全 体 (n=2,022)		73.8	29.8	17.0	12.5	8.8	8.8	8.3	8.1	4.7	1.0	9.0	4.6
祖父母や友人からの支援の有無別	日常的に支援が受けられる(※1) (n= 341)	66.9	29.9	15.5	9.4	7.6	8.8	7.3	9.1	2.6	0.9	11.1	7.0
	緊急時に支援が受けられる(※2) (n=1,230)	76.2	30.0	17.2	12.8	8.5	9.2	7.9	7.2	4.8	1.0	8.8	3.8
	支援が受けられない(※3) (n= 353)	74.2	29.5	18.4	15.0	9.9	8.5	9.6	11.0	7.4	1.4	7.9	3.7

（祖父母や友人からの支援の有無別）

※1：日常的に祖父母や友人に子どもをあずけられる人

※2：緊急時などの際には祖父母や友人に子どもをあずけられる人

※3：子どもをあずけられる祖父母・友人がいない人

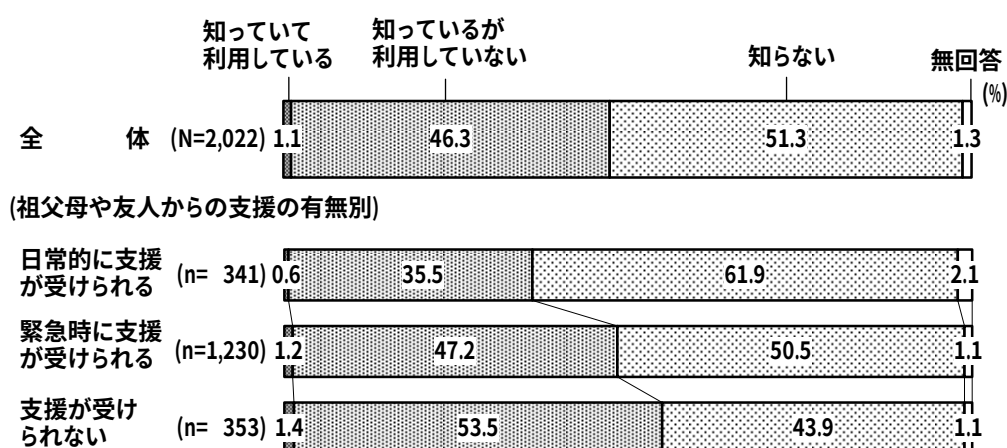
(8) トワイライトステイ、ショートステイ、産前産後家庭サポート

① トワイライトステイの認知、利用状況 (問 20)

トワイライトステイの認知、利用状況は、「知らない」が51.3%で約半数を占めているが、「知っていて、利用している」の1.1%と「知っているが、利用していない」の46.3%を合計した認知状況は47.4%となっている。

祖父母や友人からの支援の有無別にみると、支援が少なくなるにしたがい、認知度、利用度ともに高くなっている (図表1-8-1)。

図表1-8-1 トワイライトステイの認知、利用状況 (全体、祖父母や友人からの支援の有無別)



② トワイライトステイについての要望 (問 20-1)

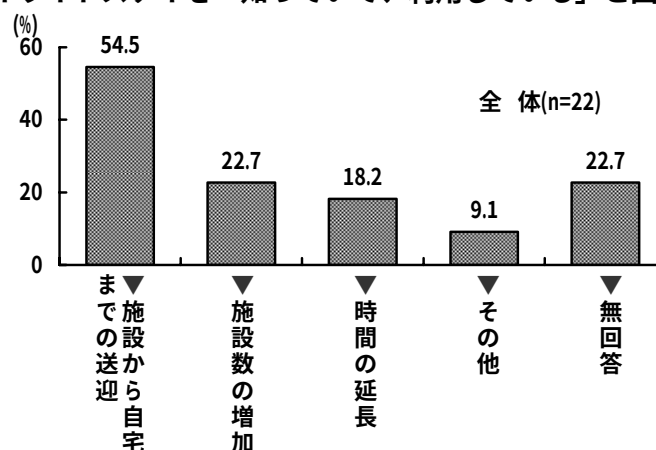
◇トワイライトステイの利用者が改善点として望むこと

トワイライトステイを利用している人が改善点として望んでいることは、「施設から自宅までの送迎」が54.5%で最も多く、次いで「施設数の増加」が22.7%となっている (図表1-8-2)。

なお、「時間の延長」を望んでいる人は18.2% (4名) おり、希望する利用時間帯はそれぞれ、18時、20時、21時までとなっている。

図表1-8-2 トワイライトステイの利用者からの要望 (全体：複数回答)

<トワイライトステイを「知っていて、利用している」と回答した人>



③ 泊りがけの外出の際、子どもを連れて行くことが困難であったことの有無(問 21)

この1年間に泊りがけの外出の際に子どもを連れて行くことが困難であったことの有無は、「あった」が9.4%、「なかった」が87.6%となっている(図表1-8-3)。

図表1-8-3

この1年間に泊りがけの外出の際、子どもを連れて行くことが困難であったことの有無(全体)



④ 泊りがけで子どもを連れて行くことが困難であった際の対処方法と泊数(問 21-1)

この1年間に泊りがけの外出の際に子どもを連れて行くことが困難であった際の対処の方法は、「親族・知人にあずけた」が74.7%で最も多く、次いで「子どもを連れて行った」が23.7%となっている。

対処した方法ごとの平均泊数は、「親族・知人にあずけた」が5.0泊で最も多くなっている(図表1-8-4)。

図表1-8-4 泊りがけで子どもを連れて行くことが困難であった際の対処方法と泊数
(全体：複数回答)

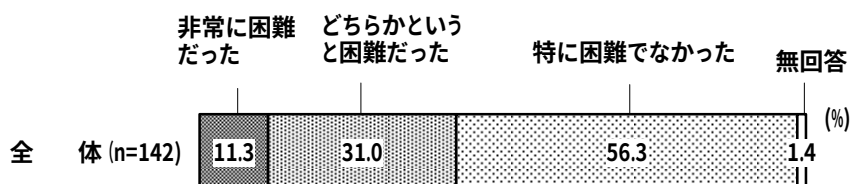
＜この1年間に泊りがけの外出の際、子どもの同伴が困難なことが「あった」と回答した人＞
(n=190)

対処方法	割合 (%)	平均泊数 (泊)
親族・知人(同居者を含む)にあずけた	74.7	5.0
子どもを連れて行った	23.7	2.2
保育サービスを利用した	0.5	4.0
子どもだけで留守番させた	0.0	-
その他	4.2	3.6
無回答	1.1	

⑤ 子どもを親族・知人にあずけることの困難さ(問 21-2)

泊りがけの外出の際、子どもを親族・知人にあずける困難さは、「特に困難でなかった」が56.3%であるが、「非常に困難だった」の11.3%と「どちらかという困難だった」の31.0%を合計すると、困難と答えた人は42.3%となる(図表1-8-5)。

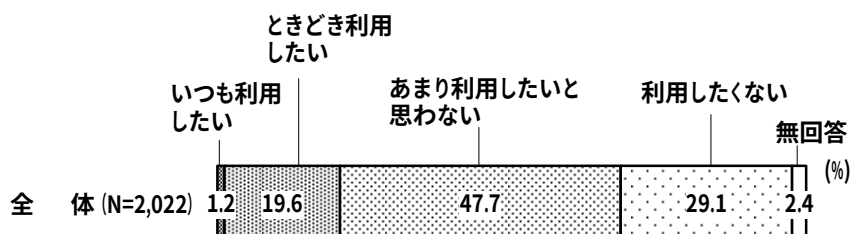
図表1-8-5 子どもを親族・知人にあずけることの困難さ(全体)
＜泊りがけの外出の際に子どもを「親族・知人にあずけた」と回答した人＞



⑥ ショートステイの利用意向（問 22）

ショートステイの利用意向は、「いつも利用したい」の 1.2%と、「ときどき利用したい」の 19.6%を合計すると 20.8%となる（図表 1－8－6）。

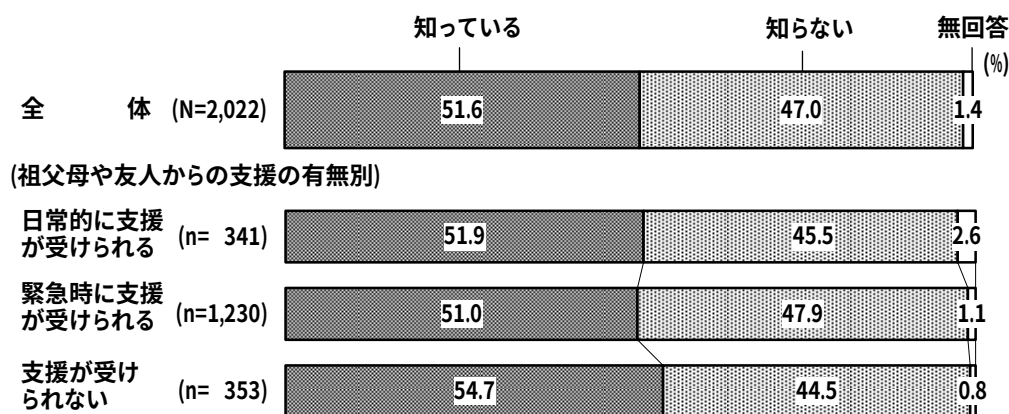
図表 1－8－6 ショートステイの利用意向（全体）



⑦ 産前産後家庭サポートの認知度、利用意向（問 23①）

産前産後家庭サポートの認知度は、「知っている」が 51.6%で「知らない」が 47.0%とほぼ半数ずつとなっている。

祖父母や友人からの支援の有無別に認知状況をみると、支援を受けられない世帯は「知っている」の割合が若干高くなっている（図表 1－8－7）。

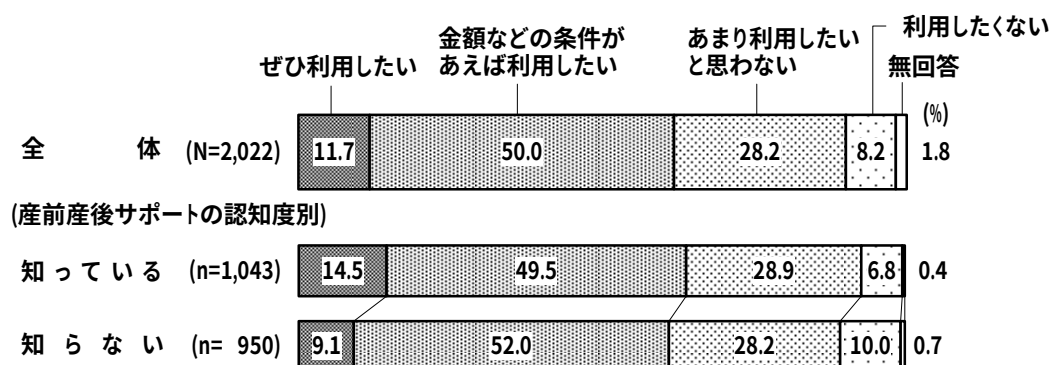
図表 1－8－7 産前産後家庭サポートの認知度
（全体、祖父母や友人からの支援の有無別）

⑧ 産前産後家庭サポートの利用意向（問 23②）

産前産後家庭サポートの利用意向は、「ぜひ利用したい」が11.7%であり、「金額などの条件があれば利用したい」が50.0%となっている。

産前産後サポートの認知度別にみると、産前産後家庭サポートを知らない人でも、「ぜひ利用したい」が9.1%となっている（図表1-8-8）。

図表1-8-8 産前産後家庭サポートの利用意向（全体）

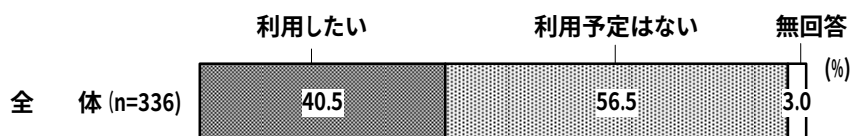


(9) 学童クラブ、放課後子ども教室 ※子どもが来年度就学予定の人のみに質問

① 学童クラブ・放課後子ども教室の利用意向、希望する日数／週（問 24）

◇学童クラブの利用意向

子どもが来年度就学予定の人に、学童クラブの利用意向は、「利用したい」が40.5%となっている（図表1-9-1-1）。

図表1-9-1-1 学童クラブの利用意向（全体）
<子どもが来年度就学予定の人>

◇学童クラブの利用を希望する週あたりの日数

子どもが来年度就学予定で、学童クラブを「利用したい」と回答した人に、利用を希望する週あたりの日数は、平均4.4日となっている（図表1-9-1-2）。

図表1-9-1-2 学童クラブの利用を希望する日数／週（全体）
＜子どもが来年度就学予定で、学童クラブを「利用したい」と回答した人＞

		（％）								
		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	平均
全体	(n=136)	2.9	5.1	12.5	11.8	63.2	4.4	0.0	0.0	4.4日

◇放課後子ども教室の利用意向

子どもが来年度就学予定の人に、放課後子ども教室の利用意向は、「利用したい」が77.1%となっている（図表1-9-1-3）。

図表1-9-1-3 放課後子ども教室の利用意向（全体）
＜子どもが来年度就学予定の人＞



◇放課後子ども教室の利用を希望する週あたりの日数

子どもが来年度就学予定で、放課後子ども教室を「利用したい」と回答した人に、利用を希望する週あたりの日数は、平均3.0日となっている（図表1-9-1-4）。

図表1-9-1-4 放課後子ども教室の利用を希望する日数／週（全体）
＜子どもが来年度就学予定で、放課後子ども教室を「利用したい」と回答した人＞

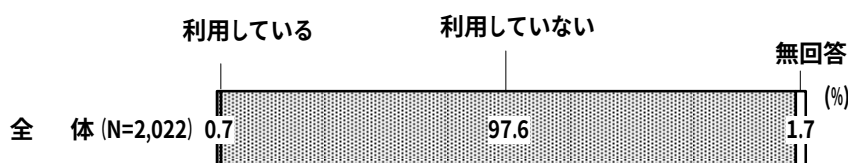
		（％）								
		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	平均
全体	(n=259)	17.8	22.0	25.1	9.3	17.4	2.7	0.4	5.4	3.0日

(10) ベビーシッター

① ベビーシッター利用の有無（問 25）

ベビーシッターの利用状況は、「利用していない」が97.6%となっている（図表1-10-1）。

図表1-10-1 ベビーシッター利用の有無（全体）

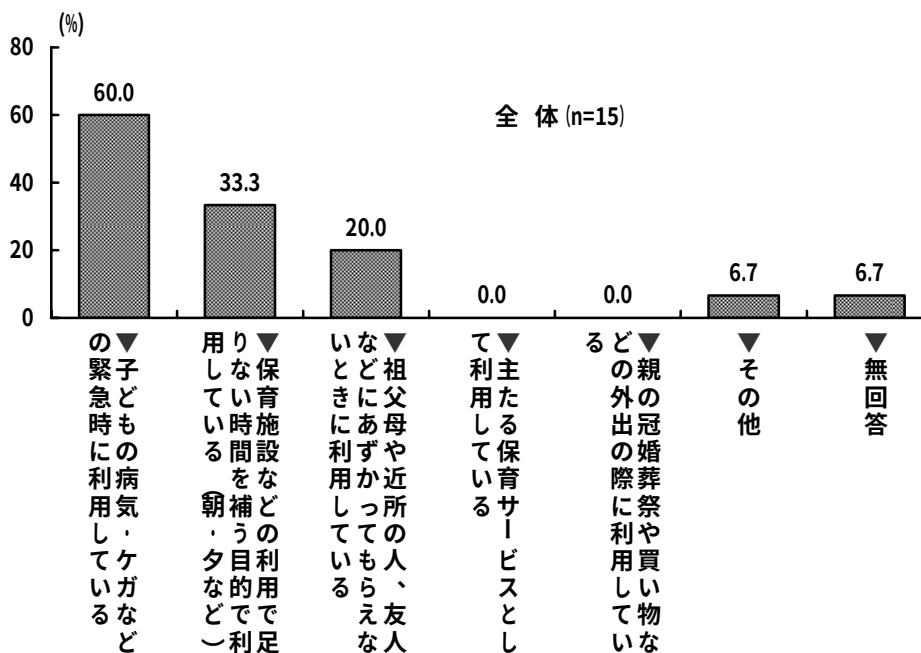


② ベビーシッター利用目的、日数／月、1回あたりの時間（問 25-1）

◇ベビーシッターの利用目的

ベビーシッターの利用目的は、「子どもの病気・ケガなどの緊急時に利用している」が60.0%と最も多く、次いで「保育施設などの利用で足りない時間を補う目的で利用している」が33.3%となっている（図表1-10-2-1）。

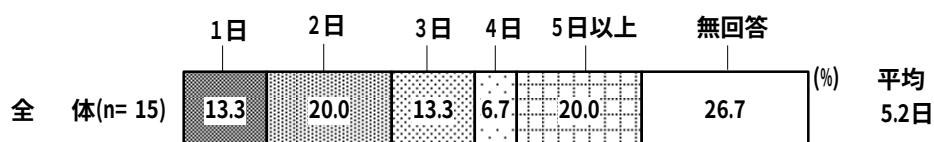
図表1-10-2-1 ベビーシッター利用目的（全体：複数回答）
＜ベビーシッターを「利用している」と回答した人＞



◇ベビーシッターの月あたりの利用日数

ベビーシッターの月あたりの利用日数は、平均 5.2 日程度となっている（図表 1-10-2-2）。

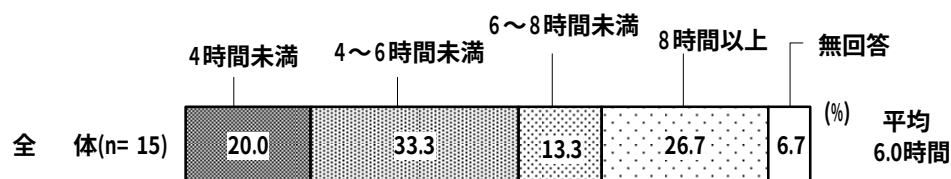
図表 1-10-2-2 ベビーシッターの利用日数／月（全体）
＜ベビーシッターを「利用している」と回答した人＞



◇ベビーシッターの1回あたりの利用時間

ベビーシッターの1回あたりの利用時間は、平均 6.0 時間程度となっている（図表 1-10-2-3）。

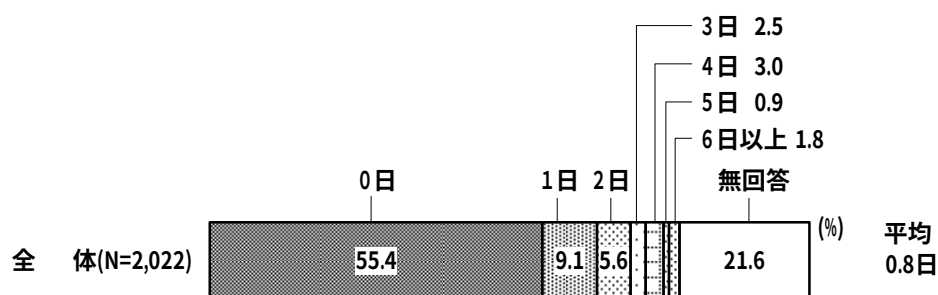
図表 1-10-2-3 ベビーシッターの1回あたりの利用時間（全体）
＜ベビーシッターを「利用している」と回答した人＞



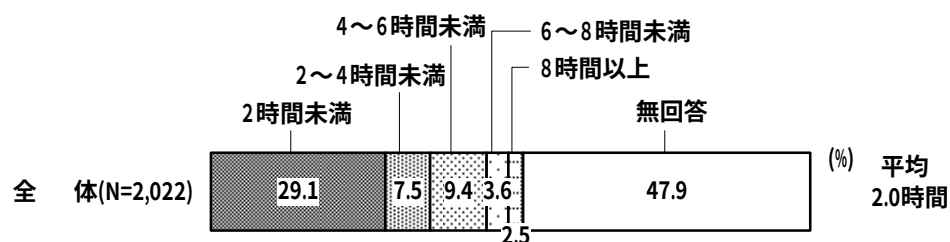
③ ベビーシッターの利用希望日数／月、1回あたりの時間（問 26）

ベビーシッターの月あたりの利用希望日数は平均 0.8 日、1回あたりの利用希望時間は平均 2.0 時間となっている（図表 1-10-3-1、図表 1-10-3-2）。

図表 1-10-3-1 ベビーシッターの利用希望日数／月（全体）



図表 1-10-3-2 ベビーシッターの1回あたりの利用希望時間（全体）



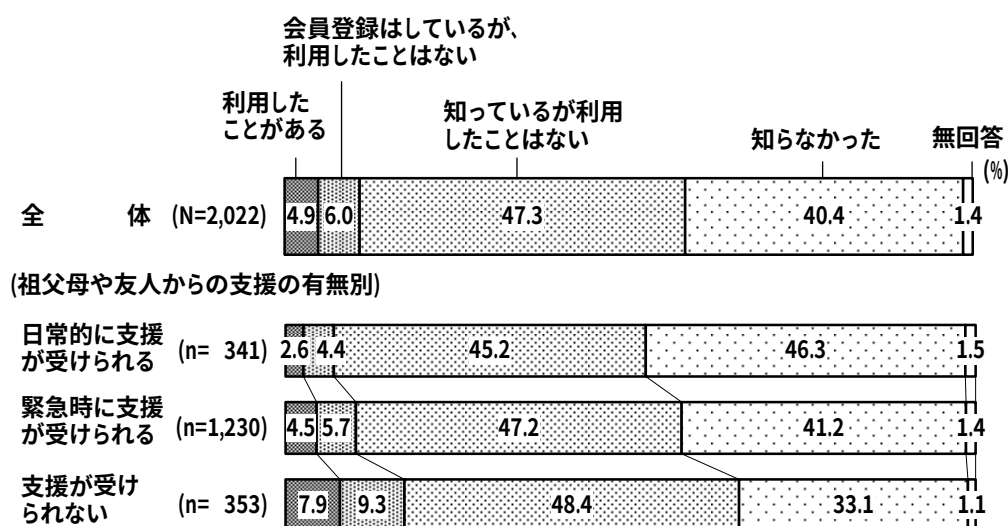
(11) ファミリーサポートセンター

① ファミリーサポートセンターの認知、利用状況（問 27）

ファミリーサポートセンターの認知、利用状況は、「利用したことがある」が4.9%であり、「会員登録はしているが、利用したことはない」の6.0%と、「知っているが利用したことはない」の47.3%を含めると、認知度は58.2%となっている。

祖父母や友人からの支援の有無別にみると、支援が少なくなるにしたがい、認知度、利用度ともに高くなっている（図表1-11-1-1）。

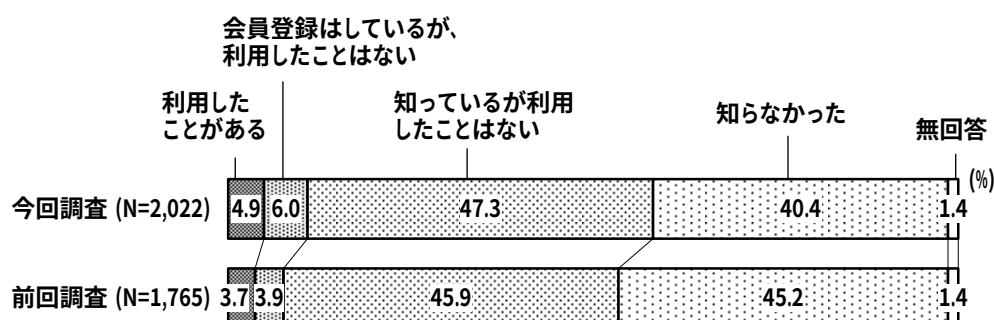
図表1-11-1-1 ファミリーサポートセンターの認知、利用状況
（全体、祖父母や友人からの支援の有無別）



<前回調査との比較>

前回調査と比較すると、ファミリーサポートセンターの認知、利用状況は、今回調査では「利用したことがある」が4.9%で前回調査の3.7%に比べ1.2ポイント多くなっている。「会員登録はしているが、利用したことはない」、「知っているが利用したことはない」まで含めた認知度は、今回調査が58.2%で前回調査の53.5%に比べ4.7ポイント多くなっている（図表1-11-1-2）。

図表1-11-1-2 ファミリーサポートセンターの認知、利用状況（全体）

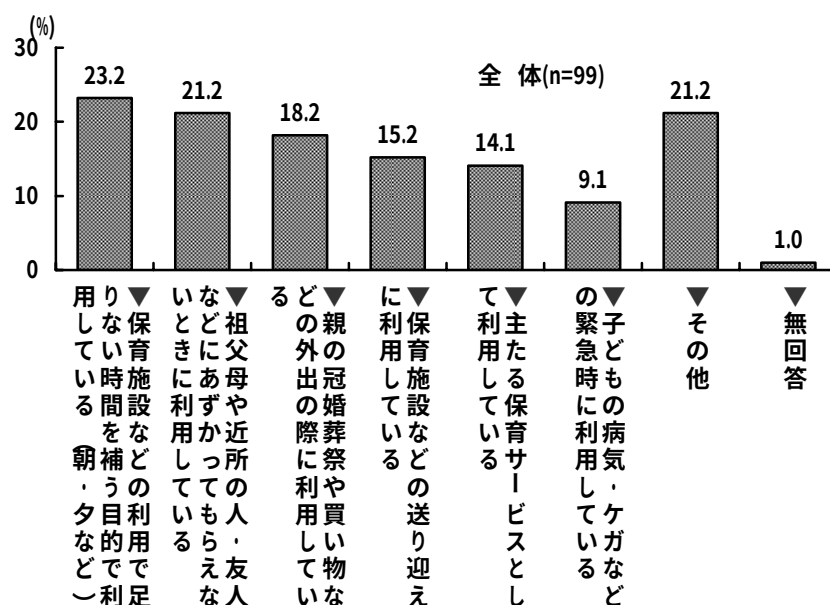


② ファミリーサポートセンターの利用目的、利用日数／月・1回あたりの利用時間、追加希望日数／月・1回あたりの利用時間（問 27－1）

◇ファミリーサポートセンターの利用目的

ファミリーサポートセンター利用の目的は、「保育施設などの利用で足りない時間を補う目的で利用している」が23.2%で最も多く、次いで「祖父母や近所の人・友人などにあずかってもらえないときに利用している」が21.2%となっている（図表1－11－2－1）。

図表1－11－2－1 ファミリーサポートセンターの利用目的（全体：複数回答）
＜ファミリーサポートセンターを「利用したことがある」と回答した人＞



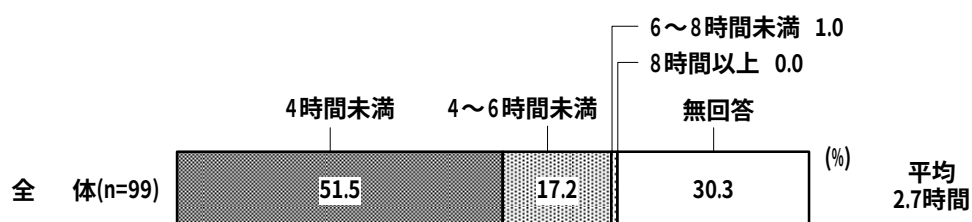
◇ファミリーサポートセンターの利用頻度

月あたりの平均利用日数は3.9日、1回あたりの平均利用時間は2.7時間となっている（図表1－11－2－2、図表1－11－2－3）。

図表1－11－2－2 ファミリーサポートセンターの利用日数／月（全体）
＜ファミリーサポートセンターを「利用したことがある」と回答した人＞



図表1－11－2－3 ファミリーサポートセンターの1回あたりの利用時間（全体）
＜ファミリーサポートセンターを「利用したことがある」と回答した人＞



◇月あたりの追加希望日数および1回あたりの追加希望時間

ファミリーサポートセンターの追加利用を希望する場合の、月あたりの平均追加希望日数は4.4日、1回あたりの平均追加希望時間は2.5時間となっている（図表1-11-2-4、図表1-11-2-5）。

図表1-11-2-4 ファミリーサポートセンターの利用を増加する際の追加希望日数/月
（全体）＜ファミリーサポートセンターを「利用したことがある」と回答した人＞

		(%)								平均
		0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日以上	無回答	
全体	(n=99)	4.0	1.0	3.0	1.0	0.0	2.0	3.0	85.9	4.4日

図表1-11-2-5 ファミリーサポートセンターの利用を増加する際の追加希望時間/回
（全体）＜ファミリーサポートセンターを「利用したことがある」と回答した人＞

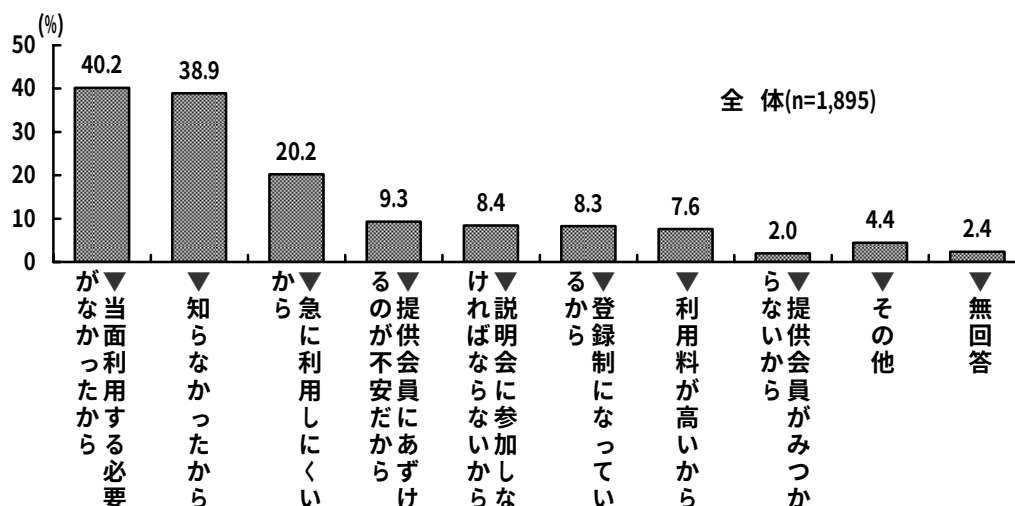
		(%)						平均
		2時間未満	2～4時間未満	4～6時間未満	6～8時間未満	8時間以上	無回答	
全体	(n=99)	7.1	1.0	3.0	1.0	1.0	86.9	2.5時間

③ ファミリーサポートセンターを利用していない理由、今後の利用意向（問27-2）

◇ファミリーサポートセンターを利用していない理由

ファミリーサポートセンターを利用していない理由は、「当面利用する必要がなかったから」が40.2%で最も多く、次いで「知らなかったから」が38.9%となっている（図表1-11-3-1）。

図表1-11-3-1 ファミリーサポートセンターを利用していない理由（全体：複数回答）
＜ファミリーサポートセンターを「利用したことはない」と回答した人＞



◇ファミリーサポートセンターの今後の利用意向

ファミリーサポートセンターの今後の利用意向は、「利用したい」が 21.4%となっている（図表 1-11-3-2）。

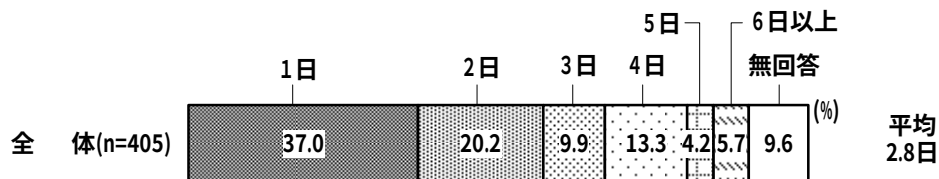
図表 1-11-3-2 ファミリーサポートセンターの今後の利用意向
＜ファミリーサポートセンターを「利用したことはない」と回答した人＞（全体）



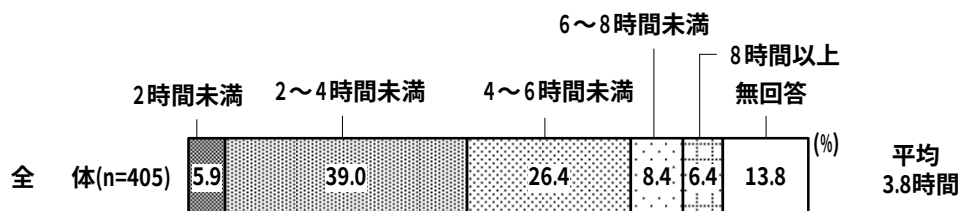
◇ファミリーサポートセンターを今後利用する際の希望利用頻度

今後ファミリーサポートセンターの利用を希望する人の月あたりの平均希望日数は 2.8 日、1 回あたりの平均希望時間は 3.8 時間となっている（図表 1-11-3-3、図表 1-11-3-4）。

図表 1-11-3-3 今後ファミリーサポートセンターを利用する際の月あたりの希望日数（全体）
＜今後ファミリーサポートセンターを「利用したい」と回答した人＞



図表 1-11-3-4 今後ファミリーサポートセンターを利用する際の 1 回あたりの希望時間（全体）
＜今後ファミリーサポートセンターを「利用したい」と回答した人＞

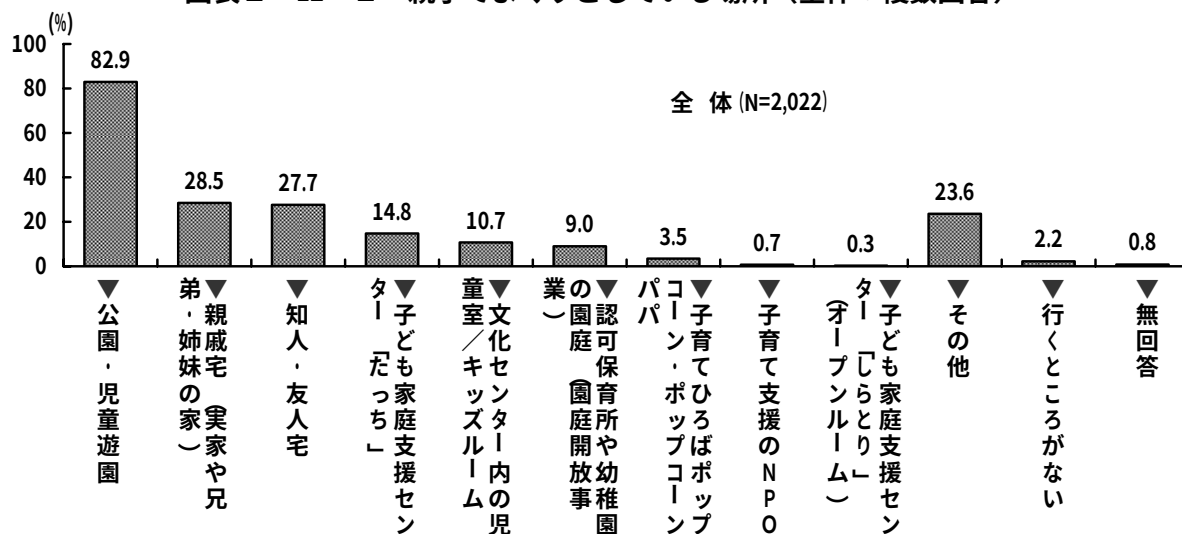


(12) 地域における子育て支援サービス

① 平日の日中や休日に親子でよくすごす場所（問 28）

平日の日中や休日に親子でよくすごしている場所は、「公園・児童遊園」が 82.9%で最も多く、次いで「親戚宅」が 28.5%となっている（図表 1-12-1）。

図表 1-12-1 親子でよくすごしている場所（全体：複数回答）

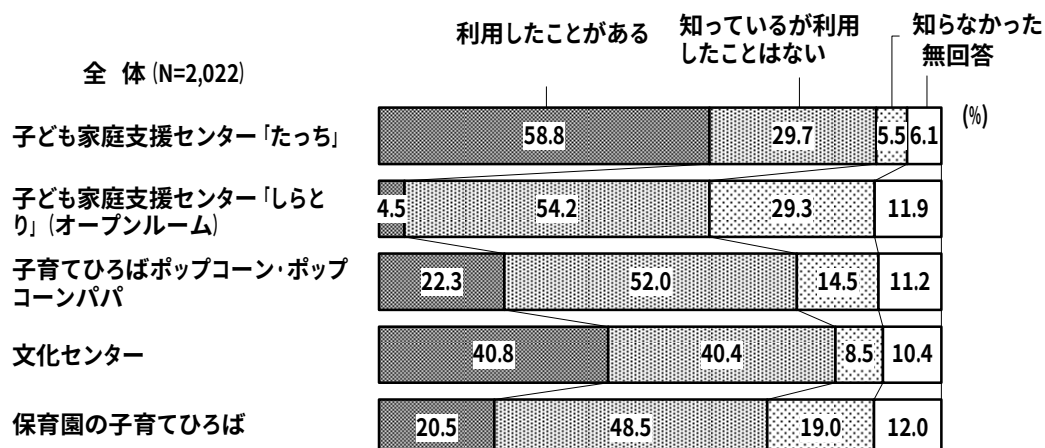


② 親子で集える場の認知、利用状況・回数（問 29）

親子で集える場の認知、利用状況は、「子ども家庭支援センター「たち」」は「利用したことがある」割合が 58.8%で最も高くなっている。一方、「子ども家庭支援センター「しらとり」」は「知らなかった」割合が 29.3%で最も高くなっている（図表 1-12-2-1）。

親子で集える場を「利用したことがある」と回答した人に、週あたりの平均利用回数をたずねたところ、「文化センター」が 1.3 回で最も多くなっているが、それ以外もすべて、約 1 回となっている（図表 1-12-2-2）。

図表 1-12-2-1 親子で集える場の認知、利用状況（全体）



図表 1-12-2-2 親子で集える場の週あたりの利用回数（全体）
 <利用したことがある人>

		1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回	7 回	(%) 無 回 答	平 均
子ども家庭支援センター「たち」	(n= 1,188)	44.0	3.4	0.9	0.5	0.1	0.0	0.0	51.1	1.1回
子ども家庭支援センター「しらとり」 (オープンルーム)	(n= 92)	29.3	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.6	1.0回
子育てひろばポップコーン・ポップ コーンパパ	(n= 451)	44.6	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	53.7	1.0回
文化センター	(n= 824)	51.2	7.4	2.2	0.4	0.5	0.0	0.1	38.2	1.3回
保育園の子育てひろば	(n= 415)	53.3	2.4	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43.4	1.1回

③ 親子で集える場を利用していない理由（問 30）

親子で集える場を利用していない理由は「特に理由はない」が 37.8%で最も多く、次いで「時間がない」が 21.7%、「サービスの利用方法がわからない」が 8.5%となっている（図表 1-12-3）。

図表 1-12-3 親子で集える場を利用していない理由（全体）
 <親子で集える場を利用していないと回答した人>

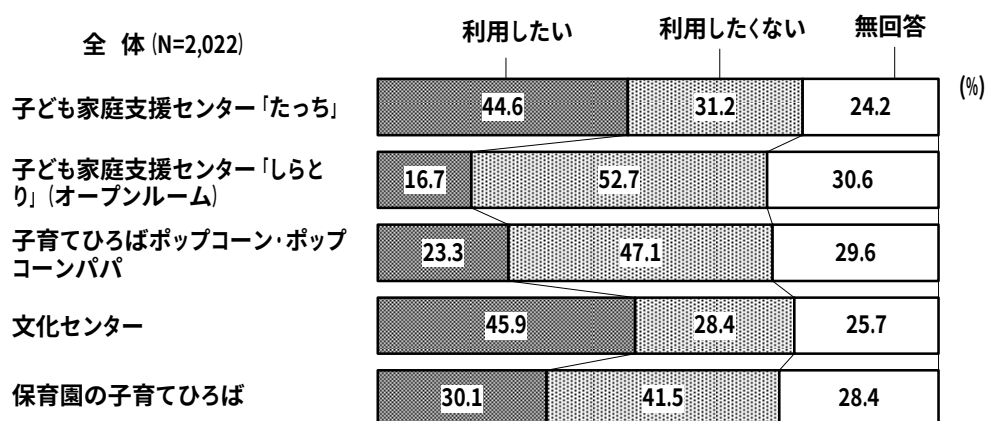
	域▼ 利用 しない	安▼ がある 地域の サービ スの質 に不	ど▼ 立地 が悪 く開 催時 間・日 数に 不便	▼ 利用 料が かかる	い▼ にな る自 分が サー ビス の対 象者	▼ 時間 がない	続▼ きサ ービ スの 利用 方法 がわ から ない	▼ その他	▼ 特に 理由 はな い	▼ 無回 答
全 体(n=460)	1.5	1.3	6.3	3.3	2.4	21.7	8.5	12.4	37.8	4.8

④ 親子で集える場の利用意向・回数（問 31）

親子で集える場を今後＜利用したい＞と回答した人の割合は、「文化センター」が 45.9%で最も多く、次いで「子ども家庭支援センター「たっち」」が 44.6%となっている（図表 1-12-4-1）。

親子で集える場を今後＜利用したい＞人が希望する週あたりの回数はすべて、平均 1.1～1.2 回となっている（図表 1-12-4-2）。

図表 1-12-4-1 親子で集える場の利用意向（全体）

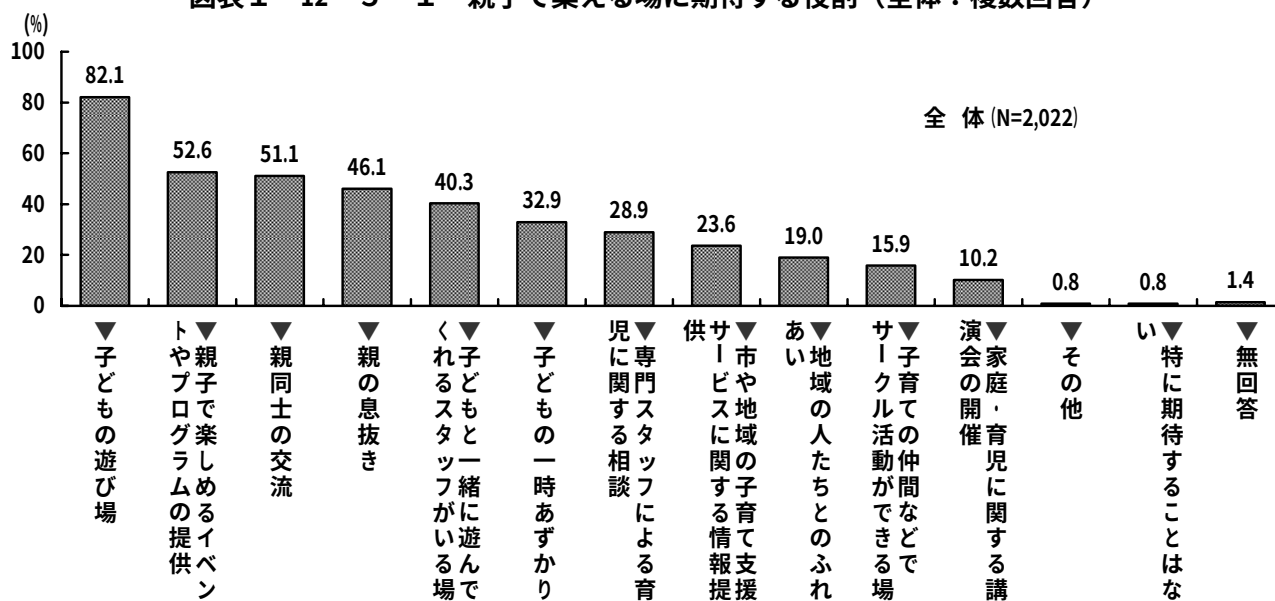
図表 1-12-4-2 親子で集える場の週あたりの利用希望回数（全体）
＜利用希望がある人＞

		利用希望がある人 (%)								平均
		1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	無回答	
子ども家庭支援センター「たっち」	(n= 901)	68.4	6.0	1.6	0.3	0.4	0.1	0.0	23.2	1.2回
子ども家庭支援センター「しらとり」(オープンルーム)	(n= 338)	69.5	2.4	1.2	0.0	0.3	0.0	0.0	26.6	1.1回
子育てひろばポップコーン・ポップコーンパパ	(n= 472)	71.0	3.6	0.6	0.0	0.4	0.0	0.0	24.4	1.1回
文化センター	(n= 928)	68.1	8.8	3.0	0.3	0.6	0.1	0.0	19.0	1.2回
保育園の子育てひろば	(n= 609)	73.6	4.8	2.1	0.2	0.3	0.0	0.0	19.0	1.1回

⑤ 親子で集える場に期待する役割（問 32）

親子で集える場に期待する役割は、「子どもの遊び場」が 82.1%で最も多く、次いで「親子で楽しめるイベントやプログラムの提供」が 52.6%、「親同士の交流」が 51.1%となっている（図表 1-12-5-1）。

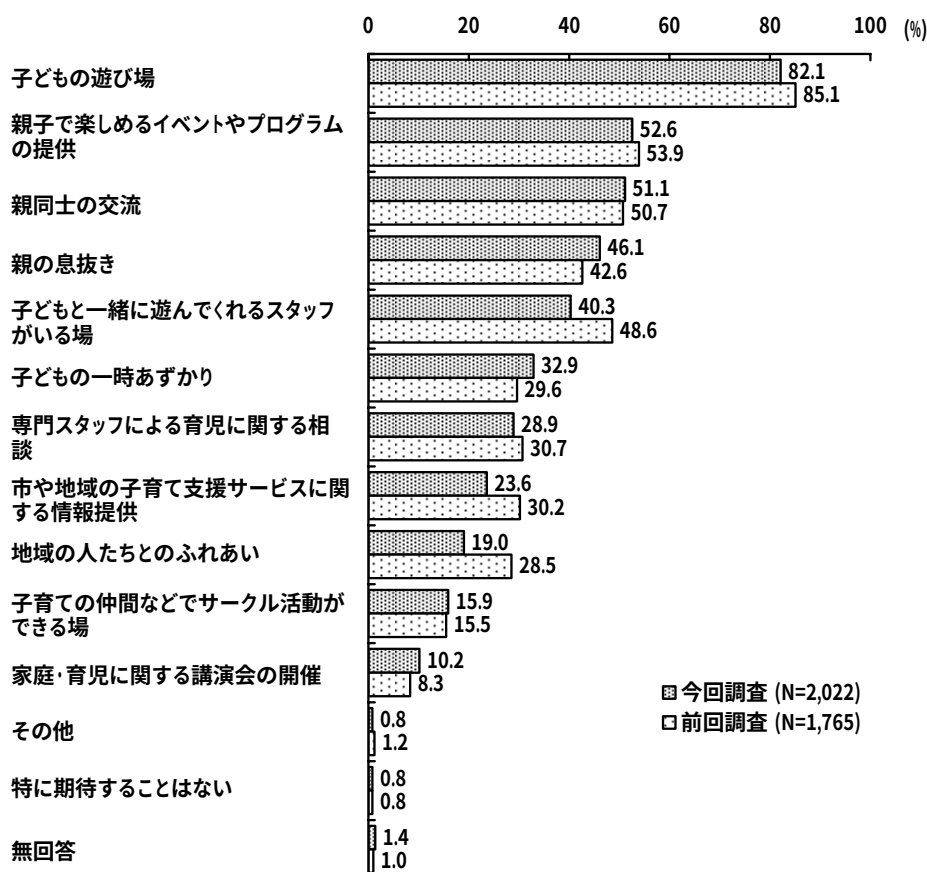
図表 1-12-5-1 親子で集える場に期待する役割（全体：複数回答）



<前回調査との比較>

前回調査と比較すると、親子で集える場に期待する役割は、今回調査・前回調査ともに上位の傾向は変わらない。前回調査と今回調査で最も差がある項目は、「地域の人たちとのふれあい」であり、今回調査が19.0%で前回調査の28.5%に比べ、9.5ポイント少なくなっている（図表1-12-5-2）。

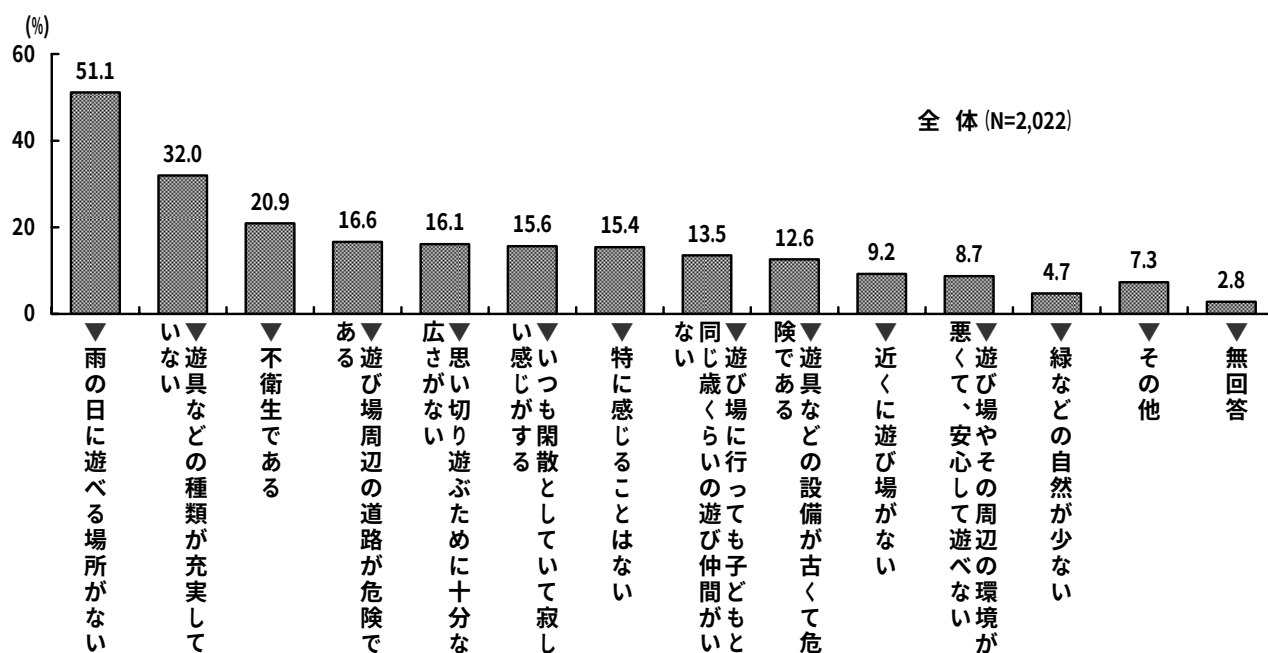
図表 1-12-5-2 親子で集える場の役割（全体：複数回答）



⑥ 子どもの遊び場について気になること（問 33）

子どもの遊び場について気になることは、「雨の日に遊べる場所がない」が 51.1%で最も多く、次いで「遊具などの種類が充実していない」が 32.0%となっている（図表 1-12-6）。

図表 1-12-6 子どもの遊び場について気になること（全体：複数回答）

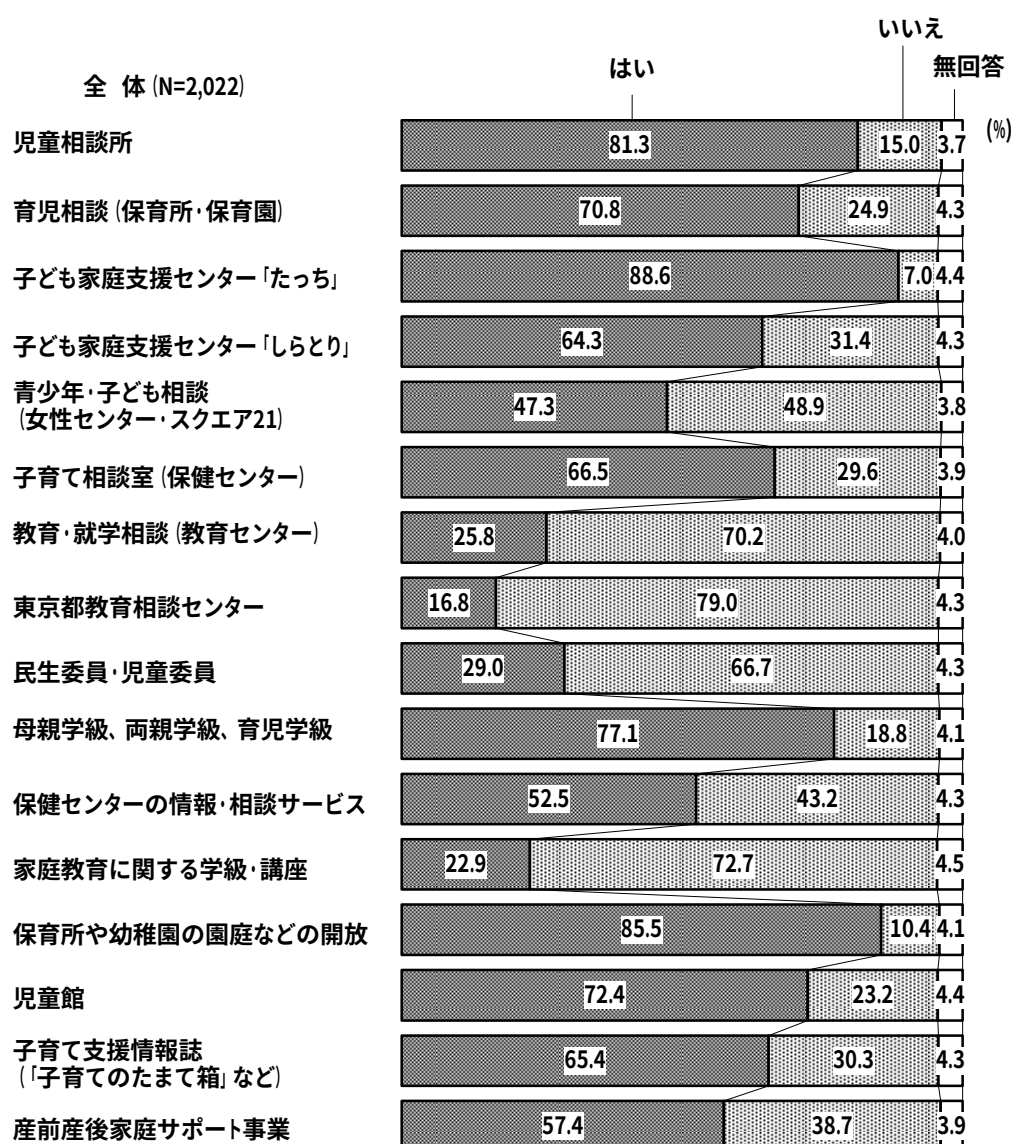


⑦ 子育て相談施設等の認知、利用状況、今後の利用意向（問 34）

◇子育て相談施設等の認知状況

子育て相談施設等を知っているかについて「はい」と答えた割合は、「子ども家庭支援センター「たち」」が88.6%で最も高く、次いで「保育所や幼稚園の園庭などの開放」が85.5%、「児童相談所」が81.3%となっている。一方、「いいえ」と答えた割合は、「東京都教育相談センター」が79.0%で最も高く、次いで「家庭教育に関する学級・講座」が72.7%、「教育・就学相談（教育センター）」が70.2%、「民生委員・児童委員」が66.7%となっている（図表1-12-7-1）。

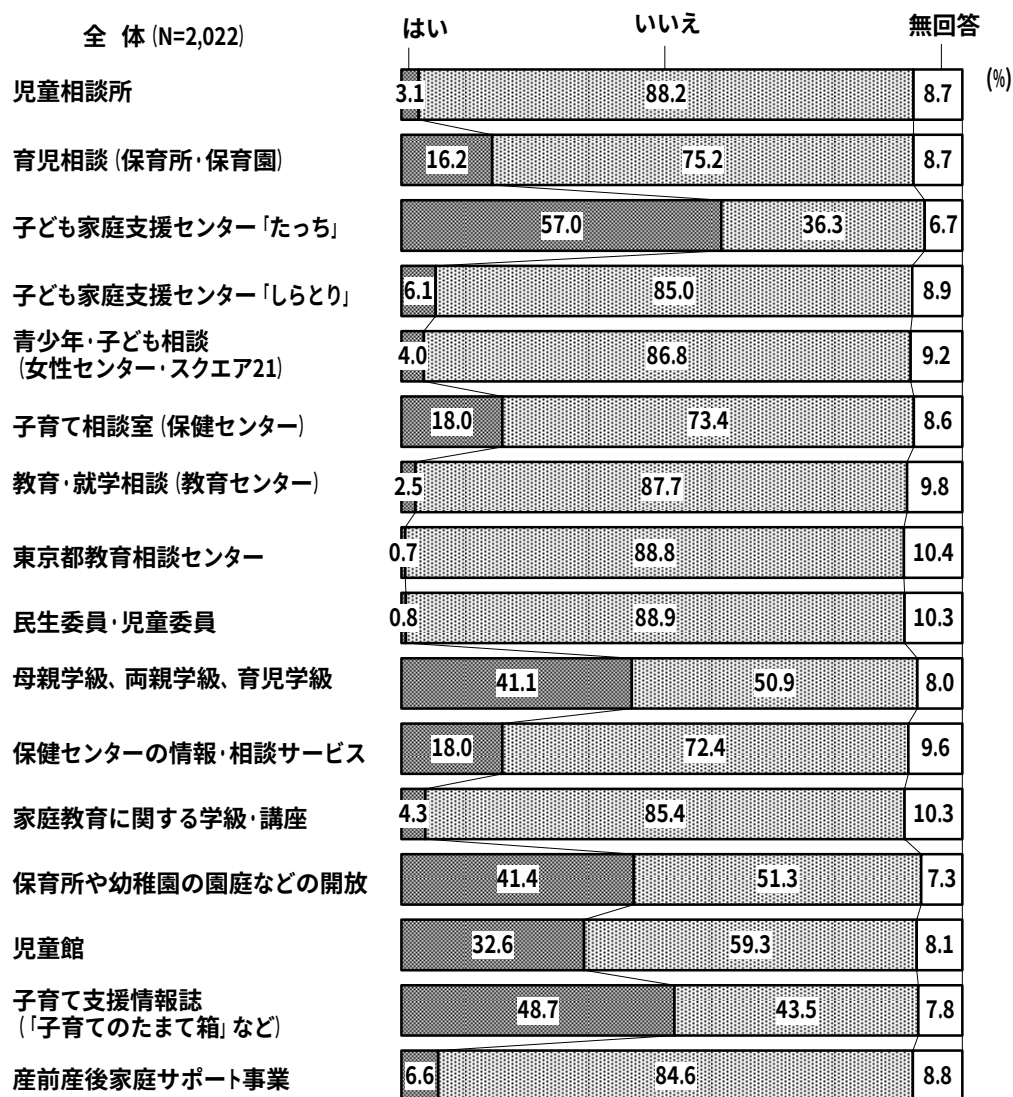
図表1-12-7-1 子育て相談施設等の認知状況（全体）



◇子育て相談施設等の利用状況

子育て相談施設等をこれまでに利用したことがあるかについて「はい」と答えた割合は、「子ども家庭支援センター「たち」」が57.0%で最も高く、次いで「子育て支援情報誌（「子育てのたまたま箱」など）」が48.7%、「保育所や幼稚園の園庭などの開放」が41.4%となっている（図表1-12-7-2）。

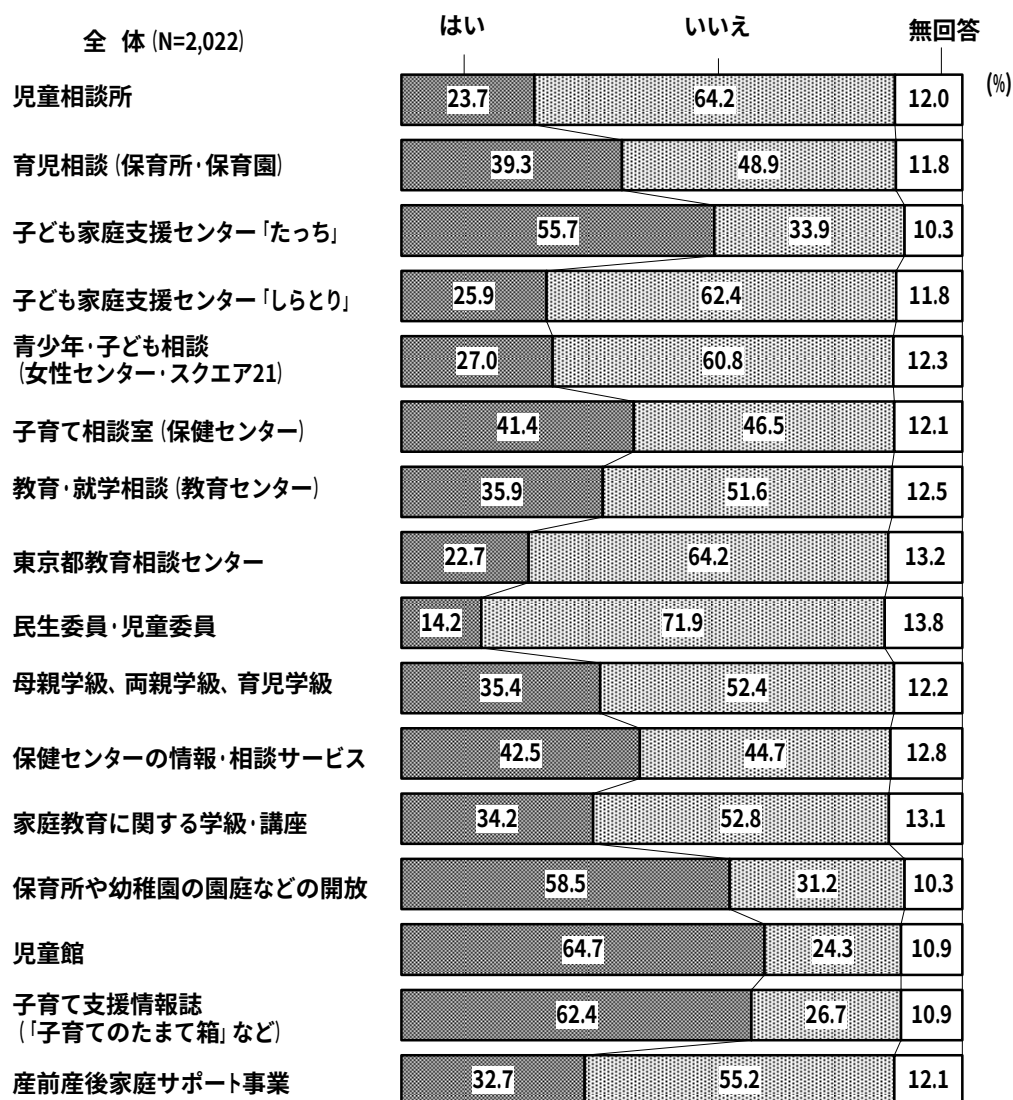
図表1-12-7-2 子育て相談施設等の利用状況（全体）



◇子育て相談施設等の今後の利用意向

子育て相談施設等を今後利用したいかについて「はい」と答えた割合は、「児童館」が64.7%で最も高く、次いで「子育て支援情報誌（「子育てのたまたま箱」など）」が62.4%、「保育所や幼稚園の園庭などの開放」が58.5%となっている（図表1-12-7-3）。

図表1-12-7-3 子育て相談施設等の今後の利用意向（全体）



(13) 地域とのかかわり

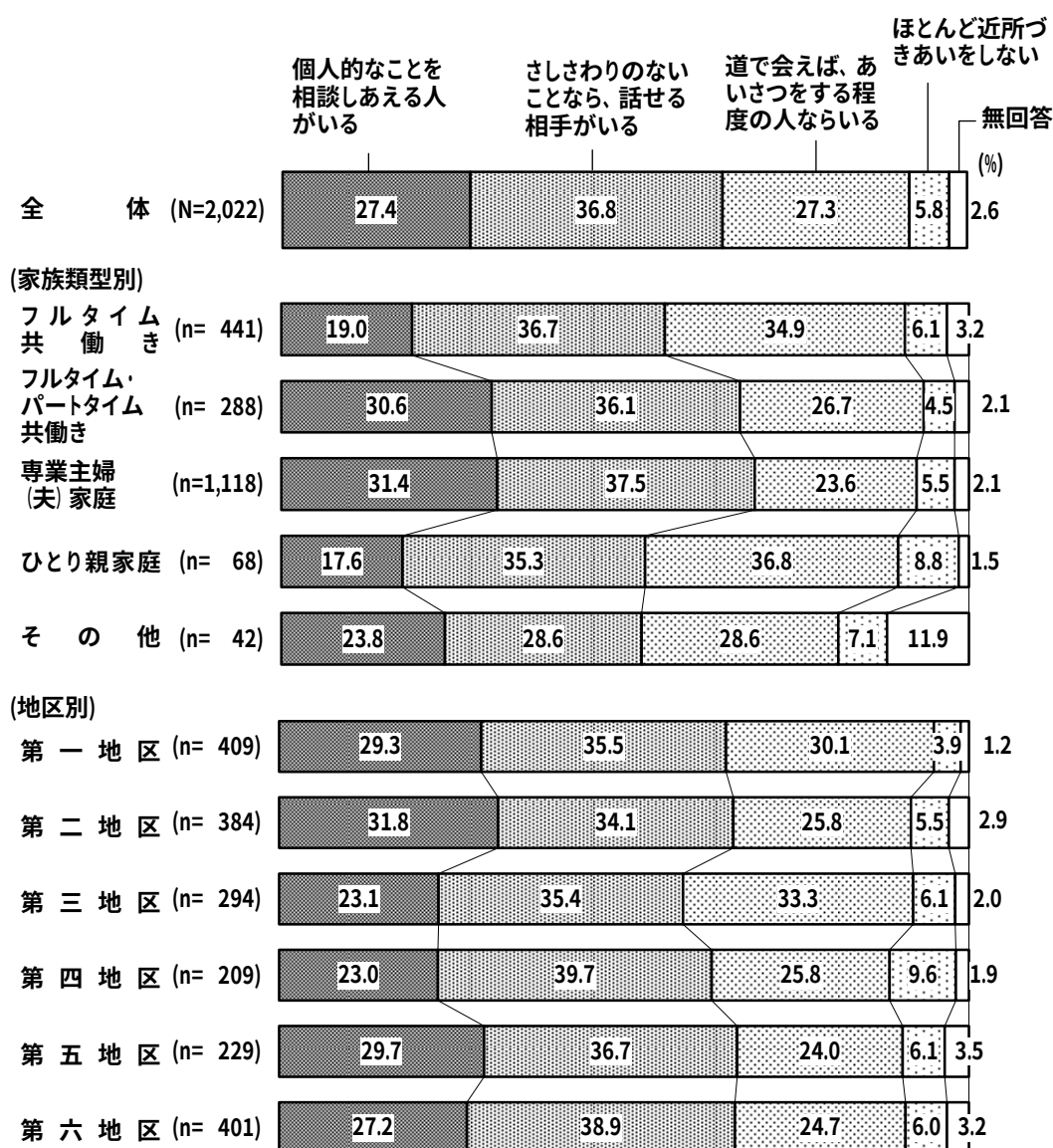
① 近所づきあいの状況（問 35）

近所づきあいの状況は、「さしさわりのないことなら、話せる相手がいる」が 36.8%で最も多く、次いで「個人的なことを相談しあえる人がある」が 27.4%、「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」が 27.3%となっている。

家族類型別にみると、フルタイム・パートタイム共働き、専業主婦（夫）家庭では、「個人的なことを相談しあえる人がある」が 30%を超えている。一方、ひとり親家庭、フルタイム共働きでは、「個人的なことを相談しあえる人がある」が 20%以下となっている。

地区別にみると、第二地区では「個人的なことを相談しあえる人がある」が 31.8%であり、全体に比べて多くなっている（図表 1-13-1）。

図表 1-13-1 近所づきあいの状況（全体、家族類型別、地区別）

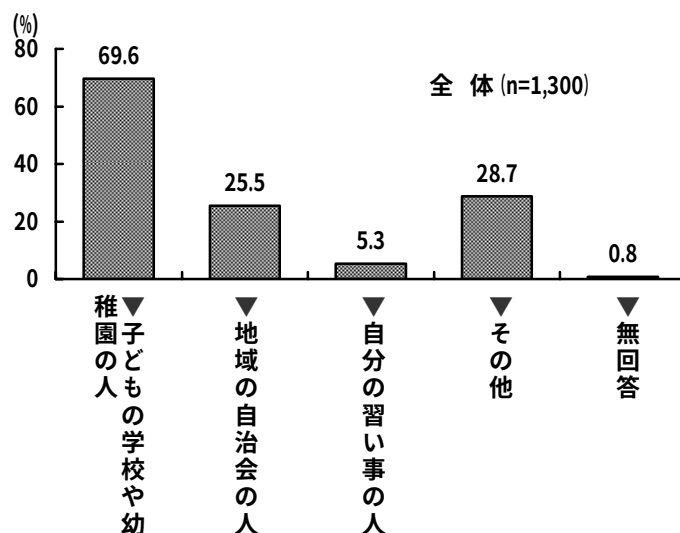


② 近所づきあいの相手（問 35－1）

近所づきあいの相手は、「子どもの学校や幼稚園の人」が 69.6%で最も多くなっている（図表 1－13－2）。

図表 1－13－2 近所づきあいの相手（全体：複数回答）

＜近所に「個人的なことを相談しあえる人がある」、
「さしさわりのないことなら、話せる相手がいる」と回答した人＞

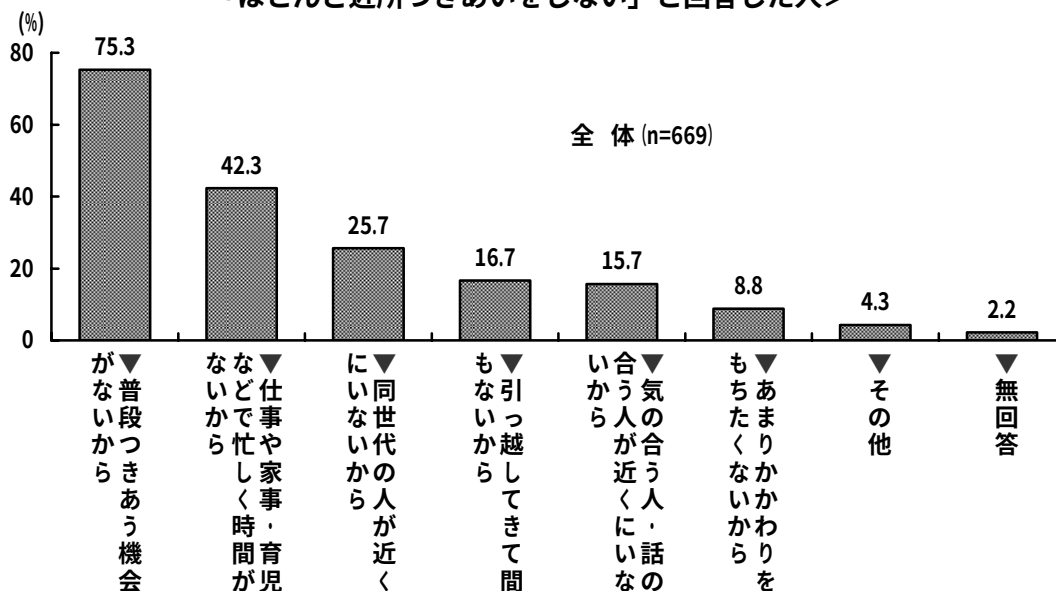


③ 近所づきあいが希薄な理由（問 35－2）

近所づきあいが希薄な理由は、「普段つきあう機会がないから」が 75.3%で最も多く、次いで「仕事や家事・育児などで忙しく時間がないから」が 42.3%となっている（図表 1－13－3）。

図表 1－13－3 近所づきあいが希薄な理由（全体：複数回答（3つまで））

＜近所に「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」、
「ほとんど近所づきあいをしない」と回答した人＞



(14) 子育て支援サービスに関する情報

① 子育て情報入手のためのインターネット利用状況（問 36）

子育てに関する情報を入手する手段としてのインターネットの利用状況は、「よく利用している」が24.3%、「ときどき利用している」が32.3%で、合計すると利用している人は56.6%となる（図表1-14-1-1）。

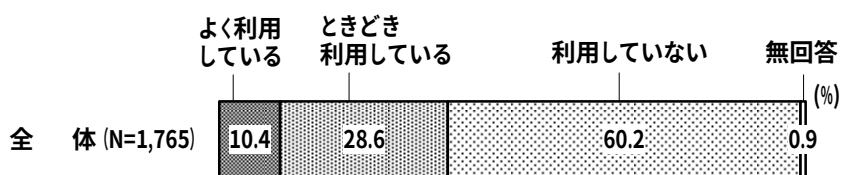
図表1-14-1-1 子育て情報入手のためのインターネット利用状況（全体）



<前回調査との比較>

前回調査と比較すると、子育て情報入手のためのインターネット利用状況は、前回調査は「よく利用している」が10.4%であり、「ときどき利用している」の28.6%と合計した利用している人は39.0%で、今回調査では利用している人が56.6%であり、前回調査を17.6ポイント上回っている（図表1-14-1-2）。

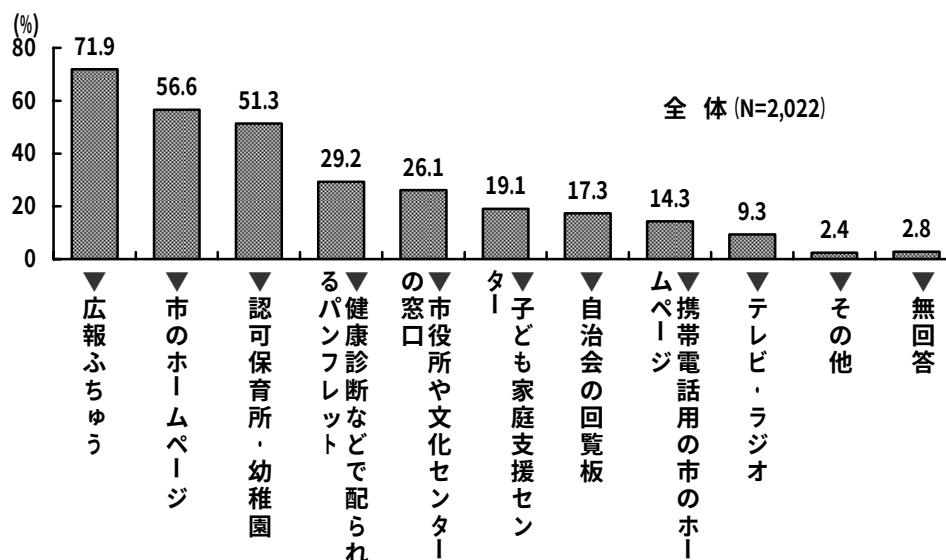
図表1-14-1-2 子育て情報入手のためのインターネット利用状況（全体／前回調査）



② 子育て支援サービスの情報源としてよいと思うもの（問 37）

子育て支援サービスに関する情報源としてよいと思うものは、「広報ふちゅう」が 71.9%で最も多く、次いで「市のホームページ」が 56.6%、「認可保育所・幼稚園」が 51.3%となっている（図表 1-14-2-1）。

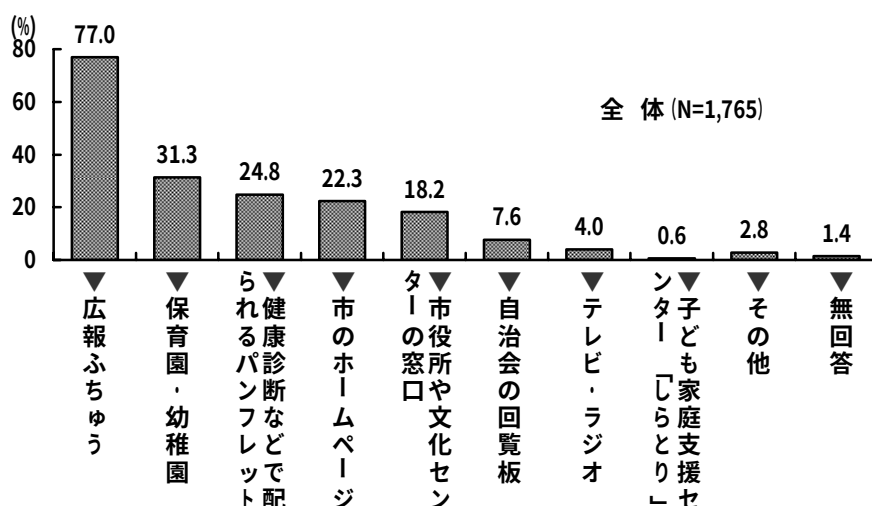
図表 1-14-2-1 子育て支援サービスの情報源としてよいと思うもの（全体：複数回答）



<前回調査との比較>

前回調査と比較すると、子育て支援サービスの情報源としてよいと思うものは、「広報ふちゅう」が最も多くなっている点は同様だが、今回調査では「市のホームページ」が 56.6%であり、前回調査の 22.3%を 33.3 ポイント上回っている。また、今回調査では「認可保育所・幼稚園」が 51.3%であり、前回調査の「保育園・幼稚園」の 31.3%を 20.0 ポイント上回っている（図表 1-14-2-2）。

図表 1-14-2-2 子育て支援サービスの情報源としてよいと思うもの（全体：複数回答／前回調査）

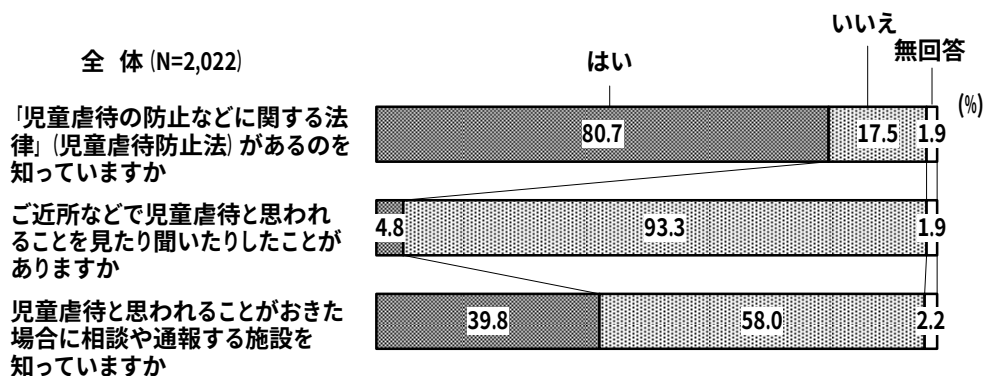


(15) 児童虐待防止

① 児童虐待に関する認知状況（問 38）

児童虐待に関する認知状況は、「「児童虐待の防止などに関する法律」（児童虐待防止法）があるのを知っていますか」では「はい」が 80.7%となっている。「児童虐待と思われることがおきた場合に相談や通報する施設を知っていますか」では「はい」が 39.8%となっている。また、「ご近所などで児童虐待と思われることを見たり聞いたりしたことがありますか」では「はい」が 4.8%（98 人）となっている（図表 1-15-1）。

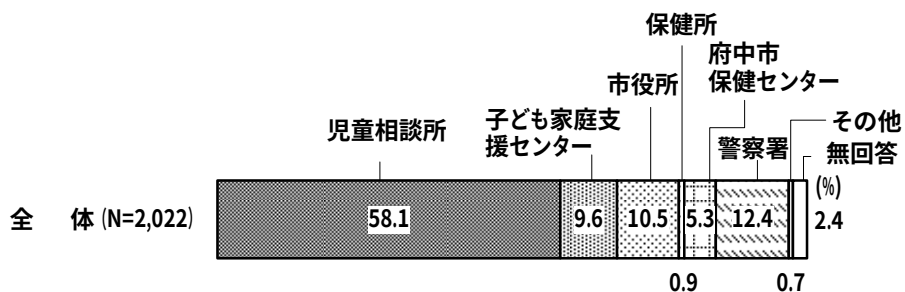
図表 1-15-1 児童虐待に関する認知状況（全体）



② 児童虐待の通報先（問 39）

児童虐待を見聞きしたときに通報する場所は、「児童相談所」が 58.1%で最も多く、次いで「警察署」が 12.4%となっている（図表 1-15-2）。

図表 1-15-2 児童虐待の通報先（全体）

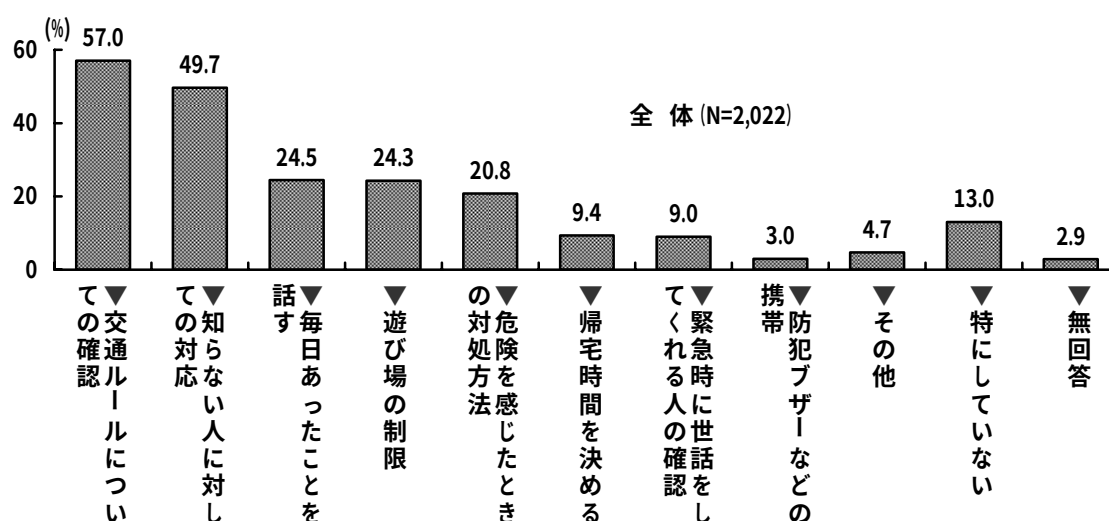


(16) 安全なまちづくり

① 子どもの安全や防犯について気をつけていること（問 40）

子どもの日ごろの安全や防犯について家庭で気をつけていることは、「交通ルールについての確認」が57.0%で最も多く、次いで「知らない人に対しての対応」が49.7%となっている（図表1-16-1）。

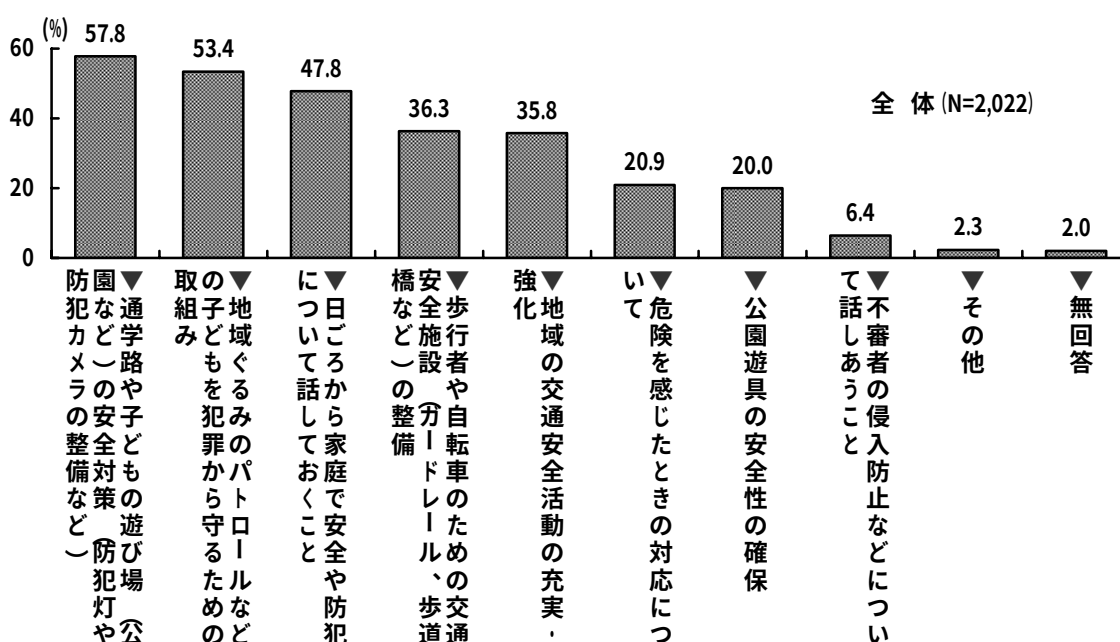
図表1-16-1 子どもの安全や防犯について気をつけていること（全体：複数回答（3つまで））



② 子どもの安全を守るために必要なこと（問 41）

子どもの安全を守るために必要なことは、「通学路や子どもの遊び場の安全対策」が57.8%で最も多く、次いで「地域ぐるみのパトロールなどの子どもを犯罪から守るための取組み」が53.4%となっている（図表1-16-2）。

図表1-16-2 子どもの安全を守るために必要なこと（全体：複数回答（3つまで））

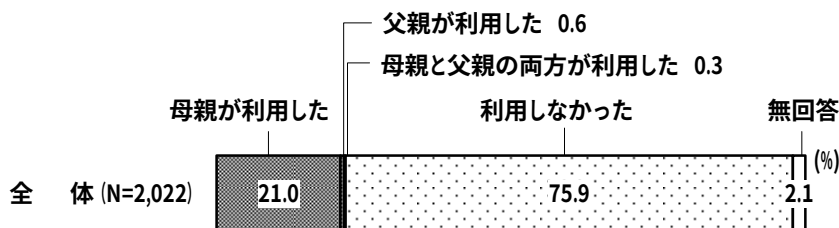


(17) 育児休業制度の利用

① 育児休業制度の利用状況（問 42）

あて名の子どもの育児の際の育児休業制度の利用状況は、「利用しなかった」が75.9%で、「母親が利用した」が21.0%となっている。「父親が利用した」の0.6%と、「母親と父親の両方が利用した」の0.3%を合計しても、父親が利用したのは0.9%となっている（図表1-17-1）。

図表1-17-1 育児休業制度の利用状況（全体）



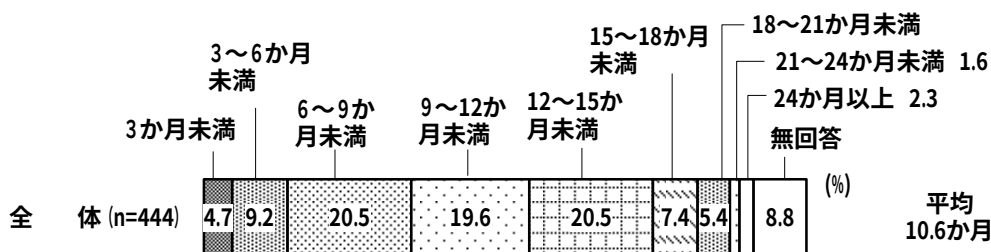
② 育児休業復帰時の状況（問 42-1）

◇育児休業から復帰したときの子どもの月齢

育児休業から復帰したときの子どもの月齢は、平均 10.6 か月となっている（図表1-17-2-1）。

図表1-17-2-1 育児休業から復帰したときの子どもの月齢（全体）

<育児休業制度を利用したと回答した人>

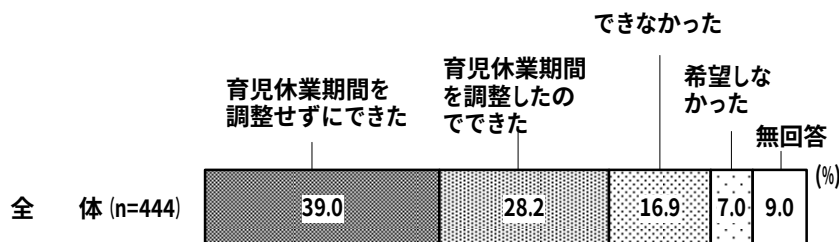


◇育児休業明けに希望した保育サービスをすぐに利用できたか

育児休業明けに希望した保育サービスをすぐに利用できたかについては、「育児休業期間を調整せずにできた」が39.0%、「育児休業期間を調整したのでできた」が28.2%、「できなかった」が16.9%となっている（図表1-17-2-2）。

図表1-17-2-2 育児休業明けに希望した保育サービスをすぐに利用できたか（全体）

<育児休業制度を利用したと回答した人>

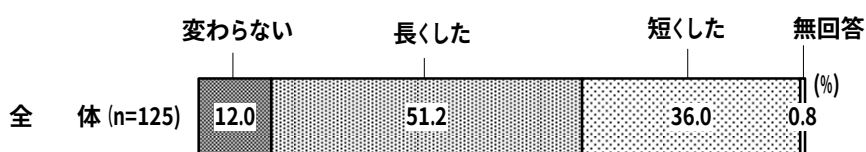


◇保育サービスが確実に利用できた場合の育児休業期間

育児休業期間を調整したので育児休業明けにすぐに保育サービスを利用できたと回答した人に、育児休業明けに希望した保育サービスが確実に利用できたと想定したら実際に取得した期間は変わったかについてたずねたところ、「変わらない」が12.0%にとどまり、「長くした」が51.2%、「短くした」が36.0%となっている（図表1-17-2-3）。長くした場合の平均延長期間は5.5か月（図表1-17-2-4）、短くした場合の平均短縮期間は4.4か月となっている（図表1-17-2-5）。

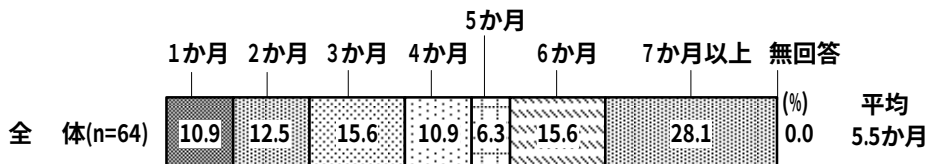
図表1-17-2-3

育児休業明けに保育サービスを確実に利用できた場合に、取得したであろう休業期間（全体）
 ＜育児休業期間を調整したので育児休業明けにすぐに保育サービスを利用できたと回答した人＞



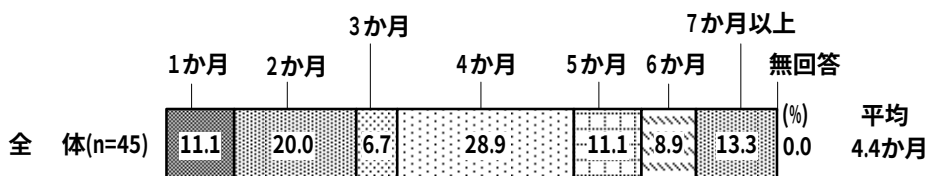
図表1-17-2-4 長くした休業期間（全体）

＜育児休業明けに保育サービスを確実に利用できた場合に、休業期間を長くしたと回答した人＞



図表1-17-2-5 短くした休業期間（全体）

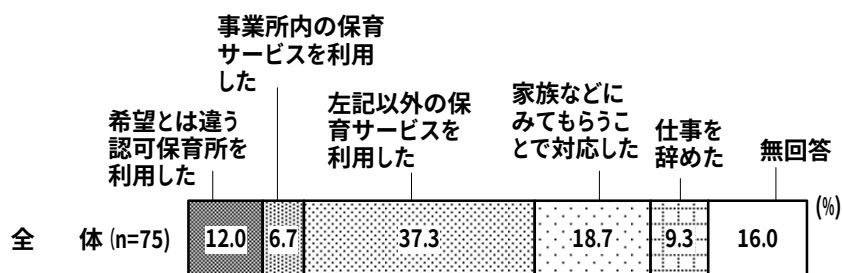
＜育児休業明けに保育サービスを確実に利用できた場合に、休業期間を短くしたと回答した人＞



◇育児休業明けに希望する保育サービスが利用できなかったときの対応方法

育児休業明けにすぐに保育サービスを利用できなかったと回答した人に、どのように対応したかをたずねたところ、「認可保育所・事業所の保育サービス以外の保育サービスを利用した」が37.3%で最も多く、次いで「家族などにみてもらうことで対応した」が18.7%となっている（図表1-17-2-6）。

図表1-17-2-6 育児休業明けに希望する保育サービスが利用できなかったときの対応方法（全体）
＜育児休業明けにすぐに保育サービスを利用できなかったと回答した人＞



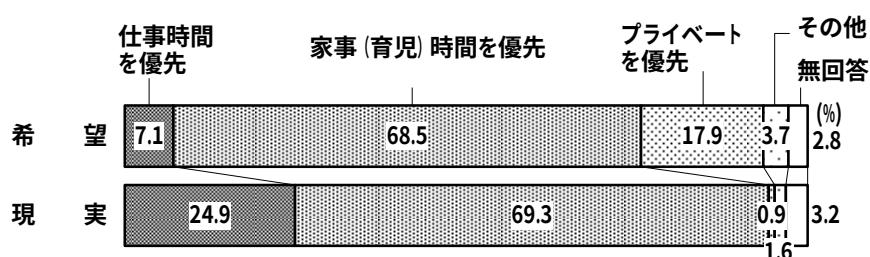
(18) 子育てと仕事の両立

① 仕事時間と生活時間の優先度（問43）

仕事時間と生活時間の優先度は、希望、現実ともに「家事（育児）時間を優先」が最も多く、それぞれ68.5%、69.3%となっている。希望としては「プライベートを優先」が17.9%であるものの、現実には0.9%であり、「家事（育児）時間」や「仕事時間」を優先せざるを得ない状況となっている（図表1-18-1）。

図表1-18-1 仕事時間と生活時間の優先度（全体）

全 体 (N=2,022)

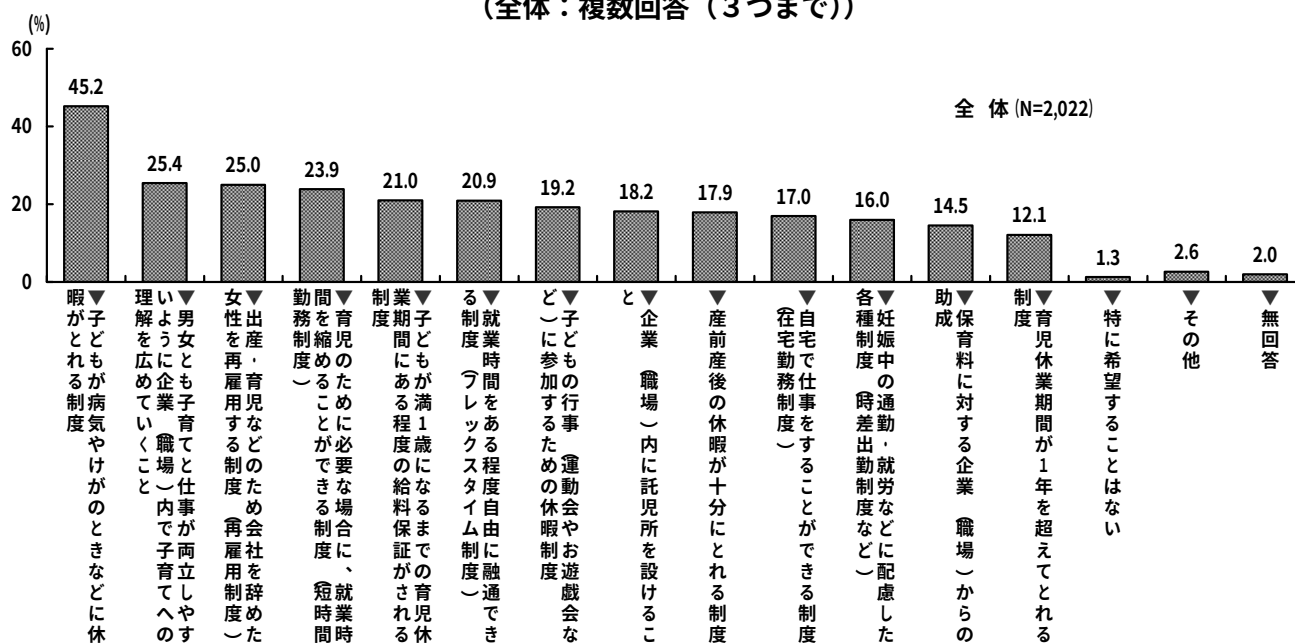


② 男女とも子育てと仕事の両立を図りやすくするために企業（職場）に希望すること（問44）

男女とも子育てと仕事の両立を図りやすくするために企業（職場）に希望することは、「子どもが病気やけがのときなどに休暇がとれる制度」が45.2%で最も多く、次いで「男女とも子育てと仕事が両立しやすいように、企業（職場）内で子育てへの理解を広めていくこと」が25.4%、「出産・育児などのため会社を辞めた女性を再雇用する制度（再雇用制度）」が25.0%、「育児のために必要な場合に、就業時間を縮めることができる制度（短時間勤務制度）」が23.9%となっている（図表1-18-2-1）。

図表 1-18-2-1

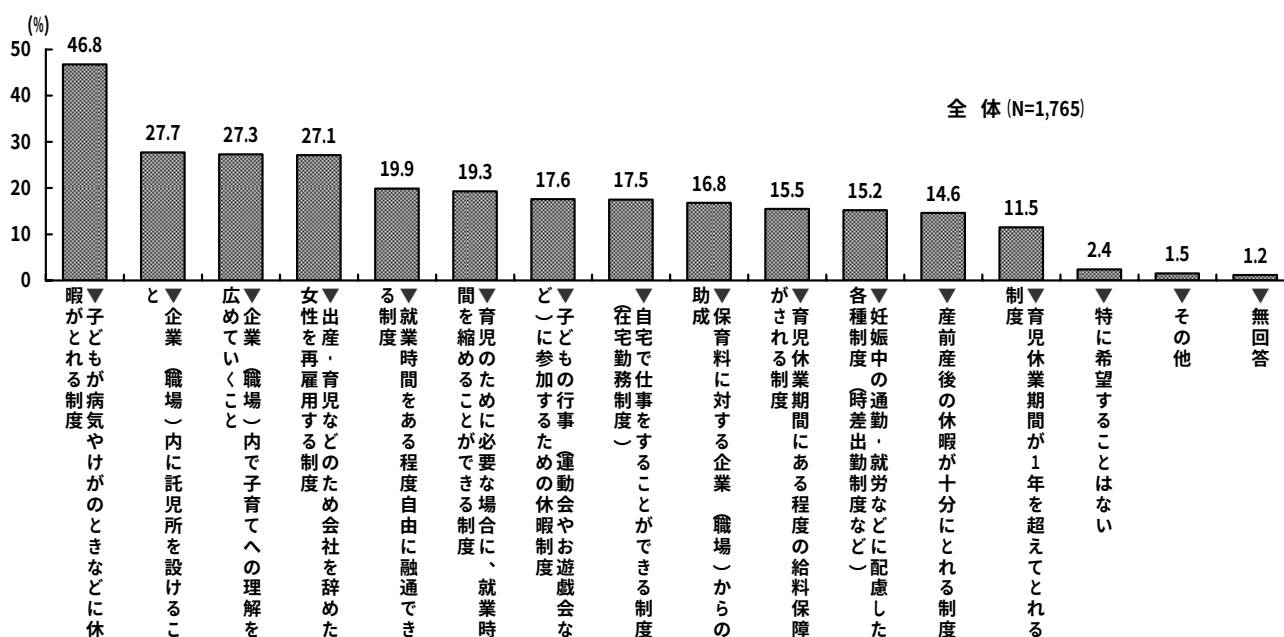
男女とも子育てと仕事の両立を図りやすくするために企業（職場）に希望すること
（全体：複数回答（3つまで））



＜前回調査との比較＞

前回調査と比較すると、子育てと仕事の両立を図りやすくするために企業（職場）に希望することは、今回調査・前回調査ともに「子どもが病気やけがのときなどに休暇がとれる制度」が最も多くなっている。また、企業（職場）内で理解を広く広めることや、再雇用制度への希望も多くなっている（図表 1-18-2-2）。

図表 1-18-2-2 子育てと仕事の両立を図りやすくするために企業（職場）に希望すること
（全体：複数回答（3つまで）／前回調査）



(19) 市の子育て支援施策に関する意見や要望（問 45）

市の子育て支援施策について、自由記述形式でたずねたところ、全体で 727 件の回答があった。内容と件数は以下のとおりである。

内容	件数
保育サービスについて	206 件
保育所・幼稚園の不足について	124 件
入所における選考について	24 件
保育料について	18 件
保育所の民営化について	15 件
保育時間（土日祝、深夜、延長保育）について	14 件
保育士の増員への希望ほか	11 件
経済的支援や優遇措置のあり方について	49 件
遊び場について	45 件
子ども家庭支援センター「たち」について	39 件
広報・PRをもっと積極的にしてほしい	34 件
子育てと仕事の両立について	33 件
子どもの医療費について	32 件
一時あずかりについて	32 件
子育て支援、施策の方向性について	26 件
安心・安全のまちづくりについて	24 件
病児・病後児保育について	18 件
講習会、講演会、イベントについて	17 件
施設などの地域差について	15 件
学童保育について	13 件
障害者の施策・支援について	12 件
妊娠・出産における費用について	11 件
相談機関について	11 件
就職支援について	9 件
母親同士の交流の場について	9 件
市内に産科が少ない	8 件
市の職員について	7 件
就学後の支援について	7 件
文化センターについて	7 件
感謝・満足している	23 件
アンケートについて	26 件
その他	14 件

2 小学生調査

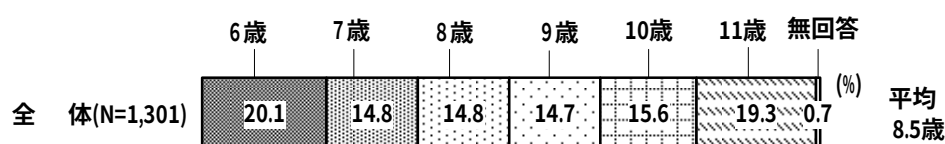
(1) 基本属性

① 子どもの年齢 (F 1)

子どもの年齢は、「6歳」が20.1%、「11歳」が19.3%でやや多く、その他はすべて15%前後となっている。

平均年齢は8.5歳となっている(図表2-1-1)。

図表2-1-1 子どもの年齢 (全体)

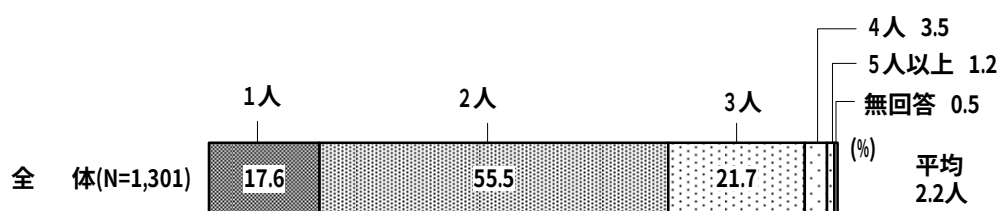


② 子どもの人数、末子の年齢 (F 2)

子どもの人数は、「2人」が55.5%で最も多く、次いで「3人」が21.7%、「1人」が17.6%となっている(図表2-1-2-1)。

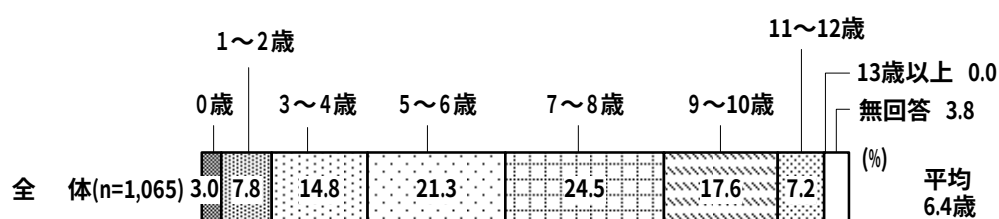
末子の年齢は、「7～8歳」が24.5%で最も多く、次いで「5～6歳」が21.3%、「9～10歳」が17.6%となっている(図表2-1-2-2)。

図表2-1-2-1 子どもの人数 (全体)



図表2-1-2-2 末子の年齢 (全体)

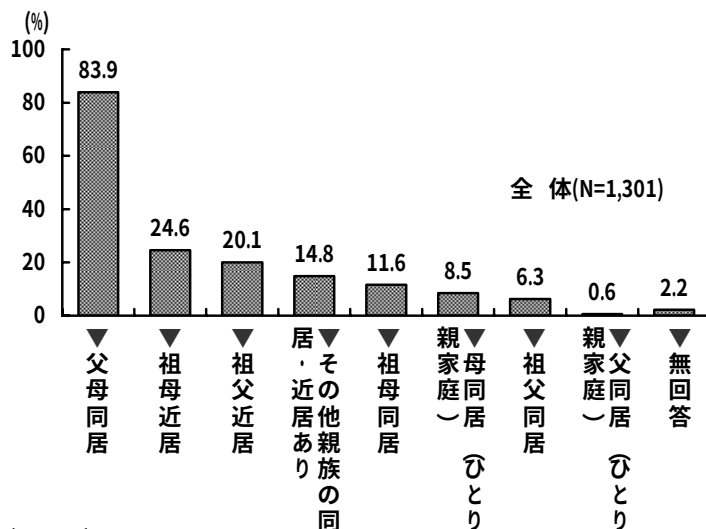
<子どもが2人以上いる人>



③ 両親・祖父母の近居・同居（F3）

両親・祖父母の近居・同居の状況は、「父母同居」が83.9%で最も多く、次いで「祖母近居」が24.6%、「祖父近居」が20.1%となっている（図表2-1-3）。

図表2-1-3 両親・祖父母の近居・同居（全体：複数回答）



④ 両親の状況（F4）

両親の年齢は、父親は「40歳代」が55.2%で最も多く、次いで「30歳代」が31.1%となっている。母親も「40歳代」が50.1%で最も多く、次いで「30歳代」が45.7%となっている（図表2-1-4-1）。

両親のあて名の子どもとの同別居状況は、父母ともに「一緒に住んでいる」が最も多く、父親が88.9%、母親が98.0%を占めている（図表2-1-4-2）。

両親の就労状況は、父親は「常勤の勤め人（正社員・正職員）」が82.3%で最も多く、次いで「自営業・家族従業」が9.1%となっている。また母親は「無職・家事専従」が42.2%で最も多く、次いで「パート・アルバイト」が30.3%となっている（図表2-1-4-3）。

図表2-1-4-1 保護者の年齢（全体）

全体 (N=1,301)	年齢 (%)							平均
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無回答	
父親	0.0	0.5	31.1	55.2	7.9	0.3	5.1	42.0歳
母親	0.0	1.3	45.7	50.1	1.5	0.1	1.3	39.8歳

図表2-1-4-2 あて名の子どもとの同別居状況（全体）

全体 (N=1,301)	同別居状況 (%)				
	で一緒に住んでいる	に入院するなど赴任で別居している	る別居している	など離婚、死亡	無回答
父親	88.9	2.6	0.6	4.8	3.0
母親	98.0	0.1	0.0	0.5	1.5

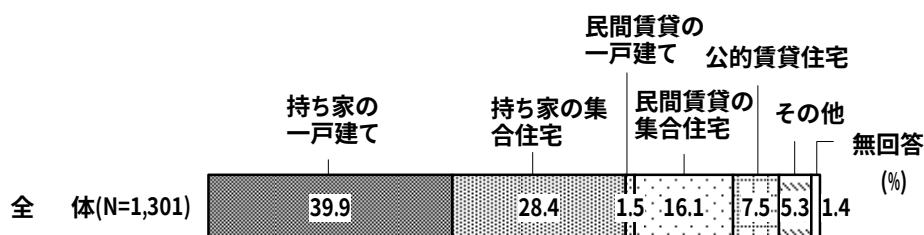
図表 2-1-4-3 保護者の就労状況（全体）

	▼社員・常勤の勤め人 正社員	▼パート・アルバイト	▼契約社員	▼派遣社員	▼自営業・家族従業	▼在宅勤務・内職	▼学生	▼無職・家事専従	▼その他	▼無回答
全体 (N=1,301)										
父親	82.3	0.5	0.5	0.2	9.1	0.0	0.1	0.8	0.6	5.8
母親	14.8	30.3	2.5	2.2	3.7	1.4	0.3	42.2	1.2	1.5

⑤ 住居形態（F 5）

住居形態は、「持ち家の一戸建て」が 39.9%で最も多く、次いで「持ち家の集合住宅」が 28.4%、「民間賃貸の集合住宅」が 16.1%となっている（図表 2-1-5）。

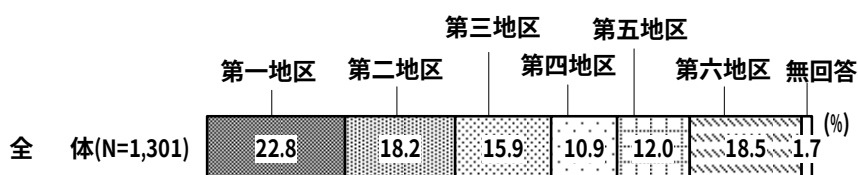
図表 2-1-5 住居形態（全体）



⑥ 居住地区（F 6）

居住地区は、「第一地区」が 22.8%で最も多く、次いで「第六地区」が 18.5%、「第二地区」が 18.2%となっている（図表 2-1-6）。

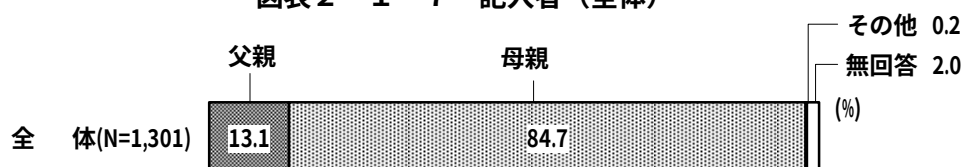
図表 2-1-6 居住地区（全体）



⑦ 記入者（F 7）

記入者は、「母親」が 84.7%であり、「父親」が 13.1%となっている（図表 2-1-7）。

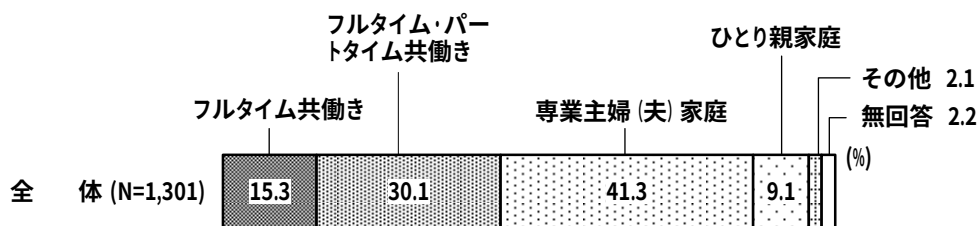
図表 2-1-7 記入者（全体）



⑧ 家族類型（問 10×問 1）

家族類型別は、「専業主婦（夫）」が 41.3%で最も多く、次いで「フルタイム・パートタイム共働き」が 30.1%、「フルタイム共働き」が 15.3%となっている（図表 2－1－8）。

図表 2－1－8 家族類型（全体）



※家族類型

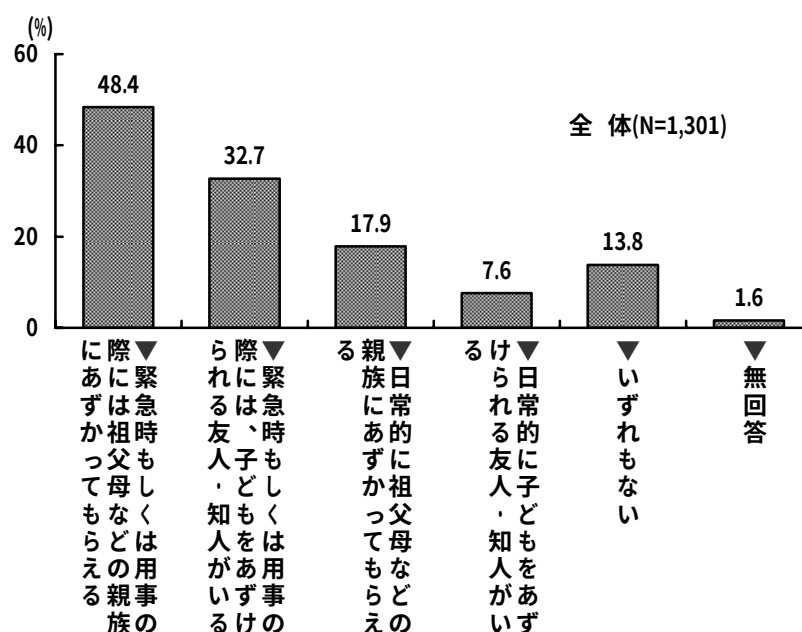
- ・ひとり親家庭：F3で「父同居（ひとり親家庭）」か「母同居（ひとり親家庭）」と回答した人
- ・フルタイム共働き：問 10 で父親、母親ともに「就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）」か「就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）」と回答した人（1. ひとり親家庭をのぞく）
- ・フルタイム・パートタイム共働き：問 10 で父親、母親の一方が、「就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）」か「就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）」と回答し、もう一方が「就労している（パートタイム・アルバイトなど）」と回答した人（1. ひとり親家庭をのぞく）
- ・専業主婦（夫）家庭：問 10 で父親、母親の一方が、「就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）」か「就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）」か「就労している（パートタイム・アルバイトなど）」と回答し、もう一方が「以前は就労していたが、現在は就労していない」か「これまでに就労したことがない」と回答した人（1. ひとり親家庭をのぞく）

(2) 日ごろの子育て

① 日ごろ、子どもをあずかってくれる人の有無（問1）

日ごろ、子どもをあずかってくれる人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にあずかってもらえる」が48.4%で最も多く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをあずけられる友人・知人がいる」が32.7%となっている。また、「いずれもない」が13.8%となっている（図表2-2-1）。

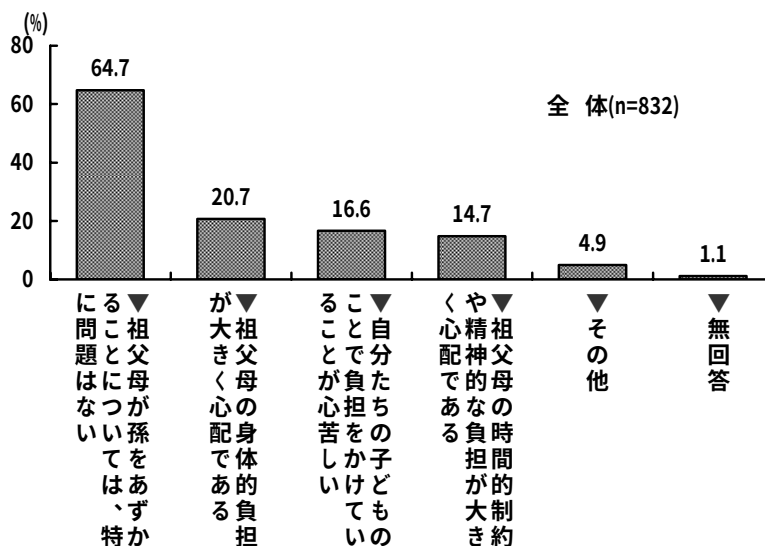
図表2-2-1 日ごろ、子どもをあずかってくれる人の有無（全体：複数回答）



② 祖父母に子どもをあずけていることに関する意識（問1-1）

祖父母に子どもをあずけていることに関する意識は、「祖父母が孫をあずかることについては、特に問題はない」が64.7%で最も多く、次いで「祖父母の身体的負担が大きく心配である」が20.7%となっている（図表2-2-2）。

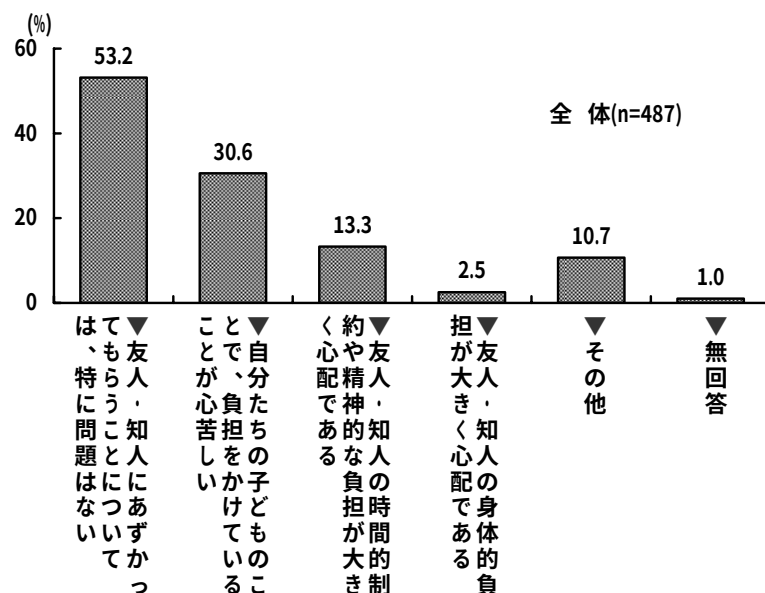
図表2-2-2 祖父母に子どもをあずけていることに関する意識（全体：複数回答）
＜日ごろ祖父母に子どもをあずけることができる人＞



③ 友人・知人に子どもをあずけていることに関する意識（問1-2）

友人・知人に子どもをあずけていることに関する意識は、「友人・知人にあずかってもらうことについては、問題はない」が53.2%で最も多く、次いで「自分たちの子どものことで負担をかけていることが心苦しい」が30.6%となっている（図表2-2-3）。

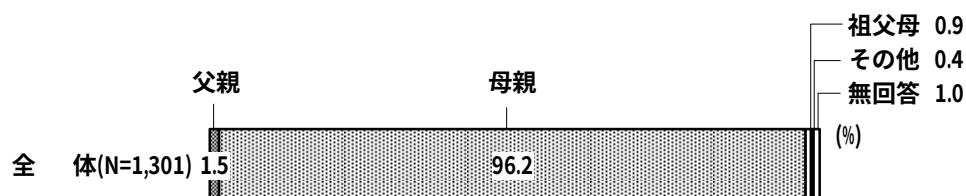
図表2-2-3 友人・知人に子どもをあずけていることに関する意識（全体：複数回答）
＜日ごろ友人・知人に子どもをあずけることができる人＞



④ 主たる保育者（問2）

主たる保育者は「母親」が96.2%となっている（図表2-2-4）。

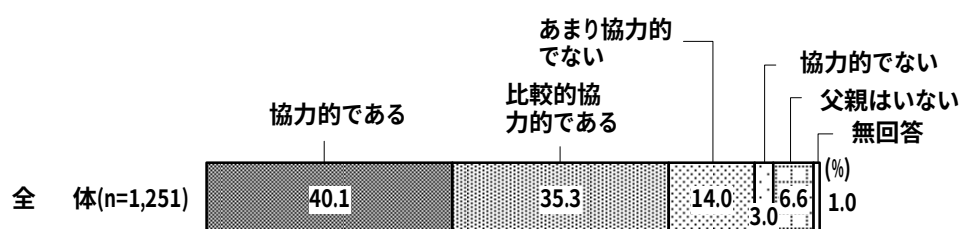
図表2-2-4 主たる保育者（全体）



⑤ 配偶者や周囲の人の子育てへの関わり方（問3）

◇父親の子育てへの関わり方

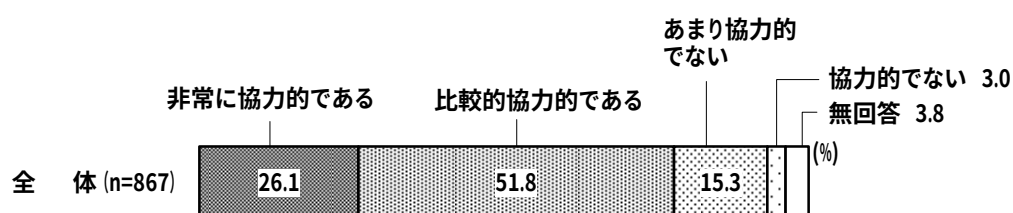
主たる保育者が母親の場合に母親から見た父親の子育てへの関わり方は、「協力的である」が40.1%で最も多く、「比較的協力的である」の35.3%と合計すると75.4%となる。一方、「あまり協力的でない」の14.0%、「協力的でない」の3.0%を合計すると17.0%となる（図表2-2-5-1）。

図表2-2-5-1 父親の子育てへの関わり方（全体）
＜主たる保育者が「母親」と回答した人＞

＜前回調査との比較＞

前回調査と比較すると、父親の子育てへの関わり方は、前回調査・今回調査ともに、「あまり協力的でない」と「協力的でない」を合計すると、17～18%程度となっている（図表2-2-5-2）。

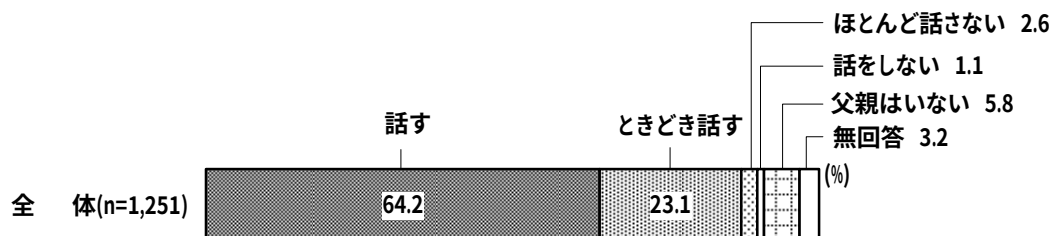
図表2-2-5-2 配偶者の子育てへの関わり方（母親／前回調査）



◇両親間で子どものことについて話す頻度

主たる保育者が母親の場合に子どものことについて両親間で話す頻度は、「話す」が64.2%であり、「ときどき話す」の23.1%を合計すると87.3%となる（図表2-2-5-3）。

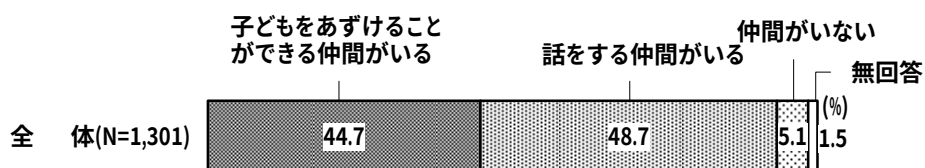
図表2-2-5-3 両親間で子どものことについて話す頻度（全体）
＜主たる保育者が「母親」と回答した人＞



◇子育ての仲間の有無

子育て仲間の有無は、「話をする仲間がいる」が48.7%で最も多く、次いで「子どもをあずけることができる仲間がいる」が44.7%となっている（図表2-2-5-4）。

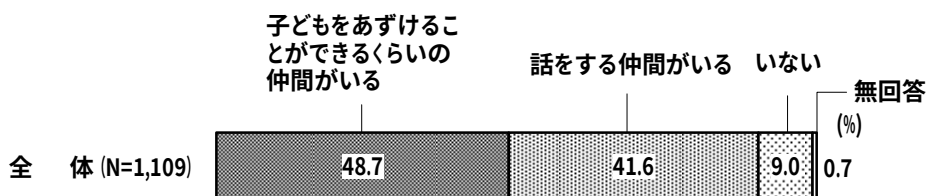
図表2-2-5-4 子育ての仲間の有無（全体）



＜前回調査との比較＞

前回調査と比較すると、子育ての仲間の有無は、今回調査は「話をする仲間がいる」が48.7%であり、前回調査の41.6%を7.1ポイント上回っている。一方、「仲間がない」が5.1%であり、前回調査の「いない」の9.0%を3.9ポイント下回っている（図表2-2-5-5）。

図表2-2-5-5 子育ての仲間の有無（全体／前回調査）



⑥ 子育てが楽しいと感じる程度（問4）

子育てが楽しいと感じる程度は、「楽しいと感じることの方が多い」が60.6%であり、「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」が32.1%となっている。

家族類型別にみると、ひとり親家庭は他の家庭と比較して「楽しいと感じることの方が多い」が少なく、逆に「つらいと感じることの方が多い」が多くなっている（図表2-2-6-1）。

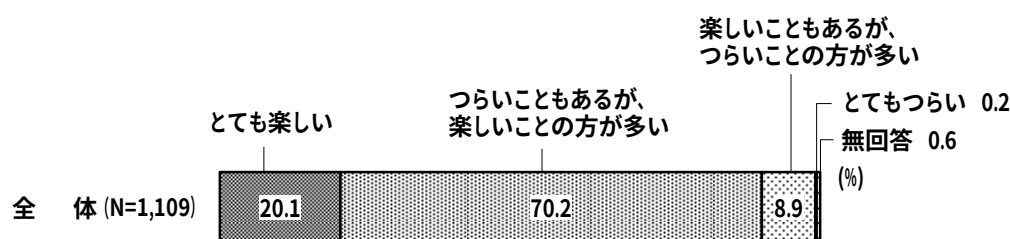
図表2-2-6-1 子育てが楽しいと感じる程度（全体、家族類型別）

		の▼ 方楽 がし いと 感じ ること	とと▼ がっ 同じ くらい と感じ ること	の▼ 方つ がら いと 感じ ること	▼ わ か ら な い	▼ そ の 他	▼ 無 回 答
		(%)					
全 体 (N=1,301)		60.6	32.1	3.0	2.5	0.8	1.1
家 族 類 型 別	フルタイム共働き (n= 199)	63.8	29.1	3.0	2.5	0.0	1.5
	フルタイム・パートタイム共働き (n= 392)	62.8	31.6	2.8	1.5	0.5	0.8
	専業主婦(夫)家庭 (n= 537)	61.5	32.4	2.0	2.6	1.1	0.4
	ひとり親家庭 (n= 118)	54.2	30.5	6.8	5.9	1.7	0.8
	その他 (n= 27)	40.7	29.6	11.1	0.0	0.0	18.5

<前回調査との比較>

前回調査と比較すると、子育てが楽しいと感じる程度は、選択肢が異なるものの、今回調査が前回調査より「つらいことの方が多い」と答える割合が低くなっている（図表2-2-6-2）。

図表2-2-6-2 子育てが楽しいと感じる程度（全体／前回調査）

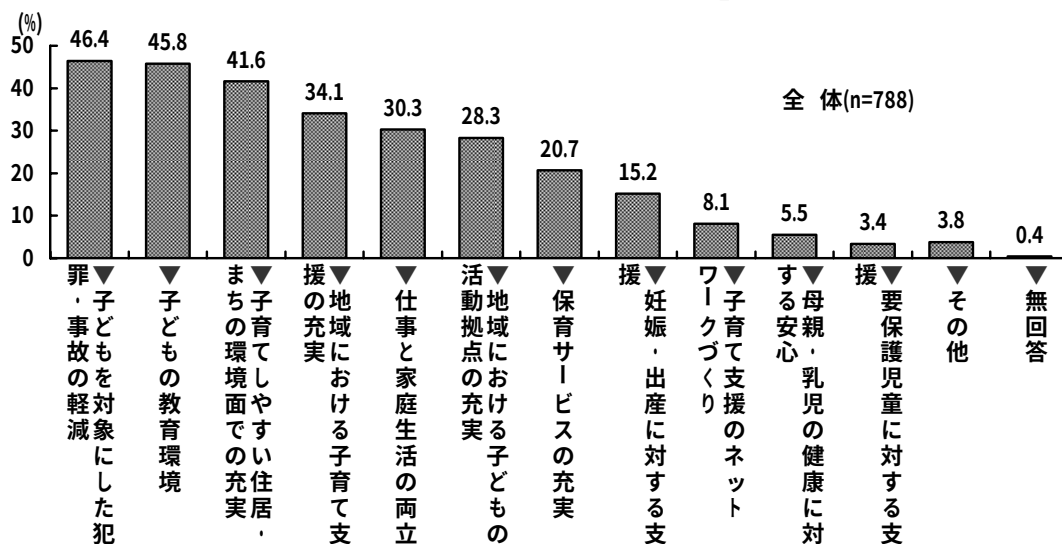


⑦ 子育てをする中で有効な支援・対策（問4-1）

子育てについて「楽しいと感じることの方が多い」と回答した人に、子育てをする中で有効だと考える支援・対策をたずねたところ、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が46.4%で最も多く、次いで「子どもの教育環境」が45.8%、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が41.6%となっている（図表2-2-7）。

図表2-2-7 子育てをする中で有効な支援・対策（全体：複数回答（3つまで））

＜子育てが「楽しいと感じることの方が多い」と回答した人＞

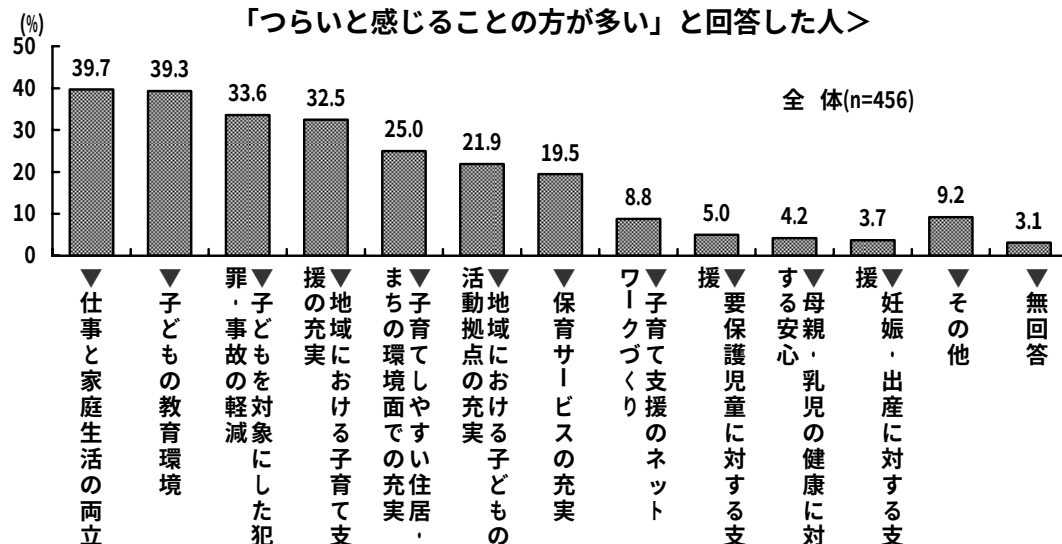


⑧ 子育ての辛さを解消するために必要なこと（問4-2）

子育てについて「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」または「つらいと感じることの方が多い」と回答した人に、子育ての辛さを解消するために必要なことをたずねたところ、「仕事と家庭生活の両立」が39.7%で最も多く、次いで「子どもの教育環境」が39.3%、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が33.6%となっている（図表2-2-8）。

図表2-2-8 子育ての辛さを解消するために必要なこと（全体：複数回答（3つまで））

＜子育てが「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」、
「つらいと感じることの方が多い」と回答した人＞

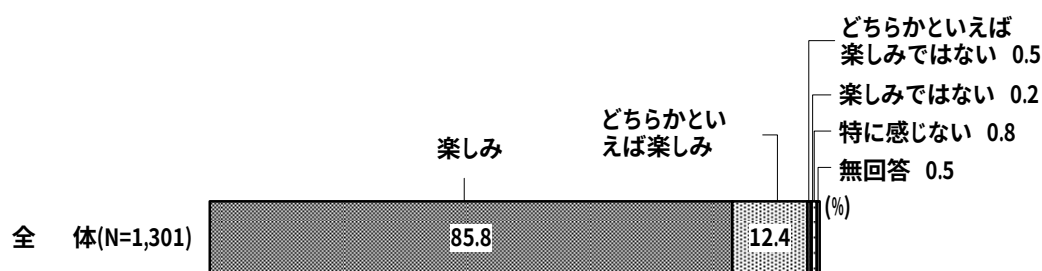


⑨ 日ごろの子育てについて感じていること（問5）

◇子どもの成長について

子どもの成長については、「楽しみ」が85.8%となっている（図表2-2-9-1）。

図表2-2-9-1 子どもの成長について（全体）



◇子育てに自信が持てなくなること

子育てに自信が持てなくなることは、「ときどきある」の54.0%と「よくある」の7.9%を合計すると61.9%となる（図表2-2-9-2）。

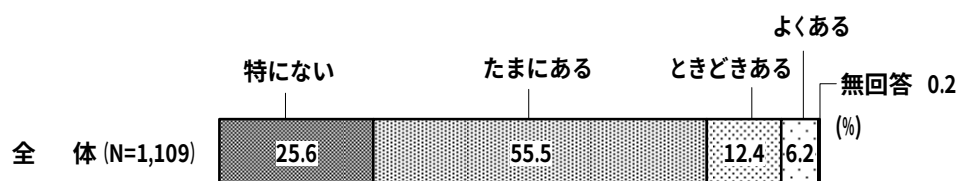
図表2-2-9-2 子育てに自信が持てなくなること（全体）



<前回調査との比較>

前回調査と比較すると、子育てに自信が持てなくなることは、今回調査は「よくある」が7.9%であり、前回調査の6.2%を1.7ポイント上回っている（図表2-2-9-3）。

図表2-2-9-3 子育てに自信が持てなくなること（全体／前回調査）



◇子どもと話す頻度

子どもと話す頻度は、「よく話す」が88.1%となっている（図表2-2-9-4）。

図表2-2-9-4 子どもと話す頻度（全体）

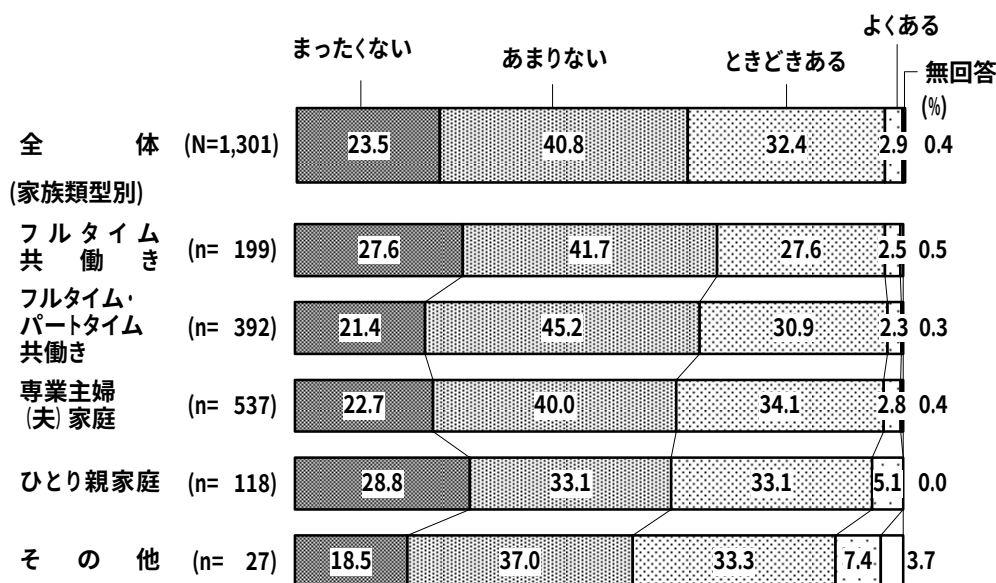


◇子育てが嫌になること

子育てが嫌になることは、「ときどきある」の32.4%と「よくある」の2.9%を合計すると35.5%となる。

家族類型別にみると、「ときどきある」と「よくある」を合計すると、ひとり親家庭が38.2%、専業主婦（夫）家庭が36.9%で全体を上回っている（図表2-2-9-5）。

図表2-2-9-5 子育てが嫌になること（全体、家族類型別）



<前回調査との比較>

前回調査と比較すると、子育てが嫌になることは、選択肢が異なるものの、前回調査・今回調査ともに「よくある」が3%弱となっている（図表2-2-9-6）。

図表2-2-9-6 子育てが嫌になること（全体／前回調査）

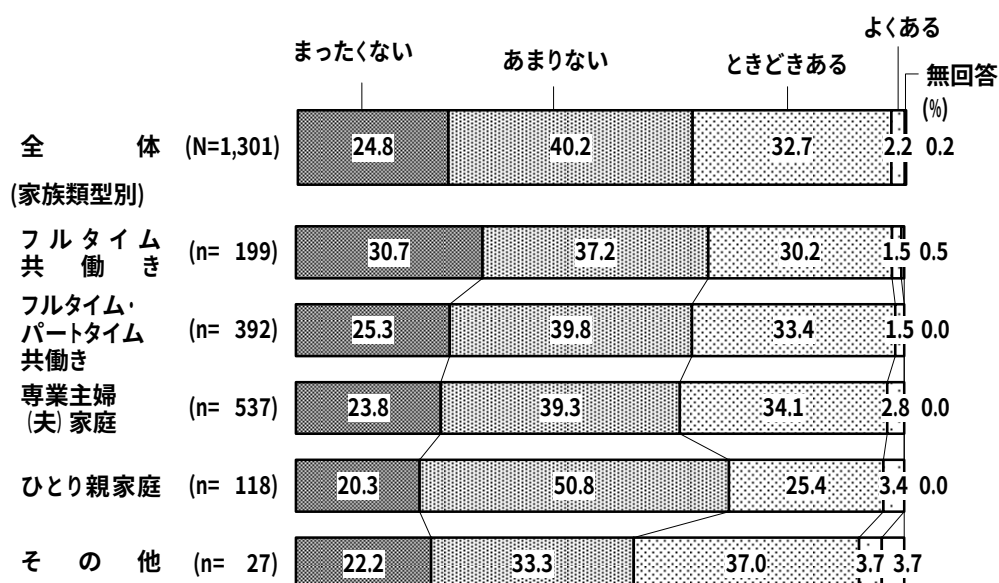


◇イライラして子どもをたたいてしまうこと

イライラして子どもをたたいてしまうことは、「ときどきある」の 32.7%と「よくある」の 2.2%を合計すると 34.9%となる。

家族類型別にみると、「ときどきある」、「よくある」を合計すると、専業主婦（夫）家庭が 36.9%で全体の 34.9%を 2.0 ポイント上回っている（図表 2－2－9－7）。

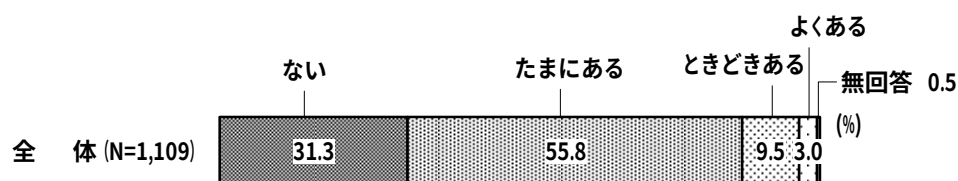
図表 2－2－9－7 イライラして子どもをたたいてしまうこと（全体）



<前回調査との比較>

前回調査と比較すると、子どもをたたいてしまうことは、選択肢が異なるものの、「よくある」が今回調査では 2.2%、前回調査では 3.0%となっている（図表 2－2－9－8）。

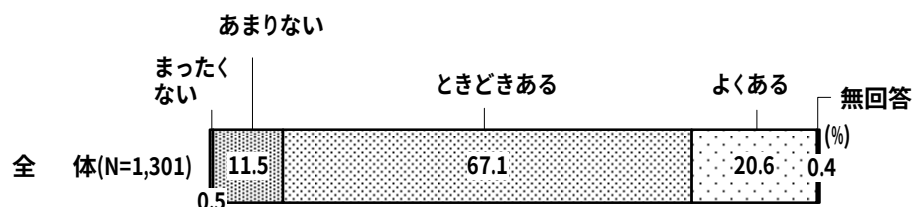
図表 2－2－9－8 カッとして子どもをたたいてしまうこと（全体／前回調査）



◇しつけのために子どもを厳しくしかること

しつけのために子どもを厳しくしかことは、「ときどきある」の 67.1%と「よくある」の 20.6%を合計すると 87.7%となる（図表 2-2-9-9）。

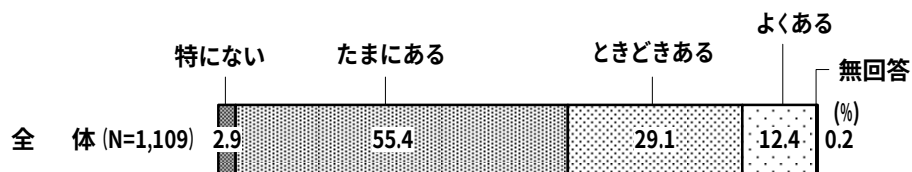
図表 2-2-9-9 しつけのために子どもを厳しくしかること（全体）



<前回調査との比較>

前回調査と比較すると、しつけのために子どもを厳しくしかことは、選択肢が異なるものの、今回調査では「よくある」が 20.6%であり、前回調査の 12.4%を 8.2 ポイント上回っている（図表 2-2-9-10）。

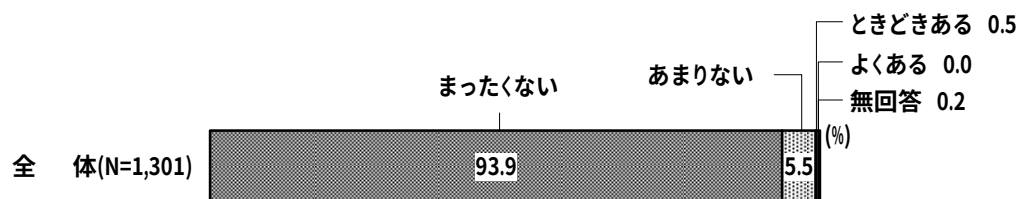
図表 2-2-9-10 しつけのために子どもを厳しくしかること（全体／前回調査）



◇子どもの面倒をみないこと

食事を与えない、風呂に入れないなど、子どもの面倒をみないことは、「まったくない」が 93.9%となっているが、「ときどきある」が 0.5%（6 人）であり、少数ながら回答した人もいる（図表 2-2-9-11）。

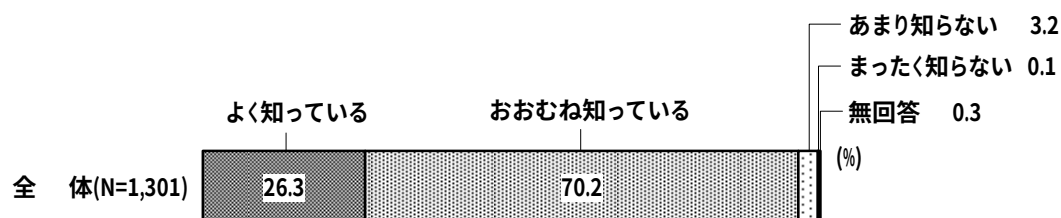
図表 2-2-9-11 子どもの面倒をみないこと（全体）



◇子どもの考えていることや家庭以外での過ごし方について

子どもの考えていることや家庭での過ごし方に関する認知度は、「よく知っている」の26.3%と「おおむね知っている」の70.2%を合計すると96.5%となる（図表2-2-9-12）。

図表2-2-9-12 子どもの考えていることや家庭以外での過ごし方に関する認知度（全体）



⑩ 母親、父親がふだんの生活の中で子どもと接する時間（問6）

母親、父親がふだんの生活の中で子どもと接する時間は、平日・休日ともに父親よりも母親の方が接する時間の長い人が多くっており、特に平日は母親の85.9%が3時間以上子どもと接しているのに対し、父親は48.3%の人が子どもと接する時間が1時間未満となっている（図表2-2-10）。

図表2-2-10 母親、父親がふだんの生活の中で子どもと接する時間（全体）

全体(N=1,301)						(%)
	1時間未満	1～2時間	3時間以上	同居ない て	父い ・母 親は	無 回 答
父親平日	48.3	27.4	13.3	3.7	4.8	2.5
父親休日	4.4	11.1	72.0	3.7	4.8	3.9
母親平日	1.8	10.8	85.9	0.2	0.5	0.8
母親休日	0.5	2.6	94.1	0.2	0.5	2.2

⑪ 子育ての中で日ごろ悩んでいること、気になること（問7）

子育ての中で日ごろ悩んでいること、気になることは、「子どもの教育・塾、進路に関する
こと」が52.3%で最も多く、次いで「友だちづきあいなど対人関係に関すること」が47.4%、
「子どものほめ方/しかり方がよくわからないこと」が20.7%となっている。

家族類型別にみると、ひとり親家庭は、「発達・教育に関すること」、「子育ての方法がよく
わからないこと」、「子どもとの時間を十分にとれないこと」、「仕事や自分のやりたいことが
十分できないこと」などが全体に比べて多くなっている。フルタイム共働き家庭では「子ど
もとの時間を十分にとれないこと」が全体に比べて多くなっている（図表2-2-11-1）。

図表2-2-11-1 子育ての中で日ごろ悩んでいること、気になること
(全体、家族類型別：複数回答)

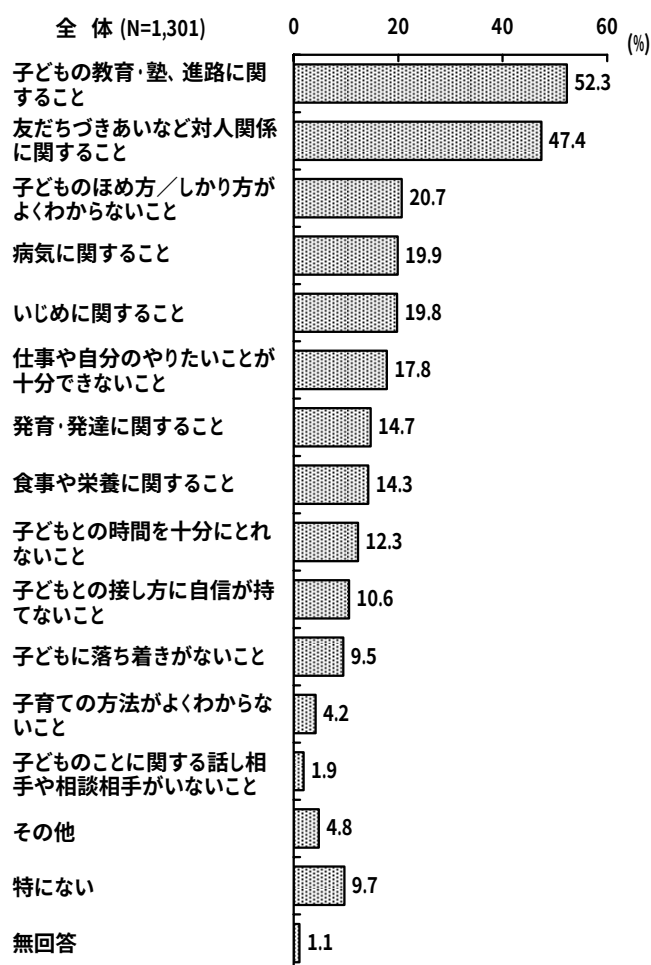
		▼ 子どもの教育・塾、 進路に関 すること	▼ 友だちづきあいなど 対人関係 に関する こと	▼ 子どものほめ方／ しかり方 がよくわ からない こと	▼ 病気に 関する こと	▼ いじめ に関す ること	▼ 仕事や 自分の やりたい ことが 十分で きない こと	▼ 発達・ 発達に 関する こと	▼ 食事や 栄養に 関する こと	▼ 子ども との時 間を十 分に とれ ない こと	▼ 子ども との接 し方に 自信が 持た ない こと	▼ 子ども に落ち 着き がない こと	▼ 子育て の方法 がよく わから ない こと	▼ 子ども のことに 関する 話し相 手や相 談相手 がない こと	▼ その他	▼ 特にな い	▼ 無回 答
全 体 (N=1,301)		52.3	47.4	20.7	19.9	19.8	17.8	14.7	14.3	12.3	10.6	9.5	4.2	1.9	4.8	9.7	1.1
家族 類型 別	フルタイム共働き (n= 199)	48.7	41.7	18.6	19.6	18.6	19.6	14.1	13.1	34.2	11.1	8.5	5.0	1.0	5.0	8.0	1.5
	フルタイム・パートタイム 共働き (n= 392)	58.2	49.7	20.2	20.4	21.7	15.1	15.1	14.8	9.2	8.2	10.7	3.3	1.3	3.1	8.7	1.5
	専業主婦(夫)家庭 (n= 537)	51.4	48.2	22.5	19.7	19.2	16.2	14.2	14.0	4.5	12.3	9.1	3.9	2.0	5.8	11.0	0.4
	ひとり親家庭 (n= 118)	45.8	43.2	21.2	20.3	20.3	28.8	18.6	15.3	22.0	7.6	11.0	8.5	5.1	6.8	10.2	0.8
	その他 (n= 27)	40.7	48.1	18.5	14.8	11.1	18.5	7.4	25.9	14.8	7.4	3.7	3.7	0.0	0.0	7.4	7.4

<前回調査との比較>

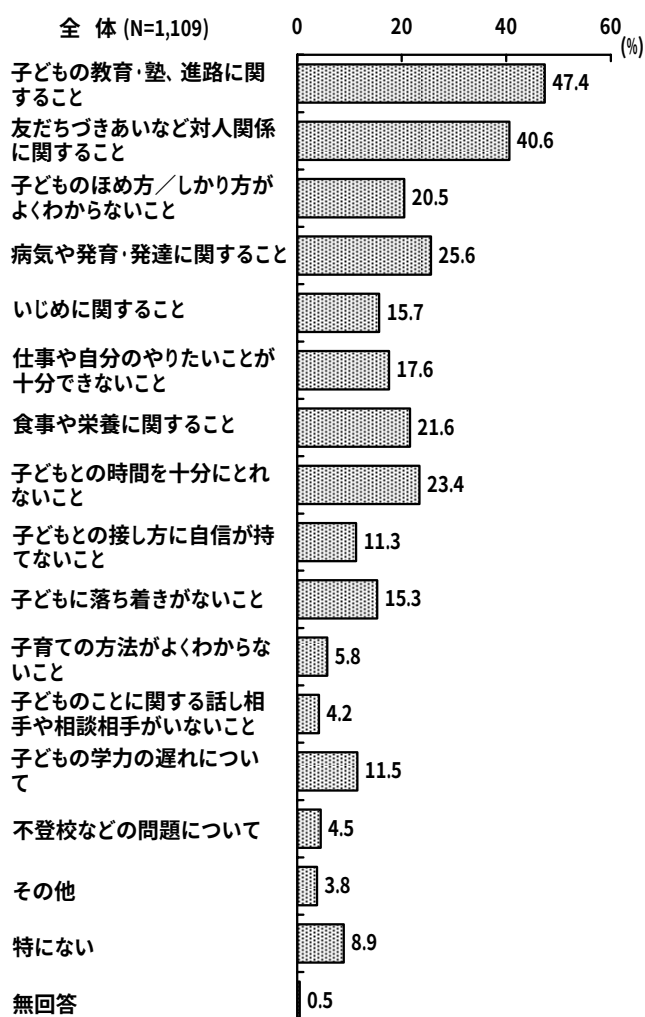
前回調査と比較すると、子育ての中で日ごろ悩んでいることは、前回調査・今回調査ともに、「子どもの教育・塾、進路に関すること」、「友だちづきあいなど友達関係に関すること」が上位となっている（図表2-2-11-2）。

図表2-2-11-2 子育ての中で日ごろ悩んでいること（全体：複数回答）

<今回調査>



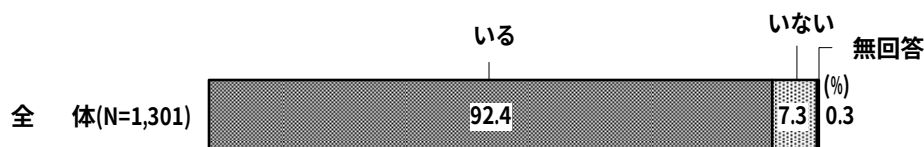
<前回調査>



⑫ 子育てについて気軽に相談できる人の有無（F 3×問 8）

子育てについて気軽に相談できる人の有無は、「いる」が92.4%であり、「いない」が7.3%となっている（図表2-2-12）。

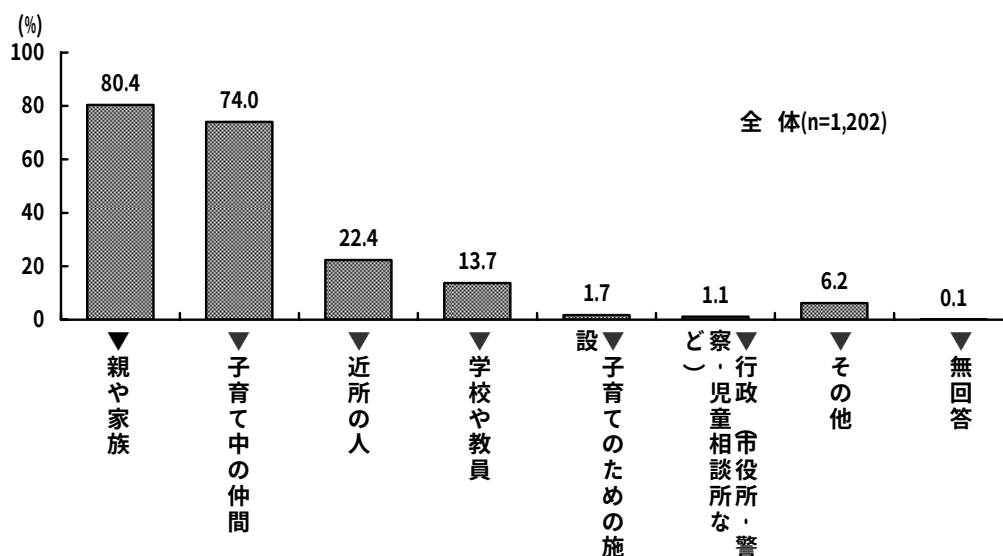
図表2-2-12 子育てについて気軽に相談できる人の有無（全体）



⑬ 子育てについて気軽に相談できる人（問 8-1）

子育てについて気軽に相談できる人がいる場合に、気軽に相談できる人は誰かをたずねたところ、「親や家族」が80.4%で最も多く、次いで「子育て中の仲間」が74.0%となっている（図表2-2-13）。

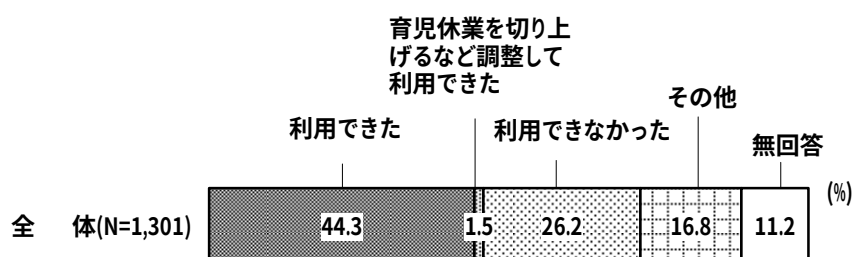
図表2-2-13 子育てについて気軽に相談できる人
＜子育てについて気軽に相談できる人が「いる」と回答した人＞（全体：複数回答）



⑭ 希望した時期の保育サービスの利用状況（問 9）

希望した時期に希望した保育サービスを利用できたかは、「利用できた」が44.3%で、「利用できなかった」が26.2%となっている（図表2-2-14）。

図表2-2-14 希望した時期の保育サービスの利用状況（全体）



(3) 保護者の就労状況

① 両親の就労状況（就労の有無（就労形態）、就労時間・日数、帰宅時間、フルタイムへの転換希望）（問 10）

◇両親の就労の有無

就労の有無は、父親は「就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない）」が 90.1%となっている。母親は「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 35.0%、「就労している（パートタイム、アルバイトなど）」が 34.0%となっている（図表 2-3-1-1）。

図表 2-3-1-1 両親の就労の有無（全体）

(%)

全体 (N=1,301)	休業中 は含 まな い （育 休・ 介護 休業 中）	フル タイム で就 労し てい る （育 休・ 介護 休業 中）	パート タイム で就 労し てい る （育 休・ 介護 休業 中）	フル タイム で就 労し てい る （育 休・ 介護 休業 中）	パート タイム で就 労し てい る （育 休・ 介護 休業 中）	以前 は就 労し てい たが 、現 在は 就労 して い ない	これ まで に就 労し たこ とが ない	父親 ／母 親は いな い	無 回 答
父親	90.1	0.2	0.6	0.8	0.1	5.1	3.2		
母親	19.8	0.5	34.0	35.0	8.5	0.5	1.8		

◇フルタイムで働く親の 1 週あたりの就労時間

フルタイムでかつ育休・介護休業中ではない人の、1 週あたりの平均就労時間は、父親が 50.7 時間であり、母親は 38.0 時間となっている（図表 2-3-1-2）。

図表 2-3-1-2 フルタイムで働く親の 1 週あたりの就労時間（全体）
＜就労形態がフルタイム（育休・介護休業中は含まない）の人＞

(%)

	30 時 間 未 満	30 ～ 40 時 間 未 満	40 ～ 50 時 間 未 満	50 ～ 60 時 間 未 満	60 ～ 70 時 間 未 満	70 ～ 80 時 間 未 満	80 ～ 90 時 間 未 満	90 ～ 100 時 間 未 満	100 時 間 以 上	無 回 答	平 均
父親 (n=1,172)	8.4	1.4	21.7	21.0	17.0	8.5	2.5	0.9	0.5	18.2	50.7時間
母親 (n= 258)	10.5	25.6	42.2	9.7	1.9	0.4	0.0	0.0	0.0	9.7	38.0時間

◇フルタイムで働く親の帰宅時間

フルタイムでかつ育休・介護休業中ではない人の帰宅時間は、父親は20～22時が多くなっており、母親は18～19時が多くなっている（図表2-3-1-3）。

図表2-3-1-3 フルタイムで働く親の帰宅時間（全体）
＜就労形態がフルタイム（育休・介護休業中は含まない）の人＞

												(%)	
		1 5 6 時	7 5 11 時	12 5 16 時	17 時	18 時	19 時	20 時	21 時	22 時	23 時	24 時	無 回 答
父親	(n=1,172)	2.1	4.1	0.7	0.9	5.5	9.6	14.4	15.1	16.5	10.3	5.5	15.3
母親	(n= 258)	1.6	1.6	2.7	7.8	38.4	24.4	8.9	2.3	1.2	0.8	0.4	10.1

◇パート・アルバイトで働く親の1週あたりの就労日数と1日あたりの就労時間

パート・アルバイトなどをしている親の1週あたりの平均就労日数および1日あたりの平均就労時間は、父親は1週あたり4.2日、1日あたり6.7時間であるのに対し、母親は1週あたり3.9日、1日あたり5.2時間となっている（図表2-3-1-4、図表2-3-1-5）。

図表2-3-1-4 パート・アルバイトで働く親の1週あたりの就労日数（全体）
＜就労形態がパート・アルバイトなどの人＞

		(%)								平 均
		1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	無 回 答	
父親	(n= 8)	0.0	0.0	25.0	0.0	37.5	0.0	0.0	37.5	4.2日
母親	(n=442)	3.2	7.0	23.1	26.0	31.0	3.4	0.0	6.3	3.9日

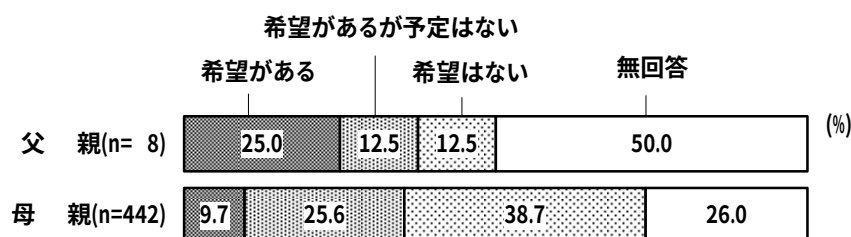
図表2-3-1-5 パート・アルバイトで働く親の1日あたりの就労時間（全体）
＜就労形態がパート・アルバイトなどの人＞

		(%)										平 均
		2 時 間 以 下	3 時 間	4 時 間	5 時 間	6 時 間	7 時 間	8 時 間	9 時 間	10 時 間 以 上	無 回 答	
父親	(n= 8)	0.0	25.0	0.0	12.5	0.0	12.5	25.0	0.0	12.5	12.5	6.7時間
母親	(n=442)	4.5	8.8	25.8	23.8	16.3	6.3	7.7	0.5	2.0	4.3	5.2時間

◇パート・アルバイトで働く親のフルタイムへの転換希望（パート・アルバイト等）

パート・アルバイトなどをしている親のフルタイムへの転換希望は、父親は「希望がある」が25.0%で最も多くなっている。母親は「希望はない」が38.7%で最も多く、次いで「希望はあるが予定はない」が25.6%となっている（図表2-3-1-6）。

図表2-3-1-6 パート・アルバイトで働く親のフルタイムへの転換希望（全体）
＜就労形態がパート・アルバイトなどの人＞

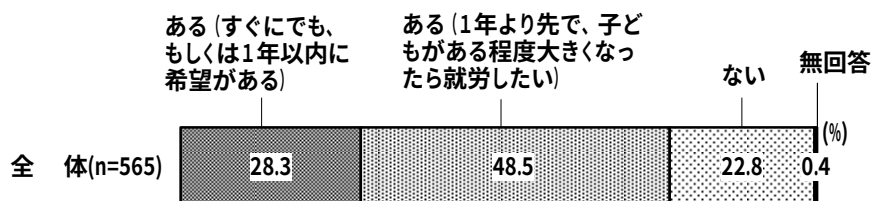


② 就労していない母親の就労希望（問10-1）

◇就労していない母親の就労希望

現在就労していない母親の就労希望は、「ある（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」が48.5%であり、「ある（すぐにでも、もしくは1年以内に希望がある）」が28.3%となっている。合計すると、就労希望がある人は76.8%となる（図表2-3-2-1）。

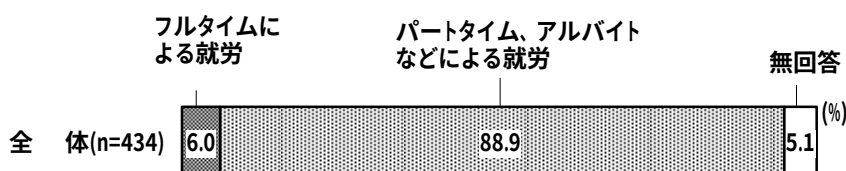
図表2-3-2-1 就労していない母親の就労希望（全体）
＜母親が現在就労していないと回答した人＞



◇就労希望がある母親の希望する就労形態

就労希望がある母親の希望する就労形態は、「フルタイムによる就労」が6.0%、「パートタイム・アルバイトなどによる就労」が88.9%となっている（図表2-3-2-2）。

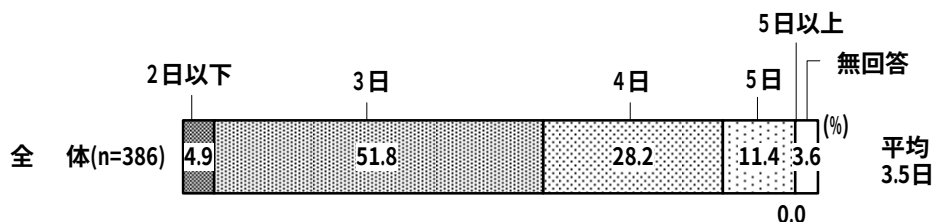
図表2-3-2-2 就労希望がある母親の希望する就労形態（全体）
＜母親に就労希望があると回答した人＞



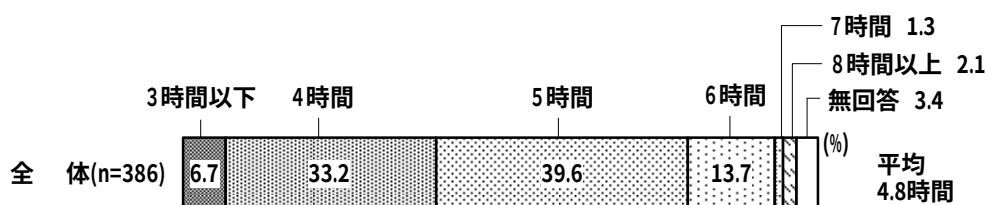
◇パート・アルバイトを希望する母親の希望する週あたりの就労日数、就労時間

パート・アルバイトを希望する母親の希望する週あたりの平均就労日数は3.5日、1日あたりの平均就労時間は4.8時間となっている（図表2-3-2-3、図表2-3-2-4）。

図表2-3-2-3 希望する週あたりの就労日数（全体）
＜就労希望がある母親でパート・アルバイトなどを希望すると回答した人＞



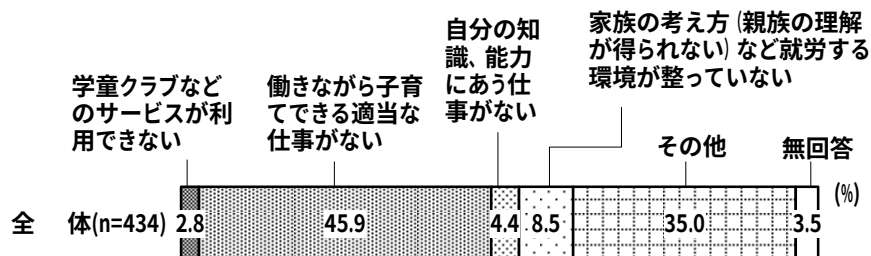
図表2-3-2-4 希望する1日あたりの就労時間（全体）
＜就労希望がある母親でパート・アルバイトなどを希望すると回答した人＞



◇母親に就労希望がありながら現在働いていない理由

母親に就労希望がありながら現在働いていない理由は、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が45.9%で最も多くなっている（図表2-3-2-5）。

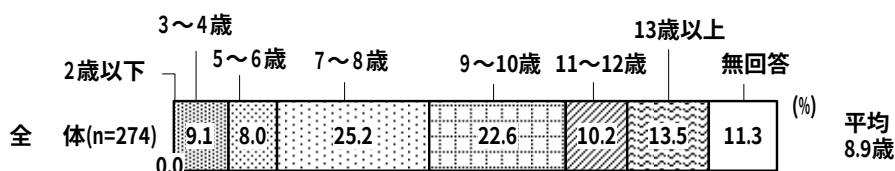
図表2-3-2-5 母親に就労希望がありながら現在働いていない理由（全体）
＜母親に就労希望があると回答した人＞



◇子どもがある程度大きくなったら就労したいと考えている母親が、就労を希望する時の末子の年齢

子どもがある程度大きくなったら就労したいと考えている母親が、就労を希望する時の末子の年齢は、7歳以降と答える人が71.5%となっている（図表2-3-2-6）。

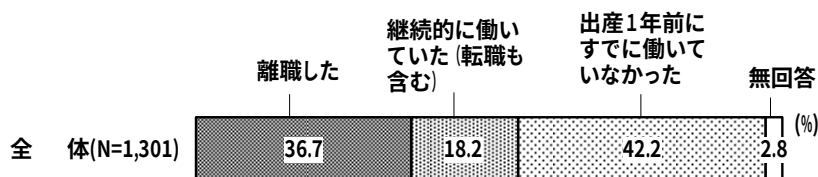
図表2-3-2-6 母親が就労を希望する時の末子の年齢（全体）
＜子どもがある程度大きくなったら就労したいと母親が考えていると回答した人＞



③ 出産前後の離職の経験（問 11）

出産前後の離職の経験は、「出産1年前にすでに働いていなかった」が42.2%で最も多く、次いで「離職した」が36.7%となっている（図表2-3-3）。

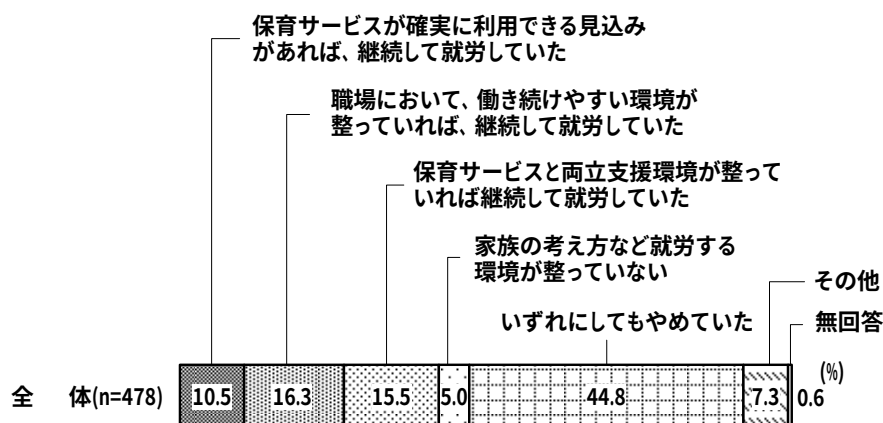
図表2-3-3 出産前後の離職の経験（全体）



④ 保育サービスや環境が整っていたら就労を継続したか（問 11-1）

仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら就労を継続したかについては、「いずれにしてもやめていた」が44.8%となっているが、「職場において、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」が16.3%、「保育サービスと両立支援環境が整っていれば継続して就労していた」が15.5%、「保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた」が10.5%であり、保育サービスなどの環境が整っていれば就労をしていた割合を合計すると42.3%となる（図表2-3-4）。

図表2-3-4 保育サービスや環境が整っていたら就労を継続したか（全体）
＜出産前後に母親が「離職した」と回答した人＞



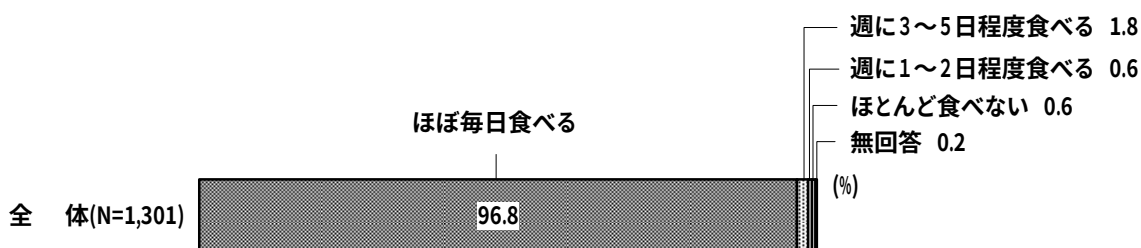
(4) 子どもの日々の過ごし方

① 子どものふだんの生活について（問 12）

◇朝食の摂取状況

子どもの朝食の摂取状況は、「ほぼ毎日食べる」が 96.8%となっている（図表 2-4-1-1-1）。

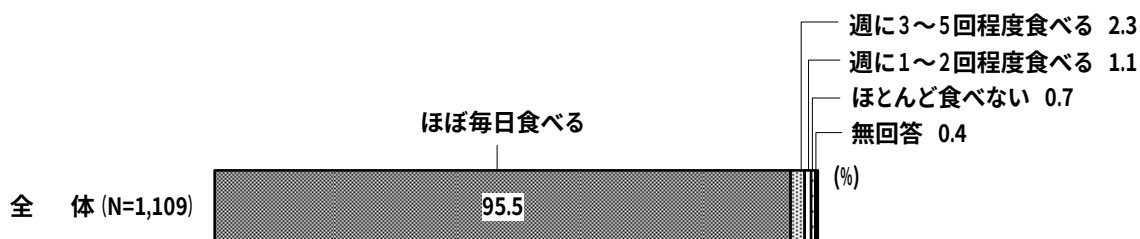
図表 2-4-1-1-1 朝食の摂取状況（全体）



<前回調査との比較>

前回調査と比較すると、朝食の摂取状況は、前回調査・今回調査ともに「ほぼ毎日食べる」が 95～96%となっている（図表 2-4-1-1-2）。

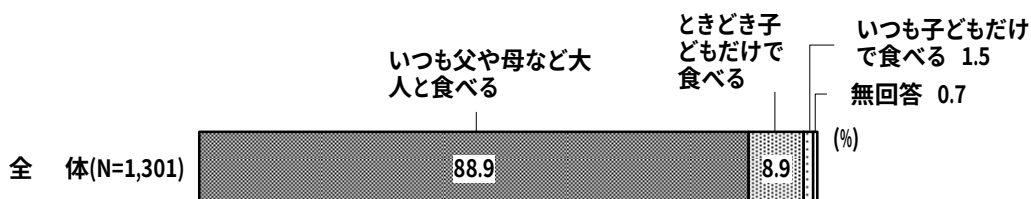
図表 2-4-1-1-2 朝食の摂取状況（全体／前回調査）



◇夕食の状況

子どもが夕食を親と一緒に食べる頻度は、「いつも父や母など大人と食べる」が 88.9%となっている（図表 2-4-1-1-3）。

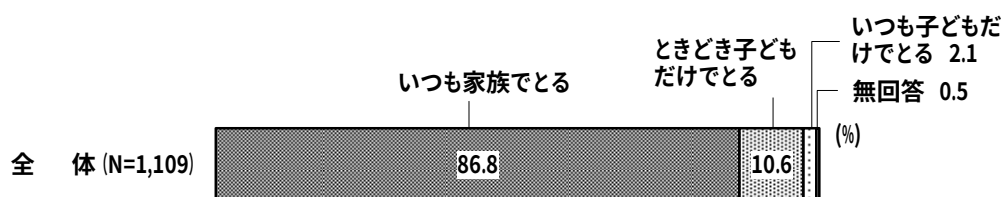
図表 2-4-1-1-3 夕食を親と一緒に食べる頻度（全体）



＜前回調査との比較＞

前回調査と比較すると、夕食の状況は、今回調査は前回調査を「ときどき子どもだけで食べる」が1.7ポイント、「いつも子どもだけで食べる」が0.6ポイント下回っている（図表2-4-1-4）。

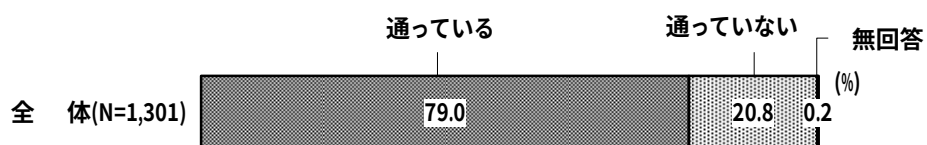
図表2-4-1-4 夕食の状況（全体／前回調査）



◇学習塾や習い事の状況

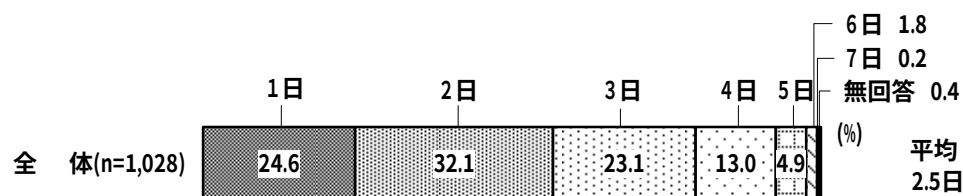
学習塾や習い事の状況は、「通っている」が79.0%であり、通っている場合の週あたりの平均日数は2.5日である（図表2-4-1-5、図表2-4-1-6）。

図表2-4-1-5 学習塾や習い事の状況（全体）



図表2-4-1-6 学習塾や習い事に通っている週あたりの日数（全体）

＜子どもが学習塾や習い事に通っていると回答した人＞

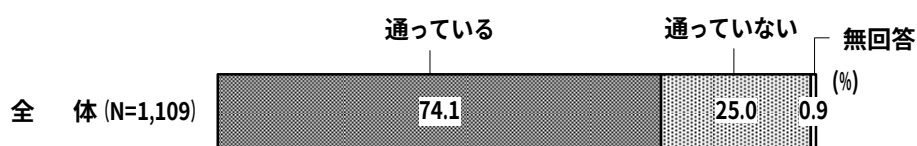


＜前回調査との比較＞

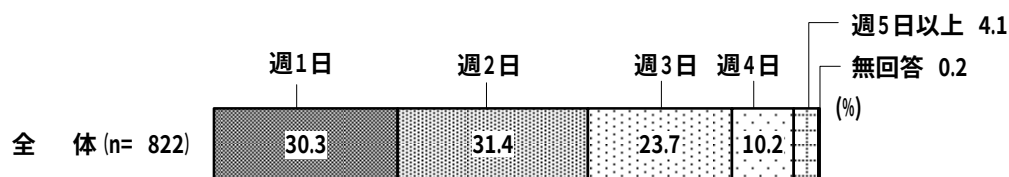
前回調査と比較すると、学習塾や習い事の状況は、今回調査は「通っている」が79.0%であり、前回調査を4.9ポイント上回っている（図表2-4-1-7）。

また、通っている場合の週あたりの日数は、今回調査は週4日以上が19.9%であり、前回調査の14.3%を5.6ポイント上回っている（図表2-4-1-8）。

図表2-4-1-7 通っている学習塾や習い事の状況（全体／前回調査）



図表2-4-1-8 学習塾や習い事に通っている週あたりの日数（全体／前回調査）
＜子どもが学習塾や習い事に通っていると回答した人＞



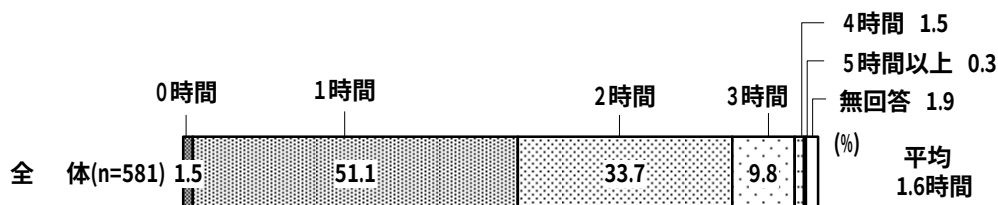
◇テレビ、ビデオ、テレビゲームの時間の制限の有無

子どもがテレビやビデオを見たりテレビゲームをする時間を決めているかは、「決めている」が44.7%で「決めている」の44.7%を上回っている。決めている場合の1日あたりの平均時間は1.6時間となっている（図表2-4-1-9、図表2-4-1-10）。

図表2-4-1-9 テレビ、ビデオ、テレビゲームの時間の制限の有無（全体）



図表2-4-1-10 時間制限がある場合の1日あたりの時間（全体）
＜テレビ、ビデオ、テレビゲームの時間を決めていると回答した人＞

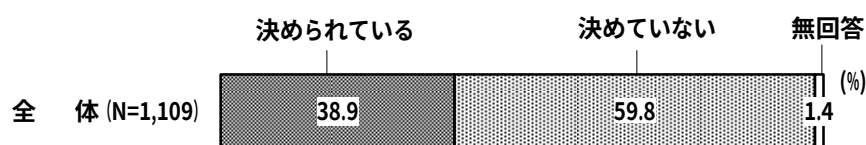
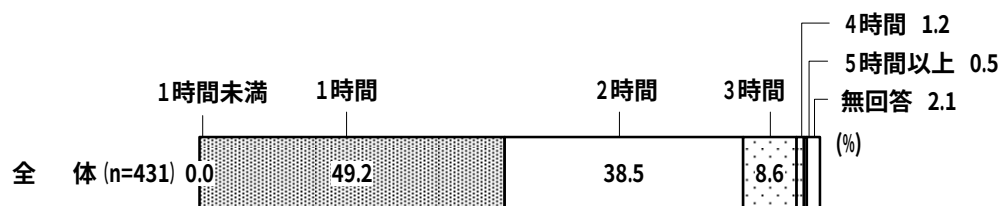


<前回調査との比較>

前回調査と比較すると、子どもがテレビやビデオを見たりテレビゲームをする時間を決めているかは、今回調査は「決めている」が44.7%であり、前回調査の「決められている」の38.9%を5.8ポイント上回っている（図表2-4-1-11）。

決めている場合の1日あたりの時間は、前回調査・今回調査ともに「1時間」が50%程度となっている（図表2-4-1-12）。

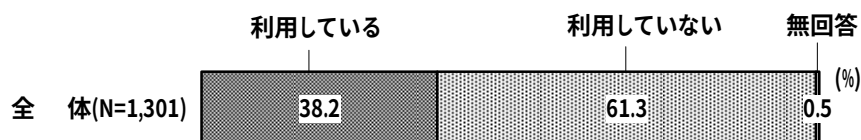
図表2-4-1-11 テレビ、ビデオ、テレビゲームの時間の制限の有無（全体／前回調査）

図表2-4-1-12 時間制限がある場合の1日あたりの時間（全体／前回調査）
<テレビ、ビデオ、テレビゲームの時間を決めていると回答した人>

◇インターネットの利用状況

家庭での子どものインターネットの利用状況は、「利用している」が38.2%となっている（図表2-4-1-13）。

図表2-4-1-13 家庭での子どものインターネット利用状況（全体）



◇子どもが保護者と話をしたり出かけたりする時間

子どもが1日に保護者と話をしたり出かけたりする平均時間は、平日が3.7時間、土曜日が8.2時間、日曜日・祝日が8.9時間となっている（図表2-4-1-14）。

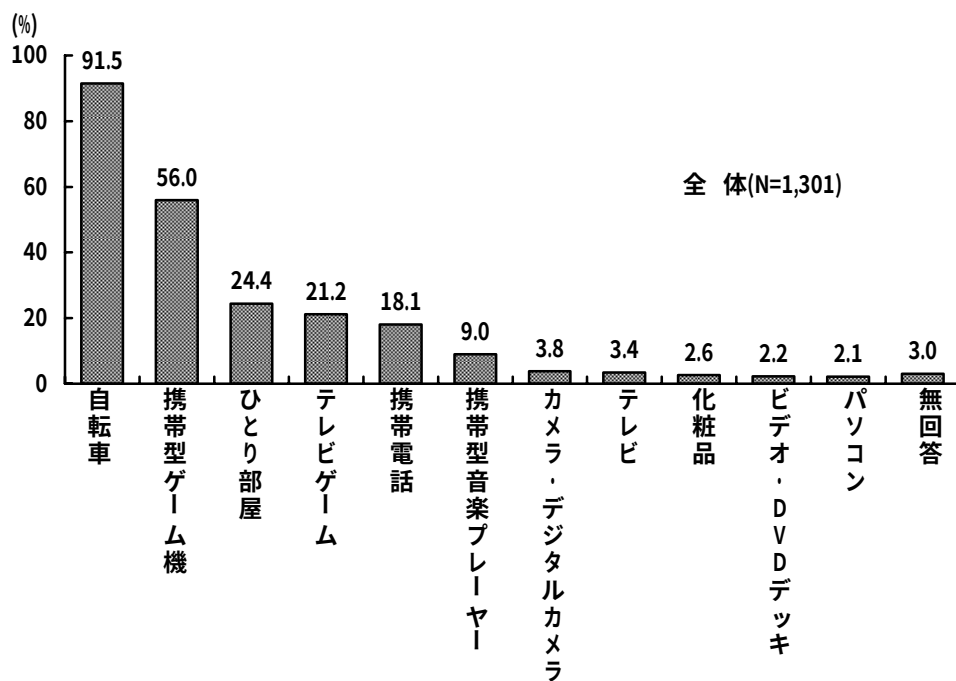
図表2-4-1-14 子どもが1日に保護者と話をしたり出かけたりする時間（全体）

全体 (N=1,301)	0時間	1時間 2時間	3時間 4時間	5時間 6時間	7時間 8時間	9時間 10時間	11時間 12時間	13時間 14時間	15時間 16時間	17時間 18時間	19時間 20時間	21時間以上	無回答	平均
平日	1.2	29.7	31.6	25.6	6.8	0.8	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	4.1	3.7時間
土曜日	0.2	8.3	13.1	17.0	12.4	14.8	13.1	12.5	3.7	0.2	0.2	0.5	4.1	8.2時間
日曜日・祝日	0.3	5.5	11.1	15.5	11.8	15.1	15.8	15.1	4.5	0.4	0.2	0.6	4.1	8.9時間

◇自分専用品の所持状況

子どもが自分専用にもっているものは、「自転車」が91.5%で最も多く、次いで「携帯型ゲーム機」が56.0%、「ひとり部屋」が24.4%となっている（図表2-4-1-15）。

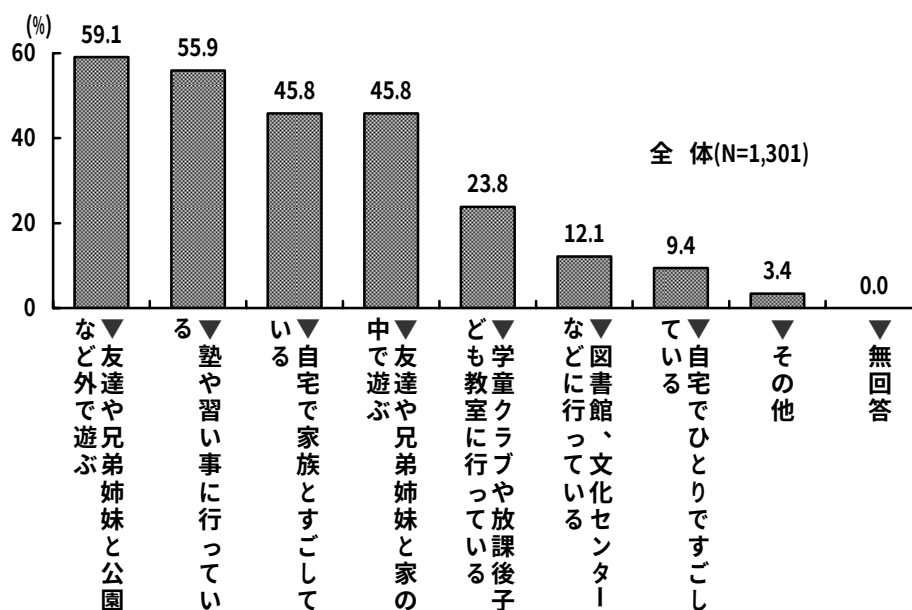
図表2-4-1-15 子どもが自分専用にもっているもの（全体：複数回答）



② 子どもの学校終了後から夕食前までの過ごし方（問 13）

子どもの学校終了後から夕食前までの過ごし方は、「友達や兄弟姉妹と公園など外で遊ぶ」が 59.1%で最も多く、次いで「塾や習い事に行っている」が 55.9%となっている（図表 2－4－2）。

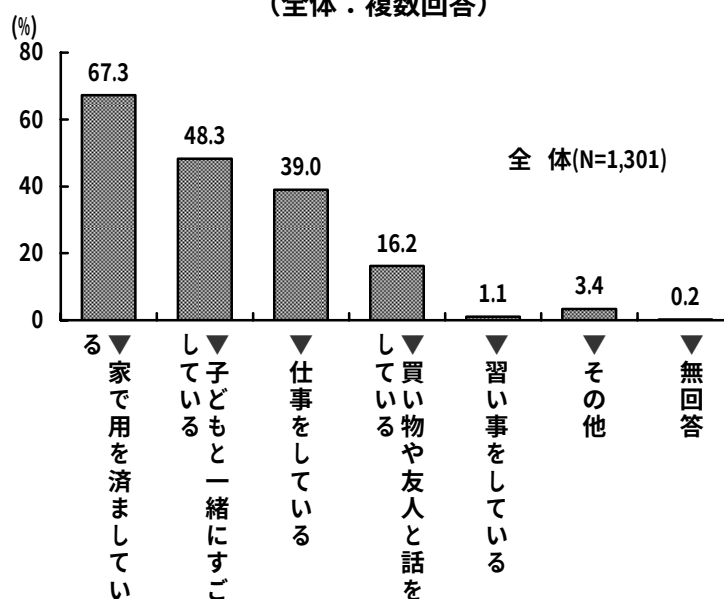
図表 2－4－2 子どもの学校終了後から夕食前までの過ごし方（全体：複数回答（3つまで））



③ 平日の学校終了後から夕食前までの時間帯における主たる保育者の用事（問 14）

平日の学校終了後から夕食前までの時間帯における主たる保育者の用事は、「家で用を済ましている」が 67.3%で最も多く、次いで「子どもと一緒にすごしている」が 48.3%となっている（図表 2－4－3）。

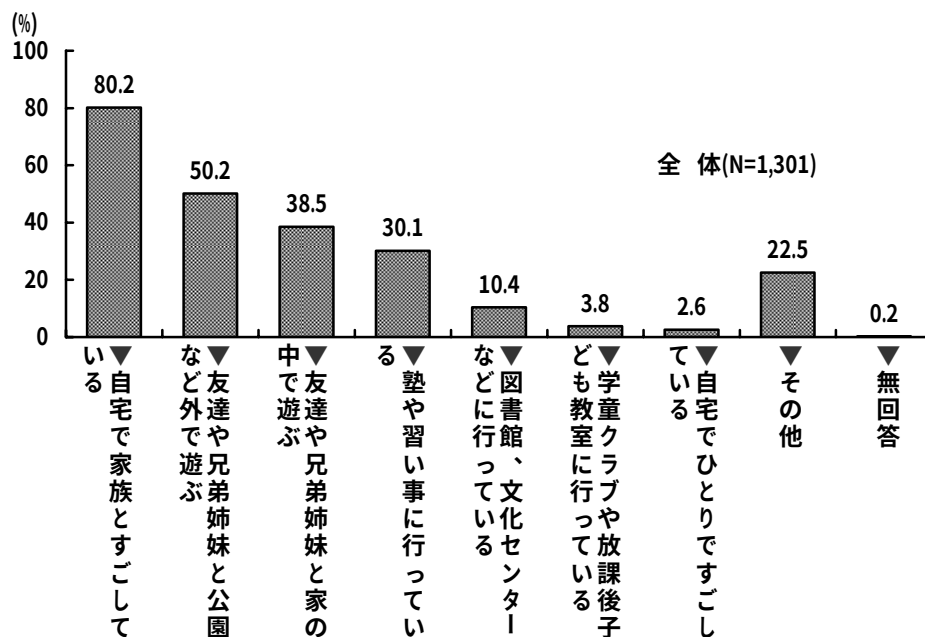
図表 2－4－3 平日の学校終了後から夕食前までの時間帯における主たる保育者の用事（全体：複数回答）



④ 子どもの土日祝日の過ごし方（問 15）

子どもの土日祝日の過ごし方は、「自宅で家族とすごしている」が 80.2%で最も多く、次いで「友達や兄弟姉妹と公園など外で遊ぶ」が 50.2%となっている（図表 2-4-4）。

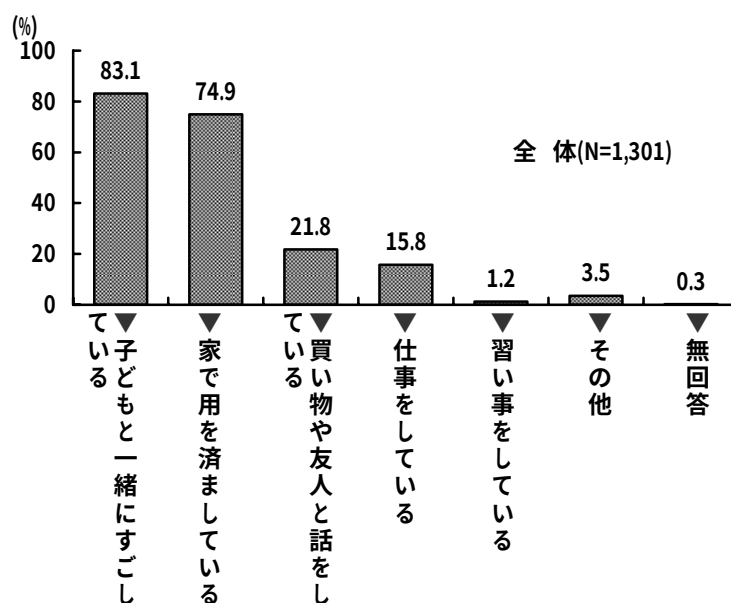
図表 2-4-4 子どもの土日祝日の過ごし方（全体：複数回答（3つまで））



⑤ 土日祝日における主たる保育者の用事（問 16）

土日祝日における主たる保育者の用事は、「子どもと一緒にすごしている」が 83.1%で最も多く、次いで「家で用を済ましている」が 74.9%となっている（図表 2-4-5）。

図表 2-4-5 土日祝日における主たる保育者の用事（全体：複数回答）



⑥ 子どもの放課後や休日の過ごし方についての意見（問 17）

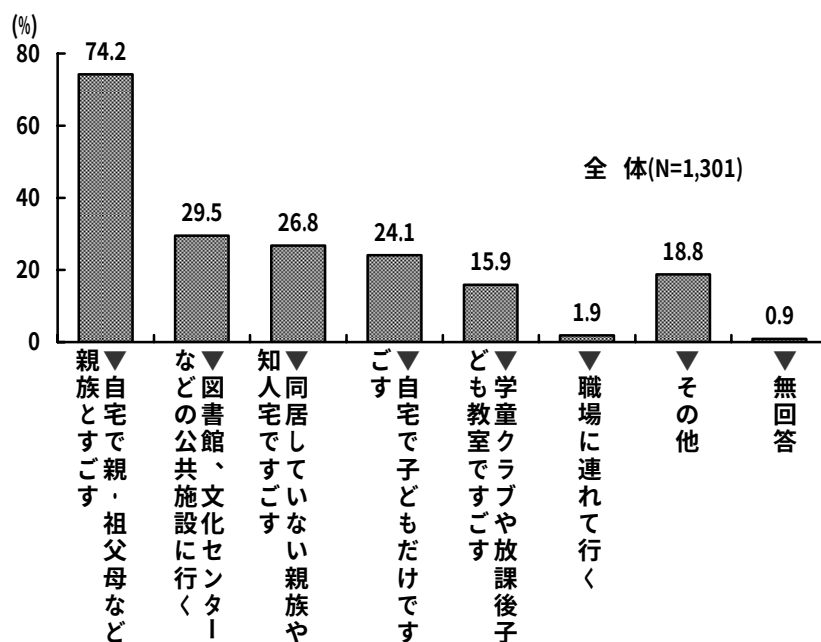
子どもの放課後や休日の過ごし方についての意見を自由記述形式でたずねたところ、全体で 221 件の回答があった。内容と件数は以下の通りである。

内容	件数
安全で安心して遊べる公園、場がほしい	48 件
野球、サッカーなどのボール遊び、スポーツができる公園、場がほしい	30 件
放課後子ども教室への要望	29 件
放課後子ども教室への感謝	14 件
休日、長期休みの過ごし方	13 件
学童クラブへの要望	12 件
文化センターへの要望	10 件
公園への要望（公園が少ない、遊具が少ない等）	9 件
子どもは習い事や塾などで忙しそうである	9 件
主に室内で過ごしている	8 件
家族と過ごす時間が大切である	6 件
土曜日には学校があったほうがよい	6 件
雨の日に遊べる場所がほしい	3 件
障害のある子どもの居場所が必要	3 件
主に家族と過ごしている	2 件
地域でのイベントの充実を望む	2 件
その他	17 件

⑦ 学校の長期休業中における子どもの過ごし方（問 18）

夏休みなど学校の長期休業中における子どもの過ごし方は、「自宅で親・祖父母など親族と過ごす」が74.2%で最も多く、次いで「図書館、文化センターなどの公共施設に行く」が29.5%となっている（図表2-4-7）。

図表2-4-7 学校の長期休業中における子どもの過ごし方（全体：複数回答（3つまで））



⑧ 朝の時間の一時あずかりサービスの利用意向、日数／週（問 19）

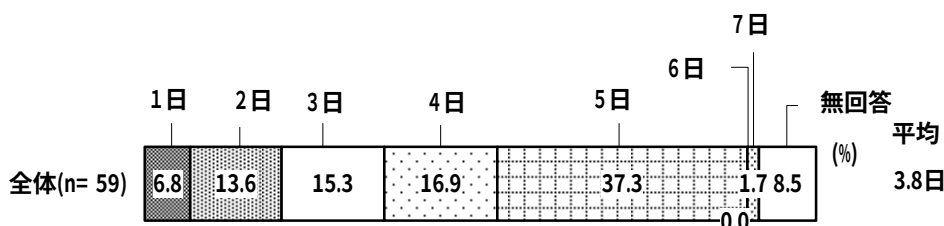
学校が始まるまでの朝の時間の一時あずかりのサービスに対する利用意向は、「意向がない」が93.5%となっている。利用意向がある人は4.5%で、1週あたりの平均利用希望日数は3.8日となっている（図表2-4-8-1、図表2-4-8-2）。

図表2-4-8-1 朝の時間の一時あずかりサービスの利用意向（全体）



図表2-4-8-2 一時あずかりサービスの週あたりの利用希望日数（全体）

＜一時あずかりサービスの利用意向がある人＞



⑨ 子どもが学校へ行くことをしぶることの有無（問 20）

子どもが学校へ行くことをしぶることの有無は、「ない」が 86.8%となっている。「よくある」の 1.4%と「ときどきある」の 10.8%を合計すると 12.2%が、子どもが学校へ行くのをしぶることがあると答えている（図表 2-4-9-1）。

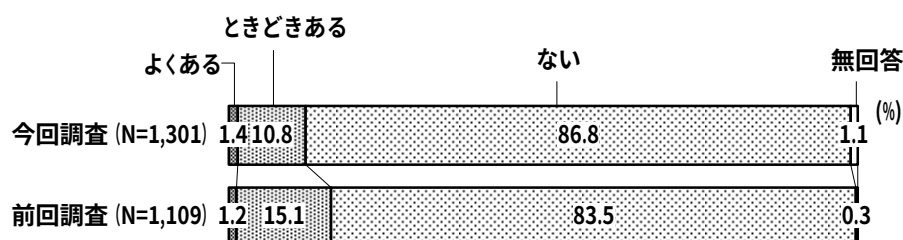
図表 2-4-9-1 子どもが学校へ行くのをしぶることの有無（全体）



<前回調査との比較>

前回調査と比較すると、子どもが学校へ行くことをしぶることは、今回調査は「よくある」と「ときどきある」の合計が 12.2%であり、前回調査の 16.3%を 4.1 ポイント下回っている（図表 2-4-9-2）。

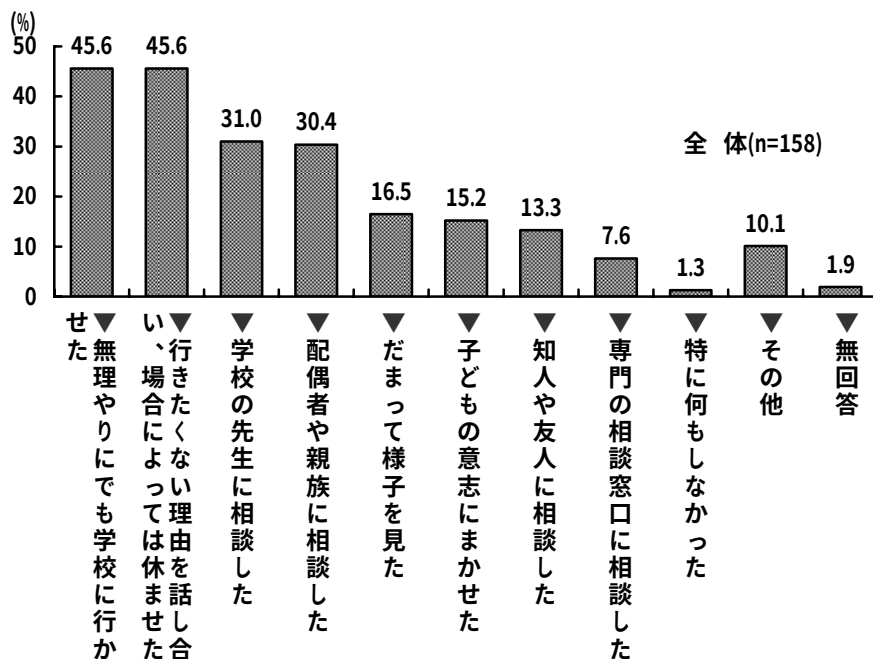
図表 2-4-9-2 子どもが学校へ行くのをしぶることの有無（全体／前回調査）



⑩ 子どもが学校に行きたがらないときの対応（問 20-1）

子どもが学校へ行きたがらないときの対応は、「無理やりにでも学校に行かせた」と「行きたくない理由を話し合い、場合によっては休ませた」がともに 45.6%で最も多く、次いで「学校の先生に相談した」が 31.0%となっている（図表 2-4-10-1）。

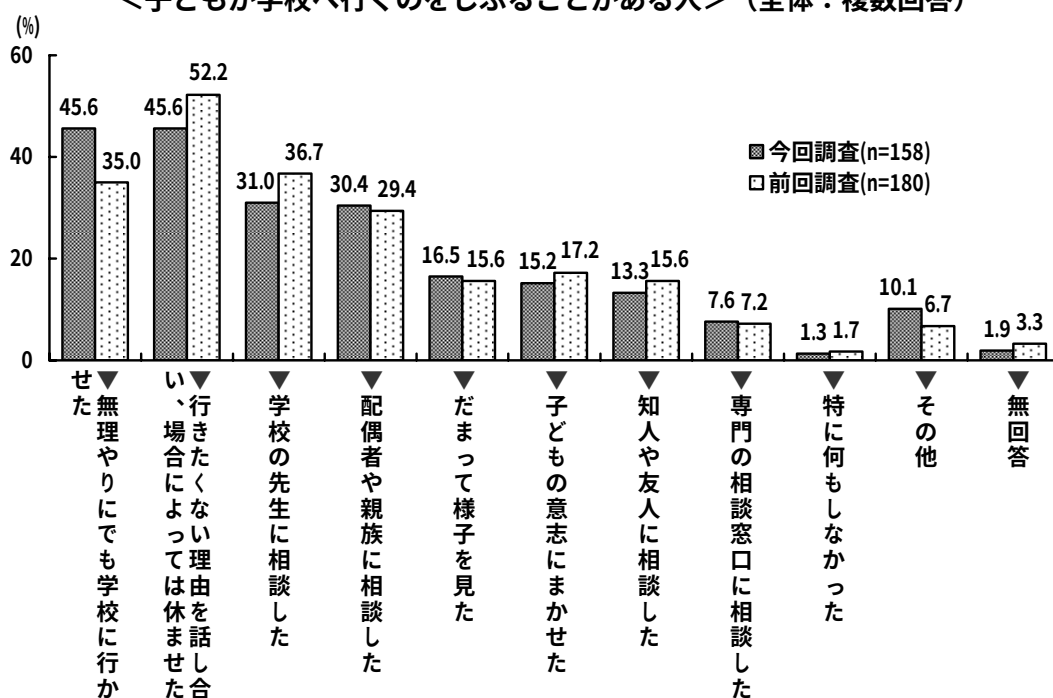
図表2-4-10-1 子どもが学校へ行きたがらないときの対応
＜子どもが学校へ行くのをしづることができる人＞（全体：複数回答）



＜前回調査との比較＞

前回調査と比較すると、子どもが学校へ行きたがらないときの対処法は、上位3位は変わらないが、前回調査は「行きたくない理由を話し合い、場合によっては休ませた」が52.2%で最も多く、次いで「学校の先生に相談した」が36.7%、「無理やりにでも学校に行かせた」が35.0%となっている（図表2-4-10-2）。

図表2-4-10-2 子どもが学校へ行きたがらないときの対処法
＜子どもが学校へ行くのをしづることができる人＞（全体：複数回答）



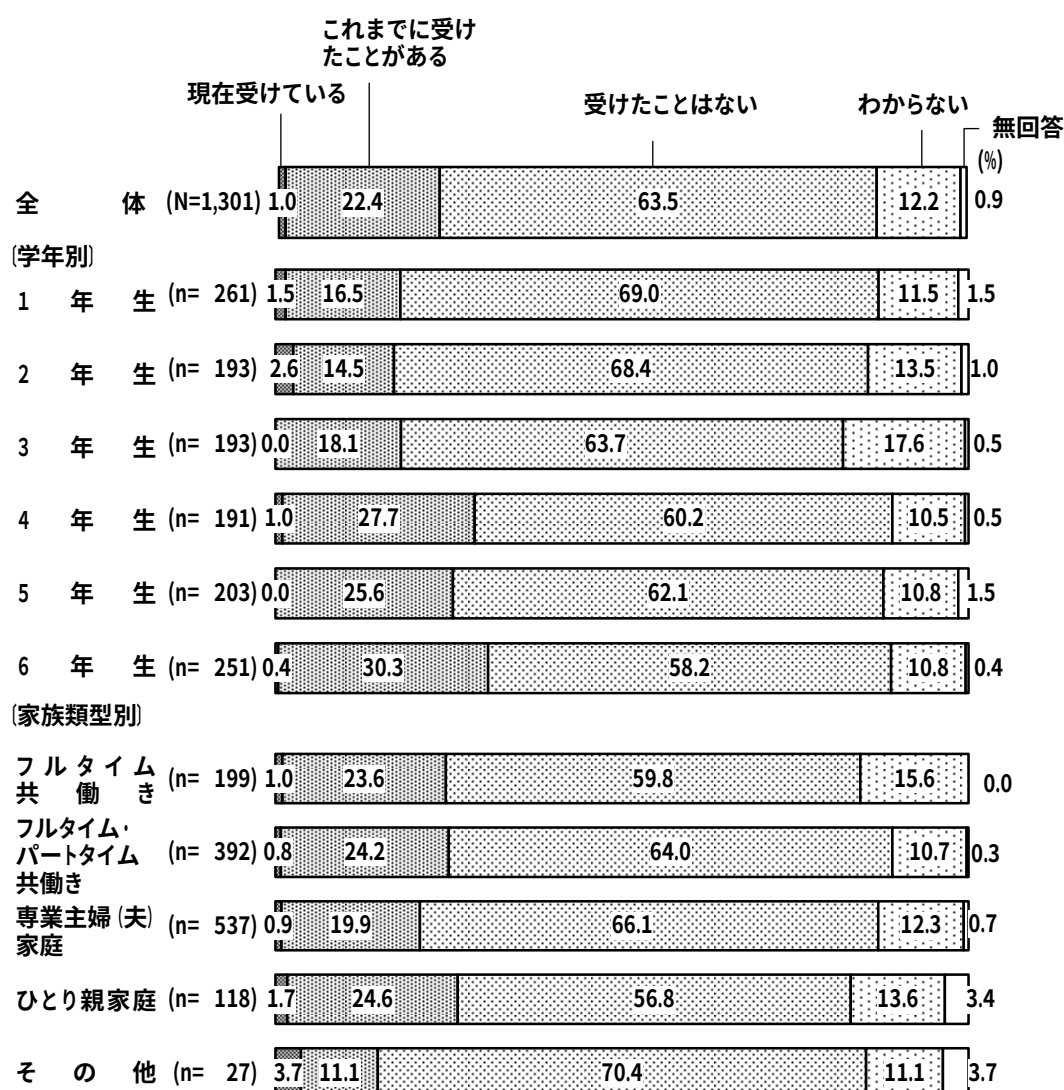
⑪ 「いじめ」または「いじめと思われること」を受けた経験（問 21）

子どもが「いじめ」または「いじめと思われること」を受けた経験は、「現在受けている」が1.0%であり、「これまでに受けたことがある」の22.4%を合計すると、23.4%がいじめを受けた経験があると答えている。

学年別にみると、低学年よりも高学年の方が、いじめを受けた経験が多くなっている。

家族類型別にみると、専業主婦（夫）家庭は、「これまでに受けたことがある」が全体に比べて少なく、「受けたことはない」が多くなっている。その一方で、ひとり親家庭やフルタイム共働き家庭では「受けたことはない」が全体に比べて少なくなっている（図表2-4-11-1）。

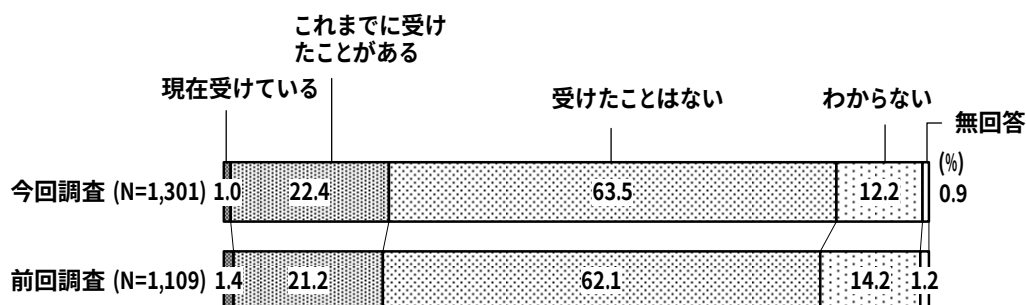
図表2-4-11-1 「いじめ」または「いじめと思われること」を受けた経験の有無
（全体、学年別、家族類型別）



＜前回調査との比較＞

前回調査と比較すると、「いじめ」または「いじめと思われること」を受けた経験は、「現在受けている」と「これまでに受けたことがある」を合計すると、今回調査では23.4%、前回調査では22.6%であり、4～5人に1人がいじめを受けた経験があることになる（図表2－4－11－2）。

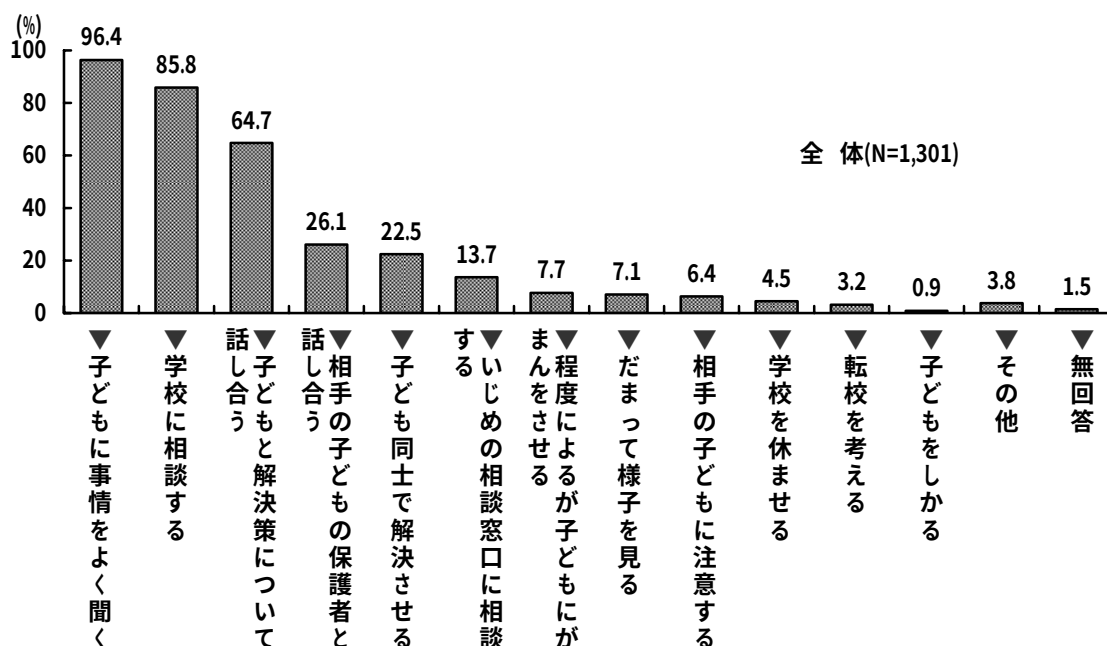
図表2－4－11－2 「いじめ」または「いじめと思われること」を受けた経験の有無（全体）



⑫ 「いじめ」または「いじめと思われること」を受けたときの対処法（問22）

子どもが「いじめ」または「いじめと思われること」を受けたときの対処法は、「子どもに事情をよく聞く」が96.4%で最も多く、次いで「学校に相談する」が85.8%、「子どもと解決策について話し合う」が64.7%となっている（図表2－4－12－1）。

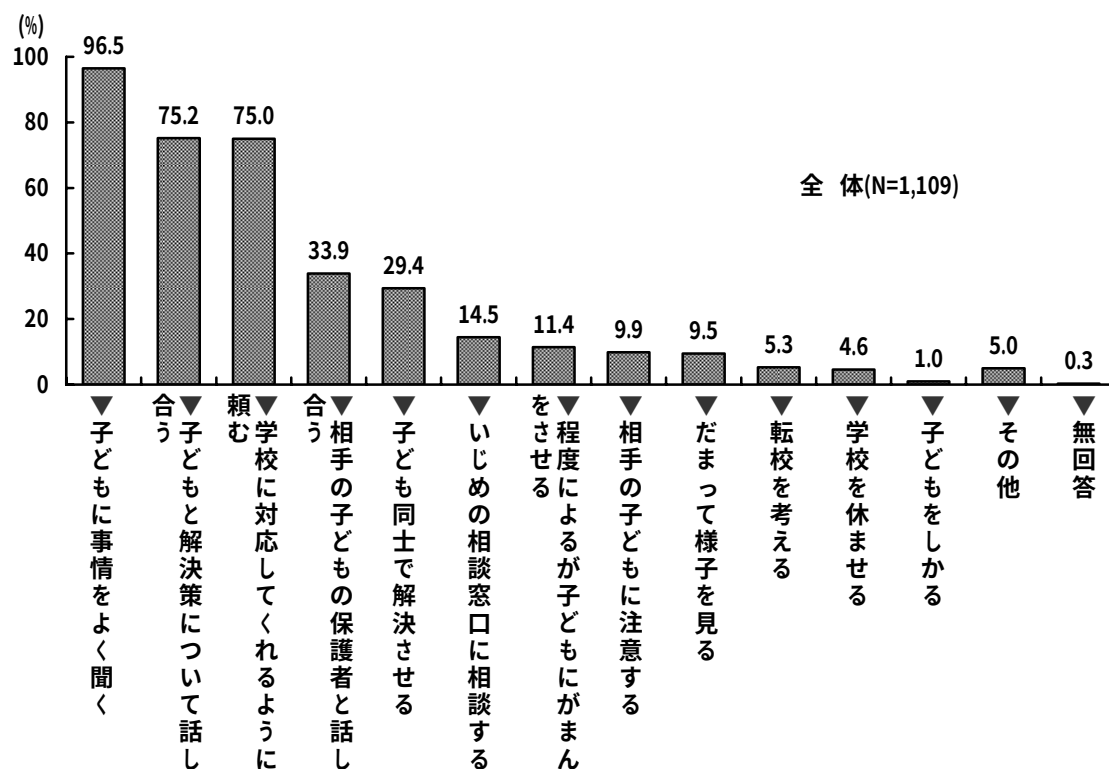
図表2－4－12－1 「いじめ」または「いじめと思われること」を受けたときの対処法（全体：複数回答）



＜前回調査との比較＞

前回調査と比較すると、子どもが「いじめ」を受けたときの対処法は、前回調査・今回調査ともに「子どもに事情をよく聞く」、「子どもと解決策について話し合う」が上位となっている（図表2-4-12-2）。

図表2-4-12-2 「いじめ」を受けたときの対処法（全体：複数回答／前回調査）

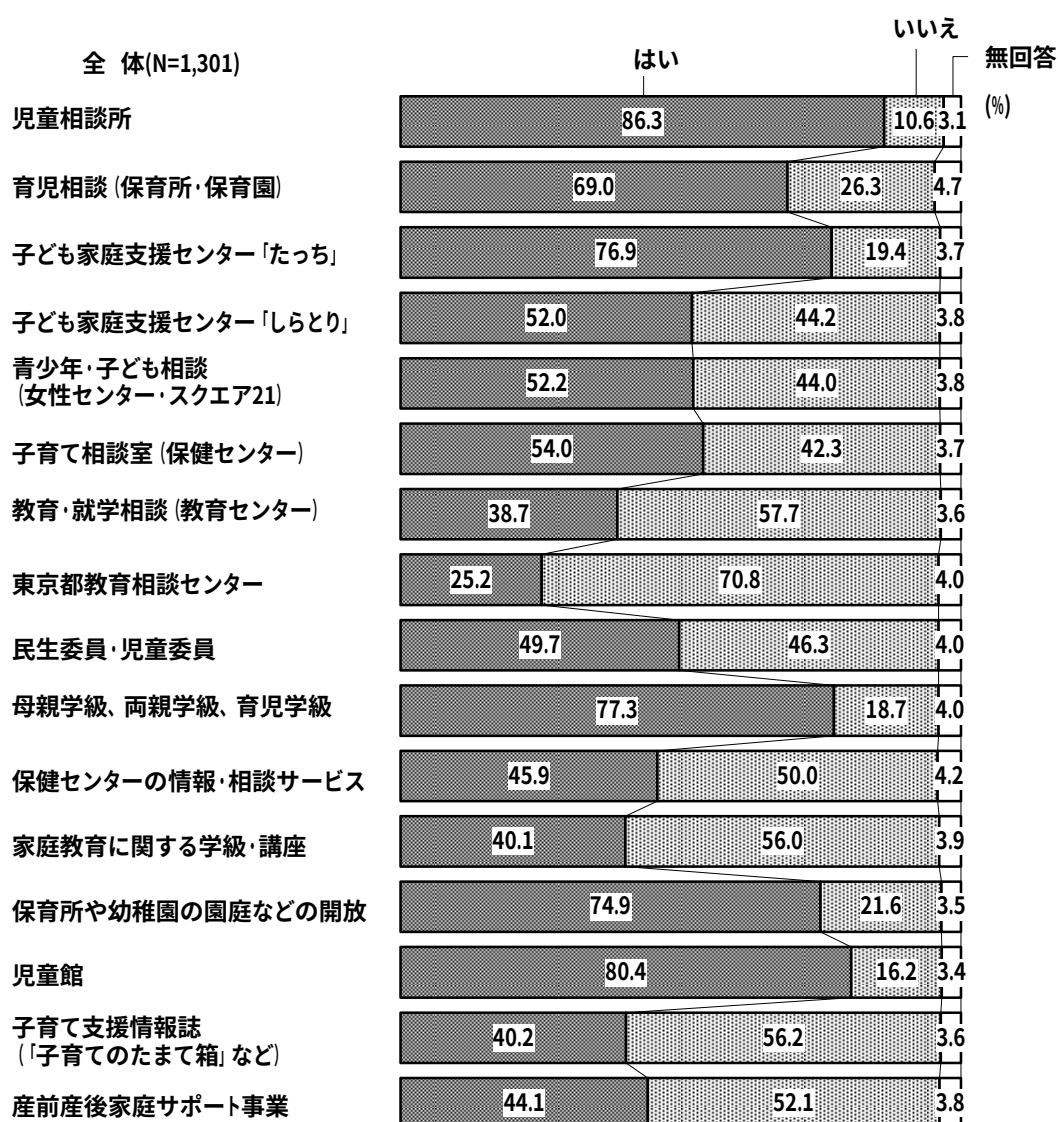


⑬ 子育て相談施設等の認知、利用状況、今後の利用意向（問 23）

◇子育て相談施設等の認知状況

子育てについて相談できる各施設等の認知状況について「はい（知っている）」と答えた割合は、「児童相談所」が86.3%で最も高く、次いで「児童館」が80.4%、「母親学級、両親学級、育児学級」が77.3%となっている。一方、「いいえ（知らない）」と答えた割合は、「東京都教育相談センター」が70.8%で最も高く、次いで「教育・就学相談（教育センター）」が57.7%、「子育て支援情報誌」が56.2%、「家庭教育に関する学級・講座」が56.0%となっている（図表2-4-13-1）。

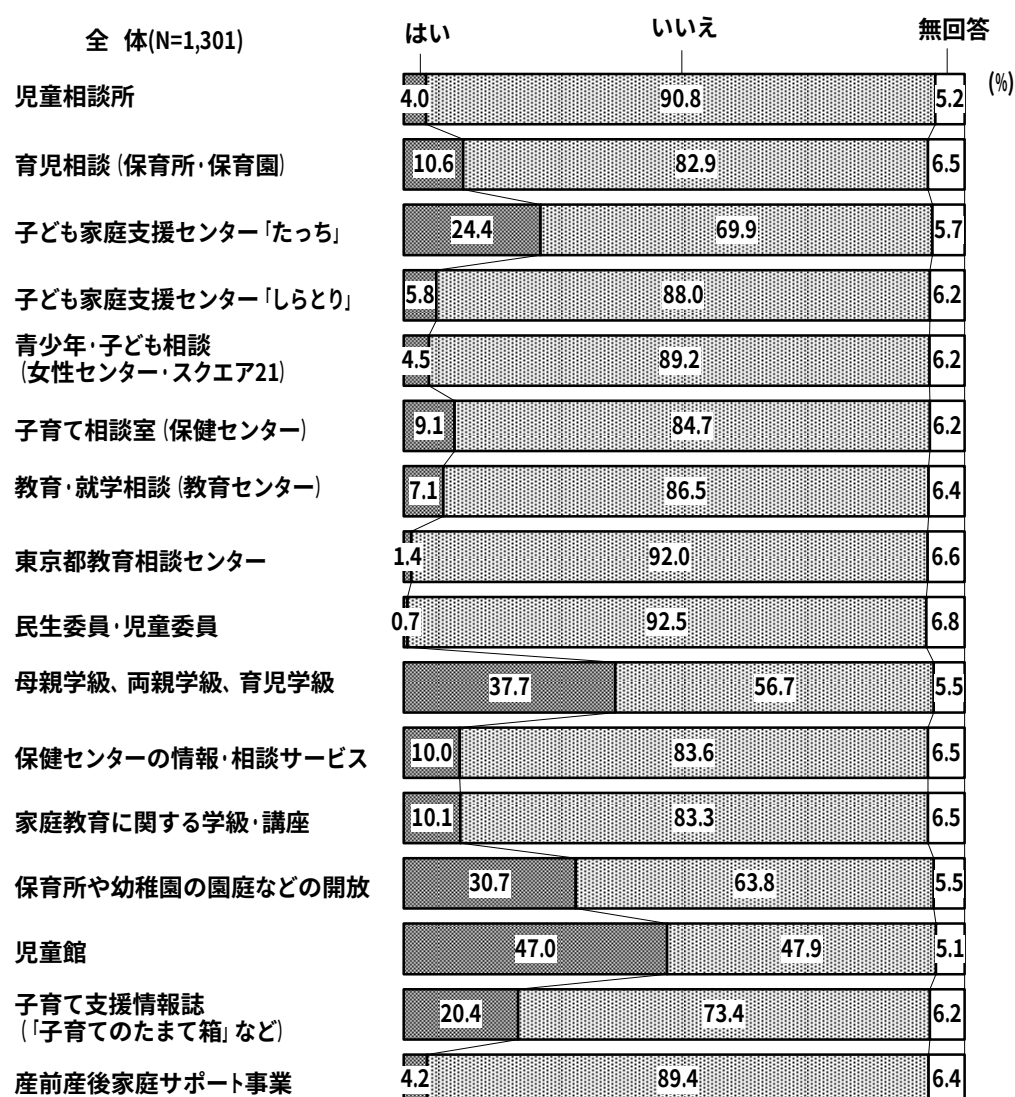
図表2-4-13-1 子育て相談施設等の認知状況（全体）



◇子育て相談施設等の利用状況

子育てについて相談できる施設等をこれまでに利用したことがあるかについて「はい」と答えた割合は、「児童館」が 47.0%で最も高く、次いで「母親学級、両親学級、育児学級」が 37.7%、「保育所や幼稚園の園庭などの開放」が 30.7%となっている（図表2－4－13－2）。

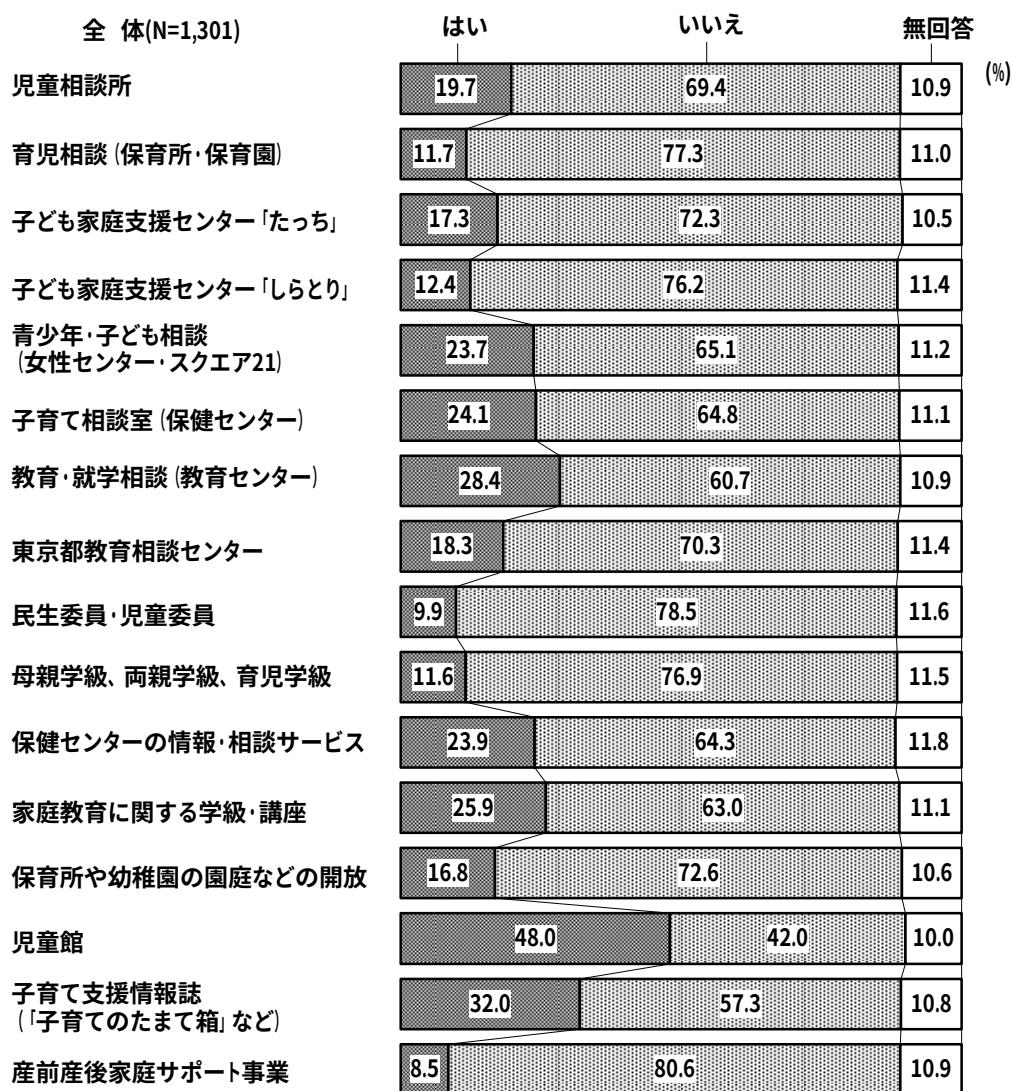
図表2－4－13－2 子育て相談施設等の利用状況（全体）



◇子育て相談施設等の今後の利用意向

子育てについて相談できる施設等を今後利用したいかについて「はい」と答えた割合は、「児童館」が48.0%で最も高く、次いで「子育て支援情報誌」が32.0%、「教育・就学相談（教育センター）」が28.4%となっている（図表2-4-13-3）。

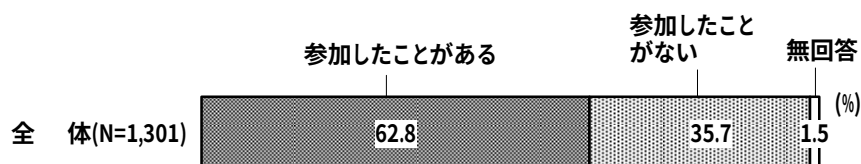
図表2-4-13-3 子育て相談施設等の今後の利用意向（全体）



⑭ 文化センターの子ども向け事業やサークルへの参加経験（問 24）

文化センターの子ども向け事業やサークルへの参加経験は、「参加したことがある」が 62.8%となっている（図表 2－4－14）。

図表 2－4－14 文化センターの子ども向け事業やサークルへの参加経験（全体）



⑮ 文化センターへの意見（問 25）

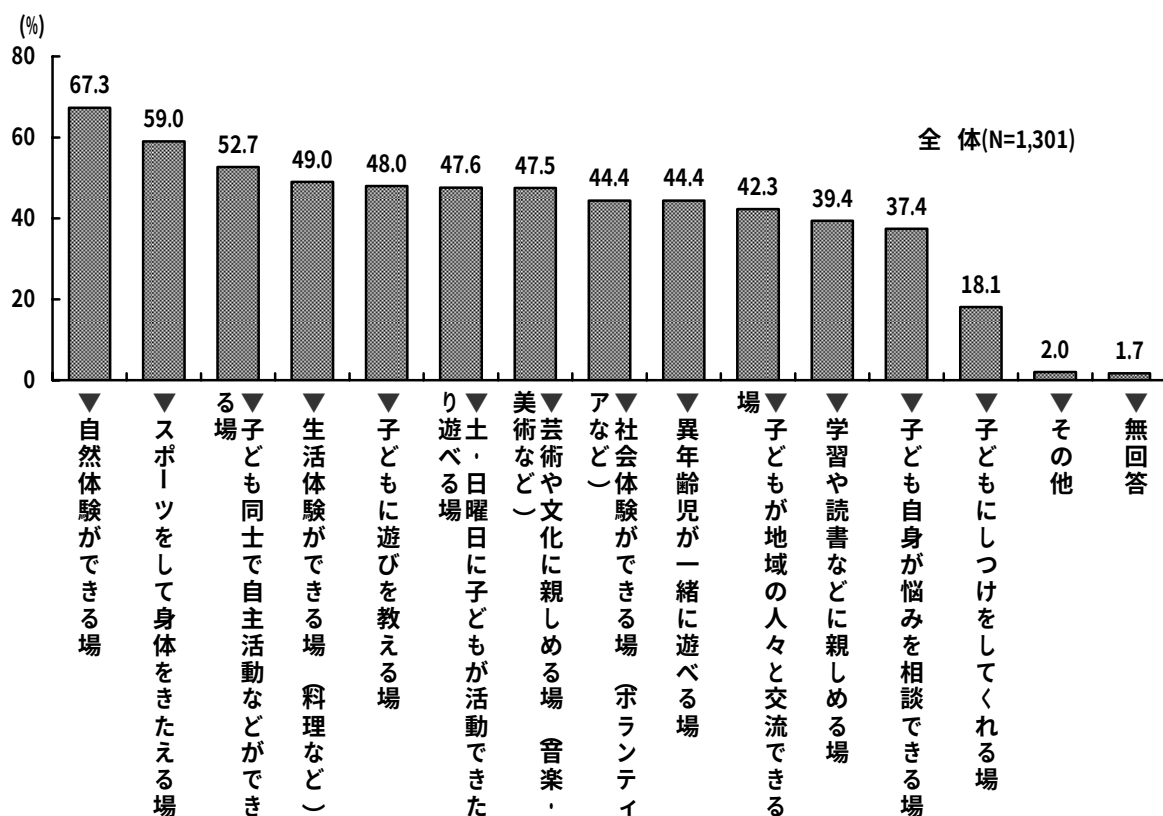
文化センターについての意見を自由記述形式でたずねたところ、全体で 258 件の回答があった。内容と件数は以下の通りである。

内容	件数
文化センターでの子ども向けイベント、サークルの充実への希望	52 件
文化センターの対応について	50 件
施設への要望	25 件
図書室への要望	4 件
自習スペースへの希望	3 件
食事ができる場所への希望	3 件
駐車場、駐輪場への要望	2 件
外で遊べる場所への希望	2 件
遊戯室への要望	2 件
児童館への要望	2 件
その他	7 件
文化センターの数が少ない、遠い	24 件
文化センターをよく利用している	18 件
イベントへの申込みが窓口のみなので不便	16 件
子どもが遊べる場所を増やしてほしい	13 件
子どもだけで安全に遊べるようにしてほしい	12 件
文化センターの事業を継続してほしい	11 件
気軽に入れない、地元色が強いので入りにくい	9 件
文化センターについて広報を充実してほしい	5 件
遊具を充実してほしい	5 件
障害のある子どもの居場所がほしい	3 件
祝日も開館してほしい	3 件
中学生・高校生のたまり場として活用したい	2 件
その他	10 件

⑩ 子どもが集う場として望ましいと思うもの（問 26）

身近な地域で子どもが集う場として望ましいと思うものは、「自然体験ができる場」が 67.3%で最も多く、次いで「スポーツをして身体をきたえる場」が 59.0%、「子ども同士で自主活動などができる場」が 52.7%となっている（図表 2－4－16－1）。

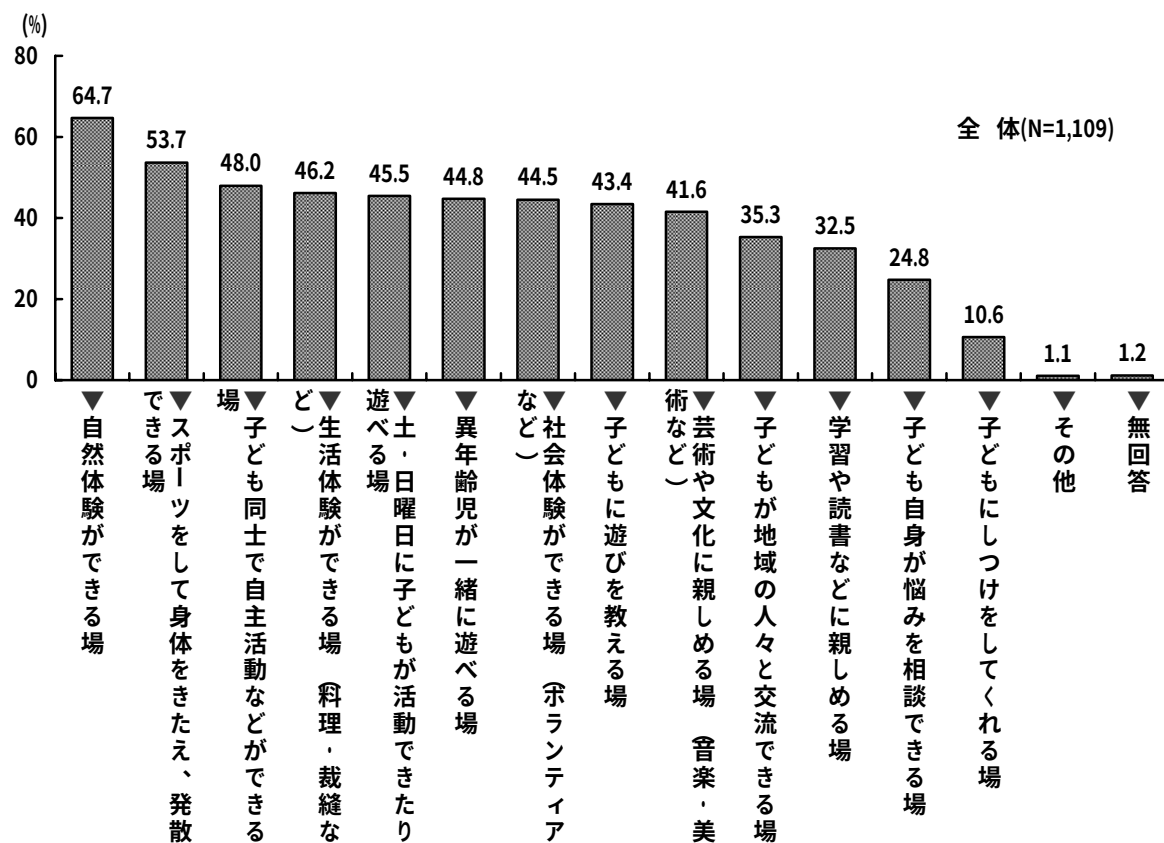
図表 2－4－16－1 子どもが集う場として望ましいと思うもの（全体：複数回答）



＜前回調査との比較＞

前回調査と比較すると、身近な地域で子どもが集う場として望ましいと思うものは、前回調査・今回調査ともに「自然体験ができる場」、「スポーツができる場」、「子ども同士で自主活動などができる場」が上位3位となっている（図表2－4－16－2）。

図表2－4－16－2 子どもが集う場として望ましいと思うもの
(全体：複数回答／前回調査)



(5) 学童クラブ、放課後子ども教室

① 学童クラブの利用状況（問 27）

学童クラブの利用状況は、「利用している」が11.3%となっている（図表2-5-1）。

図表2-5-1 学童クラブの利用状況（全体）



② 学童クラブの利用日数／週、土日の利用状況、利用している理由、利用希望時間／日・時間帯（開始および終了時間）（問 27-1）

◇学童クラブの利用日数と土日の利用状況

学童クラブを利用している人の週あたりの利用日数は、平均4.7日となっている。またそのうち土日の利用状況は、「ある」が23.1%となっている（図表2-5-2-1、図表2-5-2-2）。

図表2-5-2-1 学童クラブの利用日数／週（全体）
＜現在学童クラブを利用している人＞

		利用日数 (日)								平均
		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	(%)
全体	(n=147)	0.0	2.0	6.1	19.0	63.3	7.5	0.0	2.0	4.7日

図表2-5-2-2 学童クラブの土日の利用状況（全体）
＜現在学童クラブを利用している人＞



◇学童クラブを利用している理由

学童クラブを利用している理由は、主たる保育者が「現在就労している」が94.6%で最も多くなっている（図表2-5-2-3）。

図表2-5-2-3 学童クラブを利用している理由（全体）
＜現在学童クラブを利用している人＞

(%)

	▼無回答	▼その他	▼学生である	▼病気や障害がある	▼家族・親族などを介護しなければならぬ	▼就労予定がある／求職中である	▼現在就労している	
全体 (n=147)	0.7	0.7	1.4	1.4	0.7	0.7	94.6	

③ 学童クラブを利用していない理由、今後の利用意向（問27-2）

◇学童クラブを利用していない理由

学童クラブを利用していない理由は、子どもの主たる保育者が「現在就労していないから」が51.2%で最も多くなっている（図表2-5-3-1）。

図表2-5-3-1 学童クラブを利用していない理由（全体）
＜現在学童クラブを利用していない人＞

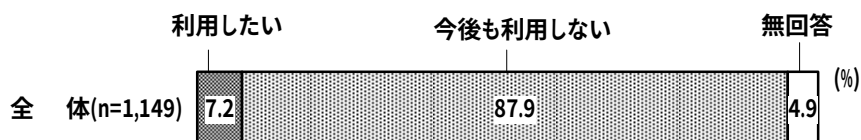
	▼現在就労していないから	▼学童クラブを知らないから	▼近くに学童クラブがない	▼学童クラブに空きがない	▼学童クラブの開所時間短い	▼利用料がかかる	▼子どもは放課後の習い事をしていない	▼放課後の時間帯なら大丈夫だと思える	▼他の施設にあずけている	▼その他	▼無回答
全体 (n=1,149)	51.2	0.4	0.2	0.5	0.3	1.9	5.7	5.0	0.3	31.3	3.0

◇今後の学童クラブの利用意向

学童クラブを利用していない人の今後の学童クラブの利用意向は、「利用したい」が7.2%となっている（図表2-5-3-2）。利用したい人の週あたりの利用希望日数は平均3.5日であり、土日の利用希望は「利用したい」が27.7%となっている（図表2-5-3-3、図表2-5-3-4）。

図表2-5-3-2 今後の学童クラブの利用意向（全体）

＜現在学童クラブを利用していない人＞



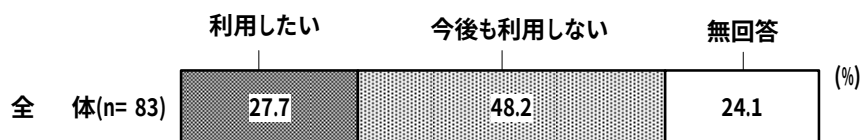
図表2-5-3-3 週あたりの利用希望日数（全体）

＜現在学童クラブを利用していない人で、今後利用希望がある人＞

		（%）								平均
		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	
全体	(n= 83)	3.6	6.0	20.5	12.0	15.7	0.0	0.0	42.2	3.5日

図表2-5-3-4 土日の利用希望（全体）

＜現在学童クラブを利用していない人で、今後利用希望がある人＞



◇今後の学童クラブを利用したい理由

今後の学童クラブの利用したい理由は、子どもの主たる保育者が「就労予定がある/求職中である」が30.1%で最も多く、次いで「現在就労している」が25.3%となっている（図表2-5-3-5）。

図表2-5-3-5 今後学童クラブを利用したい理由（全体）

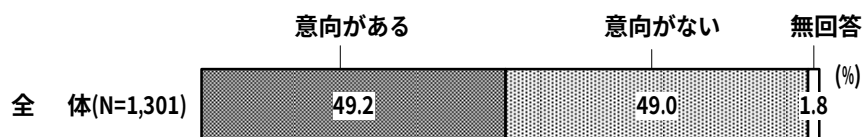
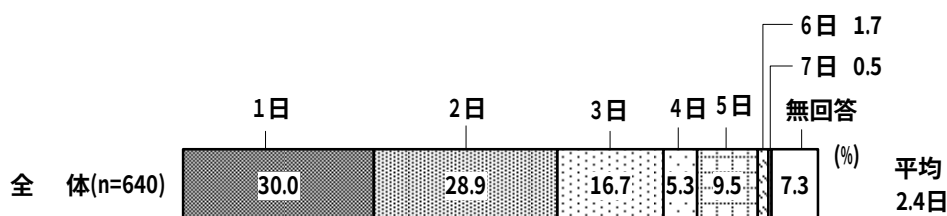
＜現在学童クラブを利用していない人で、今後利用希望がある人＞

		（%）							
		現在就労している	職中である 就労予定がある／求	護しなけ 家族・親族などないを介	病気や障 害がある	たい学 生である／就学し	めども 就労して いないが、 あずけ たい	その他	無回答
全体	(n= 83)	25.3	30.1	1.2	0.0	0.0	9.6	4.8	28.9

④ 放課後子ども教室の利用意向（問 28）

放課後子ども教室の利用意向は、「意向がある」が 49.2%、「意向がない」が 49.0%であり、ほぼ同じ割合となっている。意向がある人の週あたりの希望利用日数は、平均 2.4 日となっている（図表 2－5－4－1、図表 2－5－4－2）。

図表 2－5－4－1 放課後子ども教室の利用意向（全体）

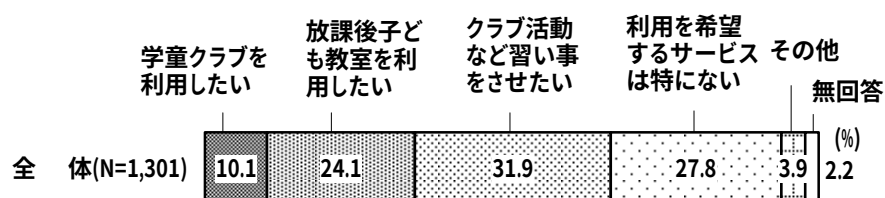
図表 2－5－4－2 放課後子ども教室の週あたりの利用希望日数（全体）
＜放課後子ども教室の利用意向がある人＞

⑤ 小学4年生以降の放課後の過ごし方（問 29）

◇小学4年生以降の放課後の過ごし方について望むこと

小学4年生以降の放課後の過ごし方について望むことは、「クラブ活動など習い事をさせたい」が 31.9%で最も多くなっている（図表 2－5－5－1）。

図表 2－5－5－1 小学4年生以降の放課後の過ごし方について望むこと（全体）

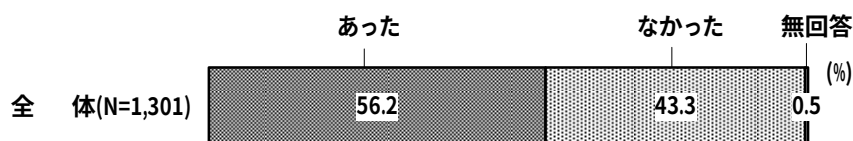


(6) 子どもが病気の場合の対応

① 病気やケガで学校を休まなければならなかったことの有無 (問 30)

この1年間に子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかったことの有無は、「あった」が56.2%となっている(図表2-6-1)。

図表2-6-1 この1年間に病気やケガで学校を休まなければならなかったことの有無(全体)



② 病気やケガで学校を休まなければならなかったときの対処方法と日数 (問 30-1)

◇ 病気やケガで学校を休まなければならなかったときの対処方法と対処した日数

この1年間に子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかったときの対処方法は「就労していない保護者が自宅で見た」が54.6%で最も多く、次いで「母親が仕事を休んだ」が34.6%となっている(図表2-6-2-1)。

図表2-6-2-1 病気やケガで学校を休まなければならなかったときの対処方法と対処した平均日数
(全体：複数回答)

＜この1年間に病気やケガで学校を休まなければならなかったことが「あった」と回答した人＞

(n=731)

対処方法	割合 (%)	平均日数 (日)
就労していない保護者が自宅で見た	54.6	3.9
母親が仕事を休んだ	34.6	3.0
子どもだけで留守番させた	15.2	1.7
親族・知人(同居者を含む)にあずけた	14.4	2.6
父親が仕事を休んだ	8.3	2.0
子連れで仕事をした(出勤・在宅とも)	1.8	2.2
病院や診療所の病児・病後児保育を利用した	0.1	7.0
非営利組織(NPOなど)による子育て支援サービスを利用した	0.1	1.0
ファミリーサポートセンターを利用した	0.1	2.0
認可保育所の病後児保育を利用した	0.0	-
子ども家庭支援センターしらとりの病後児保育を利用した	0.0	-
ベビーシッターを利用した	0.0	-
その他	2.3	3.8
無回答	1.2	

この1年間に子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかったときの対処方法を学年別にみると、「子どもだけで留守番させた」は4年生以上で20%を超え多くなっている(図表2-6-2-2)。

図表2-6-2-2 病気やケガで学校を休まなければならなかったときの対処方法
(全体、学年別：複数回答)

＜この1年に病気やケガで学校を休まなければならなかったことが「あった」と回答した人＞

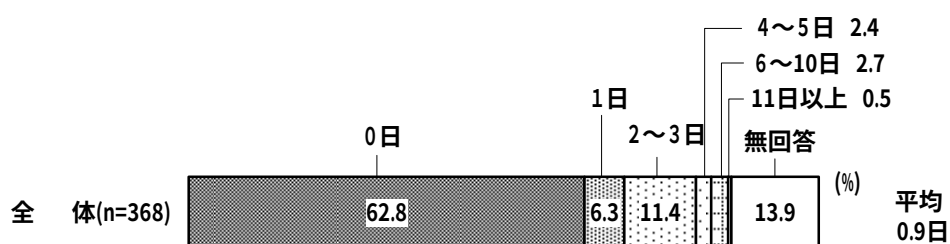
			▼ 無回答	▼ その他	▼ ベビーシッターを利用した	▼ 子ども家庭支援センターしらの 病後児保育を利用した	▼ 認可保育所の病後児保育を利用 した	▼ ファミリーサポートセンターを 利用した	▼ 非営利組織(NPOなど)によ る子育て支援サービスを利用した	▼ 病院や診療所の病児・病後児保 育を利用した	▼ 子連れで仕事をした 出勤・在 宅とも	▼ 父親が仕事を休んだ	▼ 親族・知人 同居者を含むに あずけた	▼ 子どもだけで留守番させた	▼ 母親が仕事を休んだ	▼ 就労していない保護者が自宅で みた
全 体 (n=731)			1.2	2.3	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	1.8	8.3	14.4	15.2	34.6	54.6
学 年 別	1 年 生 (n=150)		0.7	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	10.7	18.7	5.3	32.0	61.3
	2 年 生 (n=114)		1.8	2.6	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	3.5	9.6	12.3	6.1	35.1	57.9
	3 年 生 (n=118)		1.7	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	7.6	10.2	9.3	31.4	62.7
	4 年 生 (n=105)		1.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	9.5	14.3	23.8	37.1	47.6
	5 年 生 (n=118)		0.8	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	6.8	14.4	22.0	38.1	44.9
	6 年 生 (n=121)		0.8	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	1.7	5.8	15.7	28.1	36.4	49.6

◇できれば施設にあずけたいと思った日数

この1年間に子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかったときの対処方法として、「父母が仕事を休んだ」、「親族・知人にあずけた」、「子連れで仕事をした」、「子どもだけで留守番させた」と回答した人の、できれば施設にあずけたいと思った日数をたずねたところ、平均0.9日となっている(図表2-6-2-3)。

図表2-6-2-3 できれば施設にあずけたいと思った日数(全体)

＜対処方法として「父母が仕事を休んだ」、「親族・知人にあずけた」、
「子連れで仕事をした」、「子どもだけで留守番させた」と回答した人＞



(7) 一時あずかり

① 自分の時間等のために子どもを家族以外にあずけたことの有無（問 31）

この1年間に、自分のための時間等のために、子どもを家族以外に一時的にあずけたことは、「あった」が30.0%、「なかった」が69.0%となっている（図表2-7-1）。

図表2-7-1

この1年間に自分の時間等のために子どもを家族以外にあずけたことの有無（全体）



② 子どもをあずけた日数および理由別日数（問 31-1）

◇自分の時間等のために子どもを家族以外にあずけた日数

この1年間に自分の時間等のために子どもを家族以外にあずけた日数は、平均10.0日となっている（図表2-7-2-1）。

図表2-7-2-1 この1年間に自分の時間等のために子どもを家族以外にあずけた日数（全体）＜自分の時間等のために子どもを家族以外にあずけたことが「あった」と回答した人＞



◇子どもを家族以外にあずけた理由ごとの日数

子どもを家族以外にあずけた理由は「自分のための時間、リフレッシュ目的」が48.2%で最も多く、理由ごとの平均日数は「就労」が平均11.3日で最も長くなっている（図表2-7-2-2）。

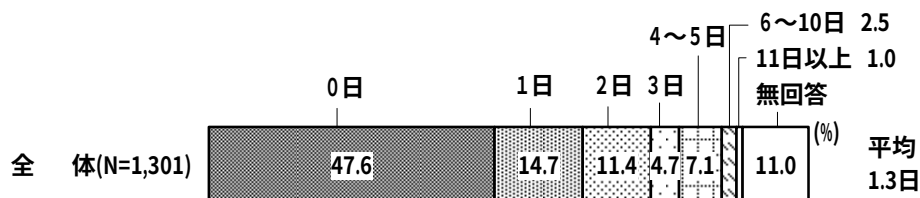
図表2-7-2-2 子どもを家族以外にあずけた理由ごとの日数（全体：複数回答）
＜自分の時間等のために子どもを家族以外にあずけたことが「あった」と回答した人＞
(n=390)

対処方法	割合 (%)	平均日数 (日)
自分のための時間、リフレッシュ目的	48.2	6.9
就労	31.5	11.3
冠婚葬祭、子どもの親の病気	26.4	3.5
その他	25.6	6.4
無回答	4.1	

③ 子どもを一時的にあずけるサービスの希望利用日数／月（問 32）

子どもを一時的にあずけるサービスの希望利用日数は、月あたり平均 1.3 日となっている（図表 2－7－3）。

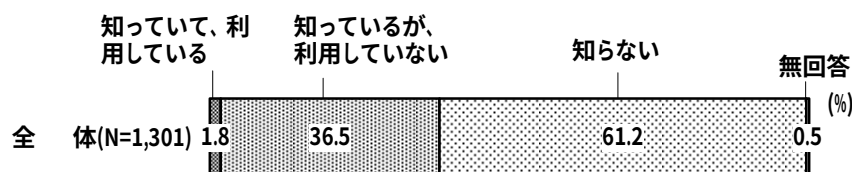
図表 2－7－3 子どもを一時的にあずけるサービスの希望利用日数／月（全体）



④ トワイライトステイの認知、利用状況（問 33）

トワイライトステイの認知、利用状況は、「知らない」が 61.2%を占め、「知っていて、利用している」の 1.8%と「知っているが、利用していない」の 36.5%を合計した認知状況は 38.3%となっている（図表 2－7－4）。

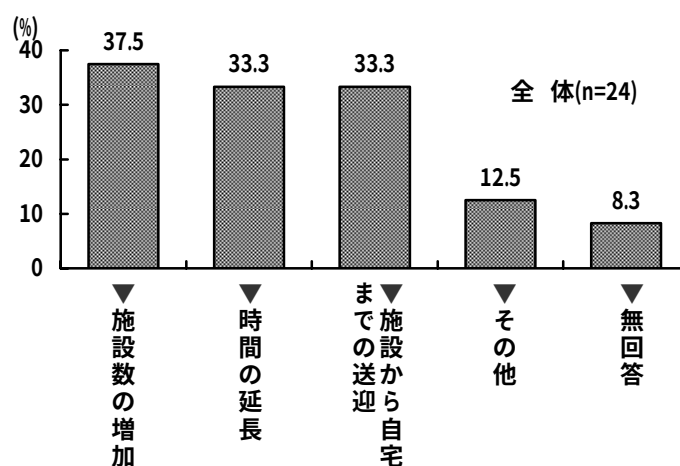
図表 2－7－4 トワイライトステイの認知、利用状況（全体）



⑤ トワイライトステイについての要望（問 33－1）

◇トワイライトステイの利用者が改善点として望むこと

トワイライトステイを利用している人が改善点として望んでいることは、「施設数の増加」が 37.5%で最も多く、次いで「時間の延長」と「施設から自宅までの送迎」がいずれも 33.3%となっている（図表 2－7－5－1）。

図表 2－7－5－1 トワイライトステイの利用者が改善点として望むこと
（全体：複数回答）＜トワイライトステイを「知っていて、利用している」と回答した人＞

◇希望する利用時間帯（開始および終了時間）

「時間の延長」を望んでいる人の希望する利用時間帯は、開始時間は16時と17時が多く、終了時間は20時と22時が多くなっている（図表2-7-5-2）。

図表2-7-5-2 トワイライトステイの利用を希望する時間帯（開始および終了時間）
（全体）＜トワイライトステイの利用者のうち「時間の延長」を希望している人＞

●開始時間 (%)							●終了時間 (%)						
	15 時 以前	16 時	17 時	18 時	19 時 以降	無 回 答		19 時 以前	20 時	21 時	22 時	23 時 以降	無 回 答
全体 (n=8)	12.5	25.0	37.5	12.5	0.0	12.5	全体 (n=8)	12.5	25.0	0.0	37.5	12.5	12.5

（8）ショートステイ（宿泊を伴う一時あずかり）

① 泊りがけの外出の際、子どもを連れて行くことが困難であったことの有無（問34）

この1年間に泊りがけの外出の際に子どもを連れて行くことが困難であったことの有無は、「あった」が9.9%であり、「なかった」が89.5%となっている（図表2-8-1）。

図表2-8-1

この1年間に泊りがけの外出の際、子どもを連れて行くことが困難であったことの有無（全体）



② 泊りがけで子どもを連れて行くことが困難であった際の対処方法と泊数（問34-1）

この1年間に泊りがけの外出の際に子どもを連れて行くことが困難であった際の対処の方法は、「親族・知人にあずけた」が77.5%で最も多く、次いで「子どもも連れて行った」が17.1%となっている。

対処した方法ごとの平均泊数は、「親族・知人にあずけた」が平均4.8泊で最も多くなっている（図表2-8-2）。

図表 2－8－2 泊りがけで子どもを連れて行くことが困難であった際の対処方法と泊数
(全体：複数回答)

＜この１年間に泊りがけの外出の際、子どもの同伴が困難なことが「あった」と回答した人＞

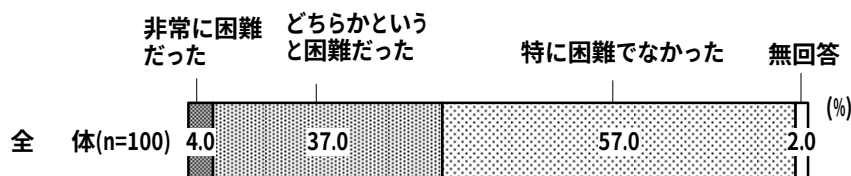
(n=129)

対処方法	割合 (%)	平均泊数 (泊)
親族・知人（同居者を含む）にあずけた	77.5	4.8
子どもも連れて行った	17.1	2.7
子どもだけで留守番させた	8.5	1.9
保育サービスを利用した	0.0	-
その他	3.1	18.8
無回答	0.0	

③ 子どもを親族・知人にあずけることの困難さ（問 34－２）

泊りがけの外出の際、子どもを親族・知人にあずける困難さは、「特に困難でなかった」が 57.0%で半数を超えているが、「非常に困難だった」の 4.0%、「どちらかという困難だった」の 37.0%を合計すると 41.0%となる（図表 2－8－３）。

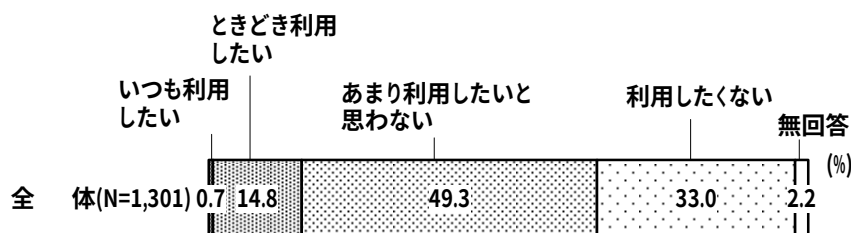
図表 2－8－３ 子どもを親族・知人にあずけることの困難さ（全体）
＜泊りがけの外出の際に子どもを「親族・知人にあずけた」と回答した人＞



④ ショートステイの利用意向（問 35）

ショートステイの利用意向は、「いつも利用したい」の 0.7%と「ときどき利用したい」の 14.8%を合計すると 15.5%となる（図表 2－8－４）。

図表 2－8－４ ショートステイの利用意向（全体）

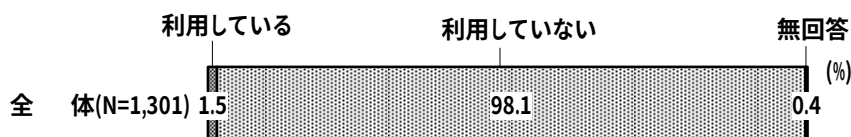


(9) ベビーシッター

① ベビーシッター利用の有無（問 36）

ベビーシッターの利用状況は、「利用している」が1.5%となっている（図表2-9-1）

図表2-9-1 ベビーシッター利用の有無（全体）



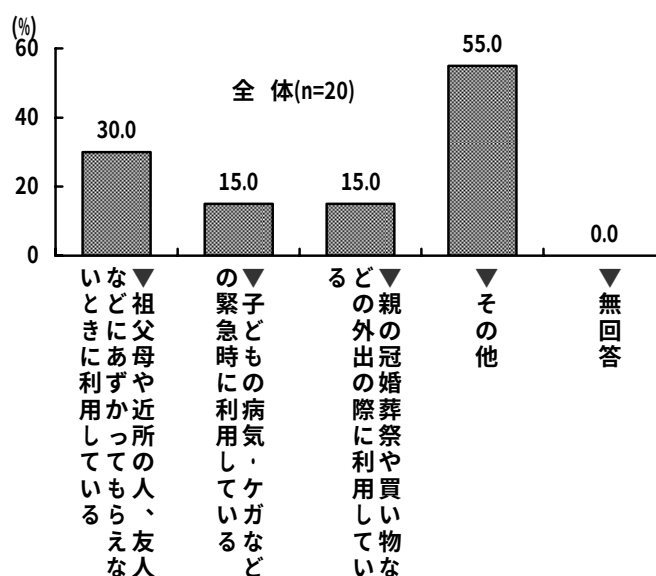
② ベビーシッターの利用目的、日数／月、1回あたりの時間（問 36-1）

◇ベビーシッターの利用目的

ベビーシッターの利用の目的は、「祖父母や近所の人・友人などにあずかってもらえないときに利用している」が30.0%で最も多くなっている（図表2-9-2-1）。

図表2-9-2-1 ベビーシッター利用の目的（全体：複数回答）

<ベビーシッターを「利用している」と回答した人>

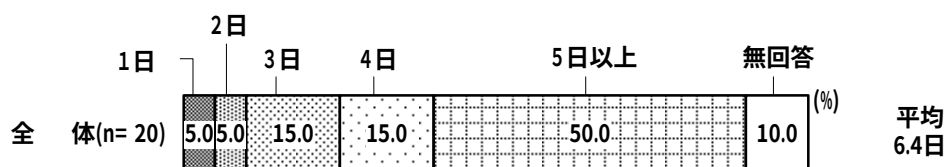


◇ベビーシッターの月あたりの利用日数

ベビーシッターの月あたりの利用日数は、平均6.4日となっている（図表2-9-2-2）。

図表2-9-2-2 ベビーシッターの利用日数／月（全体）

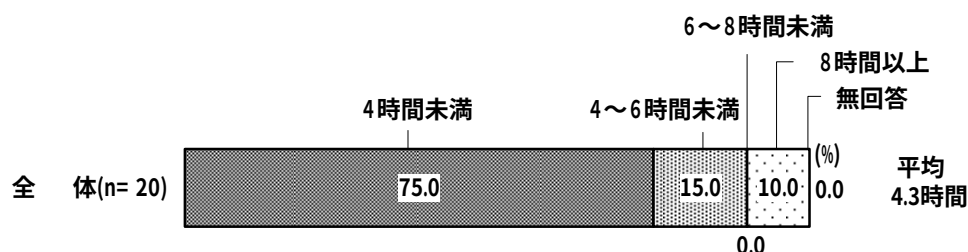
<ベビーシッターを「利用している」と回答した人>



◇ベビーシッターの1回あたりの利用時間

ベビーシッターの1回あたりの利用時間は、平均 4.3 時間となっている（図表 2-9-2-3）。

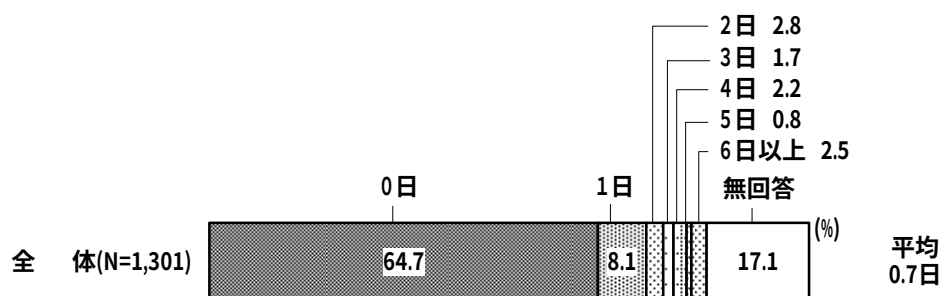
図表 2-9-2-3 ベビーシッターの1回あたりの利用時間（全体）
＜ベビーシッターを「利用している」と回答した人＞



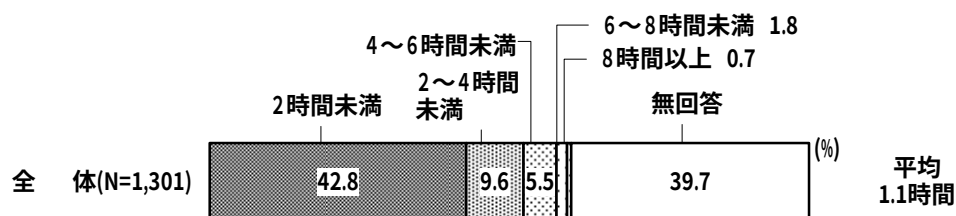
③ ベビーシッターの利用希望日数／月、1回あたりの時間（問 37）

ベビーシッターの月あたりの平均利用希望日数は 0.7 日、1回あたりの平均利用希望時間は 1.1 時間となっている（図表 2-9-3-1、図表 2-9-3-2）。

図表 2-9-3-1 ベビーシッターの利用希望日数／月（全体）



図表 2-9-3-2 ベビーシッターの1回あたりの利用希望時間（全体）

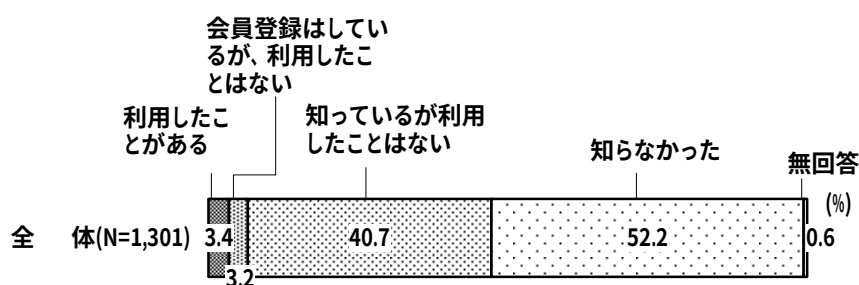


(10) ファミリーサポートセンター

① ファミリーサポートセンターの認知、利用状況（問 38）

ファミリーサポートセンターの認知、利用状況は、「利用したことがある」が3.4%であり、「会員登録はしているが、利用したことはない」の3.2%、「知っているが利用したことはない」の40.7%まで含めた認知度は47.3%となっている（図表2-10-1-1）。

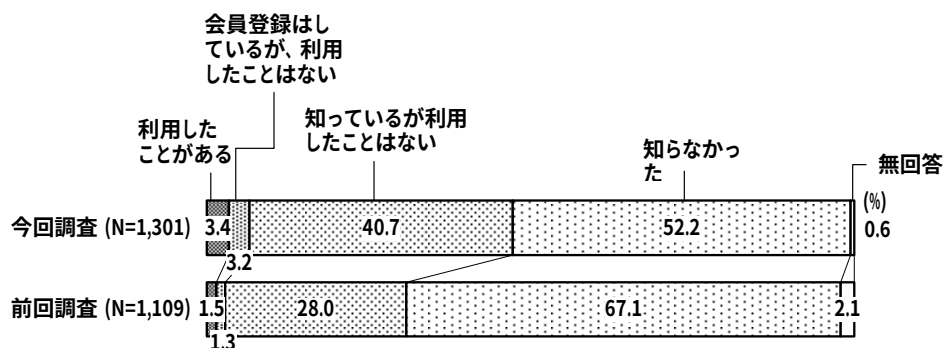
図表2-10-1-1 ファミリーサポートセンターの認知、利用状況（全体）



<前回調査との比較>

前回調査と比較すると、ファミリーサポートセンターの認知、利用状況は、今回調査では「利用したことがある」が3.4%であり、前回調査の1.5%より1.9ポイント多くなっている。「会員登録はしているが、利用したことはない」、「知っているが利用したことはない」まで含めた認知度は、今回調査が47.3%であり、前回調査の30.8%より16.5ポイント多くなっている（図表2-10-1-2）。

図表2-10-1-2 ファミリーサポートセンターの認知、利用状況（全体）

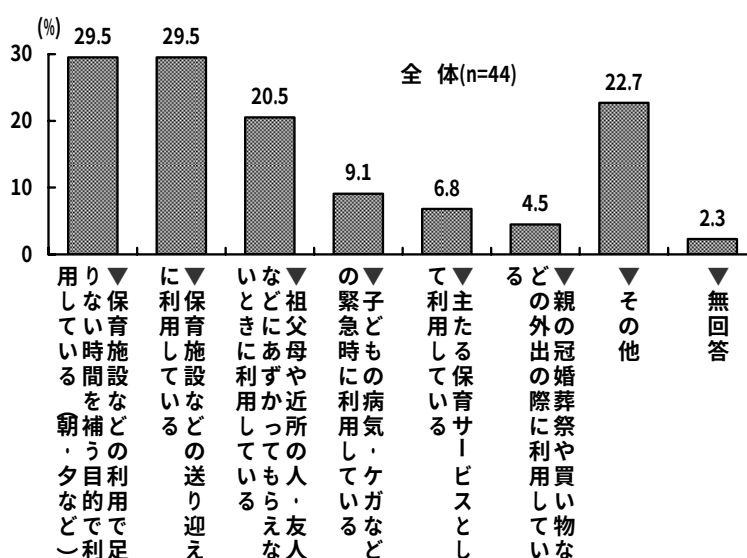


② ファミリーサポートセンターの利用目的、利用日数／月・1回あたりの利用時間、追加希望日数／月・1回あたりの利用時間（問 38－1）

◇ファミリーサポートセンターの利用目的

ファミリーサポートセンター利用の目的は、「保育施設などの利用で足りない時間を補う目的で利用している」と「保育施設などの送り迎えに利用している」がいずれも 29.5%で最も多く、次いで「祖父母や近所の人・友人などにあずかってもらえないときに利用している」が 20.5%となっている（図表 2－10－2－1）。

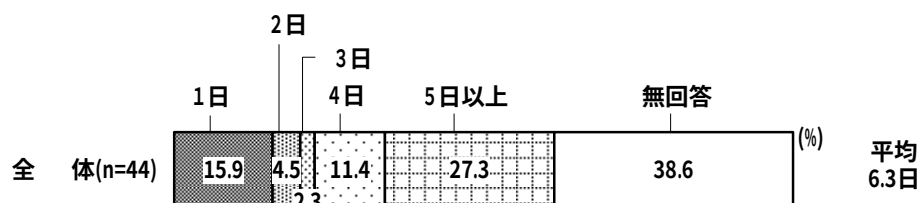
図表 2－10－2－1 ファミリーサポートセンターの利用目的（全体：複数回答）
＜ファミリーサポートセンターを「利用したことがある」と回答した人＞



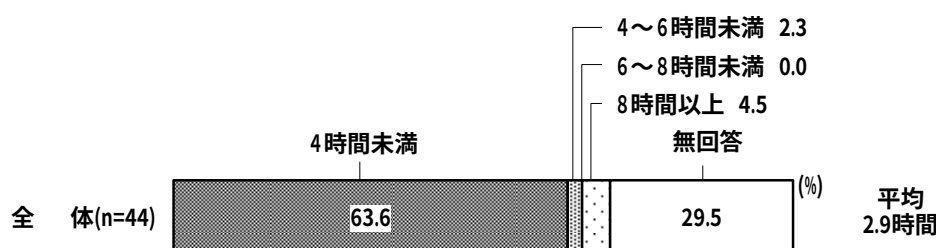
◇ファミリーサポートセンターの利用頻度

月あたりの平均利用日数は 6.3 日、1 回あたりの平均利用時間は 2.9 時間となっている（図表 2－10－2－2、図表 2－10－2－3）。

図表 2－10－2－2 ファミリーサポートセンターの利用日数／月（全体）
＜ファミリーサポートセンターを「利用したことがある」と回答した人＞



図表 2－10－2－3 ファミリーサポートセンターの1回あたりの利用時間（全体）
＜ファミリーサポートセンターを「利用したことがある」と回答した人＞



◇月あたりの追加希望日数および1回あたりの追加希望時間

ファミリーサポートセンターの追加利用を希望する場合の、月あたりの平均追加希望日数は4.4日、1回あたりの平均追加希望時間は0.6時間となっている（図表2-10-2-4、図表2-10-2-5）。

図表2-10-2-4 ファミリーサポートセンターの利用を増加する際の追加希望日数/月
（全体）＜ファミリーサポートセンターを「利用したことがある」と回答した人＞

	0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日以上	無回答	平均
全体 (n=44)	9.1	2.3	0.0	0.0	2.3	0.0	4.5	81.8	4.4日

図表2-10-2-5 ファミリーサポートセンターの利用を増加する際の追加希望時間/回
（全体）＜ファミリーサポートセンターを「利用したことがある」と回答した人＞

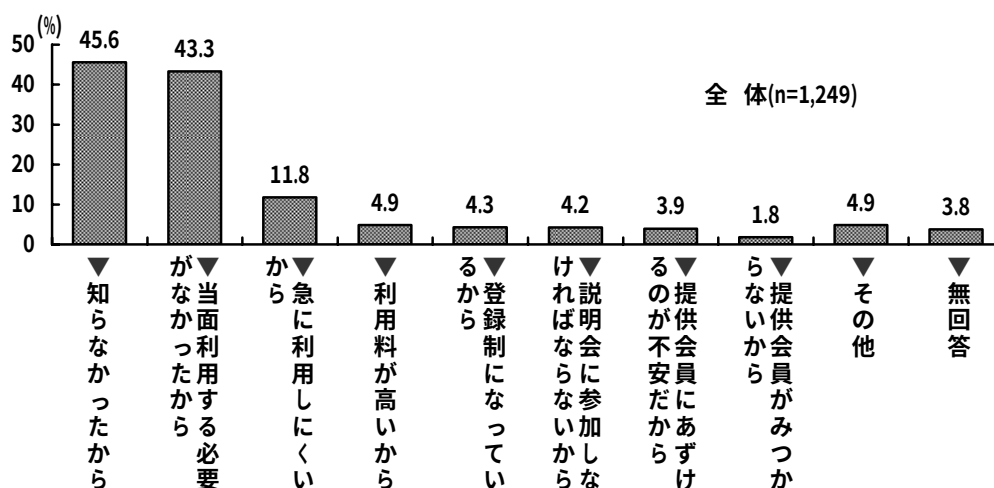
	2時間未満	2～4時間未満	4～6時間未満	6時間以上	無回答	平均
全体 (n=44)	9.1	2.3	0.0	0.0	88.6	0.6時間

③ ファミリーサポートセンターを利用していない理由、今後の利用意向（問38-2）

◇ファミリーサポートセンターを利用していない理由

ファミリーサポートセンターを利用していない理由は、「知らなかったから」が45.6%で最も多く、次いで「当面利用する必要がなかったから」が43.3%となっている（図表2-10-3-1）。

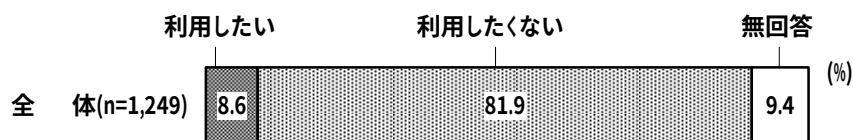
図表2-10-3-1 ファミリーサポートセンターを利用していない理由（全体：複数回答）
＜ファミリーサポートセンターを「利用したことはない」と回答した人＞



◇ファミリーサポートセンターの今後の利用意向

ファミリーサポートセンターの今後の利用意向は、「利用したい」が8.6%となっている（図表2-10-3-2）。

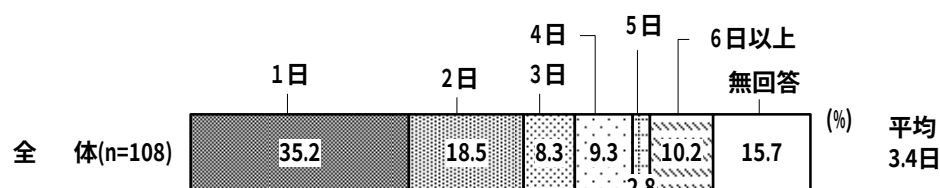
図表2-10-3-2 ファミリーサポートセンターの今後の利用意向（全体）
＜ファミリーサポートセンターを「利用したことはない」と回答した人＞



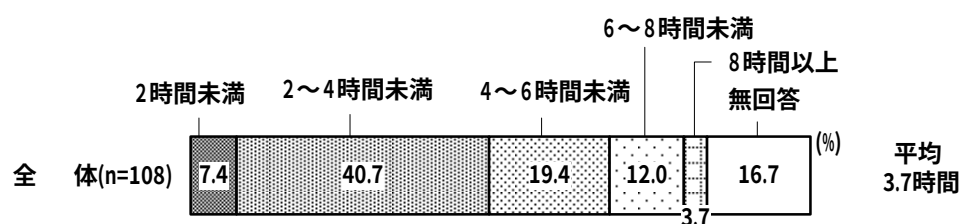
◇ファミリーサポートセンターを今後利用する際の希望利用頻度

今後ファミリーサポートセンターの利用を希望する人の月あたりの平均希望日数は3.4日、1回あたりの平均希望時間は3.7時間となっている（図表2-10-3-3、図表2-10-3-4）。

図表2-10-3-3 今後ファミリーサポートセンターを利用する際の月あたりの希望日数
（全体）＜今後ファミリーサポートセンターを「利用したい」と回答した人＞



図表2-10-3-4 今後ファミリーサポートセンターを利用する際の1回あたりの希望時間
（全体）＜今後ファミリーサポートセンターを「利用したい」と回答した人＞

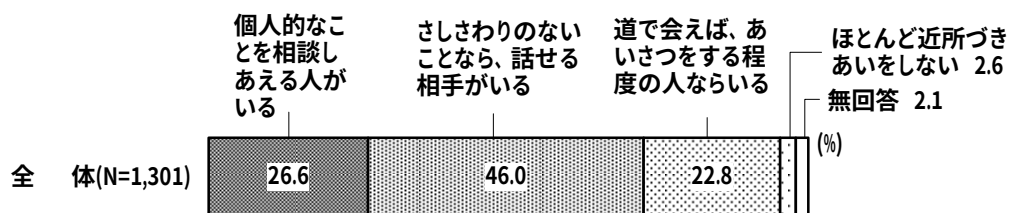


(11) 地域とのかかわり

① 近所づきあいの状況（問 39）

近所づきあいの状況は、「さしさわりのないことなら、話せる相手がいる」が 46.0%で最も多く、次いで「個人的なことを相談しあえる人がある」が 26.6%、「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」が 22.8%となっている（図表 2-11-1）。

図表 2-11-1 近所づきあいの状況（全体）

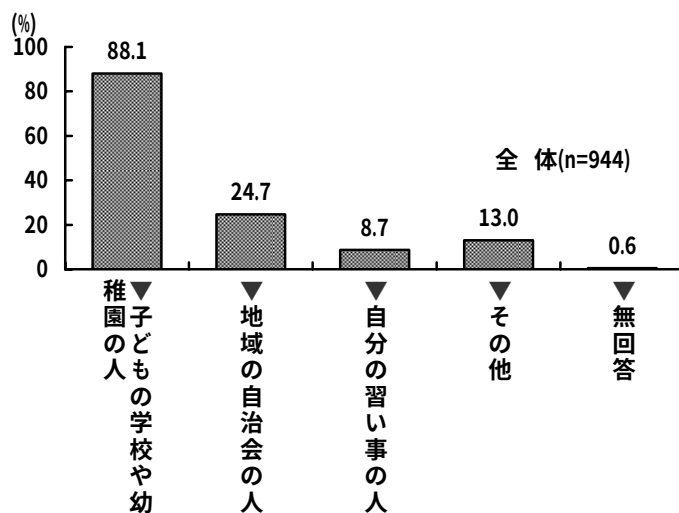


② 近所づきあいの相手（問 39-1）

近所づきあいの相手は、「子どもの学校や幼稚園の人」が 88.1%で最も多くなっている（図表 2-11-2）。

図表 2-11-2 近所づきあいの相手（全体：複数回答）

＜近所に「個人的なことを相談しあえる人がある」、
「さしさわりのないことなら、話せる相手がいる」と回答した人＞

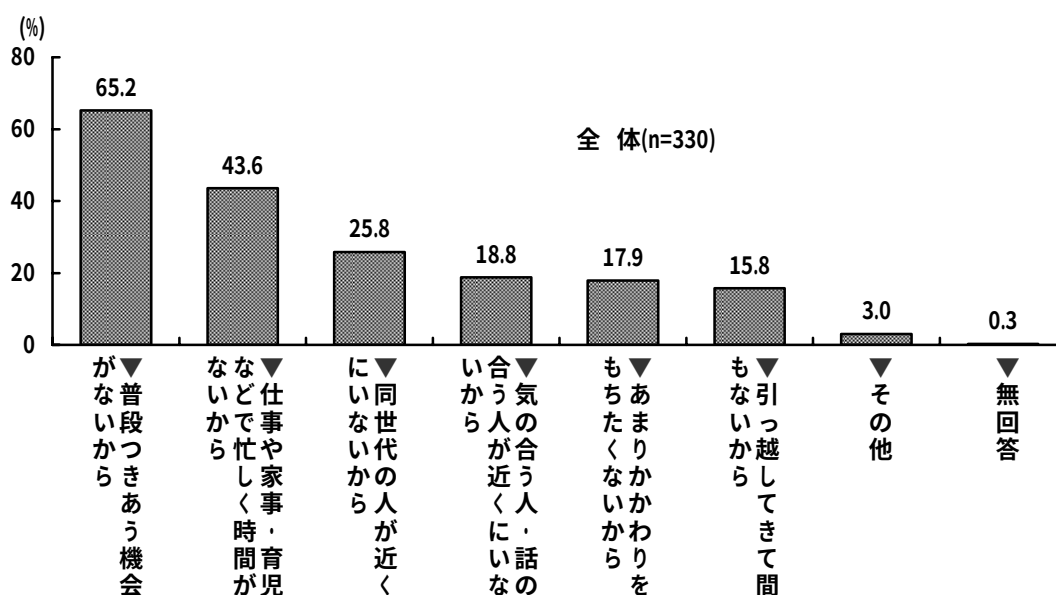


③ 近所づきあいが希薄な理由（問 39－2）

近所づきあいが希薄な理由は、「普段つきあう機会がないから」が 65.2%で最も多く、次いで「仕事や家事・育児などで忙しく時間がないから」が 43.6%となっている（図表 2－11－3）。

図表 2－11－3 近所づきあいが希薄な理由（全体：複数回答（3つまで））

＜近所に「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」、
「ほとんど近所づきあいをしない」と回答した人＞

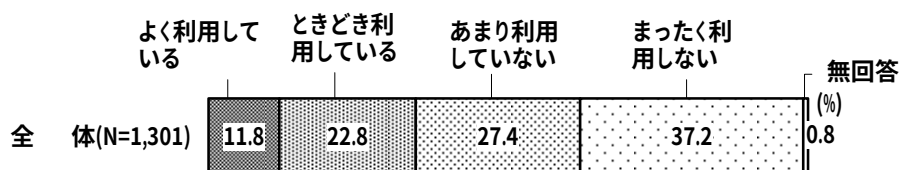


(12) 子育て支援サービスに関する情報

① 子育て情報入手のためのインターネット利用状況（問 40）

子育てに関する情報入手する手段としてのインターネットの利用の状況は、「よく利用している」の 11.8%と「ときどき利用している」の 22.8%を合計すると、利用している人は 34.6%となる（図表 2－12－1－1）。

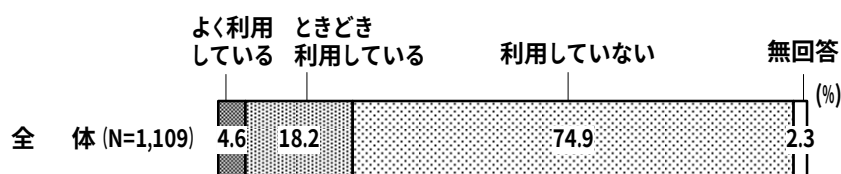
図表 2－12－1－1 子育て情報入手のためのインターネット利用状況（全体）



＜前回調査との比較＞

前回調査と比較すると、子育て情報入手のためのインターネット利用状況は、前回調査は「よく利用している」が4.6%であり、「ときどき利用している」の18.2%と合計した利用している人は22.8%で、今回調査が34.6%であり、前回調査の22.8%を11.8ポイント上回っている（図表2-12-1-2）。

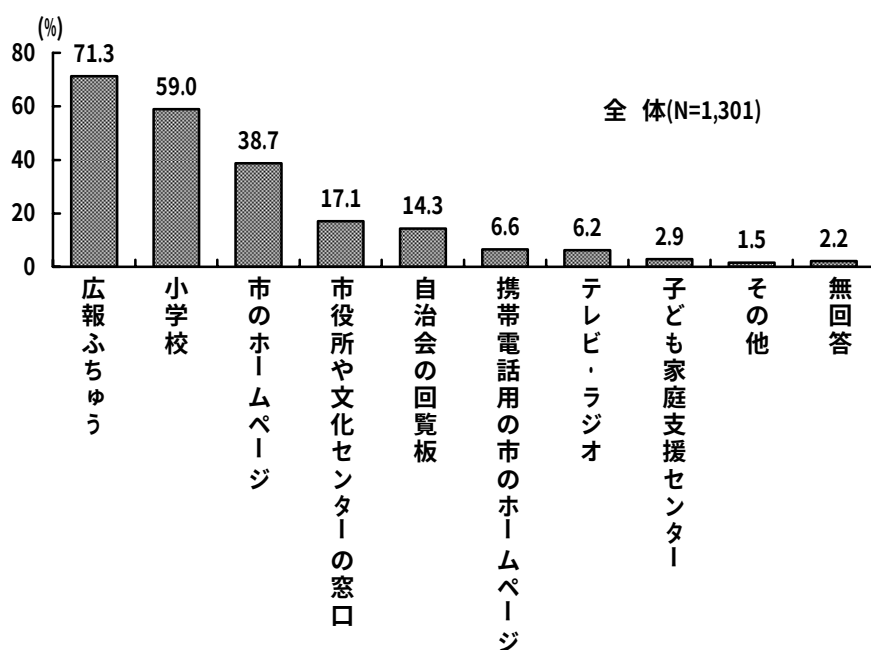
図表2-12-1-2 子育て情報入手のためのインターネット利用状況（全体／前回調査）



② 子育て支援サービスの情報源としてよいと思うもの（問41）

子育て支援サービスに関する情報源としてよいと思うものは、「広報ふちゅう」が71.3%で最も多く、次いで「小学校」が59.0%、「市のホームページ」が38.7%となっている（図表2-12-2-1）。

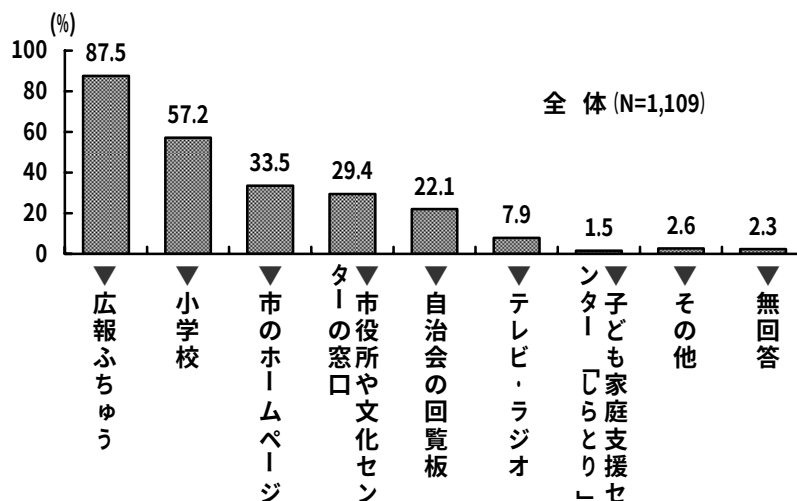
図表2-12-2-1 子育て支援サービスの情報源としてよいと思うもの（全体：複数回答）



<前回調査との比較>

前回調査と比較すると、子育て支援サービスの情報源としてよいと思うものは、前回調査・今回調査ともに「広報ふちゅう」、「小学校」、「市のホームページ」が上位3位となっている（図表2-12-2-2）。

図表2-12-2-2 子育て支援サービスの情報源としてよいと思うもの
(全体：複数回答／前回調査)

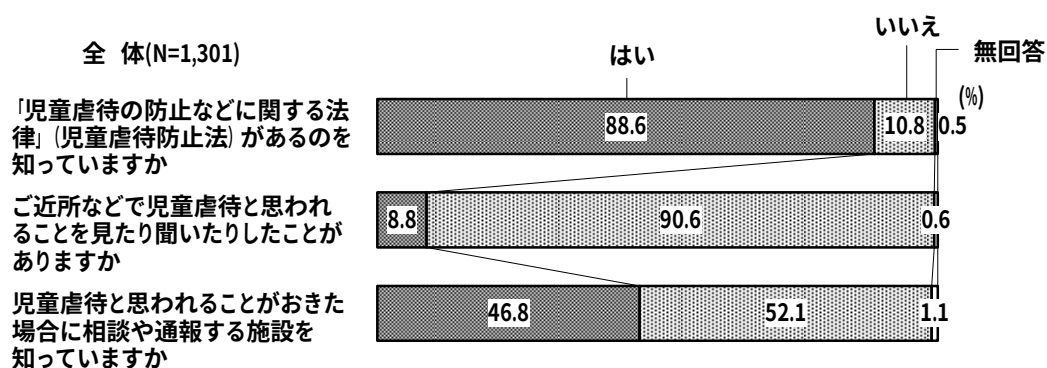


(13) 児童虐待防止

① 児童虐待に関する認知状況（問 42）

児童虐待に関する認知状況は、「「児童虐待の防止などに関する法律」（児童虐待防止法）があるのを知っていますか」では「はい」が 88.6%となっている。「児童虐待と思われることがおきた場合に相談や通報する施設を知っていますか」では「はい」が 46.8%になっている。また、「ご近所などで児童虐待と思われることを見たり聞いたりしたことがありますか」では「はい」が 8.8%（114 人）となっている（図表2-13-1）。

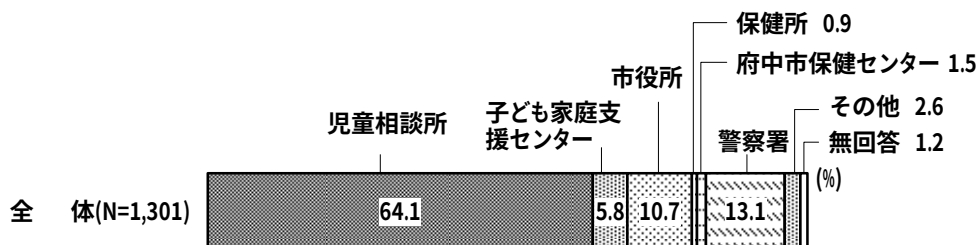
図表2-13-1 児童虐待に関する認知状況（全体）



② 児童虐待の通報先（問 43）

児童虐待を見聞きしたときに通報する場所は、「児童相談所」が 64.1%で最も多く、次いで「警察署」が 13.1%となっている（図表 2-13-2）。

図表 2-13-2 児童虐待の通報先（全体）

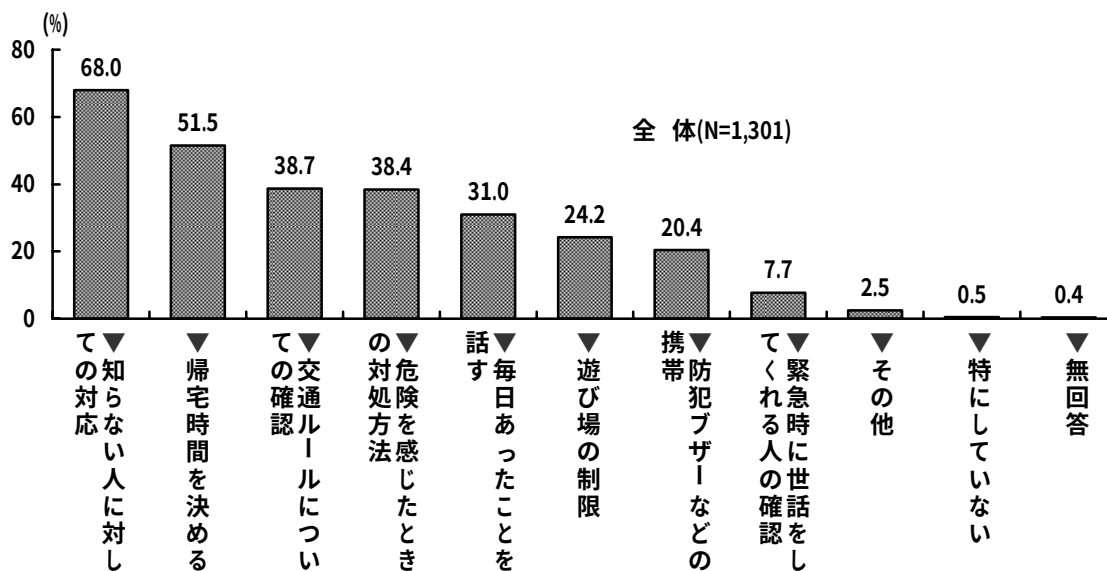


(14) 安全なまちづくり

① 子どもの安全や防犯について気をつけていること（問 44）

子どもの日ごろの安全や防犯について家庭で気をつけていることは、「知らない人に対しての対応」が 68.0%で最も多く、次いで「帰宅時間を決める」が 51.5%となっている（図表 2-14-1）。

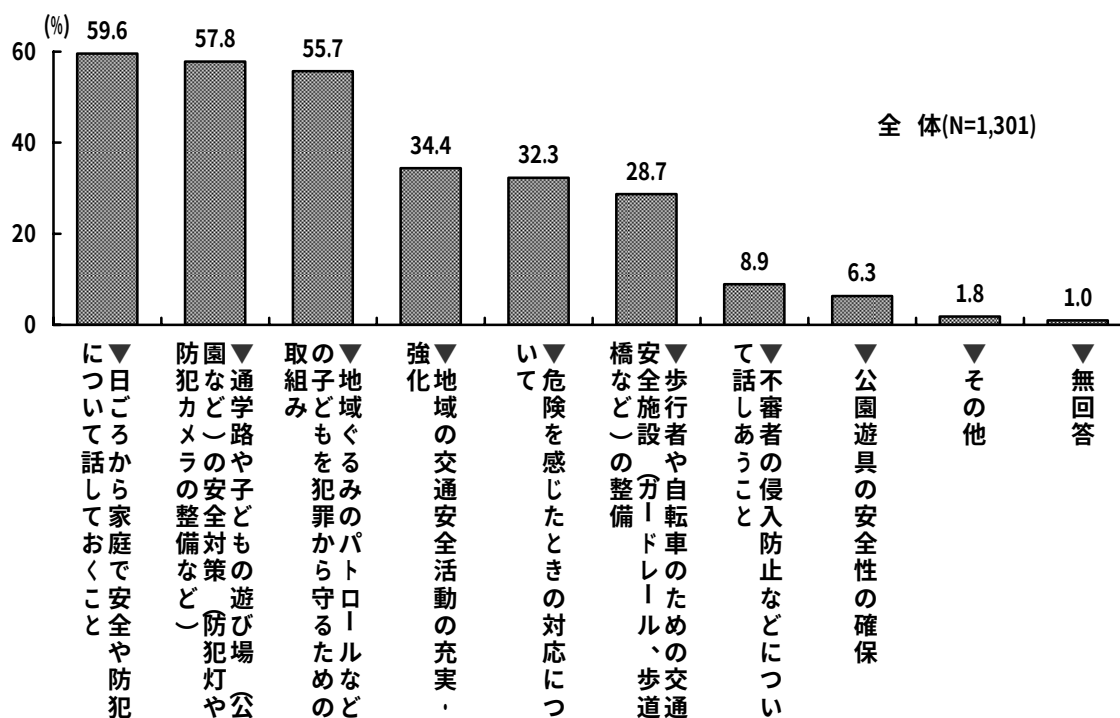
図表 2-14-1 子どもの安全や防犯について気をつけていること（全体：複数回答（3つまで））



② 子どもの安全を守るために必要なこと（問 45）

子どもの安全を守るために必要なことは、「日ごろから家庭で安全や防犯について話しておくこと」が59.6%で最も多く、次いで「通学路や子どもの遊び場の安全対策」が57.8%、「地域ぐるみのパトロールなどの子どもを犯罪から守るための取り組み」が55.7%となっている（図表2-14-2）。

図表2-14-2 子どもの安全を守るために必要なこと（全体：複数回答（3つまで））

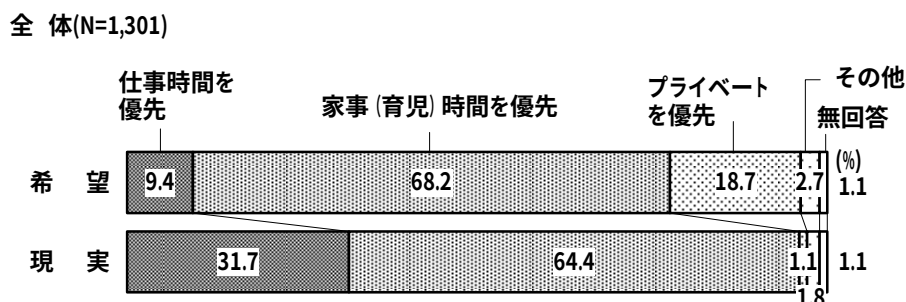


(15) 子育てと仕事の両立

① 仕事時間と生活時間の優先度（問 46）

仕事時間と生活時間の優先度は、希望、現実ともに「家事(育児)時間を優先」が最も多く、60%以上となっている。希望としては「プライベートを優先」が18.7%であるものの、現実には1.1%となっている。また、希望では「仕事時間を優先」が9.4%であるものの、現実には31.7%となっている（図表2-15-1）。

図表2-15-1 仕事時間と生活時間の優先度（全体）

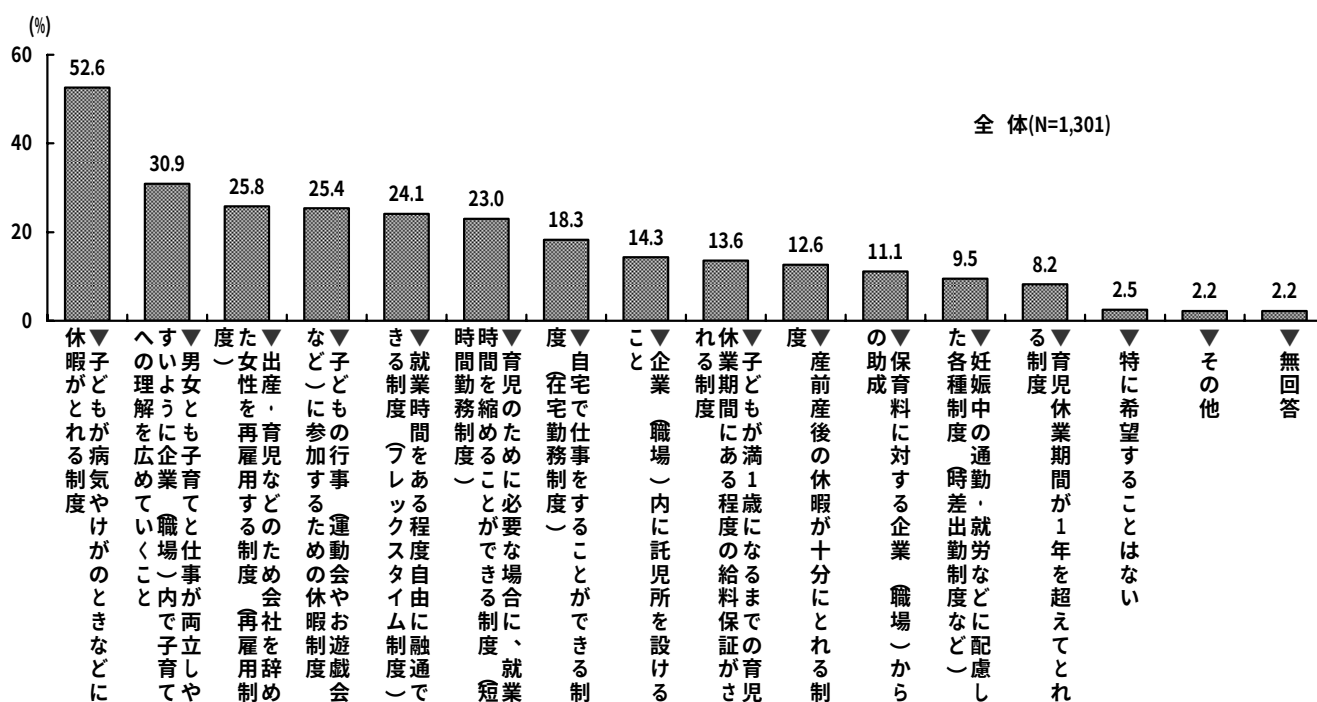


② 男女とも子育てと仕事の両立を図りやすくするために企業（職場）に希望すること（問47）

男女とも子育てと仕事の両立を図りやすくするために企業（職場）に希望することは、「子どもが病気やけがのときなどに休暇がとれる制度」が52.6%で最も多く、次いで「男女とも子育てと仕事が両立しやすいように、企業（職場）内で子育てへの理解を広めていくこと」が30.9%、「出産・育児などのため会社を辞めた女性を再雇用する制度（再雇用制度）」が25.8%、「子どもの行事に参加するための休暇制度」が25.4%となっている（図表2-15-2-1）。

図表2-15-2-1

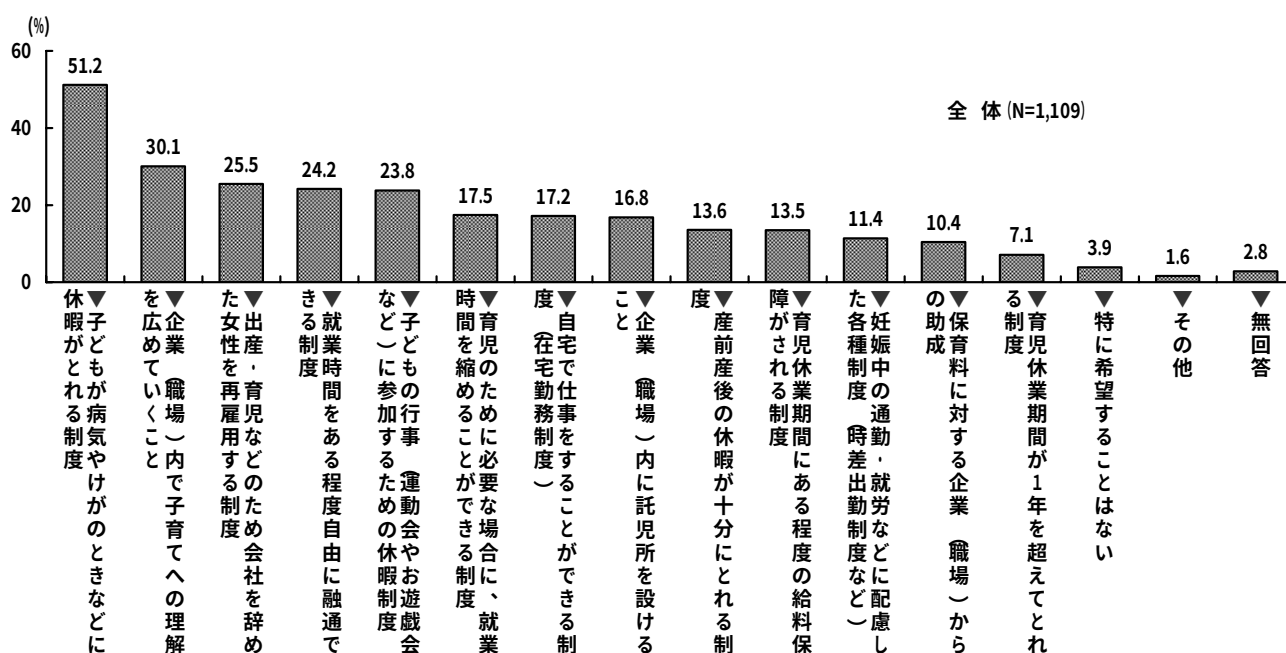
男女とも子育てと仕事の両立を図りやすくするために企業（職場）に希望すること
（全体：複数回答（3つまで））



<前回調査との比較>

前回調査と比較すると、子育てと仕事の両立を図りやすくするために企業（職場）に希望することは、今回調査・前回調査ともに「子どもが病気やけがのときなどに休暇がとれる制度」、「企業（職場）内で理解を広めること」、「再雇用制度」が上位3位となっている（図表2-15-2-2）。

図表2-15-2-2 子育てと仕事の両立を図りやすくするために企業（職場）に希望すること
（全体：複数回答（3つまで）／前回調査）



(16) 市の子育て支援施策に関する意見や要望（問 48）

市の子育て支援施策について、自由記述形式でたずねたところ、全体で 367 件の回答があった。内容と件数は以下の通りである。

内容	件数
学童クラブ・放課後子ども教室について	44 件
医療について	44 件
市の対応について	32 件
経済的支援や優遇措置のあり方について	29 件
子育てと仕事の両立について	24 件
子どもの安全確保について	21 件
保育所、幼稚園の不足について	19 件
広報・PRをもっと積極的にしてほしい	19 件
子育て支援施策の方向性について	18 件
アンケートについて	17 件
学校教育への要望	15 件
一時あずかりサービスへの要望	14 件
遊び場の充実に対する要望	12 件
大人向けの教育・交流の場の充実に対する要望	12 件
子ども向けのイベント・教室の充実に対する要望	10 件
子どもたちの居場所づくりに対する要望	10 件
障害のある子ども向けの支援について	6 件
子ども家庭支援センター「たち」について	6 件
ひとり親世帯への支援について	5 件
病児・病後児保育について	4 件
その他	6 件

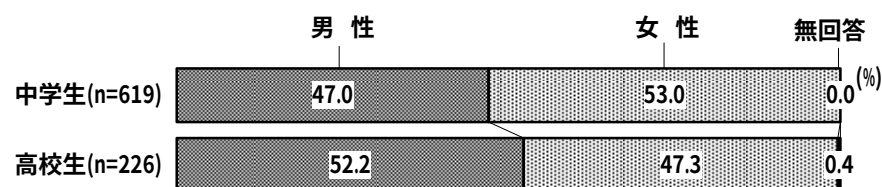
3 中学生・高校生世代調査

(1) 基本属性

① 性別 (F 1)

性別は、中学生は、「男性」が47.0%、「女性」が53.0%であり、女性がやや多くなっている。高校生は、「男性」が52.2%、「女性」が47.3%であり、男性がやや多くなっている（図表3-1-1）。

図表3-1-1 性別（中学生・高校生）

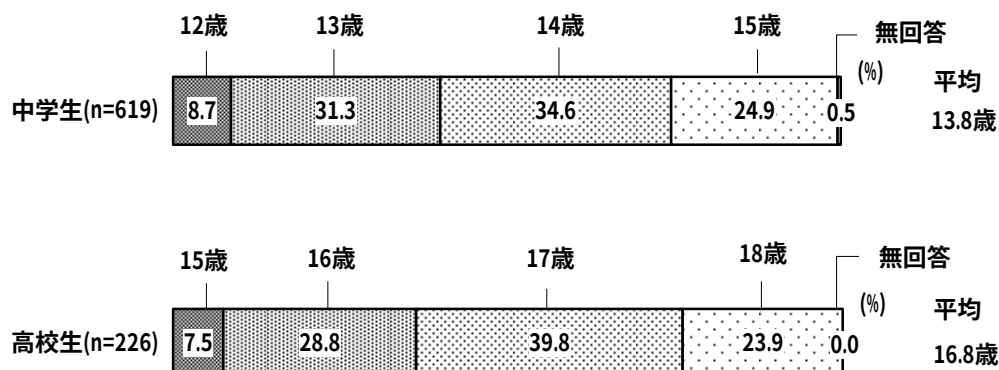


② 年齢 (F 2)

年齢は、中学生は、「14歳」が34.6%で最も多く、次いで「13歳」が31.3%、「15歳」が24.9%となっている。平均年齢は13.8歳となっている。

高校生は、「17歳」が39.8%で最も多く、次いで「16歳」が28.8%、「18歳」が23.9%となっている。平均年齢は16.8歳となっている（図表3-1-2）。

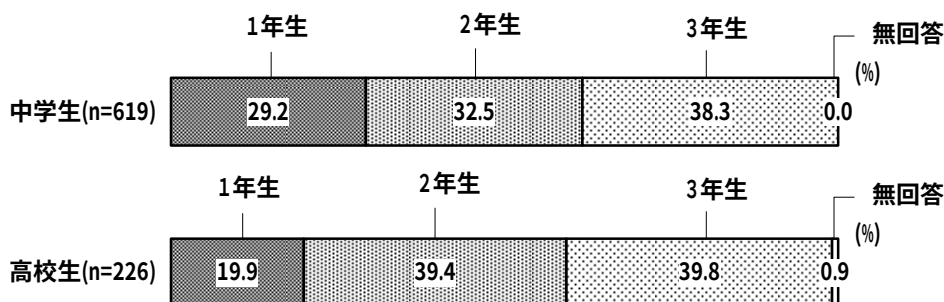
図表3-1-2 年齢（中学生・高校生）



③ 学年（F3）

学年は、中学生は、「3年生」が38.3%で最も多く、次いで「2年生」が32.5%、「1年生」が29.2%となっている。高校生は、「3年生」が39.8%で最も多く、次いで「2年生」が39.4%、「1年生」が19.9%となっている（図表3-1-3）。

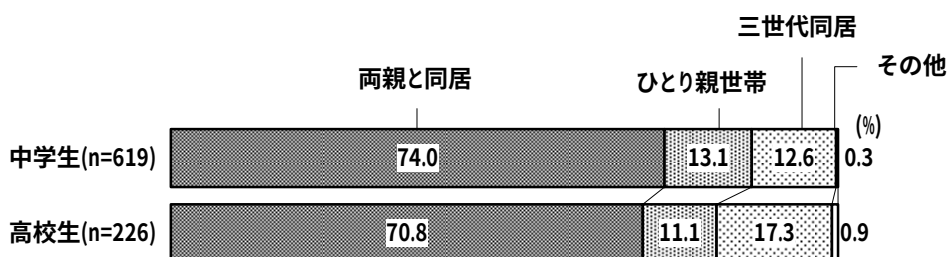
図表3-1-3 学年（中学生・高校生）



④ 家族構成（F4）

家族構成は、中学生では「両親と同居」が74.0%で最も多く、次いで「ひとり親世帯」が13.1%、「三世代同居」が12.6%となっている。高校生では、「両親と同居」が70.8%で最も多く、次いで「三世代同居」が17.3%、「ひとり親世帯」が11.1%となっている（図表3-1-4）。

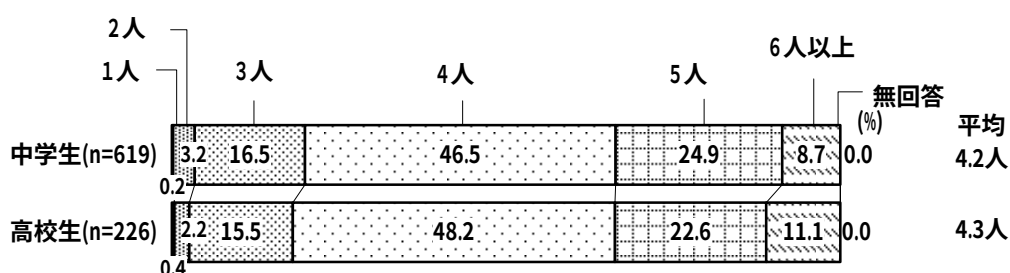
図表3-1-4 家族構成（中学生・高校生）



⑤ 同居する家族の人数（F 5）

同居する家族の人数は、中学生は、「4人」が46.5%で最も多く、次いで「5人」が24.9%、「3人」が16.5%となっている。平均人数は4.2人となっている。高校生は、「4人」が48.2%で最も多く、次いで「5人」が22.6%、「3人」が15.5%となっている。平均人数は4.3人となっている（図表3-1-5）。

図表3-1-5 同居する家族の人数（中学生・高校生）



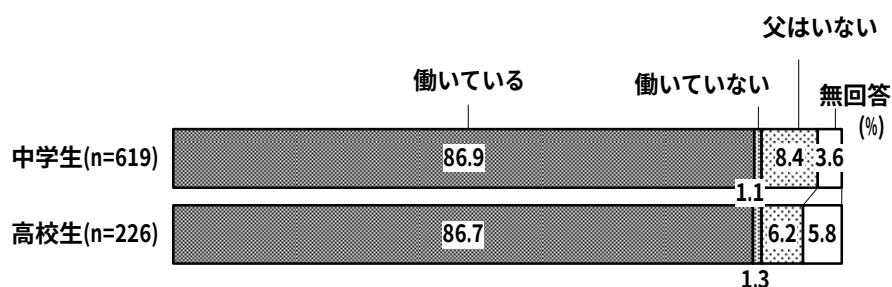
⑥ 両親の就労状況（F 6）

父親の就労状況は、中学生は「働いている」が86.9%、「父はいない」が8.4%となっている。高校生は「働いている」が86.7%、「父はいない」が6.2%となっている（図表3-1-6-1）。

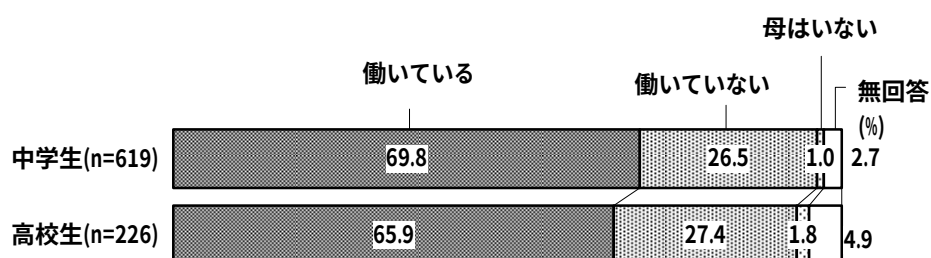
母親の就労状況は、中学生は「働いている」が69.8%、「働いていない」が26.5%、「母はいない」が1.0%となっている。高校生は「働いている」が65.9%、「働いていない」が27.4%、「母はいない」が1.8%となっている（図表3-1-6-2）。

両親の働き方別にみると、「共働き」は、中学生は60.6%、高校生は58.8%となっている（図表3-1-6-3）。

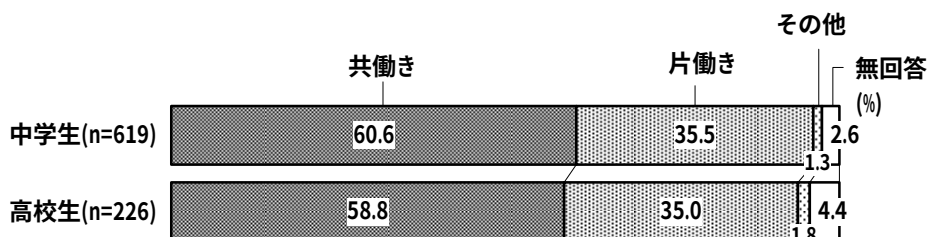
図表3-1-6-1 父親の就労状況（中学生・高校生）



図表3-1-6-2 母親の就労状況（中学生・高校生）



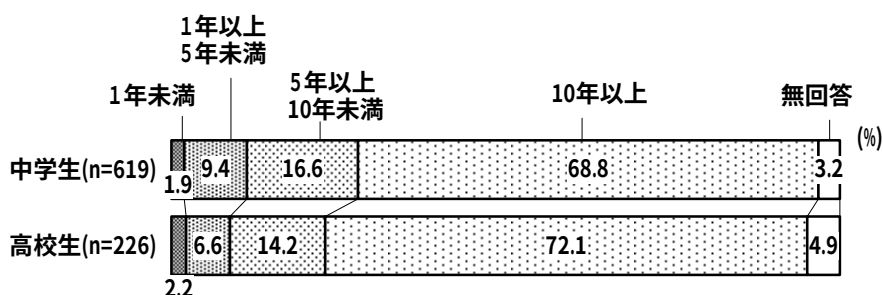
図表3-1-6-3 両親の働き方（中学生・高校生）



⑦ 居住年数（F 7）

府中市に居住する年数は、中学生は「10 年以上」が 68.8%となっており、高校生も「10 年以上」が 72.1%となっている（図表3-1-7）。

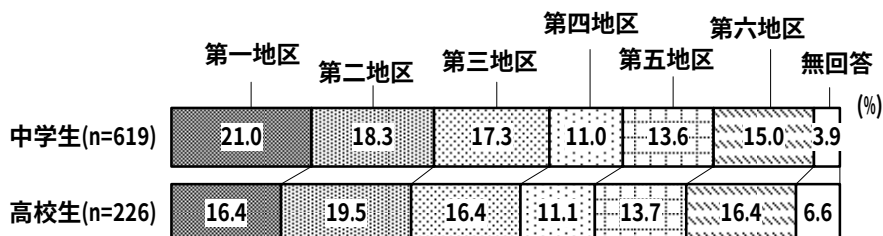
図表3-1-7 居住年数（中学生・高校生）



⑧ 居住地区（F 8）

居住地区は、中学生は、「第一地区」が 21.0%で最も多く、次いで「第二地区」が 18.3%、「第三地区」が 17.3%となっている。高校生は、「第二地区」が 19.5%で最も多く、次いで「第一地区」、「第三地区」、「第六地区」が同率の 16.4%となっている（図表3-1-8）。

図表3-1-8 居住地区（中学生・高校生）



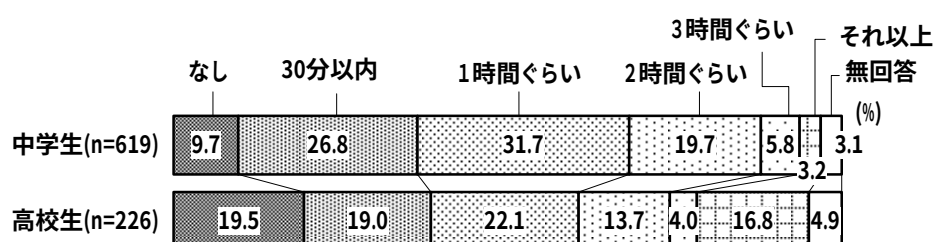
(2) 日ごろの生活

① 生活時間（問1）

◇勉強時間

勉強時間は、中学生は「1時間ぐらい」が31.7%で最も多く、次いで「30分以内」が26.8%となっている。高校生は「なし」が19.5%、「30分以内」が19.0%となっているが、一方で、「3時間ぐらい」の4.0%と「それ(3時間)以上」の16.8%を合計すると20.8%となっている（図表3-2-1-1）。

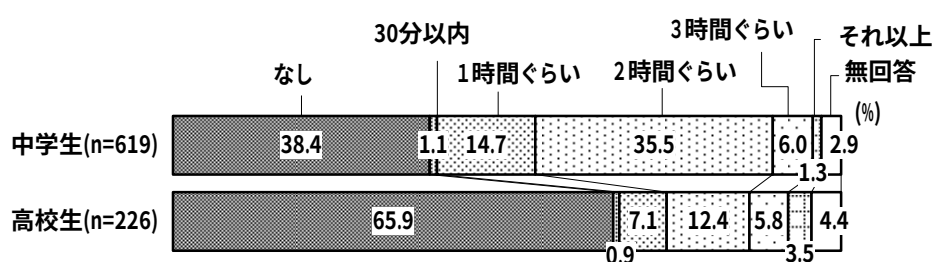
図表3-2-1-1 勉強時間（中学生・高校生）



◇学習塾の時間

学習塾の時間は、中学生は「なし」が38.4%で最も多く、次いで「2時間ぐらい」が35.5%となっている。高校生は「なし」が65.9%となっている（図表3-2-1-2）。

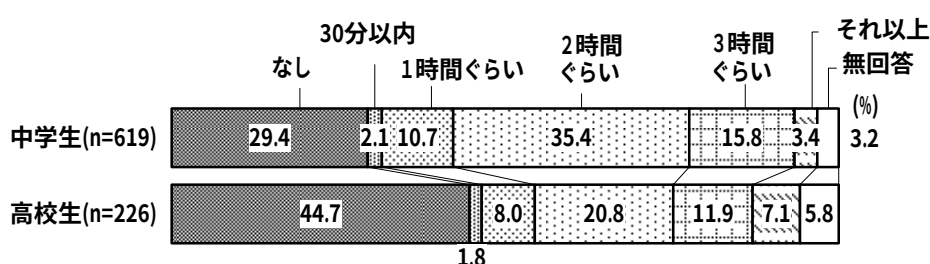
図表3-2-1-2 学習塾の時間（中学生・高校生）



◇部活・サークルの時間

部活・サークルの時間は、中学生は「2時間ぐらい」が35.4%で最も多く、次いで「なし」が29.4%となっている。高校生は「なし」が44.7%で最も多く、次いで「2時間ぐらい」が20.8%となっている（図表3-2-1-3）。

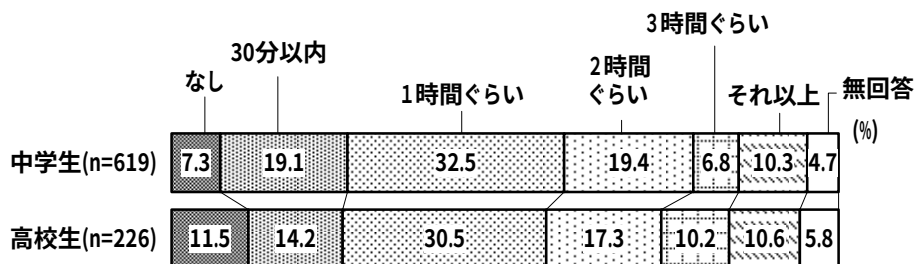
図表3-2-1-3 部活・サークルの時間（中学生・高校生）



◇なにもしないでのんびりする時間

なにもしないでのんびりする時間は、中学生は、「1時間ぐらい」が32.5%で最も多く、次いで「2時間ぐらい」が19.4%となっている。高校生も「1時間ぐらい」が30.5%で最も多く、次いで「2時間ぐらい」が17.3%となっている（図表3-2-1-4）。

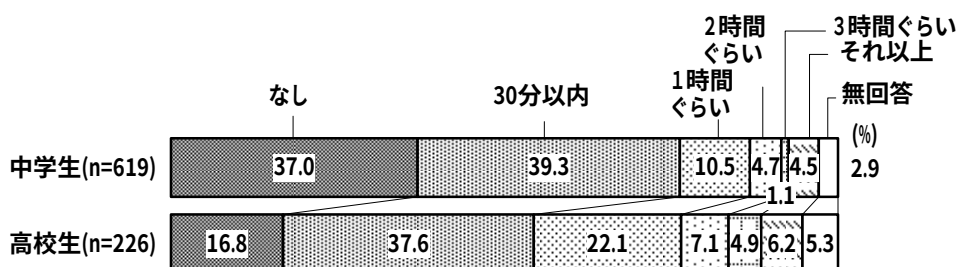
図表3-2-1-4 なにもしないでのんびりする時間（中学生・高校生）



◇電話・携帯電話をしている時間

電話・携帯電話をしている時間は、中学生は「30分以内」が39.3%で最も多く、次いで「なし」が37.0%となっている。高校生も「30分以内」が37.6%で最も多いが、次いで多いのは、「1時間ぐらい」の22.1%となっている。高校生の「なし」は16.8%で、中学生に比べて20.2ポイント低くなっている（図表3-2-1-5）。

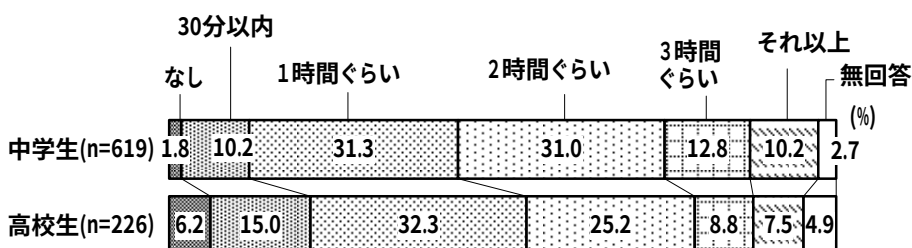
図表3-2-1-5 電話・携帯電話をしている時間（中学生・高校生）



◇テレビ・ビデオを見る時間

テレビ・ビデオを見る時間は、中学生は「1時間ぐらい」が31.3%、「2時間ぐらい」が31.0%となっている。高校生は、「1時間ぐらい」が32.3%で最も多く、次いで「2時間ぐらい」が25.2%となっている（図表3-2-1-6）。

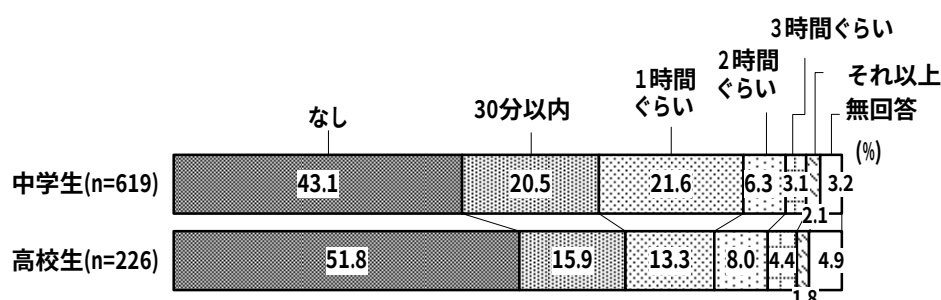
図表3-2-1-6 テレビ・ビデオを見る時間（中学生・高校生）



◇ゲームをする時間

ゲームをする時間は、中学生は「なし」が43.1%で最も多く、次いで「1時間ぐらい」の21.6%、「30分以内」の20.5%となっている。高校生は「なし」が51.8%となっている（図表3-2-1-7）。

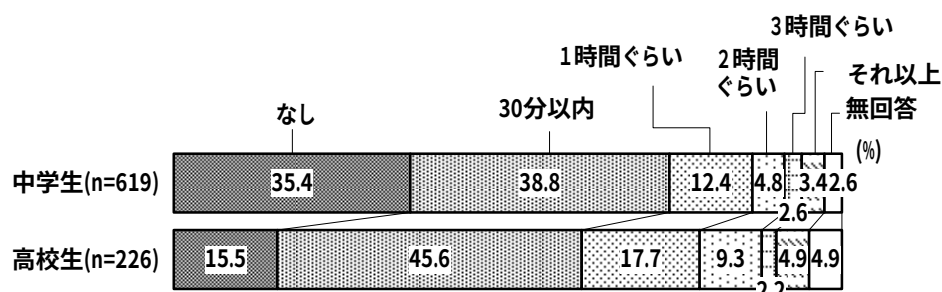
図表3-2-1-7 ゲームをする時間（中学生・高校生）



◇メールをしている時間

メールをしている時間は、中学生は「30分ぐらい」が38.8%で最も多く、次いで「なし」が35.4%となっている。高校生は「30分ぐらい」が45.6%で最も多く、高校生の「なし」は15.5%で中学生に比べて19.9ポイント低くなっている（図表3-2-1-8）。

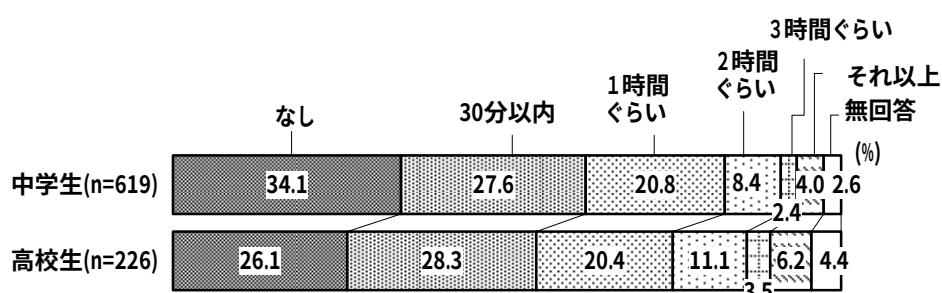
図表3-2-1-8 メールをしている時間（中学生・高校生）



◇インターネットをしている時間

インターネットをしている時間は、中学生は「なし」が34.1%で最も多く、次いで「30分以内」が27.6%となっている。高校生は「30分以内」が28.3%で最も多く、次いで「なし」が26.1%となっている（図表3-2-1-9）。

図表3-2-1-9 インターネットをしている時間（中学生・高校生）



◇本・雑誌を読む時間

本・雑誌を読む時間は、中学生は「30分以内」が42.8%で最も多く、次いで「1時間ぐらい」が24.4%となっている。高校生も「30分以内」が36.3%で最も多く、次いで「1時間ぐらい」が25.7%となっている（図表3-2-1-10）。

図表3-2-1-10 本・雑誌を読む時間（中学生・高校生）

		なし	30分以内	1時間ぐらい	2時間ぐらい	3時間ぐらい	それ以上	無回答
								(%)
中学生	(n=619)	18.9	42.8	24.4	7.9	1.5	1.5	3.1
高校生	(n=226)	18.1	36.3	25.7	8.8	2.7	4.0	4.4

◇仕事・アルバイトをする時間

1日に仕事・アルバイトをする時間は、中学生は「なし」が96.0%となっている。高校生は「なし」が80.1%となっているが、「それ（3時間）以上」も10.6%となっている（図表3-2-1-11）。

図表3-2-1-11 仕事・アルバイトをする時間（中学生・高校生）

		なし	30分以内	1時間ぐらい	2時間ぐらい	3時間ぐらい	それ以上	無回答
								(%)
中学生	(n=619)	96.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.5	3.2
高校生	(n=226)	80.1	0.4	0.4	0.9	3.1	10.6	4.4

② ふだんの食事の状況（問2）

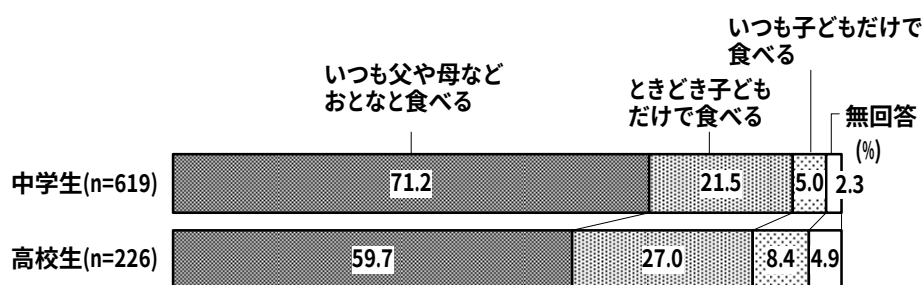
朝食の摂取状況は、中学生は「ほぼ毎日食べる」が88.7%となっている。高校生も「ほぼ毎日食べる」が81.4%となっている。しかし、「週に1～2日程度食べる」と「ほとんど食べない」を合計すると、中学生は5.9%、高校生は8.0%となっている（図表3-2-2-1）。

夕食を家族と一緒に食べる頻度は、「いつも父や母などおとなと食べる」は、中学生は71.2%だが、高校生は59.7%となっている（図表3-2-2-2）。

図表3-2-2-1 朝食の摂取（中学生・高校生）

		る▼ ほぼ毎日食べ	程度▼ 週に3～5日食べる	程度▼ 週に1～2日食べる	ない▼ ほとんど食べ	▼ 無回答
						(%)
中学生	(n=619)	88.7	3.2	2.3	3.6	2.3
高校生	(n=226)	81.4	6.2	2.7	5.3	4.4

図表 3-2-2-2 夕食を家族と一緒に食べる頻度（中学生・高校生）



<国の調査との比較>

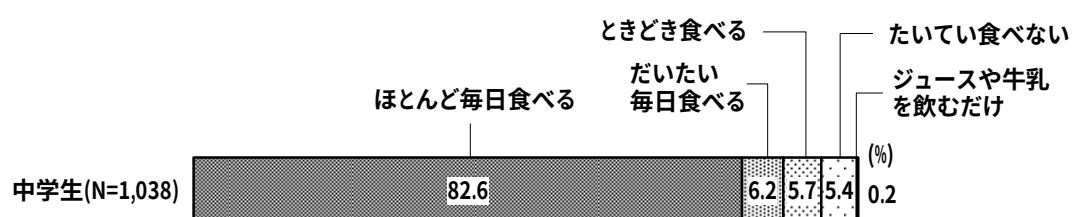
中学生の朝食の摂取状況を国の調査と比較すると、選択肢が異なるものの、府中市調査では「ほぼ毎日食べる」が88.7%、国の調査では「ほとんど毎日食べる」が82.6%で、朝食の習慣がある生徒の割合は国の調査を上回っている（図表3-2-2-3）。

図表 3-2-2-3 朝食の摂取（中学生）

【府中市調査】



【内閣府調査】



資料：「低年齢少年の生活と意識に関する調査」内閣府（平成19年2月）

③ 親と話をしたり出かけたりする時間（問3）

父親と話をしたり出かけたりする平日の時間は、中学生は「1時間未満」が60.9%で最も多く、高校生も「1時間未満」が67.7%で最も多くなっている（図表3-2-3-1）。

休日は、中学生は「1時間未満」が33.4%で最も多く、次いで「1～2時間程度」が24.1%、「3時間以上」が22.9%となっている。高校生は「1時間未満」が45.1%で最も多く、次いで「1～2時間程度」が25.2%となっている（図表3-2-3-2）。

図表3-2-3-1 父親と話をしたり出かけたりする時間／平日（中学生・高校生）

		(%)				
		1時間未満	1～2時間程度	3時間以上	同居していない	父親はいない
中学生	(n=619)	60.9	15.5	5.2	5.3	7.3
高校生	(n=226)	67.7	15.5	2.7	5.8	4.4

図表3-2-3-2 父親と話をしたり出かけたりする時間／休日（中学生・高校生）

		(%)				
		1時間未満	1～2時間程度	3時間以上	同居していない	父親はいない
中学生	(n=619)	33.4	24.1	22.9	5.3	7.3
高校生	(n=226)	45.1	25.2	13.3	5.8	4.4

母親と話をしたり出かけたりする平日の時間は、中学生は「1～2時間程度」が38.8%で最も多く、高校生も「1～2時間程度」が42.5%で最も多くなっている（図表3-2-3-3）。

休日は、中学生は「3時間以上」が42.8%で最も多く、次いで「1～2時間程度」が31.5%となっている。高校生は「1～2時間程度」が34.5%で最も多く、次いで「3時間以上」が29.2%となっている（図表3-2-3-4）。

図表3-2-3-3 母親と話をしたり出かけたりする時間／平日（中学生・高校生）

		(%)				
		1時間未満	1～2時間程度	3時間以上	同居していない	父親はいない
中学生	(n=619)	30.0	38.8	26.5	0.2	0.5
高校生	(n=226)	40.7	42.5	11.5	0.9	1.8

図表 3-2-3-4 母親と話をしたり出かけたりする時間／休日（中学生・高校生）

(%)

	1時間未満	1～2時間程度	3時間以上	同居していない	父親はいない	無回答
中学生 (n=619)	18.4	31.5	42.8	0.2	0.5	6.6
高校生 (n=226)	27.9	34.5	29.2	0.9	1.8	5.8

④ 門限（問4）

門限は、中学生は「午後6時以前頃」が31.8%で最も多く、次いで「特にない」が26.5%、「午後7時頃」が26.3%となっている。高校生は「特にない」が43.8%で最も多く、次いで「午後11時頃」が17.3%となっている（図表3-2-4）。

図表 3-2-4 門限（中学生・高校生）

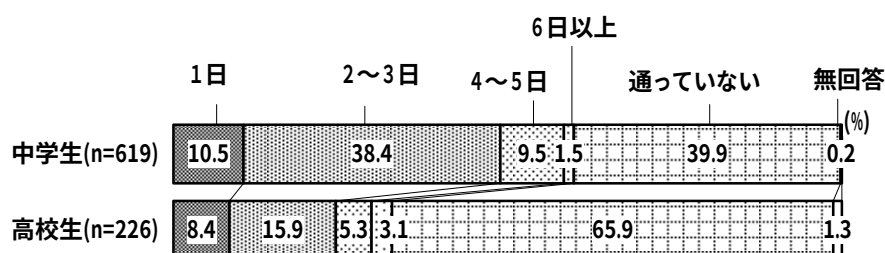
(%)

	午後6時以前頃	午後7時頃	午後8時頃	午後9時頃	午後10時頃	午後11時頃	午前0時頃	特にない	無回答
中学生 (n=619)	31.8	26.3	5.8	2.9	3.9	1.3	0.2	26.5	1.3
高校生 (n=226)	0.4	6.2	6.6	8.0	16.4	17.3	0.4	43.8	0.9

⑤ 通塾日数（問5）

塾に通っている日数は、中学生は「通っていない」が39.9%で最も多く、次いで「週2～3日」が38.4%となっている。高校生は「通っていない」が65.9%となっている（図表3-2-5）。

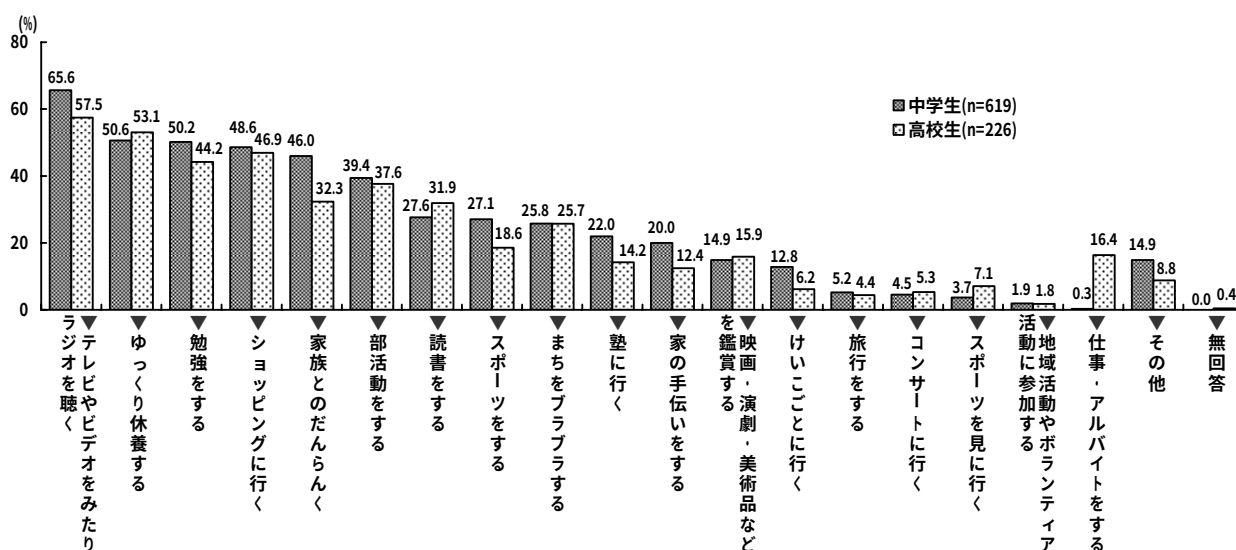
図表 3-2-5 通塾日数（中学生・高校生）



⑥ 休日の過ごし方（問6）

土・日曜日などの休日の主な過ごし方は、中学生は「テレビやビデオをみたりラジオを聴く」が65.6%で最も多く、次いで「ゆっくり休養する」が50.6%、「勉強をする」が50.2%となっている。高校生も「テレビやビデオをみたりラジオを聴く」が57.5%で最も多く、次いで「ゆっくり休養する」が53.1%となっている。「仕事・アルバイトをする」も16.4%となっている（図表3-2-6）。

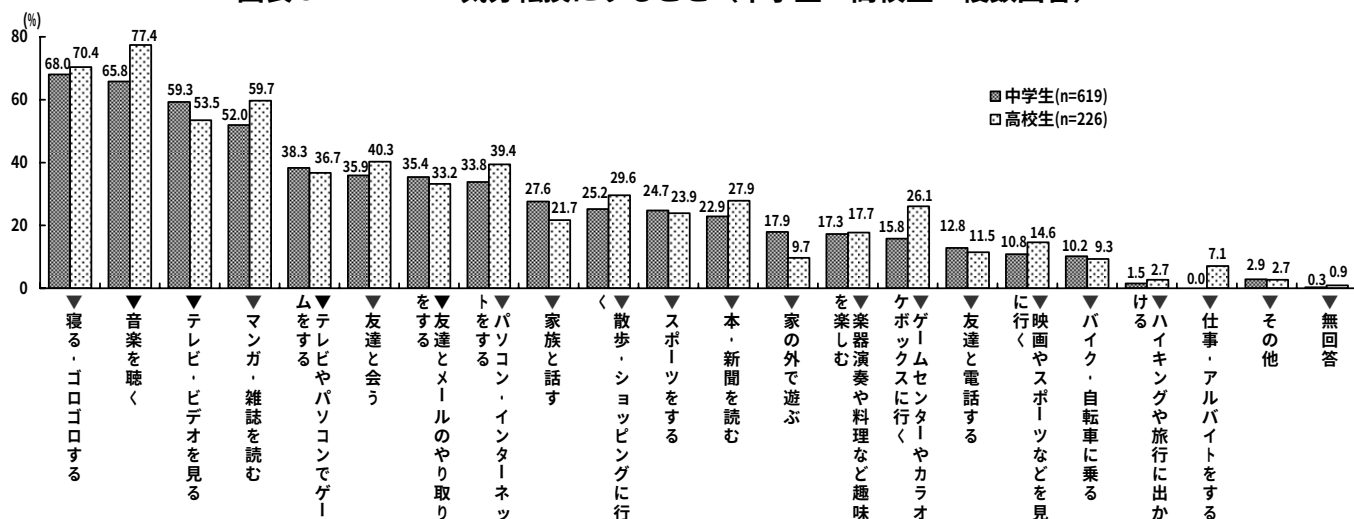
図表3-2-6 休日の過ごし方（中学生・高校生：複数回答）



⑦ 気分転換にすること（問7）

気分転換にすることは、中学生は「寝る・ゴロゴロする」が68.0%で最も多く、次いで「音楽を聴く」が65.8%、「テレビ・ビデオを見る」が59.3%、「マンガ・雑誌を読む」が52.0%となっている。高校生も「音楽を聴く」が77.4%で最も多く、次いで「寝る・ゴロゴロする」が70.4%、「マンガ・雑誌を読む」が53.5%、「テレビ・ビデオを見る」が59.7%となっている（図表3-2-7）。

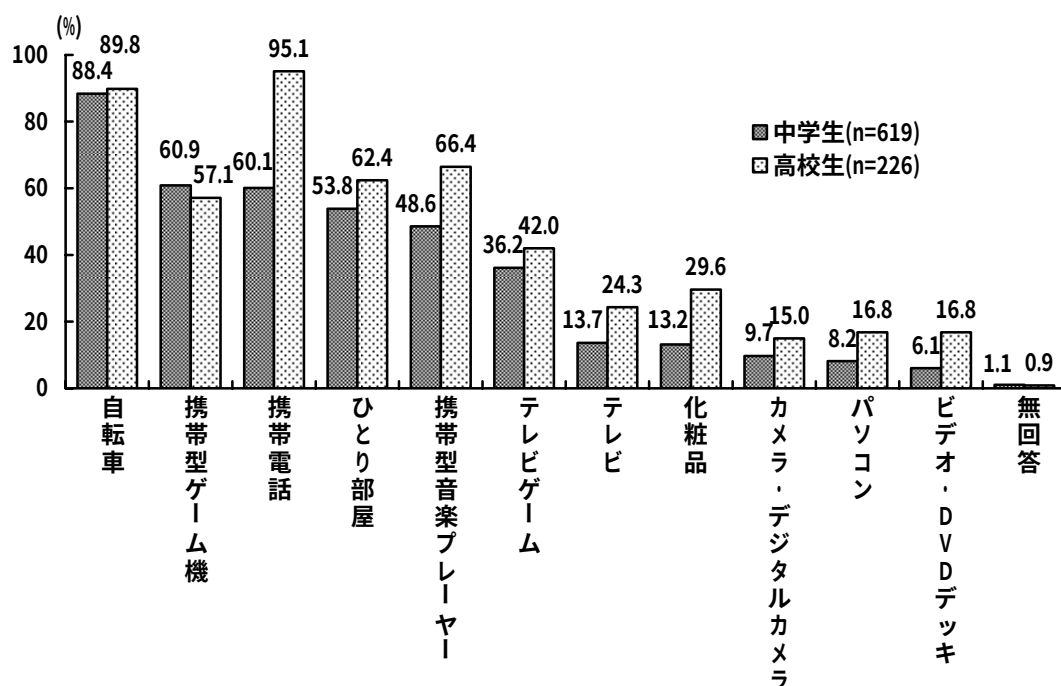
図表3-2-7 気分転換にすること（中学生・高校生：複数回答）



⑧ 自分専用のもの（問8）

自分専用の持ち物の上位3項目は、中学生は「自転車」の88.4%、「携帯型ゲーム機」の60.9%、「携帯電話」の60.1%となっている。高校生の上位3項目は、「携帯電話」の95.1%、「自転車」の89.8%、「携帯型音楽プレーヤー」の66.4%となっている。また、携帯電話の所有は、中学生は60.1%だが高校生は95.1%となっている（図表3-2-8）。

図表3-2-8 自分専用のもの（中学生・高校生：複数回答）



⑨ 1か月のおこづかい（問9）

1か月あたりのおこづかい（自分で自由につかえるお金）は、中学生は「1,001円～3,000円」が46.8%で最も多く、次いで「1,000円以下」が20.5%となっている。高校生は「3,001円～5,000円」が27.9%で最も多く、次いで「5,001円～10,000円」が26.1%となっている（図表3-2-9）。

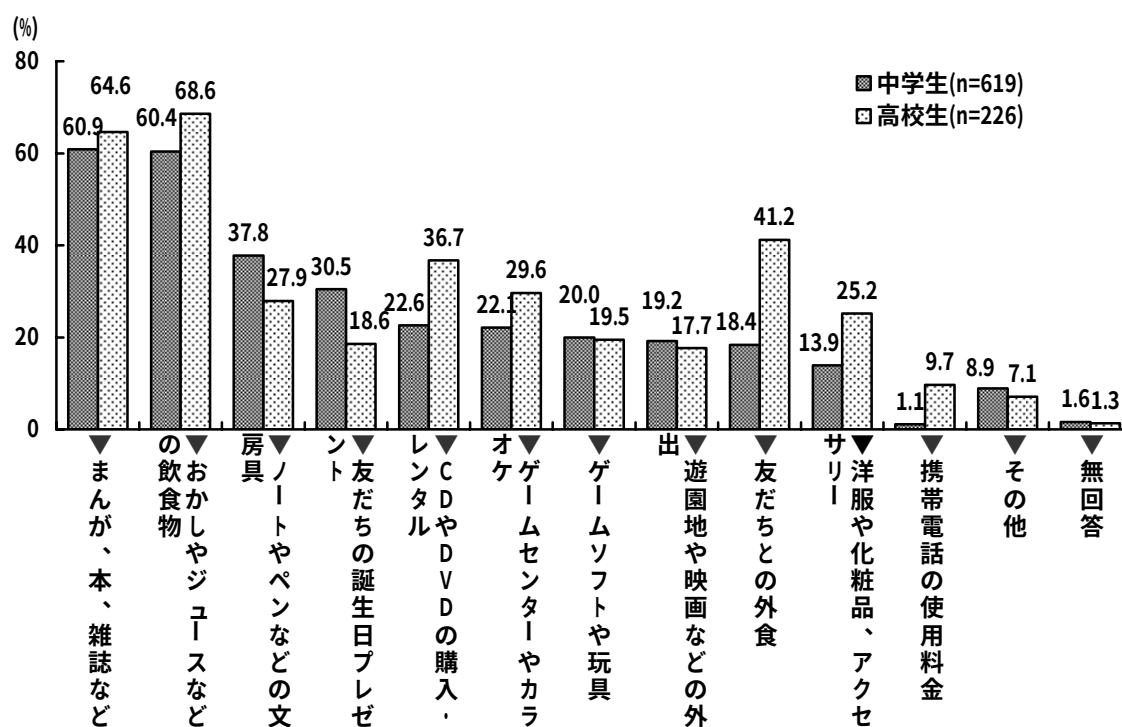
図表3-2-9 1か月のおこづかい（中学生・高校生）

		自由に使えるお金はない	1,000円以下	1,001円～3,000円	3,001円～5,000円	5,001円～10,000円	10,001円以上	決まっていない	無回答
中学生	(n=619)	4.5	20.5	46.8	8.7	2.1	0.6	16.3	0.3
高校生	(n=226)	4.4	1.8	11.9	27.9	26.1	8.8	18.6	0.4

⑩ おこづかいの使いみち（問10）

おこづかいの主な使いみちは、中学生は「まんが、本、雑誌など」が60.9%で最も多く、次いで「おかしやジュースなどの飲食物」が60.4%となっている。高校生は「おかしやジュースなどの飲食物」が68.6%で最も多く、次いで「まんが、本、雑誌など」が64.6%となっている。また、高校生では「友だちとの外食」が41.2%で3番目に多くなっている（図表3-2-10）。

図表3-2-10 おこづかいの使いみち（中学生・高校生：複数回答（5つまで））



(3) 携帯電話及びインターネットの利用状況

① 携帯電話やパソコンでのメールの利用状況・意向 (問 11)

携帯電話やパソコンでのメールの利用について、「現在、利用している」割合は、中学生は72.2%、高校生は91.2%となっている。学年別にみると「現在、利用している」割合は、中学1年生が59.7%、中学2年生が74.6%であり、中学1年生から中学2年生の間で14.9ポイント増えており、中学2年生の74.6%から中学3年生の79.7%にかけては5.1ポイント増えている。高校生は高校1年生から高校3年生まで90%を超えている(図表3-3-1)。

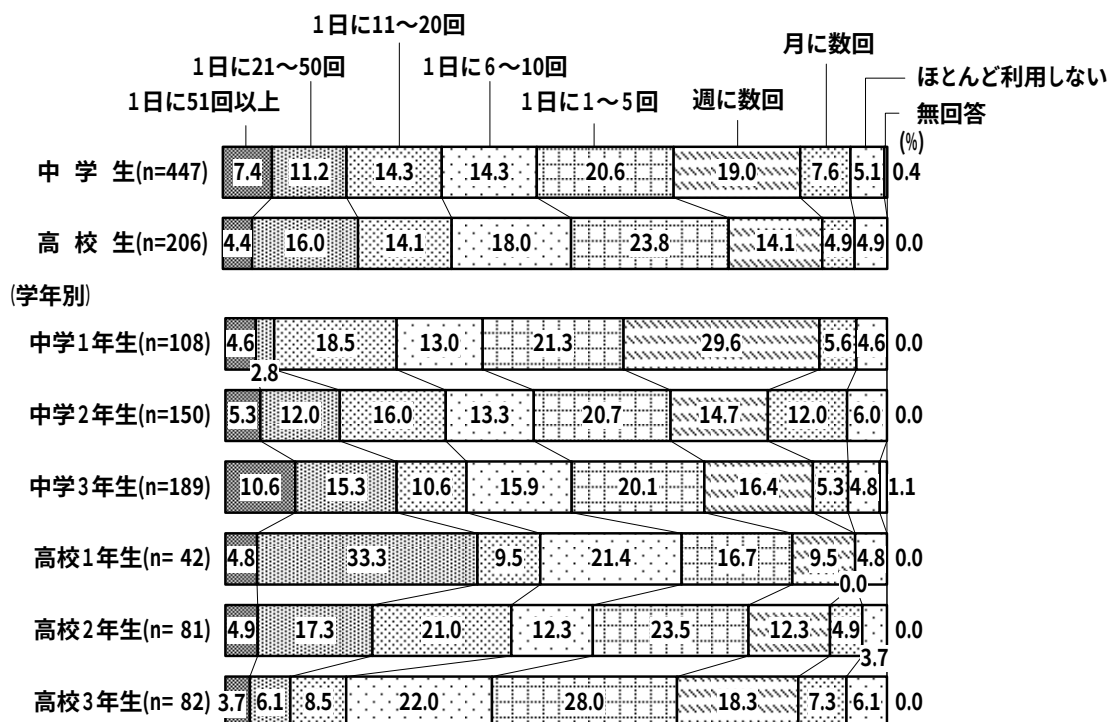
図表3-3-1 携帯電話やパソコンでのメールの利用状況・意向(中学生・高校生、学年別)

		(%)				
		▼ 現在、 利用して いる	▼ が、現 在は利 用して いない	▼ 利用 する つも り は な い	▼ わ か ら な い	▼ 無 回 答
中 学 生 (n=619)		72.2	15.3	5.7	5.0	1.8
高 校 生 (n=226)		91.2	3.5	0.9	2.7	1.8
学 年 別	中 学 1 年 生 (n=181)	59.7	19.9	10.5	8.3	1.7
	中 学 2 年 生 (n=201)	74.6	14.4	5.0	4.5	1.5
	中 学 3 年 生 (n=237)	79.7	12.7	2.5	3.0	2.1
	高 校 1 年 生 (n= 45)	93.3	2.2	0.0	2.2	2.2
	高 校 2 年 生 (n= 89)	91.0	3.4	1.1	1.1	3.4
	高 校 3 年 生 (n= 90)	91.1	4.4	1.1	3.3	0.0

② メールの頻度 (問 11-1)

メールの頻度は、中学生は「1日に1～5回」が20.6%で最も多く、次いで「週に数回」が19.0%となっている。高校生も「1日に1～5回」が23.8%で最も多いが、次いで多いのは「1日に6～10回」の18.0%となっている。学年別にみると、中学1年生は「週に数回」が最も多く、中学2年生、中学3年生は「1日に1～5回」が最も多いが、中学3年生は「1日に51回以上」が10.6%みられる。高校生は、高校1年生は「1日に21～50回」が33.3%で最も多く、高校2年生、高校3年生と学年が上がるにしたがって、「1日に21～50回」の割合は減り、「1日に1～5回」、「週に数回」の割合が増えている(図表3-3-2)。

図表3-3-2 メールの頻度（中学生・高校生、学年別）
＜携帯電話やパソコンで「メールを利用している」と回答した人＞



③ 学校以外でのインターネットの利用状況・意向（問12）

学校以外でのインターネットの利用について、「現在、利用している」割合は、中学生は74.6%、高校生は86.3%となっている。学年別に「現在、利用している」割合をみると、中学1年生は67.4%だが、中学2年生は78.6%に増えている。高校生になると、高校1年生（84.4%）、高校2年生（85.4%）、高校3年生（88.9%）と学年が上がるにつれて増えている（図表3-3-3）。

図表3-3-3 学校以外でのインターネットの利用状況・意向（中学生・高校生、学年別）

		現在、利用している	が、現在後は利用していない	利用するつもりはない	わからない	無回答
中学生 (n=619)		74.6	12.6	5.8	4.8	2.1
高校生 (n=226)		86.3	6.6	3.1	2.2	1.8
学年別	中学1年生 (n=181)	67.4	14.9	7.2	8.3	2.2
	中学2年生 (n=201)	78.6	11.4	4.5	3.5	2.0
	中学3年生 (n=237)	76.8	11.8	5.9	3.4	2.1
	高校1年生 (n=45)	84.4	8.9	2.2	2.2	2.2
	高校2年生 (n=89)	85.4	5.6	3.4	2.2	3.4
	高校3年生 (n=90)	88.9	6.7	3.3	1.1	0.0

④ 学校以外でのインターネットの利用方法（問 12-1）

学校以外でのインターネットの利用方法は、中学生、高校生ともに「自宅のパソコン（家族と共用）」が最も多く、中学生は 87.0%、高校生は 77.4%となっている。高校生は「携帯電話（自分専用）」も 57.4%となっている。学年別にみると、中学 1 年生から高校 1 年生にかけて「携帯電話（自分専用）」の割合が増え、とくに高校 1 年生は 60.5%と他の学年に比べて高くなっている。また、高校 1 年生と高校 3 年生は「自宅のパソコン（自分専用）」もそれぞれ 23.7%、20.0%と、他の学年に比べて高くなっている（図表 3-3-4）。

図表 3-3-4 学校以外でのインターネットの利用方法（中学生・高校生、学年別：複数回答）
＜学校以外でインターネットを「現在、利用している」と回答した人＞

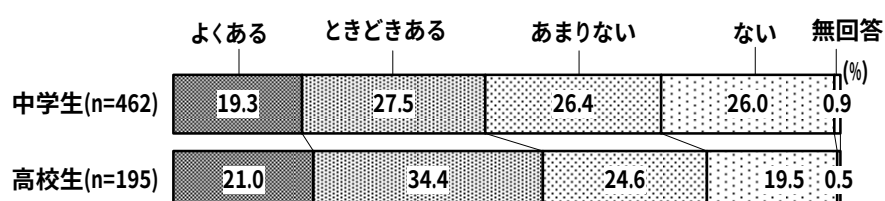
		▼自宅のパソコン（自分専用）	▼自宅のパソコン（家族と共用）	▼携帯電話（自分専用）	▼携帯電話（家族と共用）	▼まんが喫茶・ネットカフェ	▼その他	▼無回答
中 学 生 (n=462)		10.0	87.0	26.2	2.4	1.3	1.3	0.2
高 校 生 (n=195)		19.0	77.4	57.4	0.5	1.5	1.5	0.0
学 年 別	中 学 1 年 生 (n=122)	5.7	91.8	13.1	4.1	0.8	2.5	0.0
	中 学 2 年 生 (n=158)	10.8	88.6	26.6	0.6	1.3	0.6	0.0
	中 学 3 年 生 (n=182)	12.1	82.4	34.6	2.7	1.6	1.1	0.5
	高 校 1 年 生 (n=38)	23.7	71.1	60.5	0.0	2.6	0.0	0.0
	高 校 2 年 生 (n=76)	15.8	78.9	55.3	1.3	2.6	0.0	0.0
	高 校 3 年 生 (n=80)	20.0	78.8	57.5	0.0	0.0	3.8	0.0

⑤ インターネットを利用しているの経験（問 12-2）

◇気がつくとも時間インターネットをしている

気がつくとも時間インターネットをしているは、「よくある」と「ときどきある」を合計すると、中学生は 46.8%、高校生は 55.4%となっている（図表 3-3-5-1）。

図表 3-3-5-1 気がつくとも時間インターネットをしている（中学生・高校生）
＜学校以外でインターネットを「現在、利用している」と回答した人＞

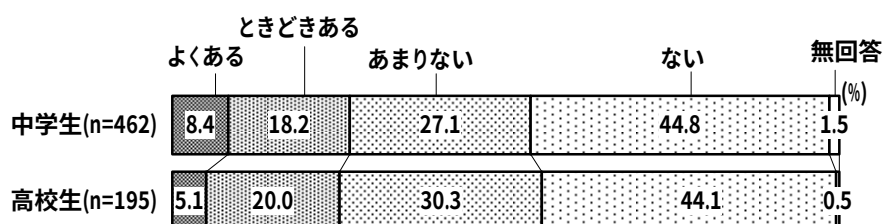


◇やらなくてはならないことがあってもインターネットをしている

やらなくてはならないことがあってもインターネットをしているは、「よくある」と「ときどきある」を合計すると、中学生は26.6%、高校生は25.1%となっている（図表3-3-5-2）。

図表3-3-5-2 やらなくてはならないことがあってもインターネットをしている
(中学生・高校生)

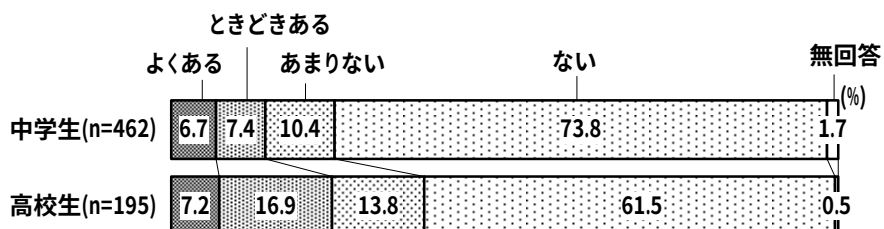
<学校以外でインターネットを「現在、利用している」と回答した人>



◇匿名掲示板にアクセスする

匿名掲示板にアクセスするは、「よくある」と「ときどきある」を合計すると、中学生は14.1%だが、高校生になると10.0ポイント増え24.1%となっている（図表3-3-5-3）。

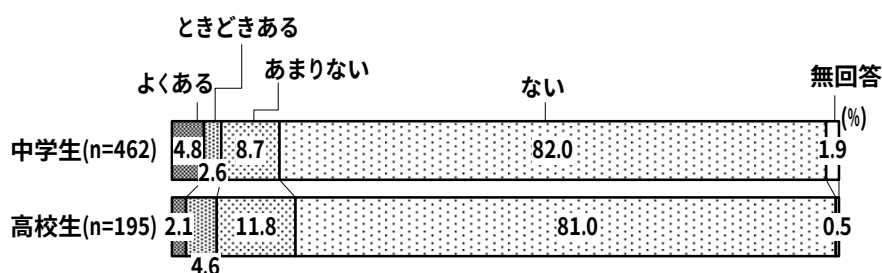
図表3-3-5-3 匿名掲示板にアクセスする(中学生・高校生)
<学校以外でインターネットを「現在、利用している」と回答した人>



◇匿名掲示板に投稿する

匿名掲示板に投稿するは、「よくある」と「ときどきある」を合計すると、中学生は7.4%、高校生は6.7%で、いずれも10%未満となっている（図表3-3-5-4）。

図表3-3-5-4 匿名掲示板に投稿する(中学生・高校生)
<学校以外でインターネットを「現在、利用している」と回答した人>



◇友だちの悪口や人を傷つけるような書き込みをする

友だちの悪口や人を傷つけるような書き込みをするは、「よくある」と「ときどきある」を合計すると、中学生はゼロ、高校生は0.5%となっている（図表3-3-5-5）。

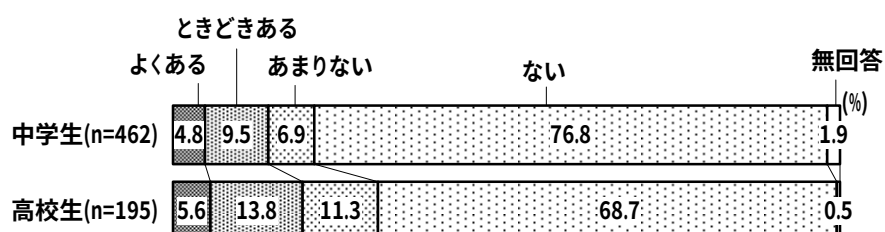
図表3-3-5-5 友だちの悪口や人を傷つけるような書き込みをする（中学生・高校生）
＜学校以外でインターネットを「現在、利用している」と回答した人＞

		よくある	ときどきある	あまりない	ない	無回答
中学生	(n=462)	0.0	0.0	3.9	94.2	1.9
高校生	(n=195)	0.5	0.0	3.1	95.9	0.5

◇見知らない人とやりとりする

見知らない人とやりとりするは、「よくある」と「ときどきある」を合計すると、中学生は14.3%だが、高校生になると5.1ポイント増え19.4%となっている（図表3-3-5-6）。

図表3-3-5-6 見知らない人とやりとりする（中学生・高校生）
＜学校以外でインターネットを「現在、利用している」と回答した人＞



◇暴力的な内容、性的内容などを含むサイトにアクセスする

暴力的な内容、性的内容などを含むサイトにアクセスするは、「よくある」と「ときどきある」を合計すると、中学生は1.3%だが、高校生になると6.9ポイント増え8.2%となっている（図表3-3-5-7）。

図表3-3-5-7 暴力的な内容、性的内容などを含むサイトにアクセスする（中学生・高校生）
＜学校以外でインターネットを「現在、利用している」と回答した人＞

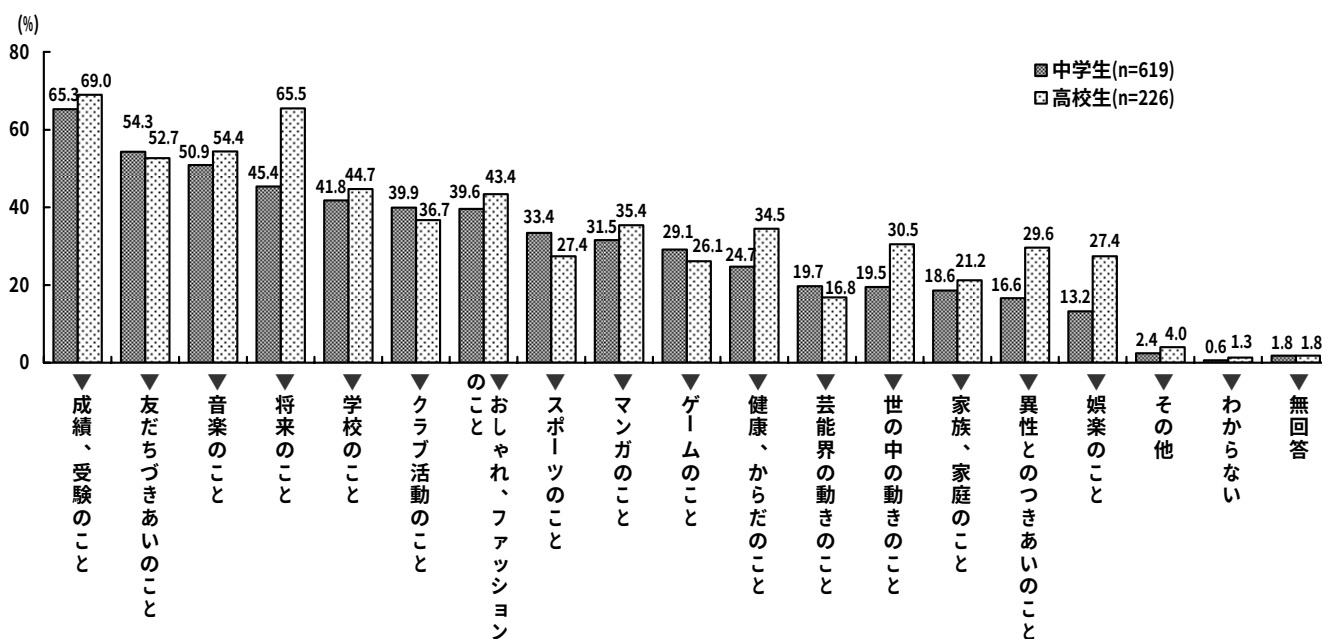
		よくある	ときどきある	あまりない	ない	無回答
中学生	(n=462)	0.4	0.9	3.0	93.7	1.9
高校生	(n=195)	2.6	5.6	7.7	83.6	0.5

(4) 日ごろ関心のあることや感じていること

① 今、関心をもっていること (問 13)

今、関心をもっていることは、中学生は、「成績、受験のこと」が 65.3%で最も多く、次いで「友だちづきあいのこと」が 54.3%、「音楽のこと」が 50.9%となっている。高校生は「成績、受験のこと」が 69.0%で最も多く、次いで「将来のこと」が 65.5%、「音楽のこと」が 54.4%となっている（図表 3-4-1）。

図表 3-4-1 今、関心をもっていること（中学生・高校生：複数回答）



② 気持ちの上で感じること (問 14)

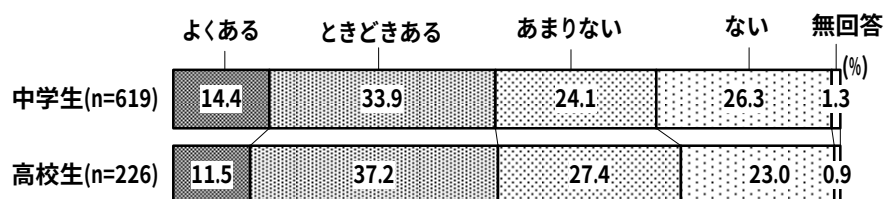
気持ちの上で感じることについて、「よくある」、「ときどきある」を合計すると、中学生では、「なんとなく大声を出したい」が 48.3%で最も多く、次いで「思い切り暴れまわりたい」が 42.8%となっている。高校生では「すぐ不安になる」が 49.1%で最も多く、次いで「なんとなく大声を出したい」が 48.7%、「何もやる気がしない」が 47.3%、「思い切り暴れまわりたい」が 42.5%、「何でもないのにイライラする」が 42.1%となっている（図表 3-4-2）。

図表 3-4-2 気持ちの上で感じること（中学生・高校生）

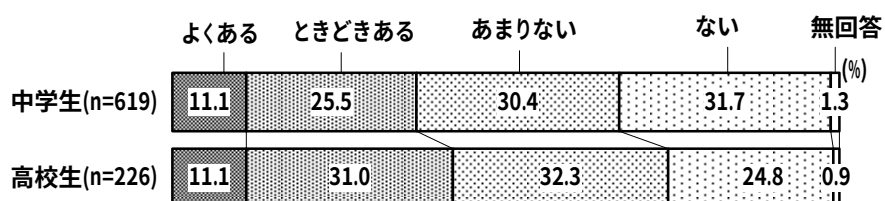
◇思い切り暴れまわりたい



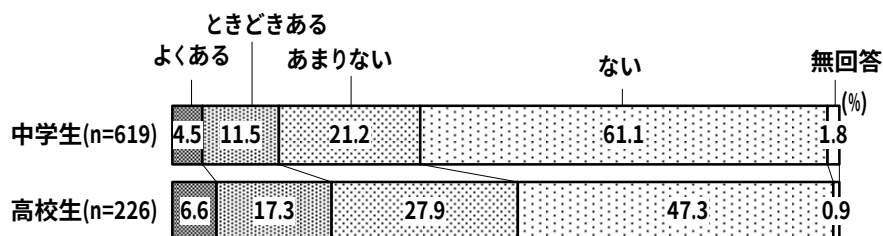
◇なんとなく大声をだしたい



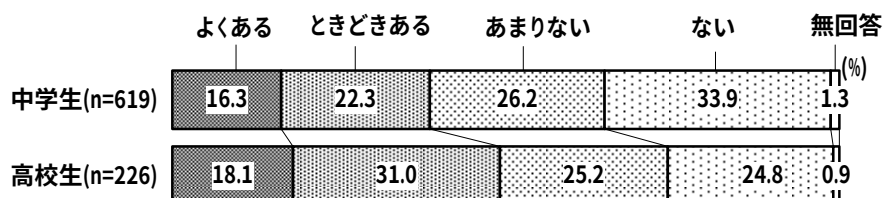
◇何でもないのでイライラする



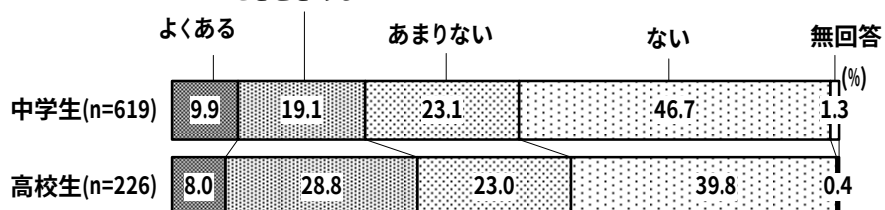
◇生きているのがいやになる



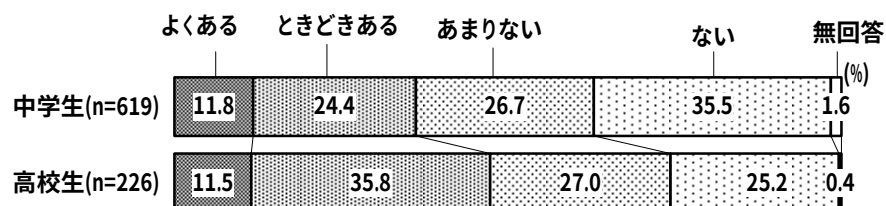
◇すぐに不安になる



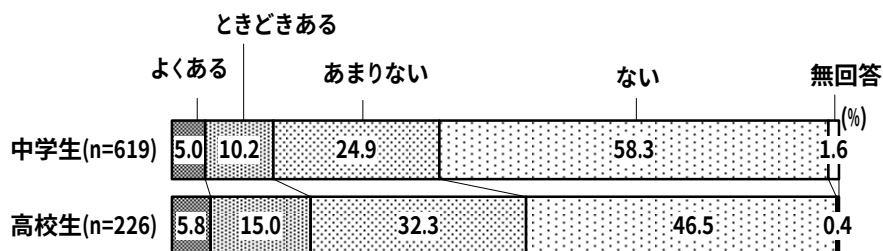
◇学校に行く気がしない



◇何もやる気がしない



◇何も興味をもてない



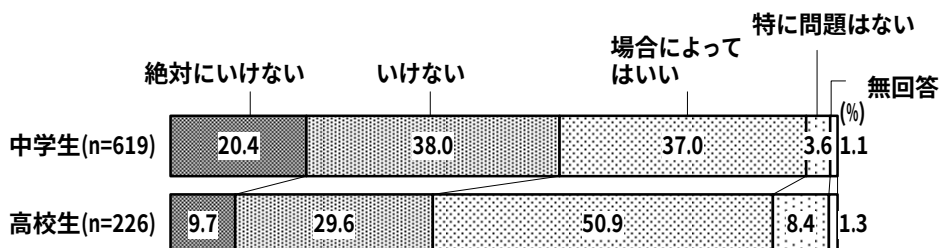
③ 行動についての考え方 (問 15)

タバコを吸うことなどの行動について、「絶対にいけない」と「いけない」を合計すると、「タバコを吸うこと」は中学生が 96.4%、高校生が 91.6%となっている。しかし、「酒を飲むこと」は、「絶対にいけない」と「いけない」を合計すると、中学生が 93.5%、高校生が 81.0%であり、「タバコを吸うこと」より低くなっている。

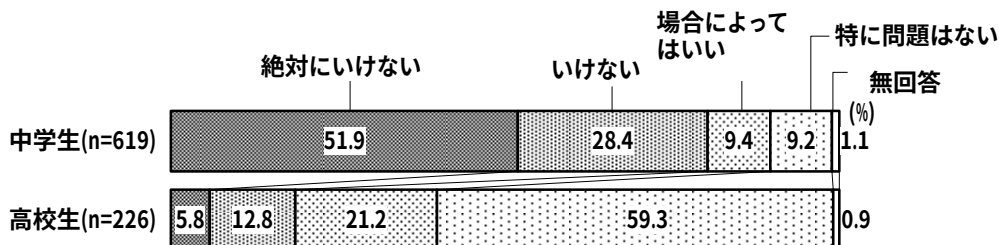
高校生は、「学校の帰りにカラオケやゲームセンターなどに行くこと」、「子ども同士で夜、コンサートや野球観戦などに出かけること」、「深夜まで友達とメールをすること」は「特に問題はない」が 50%を超えている (図表 3-4-3)。

図表 3-4-3 行動についての考え (中学生・高校生)

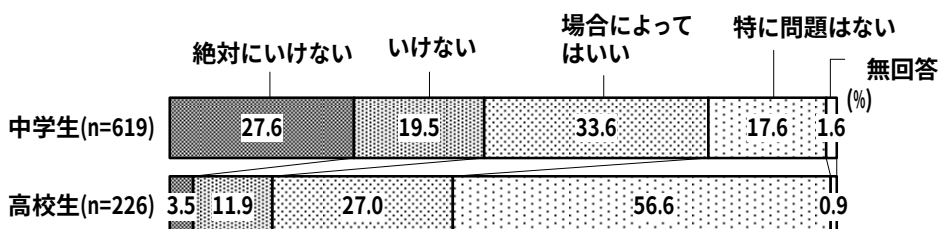
◇両親などと約束した帰宅時間を守らないこと



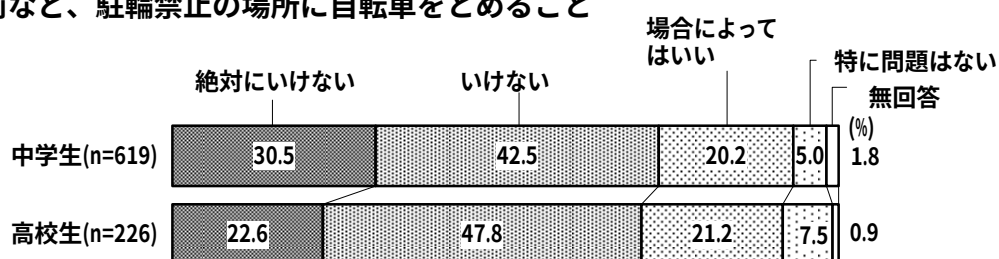
◇学校の帰りにカラオケやゲームセンターなどに行くこと



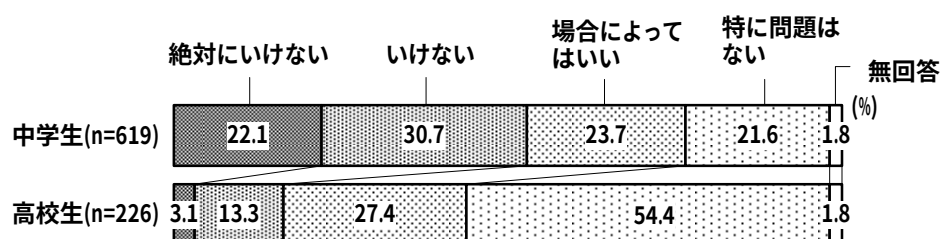
◇子ども同士で夜、コンサートや野球観戦などに出かけること



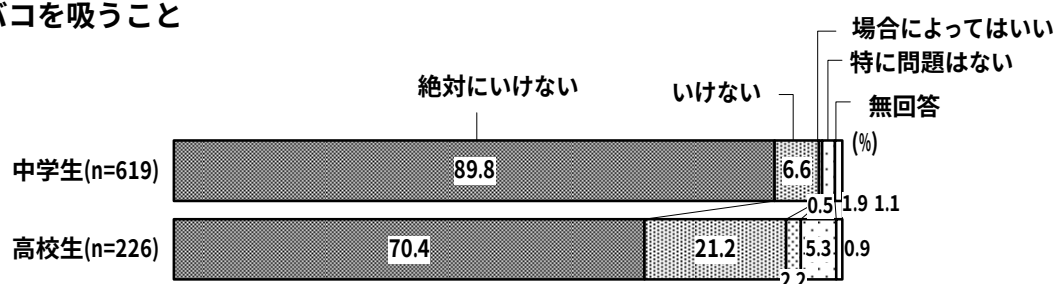
◇駅前など、駐輪禁止の場所に自転車をとめること



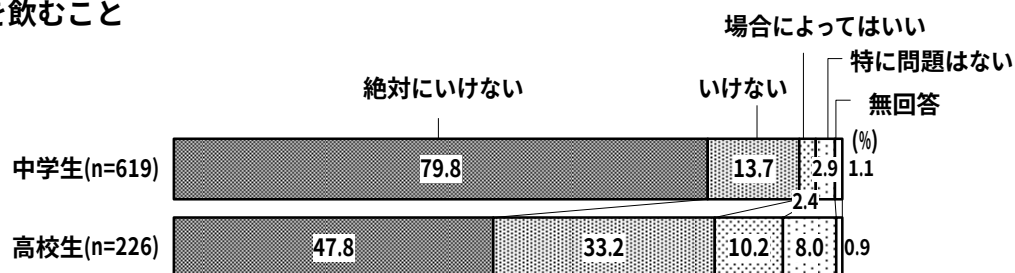
◇深夜まで友達とメールをすること



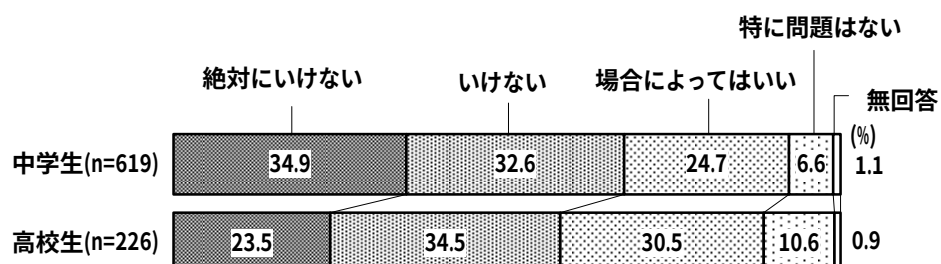
◇タバコを吸うこと



◇酒を飲むこと



◇学校に行きたくないとき行かないこと



④ 気持ちの上で感じる事、行動についての考え方の点数化（問 14、15）

気持ちの上で感じる事（問 14）、行動についての考え方（問 15）のそれぞれ8つの質問について、回答を点数化した。

◇気持ちの上で感じる事

【点数】

「よくある」：3点、「ときどきある」：2点、「あまりない」：1点、「ない」・無回答：0点

【8つの質問】

- | | |
|----------------|-------------|
| ①思いきり暴れまわりたい | ⑤すぐ不安になる |
| ②なんとなく大声を出したい | ⑥学校に行く気がしない |
| ③何でもないのでイライラする | ⑦何もやる気がしない |
| ④生きているのがいやになる | ⑧何も興味がもてない |

◇行動についての考え方

【点数】

「特に問題はない」：3点、「場合によってはいい」：2点

「いけない」：1点、「絶対にいけない」・無回答：0点

【8つの質問】

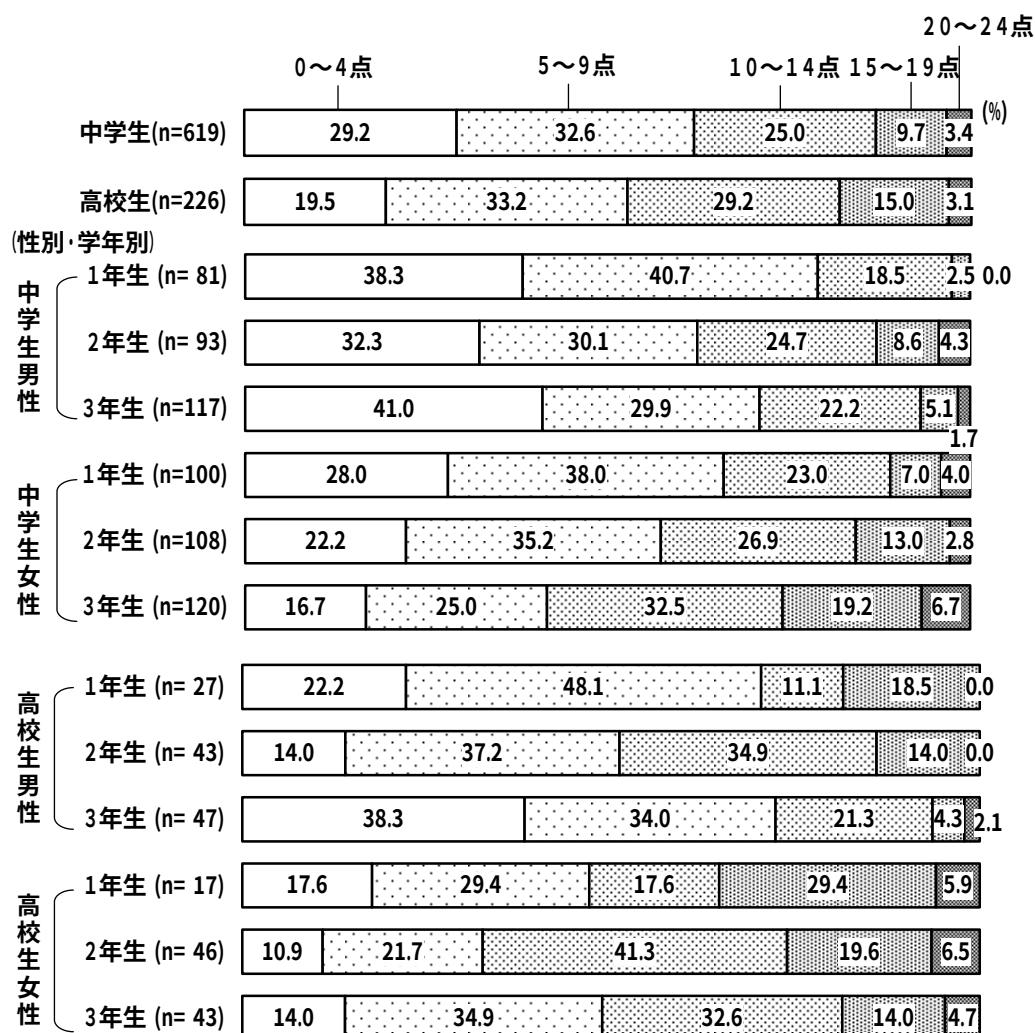
- | |
|------------------------------|
| ①両親などと約束した帰宅時間を守らないこと |
| ②学校の帰りにカラオケやゲームセンターなどに行くこと |
| ③子ども同士で夜、コンサートや野球観戦などに出かけること |
| ④駅前など、駐輪禁止の場所に自転車をとめること |
| ⑤深夜まで友達とメールをすること |
| ⑥タバコを吸うこと |
| ⑦酒を飲むこと |
| ⑧学校に行きたくないとき行かないこと |

◇合計した点数

合計点数	気持ちの上で感じる事 (問 14)	行動についての考え方 (問 15)
0～4点	不安やストレスが少ない	生活規範意識が高い
5～9点	↑ ↓	↑ ↓
10～14点		
15～19点		
20～24点		
	不安やストレスが多い	生活規範意識が低い

気持ちの上で感じること（問 14）の点数化について、性別・学年別にみると、中学 3 年生、高校 1 年生、高校 2 年生、高校 3 年生の女性が不安やストレスが全体に比べて多くなっている（図表 3-4-4-1）。

図表 3-4-4-1 気持ちの上で感じること（点数化：中学生・高校生、性・学年別）



朝食の摂取状況別にみると、ほぼ毎日食べるでは、0～4点が28.4%、5～9点が33.9%で、9点以下が62.3%となっており、毎日食べていない人に比べて不安やストレスが少なくなっている（図表 3-4-4-2）。

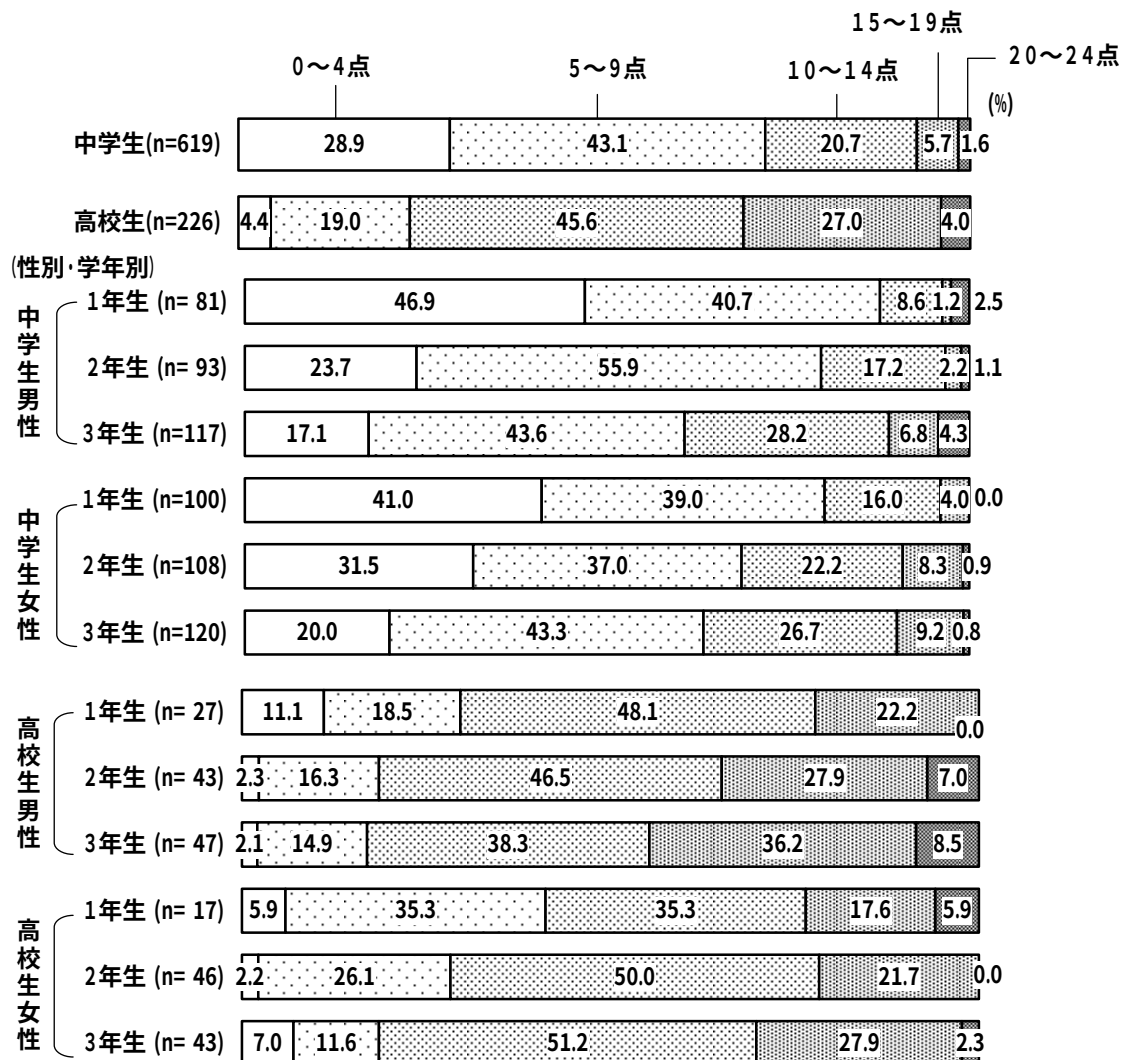
図表 3-4-4-2 気持ちの上で感じること（点数化：朝食の摂取状況別）

		0 5 4 点	5 9 点	10 14 点	15 19 点	20 24 点	平 均
朝食の 摂取状況別	ほぼ毎日食べる (n=737)	28.4	33.9	25.1	9.8	2.8	8.1
	週に3～5日程度食べる (n= 35)	2.9	28.6	37.1	17.1	14.3	12.4
	週に1～2日程度食べる (n= 20)	5.0	25.0	40.0	30.0	0.0	11.7
	ほとんど食べない (n= 35)	17.1	14.3	40.0	20.0	8.6	11.3

第2章 各調査の結果

行動についての考え方（問15）の点数化について、性別・学年別にみると、学年が上がるほど生活規範意識が低くなっている（図表3-4-4-3）。

図表3-4-4-3 行動についての考え（点数化：中学生・高校生、性・学年別）



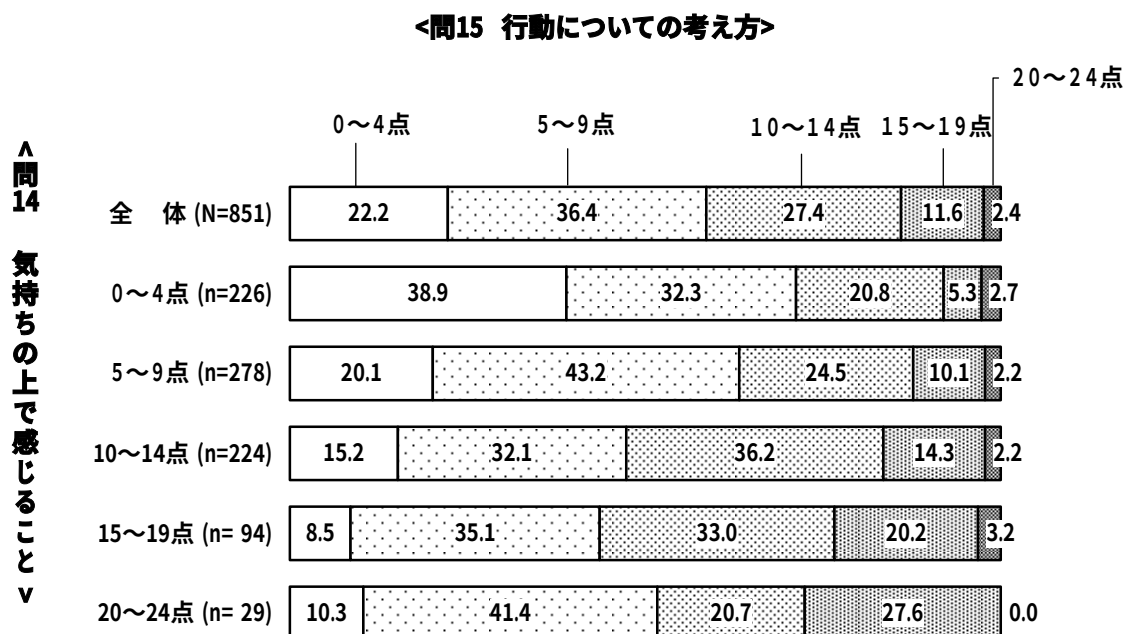
朝食の摂取状況別にみると、ほぼ毎日食べるでは、0～4点が22.8%、5～9点が38.4%で、9点以下が61.2%となっており、毎日食べていない人に比べて生活規範意識が高くなっている（図表3-4-4-4）。

図表3-4-4-4 行動についての考え方（点数化：朝食の摂取状況別）

		0 ～ 4 点	5 ～ 9 点	10 ～ 14 点	15 ～ 19 点	20 ～ 24 点	平 均
朝食の 摂取状況別	ほぼ毎日食べる (n=737)	22.8	38.4	26.3	10.0	2.4	8.4
	週に3～5日程度食べる (n= 35)	14.3	31.4	37.1	17.1	0.0	9.5
	週に1～2日程度食べる (n= 20)	15.0	20.0	25.0	40.0	0.0	11.1
	ほとんど食べない (n= 35)	11.4	17.1	40.0	28.6	2.9	11.5

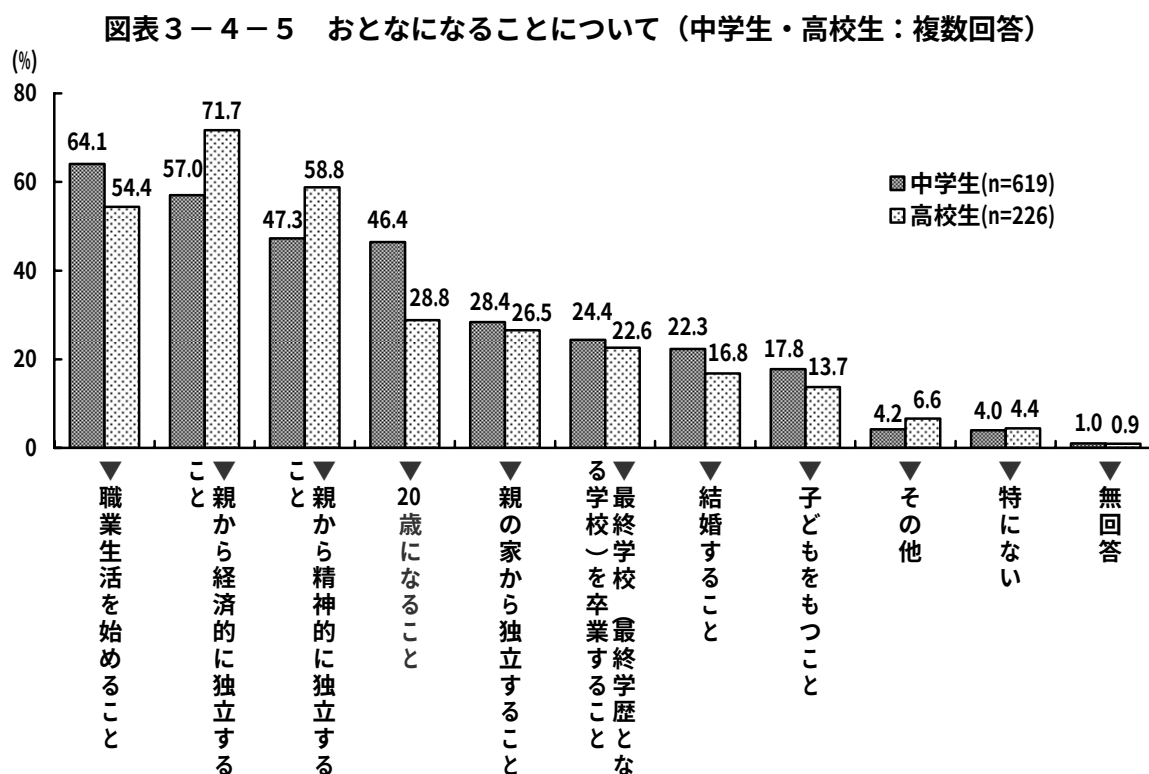
気持ちの上で感じる事（問14）と行動についての考え方（問15）の点数化について関係を見た。不安やストレスが少ない人ほど、生活規範意識が高く、不安やストレスが多い人ほど、生活規範意識が低くなっている（図表3-4-4-5）。

図表3-4-4-5
気持ちの上で感じる事（問14）×行動についての考え方（問15）



⑤ おとなになることについて（問 16）

おとなになることについて、中学生では「職業生活を始めること」が 64.1%で最も多く、次いで「親から経済的に独立すること」が 57.0%となっている。高校生では「親から経済的に独立すること」が 71.7%で最も多く、次いで「親から精神的に独立すること」が 58.8%、「職業生活を始めること」が 54.4%となっている（図表 3-4-5）。

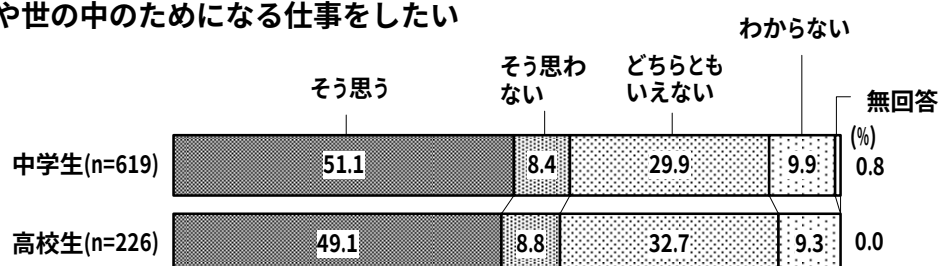


⑥ 仕事や将来について（問 17）

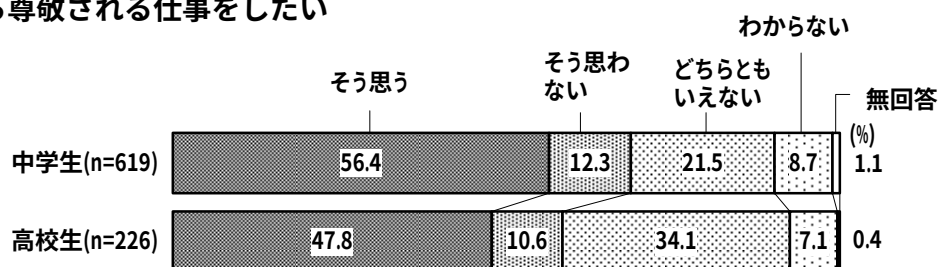
仕事や将来について「そう思う」の割合をみると、「個性を発揮できる仕事をしたい」が中学生は 70.8%、高校生は 63.3%で最も多く、次いで「お金がもうかる仕事がしたい」が中学生は 58.2%、高校生は 55.8%となっている。「収入にかかわらず、フリーターなど自由な仕事をしたい」は、「そう思わない」が中学生は 61.6%、高校生は 67.7%となっている。また、「収入にかかわらず、フリーターなど自由な仕事をしたい」を除いたいずれの項目も、「どちらともいえない」と「わからない」をあわせた回答が 30%から 40%台となっている（図表 3-4-6）。

図表 3-4-6 仕事や将来について（中学生・高校生）

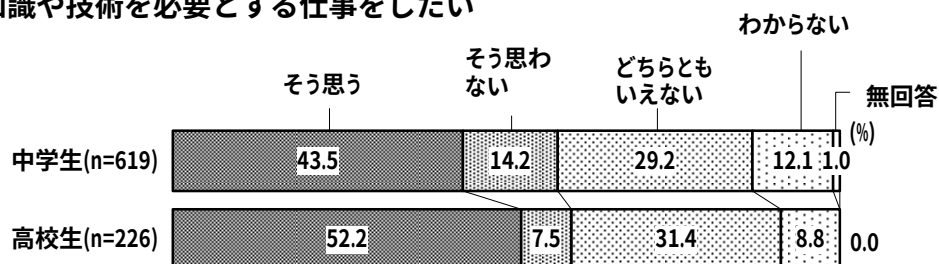
◇社会や世の中のためになる仕事をしたい



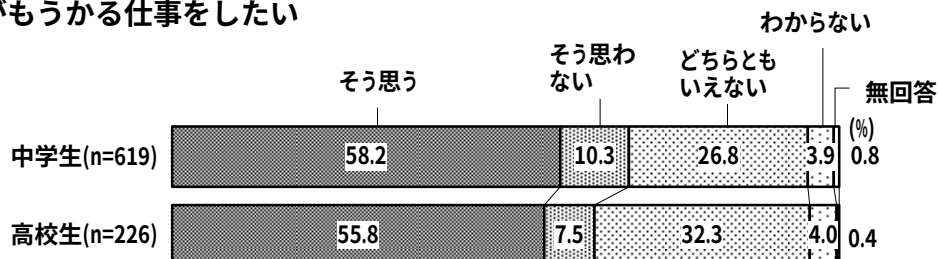
◇人から尊敬される仕事をしたい



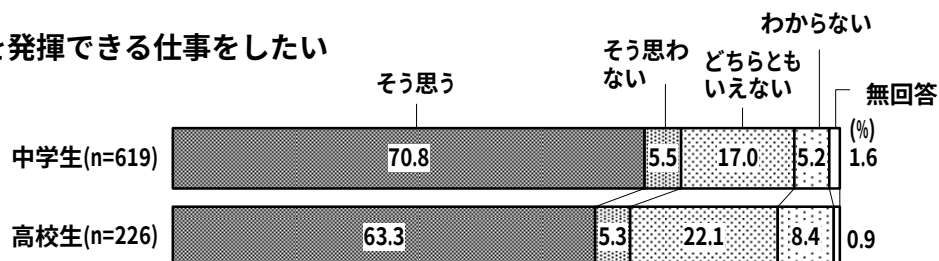
◇専門知識や技術を必要とする仕事をしたい



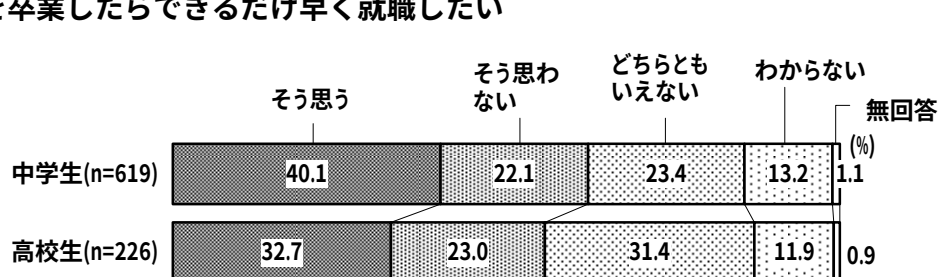
◇お金がもうかる仕事をしたい



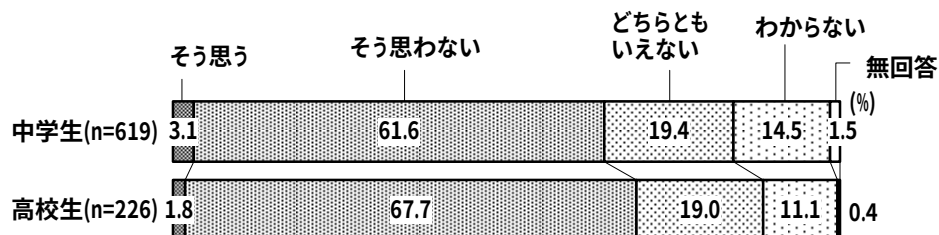
◇個性を発揮できる仕事をしたい



◇学校を卒業したらできるだけ早く就職したい



◇収入にかかわらず、フリーターなど自由な仕事をしたい

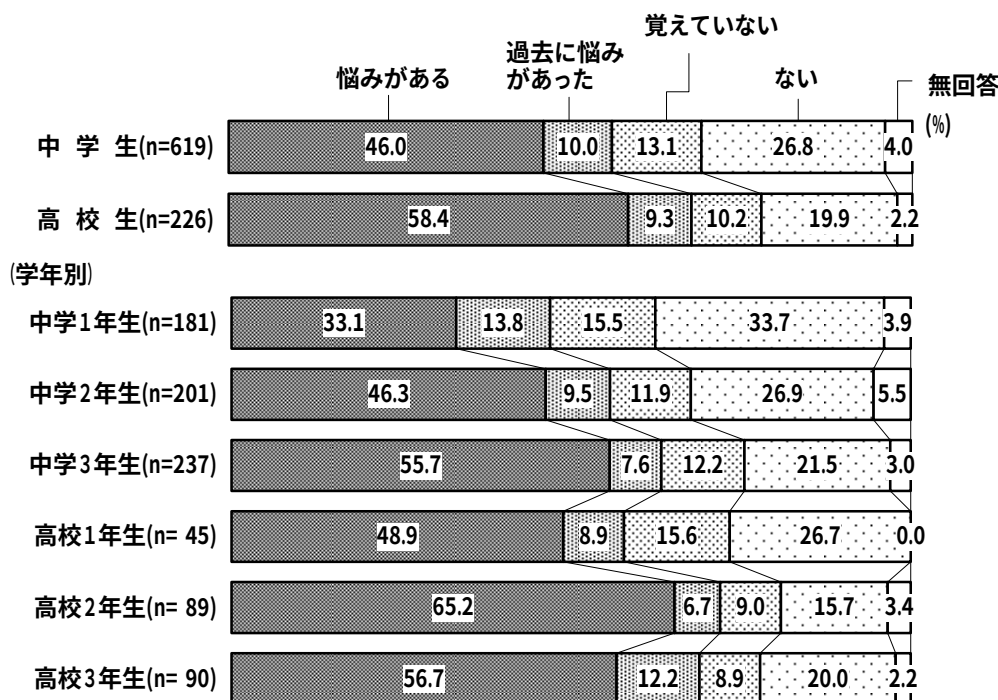


(5) 悩み

① 悩みの有無（問 18）

悩みについて、「悩みがある」は、中学生は 46.0%、高校生は 58.4%となっている。学年別にみると、「悩みがある」が最も多いのは、中学生では中学3年生の 55.7%、高校生では高校2年生の 65.2%となっている（図表3-5-1）。

図表3-5-1 悩みの有無（中学生・高校生、学年別）



② 悩みの内容（問 18-1）

悩みの内容は、中学生では「学校の成績」が 67.1%、「友達関係や異性関係」が 57.1%、「進路や進学先」が 50.4%、高校生では「進路や進学先」が 66.0%、「将来や職業の選択」が 58.2%、「友達関係や異性関係」が 53.6%であり、それぞれ上位3項目となっている。学年別にみると、中学生では「学校の成績」、「進路や進学先」、「家族との関係」など学年が上がるにつれて割合が高くなる項目が5項目ある。高校生では学年が上がるにつれて割合が高くなる項目は「進路や進学先」の1項目であり、逆に「学校の成績」は学年が上がるにつれて低くなっている（図表3-5-2-1）。

悩みの中で最も悩んでいる内容は、中学生では「友達関係や異性関係」の 22.2%、高校生では「進路や進学先」の 19.6%となっている。学年別にみると、中学生は学年が上がるに従って「友達関係や異性関係」の割合は低くなり、「進路や進学先」の割合が高くなっている。高校生も学年が上がるに従って「進路や進学先」の割合が高くなっている。また高校生では高校1年生で「将来や職業の選択」が 19.2%と他の学年に比べて高くなっている（図表3-5-2-2）。

図表 3-5-2-1 悩みの内容（中学生・高校生：複数回答）

<「悩みがある」、「過去に悩みがあった」と回答した人>

			学校の成績	友達関係や異性関係	進路や進学先	将来や職業の選択	自分の性格	自分の顔や体つき	授業や部活動	家族との関係	自分の健康	その他	無回答
													(%)
中	学	生 (n=347)	67.1	57.1	50.4	35.4	31.7	31.1	28.5	17.3	15.9	6.1	0.0
高	校	生 (n=153)	51.6	53.6	66.0	58.2	37.3	40.5	37.3	20.9	18.3	5.9	0.0
学 年 別	中 学 1 年 生	(n= 85)	55.3	61.2	18.8	18.8	27.1	23.5	38.8	12.9	11.8	5.9	0.0
	中 学 2 年 生	(n=112)	67.0	61.6	49.1	40.2	31.3	37.5	36.6	16.1	20.5	6.3	0.0
	中 学 3 年 生	(n=150)	74.0	51.3	69.3	41.3	34.7	30.7	16.7	20.7	14.7	6.0	0.0
	高 校 1 年 生	(n= 26)	73.1	53.8	53.8	57.7	38.5	42.3	46.2	23.1	19.2	3.8	0.0
	高 校 2 年 生	(n= 64)	54.7	56.3	67.2	57.8	37.5	40.6	51.6	18.8	12.5	4.7	0.0
	高 校 3 年 生	(n= 62)	40.3	50.0	69.4	58.1	35.5	38.7	19.4	21.0	22.6	8.1	0.0

図表 3-5-2-2 悩みのなかで最も悩んでいること（中学生・高校生）

<「悩みがある」、「過去に悩みがあった」と回答した人>

			友達関係や異性関係	学校の成績	進路や進学先	授業や部活動	自分の健康	将来や職業の選択	自分の顔や体つき	家族との関係	自分の性格	その他	無回答
													(%)
中	学	生 (n=347)	22.2	17.6	11.2	4.3	2.9	2.9	2.3	2.0	1.7	4.3	28.5
高	校	生 (n=153)	13.1	6.5	19.6	4.6	2.0	9.2	4.6	0.7	5.9	3.9	30.1
学 年 別	中 学 1 年 生	(n= 85)	32.9	16.5	1.2	8.2	1.2	1.2	2.4	3.5	2.4	4.7	25.9
	中 学 2 年 生	(n=112)	22.3	18.8	8.0	6.3	5.4	3.6	2.7	0.9	0.9	5.4	25.9
	中 学 3 年 生	(n=150)	16.0	17.3	19.3	0.7	2.0	3.3	2.0	2.0	2.0	3.3	32.0
	高 校 1 年 生	(n= 26)	15.4	7.7	11.5	7.7	0.0	19.2	3.8	0.0	7.7	0.0	26.9
	高 校 2 年 生	(n= 64)	17.2	4.7	20.3	3.1	3.1	7.8	6.3	0.0	4.7	1.6	31.3
	高 校 3 年 生	(n= 62)	8.1	8.1	22.6	4.8	1.6	6.5	3.2	1.6	6.5	8.1	29.0

③ 最も悩んでいることの相談相手（問 18－2）

最も悩んでいることの相談相手は、中学生は「母親に相談した」が49.2%で最も多く、次いで「友人に相談した」が45.6%となっている。高校生は「友人に相談した」が48.6%で最も多く、次いで「母親に相談した」が47.7%となっている。一方、「だれにも相談できなかった・相談していない」は、中学生は20.6%、高校生は21.5%となっている（図表3－5－3）。

図表3－5－3 最も悩んでいることの相談相手（中学生・高校生、学年別：複数回答）（%）

		▼母親に相談した	▼友人に相談した	▼父親に相談した	▼学校の先生に相談した	▼塾の先生に相談した	▼スクールカウンセラーに相談した	▼病院の先生に相談した	▼地域の人に相談した	▼電話相談室などに相談した	▼市役所などの公的機関に相談した	▼その他	▼誰にも相談できなかった・相談していない	▼無回答
中	学 生 (n=248)	49.2	45.6	19.0	18.5	13.7	3.6	3.2	0.4	0.0	0.0	3.6	20.6	2.8
高	校 生 (n=107)	47.7	48.6	17.8	30.8	12.1	4.7	1.9	1.9	0.0	0.9	6.5	21.5	0.9
学 年 別	中 学 1 年 生 (n= 63)	42.9	42.9	14.3	15.9	1.6	4.8	1.6	0.0	0.0	0.0	7.9	19.0	4.8
	中 学 2 年 生 (n= 83)	48.2	45.8	16.9	19.3	10.8	0.0	4.8	1.2	0.0	0.0	2.4	24.1	1.2
	中 学 3 年 生 (n=102)	53.9	47.1	23.5	19.6	23.5	5.9	2.9	0.0	0.0	0.0	2.0	18.6	2.9
	高 校 1 年 生 (n= 19)	47.4	57.9	5.3	21.1	15.8	0.0	0.0	5.3	0.0	5.3	10.5	21.1	0.0
	高 校 2 年 生 (n= 44)	52.3	36.4	15.9	36.4	9.1	6.8	4.5	2.3	0.0	0.0	2.3	22.7	0.0
	高 校 3 年 生 (n= 44)	43.2	56.8	25.0	29.5	13.6	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	20.5	2.3

④ あればよいと思う相談先（問 19）

あればよいと思う相談先は、「曜日や時間を問わず、いつでも相談にのってくれるところ」が中学生は46.0%、高校生は38.5%であり、中学生、高校生ともに最も多くなっている（図表3－5－4）。

図表3－5－4 あればよいと思う相談先（中学生・高校生、学年別：複数回答）（%）

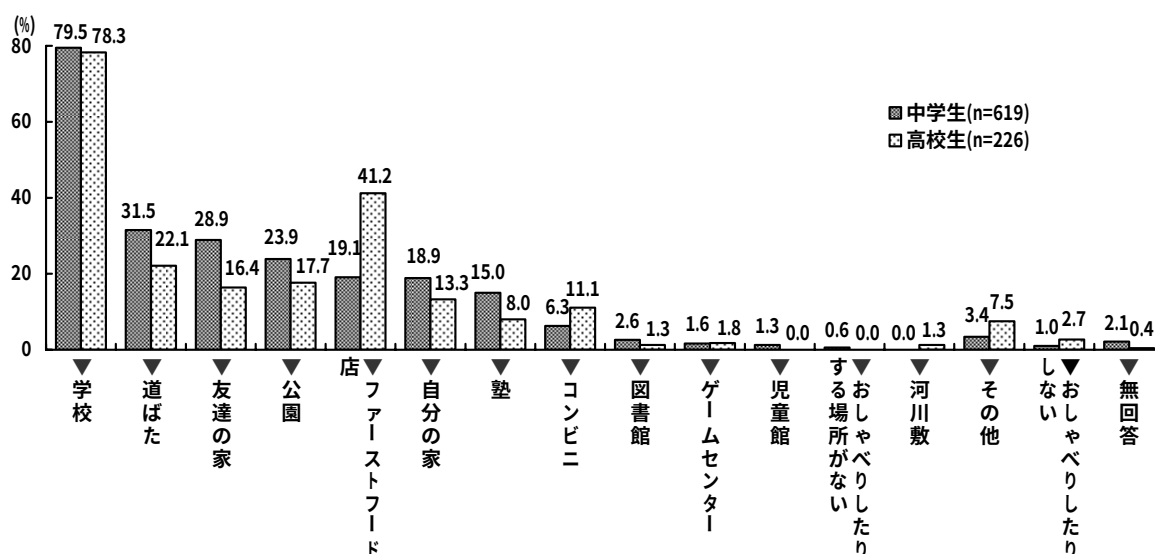
		▼いつでも曜日や時間を問わず、相談にのってくれるところ	▼同じ悩みを先輩が相談にのってくれているところ	▼同じ悩みをもっている人がグループをつくって話しあえるところ	▼電子メールなどいろいろな手段で相談にのっているところ	▼その他	▼相談場所は特にいらない	▼無回答
中 学 生 (n=619)		46.0	29.7	24.2	20.8	2.3	24.9	3.7
高 校 生 (n=226)		38.5	27.4	19.5	22.6	4.0	30.1	1.8
学 年 別	中 学 1 年 生 (n=181)	60.2	39.2	32.0	16.0	1.1	20.4	2.8
	中 学 2 年 生 (n=201)	40.8	26.9	22.4	17.4	3.5	26.9	4.5
	中 学 3 年 生 (n=237)	39.7	24.9	19.8	27.4	2.1	26.6	3.8
	高 校 1 年 生 (n= 45)	44.4	20.0	15.6	20.0	2.2	22.2	4.4
	高 校 2 年 生 (n= 89)	42.7	29.2	19.1	29.2	3.4	25.8	1.1
	高 校 3 年 生 (n= 90)	31.1	28.9	22.2	17.8	5.6	37.8	1.1

(6) 地域生活

① 友人とおしゃべりしたりする場所 (問 20)

友人とおしゃべりしたりする場所は、中学生、高校生ともに「学校」が最も多く、中学生は79.5%、高校生は78.3%となっている。次いで、中学生は「道ばた」が31.5%、「友達の家」が28.9%となっており、高校生は「ファーストフード店」が41.2%、「道ばた」が22.1%となっている（図表3-6-1）。

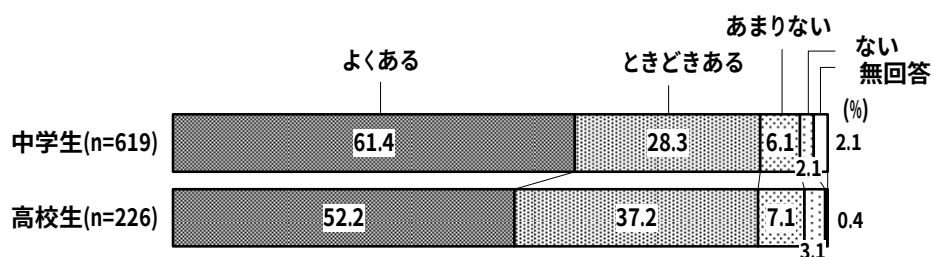
図表3-6-1 友人とおしゃべりしたりする場所（中学生・高校生：複数回答）



② 近所の人へのあいさつの有無 (問 21)

近所の人へのあいさつの有無は、中学生では「よくある」が61.4%で、「ときどきある」の28.3%と合計すると89.7%となっている。高校生も「よくある」が52.2%で、「ときどきある」の37.2%と合計すると89.4%となっている（図表3-6-2）。

図表3-6-2 近所の人へのあいさつの有無（中学生・高校生）

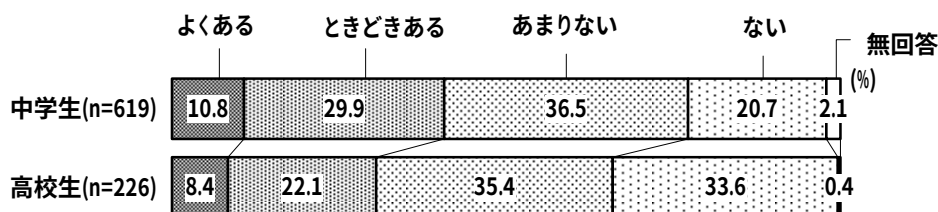


③ 近所の人からほめられたり注意されることの有無（問 22）

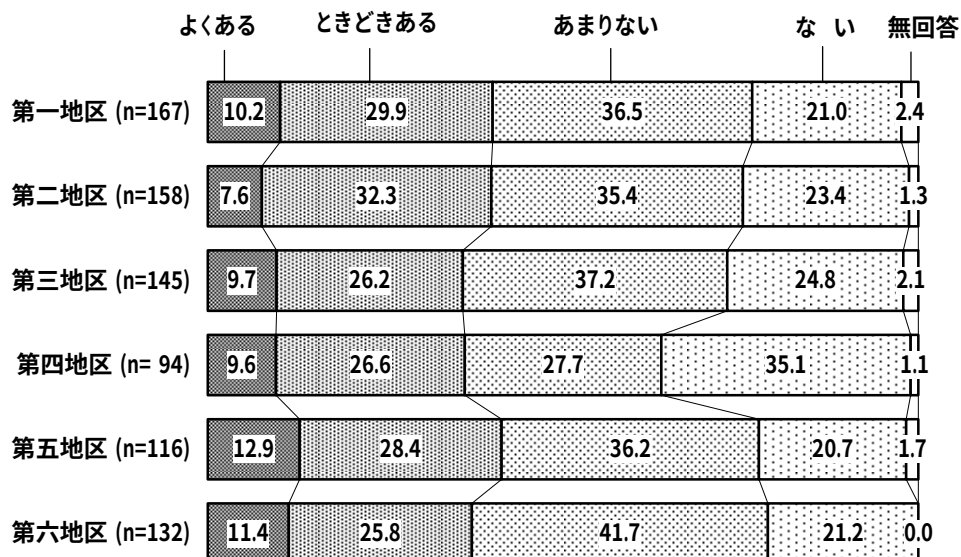
近所の人からほめられたり注意されることの有無は、中学生は「あまりない」が36.5%で最も多く、「ない」の20.7%と合計すると57.2%となっている。高校生も「あまりない」が35.4%で最も多く、「ない」の33.6%と合計すると69.0%で、中学生よりも高くなっている（図表3-6-3-1）。

近所の人からほめてもらったり注意された経験について、地区別にみると、「よくある」は第一地区が10.2%、第五地区が12.9%、第六地区が11.4%で10%を超えている。一方、「ない」は第四地区が35.1%で他の地区に比べて高くなっている（図表3-6-3-2）。

図表3-6-3-1 近所の人からほめられたり注意されることの有無（中学生・高校生）



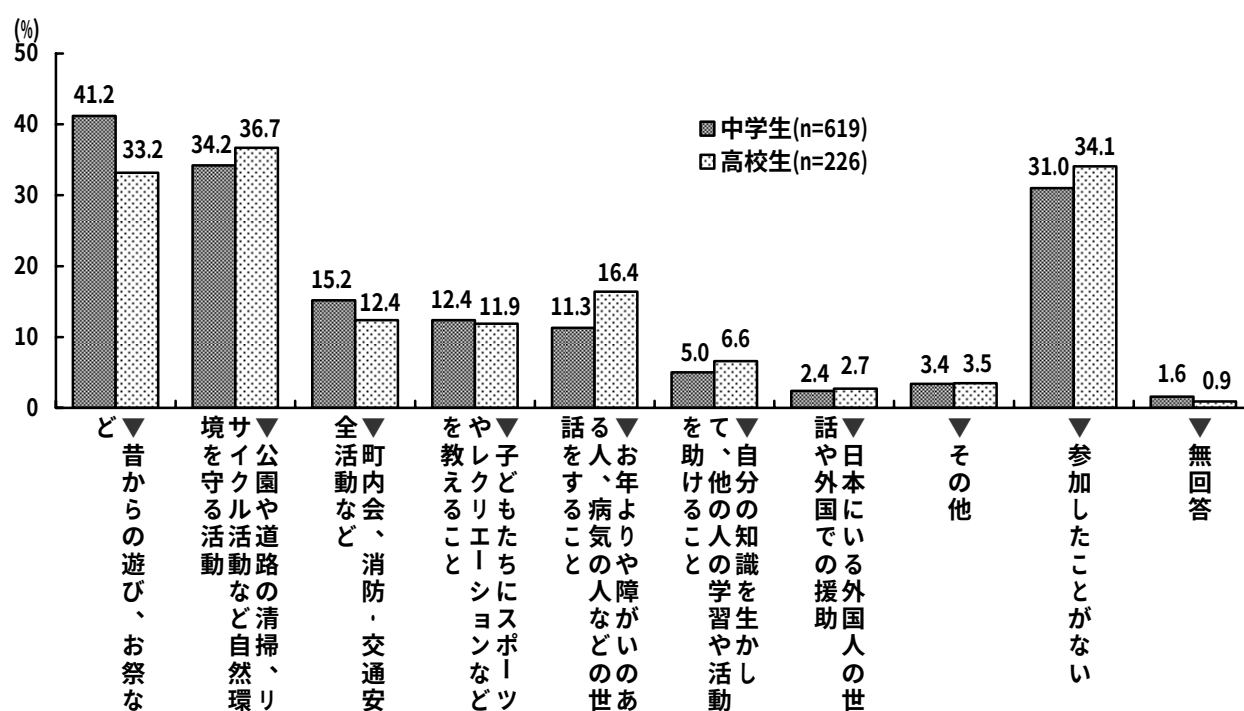
図表3-6-3-2 近所の人からほめられたり注意されることの有無（地区別）



④ 地域での活動の参加状況（問 23）

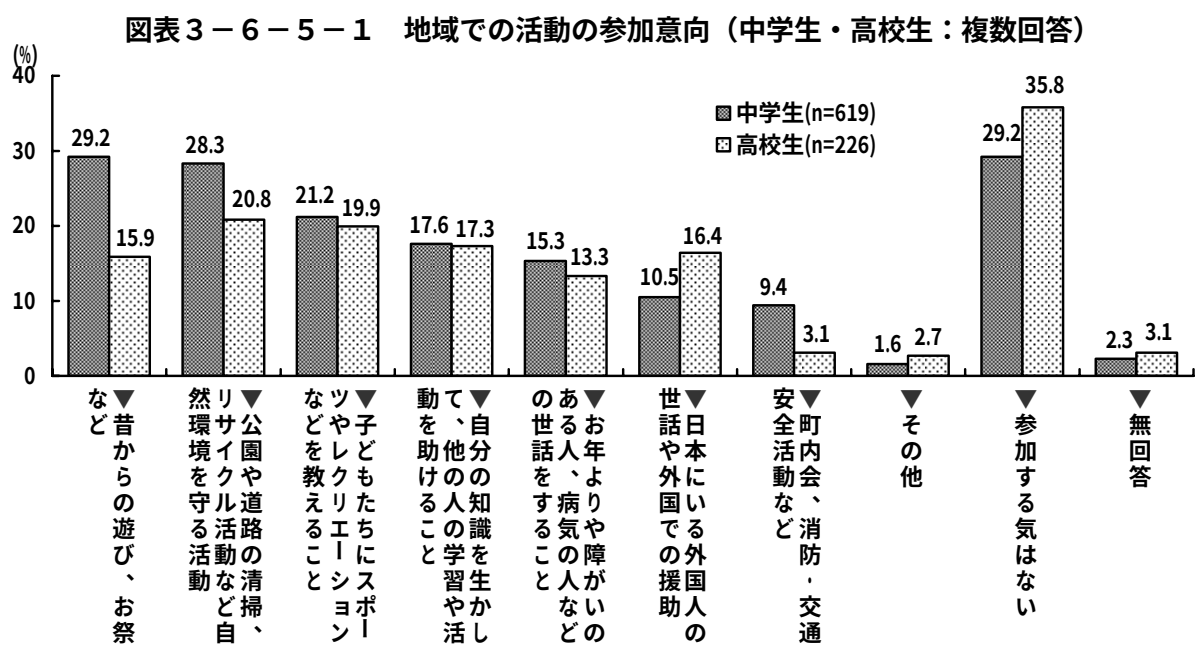
地域での活動の参加状況は、中学生は「昔からの遊び、お祭りなど」が41.2%で最も多く、次いで「公園や道路の清掃、リサイクル活動など自然環境を守る活動」が34.2%となっている。高校生は「公園や道路の清掃、リサイクル活動など自然環境を守る活動」が36.7%で最も多く、次いで「昔からの遊び、お祭りなど」が33.2%となっている。一方で「参加したことがない」は、中学生は31.0%、高校生は34.1%となっている（図表3－6－4）。

図表3－6－4 地域での活動の参加状況（中学生・高校生：複数回答）



⑤ 地域での活動の参加意向（問 24）

地域での活動の参加意向は、中学生は「昔からの遊び、お祭りなど」が29.2%で最も多く、次いで「公園や道路の清掃、リサイクル活動など自然環境を守る活動」が28.3%となっている。高校生は「公園や道路の清掃、リサイクル活動など自然環境を守る活動」が20.8%で最も多く、次いで「子どもたちにスポーツやレクリエーションなどを教えること」が19.9%となっている。「参加する気はない」は中学生29.2%、高校生35.8%となっている（図表3-6-5-1）。



地域活動への参加意向について地区別にみたところ、第三地区では「子どもたちにスポーツやレクリエーションなどを教えること」が31.7%、第四地区では「昔からの遊び、お祭りなど」が30.9%、第五地区では「自分の知識を生かして、他の人の学習や活動を助けること」が21.6%で、他の地区に比べて高くなっている。また、第六地区では、「参加する気はない」が37.9%となっている（図表3-6-5-2）。

図表3-6-5-2 地域での活動の参加意向（地区別：複数回答）

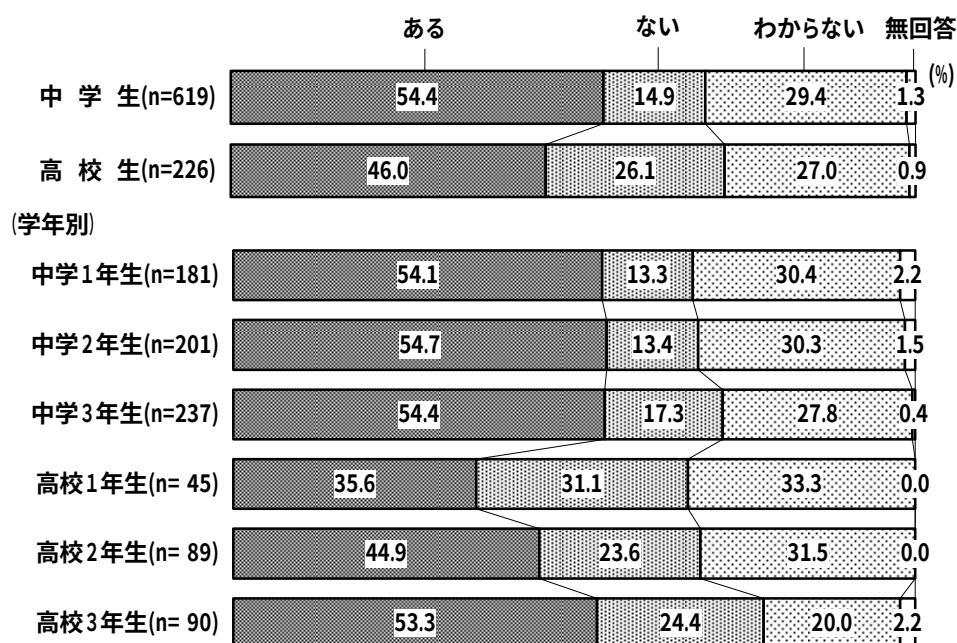
		▼昔からの遊び、お祭りなど	▼公園や道路の清掃、リサイクル活動など自然環境を守る活動	▼子どもたちにスポーツやレクリエーションなどを教えること	▼自分の知識を生かして、他の人の学習や活動を助けること	▼お年よりや障がいのある人、病気の人の世話をすること	▼日本にいる外国人の世話や外国での外国人の援助	▼町内会、消防・交通安全活動など	▼その他	▼参加する気はない	▼無回答
地区別	第一地区 (n=167)	22.2	24.0	21.0	17.4	16.2	10.2	5.4	1.2	34.7	2.4
	第二地区 (n=158)	27.2	22.8	18.4	18.4	13.3	12.0	7.6	1.9	27.8	3.2
	第三地区 (n=145)	21.4	28.3	31.7	15.9	16.6	12.4	9.0	3.4	26.9	2.8
	第四地区 (n= 94)	30.9	28.7	18.1	14.9	14.9	12.8	9.6	2.1	30.9	1.1
	第五地区 (n=116)	28.4	28.4	19.0	21.6	11.2	14.7	10.3	0.9	31.0	3.4
	第六地区 (n=132)	25.8	28.8	16.7	17.4	10.6	9.1	6.1	1.5	37.9	1.5

(7) いじめ

① 学校や地域におけるいじめや差別の有無（問 25）

学校や地域におけるいじめや差別の有無は、中学生では「ある」が54.4%、高校生では「ある」が46.0%となっている。学年別にみると、中学生では中学1年生から中学3年生まで「ある」が54%台であり学年による差はみられない。高校生の「ある」の割合は、学年が上がるにしたがって高くなり、高校1年生は35.6%だが、高校3年生は53.3%となっている（図表3-7-1）。

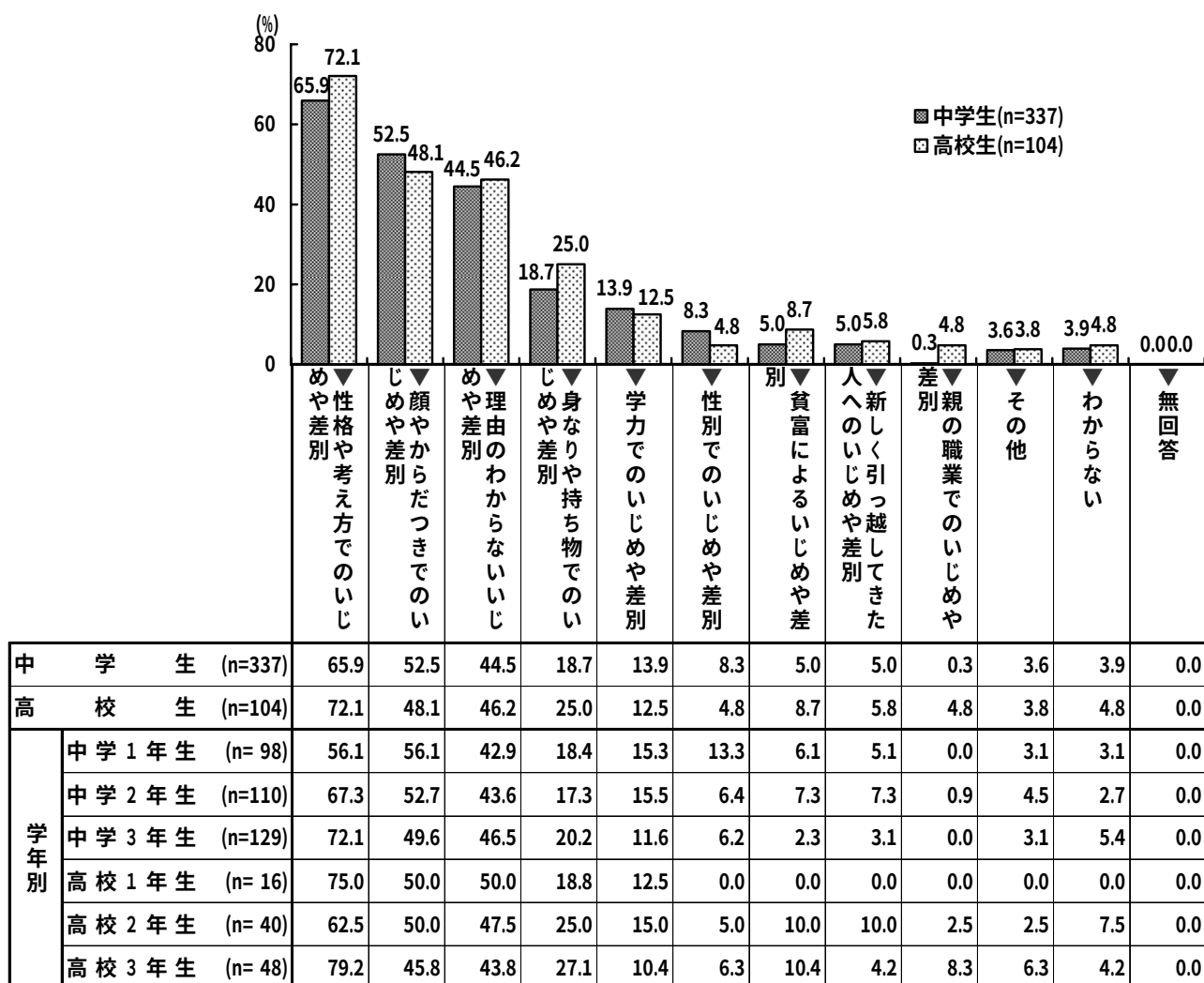
図表3-7-1 学校や地域におけるいじめや差別の有無（中学生・高校生、学年別）



② いじめや差別の内容（問 25－1）

いじめや差別の内容は、中学生、高校生ともに、1位は「性格や考え方でのいじめや差別」で中学生は65.9%、高校生は72.1%、2位は「顔やからだつきでのいじめや差別」で中学生は52.5%、高校生は48.1%、3位は「理由のわからないいじめや差別」で中学生は44.5%、高校生は46.2%となっている。学年別にみると、「性格や考え方でのいじめや差別」は中学3年生で72.1%、高校3年生で79.2%と他の学年に比べて高くなっている（図表3－7－2）。

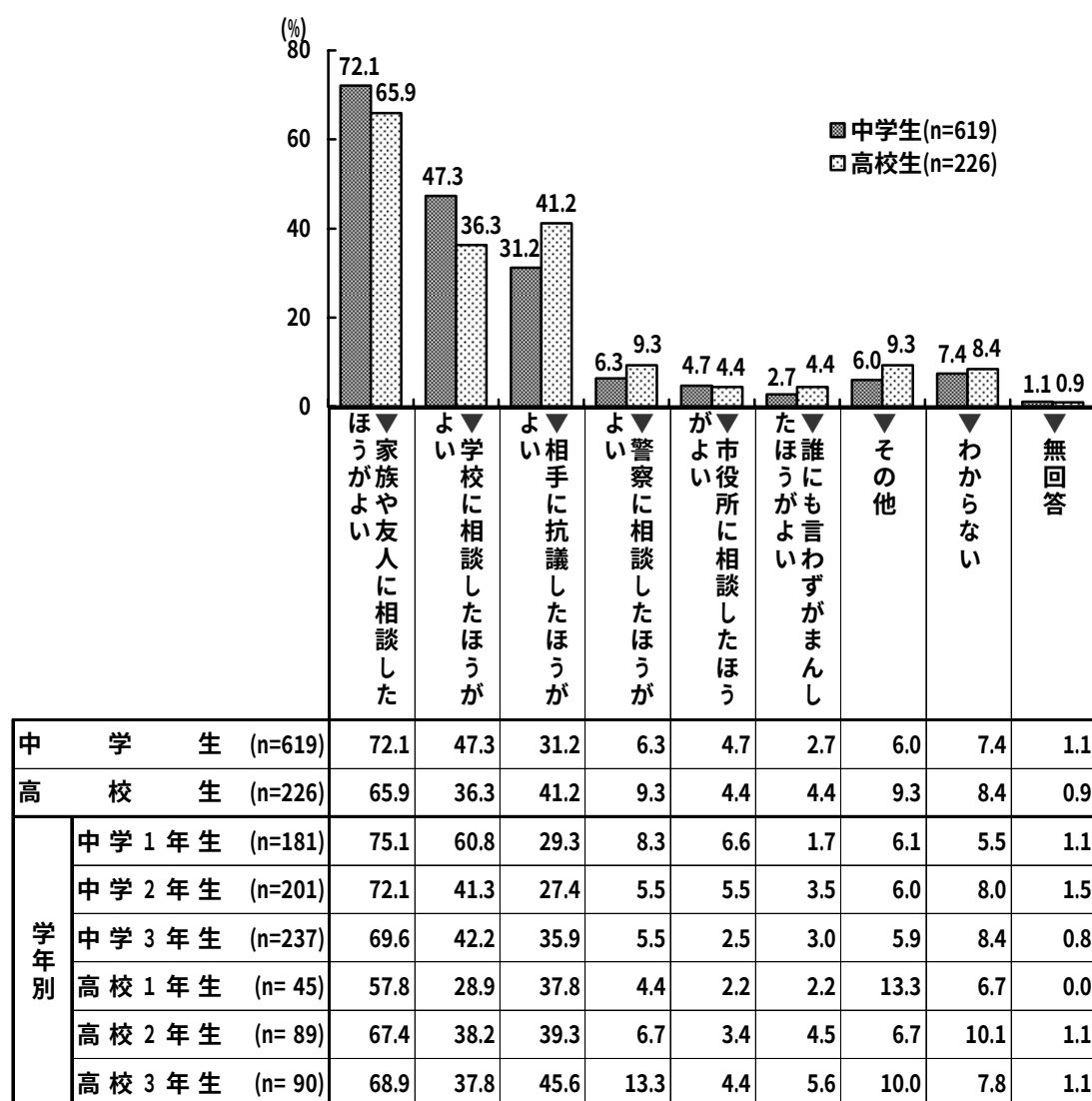
図表3－7－2 いじめや差別の内容（中学生・高校生、学年別：複数回答）
 <学校や地域におけるいじめや差別が「ある」と回答した人>



③ いじめや差別を受けたときの望ましい行動（問 26）

いじめや差別を受けたときの望ましい行動は、中学生、高校生ともに「家族や友人に相談したほうがよい」が中学生は72.1%、高校生は65.9%で最も多くなっている。次いで中学生は「学校に相談したほうがよい」が47.3%となっており、高校生は「相手に抗議したほうがよい」が41.2%となっている。学年別にみると、中学1年生では「学校に相談したほうがよい」が60.8%で他の学年に比べてくなっている。また高校3年生では「警察に相談したほうがよい」が13.3%となっている（図表3-7-3）。

図表3-7-3 いじめや差別を受けたときの望ましい行動（中学生・高校生、学年別：複数回答）

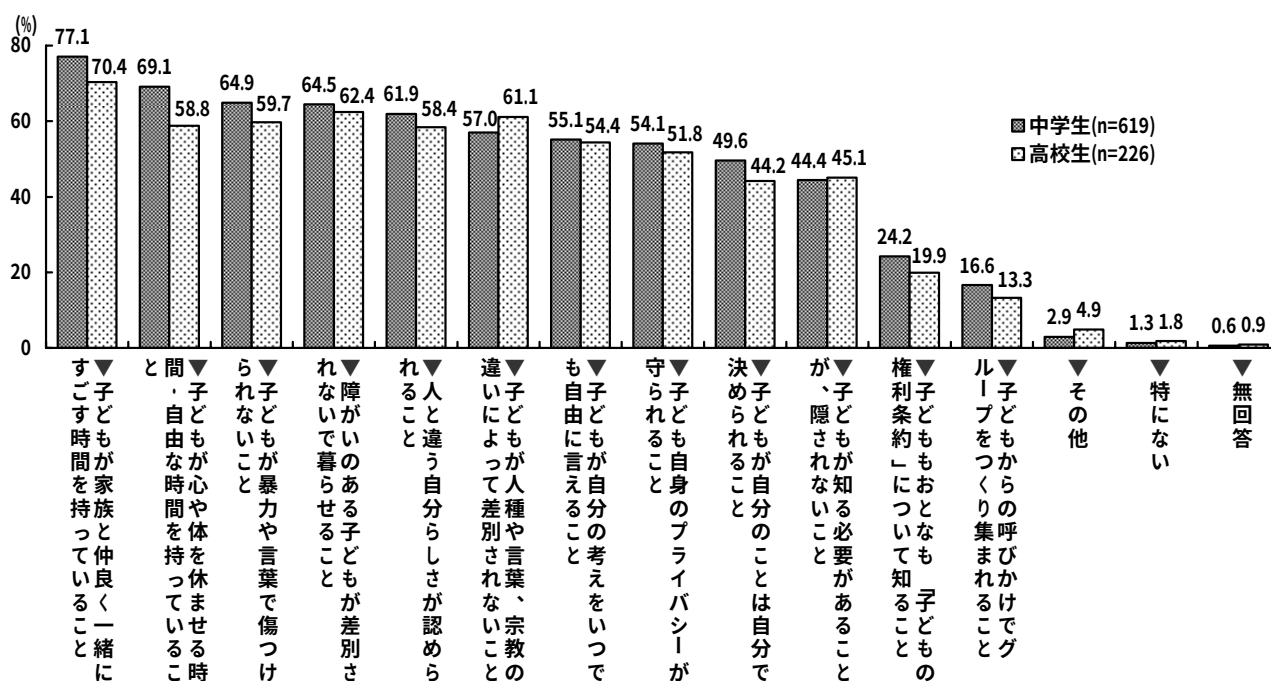


(8) 自分にとって大切だと思うこと

① 大切だと思うこと (問 27)

自分にとって大切だと思うことは、中学生、高校生ともに「子どもが家族と仲良く一緒に過ごす時間を持っていること」が最も多くなっており、中学生は 77.1%、高校生は 70.4%となっている。中学生、高校生ともに 50%を超える項目が 8 項目となっている（図表 3－8－1）。

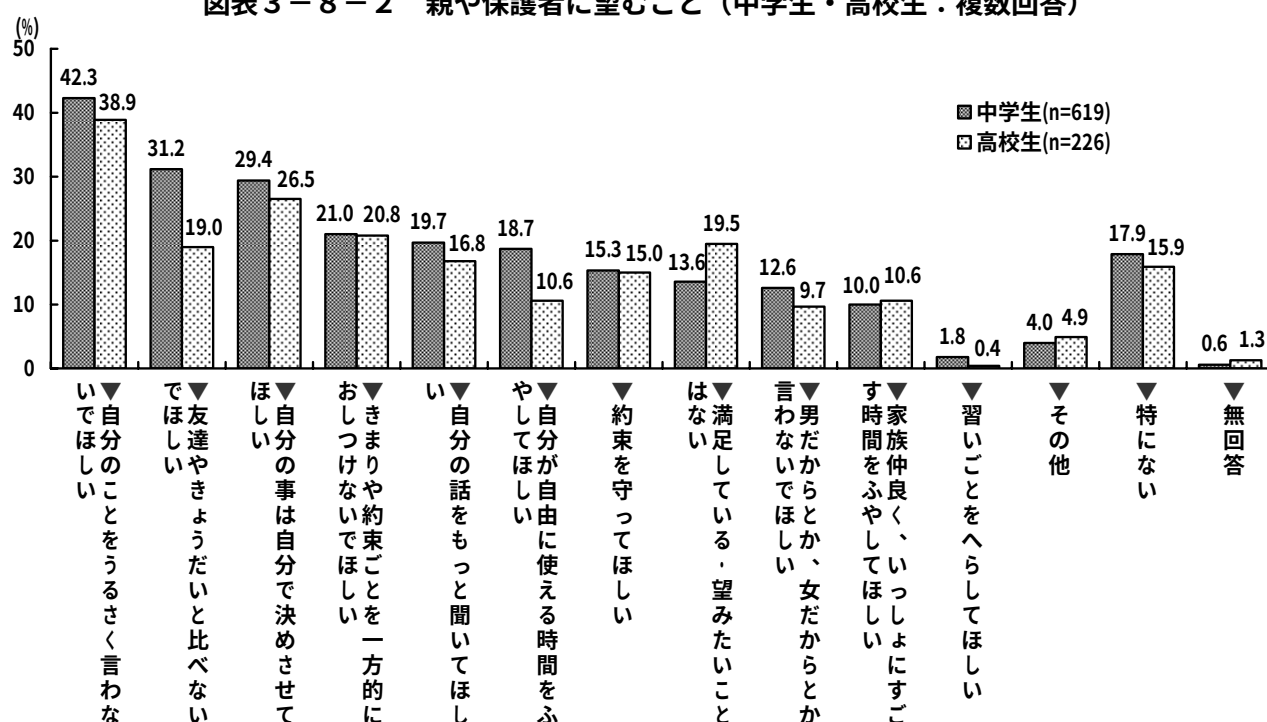
図表 3－8－1 大切だと思うこと（中学生・高校生：複数回答）



② 親や保護者に望むこと (問 28)

親や保護者に望むことは、中学生、高校生ともに「自分のことをうるさく言わないでほしい」が最も多くなっており、中学生は 42.3%、高校生は 38.9%となっている。次いで、中学生は「友だちやきょうだいと比べないでほしい」が 31.2%、「自分の事は自分で決めさせてほしい」が 29.4%となっており、高校生は「自分の事は自分で決めさせてほしい」が 26.5%、「決まりごとや約束ごとを一方的におしつけないでほしい」が 20.8%となっている（図表 3－8－2）。

図表3-8-2 親や保護者に望むこと（中学生・高校生：複数回答）

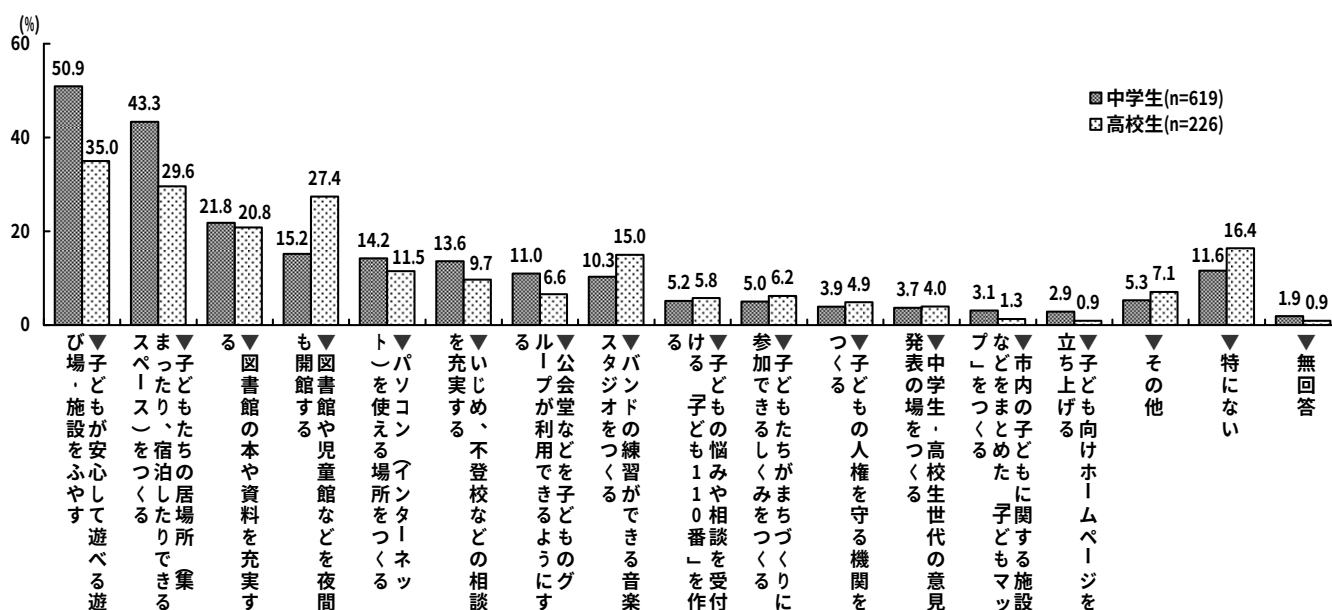


(9) 市に実施してほしいこと

① 市に実施してほしいこと（問29）

市に実施してほしいことは、中学生、高校生ともに1位は「子どもが安心して遊べる遊び場・施設をふやす」で、中学生は50.9%、高校生は35.0%となっている。2位は「子どもたちの居場所（集まったり、宿泊したりできるスペース）をつくる」で、中学生は43.3%、高校生は29.6%となっている。3位は中学生は「図書館の本や資料を充実する」で21.8%、高校生は「図書館や児童館などを夜間も開館する」で27.4%となっている（図表3-9-1）。

図表3-9-1 市に実施してほしいこと（中学生・高校生：複数回答）



(10) 市やおとなに対する意見や要望（問 30）

市やおとなに対する意見、要望などについて、自由記述形式でたずねたところ、全体で 257 件の回答があった。内容と件数は以下の通りである。

内容	件数
住環境、道路環境、交通等について	48 件
遊べる施設・スポーツのできる施設の充実に対する要望	41 件
おとなは子どもの声を聞くべきである	19 件
市の政策に対する要望	16 件
おとなの子どもに対する決めつけ・押し付け・干渉等に対する不満	14 件
治安対策について	14 件
図書館に対する要望	10 件
おとなの行動に対しての不満	9 件
タバコのマナーについて	8 件
学校の設備や教材等に対する要望	8 件
勉強をする環境について	7 件
市内のお店を増やして欲しい	5 件
子どもへの教育、接し方について	5 件
不登校・いじめ等について	5 件
感謝・満足・励まし	17 件
アンケートについて	8 件
その他	23 件

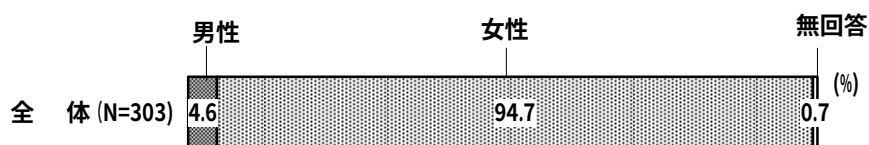
4 ひとり親家庭調査

(1) 基本属性

① 回答者の性別 (F 1)

回答者の性別は、男性が4.6%、女性が94.7%となっている(図表4-1-1)。

図表4-1-1 回答者の性別(全体)



② 回答者の年齢 (F 2)

回答者の年齢は、「40歳代」が39.3%で最も多く、次いで「30歳代」が37.3%となっている。平均年齢は39.4歳となっている(図表4-1-2)。

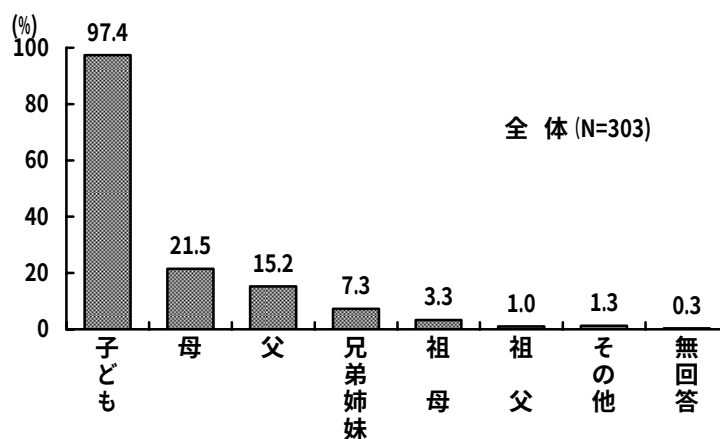
図表4-1-2 回答者の年齢(全体)



③ 同居する家族 (F 3)

同居する家族は、「子ども」が97.4%で最も多く、「母」が21.5%、「父」が15.2%となっている(図表4-1-3)。

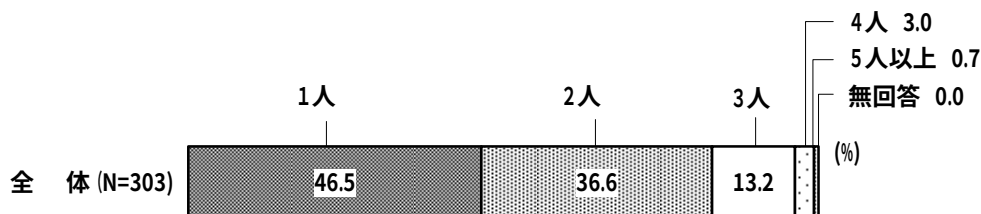
図表4-1-3 同居する家族(全体)



④ 子どもの人数（F 4）

子どもの人数は、「1人」が46.5%で最も多く、次いで「2人」が36.6%となっている。「3人」も13.2%となっている（図表4-1-4）。

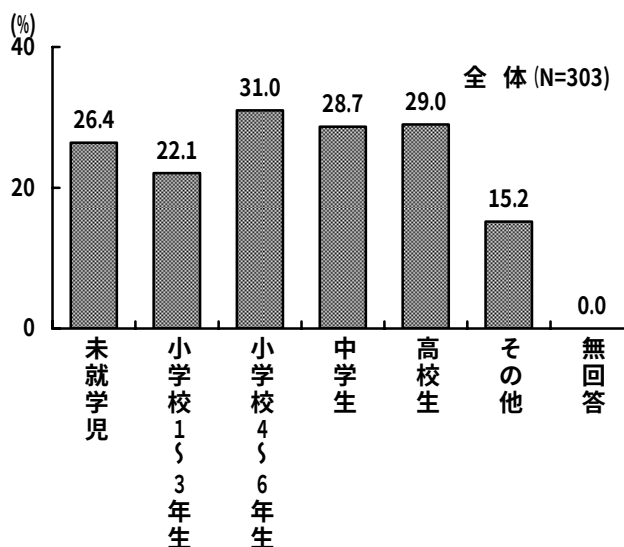
図表4-1-4 子どもの人数（全体）



⑤ 子どもの成長段階（F 5）

すべてのお子さんについての成長段階は、「小学校4～6年生」が31.0%で最も多く、次いで「高校生」が29.0%、「中学生」が28.7%となっている（図表4-1-5）。

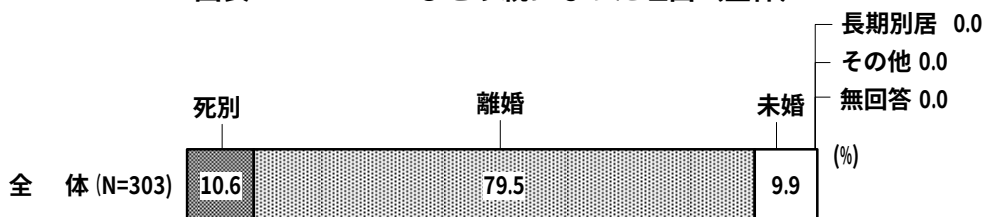
図表4-1-5 子どもの成長段階（全体：複数回答）



⑥ ひとり親になった理由（F 6）

ひとり親になった理由は、「離婚」が79.5%となっており、「死別」が10.6%、「未婚」が9.9%となっている（図表4-1-6）。

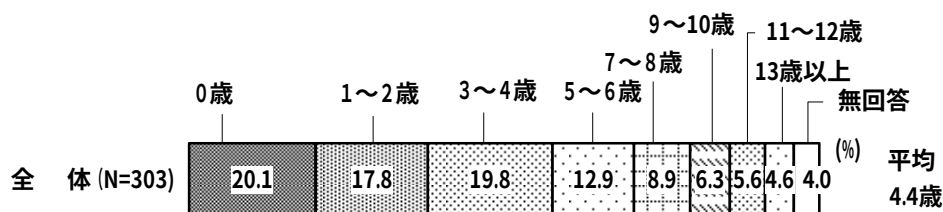
図表4-1-6 ひとり親になった理由（全体）



⑦ ひとり親になったときの末子の年齢（F 7）

ひとり親になったときの末子の年齢は、多い順に、「0歳」が20.1%、「3～4歳」が19.8%、「1～2歳」が17.8%となっており、「0歳」から「5～6歳」までの未就学児が70.6%となっている。平均年齢は、4.4歳となっている（図表4-1-7）。

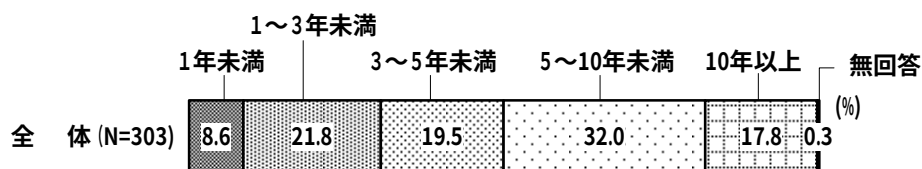
図表4-1-7 ひとり親になったときの末子の年齢（全体）



⑧ ひとり親になってからの年数（F 8）

ひとり親になってからの年数は、「5～10年未満」が32.0%で最も多く、次いで「1～3年未満」が21.8%、「3～5年未満」が19.5%となっている（図表4-1-8）。

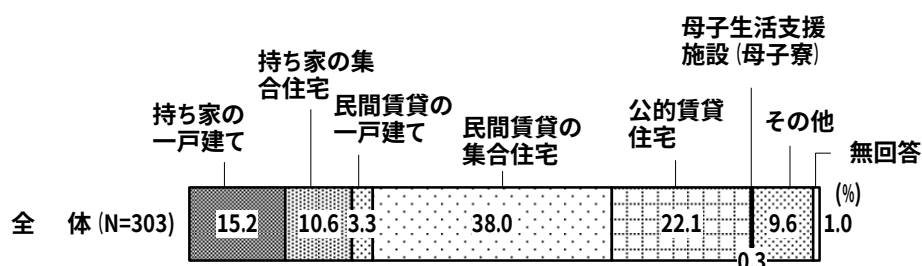
図表4-1-8 ひとり親になってからの年数（全体）



⑨ 住居形態（F 9）

住居形態は、「民間賃貸の集合住宅」が38.0%で最も多く、次いで「公的賃貸住宅」が22.1%、「持ち家の一戸建て」が15.2%となっている。「持ち家一戸建て」と「持ち家の集合住宅」をあわせた持ち家率は25.8%となっている（図表4-1-9）。

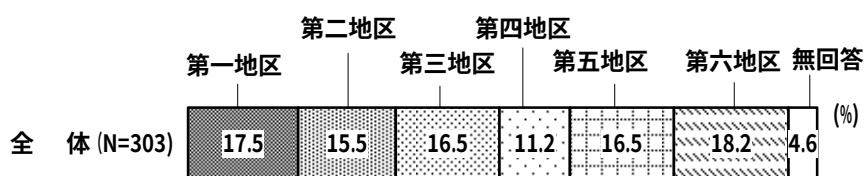
図表4-1-9 住居形態（全体）



⑩ 居住地区（F10）

居住地区は、「第六地区」が18.2%で最も多く、次いで「第一地区」が17.5%、「第三地区」と「第五地区」が16.5%となっている（図表4-1-10）。

図表4-1-10 居住地区（全体）

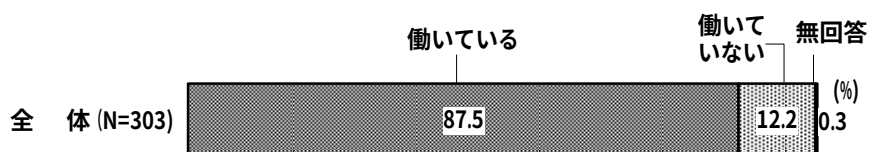


（2）仕事

① 就労の有無（問1）

就労の有無は、「働いている」が87.5%、「働いていない」が12.2%となっている（図表4-2-1）。

図表4-2-1 就労の有無（全体）



② 就労形態（問1-1）

就労形態は、「パート・アルバイト」が44.5%で最も多く、次いで「常勤の勤め人（正社員・正規職員）」が30.9%となっている。「パート・アルバイト」の44.5%、「契約社員」の11.7%、「派遣社員」の7.5%を合計した非正規雇用が63.7%となる（図表4-2-2-1）。

就労形態について、ひとり親本人の就労収入別にみたところ、収入が高いほど「常勤の勤め人」の割合が高く、逆に「パート・アルバイト」の割合が低くなる傾向がみられる（図表4-2-2-2）。

図表4-2-2-1 就労形態（全体）
＜「働いている」と回答した人＞



図表 4-2-2-2 就労形態（全体、就労収入別）
 <「働いている」と回答した人>

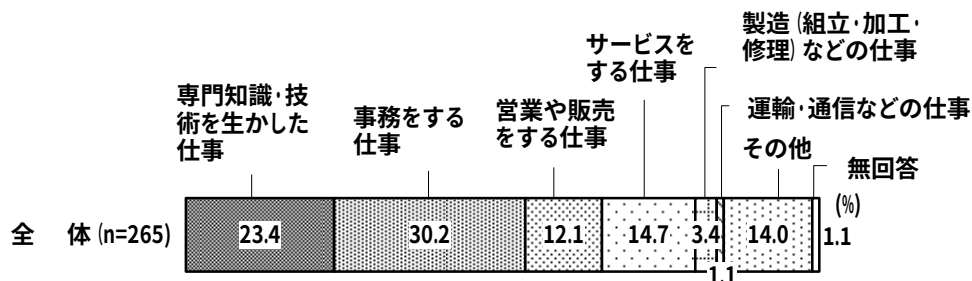
			▼ 員・ 常勤の 正規の 勤め人 （正社 会）	▼ パート・ アルバイト	▼ 契約社員	▼ 派遣社員	▼ 自営業・ 家族従業	▼ 在宅勤務・ 内職	▼ その他	▼ 無回答
全 体 (n=265)			30.9	44.5	11.7	7.5	4.5	0.4	0.4	0.0
ひとり親の 就労収入別	100万円以下 (n= 66)		6.1	77.3	0.0	6.1	9.1	1.5	0.0	0.0
	100万超～ 200万円以下 (n= 79)		12.7	62.0	17.7	5.1	2.5	0.0	0.0	0.0
	200万超～ 300万円以下 (n= 66)		43.9	16.7	18.2	16.7	3.0	0.0	1.5	0.0
	300万超～ 400万円以下 (n= 28)		71.4	3.6	14.3	3.6	7.1	0.0	0.0	0.0
	400万円超 (n= 17)		94.1	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

③ 職種（問1-2）

職種は、「事務をする仕事」が 30.2%で最も多く、次いで「専門知識・技術を生かした仕事」が 23.4%、「サービスをする仕事」が 14.7%となっている（図表 4-2-3-1）。

職種についてひとり親本人の就労収入別にみると、収入が高いほど「専門知識・技術を生かした仕事」の割合が高くなる傾向がみられる。100 万円以下では「サービスをする仕事」が 30.3%となっている（図表 4-2-3-2）。

図表 4-2-3-1 職種（全体）
 <「働いている」と回答した人>



図表4-2-3-2 職種（全体、就労収入別）

<「働いている」と回答した人>

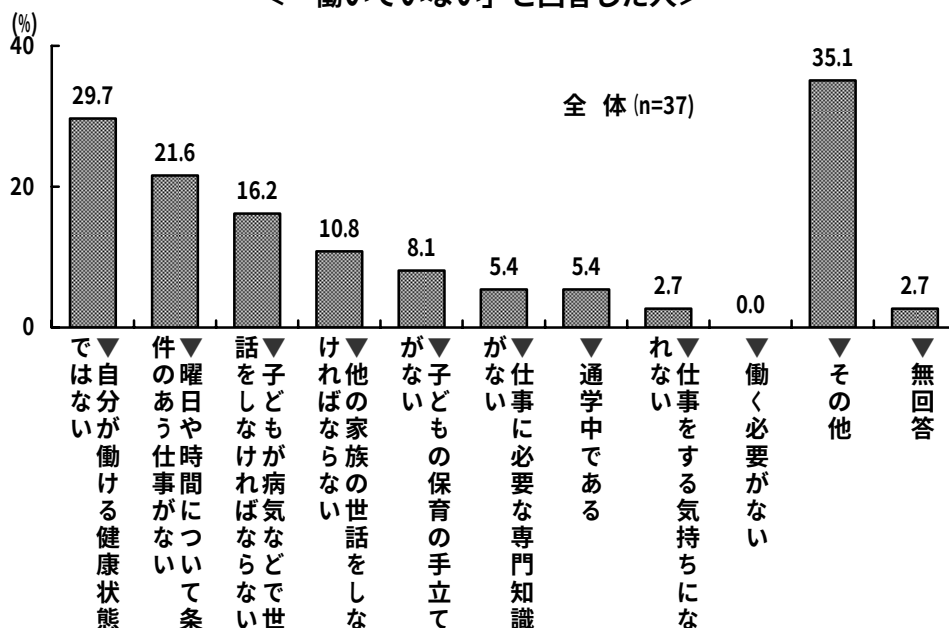
			▼ か し た 専 門 知 識 ・ 技 術 を 生 か し た 仕 事	▼ 事 務 を す る 仕 事	▼ 事 業 や 販 売 を す る 仕 事	▼ サ ー ビ ス を す る 仕 事	▼ 修 理 ・ 製 造 組 立 ・ 加 工 な ど の 仕 事	▼ 事 業 運 輸 ・ 通 信 な ど の 仕 事	▼ そ の 他	▼ 無 回 答
全 体 (n=265)			23.4	30.2	12.1	14.7	3.4	1.1	14.0	1.1
ひとり親の就労収入別	100万円以下 (n= 66)		10.6	16.7	13.6	30.3	3.0	0.0	24.2	1.5
	100万超～200万円以下 (n= 79)		20.3	35.4	13.9	10.1	5.1	0.0	13.9	1.3
	200万超～300万円以下 (n= 66)		30.3	37.9	13.6	6.1	0.0	3.0	9.1	0.0
	300万超～400万円以下 (n= 28)		28.6	32.1	7.1	14.3	0.0	3.6	14.3	0.0
	400万円超 (n= 17)		52.9	29.4	0.0	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0

④ 働いていない理由（問1-3）

働いていない理由は、「自分が働ける健康状態ではない」が29.7%で最も多く、次いで「曜日や時間について条件のあう仕事がない」が21.6%、「子どもが病気などで世話をしなければならない」が16.2%となっている。また、「子どもの保育の手立てがない」も8.1%となっている。なお、「その他」の35.1%の具体的な記載をみると、「求職中である」、「子どもに障害等がある」、「仕事先の事情で仕事がない」といった内容になっている（図表4-2-4）。

図表4-2-4 働いていない理由（全体：複数回答）

<「働いていない」と回答した人>

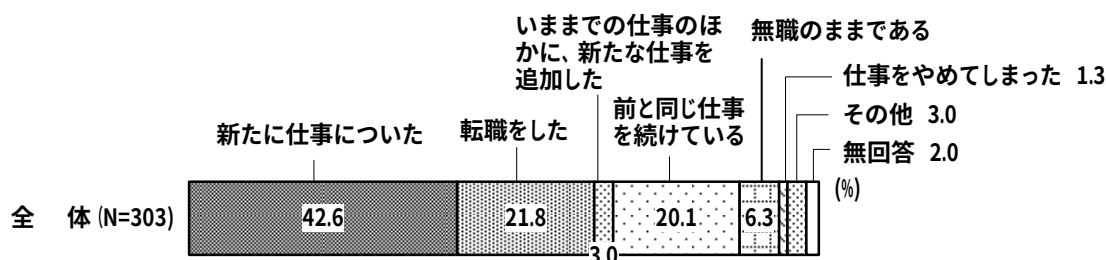


⑤ ひとり親になる前となった後での仕事上の変化（問2）

ひとり親になる前となった後での仕事上の変化は、「新たに仕事についた」が42.6%で最も多く、次いで「転職をした」が21.8%となっており、これらを合計すると64.4%がひとり親になったことで就職、転職している。なお「前と同じ仕事を続けている」は20.1%となっている（図表4-2-5-1）。

ひとり親になる前となった後での仕事上の変化について、ひとり親本人の就労収入別にみると、収入300万円以下は「新たに仕事についた」割合が全体に比べて高くなっている。また、400万超では「前と同じ仕事を続けている」人が58.8%となっている（図表4-2-5-2）。

図表4-2-5-1 ひとり親になる前となった後での仕事上の変化（全体）

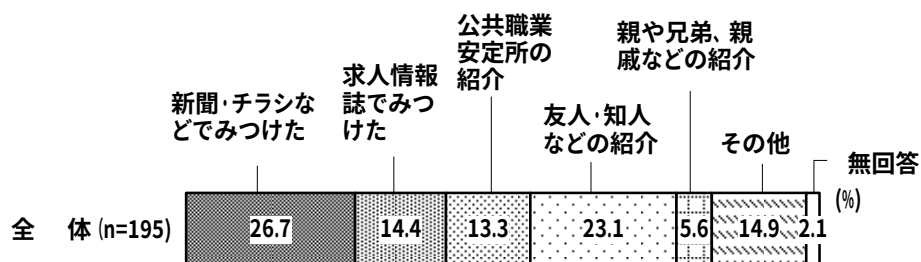
図表4-2-5-2 ひとり親になる前となった後での仕事上の変化（全体、就労収入別）
＜「働いている」と回答した人＞

			▼新たに仕事についた	▼転職をした	▼いままでの仕事のほかに、 あたらな仕事を追加した	▼前と同じ仕事を続けている	▼無職のままである	▼仕事をやめてしまった	▼その他	▼無回答	(%)
全 体 (n=265)			45.7	23.8	3.4	23.0	0.0	0.8	2.6	0.8	
ひとり親の就労収入別	100万円以下 (n=66)		47.0	25.8	1.5	15.2	0.0	3.0	4.5	3.0	
	100万超～200万円以下 (n= 79)		53.2	13.9	10.1	21.5	0.0	0.0	1.3	0.0	
	200万超～300万円以下 (n=66)		48.5	28.8	0.0	19.7	0.0	0.0	3.0	0.0	
	300万超～400万円以下 (n=28)		39.3	35.7	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	400万円超 (n= 17)		17.6	17.6	0.0	58.8	0.0	0.0	5.9	0.0	

⑥ 求職活動の方法（問2-1）

ひとり親になった後で「新たに仕事についた」と「転職をした」と回答した人の求職活動で仕事をみつけた方法は、「新聞・チラシなどでみつけた」が26.7%で最も多く、次いで「友人・知人などの紹介」が23.1%となっている（図表4-2-6）。

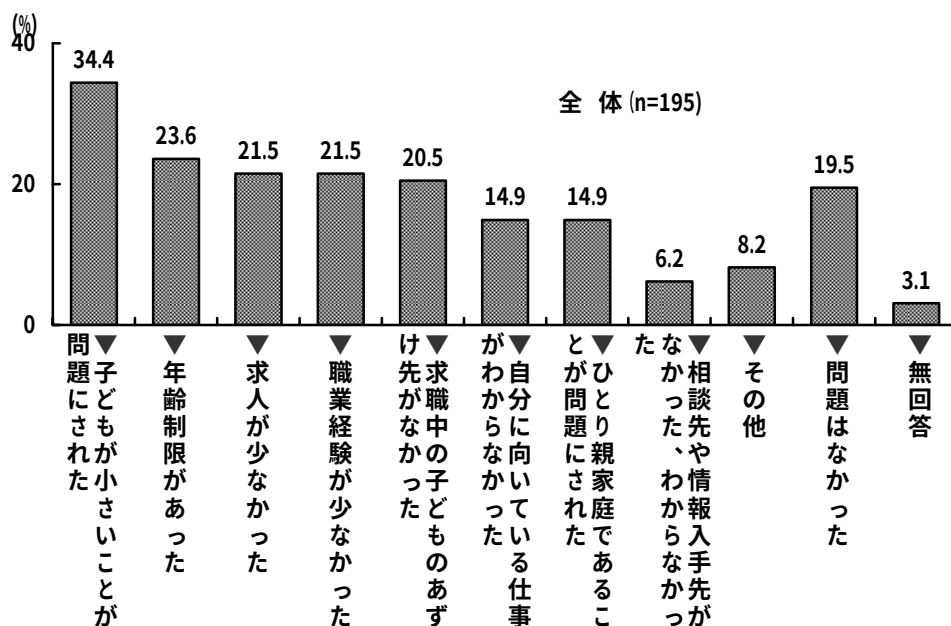
図表4-2-6 求職活動の方法（全体）
 <ひとり親になった後で「新たに仕事についた」、「転職をした」と回答した人>



⑦ 仕事を探しているときの問題点（問2-2）

ひとり親になった後で「新たに仕事についた」と「転職をした」と回答した人の仕事を探しているときの問題点については、「子どもが小さいことが問題にされた」が34.4%で最も多く、次いで「年齢制限があった」が23.6%、「求人が少なかった」が21.5%、「職業経験が少なかった」が21.5%、「求職中の子どものあずけ先がなかった」が20.5%となっている。なお「問題はなかった」も19.5%となっている（図表4-2-7）。

図表4-2-7 仕事を探しているときの問題点（全体：複数回答）
 <ひとり親になった後で「新たに仕事についた」、「転職をした」と回答した人>

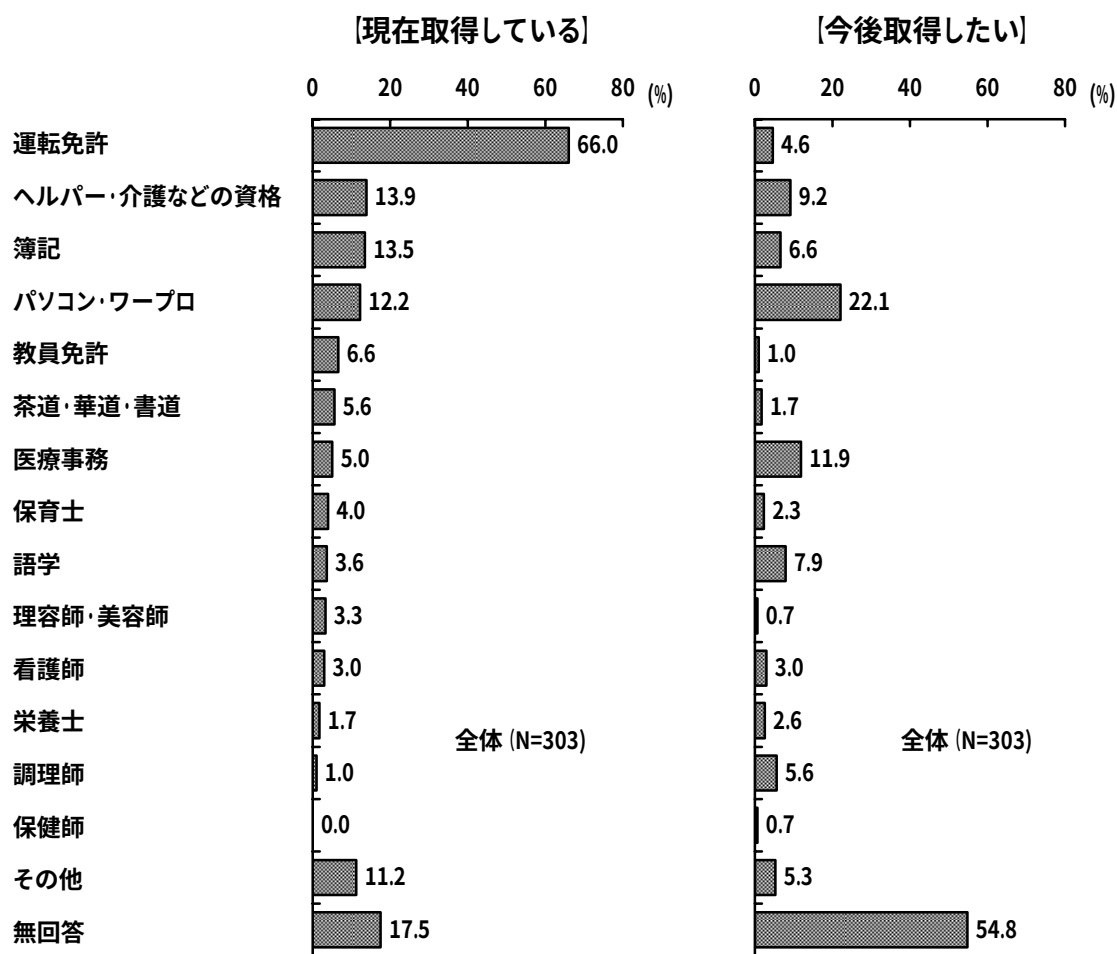


⑧ 資格や免許（問3）

現在取得している資格や免許は、「運転免許」が 66.0%で最も多く、次いで「ヘルパー・介護などの資格」が 13.9%、「簿記」が 13.5%、「パソコン・ワープロ」が 12.2%となっている。現在取得している資格や免許のうち役にたっているのは、「看護師」が 77.8%で最も多く、次いで「調理師」が 66.7%、「ヘルパー・介護などの資格」が 59.5%となっている。

今後取得したい資格や免許は、「パソコン・ワープロ」が 22.1%で最も多く、次いで「医療事務」が 11.9%、「ヘルパー・介護などの資格」が 9.2%となっている（図表4-2-8）。

図表4-2-8 資格や免許（全体：複数回答）



↓
[役にたっている]
＜「現在取得している」と回答した人＞

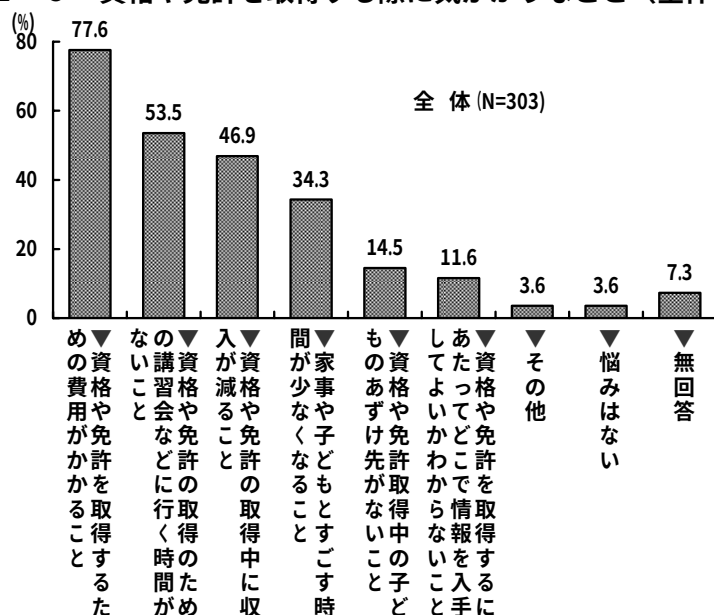
運転免許	(n=200)	29.0%
ヘルパー・介護などの資格	(n=42)	59.5%
簿記	(n=41)	19.5%
パソコン・ワープロ	(n=37)	45.9%
教員免許	(n=20)	20.0%
茶道・華道・書道	(n=17)	5.9%
医療事務	(n=15)	26.7%
保育士	(n=12)	50.0%

語学	(n=11)	9.1%
理容師・美容師	(n=10)	40.0%
看護師	(n=9)	77.8%
栄養士	(n=5)	0.0%
調理師	(n=3)	66.7%
保健師	-	-
その他	(n=34)	67.6%

⑨ 資格や免許を取得する際に気がかりなこと（問4）

資格や免許を取得する際に気がかりなことは、「資格や免許を取得するための費用がかかること」が77.6%で最も多く、次いで「資格や免許を取得するための講習会などに行く時間がないこと」が53.5%、「資格や免許の取得中に収入が減ること」が46.9%となっている。また、「資格や免許を取得するにあたってどこで情報を入手してよいかわからないこと」が11.6%となっている（図表4-2-9）。

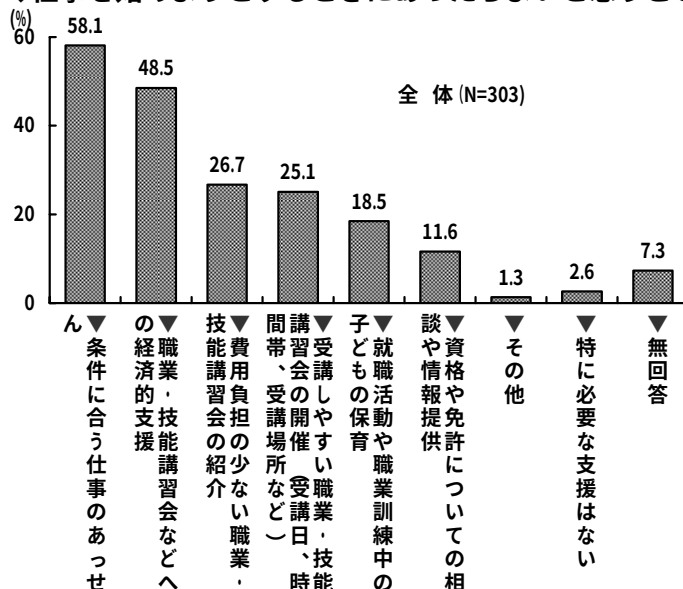
図表4-2-9 資格や免許を取得する際に気がかりなこと（全体：複数回答）



⑩ 新しく仕事を始めようとするときにあったらよいと思うこと（問5）

新しく仕事を始めようとするときにあったらよいと思うことは、「条件に合う仕事のあっせん」が58.1%で最も多く、次いで「職業・技能講習会などへの経済的支援」が48.5%となっている。また、「資格や免許についての相談や情報提供」が11.6%となっている（図表4-2-10）。

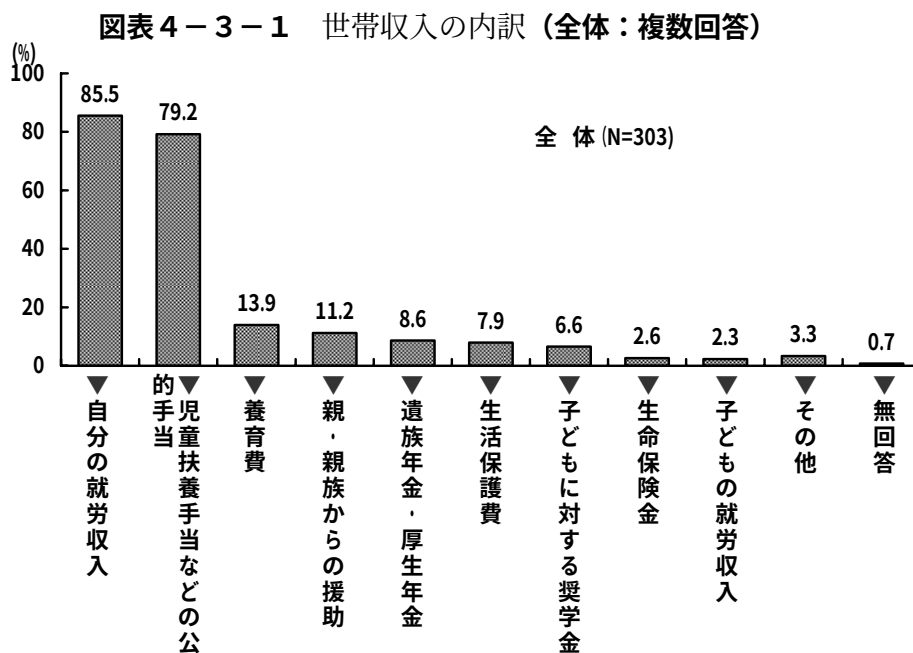
図表4-2-10 新しく仕事を始めようとするときにあったらよいと思うこと（全体：複数回答）



(3) 暮らし向き

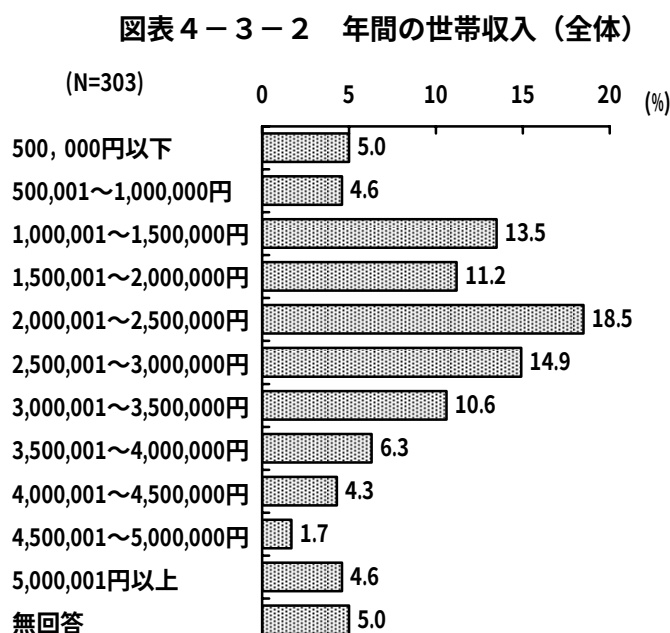
① 世帯収入の内訳 (問 6)

世帯収入の内訳は、「自分の就労収入」が 85.5%で最も多く、次いで「児童扶養手当などの公的手当」が 79.2%となっている。また、「生活保護費」が 7.9%となっている（図表 4-3-1）。



② 年間の世帯収入 (問 7)

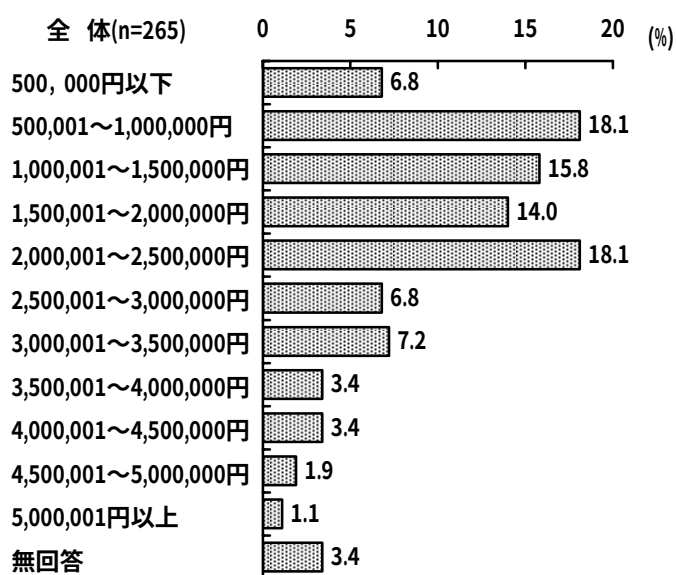
年間の世帯収入は、「200 万 1 円～250 万円」が 18.5%で最も多く、次いで「250 万 1 円～300 万円」が 14.9%、「100 万 1 円～150 万円」が 13.5%となっている。なお、100 万円以下の 9.6%を含め 250 万円以下が 52.8%となっている（図表 4-3-2）。



③ ひとり親の就労収入（問8）

ひとり親の就労収入は、「50万1円～100万円」と「200万1円～250万円」が18.1%で最も多く、次いで「100万1円～150万円」が15.8%、「150万1円～200万円」が14.0%となっている。100万円以下の24.9%を含め、200万円以下が54.7%となっている（図表4-3-3）。

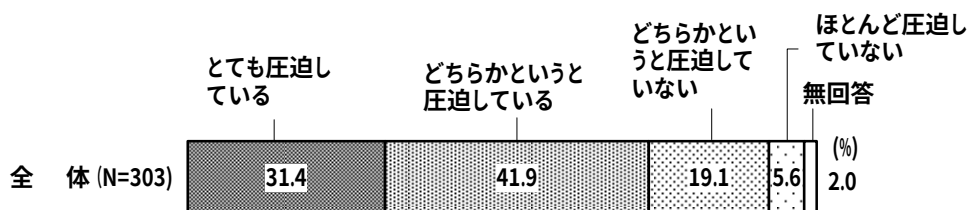
図表4-3-3 ひとり親の就労収入（全体）
＜「働いている」と回答した人＞



④ 育児費・教育費の家計への圧迫（問9）

育児費・教育費の家計への圧迫は、「どちらかというと圧迫している」の41.9%と「とても圧迫している」の31.4%を合計すると73.3%となっている（図表4-3-4）。

図表4-3-4 育児費・教育費の家計への圧迫（全体）

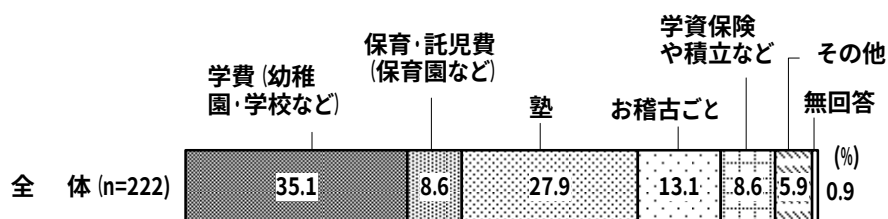


⑤ 育児費・教育費の中で最も負担の大きい支出（問 9－1）

育児費・教育費の中で最も負担の大きい支出は、「学費（幼稚園・学校など）」が 35.1%で最も多く、次いで「塾」が 27.9%、「お稽古ごと」が 13.1%となっている（図表 4－3－5）。

図表 4－3－5 育児費・教育費の中で最も負担の大きい支出（全体）

<育児費・教育費が家計を「とても圧迫している」、「どちらかというと圧迫している」と回答した人>



(4) 日ごろの子育て

① 日ごろ、子どもをあずかってくれる人の有無（問 10）

日ごろ、子どもをあずかってくれる人の有無は、緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にあずかってもらえる」が 40.9%で最も多く、次いで「日常的に祖父母などの親族にあずかってもらえる」が 21.8%となっている。一方で「いずれもない」は 24.4%となっている。

同居家族の有無別にみると、「日常的に祖父母などの親族にあずかってもらえる」と答えた人は、同居者ありの家庭では 59.3%だが、母子・父子のみの家庭は 8.1%となっている。母子・父子のみの家庭は「いずれもない」が 31.7%となっている（図表 4－4－1）。

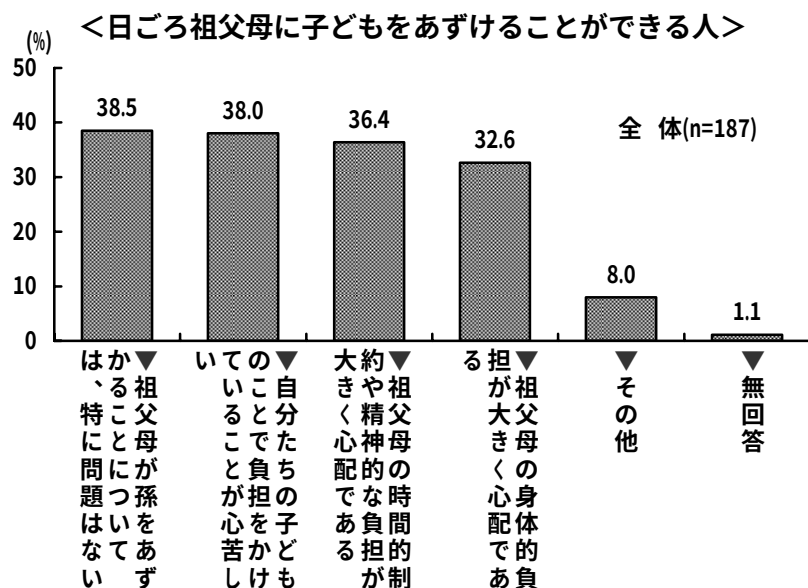
図表 4－4－1 日ごろ、子どもをあずかってくれる人の有無
(全体、同居家族の有無別:複数回答)

		ずには緊 か祖急 っ父時 てもし らなく えど は親 族用 事 に あ 際	族に日 にあ常 ず的 か祖 っ父 母 ら え ど の 親	るには緊 友は急 人、子 ・時 知ど 人し がく を あ は 用 事 の れ 際	られ日 る常 友に 人子 ・知 人ど が を あ ず け る 際	い ず れ も な い	無 回 答
全 体 (N=303)		40.9	21.8	12.5	2.0	24.4	4.6
同居家族の 有無別	母子・父子のみ (n=221)	43.0	8.1	15.4	1.8	31.7	5.4
	同居者あり (n= 81)	35.8	59.3	4.9	2.5	3.7	2.5

② 祖父母に子どもをあずけていることに関する意識（問10-1）

祖父母に子どもをあずけていることに関する意識は、「祖父母が孫をあずかることについては、特に問題はない」が38.5%で最も多く、次いで「自分たちの子どものことで、負担をかけていることが心苦しい」が38.0%、「祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が36.4%となっている（図表4-4-2）。

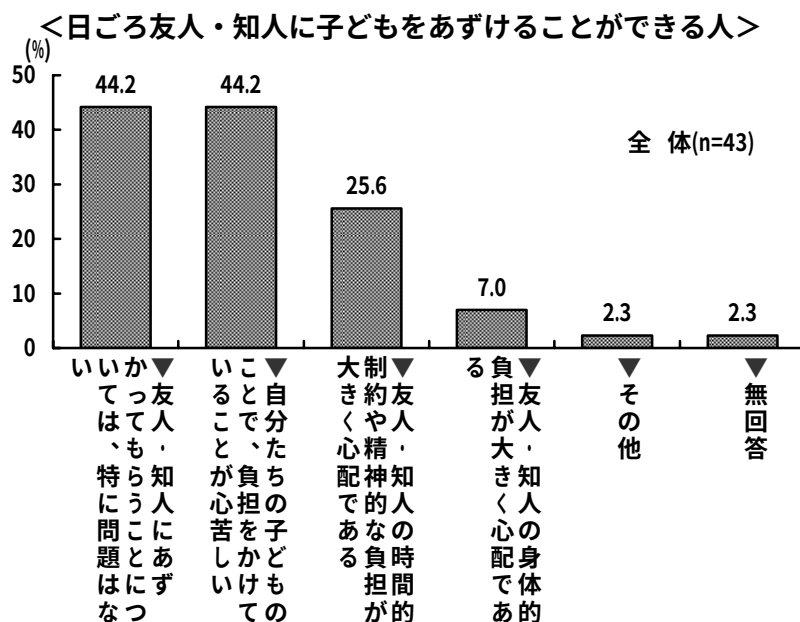
図表4-4-2 祖父母に子どもをあずけていることに関する意識（全体：複数回答）



③ 友人・知人に子どもをあずけていることに関する意識（問10-2）

友人・知人に子どもをあずけていることに関する意識は、「友人・知人にあずかってもらうことについては、特に問題はない」と「自分たちの子どものことで、負担をかけていることが心苦しい」がどちらも44.2%で最も多くなっている（図表4-4-3）。

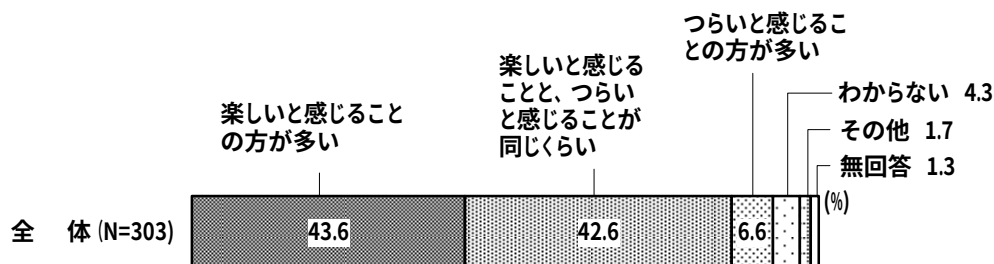
図表4-4-3 友人・知人に子どもをあずけていることに関する意識（全体：複数回答）



④ 子育てが楽しいと感じる程度（問 11）

子育てが楽しいと感じる程度は、「楽しいと感じることの方が多い」が43.6%、「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」が42.6%となっている（図表4-4-4）。

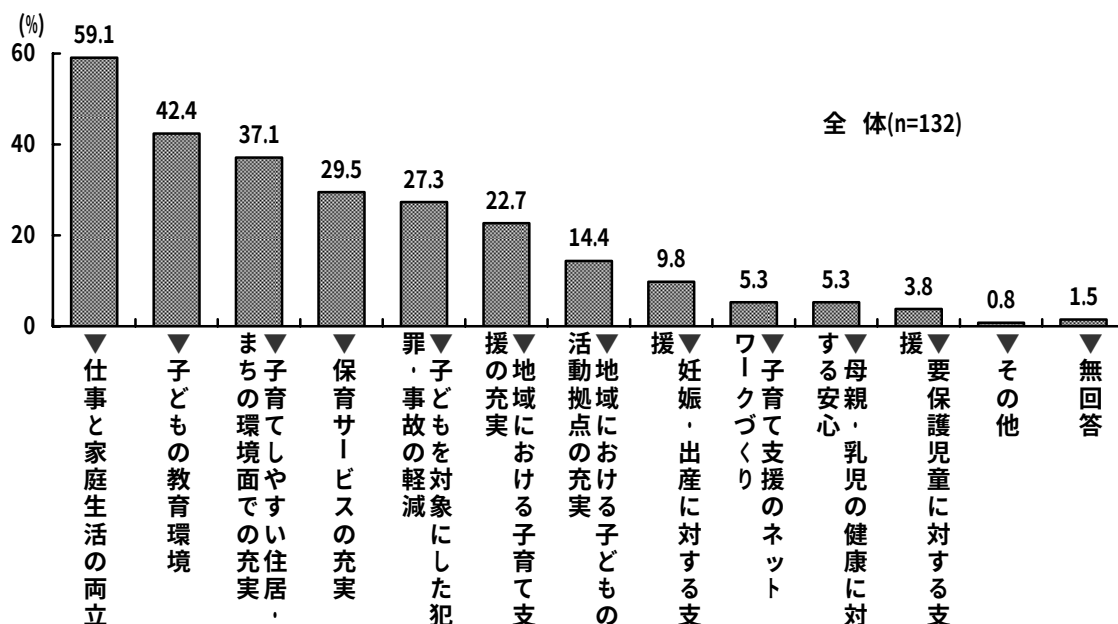
図表4-4-4 子育てが楽しいと感じる程度（全体）



⑤ 子育てをする中で有効な支援・対策（問 11-1）

子育てが「楽しいと感じることの方が多い」人が子育てをする中で有効だと考える支援・対策は、「仕事と家庭生活の両立」が59.1%で最も多く、次いで「子どもの教育環境」が42.4%、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が37.1%となっている（図表4-4-5）。

図表4-4-5 子育てをする中で有効な支援・対策（全体：複数回答（3つまで））
 <子育てが「楽しいと感じることの方が多い」と回答した人>

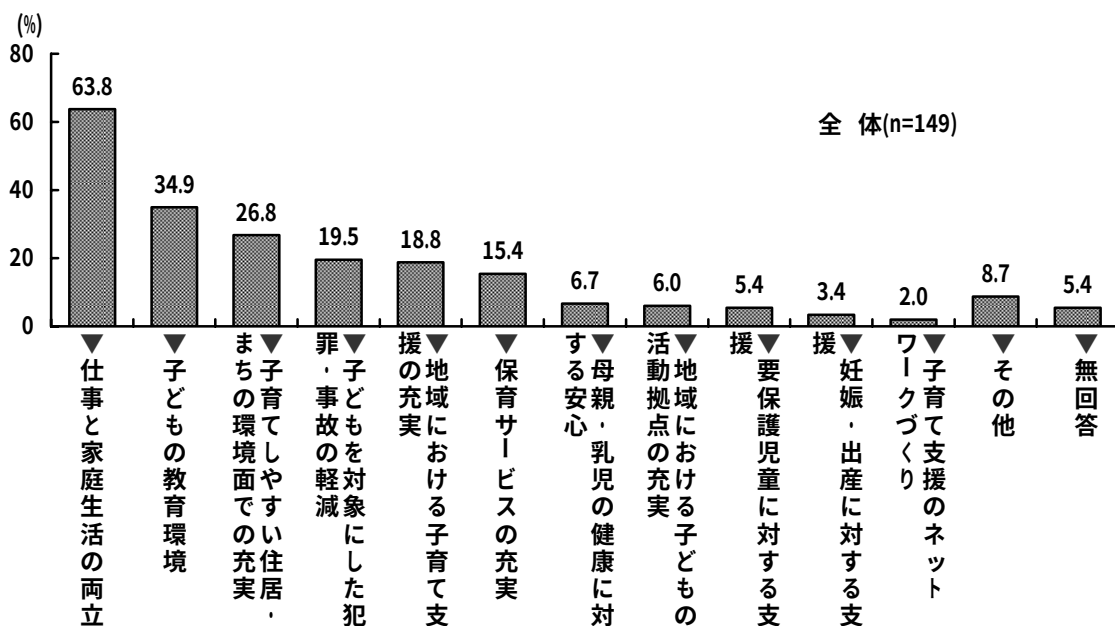


⑥ 子育ての辛さを解消するために必要なこと（問 11－2）

子育てが「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」または「つらいと感じることの方が多い」と答えた人が、子育ての辛さを解消するために必要だと考えることは、「仕事と家庭生活の両立」が63.8%で最も多く、次いで「子どもの教育環境」が34.9%、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が26.8%となっている（図表4－4－6）。

図表4－4－6 子育ての辛さを解消するために必要なこと（全体：複数回答（3つまで））

＜子育てが「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」、
「つらいと感じることの方が多い」と回答した人＞

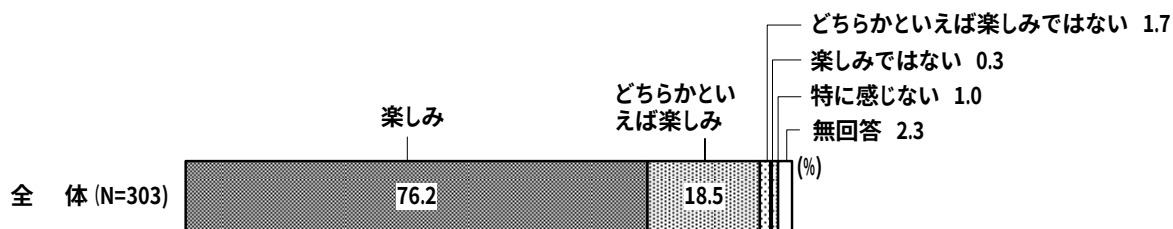


⑦ 日ごろの子育てについて感じていること（問 12）

◇子どもの成長について

子どもの成長については、「楽しみ」の 76.2%と「どちらかといえば楽しみ」の 18.5%を合計すると 94.7%となる（図表 4-4-7-1）。

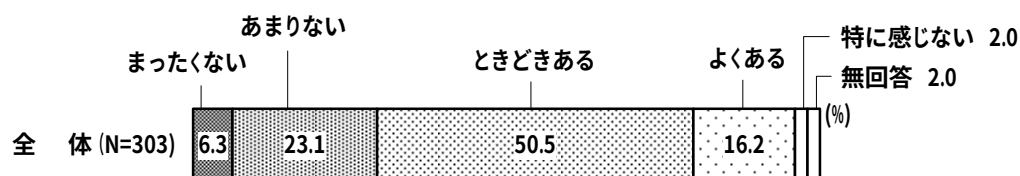
図表 4-4-7-1 子どもの成長について（全体）



◇子育てに自信がもてなくなること

子育てに自信がもてなくなることは、「ときどきある」の 50.5%と「よくある」の 16.2%を合計すると 66.7%となる（図表 4-4-7-2）。

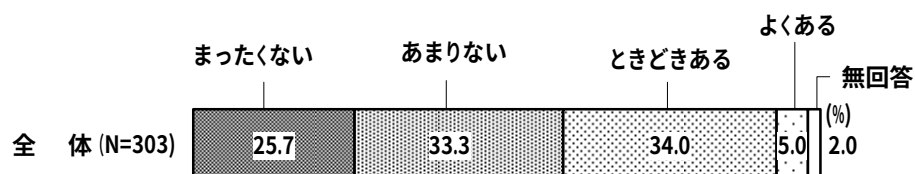
図表 4-4-7-2 子育てに自信がもてなくなること（全体）



◇子育てが嫌になること

子育てが嫌になることは、「ときどきある」の 34.0%と「よくある」の 5.0%を合計すると 39.0%となる（図表 4-4-7-3）。

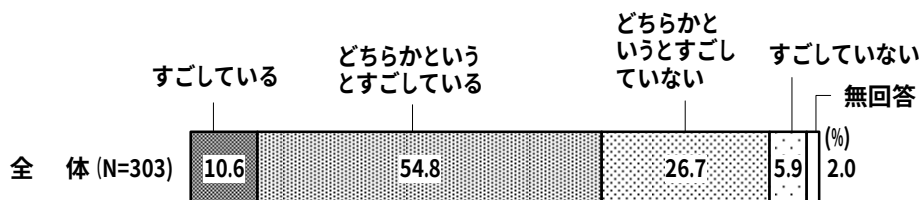
図表 4-4-7-3 子育てが嫌になること（全体）



◇ゆったりした気分で子どもとすごしているか

ゆったりした気分で子どもとすごしているかについては、「どちらかというとしどしていない」の26.7%と「すごしていない」の5.9%を合計すると32.6%となる（図表4-4-7-4）。

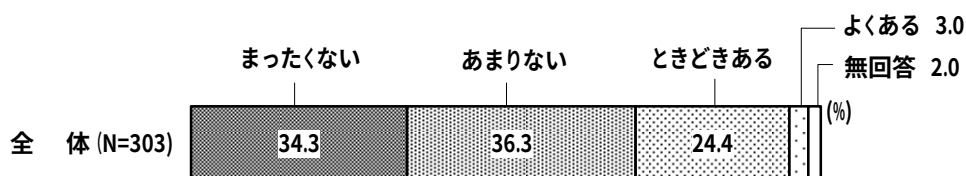
図表4-4-7-4 ゆったりとした気分で子どもとすごしているか（全体）



◇イライラして子どもをたたいてしまうこと

イライラして子どもをたたいてしまうことは、「ときどきある」の24.4%と「よくある」の3.0%を合計すると27.4%となる（図表4-4-7-5）。

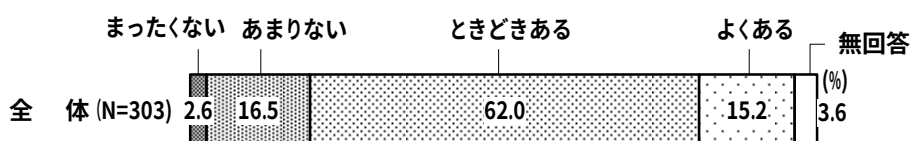
図表4-4-7-5 イライラして子どもをたたいてしまうこと（全体）



◇しつけのために子どもを厳しくしかること

しつけのために子どもを厳しくしかることは、「ときどきある」の62.0%と「よくある」の15.2%を合計すると77.2%となる（図表4-4-7-6）。

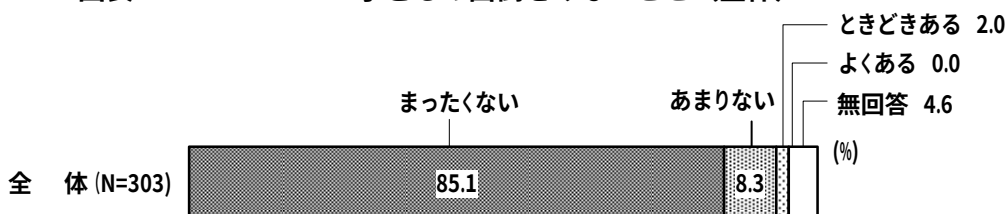
図表4-4-7-6 しつけのために子どもを厳しくしかること（全体）



◇子どもの面倒をみないこと

子どもに食事を与えない、風呂に入れないなど子どもの面倒をみないことは、「まったくない」が85.1%となっているが、「ときどきある」が2.0%（6人）であり、少数ながら回答した人もいる（図表4-4-7-7）。

図表4-4-7-7 子どもの面倒をみないこと（全体）



日ごろの子育てについて感じるもののうち、以下の4項目について、「よくある」を3点、「ときどきある」を2点、「あまりない」を1点、「ない」・「無回答」を0点として点数化し合計した。母子・父子のみの家庭は6点以上が25.4%となっているが、同居者のある家庭では6点以上は17.3%となっている。また母子・父子のみの家庭は9点以上が2.8%となっているが、同居者のある家庭では9点以上はない（図表4-4-7-8）。

対象の項目：「子育てが嫌になること」

「イライラして子どもをたたいてしまうこと」

「しつけのために子どもを厳しくしかること」

「子どもに食事を与えない、風呂に入れないなど子どもの面倒をみないこと」

図表4-4-7-8 日ごろの子育てについて（全体：同居家族の有無別）

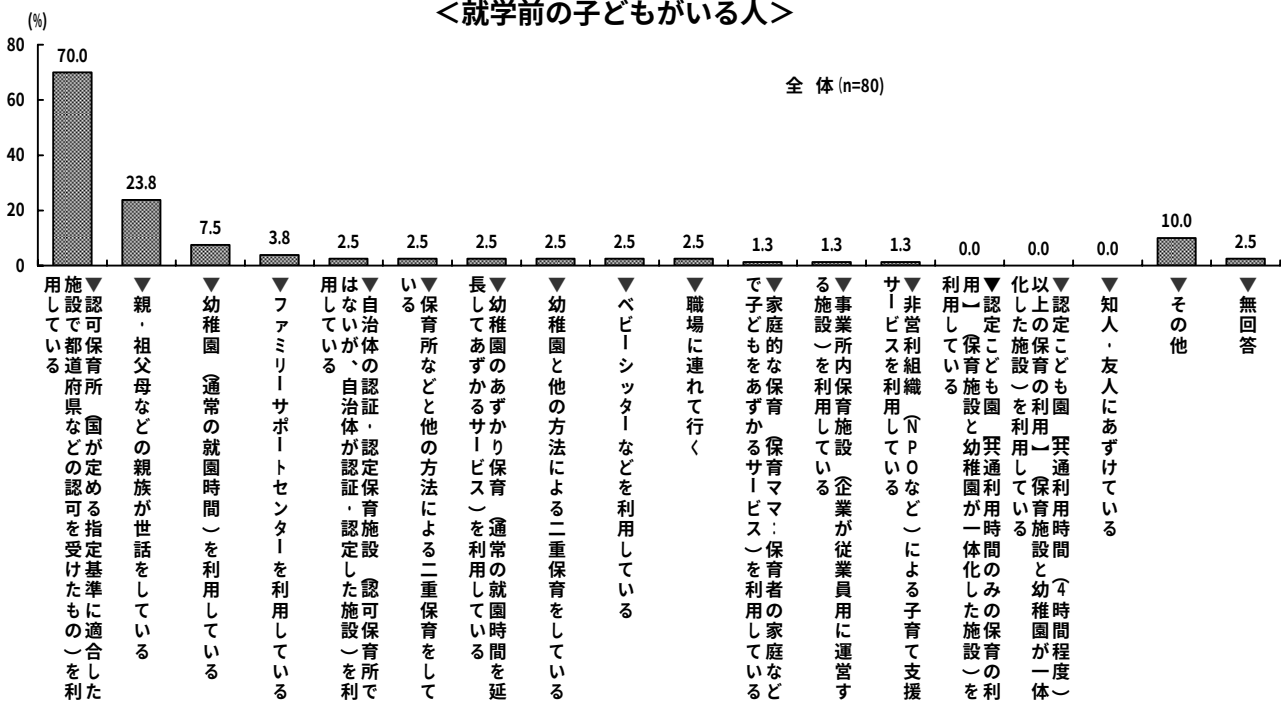
		（％）														平均
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	11点	12点		
全 体 (N=303)		3.3	3.0	15.8	20.1	18.5	16.2	10.9	7.6	2.6	1.0	0.7	0.3	0.0		4.1点
同居家族の有無別	母子・父子のみ (n=221)	3.6	3.2	16.3	18.1	16.3	17.2	12.2	7.7	2.7	1.4	0.9	0.5	0.0		4.2点
	同居者あり (n= 81)	2.5	2.5	14.8	25.9	24.7	12.3	7.4	7.4	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0		3.9点

(5) 日ごろの子どものすごし方

① 就学前の子どものすごし方（問 13）

就学前の子どものすごし方は、「認可保育所を利用している」が 70.0%で最も多く、次いで「親・祖父母などの親族が世話をしている」が 23.8%となっている（図表 4－5－1）。

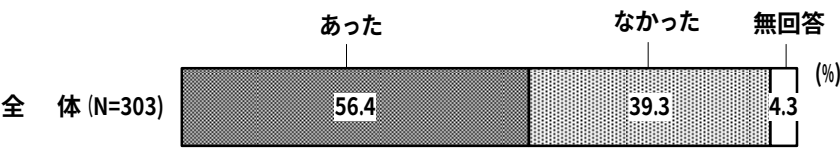
図表 4－5－1 就学前の子どものすごし方（全体：複数回答）
＜就学前の子どもがいる人＞



② 病気やケガで保育サービスを利用できなかったり、学校を休まなければならなかったことの有無（問 14）

この1年間に子どもが病気やケガで通常の保育サービスを利用できなかったり学校を休まなかったりしなければならなかったことの有無は、「あった」が 56.4%、「なかった」が 39.3%となっている（図表 4－5－2）。

図表 4－5－2 この1年間に病気やケガで保育サービスを利用できなかったり、学校を休まなければならなかったことの有無（全体）



③ 病気やケガで保育サービスを利用できなかったり、学校を休まなければならなかったときの対処方法と日数（問 14-1-①）

この1年間に子どもが病気やケガで通常の保育サービスを利用できなかったり、学校を休まなかったりしなければならなかったときの対処方法は、「仕事を休んで自分で世話をした」が64.9%で最も多く、次いで「親族・知人にあずけた」が33.9%、「子どもだけで留守番させた」が32.2%となっている。

それぞれの平均日数は、「日ごろ自宅にいたので、自分で世話をした」が11.1日で最も多く、次いで「病院や診療所の病児・病後児保育を利用した」が9.2日となっている。対処方法で最も多かった「仕事を休んで自分で世話をした」の平均日数は6.4日となっている（図表4-5-3）。

図表4-5-3 病気やケガで保育サービスを利用できなかったり、学校を休まなければならなかったときの対処方法と対処した平均日数（全体：複数回答）

＜この1年間に病気やケガで保育サービスを利用できなかったり学校を休まなければならなかったことが「あった」と回答した人＞

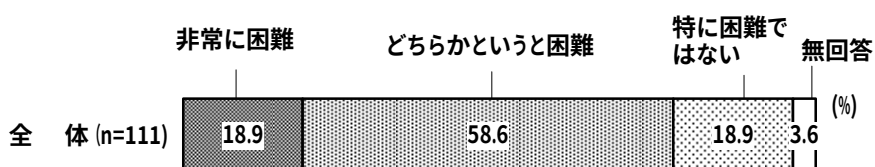
(n=171)

対処方法	割合 (%)	平均日数 (日)
仕事を休んで自分で世話をした	64.9	6.4
親族・知人（同居者を含む）にあずけた	33.9	6.5
子どもだけで留守番させた	32.2	3.3
日ごろ自宅にいたので、自分で世話をした	10.5	11.1
子連れで仕事をした（出勤・在宅とも）	5.3	6.0
病院や診療所の病児・病後児保育を利用した	2.9	9.2
ベビーシッターを利用した	1.2	8.5
認可保育所の病後児保育を利用した	0.6	3.0
ファミリーサポートセンターを利用した	0.6	1.0
子ども家庭支援センター「しらとり」の病後児保育を利用した	0.0	-
非営利組織（NPOなど）による子育て支援サービスを利用した	0.0	-
その他	3.5	3.4
無回答	0.6	

④ 仕事を休むことの困難さ（問 14-1-②）

この1年間に子どもが病気やケガで通常の保育サービスを利用できなかったり、学校を休まなかったりしなければならなかったときの対処方法として、「仕事を休んで自分で世話をした」と回答した人の仕事を休むことの困難さは、「どちらかという困難」が58.6%であり、「非常に困難」の18.9%を合計すると困難と答えた人は77.5%となる（図表4-5-4）。

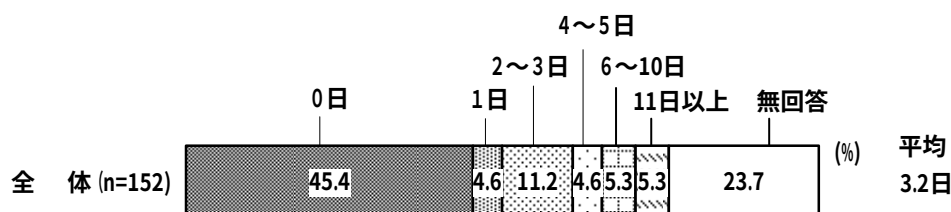
図表4-5-4 仕事を休むことの困難さ（全体）
＜対処方法として「仕事を休んで自分で世話をした」と回答した人＞



⑤ できれば施設にあずけたいと思った日数（問 14-1-③）

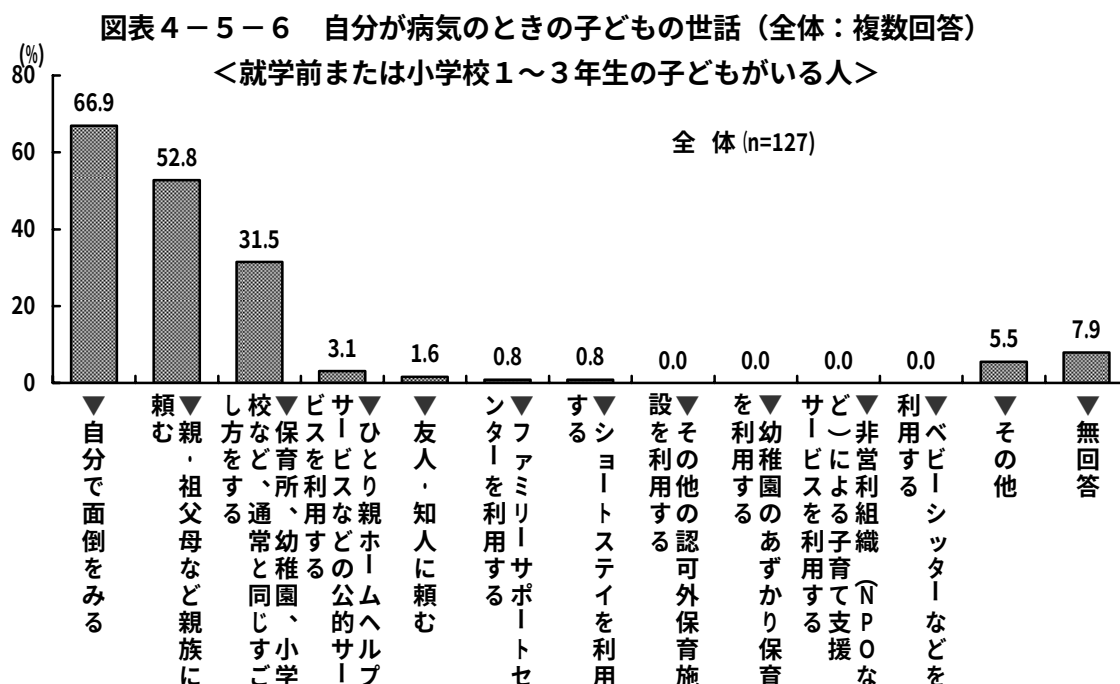
この1年間に子どもが病気やケガで通常の保育サービスを利用できなかったり、学校を休まなかったりしなければならなかったときに、「仕事を休んで自分で世話をした」、「親族・知人にあずけた」、「子連れで仕事をした」、「子どもだけで留守番をさせた」と回答した人の、できれば施設にあずけたいと思われた日数は、最も多いのは「0日」の45.4%で、次いで「2～3日」の11.2%となっている。平均日数は3.2日となっている（図表4-5-5）。

図表4-5-5 できれば施設にあずけたかった日数【病児・病後児保育の利用希望】（全体）
 <「仕事を休んで自分で世話をした」、「親族・知人にあずけた」、
 「子連れで仕事をした」、「子どもだけで留守番をさせた」と回答した人>



⑥ 自分が病気の子どもの世話（問 15）

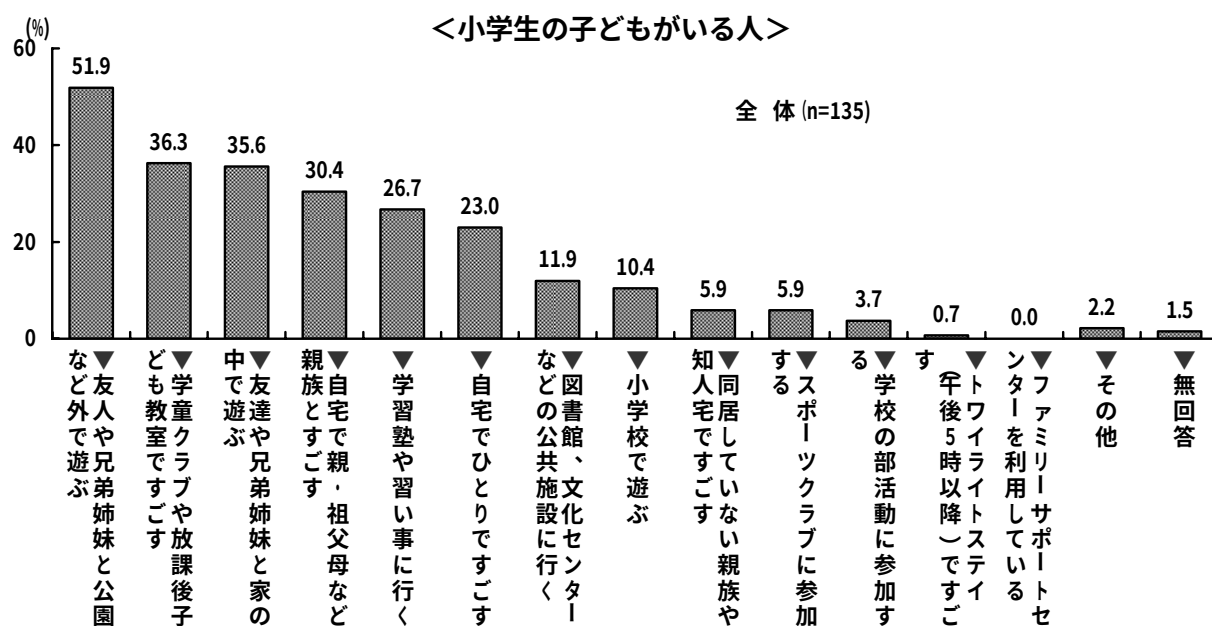
就学前または小学校1～3年生の子どもがいる人に、自分が病気の子どもの世話についてたずねたところ、「自分で面倒をみる」が66.9%で最も多く、次いで「親・祖父母など親族に頼む」が52.8%、「保育所、幼稚園、小学校など、通常と同じすごし方をする」が31.5%となっている（図表4-5-6）。



⑦ 小学生の子どもの放課後の過ごし方（問 16）

小学生の子どもがいる人に、子どもの放課後の過ごし方をたずねたところ、「友人や兄弟姉妹と公園など外で遊ぶ」が51.9%で最も多くなっている。また、公の施設を利用したり友達と過ごすの他に、「自宅でひとりですぐす」が23.0%となっている（図表4-5-7）。

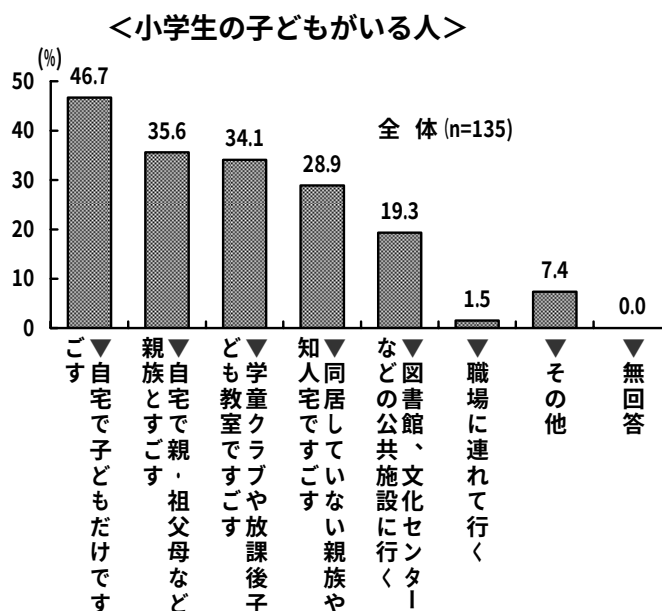
図表4-5-7 小学生の子どもの放課後の過ごし方（全体：複数回答（3つまで））



⑧ 小学生の子どもの学校が長期休業中の過ごし方（問 17）

小学生の子どもがいる人に、学校が長期休業中の子どもの過ごし方をたずねたところ、「自宅で子どもだけですぐす」が46.7%で最も多く、次いで「自宅で親・祖父母など親族とすぐす」が35.6%、「学童クラブや放課後子ども教室ですぐす」が34.1%となっている（図表4-5-8）。

図表4-5-8 小学生の子どもの学校が長期休業中の過ごし方（全体：複数回答（3つまで））

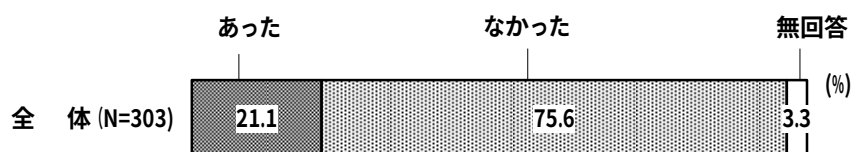


⑨ 泊りがけの外出の際、子どもを連れて行くことが困難であったことの有無(問 18)

この1年間に泊りがけの外出の際に子どもを連れて行くことが困難であったことの有無は、「あった」が21.1%、「なかった」が75.6%となっている(図表4-5-9)。

図表4-5-9

この1年間に泊りがけの外出の際、子どもを連れて行くことが困難であったことの有無(全体)



⑩ 泊りがけで子どもを連れて行くことが困難であった際の対処方法と泊数(問 18-1)

この1年間に泊りがけの外出の際に子どもを連れて行くことが困難であった際の対処の方法は、「親族・知人にあずけた」が62.5%で最も多く、次いで「子どもだけで留守番させた」が26.6%となっている。なお、「子どもだけで留守番させた」家庭は全17件で、子どもの成長段階別に子どもの年齢をみると、長子の年齢が、「その他」が4人、「高校生」が5人、「中学生」が6人、「小学校高学年」が2人となっている。

対処方法で最も多い「親族・知人にあずけた」の平均泊数は6.2泊となっている(図表4-5-10)。

図表4-5-10 泊りがけで子どもを連れて行くことが困難であった際の対処方法と泊数
(全体：複数回答)

＜この1年間に泊りがけの外出の際、子どもの同伴が困難なことが「あった」と回答した人＞

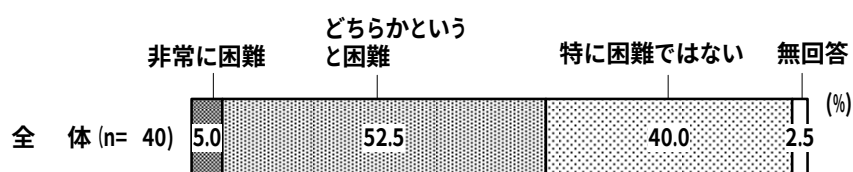
(n=64)

対処方法	割合 (%)	平均泊数 (泊)
親族・知人(同居者を含む)にあずけた	62.5	6.2
子どもだけで留守番させた	26.6	2.4
子どもも連れて行った	9.4	2.2
保育サービスを利用した	4.7	3.7
その他	4.7	22.0
無回答	1.6	

⑪ 子どもを親族・知人にあずけることの困難さ（問 18-2）

泊りがけの外出の際、子どもを親族・知人にあずける困難さは、「どちらかという困難」の 52.5%と「非常に困難」の 5.0%を合計すると困難と答えた人は 57.5%となる。なお、「特に困難ではない」も 40.0%となっている（図表 4-5-11）。

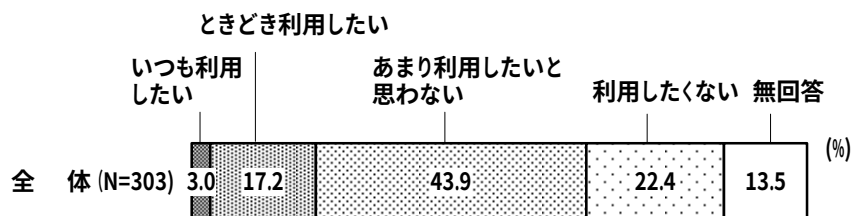
図表 4-5-11 子どもを親族・知人にあずけることの困難さ（全体）
 ＜泊りがけの外出の際に子どもを「親族・知人にあずけた」と回答した人＞



⑫ ショートステイの利用意向（問 19）

ショートステイの利用意向は、「いつも利用したい」の 3.0%と「ときどき利用したい」の 17.2%を合計すると 20.2%となる（図表 4-5-12）。

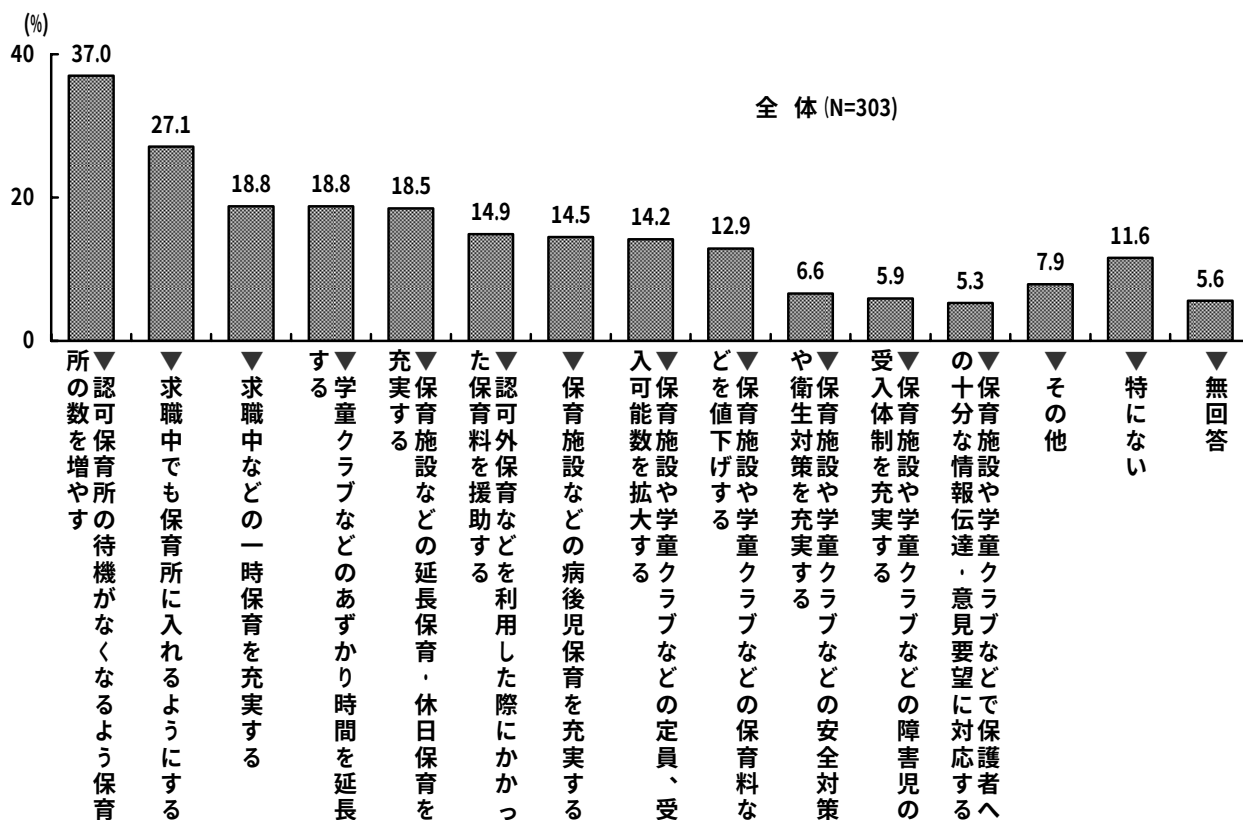
図表 4-5-12 ショートステイの利用意向（全体）



⑬ 子育てに関してあったらよいと思うこと（問 20）

子育てに関してあったらよいと思うことは、「認可保育園の待機がなくなるよう保育所の数を増やす」が37.0%で最も多く、次いで「求職中でも保育所に入れるようにする」が27.1%となっている（図表4-5-13）。

図表4-5-13 子育てに関してあったらよいと思うこと（全体：複数回答（3つまで））



(6) 生活や子育ての心配ごと

① 生活をしていくにあたって心配なこと (問 21)

生活をしていくにあたって心配なことは、「生活費のこと」が 84.2%で最も多く、次いで「仕事のこと」が 61.1%、「自分の健康のこと」が 55.1%となっている。

同居家族の有無別でみると、母子・父子のみの家庭は同居者ありの家庭に比べて、「自分の健康のこと」を心配する人の割合が高くなっている。また、就労の有無別でみると、働いていない人は働いている人に比べて「生活費のこと」、「自分の健康のこと」、「子どもの健康のこと」などを心配する人の割合がやや高くなっている（図表 4－6－1）。

図表 4－6－1 生活をしていくにあたって心配なこと
(全体、同居家族の有無別、就労の有無別：複数回答)

		生活費のこと	仕事のこと	自分の健康のこと	子どもの健康のこと	子育てのこと	住居のこと	家事のこと	借金の返済のこと	結婚のこと	元夫または元妻のこと	その他	特にない	無回答
全 体 (N=303)		84.2	61.1	55.1	44.2	42.2	39.6	15.5	11.9	6.3	5.6	7.6	2.3	1.7
同居家族の有無別	母子・父子のみ (n=221)	83.3	61.1	58.8	44.3	40.3	38.0	14.9	11.3	4.5	4.5	7.7	2.3	2.3
	同居者あり (n= 81)	86.4	61.7	44.4	43.2	48.1	44.4	17.3	13.6	11.1	8.6	7.4	2.5	0.0
就労の有無別	働いている (n=265)	83.4	60.8	53.6	43.8	42.6	39.6	15.8	12.1	6.0	6.0	7.5	2.6	1.9
	働いていない (n= 37)	89.2	62.2	67.6	48.6	40.5	37.8	13.5	10.8	8.1	2.7	8.1	0.0	0.0

② 子育ての中で日ごろ悩んでいること、気になること（問 22）

子育ての中で日ごろ悩んでいること、気になることは、「学費など子どもにかかるお金のこと」が 73.9%で最も多く、次いで「子どもの教育・塾、進路に関すること」が 50.8%、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が 30.7%となっている。

同居家族の有無別にみると、母子・父子のみの家庭は同居者ありの家庭に比べて、「子どもとの接し方に自信が持てないこと」、「子どものほめ方、しかり方がよくわからないこと」、「友だちづきあいなど対人関係に関すること」、「子どものことに関する話し相手や相談相手がないこと」の割合がやや高くなっている。一方、同居者ありの家庭は母子・父子のみの家庭に比べて、「発育・発達に関すること」、「食事や栄養に関すること」、「子どもに落ち着きのないこと」の割合が高くなっている。

就労の有無別にみると、働いていない人は働いている人に比べて、「病気に関すること」や「発育・発達に関すること」、「子育ての方法がよくわからないこと」など 11 項目において割合が高くなっている。一方、働いている人は働いていない人に比べて、「子どもとの時間を十分にとれないこと」の割合が高くなっている（図表 4-6-2）。

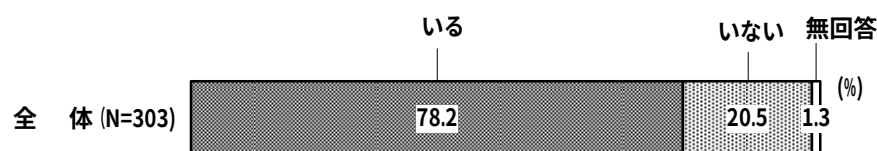
図表 4-6-2 子育ての中で日ごろ悩んでいること、気になること
（全体、同居家族の有無別、就労の有無別：複数回答）

		▼学費など、子どもにかかるお金のこと	▼子どもの教育・塾、進路に関する	▼子どもとの時間を十分にとれないこと	▼病気に関すること	▼友だちづきあいなど対人関係に関する	▼仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	▼わからないこと／しかり方がよくわからないこと	▼発育・発達に関する	▼食事や栄養に関する	▼子どもとの接し方に自信が持てないこと	▼いじめに関する	▼子どもに落ち着きがないこと	▼子どもと話し相手や相談相手がないこと	▼子育ての方法がよくわからないこと	▼その他	▼特にな	▼無回答
全	体 (N=303)	73.9	50.8	30.7	26.4	24.1	23.4	13.9	13.5	13.2	12.5	11.6	10.6	8.3	5.0	2.6	2.6	2.6
同居家族の有無別	母子・父子のみ (n=221)	74.7	51.6	30.3	24.9	25.3	23.1	14.9	10.9	10.0	13.6	10.4	9.0	9.0	5.4	3.2	3.2	2.3
	同居者あり (n= 81)	71.6	49.4	32.1	29.6	21.0	24.7	11.1	21.0	21.0	9.9	14.8	14.8	6.2	3.7	1.2	1.2	3.7
就労の有無別	働いている (n=265)	74.3	51.3	34.7	24.2	23.4	23.8	12.8	12.1	12.5	11.7	10.6	10.2	7.9	3.8	2.6	3.0	2.3
	働いていない (n= 37)	70.3	48.6	2.7	43.2	29.7	21.6	21.6	24.3	18.9	18.9	18.9	13.5	10.8	13.5	2.7	0.0	5.4

③ 子育てについて気軽に相談できる人の有無（問 23）

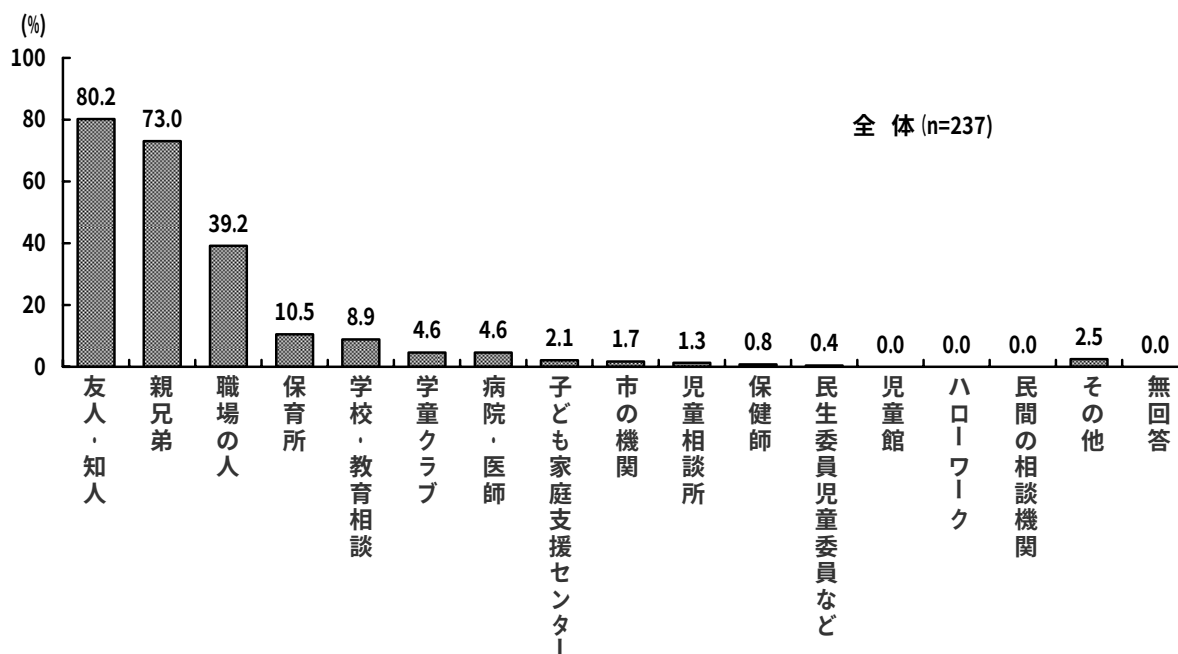
子育てについて気軽に相談できる人の有無は、「いる」が 78.2%となっている（図表 4－6－3）。

図表 4－6－3 子育てについて気軽に相談できる人の有無（全体）



④ 子育てについて気軽に相談できる人（問 23－1）

子育てについて気軽に相談できる人は、「友人・知人」が 80.2%で最も多く、次いで「親兄弟」が 73.0%、「職場の人」が 39.2%となっている（図表 4－6－4）。

図表 4－6－4 子育てについて気軽に相談できる人（全体：複数回答）
＜子育てについて気軽に相談できる人が「いる」と回答した人＞

⑤ 子育て相談施設等の利用状況（問 24）

子育て相談施設等の利用状況は、「利用している」と「利用したことがある」を合計した割合は、「児童館」が17.5%で最も多く、次いで「子ども家庭支援センター「たち」」が14.8%、「育児相談」が14.5%となっているが、いずれも10%台である。一方「知らない」の割合は「東京ウィメンズプラザ」が60.1%で最も多く、次いで「家庭教育に関する学級・講座」が53.1%、「東京都教育相談センター」が52.1%、「子育て支援情報誌（「子育てのたまたま箱」など）」が51.2%となっている（図表4-6-5）。

図表4-6-5 子育て相談施設等の利用状況（全体）

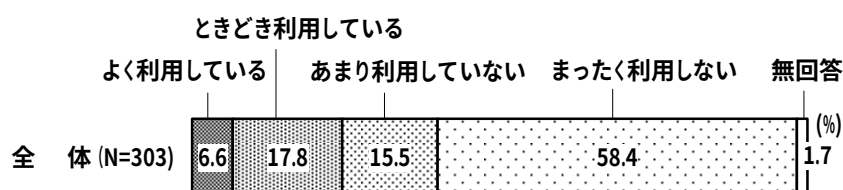


(7) 子育て支援サービスに関する情報

① 子育て情報入手のためのインターネット利用状況 (問 25)

子育てに関する情報を入手する手段としてのインターネットの利用の状況は、「まったく利用していない」が 58.4%、「あまり利用していない」が 15.5%であり、合計すると利用していない人は 73.9%となる (図表 4-7-1)。

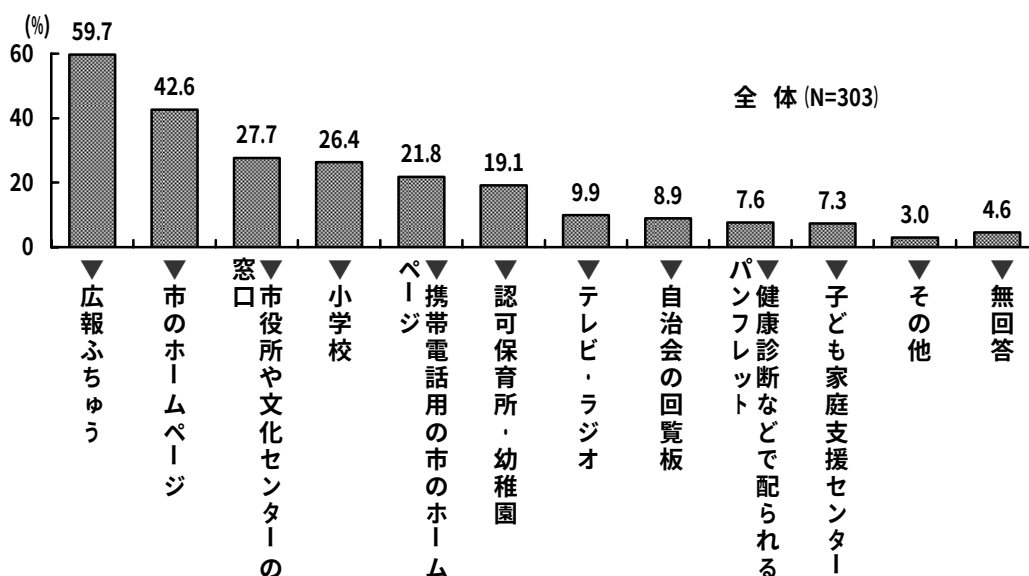
図表 4-7-1 子育て情報入手のためのインターネット利用状況 (全体)



② 子育て支援サービスの情報源としてよいと思うもの (問 26)

子育て支援サービスに関する情報源としてよいと思うものは、「広報ふちゅう」が 59.7%で最も多く、次いで「市のホームページ」が 42.6%となっている (図表 4-7-2)。

図表 4-7-2 子育て支援サービスの情報源としてよいと思うもの (全体：複数回答)

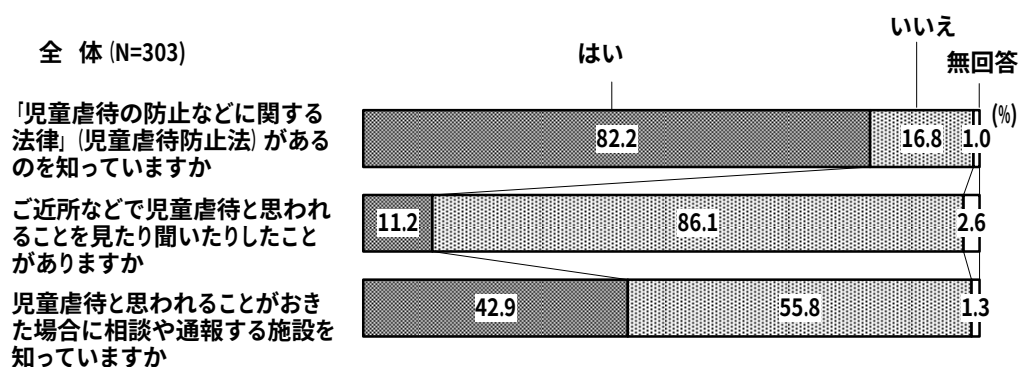


(8) 児童虐待防止

① 児童虐待に関する認知状況（問 27）

児童虐待に関する認知状況は、「「児童虐待の防止などに関する法律」（児童虐待防止法）があるのを知っていますか」では「はい」が 82.2%となっているが、「児童虐待と思われることがおきた場合に相談や通報する施設を知っていますか」では「はい」が 42.9%となっている。また、「ご近所などで児童虐待と思われることを見たり聞いたりしたことがありますか」では「はい」が 11.2%（34 人）となっている（図表 4－8－1）。

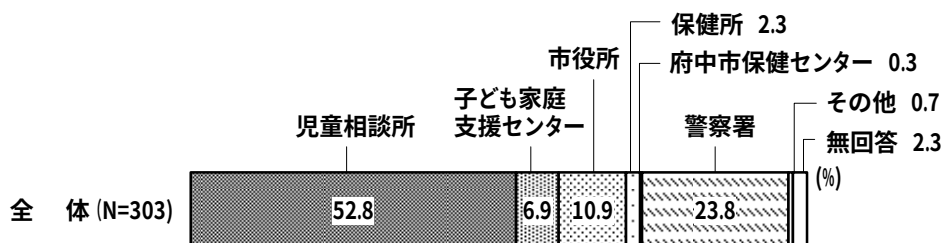
図表 4－8－1 児童虐待について（全体）



② 児童虐待の通報先（問 28）

児童虐待を見聞きしたときに通報する場所は、「児童相談所」が 52.8%で最も多く、次いで「警察署」が 23.8%となっている（図表 4－8－2）。

図表 4－8－2 児童虐待の通報先（全体）

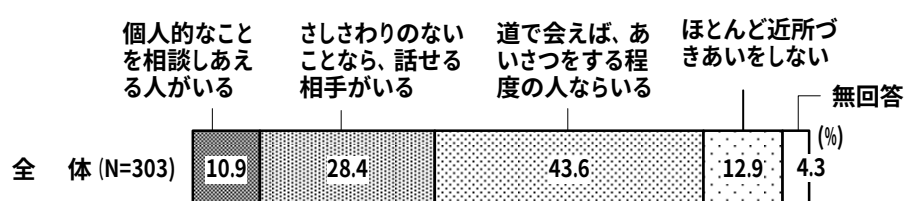


(9) 地域とのかかわり

① 近所づきあいの状況（問 29）

近所づきあいの状況は、「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」が 43.6%で最も多く、次いで「さしさわりのないことなら、話せる相手がいる」が 28.4%となっている（図表 4－9－1）。

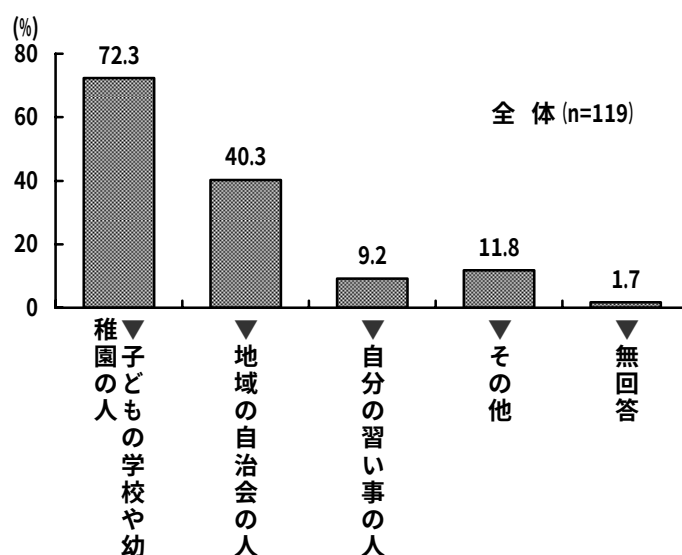
図表 4－9－1 近所づきあいの状況（全体）



② 近所づきあいの相手（問 29－1）

近所づきあいの相手は、「子どもの学校や幼稚園の人」が 72.3%で最も多く、次いで「地域の自治会の人」が 40.3%となっている（図表 4－9－2）。

図表 4－9－2 隣近所でつきあいのある相手（全体：複数回答）
 <近所に「個人的なことを相談しあえる人がある」、
 「さしさわりのないことなら、話せる相手がいる」と回答した人>

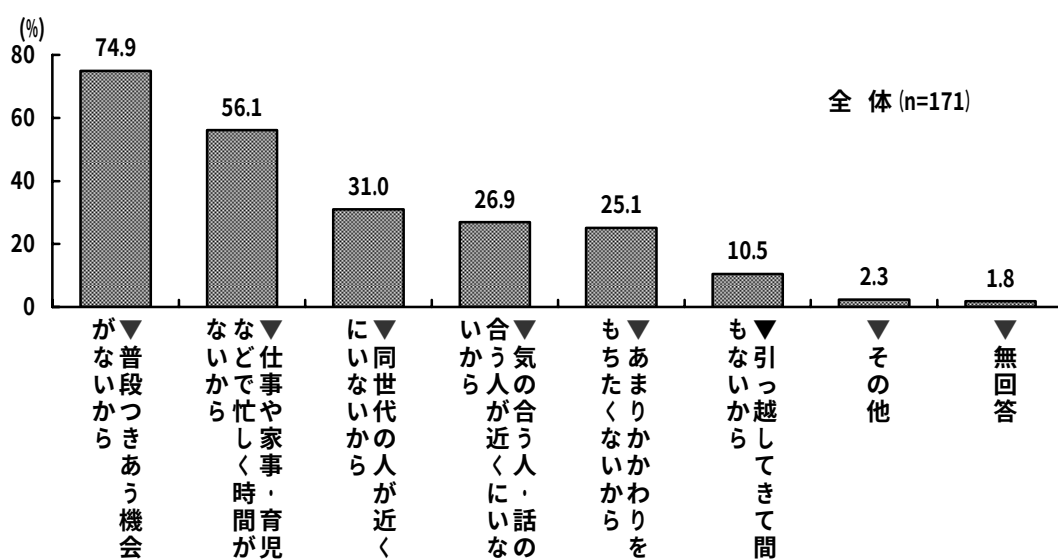


③ 近所づきあいが希薄な理由（問 29－2）

近所づきあいが希薄な理由は、「普段つきあう機会がないから」が 74.9%で最も多く、次いで「仕事や家事・育児などで忙しく時間がないから」が 56.1%となっている（図表 4－9－3）。

図表 4－9－3 近所づきあいが希薄な理由（全体：複数回答）

＜近所に「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」、
「ほとんど近所づきあいをしない」と回答した人＞



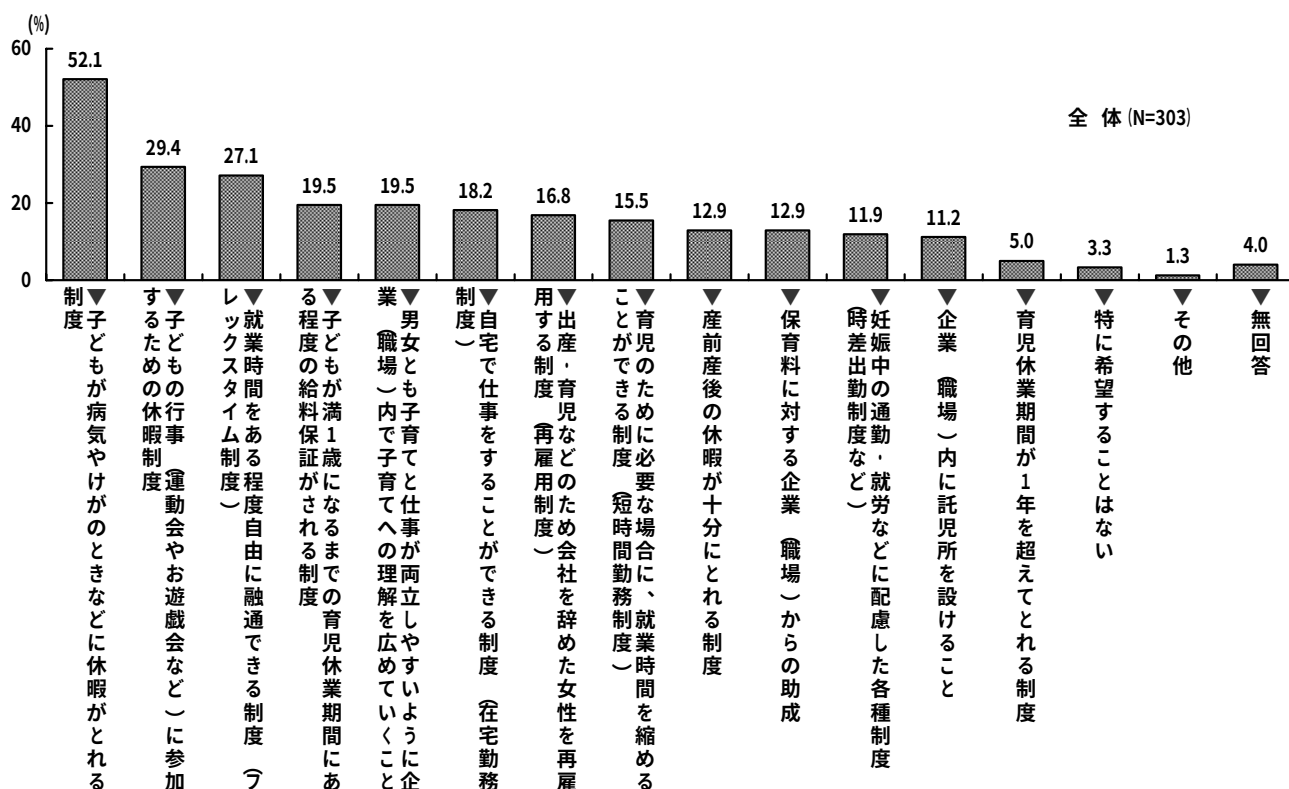
(10) 子育てと仕事の両立

① 男女とも子育てと仕事の両立を図りやすくするために企業（職場）に希望すること（問 30）

男女とも子育てと仕事の両立を図りやすくするために企業（職場）に希望することは、「子どもが病気やけがのときなどに休暇がとれる制度」が 52.1%で最も多く、次いで「子どもの行事に参加するための休暇制度」が 29.4%、「就業時間のある程度自由に融通できる制度」が 27.1%となっている（図表 4-10-1）。

図表 4-10-1

男女とも子育てと仕事の両立を図りやすくするために企業（職場）に希望すること
（全体：複数回答（3つまで））

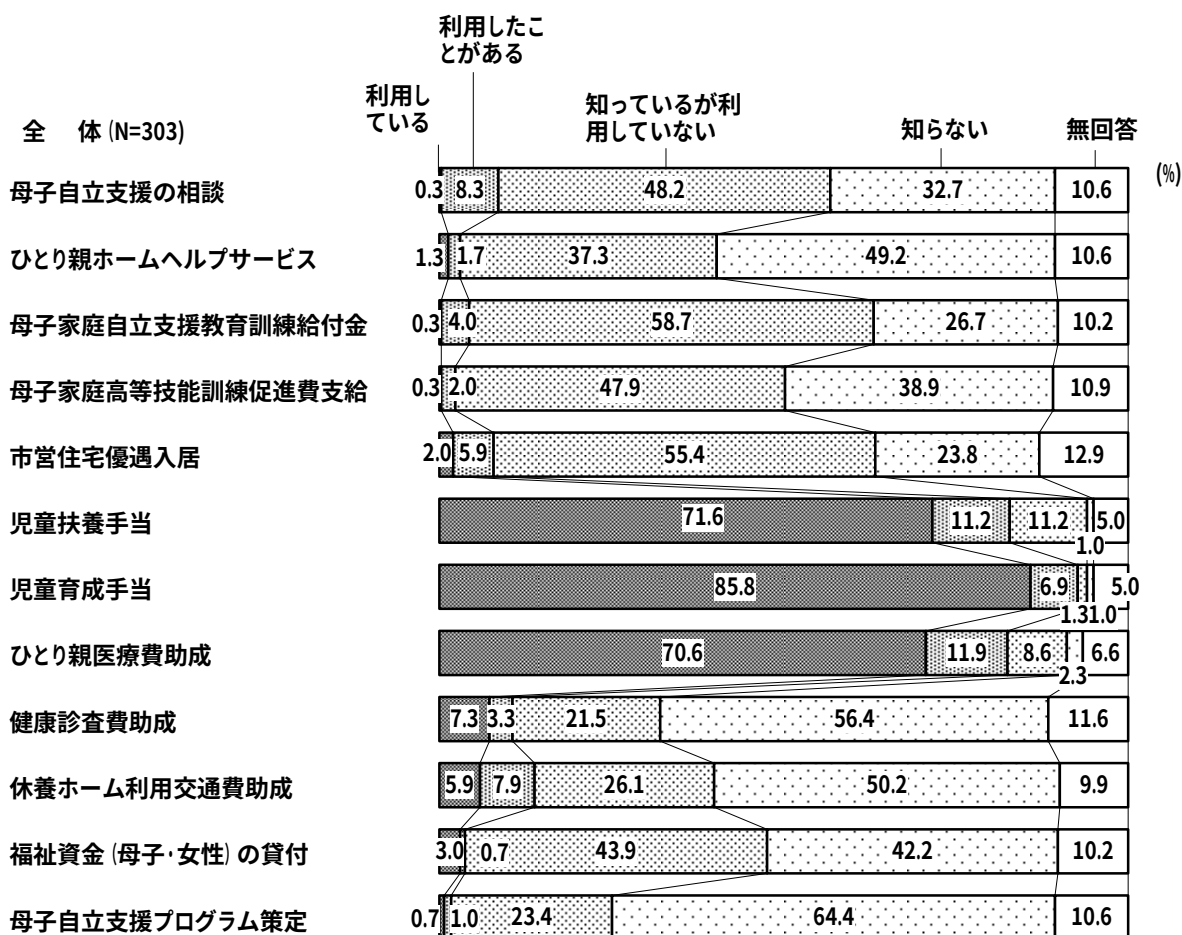


(11) ひとり親への支援制度

① ひとり親家庭への支援制度の利用状況、利用意向（問 31）

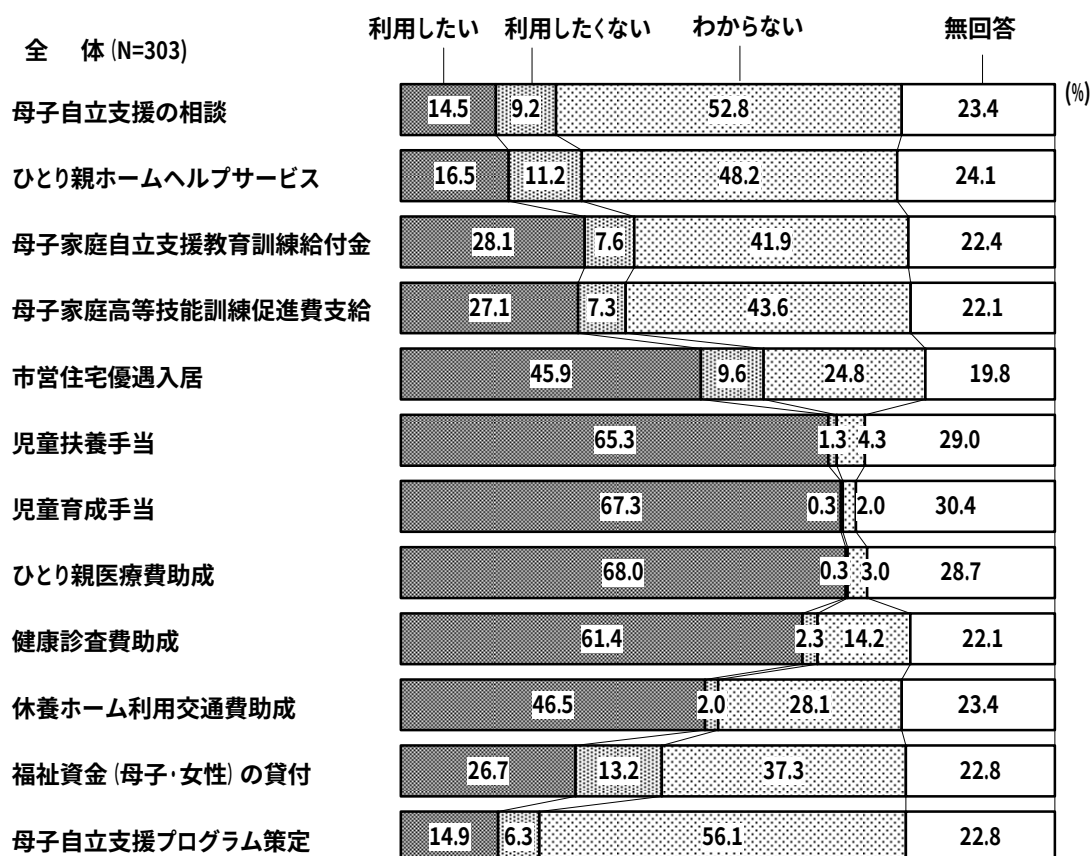
ひとり親家庭への支援制度の利用状況について、「利用している」と回答した割合は、「児童育成手当」が 85.8%、「児童扶養手当」が 71.6%、「ひとり親医療費助成」が 70.6%であり、3つの項目で7割を超えている。なお「知らない」の割合が最も多いのは、「母子自立支援プログラム策定」の 64.4%である（図表 4-11-1-1）。

図表 4-11-1-1 ひとり親家庭への支援制度の利用状況（全体）



ひとり親家庭への支援制度の利用意向について、「利用したい」と回答した割合は、利用状況と同じく、「児童育成手当」が67.3%、「児童扶養手当」が65.3%、「ひとり親医療費助成」が68.0%で上位である。また、「健康診査費助成」が61.4%であり、60%を超えている（図表4-11-1-2）。

図表4-11-1-2 ひとり親家庭への支援制度の利用意向（全体）



(12) 悩みや不安、必要と感じる支援（問 32）

悩みや不安、必要と感じる支援などについて、自由記述形式でたずねたところ、全体で 103 件の回答があった。主な内容と件数は以下の通りである。

内容	件数
各種手当、教育費など経済的負担について	33 件
育児、子育て、仕事と家庭の両立について	24 件
公共住宅、家賃など住宅について	12 件
仕事について	9 件
情報・相談について	9 件
ひとり親家庭を対象にした支援制度について	8 件
親同士の交流の場について	3 件
その他	5 件

資料編 調査票及び調査結果



府中市 次世代育成支援に関する市民意向調査

【調査ご協力のお願い】

日ごろから市政につきましてご理解ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、府中市では、平成 21 年度に策定を予定しております「府中市次世代育成支援行動計画（後期）」の基礎資料とするため、市民の皆さまの「子育て支援」に関する生活実態やご要望・ご意見など把握させていただきたく、本調査を実施することとなりました。

この調査は、府中にお住まいの 0 歳～5 歳（平成 20 年 4 月 1 日現在）のお子さんを無作為で 3,000 人抽出させていただき、その保護者の方にご回答をお願いするものでございます。

ご回答いただきました内容につきましては、すべて統計的に処理し、情報が外部に漏れることはありません。また、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成 20 年 10 月 30 日
府中市 豊 野 口 忠 画

調査票は、**11 月 13 日（木）**までにご返送ください。

【記入にあたってのお願い】

1. 特にことわりがある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
2. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入いただく場合があります。
3. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きにしたがつてください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24 時間制（午後 6 時→18 時）でご記入ください。
5. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印にしたがつてご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
6. 記入が済みましたら、同封の返信用封筒に入れて **11 月 13 日（木）**までにご返送ください。なお、調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。（切手も不要です。）
7. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
8. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

府中市 子ども家庭部子育て支援課 担当：山本、石下
電話： 042-335-4192 FAX：042-334-0810

府中市 次世代育成支援に関する市民意向調査票
(就学前児童調査)

封筒のあて名のお子さんご家族の状況についておうかがいします

F 1 あて名のおさんの生年月を () に記入してください。

(N=2,022)

平成 () 年 () 月生まれ

平均年齢 2.5 歳

F 2 あて名のおさんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか、また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢(平成20年4月1日現在の年齢)を () に記入してください。

(N=2,022)

(平均 1.8) 人 (N=1,282) 末子の年齢(平均 1.9) 歳

F 3 あて名のおさんとの同居・近居(概ね30分程度に行き来できる範囲)の状況についておうかがいします。続柄はあて名のおさんからみられた関係です。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

(N=2,022)

- | | | | |
|----------------|-------|------------------|-------|
| 1. 父母同居 | 87.2% | 5. 祖母同居 | 7.9% |
| 2. 父母居(ひとり親家庭) | 0.2% | 6. 祖父近居 | 25.7% |
| 3. 母同居(ひとり親家庭) | 3.1% | 7. 祖母近居 | 29.9% |
| 4. 祖父同居 | 5.9% | 8. その他親族の同居・近居あり | 14.6% |
| | | 無回答 | 3.2% |

F 4 あて名のおさんの保護者(※)の現在の状況についておうかがいします。年齢をご記入のうえ、それぞれの欄について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(N=2,022)

年 齢	父親 (平均 36.7) 歳	母親 (平均 34.7) 歳
あて名のおさんとの同居状況	1. 一緒に住んでいる 95.7% 2. 単独住や別荘など別荘に暮らしている 1.1% 3. 別居している 0.4% 4. 離婚、死亡などいない 1.6% 無回答 1.2%	1. 一緒に住んでいる 98.6% 2. 単独住や別荘など別荘に暮らしている 0.0% 3. 別居している 0.1% 4. 離婚、死亡などいない 0.0% 無回答 1.2%
就労状況	1. 常勤の勤め人(正社員・正職員) 84.6% 2. パート・アルバイト 0.6% 3. 契約社員(※) 1.3% 4. 派遣社員 0.3% 5. 自営業・家族従業員 9.9% 6. 在宅勤務・内職 0.0% 7. 学生 0.2% 8. 無職・家事専従 0.5% 9. その他 () 0.6% 無回答 1.9%	1. 常勤の勤め人(正社員・正職員) 19.5% 2. パート・アルバイト 14.6% 3. 契約社員(※) 1.3% 4. 派遣社員 1.1% 5. 自営業・家族従業員 3.3% 6. 在宅勤務・内職 1.6% 7. 学生 0.2% 8. 無職・家事専従 56.7% 9. その他 () 0.7% 無回答 1.0%

※父親、母親がいない方は、養育者の方のことをお答えください。

※契約社員とは、正社員とは別の労働契約に基づいて働く方で、嘱託職員や非常勤職員などのことです。

F 5 現在のお住まいは次のうちどれですか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

(N=2,022)

- | | | | |
|--------------|-------|---------------|-------|
| 1. 持ち家の一戸建て | 30.0% | 4. 民間賃貸の集合住宅 | 25.7% |
| 2. 持ち家の集合住宅 | 26.3% | 5. 公的賃貸住宅 | 6.4% |
| 3. 民間賃貸の一戸建て | 2.0% | 6. その他(具体的に：) | 5.3% |
| | | 無回答 | 4.4% |

F 6 どちらにお住まいですか。 () に記入してください。

() 町 () 丁目

(N=2,022)

- | | | | | | |
|------|-------|------|-------|-----|------|
| 第一地区 | 20.2% | 第四地区 | 10.3% | 無回答 | 4.7% |
| 第二地区 | 19.0% | 第五地区 | 11.3% | | |
| 第三地区 | 14.5% | 第六地区 | 19.8% | | |

第一地区：多摩郡、朝日町、紅葉丘、白糸台(1〜3丁目)、杉山町、湯河原町、緑町
 第二地区：白糸台(4〜6丁目)、柳井町、小柳町、八幡町、清水が丘、東段
 第三地区：天神町、幸町、向中町、寿町、藤沢町、栗町、新町
 第四地区：宮町、日吉町、矢野町、袴町、本町、片町、西町
 第五地区：日神町、武蔵町、北山町、西原町、美砂町(1〜2丁目)、本町(3〜4丁目)、栗山町
 第六地区：茶臼町(3丁目)、分岐町、住吉町、四谷、日新町、本町(1〜2丁目)、西町(1〜2、5丁目)

F 7 この調査票にご記入されている方はどなたですか。続柄はあて名のおさんからみられた関係です。(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

(N=2,022)

- | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|---------------|------|-----|------|
| 1. 父親 | 10.7% | 2. 母親 | 84.5% | 3. その他(具体的に：) | 0.3% | 無回答 | 4.5% |
|-------|-------|-------|-------|---------------|------|-----|------|

日ごろの子育てについておうかがいします

問1 日ごろ、お子さんをあずかってもらえる人はいますか。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

(N=2,022)

- | | |
|------------------------------------|-------|
| 1. 日常的に祖父母などの親族にあずかってもらえる | 14.2% |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にあずかってもらえる | 55.5% |
| 3. 日常的に子どもをあずけられる友人・知人がいる | 3.7% |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをあずけられる友人・知人がいる | 19.5% |
| 5. いずれもない | 17.5% |
| 無回答 | 4.8% |

問1-1	問1で「1」か「2」と答えた方におうかがいします。 祖父母にあずかってもらっている状況について、あてはまるものはどれですか。 (該当する項目の番号すべてに○をつけてください) (n=1,356)	1. 祖父母が孫をあずかることについては、特に問題はない 2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である 3. 祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である 4. 自分たちの子どものことで、負担をかけていることが心苦しい 5. その他〔具体的に：〕 無回答	58.9% 24.2% 20.3% 18.4% 7.0% 4.8%
問1-2	問1で「3」か「4」と答えた方におうかがいします。 友人や知人にあずかってもらっている状況について、あてはまるものはどれですか。 (該当する項目の番号すべてに○をつけてください) (n=449)	1. 友人・知人にあずかってもらうことについては、特に問題はない 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である 4. 自分たちの子どものことで、負担をかけていることが心苦しい 5. その他〔具体的に：〕 無回答	52.8% 5.1% 17.8% 31.6% 7.8% 1.1%
問2	あて名のお子さんの身のまわりの世話などを主にしている方(主たる保育者)はどなたですか。 配偶はあて名のお子さんからみた関係です。 (該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください) (n=2,022)	1. 父親 1.1% 2. 母親 94.7% 3. 祖父母 0.2% 4. その他〔具体的に：〕 無回答 3.7%	0.2%
問3	主たる保育者以外のまわりの人の子育てへの関わり方についておうかがいします。 ① 問2で「2.母親」と回答した方におうかがいします。 母親からみて、父親の子育てへの関わり方はいかがですか。 (該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください) (n=1,915)	1. 協力的である 50.0% 2. 比較的協力的である 35.4% 3. あまり協力的でない 9.9% 4. 協力的でない 2.1% 5. 父親はいない 無回答	2.5% 0.7%
問4	問2で「2.母親」と回答した方におうかがいします。 母親からみて、ご両親で子どものことについてよく話しますか。 (該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください) (n=1,915)	1. 話す 76.4% 2. とぎとぎ話す 16.5% 3. ほとんど話さない 1.7% 4. 話をしない 0.3% 5. 父親はいない 無回答	2.1% 3.0%

問4	子育てを楽しいと感じますか。(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください) (n=2,022)	1. 楽しいと感じることの方が多い 2. 楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい 3. つらいと感じることの方が多い 4. わからない 5. その他〔具体的に：〕 無回答	64.3% 30.6% 2.7% 1.0% 0.6% 0.7%
問4-1	問4で「1」と答えた方におうかがいします。 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効だと思えますか。 (該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください) (n=1,301)	1. 地域における子育て支援の充実 43.1% 2. 保育サービスの充実 46.0% 3. 子育て支援のネットワークづくり 10.1% 4. 地域における子どもの発達支援の充実 18.2% 5. 妊娠・出産に対する支援 29.7% 6. 母親・乳児の健康に対する安心 12.1% 7. 子どもの教育環境 7.0% 8. 子育てしやすい住居・まちの環境の充実 37.4% 9. 仕事と家庭生活の両立 34.0% 10. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減 27.1% 11. 要保護児童に対する支援 2.5% 12. その他〔具体的に：〕 無回答	19.2% 37.4% 34.0% 27.1% 2.5% 3.3% 0.5%

- 問4-2 問4で「2」か「3」と答えた方におうかがいします。
自分にとって子育てのつらさを解消するために必要なことは何ですか。
(該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください)
(n=673)
- | | | | |
|----------------------|-------|------------------------|-------|
| 1. 地域における子育て支援の充実 | 44.7% | 7. 子どもの教育環境 | 15.8% |
| 2. 保母サービスの充実 | 49.0% | 8. 子育てしやすい住居・まちの環境面の充実 | 27.9% |
| 3. 子育て支援のネットワークづくり | 14.6% | 9. 仕事と家庭生活の両立 | 34.5% |
| 4. 地域における子どもの活動拠点の充実 | 16.9% | 10. 子どもを対象にした犯罪・事故の予防 | 15.5% |
| 5. 妊娠・出産に対する支援 | 10.8% | 11. 要保護児童に対する支援 | 4.5% |
| 6. 母親・乳児の健康に対する安心 | 7.3% | 12. その他(具体的に:) | 8.8% |
| | | 無回答 | 2.1% |
- 問5 日ごろの子育てについて、どのように感じていますか。
(①～④のそれぞれの問について、該当する項目の番号1つに○をつけてください)
- ① 子どもの成長が楽しみですか。
(n=2,022)
- | | | | |
|--------------------|-------|------------|------|
| 1. 楽しみ | 89.8% | 4. 楽しみではない | 0.0% |
| 2. どちらかといえば楽しみ | 9.1% | 5. 特に感じない | 0.2% |
| 3. どちらかといえば楽しみではない | 0.4% | 無回答 | 0.4% |
- ② 子育てに自信がもてなくなることがありますか。
(n=2,022)
- | | | | |
|-----------|-------|-----------|------|
| 1. まったくない | 6.9% | 4. よくある | 9.2% |
| 2. あまりない | 24.0% | 5. 特に感じない | 2.1% |
| 3. ときどきある | 57.4% | 無回答 | 0.4% |
- ③ 子育てが嫌になることがありますか。
(n=2,022)
- | | | | |
|-----------|-------|---------|------|
| 1. まったくない | 20.3% | 4. よくある | 2.8% |
| 2. あまりない | 42.3% | 無回答 | 0.3% |
| 3. ときどきある | 34.2% | | |
- ④ ゆったりした気分です子どもとすごしていますか。
(n=2,022)
- | | | | |
|------------------|-------|-------------------|-------|
| 1. すごしている | 15.6% | 3. どちらかというところではない | 25.7% |
| 2. どちらかというところにいる | 55.7% | 4. すごしていない | 2.6% |
| | | 無回答 | 0.4% |
- ⑤ イライラして子どもをだいてしまうことがありますか。
(n=2,022)
- | | | | |
|-----------|-------|---------|------|
| 1. まったくない | 27.7% | 4. よくある | 2.5% |
| 2. あまりない | 36.6% | 無回答 | 0.3% |
| 3. ときどきある | 33.9% | | |

- ⑥ しつけのために子どもを厳しくしかることがありますか。
(n=2,022)
- | | | | |
|-----------|-------|---------|-------|
| 1. まったくない | 3.4% | 4. よくある | 17.4% |
| 2. あまりない | 15.0% | 無回答 | 0.6% |
| 3. ときどきある | 63.6% | | |
- ⑦ 子どもに食事を与えない、風呂に入れないなど、子どもの面倒をみないことがありますか。
(n=2,022)
- | | | | |
|-----------|-------|---------|------|
| 1. まったくない | 93.6% | 4. よくある | 0.1% |
| 2. あまりない | 5.1% | 無回答 | 0.4% |
| 3. ときどきある | 0.8% | | |
- 問6 子育ての中で、日ごろ悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)
(n=2,022)
- | | | | |
|-----------------------|-------|----------------------------|-------|
| 1. 病気に関すること | 30.2% | 9. 友だちつきあいなど対人関係に関すること | 30.1% |
| 2. 発達・発達に関すること | 24.1% | 10. 子どもの教育・塾・遊園地に関すること | 23.6% |
| 3. 仕事や育児に関すること | 30.0% | 11. 子どもに落ちつきがないこと | 12.6% |
| 4. 子育ての方法がよくわからないこと | 6.3% | 12. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと | 30.4% |
| 5. 子どもとの接し方に自信が持てないこと | 15.2% | 13. 子どもとに接する話し方や態度がよいこと | 3.7% |
| 6. 子どもとの時間を十分にとれないこと | 24.3% | 14. その他(具体的に:) | 5.0% |
| 7. 子どもの健康方針がわからないこと | 26.4% | 15. 特にない | 7.0% |
| 8. いじめに関すること | 13.3% | 無回答 | 0.7% |
- 問7 子育てについて、気軽に相談できる人がいますか。
(該当する項目の番号に○をつけてください)
(n=2,022)
- | | | |
|--------|--------|-------|
| 1. いる | ⇒問7-1へ | 91.2% |
| 2. いない | ⇒問8へ | 8.4% |
| 無回答 | | 0.4% |
- 問7-1 問7で「1. いる」と答えた方におうかがいします。気軽に相談できる人はどなたですか。(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)
(n=1,844)
- | | | | |
|--------------|-------|-----------------------|------|
| 1. 親や家族 | 87.7% | 5. 学校や教員 | 9.1% |
| 2. 近所の人 | 19.8% | 6. 行政(市役所・警察・児童相談所など) | 1.1% |
| 3. 子育て中の仲間 | 76.1% | 7. その他() | 8.9% |
| 4. 子育てのための施設 | 10.4% | 無回答 | 0.1% |

あて名のお子さんの保護者の就労状況についておうかがいします

問8 現在の就労状況を(自営業、家族従事者含む) おうかがいします。該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください。あわせて、[] に数字を記入してください。

- ①父親 (n=2,022)
- 就労している (フルタイム：育児・介護休業中は含まない) 94.3%
→1週あたりの平均的就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についておうかがいします。※帰宅時間は24時間制でお答えください。(例：午後6時→18時)
[1週あたり (平均 50.8) 時間、帰宅時間 () 時]
 - 就労している (フルタイムだが育児・介護休業中) 0.1%
 - 就労している (パートタイム、アルバイトなど) 0.6%
→就労時間についておうかがいします。
→フルタイムへの転換希望がありますか。
[1週あたり (平均 5.2) 日 - 1日あたり (平均 8.8) 時間]
[1. 希望があるが予定はない 15.4% 2. 希望はない 30.8% 無回答 30.8%]
 - 以前は就労していたが、現在は就労していない 0.5%
 - これまでに就労したことがない 0.2%
 - 父親はいる 2.0%
 - 無回答 2.2%
- ②母親 (n=2,022)
- 就労している (フルタイム：育児・介護休業中は含まない) 19.4%
→1週あたりの平均的就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についておうかがいします。※帰宅時間は24時間制でお答えください。(例：午後6時→18時)
[1週あたり (平均 36.6) 時間、帰宅時間 () 時]
 - 就労している (フルタイムだが育児・育児・介護休業中) 4.8%
 - 就労している (パートタイム、アルバイトなど) 16.2%
→就労時間についておうかがいします。
→フルタイムへの転換希望がありますか。
[1週あたり (平均 3.9) 日 - 1日あたり (平均 5.5) 時間]
[1. 希望がある 14.7% 2. 希望があるが予定はない 28.7% 3. 希望はない 34.9% 無回答 21.7%]
 - 以前は就労していたが、現在は就労していない 52.4%
 - これまでに就労したことがない 5.5%
 - 母親はいる 0.1%
 - 無回答 1.6%

問8-1 問8の「②母親」で「4」か「5」と答えた方におうかがいします。

母親の就労希望はありますか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

(n=1,170)

- ある(すぐ)でも、もしくは1年以内に希望がある) ⇒問8-2へ
 - ある(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい) ⇒問8-2へ
 - ない ⇒問9へ
- 無回答 0.9%

問8-2 問8-1で「1」か「2」と答えた方におうかがいします。

① 就労希望の形態はどのようなものですか。該当する項目の番号に○をつけてください。パート、アルバイトを希望の方は1週あたりの日数及び1日あたりの時間も() に記入してください。

- (n=990)
- フルタイムによる就労 9.9%
 - パートタイム、アルバイトなどによる就労 82.4%
[1週あたり (平均 3.7) 日 1日あたり (平均 4.8) 時間]
 - 無回答 7.7%

② 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (n=990)
- 保育サービス(※)が利用できない 16.1%
 - 働きながら子育てできる適当な仕事がない 37.5%
 - 自分の知識、能力にあう仕事がない 1.3%
 - 家族の考え方(親族の理解が得られない) など就労する環境が整っていない 6.0%
 - その他(具体的に：) 36.4%
 - 無回答 2.8%

※保育サービスとは、認可保育所、認証保育所、保育室、認定子ども園、家庭的な保育(いわゆる保育ママ)、事業所内保育施設、その他の保育施設、幼稚園、ベビーシッター、ファミリーサポーターセンターで、定期的に受け持っているサービスとします。

問8-3 問8-1で「2」と答えた方におうかがいします。

あて名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望しますか。
[] に数字を記入してください。

(n=789)

平均 6.4 歳になったとき

問9 すべての方におうかがいします。あて名のお子さんの出産前後(前後それぞれ1年以内)に母親が離職をしましたか。(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (n=2,022)
- 離職した ⇒問9-1へ 37.1%
 - 継続的に働いていた(転職も含む) ⇒問10へ 23.8%
 - 出産1年前にすでに働いていなかった ⇒問10へ 36.0%
 - 無回答 3.1%

問9-1 問9で「1、離職した」と答えた方におうかがいします。

仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

(n=750)

- 保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた 10.9%
- 職場において育児休業制度などの仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていたら、継続して就労していた 14.3%
- 保育サービスと職場の両立支援制度がどちらも整ってはいれば、継続して就労していた 19.5%
- 家族の考え方(親族の理解が得られない) など就労する環境が整っていない 3.2%
- いずれにしてもやめていた 43.2%
- その他(具体的に：) 8.4%
- 無回答 0.5%

保育サービスの利用状況についておうかがいします

問 10 あて名のお子さんの現在の保育サービス(※P7)の利用の有無についておうかがいします。
日ごろ、定期的にお子さんをあずけるサービスを利用していますか。
(該当する項目の番号に○をつけてください)

1. 利用している ⇒ 問 10-1へ 54.7%
2. 利用していない ⇒ 問 10-3へ 45.2%
無回答 0.0%

問 10-1 問10で「1. 利用している」と答えた方におうかがいします。

あて名のお子さんは、現在、どのような子育て支援サービスを利用していますか。
不定期に利用されるものも含めてお答えください。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

(n=1,107)

1. 認可保育所 (国が定める基準基準に適合した施設で都道府県などの認可を受けたもの) 51.0%
2. 家庭的な保育 (保育ママ：保育者の家庭などで子どもをあずかるサービス) 0.2%
3. 事業所内保育施設 (企業が従業員に運営する施設) 0.3%
4. 自治体の認定・認定後保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認定・認定した施設) 4.6%
5. 認定こども園 (共通利用時間のみの保育の利用) (保育施設と幼稚園が一体化した施設) 0.2%
6. 認定こども園 0.3%
[共通利用時間(4時間程度)以上の保育の利用] (保育施設と幼稚園が一体化した施設)
7. その他の保育施設 3.5%
8. 幼稚園 (通常の就園時間) 39.7%
9. 幼稚園のおずかり保育 (通常の就園時間を延長してあずかるサービス) 10.4%
10. ベビーシッター 0.5%
11. ファミリーサポートセンター (地域住民による子どものあずかりサービス) 2.3%
無回答 0.5%

問 10-2 問10-1で「1」～「9」と答えた方におうかがいします。

① 現在の保育サービスの利用状況についておうかがいします。1週あたり何日、1日あたり何時間(何時から何時まで)保育サービス(延長保育なども含めます)を利用していますか。
[]に具体的な数字を記入してください。

※時間帯は24時間制でお答えください。(例：午後6時～18時)

(n=1,097)

1週あたり 平均 5.0 日 、 1日あたり 平均 7.5 時間
[] 時から [] 時まで

② 保育サービスを利用されている理由は何ですか。
(該当する項目を1つ選ひその番号に○をつけてください)

(n=1,097)

【お子さんの主たる保育者が】

1. 現在就労している 55.6%
2. 就労予定がある／求職中である 1.3%
3. 家族・親族などを介護しなければならぬ 0.7%
4. 病気や障害を持っている 0.6%
5. 学生である 0.4%
6. 1～5までの事情はないが、子どもの教育のため 36.5%
7. その他(具体的に：) 3.9%
無回答 1.0%

③ 現在、お子さんが通っている施設を選択された理由は何ですか。
(該当する項目を3つまで選ひその番号に○をつけてください)

(n=1,097)

1. 自宅から近いなど地理的条件がよいから 69.6% 8. 0歳～2歳児の年齢制限を行っているから 7.6%
2. 通園バスによる送迎があるから 11.7% 9. 小人数で個別的な雰囲気だから 7.0%
3. 保育内容や職員の評判がよいから 36.5% 10. 低年齢児を受け入れているから 0.2%
4. 施設や設備がよいから 15.8% 11. 公立の施設であるから 14.6%
5. 兄弟姉妹、知人や近所の子などが通っているから 20.1% 12. 私立の施設であるから 3.7%
6. 保育料、授業料などの負担が安いから 7.3% 13. 認可保育所にはいれなかったから 5.9%
7. 保育時間が長いから 10.8% 14. その他(具体的に：) 10.3%
無回答 0.1%

④ 現在通っている保育施設や幼稚園に関して、こうなったらよいと思うことはありますか。
(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

(n=1,097)

1. あずかり時間の延長 24.4% 9. 定員、受け入れ可能な拡大 13.1%
2. 対象年齢の拡大(平均2.9歳から) 2.6% 10. 安全対策や衛生対策の充実 14.8%
3. 夏休み等の長期休業期間の保育の充実 16.9% 11. 障害児の受け入れ体制の充実 3.1%
4. 施設設備の充実 18.6% 12. 保育料・授業料の低下 43.7%
5. 保育士・教諭等の職制体制の充実 22.5% 13. 通園バスなどによる送迎の更 6.7%
6. 保育・教育内容の充実 16.4% 14. 特に要望はない／わからない 13.9%
7. 保護者への十分な情報提供・意見要望への対応 12.9% 15. その他(具体的に：) 9.6%
8. 食事やおやつ 6.7% 無回答 0.5%

問 10-3 問 10 で「2. 利用していない」と答えた方におうかがいします。

保育サービスを利用していない理由は何ですか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (n=914)
1. (子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で) 必要がない 51.9%
 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている 7.8%
 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている 0.8%
 4. あすけたいが、保育サービスに空きがない 9.6%
 5. あすけたいが、経済的な理由でサービスを利用できない 6.1%
 6. あすけたいが、延長・夜間などの場所や時間帯の条件が整わない 0.9%
 7. あすけたいが、サービスの質や場所など、納得できるサービスがない 2.0%
 8. 子どもがまだ小さいため 13.8%
 9. その他〔具体的に： 〕 4.8%
- 無回答 2.4%

→ 平均 3.0 歳くらいになったらあすけようと考えている

問 11 現在、あて名のお子さんを、平日に親族や知人にあすけていますか。

(該当する項目の番号に○をつけてください)

- (N=2022)
1. あすけている ⇒ 問 11-1 へ 8.2%
 2. あすけていない ⇒ 問 12 へ 87.4%
- 無回答 4.4%

問 11-1 問 11 で「1. あすけている」と答えた方におうかがいします。

① あすけている日数や時間帯を に記入してください。

※時間帯は 24 時間制でお答えください。(例：午後6時→18時)

(n=166)

週 平均 2.6 日 利用している

時	分	時	分
時	分	時	分

※時間帯が2つに分かれる場合は
こちらにも記入ください。

② あすけている相手はどなたですか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (n=166)
1. 同居している親族 22.3%
 2. 別居している親族 66.9%
 3. 知人 7.8%
- 無回答 3.0%

保育サービスの利用希望についておうかがいします

問 12 あて名のお子さんについて、希望した時期に、希望した保育サービスを利用することができましたか。(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (N=2022)
1. 利用できた 42.8%
 2. 育児休業を切り上げるなど調整して利用できた 3.2%
- 〔具体的な内容： 〕
3. 利用できなかった 24.7%
 4. その他〔具体的に： 〕 17.5%
- 無回答 11.9%

問 13 あて名のお子さんについて、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、(利用日数・回数や利用時間)が足りないと思う保育サービスはどれですか。現在就労していないが、今後就労希望のある方は、就労した場合を想定してお答えください。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

(日中の定期的保育)

- (N=2022)
1. 認可保育所 (国が定める基準に適合した施設で都道府県などの認可を受けたもの) 37.1%
 2. 家庭的な保育 (保育ママ・保育者の家庭などで子どもをあずかるサービス) 5.7%
 3. 事業所内保育施設 (企業が従業員用に運営する施設) 15.1%
 4. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設) 6.5%
 5. 認定こども園 (共通利用時間のみの保育の利用) (保育施設と幼稚園が一体化した施設) 7.4%
 6. 認定こども園 8.8%
- 〔共通利用時間 (4時間程度) 以上の保育の利用〕 (保育施設と幼稚園が一体化した施設)
7. その他の保育施設 1.7%
 8. 幼稚園 (通常の就園時間) 18.9%
 9. 幼稚園のあずかり保育 (通常の就園時間を延長してあずかるサービス) 27.1%
 10. 延長保育 13.0%
 11. ベビーシッター 3.7%
 12. ファミリーサポートセンター (地域住民による子どものあずかりサービス) 10.0%
- 〔その他の保育〕
13. 一時あずかり利用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもをあずかるサービス) 26.3%
 14. 病児・病後児保育 (子どもの病気の保育) 27.2%
- 〔その他〕
15. 特になし 15.7%
- 無回答 5.1%

問 13-1 問 13 で「1」～「14」と答えた方におうかがいします。
お子さんにあすけたい場所はどこですか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (n=1602)
1. 自宅の近く 78.5%
 2. 自宅の最寄駅の近く 7.7%
 3. 自宅と勤務先の間ならどこでもよい 6.1%
 4. 勤務先の近く 4.0%
 5. その他〔具体的に： 〕 2.0%
- 無回答 1.7%

問 13-2 問 13 で「1」～「11」と答えただ方におうかがいします。

① 今後の利用希望についておうかがいします。

1 週あたり何日、1 日あたり何時間（何時から何時まで）保育サービス（延長保育なども含めず）を希望しますか。□□□□に具体的な数字を記入してください。

※時間帯は 24 時間制でお答えください。（例：午後 6 時→18 時）

(n=1,336)

選択したサービス番号 □□□□

→ 1 週あたり 平均 4.4 日、1 日あたり 平均 7.3 時間

□□□□ 時から □□□□ 時まで

選択したサービス番号 □□□□

→ 1 週あたり 平均 3.9 日、1 日あたり 平均 6.2 時間

□□□□ 時から □□□□ 時まで

② サービスを利用したいと考えている理由はどのようなことですか。

（該当する項目を 1 つ選びその番号に○をつけてください）

【お子さんの身の回りの世話を主に行っている方か】

(n=1,336)

1. 現在就労している 16.8%
 2. 現在就労しているが、もっと日数や時間を増やしたい 7.2%
 3. 就労予定がある／求職中である 6.4%
 4. そのうち就労したいと考えている 42.7%
 5. 就労していないが、子どもの教育などのために子どもをあずけたい 11.7%
 6. 家族・親族などを介護しなければならない 0.8%
 7. 病気や障害を持っている 0.5%
 8. 学生である／就学したい 0.4%
 9. その他（具体的に： ） 5.6%
- 無回答 7.9%

問 14 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、保育サービスなど（※）（一時的な利用は除きます）の利用希望がありますか。

※時間帯は 24 時間制でお答えください。（例：午後 6 時→18 時）

※保育サービスなどとは、保育所、幼稚園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人によるあずかりは含まれません。

①土曜日（該当する項目を 1 つ選びその番号に○をつけてください）

(n=2,022)

1. ほぼ毎週利用したい } 利用したい時間帯は 6.2%
 2. 月に 1～2 回は利用したい } □□□□ 時から □□□□ 時まで 20.2%
 3. 利用希望はない } 86.0%
- 無回答 8.6%

②日曜日・祝日（該当する項目を 1 つ選びその番号に○をつけてください）

(n=2,022)

1. ほぼ毎週利用したい } 利用したい時間帯は 1.6%
 2. 月に 1～2 回は利用したい } □□□□ 時から □□□□ 時まで 11.6%
 3. 利用希望はない } 76.8%
- 無回答 10.0%

病児・病後児保育についておうかがいします

問 15 保育サービスを利用している方におうかがいします。この 1 年間に、お子さんが病気やケガで通常の保育サービスを利用できなかったことはありますか。（該当する項目の番号に○をつけてください）

(n=1,107)

1. あった ⇒問 15-1 へ 68.3% 2. なかった ⇒問 16 へ 23.1% 無回答 8.6%

問 15-1 問 15 で「1. あった」と答えただ方におうかがいします。

① この 1 年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。

（半日程度についても 1 日と考えてお答えください）。

あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

(n=756)

1. 就労していない保護者が自宅でみた 32.1% (平均 9.6) 日
 2. 父親が仕事を休んだ 31.1% (平均 3.8) 日
 3. 母親が仕事を休んだ 64.6% (平均 8.1) 日
 4. 親族・知人（同居者を含む）にあずけた 31.1% (平均 7.2) 日
 5. 認可保育所の病後児保育を利用した 0.7% (平均 6.3) 日
 6. 子ども家庭支援センター「しらとり」の病後児保育を利用した 0.3% (平均 2.0) 日
 7. 病院や診療所の病児・病後児保育を利用した 1.7% (平均 7.1) 日
 8. 非営利組織（NPO など）による子育て支援サービスを利用した 0.5% (平均 11.3) 日
 9. ベビーシッターを利用した 0.8% (平均 7.8) 日
 10. ファミリーサポートセンターを利用した 0.5% (平均 4.3) 日
 11. 子連れで仕事をした（出勤・在宅とも） 4.0% (平均 5.6) 日
 12. 子どもだけで留守番させた 1.5% (平均 3.4) 日
 13. その他（具体的に： ） 3.0% (平均 9.6) 日
- 無回答 0.0%

② ①で「2」、「3」、「4」、「11」、「12」と答えただ方におうかがいします。

その際、できれば施設にあずけたいと思われた日数はどれくらいありますか。日数を□□□□に記入してください。

(n=552)

平均 5.1 日

問 16 お子さんが療養中や療養回復期であり、家族が面倒をみるのが困難な場合に、医療機関との連携のもとに看護師などがあずかるサービスがあるとしたら、どのようなサービスが良
いと思いますか。(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)
(N=2,022)

- | | |
|----------------------------------|------------|
| 1. 保育園などの専用スペースで子どもをあずかってくれるサービス | 29.4% |
| 2. 医療機関の専用スペースで子どもをあずかってくれるサービス | 29.9% |
| 3. 看護師などが自宅にきて子どもをみてくれるサービス | 16-17 7.0% |
| 4. その他(具体的に:) | 0.0% |
| 5. 特にサービスを利用する希望はない ⇒問 17へ | 10.0% |
| 無回答 | 23.7% |

問 16-1 問 16 で「1」～「4」と答えただけの方におうかがいします。

問 16 のようなサービスをどの程度利用したいと思いますか。

(①～④それぞれ、該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

① お子さんの療養中(発熱中などの時)

(N=1,340)

- | | | | |
|--------------|-------|------------------|-------|
| 1. いつも利用したい | 11.3% | 3. あまり利用したいと思わない | 24.1% |
| 2. ときどき利用したい | 54.8% | 4. 利用したくない | 8.7% |
| | | 無回答 | 1.1% |

② お子さんの療養回復期

(N=1,340)

- | | | | |
|--------------|-------|------------------|-------|
| 1. いつも利用したい | 20.4% | 3. あまり利用したいと思わない | 14.5% |
| 2. ときどき利用したい | 59.6% | 4. 利用したくない | 4.0% |
| | | 無回答 | 1.5% |

一時あずかりについておうかがいします

問 17 この1年間で、自分のための時間(買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など)やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病氣、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的におすけたことはありましたか。

(該当する項目の番号に○をつけてください)
(N=2,022)

- | | |
|-----------------|-------|
| 1. あった ⇒問 17-1へ | 35.3% |
| 2. なかった ⇒問 18へ | 62.3% |
| 無回答 | 2.4% |

問 17-1 問 17 で「1. あった」と答えただけの方におうかがいします。

① この1年間で何日ぐらいいましたか。[]に日数を記入してください。

(半日程度についても1日と覚えてお答えください)
(N=714)

年に 平均 9.3 日

② ①の日数について理由別に日数を記入ください。
(該当する項目の番号すべてに○をつけ、それぞれ日数を記入してください)
(半日程度についても1日と覚えてお答えください)
(N=714)

1. 自分のための時間(買物、習いごとなど)、リフレッシュ目的	64.8%	(平均 5.9) 日
2. 冠婚葬祭、子どもの親の病氣	28.9%	(平均 3.2) 日
3. 就労	19.5%	(平均 15.0) 日
4. その他(具体的に:)	28.4%	(平均 7.0) 日
無回答	0.8%	

問 18 すべての方におうかがいします。一時的にあずかるサービスを今後月に何日ぐらいい利用したいと思いますか。[]に日数を記入してください。
(N=2,022)

月に 平均 2.2 日

問 19 日中一時的にお子さんをおすける際には、どのようなサービスが良いと思いますか。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)
(N=2,022)

- | | |
|--|-------|
| 1. 保育園などが自宅にきて子どもをみてくれるサービス | 8.8% |
| 2. 保育園などがその自宅(保育園の自宅)で子どもをあずかってくれるサービス | 8.3% |
| 3. 認可保育所・幼稚園で子どもをあずかってくれるサービス | 73.8% |
| 4. 認可外保育施設(託児所など)で子どもをあずかってくれるサービス | 17.0% |
| 5. 近所の子育て支援センターなどで行っている公共施設などで子どもをあずかってくれるサービス | 29.8% |
| 6. 近所の知り合いが子どもをみてくれるサービス | 8.8% |
| 7. 非営利組織(NPOなど)による子育て支援サービス | 8.1% |
| 8. ファミリーサポートセンターの利用 | 12.5% |
| 9. ハビリーターの利用 | 4.7% |
| 10. その他(具体的に:) | 1.0% |
| 11. 特にサービスを利用する希望はない | 9.0% |
| 無回答 | 4.6% |

トワイライトステイ、ショートステイ、産前産後家庭サポートについて
おうかがいします

問 20 トワイライトステイ(※)を知っていますか。また利用していますか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

※トワイライトステイは、共働きや就業などで保護者の帰宅が遅い家庭の小学校6年生以下のお子さんを、午後10時まであずかる事業です。

- | | | |
|-------------------|----------|-------|
| 1. 知っていて、利用している | ⇒問 20-1へ | 1.1% |
| 2. 知っているが、利用していない | ⇒問 21へ | 46.3% |
| 3. 知らない | ⇒問 21へ | 51.3% |
| 無回答 | | 1.3% |

問 20-1 問 20 で「1. 知っていて、利用している」と答えた方におうかがいします。

こうなったらよいと、お気づきのことはありますか。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

- (n=22)
1. 時間の延長 18.2% → 利用したい時間帯は 時から 時まで
※時間帯は 24 時間制でお答えください。
2. 施設から自宅までの送迎 54.5%
3. 施設数の増加 22.7%
4. その他 (具体的に) 9.1%
- 22.7%
- 無回答

問 21 この 1 年間に、保護者が用事などで泊まりがけで外出し、あて名のお子さんを連れて行くのが困難なことはありましたか。(該当する項目の番号に○をつけてください)

(N=2,022)

1. あった⇒問 21-1 へ 9.4% 2. なかった⇒問 22 へ 87.6% 無回答 3.0%

問 21-1 問 21 で「1. あった」と答えた方におうかがいします。

この 1 年間で何日くらいありましたか。対処の方法別に泊数を記入してください。

(該当する項目の番号すべてに○をつけ、それぞれ泊数を記入してください)

(n=190)

1. 親族・知人 (同居者を含む) にあずけた	74.7%	(平均 5.0)	泊	⇒問 21-2 へ
2. 保育サービス (※) を利用した	0.5%	(平均 4.0)	泊	
3. 子どもを連れて行った	23.7%	(平均 2.2)	泊	
4. 子どもだけで留守番させた	0.0%	(平均 -)	泊	
5. その他 (具体的に:)	4.2%	(平均 3.6)	泊	
無回答	1.1%			

※保育サービスとは、ショートステイを実施している施設、認可外保育施設、ベビーシッターなどをさします。

問 21-2 問 21-1 で「1. 親族・知人 (同居者を含む) にあずけた」と答えた方におうかがいします。親族・知人 (同居者を含む) に子どもをあずけることは困難でしたか。

(該当する項目を 1 つ選びその番号に○をつけてください)

(n=142)

1. 非常に困難だった 11.3% 3. 特に困難でなかった 56.3%
2. どちらかというと困難だった 31.0% 無回答 1.4%

問 22 泊まりがけで出かける際に子どもをあずかる、ショートステイ (※) というサービスがありますが、利用したいと思いますか。(該当する項目を 1 つ選びその番号に○をつけてください)

※ショートステイは、病気・出張・出張・冠婚葬祭などの理由で、保護者が一時的に急遽で子どもをみることでできないときに、お子さんを短期間あずかり、食事・通園通学などの援助をします。

(N=2,022)

1. いつも利用したい 1.2% 3. あまり利用したいと思わない 47.7%
2. ときどき利用したい 19.6% 4. 利用したくない 29.1%
- 2.4%
- 無回答

問 23 現在府中市では、産前産後家庭サポートとして、出産前後に体調不良などで家事や育児が困難な方にホームヘルパーの派遣を行っています。

① 産前産後家庭サポートについて知っていましたか。

(該当する項目の番号に○をつけてください)

(N=2,022)

1. 知っている 51.6% 2. 知らない 47.0% 無回答 1.4%

② 産前産後家庭サポートのようなサービスを利用できると思ったら、あなたは利用したいと思いますか。(該当する項目を 1 つ選びその番号に○をつけてください)

(N=2,022)

1. ぜひ利用したい 11.7% 3. あまり利用したいと思わない 28.2%
2. 金額などの条件があれば利用したい 50.0% 4. 利用したくない 8.2%
- 無回答 1.8%

来年度就学予定の児童を持つ保護者の方におうかがいします

問 24 あて名のお子さんが来年度就学予定の方におうかがいします。

①～④それぞれで、該当する項目の番号に○をつけ、利用したい方は に日数を記入してください。

① 小学校入学以降、学童クラブ (※) を利用したいと思いますか。

※学童クラブは、仕事などの都合で、保護者が留守の児童の小学 1～3 年生の児童を放課後から午後 6 時まであずかる施設です。

(n=336)

1. 利用したい → 週 平均 4.4 日くらい 40.5%
2. 利用予定はない 56.5%
- 無回答 3.0%

② 小学校入学以降、放課後子ども教室 (※) を利用したいと思いますか。

※放課後子ども教室は、子どもたちの健やかな成長を支援するため、放課後や土曜日に小学校施設を活用して「遊びの場・学びの場」を提供しています。

(n=336)

1. 利用したい → 週 平均 3.0 日くらい 77.1%
2. 利用予定はない 18.5%
- 無回答 4.5%

ベビーシッターの利用についておうかがいします

問 25 あて名のお子さんについてベビーシッターを利用していますか。

(該当する項目の番号に○をつけてください)

(N=2,022)

1. 利用している ⇒問 25-1 へ 0.7%
2. 利用していない ⇒問 26 へ 97.6%
- 無回答 1.7%

問 25-1 問 25 で「1. 利用している」と答えた方におうかがいします。

① どのような目的で利用していますか。(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)
(n=15)

- | | |
|---|-------|
| 1. 主たる保育サービスとして利用している | 0.0% |
| 2. 保育施設などの利用で定めない時間を補う目的で利用している (朝・タなど) | 33.3% |
| 3. 子どもの病氣・ケガなどの緊急時に利用している | 60.0% |
| 4. 祖父母や近所の人・友人などにあずかってもらえないときに利用している | 20.0% |
| 5. 親の冠婚葬祭や買い物などの外出の際に利用している | 0.0% |
| 6. その他 (具体的に:) | 6.7% |
| 無回答 | 6.7% |

② どのくらいの頻度で利用していますか。 (該当する項目の番号すべてに○をつけてください。
(n=15)

月に	平均 5.2	日くらい	1 回あたり	平均 6.0	時間程度
----	--------	------	--------	--------	------

問 26 すべての方におうかがいします。今後ベビージッターを月に何日くらい利用したいですか。
(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください。
(N=2022)

月に	平均 0.8	日くらい	1 回あたり	平均 2.0	時間程度
----	--------	------	--------	--------	------

ファミリーサポートセンターの利用についておうかがいします

問 27 地域住民による簡易の相互援助事業(ファミリーサポートセンター)がありますが、この活動を利用したことはありますか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)
(N=2022)

- | | | |
|-------------------------|----------|-------|
| 1. 利用したことがある | ⇒問 27-1へ | 4.9% |
| 2. 会員登録はしているが、利用したことはない | ⇒問 27-2へ | 6.0% |
| 3. 知っているが利用したことはない | ⇒問 27-2へ | 47.3% |
| 4. 知らなかった | ⇒問 27-2へ | 40.4% |
| 無回答 | | 1.4% |

問 27-1 問 27 で「1. 利用したことがある」と答えた方におうかがいします。

① どのような目的で利用していますか。(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)
(n=99)

- | | |
|---|-------|
| 1. 主たる保育サービスとして利用している | 14.1% |
| 2. 保育施設などの利用で足りない時間を補う目的で利用している (朝・タなど) | 23.2% |
| 3. 子どもの病氣・ケガなどの緊急時に利用している | 9.1% |
| 4. 祖父母や近所の人・友人などにあずかってもらえないときに利用している | 21.2% |
| 5. 親の冠婚葬祭や買い物などの外出の際に利用している | 18.2% |
| 6. 保育施設などの送り迎えに利用している | 15.2% |
| 7. その他 (具体的に:) | 21.2% |
| 無回答 | 1.0% |

② どのくらいの頻度で利用していますか。 (該当する項目の番号すべてに○をつけてください。
(n=99)

月に	平均 3.9	日くらい	1 回あたり	平均 2.7	時間程度
----	--------	------	--------	--------	------

③ 利用日数・時間数を増やしたいと思いませんか。②で回答した日数、時間数に追加を希望する場合は、 () に数字を記入してください。
(n=99)

月に	平均 4.4	日くらい	1 回あたり	平均 2.5	時間程度追加したい
----	--------	------	--------	--------	-----------

問 27-2 問 27 で「2」～「4」と答えた方におうかがいします。

① 利用していない理由は何か。(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)
(n=1,895)

- | | | | |
|---------------------|-------|--------------------|-------|
| 1. 利用料が高いため | 7.6% | 6. 当面利用する必要がなかったから | 40.2% |
| 2. 登録料になっているから | 8.3% | 7. 提供時間がみつからないから | 2.0% |
| 3. 急に利用しにくいから | 20.2% | 8. 知らなかったから | 38.9% |
| 4. 説明会に参加しなければならぬから | 8.4% | 9. その他 (具体的に:) | 4.4% |
| 5. 提供会場にあずけるのが不安だから | 9.3% | 無回答 | 2.4% |

② 今後、利用したいと思いませんか。該当する項目の番号に○をつけ、利用したい方は () に数字を記入してください。
(n=1,895)

- | | | | | | | |
|---------------|--------|------|--------|--------|------|-------|
| 1. 利用したい → 月に | 平均 2.8 | 日くらい | 1 回あたり | 平均 3.8 | 時間程度 | 21.4% |
| 2. 利用したくない | | | | | | 63.4% |
| 無回答 | | | | | | 15.3% |

地域における子育て支援サービスについておうかがいします

問 28 平日の日中や休日、親子でよくすごしているところはどこですか。
(該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください)
(N=2,022)

- | | | | |
|---------------------------|-------|---------------------|-------|
| 1. 公園・児童遊園 | 82.9% | 7. 子育て支援のNPO | 0.7% |
| 2. 文化センター内の児童室/キッズルーム | 10.7% | 8. 知人・友人宅 | 27.7% |
| 3. 子ども支援センター「たっち」 | 14.8% | 9. 親戚宅 (実家や兄弟・姉妹の家) | 28.5% |
| 4. 子ども支援センター「おどろ」(カープルーム) | 0.3% | 10. その他 (具体的に:) | 23.6% |
| 5. 子育てひろばフアール・ポップコーン/VV | 3.5% | 11. 行くところがない | 2.2% |
| 6. 認可保育所や幼稚園の園庭 (園庭開放事業) | 9.0% | 無回答 | 0.8% |

問 29 府中市では親子で集える場として、以下のようなひろば、施設を設けています。それぞれ
の施設を知っていますか。また、利用したことがありますか。それぞれ1つずつ○をし、
利用したことがある場合は選あてりの利用回数を入してください。

		利用状況	
		利用しているが 利用したことがある	知らない 利用したこと はない
(N=2,022)			
子ども家庭支援センター「たちち」	58.8% 〔選あてり平均 1.1 回〕	29.7%	6.1%
子ども家庭支援センター「しらとり」 (オーブグループ)	4.5% 〔選あてり平均 1.0 回〕	54.2%	11.9%
子育てひろば「ポップコーン・ポップコーン」	22.3% 〔選あてり平均 1.0 回〕	52.0%	11.2%
文化センター	40.8% 〔選あてり平均 1.3 回〕	40.4%	10.4%
保育園の子育てひろば	20.5% 〔選あてり平均 1.1 回〕	48.5%	12.0%

問 30 問 29 でどのひろば、施設も利用していない方がいます。
現在利用していない理由は何ですか。以下のように記入してください。

(該当する項目を1つ選ひその番号に○をつけてください)
(n=460)

1. 利用したいサービスが地域にない 1.5%
2. 地域のサービスの質に不安がある 1.3%
3. 地域のサービスの利便性（立地・開催時間・日数など）が悪く利用しづらい 6.3%
4. 利用料がかかる 3.3%
5. 自分がサービスの対象者になるのかわからない 2.4%
6. 時間がない 21.7%
7. サービスの利用方法（手続きなど）がわからない 8.5%
8. その他（具体的に： ） 12.4%
9. 特に理由はない 37.8%

無回答 4.8%

問 31 問 29 のひろば、施設について利用希望がありますか。
それぞれ1つずつ○をし、利用したい場合は選あてりの利用回数を入してください。
現在、利用している方も今後の選あてりの利用希望回数を入してください。

		利用希望	
		利用したい	利用したく ない
(N=2,022)			
子ども家庭支援センター「たちち」	44.6%〔選あてり 平均 1.2 回〕	31.2%	24.2%
子ども家庭支援センター「しらとり」 (オーブグループ)	16.7%〔選あてり 平均 1.1 回〕	52.7%	30.6%
子育てひろば「ポップコーン・ポップコーン」	23.3%〔選あてり 平均 1.1 回〕	47.1%	29.6%
文化センター	45.9%〔選あてり 平均 1.2 回〕	28.4%	25.7%
保育園の子育てひろば	30.1%〔選あてり 平均 1.1 回〕	41.5%	28.4%

問 32 親子で集える場は、どのような役割をもっていたらよいと思いますか。
(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

(N=2,022)

1. 子どもの遊び場 82.1%
2. 子どもと一緒に遊んでくれるスタッフがいる場 46.3%
3. 親の息抜き 46.1%
4. 親同士の交流 51.1%
5. 専門スタッフによる育児に関する相談 28.9%
6. 市や地域の子どもセンターに関する相談 23.6%
7. 地域の人たちの助け合い 19.0%
8. 親子で楽しめるイベントやプログラムの提供 52.6%
9. 家庭・育児に関する講座の開催 10.2%
10. 子育ての仲間などと一緒に活動できる場 15.9%
11. 子どもの一時あそび場 32.9%
12. その他（具体的に： ） 0.8%
13. 特に期待することはない 0.8%

無回答 1.4%

問 33 子どもの遊び場について、お気づきのことはありますか。
(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

(N=2,022)

1. 近くに遊び場がない 9.2%
2. 雨の日に遊べる場所がない 51.1%
3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない 16.1%
4. 遊具などの種類が充実していない 32.0%
5. 不衛生である 20.9%
6. いつも混雑していて遊びにくい 15.6%
7. 遊具などの設備が古くて危険である 12.6%
8. 緑などの自然が少ない 4.7%
9. 遊具やその設備が壊れて、安心して遊べない 8.7%
10. 遊び場周辺の道路が危険である 16.6%
11. 遊具が壊れても子どもが同じく遊ぶ場所がない 13.5%
12. 特に感じることはない 15.4%
13. その他（具体的に： ） 7.3%

無回答 2.8%

問 34 都や市では子育てについて、以下のような相談できる施設などがあります。これまでに利用
したことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。サービスごとに、A～Cの
それぞれについて、「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

		A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい	
		はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
(N=2,022)							
児童相談所	81.3%	15.0%	3.7%	3.1%	88.2%	8.7%	91.3%
育児相談（保育所・保育園）	70.8%	24.9%	4.3%	16.2%	75.2%	8.7%	91.3%
子ども家庭支援センター「たちち」	88.6%	7.0%	4.4%	57.0%	36.3%	6.7%	93.3%
子ども家庭支援センター「しらとり」	64.3%	31.4%	4.3%	6.1%	85.0%	8.9%	91.1%
青少年・子ども相談 (女性センター・スクエア21)	47.3%	48.9%	3.8%	4.0%	86.8%	9.2%	90.8%
子育て相談室（保健センター）	66.5%	29.6%	3.9%	18.0%	73.4%	8.6%	91.4%
教育・課学相談（教育センター）	25.8%	70.2%	4.0%	2.5%	87.7%	9.8%	90.2%
東京都教育相談センター	16.5%	79.0%	4.3%	0.7%	88.8%	10.4%	89.6%
民生委員・児童委員	29.0%	66.7%	4.3%	0.8%	88.9%	10.3%	89.7%
母親学級、両親学級、育児学級	77.1%	18.8%	4.1%	50.8%	8.0%	35.4%	64.6%
保健センターの保健・相談サービス	52.5%	43.2%	4.3%	18.0%	72.4%	9.6%	90.4%
家庭教育に関する学級・講座	22.9%	72.7%	4.5%	4.3%	85.4%	10.3%	89.7%
保健所や幼稚園の通園などの相談	85.5%	10.4%	4.1%	41.4%	51.3%	7.3%	92.7%
児童館	72.4%	23.2%	4.4%	32.8%	59.3%	8.1%	91.9%
子育て支援情報誌 （「子育てのたのしみ」など）	65.4%	30.3%	4.3%	43.7%	43.5%	7.8%	92.2%
産前産後家庭サポート事業	57.4%	33.7%	3.9%	6.6%	84.6%	8.8%	91.2%

地域との関わりについておうかがいします

問 35 あなたは、隣近所の人と、どの程度近所つきあいをしていますか。
(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (N=2,022)
- | | |
|--------------------------|-------|
| 1. 個人的なことを相談しあえる人がいる | 27.4% |
| 2. ざしざわりのないことなら、話せる相手がいる | 36.8% |
| 3. 近で会えば、あいさつをする程度の人ならいる | 27.3% |
| 4. ほとんど近所つきあいをしない | 5.8% |
| 無回答 | 2.6% |

問 35-1 問 35 で「1. 個人的なことを相談しあえる人がいる」、「2. ざしざわりのないことなら、話せる相手がいる」と答えた方におうかがいします。
どのような方と近所つきあいをしていますか。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

- (n=1,300)
- | | |
|-----------------|-------|
| 1. 地域の自治会の人 | 25.5% |
| 2. 子どもの学校や幼稚園の人 | 69.6% |
| 3. 自分の習い事の人 | 5.3% |
| 4. その他【具体的に：】 | 28.7% |
| 無回答 | 0.8% |

問 35-2 問 35 で「3. 近で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」、「4. ほとんど近所つきあいをしない」と答えた方におうかがいします。
主な理由をお答えください。

(該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください)

- (n=669)
- | | |
|--------------------------|-------|
| 1. 仕事や家事・育児などで忙しく時間がないから | 42.3% |
| 2. 引っ越してきて間もないから | 16.7% |
| 3. 普段つきあう機会がないから | 75.3% |
| 4. 同世代の人が近くにいないから | 25.7% |
| 5. 奥の合う人・話の合う人が近くにいないから | 15.7% |
| 6. あまりかわりをもたないから | 8.8% |
| 7. その他【具体的に：】 | 4.3% |
| 無回答 | 2.2% |

子育て支援サービスに関する情報についておうかがいします

問 36 ふだん、子育てに関する情報入手するためにインターネットを利用していますか。
(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (N=2,022)
- | | | | |
|---------------|-------|---------------|-------|
| 1. よく利用している | 24.3% | 3. あまり利用していない | 19.7% |
| 2. ときどき利用している | 32.3% | 4. まったく利用しない | 21.2% |
| 無回答 | | 無回答 | 2.5% |

問 37 子育て支援サービスに関する情報は、どこから入手できるとよいと思いますか。
(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

- (N=2,022)
- | | | | |
|-------------------|-------|----------------------|-------|
| 1. 市のホームページ | 56.6% | 6. 健康診断などで配られるパンフレット | 29.2% |
| 2. 携帯電話用の市のホームページ | 14.3% | 7. 認可保育園・幼稚園 | 51.3% |
| 3. 市役所や文化センターの窓口 | 26.1% | 8. 子ども家庭支援センター | 19.1% |
| 4. 広報ふちゅう | 71.9% | 9. テレビ・ラジオ | 9.3% |
| 5. 自治会の回覧板 | 17.3% | 10. その他【具体的に：】 | 2.4% |
| 無回答 | | | 2.8% |

児童虐待防止についておうかがいします

問 38 児童虐待について次の①～③のことを知っていますか。
(それぞれその項目について該当する番号に○をつけてください)

	はい	いいえ	無回答
①「児童虐待の防止などに関する法律」(児童虐待防止法)があるのを知っていますか	80.7%	17.5%	1.9%
②ご近所などで児童虐待と聞かれることを見たり聞いたりしたことがありますか	4.8%	93.3%	1.9%
③児童虐待と聞かれることがおきた場合に相談や通報する施設を知っていますか	39.8%	58.0%	2.2%

問 39 児童虐待を見聞きした場合には、どちらに通報しようと思いますか。
(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (N=2,022)
- | | | | |
|----------------|-------|---------------|-------|
| 1. 児童相談所 | 58.1% | 5. 府中市保健センター | 5.3% |
| 2. 子ども家庭支援センター | 9.6% | 6. 警察署 | 12.4% |
| 3. 市役所 | 10.5% | 7. その他【具体的に：】 | 0.7% |
| 4. 保健所 | 0.9% | 無回答 | 2.4% |

安全なまちづくりについておうかがいします

問 40 あて名のお子さんの日ごろの安全や防犯について、ご家庭でどんなことに気をつけていますか。(該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください)

- (N=2,022)
- | | | | |
|---------------------|-------|------------------|-------|
| 1. 知らない人に対しての対応 | 49.7% | 6. 危険を感じたときの対処方法 | 20.8% |
| 2. 毎日あったことを話す | 24.5% | 7. 帰宅時間を決める | 9.4% |
| 3. 緊急時に世話をしてくれる人の確認 | 9.0% | 8. 防犯ブザーなどの携帯 | 3.0% |
| 4. 交通ルールについての確認 | 57.0% | 9. その他【具体的に：】 | 4.7% |
| 5. 遊び場の利用 | 24.3% | 10. 特にしていない | 13.0% |
| 無回答 | | 無回答 | 2.9% |

問 41 子どもの安全を守るために、必要だと思われることは何ですか。
(該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください)

- (N=2,022)
- | | |
|---|-------|
| 1. 地域の交通安全活動の开展・強化 | 35.8% |
| 2. 歩行者や自転車のための交通安全施設（ガードレール、歩道橋など）の整備 | 36.3% |
| 3. 地域ぐるみのパトロールなどの子どもを犯罪から守るための取組み | 53.4% |
| 4. 日ごろから家庭で安全や防犯について話しておくこと | 47.8% |
| 5. 危険を感じたときの対応について | 20.9% |
| 6. 不審者の侵入防止などについて話しあうこと | 6.4% |
| 7. 通学路や子どもの遊び場（公園など）の安全対策（防犯びや防犯カメラの整備など） | 57.8% |
| 8. 公園遊具の安全性の確保 | 20.0% |
| 9. その他（具体的に：) | 2.3% |
| 無回答 | 2.0% |

育児休業制度の利用についておうかがいします

問 42 あて各のお子さんについて、育児休業制度を利用しましたか。
(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (N=2,022)
- | | | |
|------------------|-----------|-------|
| 1. 母親が利用した | ⇒問 42-1 へ | 21.0% |
| 2. 父親が利用した | ⇒問 42-1 へ | 0.6% |
| 3. 母親と父親の両方が利用した | ⇒問 42-1 へ | 0.3% |
| 4. 利用しなかった | ⇒問 43 へ | 75.9% |
| 無回答 | | 2.1% |

問 42-1 問 42 で「1」～「3」と答えた方におうかがいします。

① 育児休業から復帰なさったとき、お子さんの月齢は何ヶ月でしたか。
[] に数字を記入してください。

(お子さんが1歳以上の場合も月に換算してお答えください。問 42 で「3.」とお答えになった方は、最後の育児休業利用者が復帰された時についてお答えください。)

(N=444)

子どもは	平均 10.6	か月だった
------	---------	-------

② 育児休業明けに、希望する保育サービスを利用できませんでしたか。
(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (N=444)
- | | | |
|---------------------|---------|-------|
| 1. 育児休業期間を調整せずにできた | ⇒問 43 へ | 39.0% |
| 2. 育児休業期間を調整したのでできた | ⇒④ へ | 28.2% |
| 3. できなかった | ⇒④ へ | 16.9% |
| 4. 希望しなかった | ⇒問 43 へ | 7.0% |
| 無回答 | | 9.0% |

③ ② で「2. 育児休業期間を調整したのでできた」と答えた方におうかがいします。
育児休業明けに希望する保育サービスが確実に利用できたとしたら、育児休業は実際に取得した期間と変わりましたか。(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけ、「2」及び「3」を選ばれた方は、[] に数字を記入してください。)

- (N=125)
- | | | |
|-----------|---------|-------|
| 1. 変わらない | | 12.0% |
| 2. 平均 5.5 | か月 長くした | 51.2% |
| 3. 平均 4.4 | か月 短くした | 36.0% |
| 無回答 | | 0.8% |

④ ② で「3. できなかった」と答えた方におうかがいします。
どのように対応しましたか。(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (N=75)
- | | |
|----------------------|-------|
| 1. 希望とは違う認可保育所を利用した | 12.0% |
| 2. 事業所内の保育サービスを利用した | 6.7% |
| 3. 上記以外の保育サービスを利用した | 37.3% |
| 4. 家族などにみてもらうことで対応した | 18.7% |
| 5. 仕事を辞めた | 9.3% |
| 無回答 | 16.0% |

子育てと仕事の両立についておうかがいします

問 43 あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度についておうかがいします。①希望と②現実についてお答えください。

① 希望 (該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (N=2,022)
- | | | | |
|----------------|-------|----------------|-------|
| 1. 仕事時間を優先 | 7.1% | 3. プライベートを優先 | 17.9% |
| 2. 家事（育児）時間を優先 | 68.5% | 4. その他（具体的に：) | 3.7% |
| | | 無回答 | 2.8% |

② 現実 (該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (N=2,022)
- | | | | |
|----------------|-------|----------------|------|
| 1. 仕事時間を優先 | 24.9% | 3. プライベートを優先 | 0.9% |
| 2. 家事（育児）時間を優先 | 69.3% | 4. その他（具体的に：) | 1.6% |
| | | 無回答 | 3.2% |

問 44 男女ともに子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業など（職場）がどのようなこと
 ならよいと思いますか。（該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください）
 (N=2,022)

- | | |
|--|-------|
| 1. 妊娠中の通勤・就労などに配慮した各種制度（時差出勤制度など） | 16.0% |
| 2. 産前産後の休暇が十分にとれる制度 | 17.9% |
| 3. 子どもが満1歳になるまでの育児休業期間にある程度の給付保障がされる制度 | 21.0% |
| 4. 育児休業期間が1年を超えてとれる制度 | 12.1% |
| 5. 出産・育児などのため会社を辞めた女性を再雇用する制度（再雇用制度） | 25.0% |
| 6. 育児のために必要な場合に、就業時間を短縮することができる制度（短時間勤務制度） | 23.9% |
| 7. 就業時間がある程度自由に融通できる制度（フレックスタイム制度） | 20.9% |
| 8. 自宅で仕事をすることができるとる制度（在宅勤務制度） | 17.0% |
| 9. 子どもが病気やけがのときなどに休暇がとれる制度 | 45.2% |
| 10. 子どもの行事（運動会やお遊戯会など）に参加するための休暇制度 | 19.2% |
| 11. 企業（職場）内に託児所を設けること | 18.2% |
| 12. 男女ともに子育てと仕事が両立しやすいように、企業（職場）内で子育ての理解を深めていくこと | 25.4% |
| 13. 保育料に対する企業（職場）からの助成 | 14.5% |
| 14. 特に希望することはない | 1.3% |
| 15. その他（具体的に：) | 2.6% |
| 無回答 | 2.0% |

問 45 最後に、市の子育て支援施策に関するご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

お忙しいところご協力いただきありがとうございました。



府中市 次世代育成支援に関する市民意向調査

【調査ご協力のお願い】

日ごろは市政につきましてご理解ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、府中市では、平成 21 年度に策定を予定しております「府中市次世代育成支援行動計画（後期）」の基礎資料とするため、市民の皆さまの「子育て支援」に関する生活実態やご要望・ご意見など把握させていただきたく、本調査を実施することとなりました。

この調査は、府中にお住まいの小学生を無作為で 2,000 人抽出させていただき、その保護者の方にご回答をお願いするものでございます。

ご回答いただきました内容につきましてはすべて統計的に処理し、情報が外部に漏れることはありません。また、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成 20 年 10 月 30 日
府中市長 野口 忠 直

調査票は、**11 月 13 日（木）**までに**ご返送**ください。

【記入にあたってのお願い】

1. 特にことわりがある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入いただく場合がございます。
4. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きにしたがつてください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
5. 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24 時間制（午後 6 時→18 時）でご記入ください。
6. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや失印にしたがってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
7. 記入が済みましたら、同封の返信用封筒に入れて **11 月 13 日（木）**までにご返送ください。なお、調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。（切手も不要です。）
8. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
9. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

府中市 子ども家庭部子育て支援課 担当：山本、石下
電話： 042-335-4192 FAX：042-334-0810

府中市 次世代育成支援に関する市民意向調査票
(小学生調査)

あて名のお子さんとはご家族の状況についておうかがいします

F 1 あて名のお子さんの生年月を () に記入してください。

(N=1,301)

平成 () 年 () 月 生まれ
平均年齢 8.5 歳

F 2 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢(平成20年4月1日現在の年齢)を () に記入してください。

(N=1,301)

(平均 2.2) 人 (n=1,065) 末子の年齢(平均 6.4) 歳

F 3 あて名のお子さんとの同居・近居(概ね30分以内程度に行き来できる範囲)の状況についておうかがいします。姉妹はあて名のお子さんからみただけです。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

(N=1,301)

- | | | | |
|----------------|-------|------------------|-------|
| 1. 父母同居 | 83.9% | 5. 祖母同居 | 11.6% |
| 2. 父同居(ひとり親家庭) | 0.6% | 6. 祖父近居 | 20.1% |
| 3. 母同居(ひとり親家庭) | 8.5% | 7. 祖母近居 | 24.6% |
| 4. 祖父同居 | 6.3% | 8. その他親族の同居・近居あり | 14.8% |
| | | 無回答 | 2.2% |

F 4 あて名のお子さんの保護者(※)の現在の状況についておうかがいします。年齢をご記入のうえ、それぞれの欄について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(N=1,301)

年 齢	父 親	母 親
あて名のお子さんとの同居状況	(平均 42.0) 歳 1. 一緒に住んでいる 88.9% 2. 単独住居や別荘などに住んでいる 2.6% 3. 別居している 0.6% 4. 離婚、死亡などではない 4.8% 無回答 3.0%	(平均 39.8) 歳 1. 一緒に住んでいる 98.0% 2. 単独住居や別荘などに住んでいる 0.1% 3. 別居している 0.0% 4. 離婚、死亡などではない 0.5% 無回答 1.5%
就労状況	1. 常勤の勤め人(正社員・正職員) 82.3% 2. パート・アルバイト 0.5% 3. 契約社員(※) 0.5% 4. 派遣社員 0.2% 5. 自営業・家族従業員 9.1% 6. 在宅勤務・内職 0.0% 7. 学生 0.1% 8. 無職・家事専従 0.8% 9. その他 () 1.2% 無回答 5.8%	1. 常勤の勤め人(正社員・正職員) 14.8% 2. パート・アルバイト 30.3% 3. 契約社員(※) 2.5% 4. 派遣社員 2.2% 5. 自営業・家族従業員 3.7% 6. 在宅勤務・内職 1.4% 7. 学生 0.3% 8. 無職・家事専従 42.2% 9. その他 () 1.2% 無回答 1.5%

※父親、母親がいない方は、養育者の方の欄にお書きください。

※契約社員とは、正社員とは別の労働契約に基づいて働く方で、嘱託職員や非常勤職員などのことです。

F 5 現在のお住まいは次のうちどれですか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

(N=1,301)

- | | | | |
|--------------|-------|--------------|-------|
| 1. 持ち家の一戸建て | 39.9% | 4. 民間賃貸の集合住宅 | 16.1% |
| 2. 持ち家の集合住宅 | 28.4% | 5. 公的賃貸住宅 | 7.5% |
| 3. 民間賃貸の一戸建て | 1.5% | 6. その他(具体的に) | 5.3% |
| | | 無回答 | 1.4% |

F 6 どちらにお住まいですか。 () に記入してください。

() 町 () 丁目

(N=1,301)

- | | | | | | |
|------|-------|------|-------|-----|------|
| 第一地区 | 22.8% | 第四地区 | 10.9% | 無回答 | 1.7% |
| 第二地区 | 18.2% | 第五地区 | 12.0% | | |
| 第三地区 | 15.9% | 第六地区 | 18.5% | | |

第一地区：多摩区、鶴見区、江東区、白子台(1～3丁目)、茗荷谷、葛西、葛西、葛西
第二地区：白子台(4～6丁目)、押上、小幡、八幡、清水が丘、葛西
第三地区：文京区、豊島区、荒川区、荒川区、荒川区、荒川区
第四地区：文京区、豊島区、荒川区、荒川区、荒川区、荒川区
第五地区：目黒区、目黒区、目黒区、目黒区、目黒区、目黒区
第六地区：目黒区、目黒区、目黒区、目黒区、目黒区、目黒区

F 7 この調査票にご記入されている方はどなたですか。姉妹はあて名のお子さんからみただけです。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

(N=1,301)

- | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|--------------|------|-----|------|
| 1. 父親 | 13.1% | 2. 母親 | 84.7% | 3. その他(具体的に) | 0.2% | 無回答 | 2.0% |
|-------|-------|-------|-------|--------------|------|-----|------|

日ごろの子育てについておうかがいします

問1 日ごろ、お子さんをあずかってもらえる人はいいますか。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

(N=1,301)

- | | |
|------------------------------------|-------|
| 1. 日常的に祖父母などの親族にあずかってもらえる | 17.9% |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にあずかってもらえる | 48.4% |
| 3. 日常的に子どもをあずけられる友人・知人がいる | 7.6% |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをあずけられる友人・知人がいる | 32.7% |
| 5. いずれもない | 13.8% |
| 無回答 | 1.6% |

- 問1-1 問1で「1」か「2」と答えた方におうかがいします。
祖父母にあずかってもらっている状況について、あてはまるものはどれですか。
(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)
(n=832)
- | | |
|---------------------------------|-------|
| 1. 祖父母が孫をあずかることについては、特に問題はない | 64.7% |
| 2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である | 20.7% |
| 3. 祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | 14.7% |
| 4. 自分たちの子どものことで、負担をかけていることが心苦しい | 16.6% |
| 5. その他〔具体的に：〕 | 4.9% |
| 無回答 | 1.1% |
- 問1-2 問1で「3」か「4」と答えた方におうかがいします。
友人や知人にあずかってもらっている状況について、あてはまるものはどれですか。
(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)
(n=487)
- | | |
|----------------------------------|-------|
| 1. 友人・知人にあずかってもらうことについては、特に問題はない | 53.2% |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である | 2.5% |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | 13.3% |
| 4. 自分たちの子どものことで、負担をかけていることが心苦しい | 30.6% |
| 5. その他〔具体的に：〕 | 10.7% |
| 無回答 | 1.0% |
- 問2 あて名のおさんさんの身のまわりの世話などを主にしている方（主たる保育者）はどなたですか。
納病はあて名のお子さんからみただけの関係です。
(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)
(n=1,301)
- | | | | | | | | |
|-------|------|-------|-------|--------|------|---------------|------|
| 1. 父親 | 1.5% | 2. 母親 | 96.2% | 3. 祖父母 | 0.9% | 4. その他〔具体的に：〕 | 0.4% |
| 無回答 | 1.0% | | | | | | |
- 問3 主たる保育者以外のまわりの人の子育てへの関わり方についておうかがいします。
- ① 問2で「2. 母親」と回答した方におうかがいします。
母親からみて、父親の子育てへの関わり方はいかがですか。
(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)
(n=1,251)
- | | | | | | |
|--------------|-------|--------------|-------|-----------|------|
| 1. 協力的である | 40.1% | 3. あまり協力的でない | 14.0% | 5. 父親はいない | 6.6% |
| 2. 比較的協力的である | 35.3% | 4. 協力的でない | 3.0% | 無回答 | 1.0% |
- ② 問2で「2. 母親」と回答した方におうかがいします。
母親からみて、ご両親で子どものことについてよく話しますか。
(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)
(n=1,251)
- | | | | | | |
|-----------|-------|-------------|------|-----------|------|
| 1. 話す | 64.2% | 3. ほとんど話さない | 2.6% | 5. 父親はいない | 5.8% |
| 2. ときどき話す | 23.1% | 4. 話をしない | 1.1% | 無回答 | 3.2% |

- ③ すべての方におうかがいします。あなたのまわりには子育ての仲間がいますか。
(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)
(n=1,301)
- | | |
|------------------------|-------|
| 1. 子どもをあずけることができる仲間がいる | 44.7% |
| 2. 話をする仲間がいる | 48.7% |
| 3. 仲間がいない | 5.1% |
| 無回答 | 1.5% |
- 問4 子育てを楽しんでいると感じますか。(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)
(n=1,301)
- | | |
|-------------------------------|--------|
| 1. 楽しいと感じることの方が多い | ⇒問4-1へ |
| 2. 楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい | ⇒問4-2へ |
| 3. つらいと感じることの方が多い | ⇒問4-2へ |
| 4. わからない | |
| 5. その他〔具体的に：〕 | |
| 無回答 | |
- 問4-1 問4で「1」と答えた方におうかがいします。
子育てをする中で、どのような支援・対策が有効だと思いますか。
(該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください)
(n=788)
- | | | | |
|----------------------|-------|------------------------|-------|
| 1. 地域における子育て支援の充実 | 34.1% | 7. 子どもの教育環境 | 45.8% |
| 2. 保育サービスへの充実 | 20.7% | 8. 子育てしやすい住居・まちの環境での充実 | 41.6% |
| 3. 子育て支援のネットワークづくり | 8.1% | 9. 仕事と家庭生活の両立 | 30.3% |
| 4. 地域における子どもの活動拠点の充実 | 28.3% | 10. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減 | 46.4% |
| 5. 妊娠・出産に対する支援 | 15.2% | 11. 要保児童に対する支援 | 3.4% |
| 6. 母親・乳児の困難に対する安心 | 5.5% | 12. その他〔具体的に：〕 | 3.8% |
| | | 無回答 | 0.4% |
- 問4-2 問4で「2」か「3」と答えた方におうかがいします。
自分にとって子育てのつらさを解消するために必要なことは何ですか。
(該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください)
(n=456)
- | | | | |
|----------------------|-------|------------------------|-------|
| 1. 地域における子育て支援の充実 | 32.5% | 7. 子どもの教育環境 | 39.3% |
| 2. 保育サービスへの充実 | 19.5% | 8. 子育てしやすい住居・まちの環境での充実 | 25.0% |
| 3. 子育て支援のネットワークづくり | 8.8% | 9. 仕事と家庭生活の両立 | 39.7% |
| 4. 地域における子どもの活動拠点の充実 | 21.9% | 10. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減 | 33.6% |
| 5. 妊娠・出産に対する支援 | 3.7% | 11. 要保児童に対する支援 | 5.0% |
| 6. 母親・乳児の困難に対する安心 | 4.2% | 12. その他〔具体的に：〕 | 9.2% |
| | | 無回答 | 3.1% |

- 問5 日ごろの子育てについて、どのように感じているか、どのように感じてもらいたいですか。
(①～⑥のそれぞれの問について、該当する項目の番号1つに○をつけてください)
- ① 子どもの成長が楽しみですか。
(N=1,301)
1. 楽しみ 85.8% 4. 楽しみではない 0.2%
2. どちらかといえば楽しみ 12.4% 5. 特に感じない 0.8%
3. どちらかといえば楽しみではない 0.5% 無回答 0.5%
- ② 子育てで自信がもてなくなることがありますか。
(N=1,301)
1. まったくない 7.5% 4. よくある 7.9%
2. あまりない 28.2% 5. 特に感じない 1.9%
3. ときどきある 54.0% 無回答 0.5%
- ③ お子さんとよく話しますか。
(N=1,301)
1. よく話す 88.1% 3. あまり話さない 0.4% 無回答 0.3%
2. ときどき話す 11.2% 4. 話をしない 0.0%
- ④ 子育てが嫌になることがありますか。
(N=1,301)
1. まったくない 23.5% 2. あまりない 40.8% 3. ときどきある 32.4% 4. よくある 2.9% 無回答 0.4%
- ⑤ イライラして子どもをだいてしまうことがありますか。
(N=1,301)
1. まったくない 24.8% 2. あまりない 40.2% 3. ときどきある 32.7% 4. よくある 2.2% 無回答 0.2%
- ⑥ しつけのために子どもを厳しくしかることがありますか。
(N=1,301)
1. まったくない 0.5% 2. あまりない 11.5% 3. ときどきある 67.1% 4. よくある 20.6% 無回答 0.4%
- ⑦ 子どもに食事を与えない、風呂に入れないなど、子どもの面倒をみないことがありますか。
(N=1,301)
1. まったくない 93.9% 2. あまりない 5.5% 3. ときどきある 0.5% 4. よくある 0.0% 無回答 0.2%
- ⑧ 子どもの考えていることや家庭以外での過ごし方を知っていますか。
(N=1,301)
1. よく知っている 26.3% 3. あまり知らない 3.2% 無回答 0.3%
2. おおむね知っている 70.2% 4. まったく知らない 0.1%

- 問6 保護者はふだんの生活の中で、あて名のお子さんとのくくらい接していますか。
(平日と休日それぞれ該当する時間を1つ選ぶその番号に○をつけてください。
また、「同居していない」や「いない」ときは、その項目番号に○をつけてください。)
- (N=1,301)
- | (1) 父親と | | (2) 母親と | |
|---------|-----------------------------------|---------|-----------------------------------|
| 平日 | 休日 | 平日 | 休日 |
| 1時間未満 | 48.3% | 1時間未満 | 0.5% |
| 1～2時間程度 | 27.4% | 1～2時間程度 | 2.6% |
| 3時間以上 | 13.3% | 3時間以上 | 94.1% |
| その他 | 4. 同居していない 3.7%
5. 父親はいない 4.8% | その他 | 4. 同居していない 0.2%
5. 母親はいない 0.5% |
| 無回答 | 2.5% | 無回答 | 2.2% |

- 問7 子育ての中で、日ごろ悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)
- (N=1,301)
1. 病気に関すること 19.9%
 2. 発育・発達に関すること 14.7%
 3. 食事や栄養に関すること 14.3%
 4. 子育ての方法がよくわからないこと 4.2%
 5. 子どもとの接し方に自信が持てないこと 10.6%
 6. 子どもとの時間を十分にとれないこと 12.3%
 7. 子どものほめ方/やり方がよくわからないこと 20.7%
 8. いじめに関すること 19.8%
 9. 友達づきあいや友人関係に関すること 47.4%
 10. 子どもの教育・塾、進路に関すること 52.3%
 11. 子どもに落ち着きがないこと 9.5%
 12. 仕事や自分のやりたいことができないこと 17.8%
 13. 子どもに相手する話し方や態度がわからないこと 1.9%
 14. その他(具体的に:) 4.8%
 15. 特になし 9.7%

- 問8 あなたは、子育てについて、気軽に相談できる人がいますか。
(該当する項目の番号に○をつけてください)
- (N=1,301)
1. いる ⇒問8-1 へ 92.4%
 2. いない ⇒問9 へ 7.3%
 - 無回答 0.3%

問8-1 問8で「1. いる」と答えた方におうかがいします。気軽に相談できる人はどなたですか。
(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

- (n=1,202)
1. 親や家族 80.4%
 2. 近所の人 22.4%
 3. 子育て中の仲間 74.0%
 4. 子育てのための施設 1.7%
 5. 学校や教員 13.7%
 6. 行政(市役所・警察・児童相談所など) 1.1%
 7. その他() 6.2%
 - 無回答 0.1%

- 問9 あて名のお子さんについて、希望した時期に、希望した保育サービスを利用することができましたか。(該当する項目を1つ選ぶその番号に○をつけてください)

- (N=1,301)
1. 利用できた 44.3%
 2. 育児休業を切り上げるなど調整して利用できた(具体的な内容:) 1.5%
 3. 利用できなかった 26.2%
 4. その他(具体的に:) 16.8%
 - 無回答 11.2%

あて名のお子さんの保護者の就労状況についておうかがいします

問 10 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）おうかがいします。該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください。あわせて、〔 〕に数字を記入してください。

①父親

(N=1,301)

1. 就労している（フルタイム：育児・介護休業中は含まない）
→1週あたりの平均的就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についておうかがいします。
※帰宅時間は24時間制でお答えください。（例：午後6時→18時）
〔1週あたり（平均 50.7）時間、帰宅時間〔 〕時〕 90.1%
2. 就労している（フルタイムだが育児・介護休業中） 0.2%
3. 就労している（パートタイム、アルバイトなど） 0.6%
→就労時間についておうかがいします。
〔1週あたり（平均 4.2）日・1日あたり（平均 6.7）時間〕
- フルタイムへの転換希望がありますか。
〔1. 希望がある 25.0% 2. 希望があるが予定はない 12.5% 3. 希望はない 12.5% 無回答 50.0%〕
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない 0.8%
5. これまでに就労したことがない 0.1%
6. 父親はいない 5.1%

無回答 3.2%

②母親

(N=1,301)

1. 就労している（フルタイム：育児・介護休業中は含まない） 19.8%
→1週あたりの平均的就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についておうかがいします。
※帰宅時間は24時間制でお答えください。（例：午後6時→18時）
〔1週あたり（平均 38.0）時間、帰宅時間〔 〕時〕
2. 就労している（フルタイムだが産休・育児・介護休業中） 0.5%
3. 就労している（パートタイム、アルバイトなど） 34.0%
→就労時間についておうかがいします。
〔1週あたり（平均 3.9）日・1日あたり（平均 5.2）時間〕
- フルタイムへの転換希望がありますか。
〔1. 希望がある 9.7% 2. 希望があるが予定はない 25.6% 3. 希望はない 38.7% 無回答 26.0%〕
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない 35.0%
5. これまでに就労したことがない 8.5%
6. 母親はいない 0.5%

無回答 1.8%

問 10-1 問 10 の「②母親」で「4」か「5」と答えただ方におうかがいします。

母親の就労希望はありますか。

（該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください）

(N=565)

1. ある（すぐにも、もしくは1年以内に希望がある）⇒問 10-2へ 28.3%
2. ある（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）⇒問 10-2へ 48.5%
3. ない ⇒問 11へ 22.8%

無回答 0.4%

問 10-2 問 10-1 で「1」か「2」と答えただ方におうかがいします。

① 就労希望の形態はどのようなものですか。該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください。パート、アルバイトを希望の方は1週あたりの日数及び1日あたりの時間も〔 〕に記入してください。

(N=434)

1. フルタイムによる就労 6.0%
2. パートタイム、アルバイトなどによる就労 88.9%
〔1週あたり（平均 3.5）日・1日あたり（平均 4.8）時間〕

無回答 5.1%

② 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。

（該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください）

(N=434)

1. 学童クラブ（※）などのサービスが利用できない 2.8%
2. 働きながら子育てのできる適当な仕事がない 45.9%
3. 自分の知識、能力にあう仕事がない 4.4%
4. 家族の考え方（親族の理解が得られない）など就労する環境が整っていない 8.5%
5. その他（具体的に： 〕 35.0%

無回答 3.5%

※学童クラブは、仕事などの都合で、保護者が留守の家庭の小学1～3年生の児童を放課後から午後6時まであずかる施設です。

問 10-3 問 10-1 で「2」と答えただ方におうかがいします。

あて名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望しますか。

〔 〕に数字を記入してください。

(N=274)

平均 8.9 歳になったとき

問 11 すべての方におうかがいします。あて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に母親が転職をしましたか。（該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください）

(N=1,301)

1. 転職した ⇒問 11-1へ 36.7%
2. 継続的に働いていた（転職も含む） ⇒問 12へ 18.2%
3. 出産1年前にすでに働いていなかった ⇒問 12へ 42.2%

無回答 2.8%

問 11-1 問 11 で「1. 転職した」と答えただ方におうかがいします。

仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。

（該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください）

(N=478)

1. 保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた 10.5%
2. 職場において育児休業制度などの仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた 16.3%
3. 保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた 15.5%
4. 家族の考え方（親族の理解が得られない）など就労する環境が整っていない 5.0%
5. いずれにしてもやめていた 44.8%
6. その他（具体的に： 〕 7.3%

無回答 0.6%

あて名のお子さんの日々の過ごし方などについておうかがいします

問 12 あて名のお子さんのふだんの生活についておうかがいします。

①ふだん、朝食をしっかりとっていますか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (N=1,301)
- | | | | |
|---------------|-------|---------------|------|
| 1. ほぼ毎日食べる | 96.8% | 3. 週に1~2日程食べる | 0.6% |
| 2. 週に3~5日程食べる | 1.5% | 4. ほとんど食べない | 0.6% |
| | | 無回答 | 0.2% |

②夕食は誰と一緒に食べていますか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (N=1,301)
- | | | | |
|-------------------|-------|-----------------|------|
| 1. いつも父や母など大人と食べる | 88.9% | 3. いつも子どもだけで食べる | 1.5% |
| 2. ととき子どもだけで食べる | 8.9% | 無回答 | 0.7% |

③あて名のお子さんは、学習塾や習い事に通っていますか。該当する項目の番号に○をつけてください。通っている場合は週あたりの日数を記入してください。

(N=1,301)

- | | | | |
|-----------|-------|----|--------------|
| 1. 通っている | 79.0% | ―― | 週 (平均 2.5) 日 |
| 2. 通っていない | 20.8% | | |
| 無回答 | 0.2% | | |

④あて名のお子さんはテレビやビデオを見たり、テレビゲームをする時間を決めていますか。

該当する項目の番号に○をつけてください。決めている場合は1日あたりの時間を記入してください。

(N=1,301)

- | | | | |
|-----------|-------|----|-----------------|
| 1. 決めている | 44.7% | ―― | 1 日 (平均 1.6) 時間 |
| 2. 決めていない | 54.7% | | |
| 無回答 | 0.7% | | |

⑤あて名のお子さんは、現在、ご家庭でインターネットを利用していますか。

(該当する項目の番号に○をつけてください)

(N=1,301)

- | | | | | | |
|-----------|-------|------------|-------|-----|------|
| 1. 利用している | 38.2% | 2. 利用していない | 61.3% | 無回答 | 0.5% |
|-----------|-------|------------|-------|-----|------|

⑥あて名のお子さんが保護者と話をしたり出かけたりする時間についておうかがいします。

平日、土曜日や日曜日・祝日の別にそれぞれ1日あたりの平均時間(就寝時間は除く)を□に記入してください。

(N=1,301)

平日	平均	3.7	時間	土曜日	平均	8.2	時間	日曜日・祝日	平均	8.9	時間
----	----	-----	----	-----	----	-----	----	--------	----	-----	----

⑦あて名のお子さんは、自分専用に次のものを持っていますか。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

(N=1,301)

- | | | | |
|----------------|-------|---------------|-------|
| 1. テレビゲーム | 21.2% | 7. パソコン | 2.1% |
| 2. 携帯型音楽プレーヤー | 56.0% | 8. 携帯型音楽プレーヤー | 9.0% |
| 3. カメラ・デジタルカメラ | 3.8% | 9. ひたひた型 | 24.4% |
| 4. テレビ | 3.4% | 10. 自転車 | 91.5% |
| 5. ビデオ・DVD デッキ | 2.2% | 11. 化粧品 | 2.6% |
| 6. 携帯電話 | 18.1% | 無回答 | 3.0% |

問 13 平日学校が終了した後、あて名のお子さんはどこでどのようにすごされていますか。

～ 学校終了後から夕食前までの時間帯 ～

(該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください)

(N=1,301)

- | | | | |
|---------------------|-------|------------------------|-------|
| 1. 自宅でひとりで過ごす | 45.8% | 5. 学習クラブや放課子ども教室に行っている | 23.8% |
| 2. 自宅でひとりで過ごす | 9.4% | 6. 図書館、文化センターなどに行っている | 12.1% |
| 3. 友達や兄弟姉妹と家の中で遊ぶ | 45.8% | 7. 塾や習い事に行っている | 55.9% |
| 4. 友達や兄弟姉妹と公園など外で遊ぶ | 59.1% | 8. その他 (具体的に：) | 3.4% |
| | | 無回答 | 0.0% |

問 14 問 13 の時間帯に、主たる保育者の方は主にどのような用事が多いですか。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

(N=1,301)

- | | | | |
|-----------------|-------|------------------|-------|
| 1. 仕事をしています | 39.0% | 4. 子どもと一緒に過ごしている | 48.3% |
| 2. 家で用を済ましています | 67.3% | 5. 習い事をしていて | 1.1% |
| 3. 買い物や友人と遊んでいる | 16.2% | 6. その他 (具体的に：) | 3.4% |
| | | 無回答 | 0.2% |

問 15 土日祝日などは、あて名のお子さんはどこでどのようにすごされていますか。

(該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください)

(N=1,301)

- | | | | |
|---------------------|-------|------------------------|-------|
| 1. 自宅で家族と過ごしている | 80.2% | 5. 学習クラブや放課子ども教室に行っている | 3.8% |
| 2. 自宅でひとりで過ごす | 2.6% | 6. 図書館、文化センターなどに行っている | 10.4% |
| 3. 友達や兄弟姉妹と家の中で遊ぶ | 38.5% | 7. 塾や習い事に行っている | 30.1% |
| 4. 友達や兄弟姉妹と公園など外で遊ぶ | 50.2% | 8. その他 (具体的に：) | 22.5% |
| | | 無回答 | 0.2% |

問 16 問 15 の時間帯に、主たる保育者の方は主にどのような用事が多いですか。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

(N=1,301)

- | | | | |
|-----------------|-------|------------------|-------|
| 1. 仕事をしています | 15.8% | 4. 子どもと一緒に過ごしている | 88.1% |
| 2. 家で用を済ましています | 74.9% | 5. 習い事をしていて | 1.2% |
| 3. 買い物や友人と遊んでいる | 21.8% | 6. その他 (具体的に：) | 3.5% |
| | | 無回答 | 0.3% |

問 17 放課後や休日の子どもの過ごし方に関してご意見ありましたら、ご自由にお書きください。

問 18 夏休みなどの学校が長期休業中、お子さんはどこですこしていますか。

(該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください)

(N=1,301)

- | | | | |
|-----------------------|-------|-------------------------|-------|
| 1. 自宅で親・祖父母など家族とすごす | 74.2% | 5. 図書館、文化センターなどの公共施設に行く | 29.5% |
| 2. 向居していない親戚や知人宅ですごす | 26.8% | 6. 職場に連れて行く | 1.9% |
| 3. 自宅で子どもだけですごす | 24.1% | 7. その他 (具体的に:) | 18.8% |
| 4. 学童クラブや幼稚園子ども教室ですごす | 15.9% | 無回答 | 0.9% |

問 19 学校がはじまるまでの朝の時間の一時あすかりのサービスについて利用意向がありますか。該当する項目の番号に○をつけ、意向がある方は□に日数を記入してください。

(N=1,301)

- | | | | | | |
|----------|-------|---|----|--------|------|
| 1. 意向がある | 4.5% | → | 週に | 平均 3.8 | 日くらい |
| 2. 意向がない | 93.5% | | | | |
| 無回答 | 1.9% | | | | |

問 20 あて名のお子さんが学校に行くことをしぶるときがありますか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

(N=1,301)

- | | |
|-----------|-------|
| 1. よくある | 1.4% |
| 2. とときがある | 10.8% |
| 3. ない | 86.8% |
| 無回答 | 1.1% |

問 20-1 問 20 で「1. よくある」「2. とときがある」と答えた方におうかがいします。

あて名のお子さんが学校に行きたがらないとき、あなたはとうしましたか。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

(n=158)

- | | | | |
|-----------------------------|-------|------------------|-------|
| 1. 無理やりにも学校に行かせた | 45.6% | 6. 専任の相談窓口相談した | 7.6% |
| 2. 行きたくぬ理由を話し合い、場合によっては休ませた | 45.6% | 7. 子どもの意思にまかせた | 15.2% |
| 3. 配膳者や教師に相談した | 30.4% | 8. たまに休ませた | 16.5% |
| 4. 知人や友人に相談した | 13.3% | 9. 他に何もなかった | 1.3% |
| 5. 学校の先生に相談した | 31.0% | 10. その他 (具体的に:) | 10.1% |
| | | 無回答 | 1.9% |

問 21 あて名のお子さんは学校で「いじめ」、または「いじめと思われること」を受けたことがありますか。(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

(N=1,301)

- | | | | |
|------------------|-------|-------------|-------|
| 1. 現在受けている | 1.0% | 3. 受けたことはない | 63.5% |
| 2. これまでに受けたことがある | 22.4% | 4. わからない | 12.2% |
| | | 無回答 | 0.9% |

問 22 あて名のお子さんが学校で「いじめ」、または「いじめと思われること」を受けたらどのように対処しますか。(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

(N=1,301)

- | | | | |
|---------------------|-------|-----------------|-------|
| 1. 子どもに事情をよく聞く | 96.4% | 8. 学校に相談する | 85.8% |
| 2. 程度によるが子どもにほんをさせる | 7.7% | 9. いじめの相談窓口相談する | 13.7% |
| 3. 子どもを休ませる | 0.9% | 10. 学校を休ませる | 4.5% |
| 4. 子ども同士で解決させる | 22.5% | 11. 師校を休める | 3.2% |
| 5. 相手の子どもに注意する | 6.4% | 12. たまに休ませる | 7.1% |
| 6. 相手の子どもの保護者と話し合う | 26.1% | 13. (具体的に:) | 3.8% |
| 7. 子どもと解決策について話し合う | 64.7% | 無回答 | 1.5% |

問 23 都や市で子育てについて、以下のような相談できる施設などがあります。これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」、「どちらかに○をつけてください」。

	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
(N=1,301)						
児童相談所	86.3%	10.6%	3.1%	4.0%	19.7%	69.4%
児童相談所 (保育園・保育園)	69.0%	26.3%	4.7%	10.8%	11.7%	77.3%
子ども支援センター「たちち」	76.9%	19.4%	3.7%	24.4%	17.3%	72.3%
子ども支援センター「らとり」	52.0%	44.2%	3.8%	5.8%	12.4%	76.2%
青少年・子ども相談 (女性センター・スクエア21)	52.2%	44.0%	3.8%	4.3%	23.7%	66.1%
子育て相談室 (保健センター)	54.0%	42.3%	3.7%	9.1%	24.1%	64.8%
教育・幼学相談 (教育センター)	38.7%	57.7%	3.6%	7.1%	28.4%	60.7%
東京都教育相談センター	25.2%	70.8%	4.0%	1.4%	18.3%	70.3%
民生委員・児童委員	49.7%	46.3%	4.0%	0.7%	9.9%	78.5%
母親学級、両親学級、育児学級	77.3%	18.7%	4.0%	37.7%	5.5%	76.9%
保健センターの保健相談サービス	45.9%	50.0%	4.2%	10.0%	23.9%	64.3%
家庭教育に関する学校・講座	40.1%	56.0%	3.9%	10.1%	25.9%	63.0%
保育園や幼稚園の保護者の開放	74.9%	21.6%	3.5%	30.7%	5.5%	72.6%
児童館	80.4%	16.2%	3.4%	47.0%	5.1%	42.0%
子育て支援情報館 (子育てのたまご館など)	40.2%	56.2%	3.6%	20.4%	6.2%	57.3%
産前産後家庭サポート事業	44.1%	52.1%	3.8%	4.2%	8.5%	80.6%

問 24 文化センターの子ども向け事業やサークルに参加したことがありますか。
(該当する項目の番号に○をつけてください)

(N=1,301)

- | | | | | | |
|--------------|-------|--------------|-------|-----|------|
| 1. 参加したことがある | 62.8% | 2. 参加したことがない | 35.7% | 無回答 | 1.5% |
|--------------|-------|--------------|-------|-----|------|

問 25 文化センターについてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

問 28 府中市には、放課後子ども教室（※）があります。その利用意向はありますか。
該当する項目の番号に○をつけ、意向がある方は「」に日数を記入してください。
※放課後子ども教室は、子どもたちの健やかな成長を支援するため、放課後や土曜日に小学校施設を活用して「遊びの場・学びの場」を提供しています。

(N=1,301)
1. 意向がある → 週に 平均 2.4 日くらい 49.2%
2. 意向がない 49.0%
無回答 1.8%

問 29 あて名のお子さんについておうちがいます。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。（該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください）

(N=1,301)
1. 学習クラブを利用したい → 小学 平均 5.4 年まで利用したい 10.1%
2. 放課後子ども教室を利用したい 24.1%
3. クラブ活動など習い事をさせたい 31.9%
4. 利用を希望するサービスは特にない 27.8%
5. その他（具体的に： ） 3.9%
無回答 2.2%

あて名のお子さんの病児・病後児の対応についておうちがいます

問 30 この1年間に、あて名のお子さんが病児やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。（該当する項目の番号に○をつけてください）

(N=1,301)
1. あった → 問 30-1へ 56.2%
2. なかった → 問 31へ 43.3%
無回答 0.5%

問 30-1 問 30で「1. あった」と答えた方におうちがいます。

① この1年間の対応方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。
（半日程度についても1日と考慮してお答えください）
該当する項目の番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

1. 就労していない保護者が自宅のみ	54.6%	(平均 3.9) 日
2. 父親が仕事を休んだ	8.3%	(平均 2.0) 日
3. 母親が仕事を休んだ	34.6%	(平均 3.0) 日
4. 親族・知人（同居者を含む）にあずけた	14.4%	(平均 2.6) 日
5. 認可保育園の病後児保育を利用した	0.0%	(平均 →) 日
6. 子ども家庭支援センター「しらとり」の病後児保育を利用した	0.0%	(平均 →) 日
7. 病院や診療所の病児・病後児保育を利用した	0.1%	(平均 7.0) 日
8. 非営利組織（NPO など）による子育て支援サービスを利用した	0.1%	(平均 3.9) 日
9. ベビーシッターを利用した	0.0%	(平均 →) 日
10. ファミリーサポートセンターを利用した	0.1%	(平均 2.0) 日
11. 子連れで仕事をした（出勤・在宅など）	1.8%	(平均 2.2) 日
12. 子どもだけで留守番させた	15.2%	(平均 1.7) 日
13. その他（具体的に： ）	2.3%	(平均 3.8) 日
無回答	1.2%	

② ①で「2」、「3」、「4」、「11」、「12」と答えた方におうちがいます。
その際、できれば施設にあずけたいと思われた日数はどれくらいありますか。
日数を「」に記入してください。

(n=368)
平均 0.9 日

お子さんの一時あずかりについておうちがいます

問 31 この1年間で、自分のための時間（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの病気の療養、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的にあずけたことはありましたか。（該当する項目の番号に○をつけてください）

(N=1,301)
1. あった → 問 31-1へ 30.0% 2. なかった → 問 32へ 69.0% 無回答 1.0%

問 31-1 問 31で「1. あった」と答えた方におうちがいます。

① この1年間で何日くらいありましたか。「」に日数を記入してください。
（半日程度についても1日と考慮してお答えください）

(n=390)
年に 平均 10.0 日

② ①の日数について理由別に日数をご記入ください。
（該当する項目の番号すべてに○をつけ、それぞれ日数を記入してください）
（半日程度についても1日と考慮してお答えください）

1. 自分のための時間（買物、習い事など）、リフレッシュ目的	48.2%	(平均 6.9) 日
2. 冠婚葬祭、子どもの病気の療養	26.4%	(平均 3.5) 日
3. 就労	31.5%	(平均 11.3) 日
4. その他（具体的に： ）	25.6%	(平均 6.4) 日
無回答	4.1%	

問 32 すべての方におうちがいます。一時的にあずけるサービスを今後月に何日くらい利用したいと思いますか。「」に日数を記入してください。

(N=1,301)
月に 平均 1.3 日

問 33 トワイライトステイ（※）を知っていますか。また利用していますか。
（該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください）

※トワイライトステイは、共働きや残業などで保護者の帰宅が遅い家庭の小学校 6 年生以下のお子さんへ、午後10時まであずかる事業です。

(N=1,301)
1. 知っていて、利用している → 問 33-1へ 1.8%
2. 知っているが、利用していない → 問 34へ 36.5%
3. 知らない → 問 34へ 61.2%
無回答 0.5%

問 33-1 問 33 で「1. 知っていて、利用している」と答えた方におうかがいします。
 こうなったらよいと、お気づきのことはありますか。
 (該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

- (n=24)
1. 時間の延長 → 利用したい時間帯は 時から 時まで
 ※時間帯は 24 時間制でお答えください。
2. 施設から自宅までの送迎 33.3%
 3. 施設数の増加 33.3%
 4. その他 (具体的に:) 37.5%
 12.5%
 8.3%
 無回答

宿泊を伴う一時あすかりについておうかがいします

問 34 この 1 年間に、保護者が用事などで泊まりがけで外出し、あて名のお子さんを連れて行くのが困難なことはありましたか。(該当する項目の番号に○をつけてください)

- (n=1,301)
1. あった ⇒ 問 34-1 へ 9.9% 2. なかった ⇒ 問 35 へ 89.5% 無回答 0.6%

問 34-1 問 34 で「1. あった」とお答えした方におうかがいします。
 この 1 年間で何日くらいありましたか。対処法別に泊数を記入してください。
 (該当する項目の番号すべてに○をつけ、それぞれ泊数を記入してください)

(n=129)

1. 親族・知人 (同居者を含む) にあすけた	77.5%	(平均 4.8)	泊
2. 保育サービス (※) を利用した	0.0%	(平均 -)	泊
3. 子どもも連れて行った	17.1%	(平均 2.7)	泊
4. 子どもだけで留守番させた	8.5%	(平均 1.9)	泊
5. その他 (具体的に:)	3.1%	(平均 1.8)	泊
無回答	0.0%		

※保育サービスとは、シヨートステイを実施している施設、認可外保育施設、ベビーシッターなどをさします。

問 34-2 問 34-1 で「1. 親族・知人 (同居者を含む) にあすけた」と答えた方におうかがいします。
 親族・知人 (同居者を含む) に子どもをあずけることは困難でしたか。
 (該当する項目を 1 つ選びその番号に○をつけてください)

- (n=100)
1. 非常に困難だった 4.0% 3. 特に困難でなかった 57.0%
 2. どちらかというと困難だった 37.0% 無回答 2.0%

問 35 泊まりがけで出かける際に子どもをあずかる、シヨートステイ (※) というサービスがありますが、利用したいと使いますか。(該当する項目を 1 つ選びその番号に○をつけてください)
 ※シヨートステイは、病気・出張・出産・冠婚葬祭などの理由で、保護者が一時的に家庭で子どもをみるこ
 とができないときに、お子さんを短期間あずかり、食事・通園通学などの援助をします。

- (n=1,301)
1. いつも利用したい 0.7% 3. あまり利用したいと思わない 49.3%
 2. とまどき利用したい 14.8% 4. 利用したくない 33.0%
 無回答 2.2%

ベビーシッター (ヘルパーなど) の利用についておうかがいします

問 36 あて名のお子さんについてベビーシッター (ヘルパーなど) を利用していますか。
 (該当する項目の番号に○をつけてください)

- (n=1,301)
1. 利用している ⇒ 問 36-1 へ 1.5%
 2. 利用していない ⇒ 問 37 へ 98.1%
 0.4%
 無回答

問 36-1 問 36 で「1. 利用している」と答えた方におうかがいします。

① どのような目的で利用していますか。(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

- (n=20)
1. 子どもの病気・ケガなどの緊急時に利用している 15.0%
 2. 祖父母や近所の人・友人などにあずかってもらえないときに利用している 30.0%
 3. 親の冠婚葬祭や買い物などの外出の際に利用している 15.0%
 4. その他 (具体的に:) 55.0%
 0.0%
 無回答

② どのくらいの頻度で利用していますか。 に数字を記入してください。

(n=20)

月に	平均 6.4	日くらい	1 回あたり	平均 4.3	時間程度
----	--------	------	--------	--------	------

問 37 すべての方におうかがいします。今後ベビーシッター (ヘルパーなど) を月に何日くらい利用し
 たいですか。 に数字を記入してください。

(n=1,301)

月に	平均 0.7	日くらい	1 回あたり	平均 1.1	時間程度
----	--------	------	--------	--------	------

ファミリーサポートセンターの利用についておうかがいします

問 38 地域住民による隣居の相互援助事業 (ファミリーサポートセンター) がありますが、この活動を利
 用したことはありませんか。

(該当する項目を 1 つ選びその番号に○をつけてください)

- (n=1,301)
1. 利用したことがある ⇒ 問 38-1 へ 3.4%
 2. 会員登録はしているが、利用したことはない ⇒ 問 38-2 へ 3.2%
 3. 知っているが利用したことはない ⇒ 問 38-2 へ 40.7%
 4. 知らなかった ⇒ 問 38-2 へ 52.2%
 無回答 0.6%

問38-1 問38で「1. 利用したことがある」と答えた方におうかがいします。

① どのような目的で利用していますか。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

- (n=44)
- | | |
|---|-------|
| 1. 主たる保育サービスとして利用している | 68% |
| 2. 保育施設などの利用で足りない時間を補う目的で利用している (朝・夕など) | 29.5% |
| 3. 子どもの病気・ケガなどの緊急時に利用している | 9.1% |
| 4. 祖父母や近所の人・友人などにあずかってもらえないときに利用している | 20.5% |
| 5. 親の冠婚葬祭や慶い物などの外出の際に利用している | 4.5% |
| 6. 保育施設などの送り迎えに利用している | 29.5% |
| 7. その他 (具体的に:) | 22.7% |
| 無回答 | 2.3% |

② どのくらいの頻度で利用していますか。 に数字を記入してください。

(n=44)	
月に	時間程度
平均 6.3	平均 2.9
日くらい	1回あたり

③ 利用日数・時間数を増やしたいと思いませんか。②で回答した日数、時間数に追加を希望する場合は、 に数字を記入してください。

(n=44)	
月に	時間程度追加したい
平均 4.4	平均 0.6
日くらい	1回あたり

問38-2 問38で「2」～「4」と答えた方におうかがいします。

① 利用していない理由は何ですか。(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

- (n=124)
- | | | | |
|---------------------|-------|--------------------|-------|
| 1. 利用料が高いから | 4.9% | 6. 当面利用する必要がなかったから | 43.3% |
| 2. 登録制になっているから | 4.3% | 7. 授乳会がみつからないから | 1.8% |
| 3. 急に利用しにくいから | 11.8% | 8. 知らなかったから | 45.6% |
| 4. 説明会に参加しなければならぬから | 4.2% | 9. その他 (具体的に:) | 4.9% |
| 5. 授乳会に参加するのが不安だから | 3.9% | 無回答 | 3.8% |

② 今後、利用したいと思いませんか。

該当する項目の番号に○をつけ、利用したい方は に数字を記入してください。

- (n=124)
- | | |
|------------|--------|
| 1. 利用したい | 8.6% |
| → 月に | 時間程度 |
| 平均 3.4 | 平均 3.7 |
| 日くらい | 1回あたり |
| 2. 利用したくない | 81.9% |
| 無回答 | 9.4% |

地域との関わりについておうかがいします

問39 あなたは、隣近所の人と、どの程度近所つきあいをしていますか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (N=130)
- | | |
|--------------------------|-------|
| 1. 個人的なことを相談しあえる人がいる | 26.6% |
| 2. さしわりのないことなら、話せる相手がいる | 46.0% |
| 3. 逆で言えば、あいさつをする程度の人ならいる | 22.8% |
| 4. ほとんど近所つきあいをしない | 2.6% |
| 無回答 | 2.1% |

問39-1 問39で「1. 個人的なことを相談しあえる人がいる」「2. さしわりのないことなら、話せる相手がいる」と答えた方におうかがいします。

どのような方と近所つきあいをしていますか。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

- (n=94)
- | | |
|-----------------|-------|
| 1. 地域の自治会の人 | 24.7% |
| 2. 子どもの学校や幼稚園の人 | 88.1% |
| 3. 自分の習い事の人 | 8.7% |
| 4. その他 (具体的に:) | 13.0% |
| 無回答 | 0.6% |

問39-2

問39で「3. 逆で言えば、あいさつをする程度の人ならいる」「4. ほとんど近所づきあいをしない」と答えた方におうかがいします。

主な理由をお答えください。

(該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください)

- (n=330)
- | | |
|----------------------------|-------|
| 1. 仕事や家事・育児などで忙しく時間が足りないから | 43.6% |
| 2. 引越してきて間もないから | 15.8% |
| 3. 普段つきあう機会がないから | 65.2% |
| 4. 同世代の人が近くにいないから | 25.8% |
| 5. 気の合う人・話の合う人が近くにいないから | 18.8% |
| 6. あまりかかわりをもたないから | 17.9% |
| 7. その他 (具体的に:) | 3.0% |
| 無回答 | 0.3% |

子育て支援サービスに関する情報についておうかがいします

問 40 ふだん、子育てに関する情報入手するためにインターネットを利用していますか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (N=1,301)
- | | | | |
|---------------|-------|----------------|-------|
| 1. よく利用している | 11.8% | 3. あまり利用していない | 27.4% |
| 2. とまどき利用している | 22.8% | 4. まったく利用していない | 37.2% |
| | | 無回答 | 0.8% |

問 41 子育て支援サービスに関する情報はどこから入手したいと思いますか。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

- (N=1,301)
- | | | | |
|-------------------|-------|----------------|-------|
| 1. 市のホームページ | 38.7% | 6. 小学校 | 59.0% |
| 2. 携帯電話用の市のホームページ | 6.6% | 7. 子ども家庭支援センター | 2.9% |
| 3. 市役所や文化センターの窓口 | 17.1% | 8. テレビ・ラジオ | 6.2% |
| 4. 広報ふちゅう | 71.3% | 9. その他(具体的に:) | 1.5% |
| 5. 自治会の回覧板 | 14.3% | 無回答 | 2.2% |

児童虐待防止についておうかがいします

問 42 児童虐待について次の①～③のことを知っていますか。

(それぞれの項目について該当する番号に○をつけてください)

	はい	いいえ	無回答
①「児童虐待の防止などに関する法律」(児童虐待防止法)があるのを知っていますか	88.6%	10.8%	0.5%
②ご近所などで児童虐待と思われることを見たり聞いたりしたことがありますか	8.8%	90.6%	0.6%
③児童虐待と思われることがおきた場合に相談や通報する施設を知っていますか	46.8%	52.1%	1.1%

問 43 児童虐待を見聞きした場合には、どちらに通報しようと思いますか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (N=1,301)
- | | | | |
|----------------|-------|----------------|-------|
| 1. 児童相談所 | 64.1% | 5. 府中市保健センター | 1.5% |
| 2. 子ども家庭支援センター | 5.8% | 6. 警察署 | 13.1% |
| 3. 市役所 | 10.7% | 7. その他(具体的に:) | 2.6% |
| 4. 保健所 | 0.9% | 無回答 | 1.2% |

安全なまちづくりについておうかがいします

問 44 あて名のお子さんの日ごろの安全や防犯について、ご家族でどんなことに気をつけていますか。

(該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください)

- (N=1,301)
- | | | | |
|---------------------|-------|------------------|-------|
| 1. 知らない人に対しての対応 | 68.0% | 6. 危険を感じたときの対処方法 | 38.4% |
| 2. 毎日あったことを話す | 31.0% | 7. 帰宅時間を決める | 51.5% |
| 3. 緊急時に世話をしてくれる人の確認 | 7.7% | 8. 防犯ブザーなどの携帯 | 20.4% |
| 4. 交通ルールについての確認 | 38.7% | 9. その他(具体的に:) | 2.5% |
| 5. 遊び場の制限 | 24.2% | 10. 特にしていない | 0.5% |
| | | 無回答 | 0.4% |

問 45 子どもの安全を守るために、必要だと思われることは何ですか。

(該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください)

- (N=1,301)
- | | |
|---|-------|
| 1. 地域の交通安全活動の充実・強化 | 34.4% |
| 2. 歩行者や自転車などの交通安全施設(ガードレール、歩道橋など)の整備 | 28.7% |
| 3. 地域ぐるみのパトロールなどの子どもを犯罪から守るための取組み | 55.7% |
| 4. 日ごろから家庭で安全や防犯について話しておくこと | 59.6% |
| 5. 危険を感じたときの対応について | 32.3% |
| 6. 不審者の侵入防止などについて話しあうこと | 8.9% |
| 7. 通学路や子どもの遊び場(公園など)の安全対策(防犯灯や防犯カメラの整備など) | 57.8% |
| 8. 公園遊具の安全性の確保 | 6.3% |
| 9. その他(具体的に:) | 1.8% |
| 無回答 | 1.0% |

子育てと仕事の両立についておうかがいします

問 46 あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家事(育児)・プライベートの生活時間」の優先度についておうかがいします。①希望と②現実についてお答えください。

① 希望 (該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (N=1,301)
- | | | | |
|----------------|-------|----------------|-------|
| 1. 仕事時間を優先 | 9.4% | 3. プライベートを優先 | 18.7% |
| 2. 家事(育児)時間を優先 | 68.2% | 4. その他(具体的に:) | 2.7% |
| | | 無回答 | 1.1% |

② 現実 (該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (N=1,301)
- | | | | |
|----------------|-------|----------------|------|
| 1. 仕事時間を優先 | 31.7% | 3. プライベートを優先 | 1.1% |
| 2. 家事(育児)時間を優先 | 64.4% | 4. その他(具体的に:) | 1.8% |
| | | 無回答 | 1.1% |

問 47 男女ともに子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業など（職場）がどのようなこと
 らよいと思いますか。

- (該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください)
 (N=1,301)
- | | |
|---|-------|
| 1. 妊娠中の通勤・就労などに配慮した各種制度（時差出勤制度など） | 9.5% |
| 2. 産前産後の休暇が十分に与えられる制度 | 12.6% |
| 3. 子どもが満1歳になるまでの育児休業期間にある程度給付保障がされる制度 | 13.6% |
| 4. 育児休業期間が1年を超えてとれる制度 | 8.2% |
| 5. 出産・育児などのため会社を辞めた女性を再雇用する制度（再雇用制度） | 25.8% |
| 6. 育児のために必要な場合に、就業時間を短縮することができる制度（短時間勤務制度） | 23.0% |
| 7. 就業時間のある程度自由に融通できる制度（フレックスタイム制度） | 24.1% |
| 8. 自宅で仕事をすることができるときの制度（在宅勤務制度） | 18.3% |
| 9. 子どもが病气やけがのときなどに休暇がとれる制度 | 52.6% |
| 10. 子どもの行事（運動会やお遊戯会など）に参加するための休暇制度 | 25.4% |
| 11. 企業（職場）内に託児所を設けること | 14.3% |
| 12. 男女ともに子育てと仕事が両立しやすいように、企業（職場）内で子育てへの理解を広めていくこと | 30.9% |
| 13. 保育料に対する企業（職場）からの助成 | 11.1% |
| 14. 特に希望することはない | 2.5% |
| 15. その他（具体的に：) | 2.2% |
| 無回答 | 2.2% |

問 48 最後に、市の子育て支援施策に関するご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

お忙しいところご協力いただきありがとうございました。

府中市 次世代育成支援に関する市民意向調査

【調査ご協力のお願い】

日ごろ貴方様にはお健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。
このたび、府中市では、平成 21 年度に策定を予定しております「府中市次世代育成支援行動計画（後期）」の基礎資料とするため、中学生・高校生世代の皆さんの生活実態やご要望・ご意見など把握させていただきたく、本調査を実施することとなりました。
この調査は、府中にお住まいの中学生・高校生世代の方を無作為で 1,500 人抽出させていただきます。ご回答をお願いするものでございます。

ご回答いただきました内容につきましてはすべて統計的に処理し、情報が外部に漏れることはありません。また、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成 20 年 10 月 30 日
府中市長 野 口 忠 直

調査票は、**11月13日（木）**までにご返送ください。

【記入にあたってのお願い】

1. 特にごとわりがある場合以外は、封筒のあて名の方についてご記入ください。
2. アンケートには、あて名の方本人がご記入ください。
3. 設問内容がむずかしい場合には、ご家族やまわりの方に相談してご記入いただいても結構です。
4. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入いただく場合がございます。
5. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きにしたがつてください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
6. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印にしたがつてご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
7. 記入が済みましたら、同封の返信用封筒に入れて **11月13日（木）**までにご返送ください。なお、調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。（切手も不要です。）
8. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
9. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

府中市 子ども家庭部子育て支援課 担当：山本、石下
電話： 042-335-4192 FAX：042-334-0810

府中市 次世代育成支援に関する市民意向調査票
(中学生・高校生世代調査)

あなた(あて名ご本人)のことをおうかがいします

F1 あなたの性別は次のうちどれですか。

(該当する項目の番号に○をつけてください)

	全体(N=851)	中学生(n=619)	高校生(n=226)
全体			
1. 男性	48.3%	47.0%	52.2%
2. 女性	51.6%	53.0%	47.3%
無回答	0.1%	0.0%	0.4%

F2 あなたの年齢はおいくつですか。

	全体(N=851)	中学生(n=619)	高校生(n=226)
全体			
平均	14.6歳		
中学生(平均)	13.8歳		
高校生(平均)	16.8歳		

F3 学校などは次のうちどれですか。該当する項目の番号に○をつけ、学生の場合は学年を()に記入してください。

全体(N=851)

全体	72.7%								
1. 中学									
	(n=619)	1年	29.2%	2年	32.5%	3年	38.3%	無回答	0.0%
2. 高校									
	(n=226)	1年	19.9%	2年	39.4%	3年	39.8%	無回答	0.9%
3. 働いている									
4. いずれも該当しない									
無回答									

F4 あなたは誰と一緒に住んでいますか。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

	全体(N=851)	中学生(n=619)	高校生(n=226)
全体			
1. 父	86.7%	86.3%	88.5%
2. 母	98.0%	98.4%	96.9%
3. 兄弟姉妹(平均 1.4人)	84.1%	84.7%	82.7%
4. 祖父	8.5%	8.1%	9.7%
5. 祖母	12.2%	10.8%	16.4%
6. その他(具体的に:)	3.9%	3.1%	6.2%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%

F5 あなたを含めて同居の家族は何人ですか。()に数字を記入してください。

全体(N=851) 中学生(n=619) 高校生(n=226)

(平均 4.2) 人

F6 お父さん、お母さんは働いていますか。

(1) お父さん (該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

	全体(N=851)	中学生(n=619)	高校生(n=226)
全体			
1. 働いている	86.6%	86.9%	86.7%
2. 働いていない	1.3%	1.1%	1.3%
3. 父はいない	8.0%	8.4%	6.2%
無回答	4.1%	3.6%	5.8%

(2) お母さん (該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

	全体(N=851)	中学生(n=619)	高校生(n=226)
全体			
1. 働いている	69.0%	69.8%	65.9%
2. 働いていない	26.6%	26.5%	27.4%
3. 母はいない	1.2%	1.0%	1.8%
無回答	3.3%	2.7%	4.9%

F7 あなたは府中市に住んで何年になりますか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

	全体(N=851)	中学生(n=619)	高校生(n=226)
全体			
1. 1年未満	2.1%	1.9%	2.2%
2. 1年以上5年未満	8.7%	9.4%	6.6%
3. 5年以上10年未満	16.0%	16.6%	14.2%
4. 10年以上			
無回答	6.6%	3.6%	3.2%
無回答			4.9%

F8 あなたはどちらにお住まいですか。 () 内に記入してください。

() 町 () 丁目

	全体(N=851)	中学生(n=619)	高校生(n=226)
全体			
第一地区	19.6%	21.0%	16.4%
第二地区	18.6%	18.3%	19.5%
第三地区	17.0%	17.3%	16.4%
第四地区			
第五地区			
第六地区			
無回答			

第一地区: 赤坂町、緑町、紅旗丘、白糸台(1~3丁目)、若狭町、浅間町、緑町
第二地区: 白糸台(4~6丁目)、和立町、小栗町、八幡町、清水が丘、東政
第三地区: 天和町、翠町、新中町、翠町、味原町、栄町、新町
第四地区: 芝町、白西町、矢野町、緑町、木町、片町、笠西町
第五地区: 日輪町、草薙台、北山町、西原町、美保町(1~2丁目)、本町町(3~4丁目)、西町町(3~4丁目)、東町町
第六地区: 美保町(3丁目)、分町町、佐志町、西谷、日新町、本町町(1~2丁目)、西町町(1~2丁目、5丁目)

日ごろの生活についておうかがいします

問1 あなたは、次のことに、毎日どのくらい時間を使いますか。
(①～⑩の項目について、それぞれ該当する番号を1つ選び○をつけてください)

	なし	30分以内	1時間くらい	2時間くらい	3時間くらい	それ以上	無回答
①勉強時間	全体 12.8% 中学生 9.7% 高校生 19.5%	24.6% 31.7% 19.0%	28.9% 22.1% 13.7%	18.0% 19.7% 13.7%	5.3% 5.8% 4.0%	6.8% 3.2% 16.8%	3.6% 3.1% 4.9%
②学習塾の時間	全体 46.1% 中学生 38.4% 高校生 65.9%	1.1% 1.1% 0.9%	12.6% 14.7% 7.1%	29.1% 35.5% 12.4%	5.9% 6.0% 5.8%	1.9% 1.3% 3.5%	3.4% 2.9% 4.4%
③部活・サークルの時間	全体 33.8% 中学生 29.4% 高校生 44.7%	2.0% 2.1% 1.8%	9.9% 10.7% 8.0%	31.3% 35.4% 20.8%	14.7% 15.8% 11.9%	4.3% 3.4% 7.1%	4.0% 3.2% 5.8%
④なにもしていないでんびりする時間	全体 8.3% 中学生 7.3% 高校生 11.5%	17.7% 19.1% 14.2%	32.0% 32.5% 30.5%	18.7% 19.4% 17.3%	7.8% 6.8% 10.2%	10.5% 10.3% 10.6%	5.1% 4.7% 5.8%
⑤電話・携帯電話をしている時間	全体 31.4% 中学生 37.0% 高校生 16.8%	38.8% 39.3% 37.6%	13.6% 10.5% 22.1%	5.4% 4.7% 7.1%	2.1% 1.1% 4.9%	5.1% 4.5% 6.2%	3.6% 2.9% 5.3%
⑥テレビ・ビデオを見る時間	全体 2.9% 中学生 1.9% 高校生 6.2%	11.4% 10.2% 15.0%	31.6% 31.3% 32.3%	29.3% 31.0% 25.2%	11.8% 12.8% 8.8%	9.6% 10.2% 7.5%	3.4% 2.7% 4.9%
⑦ゲームをする時間	全体 45.6% 中学生 43.1% 高校生 51.8%	19.2% 20.5% 15.9%	19.4% 21.6% 13.3%	6.7% 6.3% 8.0%	3.4% 3.1% 2.2%	2.0% 2.1% 4.4%	3.8% 3.2% 4.9%
⑧メールをしている時間	全体 29.8% 中学生 35.4% 高校生 15.5%	40.5% 38.8% 45.6%	13.9% 12.4% 17.7%	6.1% 4.8% 9.3%	2.5% 2.6% 2.2%	3.8% 3.4% 4.9%	3.4% 2.6% 4.4%
⑨インターネットをしている時間	全体 32.0% 中学生 34.1% 高校生 26.1%	27.7% 27.6% 28.3%	20.6% 20.8% 20.4%	9.0% 8.4% 11.1%	2.8% 2.4% 3.5%	4.7% 4.0% 6.2%	3.2% 2.6% 4.4%
⑩本・雑誌を読む時間	全体 18.9% 中学生 18.9% 高校生 18.1%	40.9% 42.8% 36.3%	24.7% 24.4% 25.7%	8.2% 7.9% 8.8%	1.8% 1.5% 2.7%	2.1% 1.5% 4.0%	3.5% 3.1% 4.4%
⑪仕事・アルバイトをする時間	全体 91.3% 中学生 96.0% 高校生 80.1%	0.4% 0.3% 0.4%	0.1% 0.0% 0.4%	0.4% 0.0% 0.9%	0.8% 0.0% 3.1%	3.5% 0.5% 10.6%	3.2% 3.2% 4.4%

問2 あなたのふだんの食事についておうかがいします。

① 朝食を食べていますか？ (該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)	全体 (N=851)	中学生 (n=619)	高校生 (n=226)
1. ほぼ毎日食べる	86.6%	88.7%	81.4%
2. 週に3～5日程度食べる	4.1%	3.2%	6.2%
3. 週に1～2日程度食べる	2.4%	2.3%	2.7%
4. ほとんど食べない	4.1%	3.6%	5.3%
無回答	2.8%	2.3%	4.4%

② 夕食は誰と一緒に食べていますか？
(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

	全体 (N=851)	中学生 (n=619)	高校生 (n=226)
1. いつも父や母などおとなと食べる	67.9%	71.2%	59.7%
2. と子どもだけで食べる	23.3%	21.5%	27.0%
3. いつも子どもだけで食べる	5.9%	5.0%	8.4%
無回答	2.9%	2.3%	4.9%

問3 あなたは、ふだんの生活の中で、保護者とのくらしい話をしたり出かけたりしますか。(平日と休日でそれぞれ該当する時間を1つ選びその番号に○をつけてください。また、「同居していない」や「いない」ときは、その項目番号に○をつけてください。)

	(1) 父親と				(2) 母親と			
	平日		休日		平日		休日	
	全体	中学生	高校生	全体	中学生	高校生	全体	中学生
1時間未満	62.7%	60.9%	67.7%	36.8%	33.4%	45.1%	36.8%	33.4%
1～2時間程度	15.4%	15.5%	15.5%	24.2%	24.1%	25.2%	20.2%	22.9%
3時間以上	4.5%	5.2%	2.7%	5.8%	5.3%	13.3%	6.7%	7.3%
同居していない	5.4%	5.3%	5.8%	5.4%	5.3%	5.8%	6.7%	7.3%
父親はいない	6.7%	7.3%	4.4%	6.7%	7.3%	4.4%	6.7%	7.3%
無回答	5.3%	5.8%	4.0%	6.7%	6.9%	6.2%	6.7%	6.2%

	(1) 父親と				(2) 母親と			
	平日		休日		平日		休日	
	全体	中学生	高校生	全体	中学生	高校生	全体	中学生
1時間未満	33.1%	30.0%	40.7%	21.3%	18.4%	27.9%	32.2%	31.5%
1～2時間程度	39.6%	38.8%	42.5%	32.2%	31.5%	34.5%	39.0%	42.8%
3時間以上	22.4%	26.5%	11.5%	0.9%	0.2%	29.2%	0.4%	0.2%
同居していない	0.4%	0.2%	0.9%	0.4%	0.2%	0.9%	0.8%	0.5%
母親はいない	0.8%	0.5%	1.8%	0.8%	0.5%	1.8%	6.3%	6.6%
無回答	3.6%	4.0%	2.7%	6.3%	6.6%	5.8%	6.3%	6.6%

問4 あなたの家の門限は何時ぐらいますか？

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

	全体	中学生	高校生
1. 午後6時以前	23.3%	31.8%	0.4%
2. 午後7時頃	20.8%	26.3%	6.2%
3. 午後8時頃	6.0%	5.8%	6.6%
4. 午後9時頃	4.3%	2.9%	8.0%
5. 午後10時頃			
6. 午後11時頃			
7. 午後0時頃			
8. 特になし			
無回答	31.5%	26.5%	43.8%
	1.2%	1.3%	0.9%

問5 あなたは「塾」に、通何日かよっていますか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

	全体	中学生	高校生
1. 1日	9.9%	10.5%	8.4%
2. 2～3日	32.2%	38.4%	15.9%
3. 4～5日	8.3%	9.5%	5.3%
4. 6日以上			
5. 通っていない	47.2%	39.9%	65.9%
無回答	0.5%	0.2%	1.3%

問6 あなたは土・日曜日などの休日、おもにどのような生活にしていますか。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

	全体	中学生	高校生
1. 家族とのんびり	42.2%	46.0%	32.3%
2. テレビやビデオをみたりラジオを聴く	63.5%	65.6%	57.5%
3. 読書をする	28.8%	27.6%	31.9%
4. 勉強をする	48.3%	50.2%	44.2%
5. 家に行く	19.7%	22.0%	14.2%
6. けいこごとに行く	10.9%	12.8%	6.2%
7. 映画・演劇・美術品などを鑑賞する	15.3%	14.9%	15.9%
8. コンサートに行く	4.8%	4.5%	5.3%
9. 部活動をする	38.7%	39.4%	37.6%
10. スポーツをする	24.7%	27.1%	18.6%
11. スポーツを見に行く	4.7%	3.7%	7.1%
12. 旅行をする	5.1%	5.2%	4.4%
13. 地域活動やボランティア活動に参加する	1.9%	1.9%	1.8%
14. ショッピングに行く	48.1%	48.6%	46.9%
15. まちをブラブラする	26.0%	25.8%	25.7%
16. ゆっくり休養する	51.5%	50.6%	53.1%
17. 家の手伝いをする	18.1%	20.0%	12.4%
18. 仕事・アルバイトをする	4.9%	0.3%	16.4%
19. その他(具体的に)	13.4%	14.9%	8.8%
無回答	0.1%	0.0%	0.4%

問7

あなたは日ごろ、気分転換にどのようなことをしていますか。
(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

	全体	中学生	高校生
1. 音楽を聴く	68.9%	65.8%	77.4%
2. 寝る・ゴロゴロする	68.5%	68.0%	70.4%
3. 友達と会う	37.1%	35.9%	40.3%
4. 友達と電話する	12.5%	12.8%	11.5%
5. テレビ・ビデオを見る	57.8%	59.3%	53.5%
6. マンガ・雑誌を読む	54.1%	52.0%	59.7%
7. 本・新聞を読む	24.3%	22.9%	27.9%
8. 散歩・ジョギングに行く	26.3%	25.2%	29.6%
9. 家族と話す	26.0%	27.6%	21.7%
10. 友達とメールのやり取りをする	35.0%	35.4%	33.2%
11. ゲームセンターやカラオケボックスに行く	18.6%	15.8%	26.1%
12. テレビやパソコンでゲームをする	37.8%	38.3%	36.7%
13. 楽器演奏や料理など趣味を楽しむ	17.5%	17.3%	17.7%
14. 映画やスポーツなどを見に行く	12.0%	10.8%	14.6%
15. パソコン・インターネットをする	35.3%	33.8%	39.4%
16. バイク・自転車に乗る	10.0%	10.2%	9.3%
17. ハイキングや旅行に出かける	1.8%	1.5%	2.7%
18. スポーツをする	24.3%	24.7%	23.9%
19. 家の外で遊ぶ	15.7%	17.9%	9.7%
20. 仕事・アルバイトをする	2.0%	0.0%	7.1%
21. その他(具体的に)	2.9%	2.9%	2.7%
無回答	0.5%	0.3%	0.9%

問8 あなたは、自分専用に次のものをもっていますか。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

	全体	中学生	高校生
1. テレビゲーム	37.7%	36.2%	42.0%
2. 携帯型ゲーム機	59.8%	60.9%	57.1%
3. カメラ・デジタルカメラ	11.0%	9.7%	15.0%
4. テレビ	16.7%	13.7%	24.3%
5. ビデオ・DVDデッキ	9.0%	6.1%	16.8%
6. 携帯電話	69.7%	60.1%	95.1%
無回答	1.1%	1.1%	0.9%

問9 1か月あたりのおこづかい(自分で自由に使えるお金)はいくらぐらいですか。
(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

	全体	中学生	高校生	全体	中学生	高校生
1. 自由に使えるお金はない	4.5%	4.5%	4.4%	6. 10,001円以上	2.9%	0.6%
2. 1,000円以下	15.4%	20.5%	1.8%	7. 決まっていない	17.2%	16.3%
3. 1,001円～3,000円	37.3%	46.8%	11.9%	(ただし平均)	6,079円	14,596円
4. 3,001円～5,000円	13.9%	8.7%	27.9%	無回答	0.5%	0.3%
5. 5,001円～10,000円	8.5%	2.1%	26.1%			0.4%

問10 おこづかいは主にどういったことに使いますか。主なものを5つまでお答えください。(該当する項目を5つまで選びその番号に○をつけてください)

	全体	中学生	高校生
1. おかしやジュースなどの飲食物	62.5%	60.4%	68.6%
2. ノートやペンなどの文房具	35.0%	37.8%	27.9%
3. まんが、本、雑誌など	61.8%	60.9%	64.6%
4. ゲームセンターやカラオケ	24.0%	22.1%	29.6%
5. CDやDVDの購入・レンタル	26.4%	22.6%	36.7%
6. ゲームソフトや玩具	19.9%	20.0%	19.5%
7. 携帯電話の使用料金	3.8%	1.1%	9.7%
8. 友だちの誕生日プレゼント	27.1%	30.5%	18.6%
9. 友だちとの外食	24.9%	18.4%	41.2%
10. 遊園地や映画などの外出	18.9%	19.2%	17.7%
11. 洋服や化粧品、アクセサリ	17.0%	13.9%	25.2%
12. その他(具体的に：)	8.3%	8.9%	7.1%
無回答	1.5%	1.6%	1.3%

携帯電話やインターネットの利用についてお答えください

問11 あなたは携帯電話、パソコンでメールを利用していますか。また、利用していない人は今後利用したいですか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

	全体	中学生	高校生
1. 現在、利用している	77.4%	72.2%	91.2%
2. 現在は利用していないが、今後利用したい	12.1%	15.3%	3.5%
3. 利用するつもりはない	4.3%	5.7%	0.9%
4. わからない	4.3%	5.0%	2.7%
無回答	1.8%	1.8%	1.8%

問11-1 問11で「1. 現在、利用している」と回答した方にお答えください。
どの程度利用していますか。(あなたから発信する場合、発信は含みません)(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

	全体	中学生	高校生	全体	中学生	高校生
1. 1日に51回以上	6.5%	7.4%	4.4%	5. 1日に1～5回	21.7%	20.6%
2. 1日に21～50回	12.9%	11.2%	16.0%	6. 週に数回	17.5%	19.0%
3. 1日に11～20回	14.1%	14.3%	14.1%	7. 月に数回	6.7%	7.6%
4. 1日に6～10回	15.3%	14.3%	18.0%	8. ほとんど利用しない	5.0%	5.1%
無回答					0.3%	0.4%
						0.0%

問12 あなたは現在、学校以外でインターネットを利用していますか。また、利用していない人は今後利用したいですか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

	全体	中学生	高校生
1. 現在、利用している	⇒問12-1、12-2へ	77.7%	74.6%
2. 現在は利用していないが、今後利用したい		10.9%	12.6%
3. 利用するつもりはない		5.2%	5.8%
4. わからない		4.2%	4.8%
無回答		2.0%	2.1%
			1.8%

問12-1 問12で「1. 現在、利用している」と回答した方にお答えください。
インターネットはどこで利用しますか。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

	全体	中学生	高校生
1. 自宅のパソコン(自分専用)	12.6%	10.0%	19.0%
2. 自宅のパソコン(家族と共用)	84.1%	87.0%	77.4%
3. 携帯電話(自分専用)	35.7%	26.2%	57.4%
4. 携帯電話(家族と共用)	1.8%	2.4%	0.5%
5. まんが喫茶・ネットカフェ	1.4%	1.3%	1.5%
6. その他(具体的に：)	1.4%	1.3%	1.5%
無回答	0.2%	0.2%	0.0%

問12-2 問12で「1.現在、利用している」と回答した方におうかがいします。
インターネットを利用するとき、次のような経験はありますか。
(①～⑦の項目について、それぞれ該当する番号を1つ選びOをつけてください)

	よくある	しつじにある	あまりない	ない	無回答
全体(n=661) 中学生(n=462) 高校生(n=195)					
①気がつくと同時間インターネットをし ている	全体 20.0% 中学生 19.3% 高校生 21.0%	全体 29.3% 中学生 27.5% 高校生 34.4%	全体 25.7% 中学生 26.4% 高校生 24.6%	全体 24.2% 中学生 26.0% 高校生 19.5%	全体 0.8% 中学生 0.9% 高校生 0.5%
②やらなくてはならないことがあってもイ ンターネットを優先する	全体 7.4% 中学生 8.4% 高校生 5.1%	全体 18.8% 中学生 18.2% 高校生 20.0%	全体 28.0% 中学生 27.1% 高校生 30.3%	全体 44.6% 中学生 44.8% 高校生 44.1%	全体 1.2% 中学生 1.5% 高校生 0.5%
③匿名掲示板にアクセスする	全体 6.8% 中学生 6.7% 高校生 7.2%	全体 10.1% 中学生 7.4% 高校生 16.9%	全体 11.5% 中学生 10.4% 高校生 13.8%	全体 70.2% 中学生 73.8% 高校生 61.5%	全体 1.4% 中学生 1.7% 高校生 0.5%
④匿名掲示板に投稿する	全体 3.9% 中学生 4.8% 高校生 2.1%	全体 3.2% 中学生 2.6% 高校生 4.6%	全体 9.5% 中学生 8.7% 高校生 1.8%	全体 81.8% 中学生 82.0% 高校生 81.0%	全体 1.5% 中学生 1.9% 高校生 0.5%
⑤友達の間口や人を繋げるような書きこ みをする	全体 0.2% 中学生 0.0% 高校生 0.5%	全体 0.0% 中学生 0.0% 高校生 0.0%	全体 3.6% 中学生 3.9% 高校生 3.1%	全体 94.7% 中学生 94.2% 高校生 95.9%	全体 1.5% 中学生 1.9% 高校生 0.5%
⑥見知らない人やりとりをする	全体 5.1% 中学生 4.8% 高校生 5.6%	全体 10.7% 中学生 9.5% 高校生 13.8%	全体 8.2% 中学生 6.9% 高校生 11.3%	全体 74.4% 中学生 76.8% 高校生 68.7%	全体 1.5% 中学生 1.9% 高校生 0.5%
⑦魅力的な内容、性的内容などを含むサイ トにアクセスする	全体 1.2% 中学生 0.4% 高校生 2.6%	全体 2.3% 中学生 0.9% 高校生 5.6%	全体 4.4% 中学生 3.0% 高校生 7.7%	全体 90.6% 中学生 93.7% 高校生 83.6%	全体 1.5% 中学生 1.9% 高校生 0.5%

あなたが日ごろ関心のあることや感じていることについて
おうかがいします

問13 あなたは、今どんなことに関心をもっていますか。

(該当する項目の番号すべてにOをつけてください)

	全体 (N=851)	中学生 (n=619)	高校生 (n=226)
1. 健康、からだのこと	27.3%	24.7%	34.5%
2. 成績、受験のこと	65.8%	65.3%	69.0%
3. 学校のこと	42.3%	41.8%	44.7%
4. クラブ活動のこと	38.8%	39.9%	36.7%
5. 友だちづきあいのこと	53.6%	54.3%	52.7%
6. 異性とのつきあいのこと	20.0%	16.6%	29.6%
7. スポーツのこと	31.6%	33.4%	27.4%
8. 音楽のこと	52.1%	50.9%	54.4%
9. 読書のこと	17.0%	13.2%	27.4%
10. マンガのこと	32.5%	31.5%	35.4%
11. ゲームのこと	28.3%	29.1%	26.1%
12. おしゃれ、ファッションのこと	40.8%	39.6%	43.4%
13. 芸能界の動きのこと	19.0%	19.7%	16.8%
14. 家族、家庭のこと	19.3%	18.6%	21.2%
15. 世の中の動きのこと	22.4%	19.5%	30.5%
16. 将来のこと	51.0%	45.4%	65.5%
17. その他（具体的に：)	3.1%	2.4%	4.0%
18. わからない	0.8%	0.6%	1.3%
無回答	1.8%	1.8%	1.8%

問14 あなたは、次にあげたようなことをどのくらいそう感じることがありますか。

(①～③の項目について、それぞれ該当する番号を1つ選びOをつけてくださ
い)

	よくある	しつじにある	あまりない	ない	無回答
全体 (N=851) 中学生 (n=619) 高校生 (n=226)					
①思いきり罵れまわりたい	全体 11.9% 中学生 12.6% 高校生 9.3%	全体 31.0% 中学生 30.2% 高校生 33.2%	全体 29.0% 中学生 28.4% 高校生 31.0%	全体 26.8% 中学生 27.3% 高校生 25.7%	全体 1.3% 中学生 1.5% 高校生 0.9%
②なんとなく大声を出したい	全体 13.9% 中学生 14.4% 高校生 11.5%	全体 34.7% 中学生 33.9% 高校生 37.2%	全体 24.9% 中学生 24.1% 高校生 27.4%	全体 25.4% 中学生 26.3% 高校生 23.0%	全体 1.2% 中学生 1.3% 高校生 0.9%
③何でもないのでイライラする	全体 11.2% 中学生 11.1% 高校生 11.1%	全体 27.0% 中学生 25.5% 高校生 31.0%	全体 30.9% 中学生 30.4% 高校生 32.3%	全体 29.7% 中学生 31.7% 高校生 24.8%	全体 1.2% 中学生 1.3% 高校生 0.9%

	よくある	しつこくある	あまりない	ない	無回答
④生きているのがいやになる	全体 5.2% 中学生 4.5% 高校生 6.6%	13.2% 11.5% 17.3%	23.0% 21.2% 27.9%	57.1% 61.1% 47.3%	1.5% 1.8% 0.9%
⑤すぐ不安になる	全体 17.0% 中学生 16.3% 高校生 18.1%	24.6% 22.3% 31.0%	25.9% 26.2% 25.2%	31.4% 33.9% 24.8%	1.2% 1.3% 0.9%
⑥学校に行く気がしない	全体 9.4% 中学生 9.9% 高校生 8.0%	21.5% 19.1% 28.8%	23.0% 23.1% 23.0%	44.7% 46.7% 39.8%	1.4% 1.3% 0.4%
⑦何もやる気がしない	全体 11.9% 中学生 11.8% 高校生 11.5%	27.3% 24.4% 35.8%	26.9% 26.7% 27.0%	32.7% 35.5% 25.2%	1.3% 1.6% 0.4%
⑧何も興味がもてない	全体 5.3% 中学生 5.0% 高校生 5.8%	11.4% 10.2% 15.0%	26.8% 24.9% 32.3%	55.2% 58.3% 46.5%	1.3% 1.6% 0.4%

問15 あなたは、次のことをどのように考えますか。自分自身のこととして考えて記入してください。①～⑧の項目について、それぞれ該当する番号を1つ選びOをつけてください

	絶対に いい	いい	いい けど、 ちょっと	特に関係は ない	無回答	
全 体 (N=851) 中学生 (n=619) 高校生 (n=226)	①両親などと一緒に暮らすことが好き	17.4% 20.4% 9.7%	35.6% 38.0% 29.6%	40.9% 37.0% 50.9%	1.2% 1.1% 1.3%	
	②学校の外で遊ぶことが好き	39.2% 51.9% 5.8%	24.1% 28.4% 12.8%	12.7% 9.4% 21.2%	22.9% 9.2% 59.3%	1.1% 1.1% 0.9%
	③子どもと遊ぶことが好き	21.0% 27.6% 3.5%	17.4% 19.5% 11.9%	31.7% 33.6% 27.0%	25.4% 17.6% 56.6%	1.4% 1.6% 0.9%
	④暇つぶしや趣味などをするのが好き	28.2% 30.5% 22.6%	43.8% 42.5% 47.8%	20.4% 20.2% 21.2%	6.0% 5.0% 7.5%	1.5% 1.8% 0.9%
	⑤友達と遊ぶことが好き	16.9% 22.1% 3.1%	25.9% 30.7% 13.3%	24.7% 23.7% 27.4%	30.8% 21.6% 54.4%	1.8% 1.8% 1.8%
	⑥タバコを吸うことが好き	84.3% 89.8% 70.4%	10.8% 6.6% 21.2%	0.9% 1.1% 2.2%	2.9% 1.9% 5.3%	1.1% 1.1% 0.9%
	⑦酒を飲むことが好き	79.8% 47.8% 31.6%	13.7% 33.2% 32.0%	2.4% 10.2% 26.4%	2.9% 8.0% 7.9%	1.1% 0.9% 1.1%
	⑧学校に行きたくないときがある	23.5% 23.5% 23.5%	34.5% 30.5% 10.6%	30.5% 30.5% 10.6%	10.6% 10.6% 10.6%	0.9% 0.9% 0.9%

問16 あなたは、おとなになることはどのようなことだと思いますか。
(該当する項目の番号すべてにOをつけてください)

	全体 (N=851)	中学生 (n=619)	高校生 (n=226)
1. 最終学校（最終学歴となる学校）を卒業すること	23.7%	24.4%	22.6%
2. 親から経済的に独立すること	61.1%	57.0%	71.7%
3. 親から精神的に独立すること	50.8%	47.3%	58.8%
4. 親の家から独立すること	28.2%	28.4%	26.5%
5. 職業生活を始めること	61.6%	64.1%	54.4%
6. 結婚すること	21.0%	22.3%	16.8%
7. 子どもをもちこと	16.8%	17.8%	13.7%
8. 20歳になること	41.7%	46.4%	28.8%
9. その他（具体的に）	4.9%	4.2%	6.6%
10. 知らない	4.1%	4.0%	4.4%
無回答	0.9%	1.0%	0.9%

問17 あなたは、仕事や将来についてどのように考えますか。①～⑦の項目について、それぞれ該当する番号を1つ選びOをつけてください

	全体 (N=851)	中学生 (n=619)	高校生 (n=226)
①社会や世の中のために働く仕事をした	50.3%	51.1%	49.1%
②人から尊敬される仕事をした	53.9%	56.4%	47.8%
③専門知識や技術を必要とする仕事をした	45.7%	43.5%	45.7%
④お金がもたらす仕事をした	57.3%	58.2%	55.8%
⑤個性を發揮できる仕事をした	68.5%	70.8%	63.3%
⑥学校を卒業したらできるだけ早く就職したい	38.0%	40.1%	32.7%
⑦収入にかかわらず、フリーターなど自由な仕事をした	2.8%	3.1%	1.8%
無回答	0.7%	0.8%	0.0%

悩みについておうかがいします

問18 あなたには悩んでいることがありますか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

	全体 (N=851)	中学生 (n=619)	高校生 (n=226)
1. 悩みがある	49.4%	46.0%	58.4%
2. 過去に悩みがあった	10.0%	10.0%	9.3%
3. 覚えていない	12.3%	13.1%	10.2%
4. ない	24.8%	26.8%	19.9%
無回答	3.5%	4.0%	2.2%

問18-1 問18で「1. 悩みがある」か「2. 過去に悩みがあった」と回答した方におうかがいします。それはどのようなことですか。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

(また、最も大きな悩み1つに◎をつけてください)

	全体 (N=505)	中学生 (n=347)	高校生 (n=153)
	悩んでいる内容	全体	最も悩んでいる内容
1. 学校の成績	62.0%	67.1%	51.6%
2. 友達関係や異性関係	56.0%	57.1%	53.6%
3. 家族との関係	19.0%	17.3%	20.9%
4. 進路や進学先	55.0%	50.4%	66.0%
5. 将来や職業の選択	42.8%	35.4%	58.2%
6. 授業や部活動	31.3%	28.5%	37.3%
7. 自分の顔や体つき	34.3%	31.1%	40.5%
8. 自分の性格	33.5%	31.7%	37.3%
9. 自分の健康	16.8%	15.9%	18.3%
10. その他(具体的に：)	6.1%	6.1%	5.9%
無回答	0.0%	0.0%	29.1%

問18-2 問18-1で◎をつけた悩みを誰かに相談しましたか。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

	全体 (N=358)	中学生 (n=248)	高校生 (n=107)
	全体	中学生	高校生
1. 父親に相談した	18.4%	19.0%	17.8%
2. 母親に相談した	48.6%	49.2%	47.7%
3. 友人に相談した	46.6%	45.6%	48.6%
4. 学校の先生に相談した	22.1%	18.5%	30.8%
5. スクールカウンセラーに相談した	3.9%	3.6%	4.7%
6. 塾の先生に相談した	13.1%	13.7%	12.1%
7. 病院の先生に相談した	2.8%	3.2%	1.9%
8. 地域の人に相談した	0.8%	0.4%	1.9%
9. 電話相談など相談した	0.0%	0.0%	0.0%
10. 市役所などの公的機関に相談した	0.3%	0.0%	0.9%
11. その他(具体的に：)	4.7%	3.6%	6.5%
12. 誰にも相談できなかった・相談していない	20.7%	20.6%	21.5%
無回答	2.2%	2.8%	0.9%

問19 全国におうかがいします。どのような相談場所があればよいと思いますか。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

	全体 (N=851)	中学生 (n=619)	高校生 (n=226)
	全体	中学生	高校生
1. 曜日や時間を問わず、いつでも相談のつてくれるところ	43.8%	46.0%	38.5%
2. 同じ悩みをもつ(ちって)先輩が相談のつてくれるところ	29.3%	29.7%	27.4%
3. 電子メールなどいろいろな手段で相談のつてくれるところ	21.3%	20.8%	22.6%
4. 同じ悩みをもっている人がグループをつくって話しあえるところ	22.9%	24.2%	19.5%
5. その他(具体的に：)	2.8%	2.3%	4.0%
6. 相談場所は特にいない	26.3%	24.9%	30.1%
無回答	3.2%	3.7%	1.8%

地域での生活についておうかがいします

問20 あなたが友人とおしゃべりしたりする場所はどことが多いですか。

(該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください)

	全体 (N=851)	中学生 (n=619)	高校生 (n=226)
	全体	中学生	高校生
1. 自宅	17.4%	18.9%	13.3%
2. 公園	22.4%	23.9%	17.7%
3. ファーストフード店	25.1%	19.1%	41.2%
4. コンビニ	7.8%	6.3%	11.1%
5. 友達の家	28.5%	28.9%	16.4%
6. 学校	78.7%	79.5%	78.3%
7. 塾	13.0%	15.0%	8.0%
8. 通学した	29.0%	31.5%	22.1%
9. 児童館	0.9%	1.3%	0.0%
無回答	1.6%	2.1%	0.4%

問21 あなたは、近所の人や知り合いの人に、「おはようございます」、「こんにちは」、「こんばんは」といったあいさつをすることがありますか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

	全体 (N=851)	中学生 (n=619)	高校生 (n=226)
	全体	中学生	高校生
1. よくある	58.6%	61.4%	52.2%
2. とぎとぎある	30.8%	28.3%	37.2%
3. あまりない	6.3%	6.1%	7.1%
4. ない	2.5%	2.1%	3.1%
無回答	1.8%	2.1%	0.4%

問22 あなたは、近所の人からほめてもらったり、あるいは注意されたり、しかられたりすることがありますか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

	全体 (N=851)	中学生 (n=619)	高校生 (n=226)
	全体	中学生	高校生
1. よくある	10.1%	10.8%	8.4%
2. とぎとぎある	27.8%	29.9%	22.1%
3. あまりない	36.1%	36.5%	35.4%
4. ない	24.3%	20.7%	33.6%
無回答	1.6%	2.1%	0.4%

問23 あなたは地域で次のような活動に参加したことがありますか。
(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

	全体 (N=851)	中学生 (n=619)	高校生 (n=226)
1. 子どもたちにスポーツやレクリエーションなどを教えること	122%	124%	11.9%
2. お年よりや障がいのある人、病気の人の世話をすること	12.7%	11.3%	16.4%
3. 公園や道路の清掃、リサイクル活動など自然環境を守る活動	34.8%	34.2%	36.7%
4. 日本にいる外国人の世話を外国での援助	2.5%	2.4%	2.7%
5. 昔からの遊び、お祭など	38.9%	41.2%	33.2%
6. 町内会、消防、交通安全活動など	14.6%	15.2%	12.4%
7. 自分の知識を生かして、他の人の学習や活動を助けること	5.4%	5.0%	6.6%
8. その他（具体的に：）	3.6%	3.4%	3.5%
9. 参加したことがない	31.8%	31.0%	34.1%
無回答	1.4%	1.6%	0.9%

問24 あなたは今後、地域で次のような活動に参加したいと思いますか。
(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

	全体 (N=851)	中学生 (n=619)	高校生 (n=226)
1. 子どもたちにスポーツやレクリエーションなどを教えること	20.8%	21.2%	19.9%
2. お年よりや障がいのある人、病気の人の世話をすること	14.8%	15.3%	13.3%
3. 公園や道路の清掃、リサイクル活動など自然環境を守る活動	26.2%	28.3%	20.8%
4. 日本にいる外国人の世話を外国での援助	12.1%	10.5%	16.4%
5. 昔からの遊び、お祭など	25.6%	29.2%	15.9%
6. 町内会、消防、交通安全活動など	7.8%	9.4%	3.1%
7. 自分の知識を生かして、他の人の学習や活動を助けること	17.5%	17.6%	17.3%
8. その他（具体的に：）	2.0%	1.6%	2.7%
9. 参加する気はない	31.3%	29.2%	35.8%
無回答	2.5%	2.3%	3.1%

いじめについておうかがいします

問25 あなたの学校や地域などでは、いじめや差別などがあると思いますか。
(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

	全体 (N=851)	中学生 (n=619)	高校生 (n=226)
1. ある	52.3%	54.4%	46.0%
2. ない	17.7%	14.9%	26.1%
3. わからない	28.8%	29.4%	27.0%
無回答	1.2%	1.3%	0.9%

問25-1 問25で「1. ある」と回答した方におうかがいします。
それはどのようなことですか。
(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

	全体 (n=445)	中学生 (n=337)	高校生 (n=104)
1. 性別でのいじめや差別	7.6%	8.3%	4.8%
2. 学力でのいじめや差別	13.5%	13.9%	12.5%
3. 身なりや持ち物でのいじめや差別	20.2%	18.7%	25.0%
4. 性格や考え方でいじめや差別	67.2%	65.9%	72.1%
5. 顔やからだつきでのいじめや差別	51.7%	52.5%	48.1%
6. 貧富によるいじめや差別	6.1%	5.0%	8.7%
7. 親の職業でのいじめや差別	1.3%	0.3%	4.8%
8. 新しく引越してきた人へのいじめや差別	5.2%	5.0%	5.8%
9. 理由のわからないいじめや差別	45.2%	44.5%	46.2%
10. その他（具体的に：）	3.8%	3.6%	3.8%
11. わからない	4.0%	3.9%	4.8%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%

問26 全票におうかがいします。
あなたは、いじめや差別などを受けた人は、どうすればよいと思いますか。
(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

	全体 (N=851)	中学生 (n=619)	高校生 (n=226)
1. 誰にも言わずがまんしたほうがよい	3.2%	2.7%	4.4%
2. 相手に抗議したほうがよい	33.8%	31.2%	41.2%
3. 家族や友人に相談したほうがよい	70.5%	72.1%	65.9%
4. 学校に相談したほうがよい	44.3%	47.3%	36.3%
5. 市役所に相談したほうがよい	4.6%	4.7%	4.4%
6. 警察に相談したほうがよい	7.2%	6.3%	9.3%
7. その他（具体的に：）	6.8%	6.0%	9.3%
8. わからない	7.8%	7.4%	8.4%
無回答	1.1%	1.1%	0.9%

あなたにとって大切なことについて教えてください

問27 あなたにとって大切なこととは次のうちどれですか。
(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

	全体 (N=851)	中学生 (n=619)	高校生 (n=226)
1. 子どもが家族と仲良く一緒に過ごす時間を持っていること	75.1%	77.1%	70.4%
2. 障がいのある子どもが差別されないで暮らせること	63.7%	64.5%	62.4%
3. 子どもが人種や言葉、宗教の違いによって差別されないこと	57.9%	57.0%	61.1%
4. 子ども自身のプライバシー/パーソナリティが守られること	53.5%	54.1%	51.8%
5. 子どもが暴力や言葉で傷つけられないこと	63.3%	64.9%	59.7%
6. 子どももおとなも「子どもの権利条約」について知ること	23.3%	24.2%	19.9%
7. 子どもからの呼びかけでグループをつくり集まれること	15.9%	16.6%	13.3%
8. 子どもが自分のことは自分で決められること	48.3%	49.6%	44.2%
9. 子どもが知る必要があることが、隠されないこと	44.5%	44.4%	45.1%
10. 子どもが自分の考えをいつでも自由に言えること	55.0%	55.1%	54.4%
11. 子どもがゆめやからだを壊さず健康・自由な時間を過ごしていること	66.3%	69.1%	58.8%
12. 人と違う自分らしさが認められること	61.0%	61.9%	58.4%
13. その他 (具体的に)	3.4%	2.9%	4.9%
14. 特になし	1.6%	1.3%	1.8%
無回答	0.7%	0.6%	0.9%

問28 あなたが親や保護者に望みたいことは何ですか。
(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

	全体 (N=851)	中学生 (n=619)	高校生 (n=226)
1. 自分の話をもっと聞いてほしい	19.3%	19.7%	16.8%
2. 自分のことをうさぐき聞かないでほしい	41.5%	42.3%	38.8%
3. 男だからとか、女だからとか言わないでほしい	11.8%	12.6%	9.7%
4. 自分の事は自分で決めさせてほしい	28.7%	29.4%	26.5%
5. 約束を守ってほしい	15.4%	15.3%	15.0%
6. 家族仲良く、いっしょに過ごす時間をふやしてほしい	10.1%	10.0%	10.6%
7. 友達やきょうだいと比べないでほしい	28.1%	31.2%	19.0%
8. 悪いことをへらしてほしい	1.5%	1.8%	0.4%
9. 自分が自由に使える時間をふやしてほしい	16.7%	18.7%	10.6%
10. きまりや約束ことを一方的におしつけないでほしい	21.0%	21.0%	20.8%
11. 満足している・望みたいことはなし	15.0%	13.6%	19.5%
12. その他 (具体的に:)	4.3%	4.0%	4.9%
13. 特になし	17.4%	17.9%	15.9%
無回答	0.8%	0.6%	1.3%

まちづくりについて教えてください

問29 今後、府中市に実施してほしいことは次のうちどれですか。
(該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください)

	全体 (N=851)	中学生 (n=619)	高校生 (n=226)
1. 子どもが安心して遊べる遊び場・施設をふやす	46.4%	50.9%	35.0%
2. 子どもたちの居場所 (集まったり、宿泊したりできるスペース)をつくる	39.7%	43.3%	29.6%
3. 公園などを子どものグループが利用できるようにする	9.9%	11.0%	6.6%
4. 図書館や児童館などを夜間も開館する	18.3%	15.2%	27.4%
5. 図書館の本や資料を充実する	21.4%	21.8%	20.8%
6. ハンコン (インターネット) を使える場所をつくる	13.4%	14.2%	11.5%
7. 子ども向けホームページを立ち上げる	2.4%	2.9%	0.9%
8. 中学生・高校生世代の意見発表の場をつくる	3.8%	3.7%	4.0%
9. 子どもたちがまちづくりに参加できるしくみをつくる	5.3%	5.0%	6.2%
10. 子どもの悩みや相談を受けける「子ども110番」をつくる	5.4%	5.2%	5.8%
11. いじめ、不登校などの相談を実施する	12.6%	13.6%	9.7%
12. ハンドの課題がでる音楽スタジオをつくる	11.5%	10.3%	15.0%
13. 市内の子どもに設ける施設などをまとめた「子どもマップ」をつくる	2.6%	3.1%	1.3%
14. 子どもの人権を守る機運をつくる	4.1%	3.9%	4.9%
15. その他 (具体的に:)	5.8%	5.3%	7.1%
16. 特になし	13.2%	11.6%	16.4%
無回答	1.6%	1.9%	0.9%

問30 市やおとなに対する意見、要望などがあれば、どのようなことでよいので、自由に記入してください。

——ご協力ありがとうございます——

府中市 次世代育成支援に関する市民意向調査

【調査ご協力のお願い】

日ごろから市政につきましてご理解ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
このたび、府中市では、平成 21 年度に策定を予定しております「府中市次世代育成支援行動計画（後期）」の基礎資料とするため、ひとり親家庭の皆さまの子育て等の生活実態やご要望・ご意見など把握させていただきたく、本調査を実施することとなりました。

この調査は、府中にお住まいの 18 歳未満のお子様を養育されるひとり親家庭の方を無作為で 500 人抽出させていただき、ご回答をお願いするものでございます。

ご回答いただきました内容につきましてはすべて統計的に処理し、情報が外部に漏れることはありません。また、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成 20 年 10 月 30 日
府中市長 野 口 忠 直

調査票は、**11月13日（木）までに**ご返送ください。

【記入にあたってのお願い】

1. 特にごわりのある場合以外は、封筒のあて名の方についてご記入ください。
2. アンケートには、あて名の方本人がご記入ください。
3. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入いただく場合がございます。
4. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きにしたがってください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
5. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印にしたがってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
6. 記入が済みましたら、同封の返信用封筒に入れて **11月13日（木）** までにご返送ください。なお、調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。（切手も不要です。）
7. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
8. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

府中市 子ども家庭部子育て支援課 担当：山本、石下
電話： 042-335-4192 FAX：042-334-0810

府中市 次世代育成支援に関する市民意向調査票
(ひとり親家庭調査)

封筒のあて名の方におうかがいします

F 1 あなたの性別は次のうちどれですか。(該当する項目の番号に○をつけてください)

(N=303)
1. 男性 4.6% 2. 女性 94.7% 無回答 0.7%

F 2 あなたの年齢はおいくつですか。()に数字を記入してください。

(N=303)
(平均 39.4) 歳

F 3 あなたと同居している家族はどなたですか。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

(N=303)
1. あなたの子ども 97.4% 5. あなたの祖母 3.3%
2. あなたの父 15.2% 6. あなたの兄弟姉妹 7.3%
3. あなたの母 21.5% 7. その他(具体的に:) 1.3%
4. あなたの祖父 1.0% 無回答 0.3%

F 4 お子さんは何人ですか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

(N=303)
1. 1人 46.5% 3. 3人 13.2% 5. 5人以上 0.7%
2. 2人 36.6% 4. 4人 3.0% 無回答 0.0%

F 5 お子さんの成長段階は次のうちどれですか。すべてのお子さんについてお答えください。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

(N=303)
1. 未就学児 26.4% 4. 中学生 28.7%
2. 小学校1~3年生 22.1% 5. 高校生 29.0%
3. 小学校4~6年生 31.0% 6. その他(具体的に:) 15.2%
無回答 0.0%

F 6 ひとり親になった理由をお答えください。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

(N=303)
1. 死別 10.6% 4. 長期別居 0.0%
2. 離婚 79.5% 5. その他(具体的に:) 0.0%
3. 未婚 9.9% 無回答 0.0%

F 7 ひとり親になったときに未子の年齢はおいくつでしたか。

()に数字を記入してください。

(N=303)
(平均 4.4) 歳

F 8 ひとり親になってからの年齢をお答えください。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

(N=303)
1. 1年未満 8.6% 4. 5~10年未満 32.0%
2. 1~3年未満 21.8% 5. 10年以上 17.8%
3. 3~5年未満 19.5% 無回答 0.3%

F 9 現在のお住まいは次のうちどれですか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

(N=303)
1. 持ち家の一戸建て 15.2% 5. 公的賃貸住宅 22.1%
2. 持ち家の集合住宅 10.6% 6. 母子生活支援施設(母子寮) 0.3%
3. 民間賃貸の一戸建て 3.3% 7. その他(具体的に:) 9.6%
4. 民間賃貸の集合住宅 38.0% 無回答 1.0%

F 10 どちらにお住まいですか。 [] 内に記入してください。

[] 町 [] 丁目

(N=303)

第一地区 17.5% 第四地区 11.2% 無回答 4.6%
第二地区 15.5% 第五地区 16.5%
第三地区 16.5% 第六地区 18.2%

第一地区:多摩町、堀江町、紅葉丘、白糸台(1~3丁目)、笠原町、流山町、鶴町
第二地区:白糸台(4~6丁目)、押立町、小柳町、八幡町、清水が丘、芝政
第三地区:大井町、幸町、南中町、寿町、神奈町、大町、新町
第四地区:宮町、日吉町、矢野町、神町、本町、片町、宮西町
第五地区:日野町、武蔵台、北山町、西原町、美保町(1~2丁目)、本郷町(3~4丁目)、夏木町
第六地区:美保町(3丁目)、分福町、住吉町、四谷、日新町、本郷町(1~2丁目)、西原町(1~2、5丁目)

仕事についておうかがいします

問1 現在、働いていますか。(該当する項目の番号に○をつけてください)

(N=303)

1. 働いている →問1-1、問1-2へ 87.5%
2. 働いていない →問1-3へ 12.2%
無回答 0.3%

問1-1

問1で「1.働いている」と答えた方におうかがいします。就労形態についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つだけお答えください。
(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (n=265)
- | | | | |
|---------------------|-------|---------------|------|
| 1. 常勤の勤め人 (正社員・正社員) | 30.9% | 5. 自営業・家族従業 | 4.5% |
| 2. パート・アルバイト | 44.5% | 6. 在宅勤務・内職 | 0.4% |
| 3. 契約社員 (※) | 11.7% | 7. その他 (具体的に) | 0.4% |
| 4. 派遣社員 | 7.5% | | 無回答 |

※契約社員とは、正社員とは別の労働契約に基づいて働く方で、嘱託職員や非常勤職員などのことです。

問1-2

問1で「1.働いている」と答えた方におうかがいします。職種についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つだけについてお答えください。
(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (n=265)
- | | | | |
|------------------|-------|------------------------|-------|
| 1. 専門職・技術を生かした仕事 | 23.4% | 5. 製造 (組立・加工・修理) などの仕事 | 3.4% |
| 2. 事務をする仕事 | 30.2% | 6. 運輸・通配などの仕事 | 1.1% |
| 3. 営業や販売をする仕事 | 12.1% | 7. その他 (具体的に) | 14.0% |
| 4. サービスをする仕事 | 14.7% | | 無回答 |
- ⇒問2へ

問1-3

問1で「2.働いていない」と答えた方におうかがいします。働いていない理由についてお答えください。
(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

- (n=37)
- | | |
|-------------------------|-------|
| 1. 子どもの保育の手立てがない | 8.1% |
| 2. 曜日や時間について条件のあう仕事がない | 21.6% |
| 3. 仕事に必要な専門知識がない | 5.4% |
| 4. 自分が働ける健康状態ではない | 29.7% |
| 5. 子どもが病気などで世話をしなければならぬ | 16.2% |
| 6. 他の家族の世話をしなければならぬ | 10.8% |
| 7. 通学である | 5.4% |
| 8. 働く必要がない | 0.0% |
| 9. 仕事をやる気持ちになれない | 2.7% |
| 10. その他 (具体的に) | 35.1% |
- 無回答 2.7%
- ⇒問2へ

問2

ひとり親になる前となった後で仕事上にとどのような変化がありましたか。
(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (N=303)
- | | | |
|---------------------------|------------|-------|
| 1. 新たに仕事についた | ⇒問2-1、2-2へ | 42.6% |
| 2. 転職をした | ⇒問2-1、2-2へ | 21.8% |
| 3. いままでの仕事のほかに、新たな仕事を追加した | | 3.0% |
| 4. 前と同じ仕事を続けている | | 20.1% |
| 5. 無職のままである | | 6.3% |
| 6. 仕事をやめてしまった | | 1.3% |
| 7. その他 (具体的に) | | 3.0% |
- 無回答 2.0%

問2-1 問2で「1. 新たに仕事についた」か「2. 転職をした」と答えた方におうかがいします。その仕事はどのようにしてみつきましたか。
(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (n=195)
- | | |
|------------------|-------|
| 1. 新聞・チラシなどでみつけた | 26.7% |
| 2. 求人情報誌でみつけた | 14.4% |
| 3. 公共職業安定所の紹介 | 13.3% |
| 4. 友人・知人などの紹介 | 23.1% |
| 5. 親や兄弟、親戚などの紹介 | 5.6% |
| 6. その他 (具体的に) | 14.9% |
- 無回答 2.1%

問2-2

問2で「1. 新たに仕事についた」か「2. 転職をした」と答えた方におうかがいします。仕事を探しているときにどのような問題がありましたか。
(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

- (n=195)
- | | |
|---------------------------|-------|
| 1. 年齢制限があった | 23.6% |
| 2. 求人が少なかった | 21.5% |
| 3. 自分に向いている仕事が見つからなかった | 14.9% |
| 4. 職業経験が少なかった | 21.5% |
| 5. 相談先や情報入手先がなかった、わからなかった | 6.2% |
| 6. 子どもが小さいことが問題にされた | 34.4% |
| 7. ひとり親家庭であることが問題にされた | 14.9% |
| 8. 求職中の子どものおずけ先がなかった | 20.5% |
| 9. その他 (具体的に) | 8.2% |
| 10. 問題はなかった | 19.5% |
- 無回答 3.1%

問3 あなたは今、どのような資格や免許をもっていますか。
 (該当する資格の1に○をつけてください)
 その中で、現在の仕事に役にたっているものはありますか。
 (該当する資格の2に○をつけてください)
 また、今後新たに取得したい資格や免許はありますか。
 (該当する資格の3に○をつけてください)

	現在 取得 している	今後 取得 したい	役に たっている
(N=303)			
①パソコン・ワープロ	12.2%	22.1%	(n=37) 45.9%
②簿記	13.5%	6.6%	(n=41) 19.5%
③ヘルパー・介護などの資格	13.9%	9.2%	(n=42) 59.5%
④運転免許	66.0%	4.6%	(n=200) 29.0%
⑤看護師	3.0%	3.0%	(n=9) 77.8%
⑥保健師	0.0%	0.7%	-
⑦保育士	4.0%	2.3%	(n=12) 50.0%
⑧栄養士	1.7%	2.6%	(n=5) 0.0%
⑨調理師	1.0%	5.6%	(n=3) 66.7%
⑩教員免許	6.6%	1.0%	(n=20) 20.0%
⑪医療事務	5.0%	11.9%	(n=15) 26.7%
⑫理容師・美容師	3.3%	0.7%	(n=10) 40.0%
⑬語学	3.6%	7.9%	(n=11) 9.1%
⑭茶道・華道・書道	5.6%	1.7%	(n=17) 5.9%
⑮その他【具体的に：】	11.2%	5.3%	(n=34) 67.6%
無回答	17.5%	54.8%	

問4 資格や免許を取得しようとする場合、どのようなことが気がかりですか。
 (該当する項目の番号すべてに○をつけてください)
 (N=303)

1. 資格や免許を取得するための費用がかかること 77.6%
 2. 資格や免許の取得中に収入が減ること 46.9%
 3. 資格や免許の取得のための講習会などに行く時間が長いこと 53.5%
 4. 家事や子どもと過ごす時間が少なくなること 34.3%
 5. 資格や免許取得中の子どものあそび先がないこと 14.5%
 6. 資格や免許取得中にあたってどこで情報を入手してよいかわからないこと 11.6%
 7. その他【具体的に：】 3.6%
 8. 悩みはない 7.3%
- 無回答

問5 新しく仕事を始めようとするときに、あったらよいと思うことは何ですか。
 (該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください)
 (N=303)

1. 条件に合う仕事のあせん 58.1%
 2. 職業・技能講習会などへの経済的支援 48.5%
 3. 費用負担の少ない職業・技能講習会の紹介 26.7%
 4. 受講しやすい職業・技能講習会の開催（受講日、時間帯、受講場所など） 25.1%
 5. 資格や免許についての相談や情報提供 11.6%
 6. 就職活動や職業訓練中の子どもの保育 18.5%
 7. その他【具体的に：】 1.3%
 8. 特に必要な支援はない 2.6%
- 無回答 7.3%

暮らし向きについておうかがいします

問6 現在のあなたの世帯全体の収入に含まれているものは何ですか。
 (該当する項目の番号すべてに○をつけてください)
 (N=303)

1. 自分の就労収入 85.5%
 2. 養育費 13.9%
 3. 親・親族からの援助 11.2%
 4. 子どもの就労収入 2.3%
 5. 児童扶養手当などの公的手当 79.2%
 6. 遺族年金・厚生年金 8.6%
 7. 生命保険金 2.6%
 8. 生活保護費 7.9%
 9. 子どもに対する奨学金 6.6%
 10. その他【具体的に：】 3.3%
- 無回答 0.7%

問7 年間の世帯全体の収入（総収入※）はどのくらいですか。
 (該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)
 ※生活保護法に基づき給付、児童扶養手当等の社会保険給付金、就労収入（給付給付、別れた配偶者からの養育費、親からの仕送り、家賃・地代などを加えた全ての収入の額。
 (N=303)

1. 500,000 円以下 5.0%
 2. 500,001～1,000,000 円 4.6%
 3. 1,000,001～1,500,000 円 13.5%
 4. 1,500,001～2,000,000 円 11.2%
 5. 2,000,001～2,500,000 円 18.5%
 6. 2,500,001～3,000,000 円 14.9%
 7. 3,000,001～3,500,000 円 10.6%
 8. 3,500,001～4,000,000 円 6.3%
 9. 4,000,001～4,500,000 円 4.3%
 10. 4,500,001～5,000,000 円 1.7%
 11. 5,000,001 円以上 4.6%
- 無回答 5.0%

問8 年間の総収入のうち、あなたが仕事で得た就労収入（総支給額）はどのくらいですか。
（該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください）

- (n=265)
- | | | | |
|-------------------------|-------|--------------------------|------|
| 1. 500,000円以下 | 6.8% | 7. 3,000,001~3,500,000円 | 7.2% |
| 2. 500,001~1,000,000円 | 18.1% | 8. 3,500,001~4,000,000円 | 3.4% |
| 3. 1,000,001~1,500,000円 | 15.8% | 9. 4,000,001~4,500,000円 | 3.4% |
| 4. 1,500,001~2,000,000円 | 14.0% | 10. 4,500,001~5,000,000円 | 1.9% |
| 5. 2,000,001~2,500,000円 | 18.1% | 11. 5,000,001円以上 | 1.1% |
| 6. 2,500,001~3,000,000円 | 6.8% | 無回答 | 3.4% |

問9 育児費・教育費は家計を圧迫していますか。
（該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください）

- (n=303)
- | | |
|-------------------|-------|
| 1. とても圧迫している | 31.4% |
| 2. どちらかという圧迫している | 41.9% |
| 3. どちらかという圧迫していない | 19.1% |
| 4. ほとんど圧迫していない | 5.6% |
| 無回答 | 2.0% |

問9-1 問9で「1. とても圧迫している」か「2. どちらかという圧迫している」と
答えた方におうかがいします。

育児費・教育費のうち最も負担の大きいものはどれですか。
（該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください）

- (n=222)
- | | | | |
|------------------|-------|---------------|-------|
| 1. 学費（幼稚園・学校など） | 35.1% | 4. お稽古ごと | 13.1% |
| 2. 保育・託児費（保育園など） | 8.6% | 5. 学資保険や積立など | 8.6% |
| 3. 塾 | 27.9% | 6. その他（具体的に：） | 5.9% |
| 無回答 | 0.9% | | |

日ごろの子育てについておうかがいします

問10 日ごろ、お子さんをあずかってもらえる人はいいますか。
（該当する項目の番号すべてに○をつけてください）

- (n=303)
- | | |
|------------------------------------|-------|
| 1. 日常的に祖父母などの親族にあずかってもらえる | 21.8% |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にあずかってもらえる | 40.9% |
| 3. 日常的に子どもをあずけられる友人・知人がいる | 2.0% |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをあずけられる友人・知人がいる | 12.5% |
| 5. いずれもない | 24.4% |
| 無回答 | 4.6% |

問10-1 問10で「1」か「2」と答えた方におうかがいします。

祖父母にあずかってもらっている状況について、あてはまるものはどれですか。
（該当する項目の番号すべてに○をつけてください）

- (n=187)
- | | |
|---------------------------------|-------|
| 1. 祖父母が孫をあずかることについては、特に問題はない | 38.5% |
| 2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である | 32.6% |
| 3. 祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | 36.4% |
| 4. 自分たちの子どものことで、負担をかけていることが心苦しい | 38.0% |
| 5. その他（具体的に：） | 8.0% |
| 無回答 | 1.1% |

問10-2 問10で「3」か「4」と答えた方におうかがいします。

友人や知人にあずかってもらっている状況について、あてはまるものはどれですか。
（該当する項目の番号すべてに○をつけてください）

- (n=43)
- | | |
|----------------------------------|-------|
| 1. 友人・知人にあずかってもらうことについては、特に問題はない | 44.2% |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である | 7.0% |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | 25.6% |
| 4. 自分たちの子どものことで、負担をかけていることが心苦しい | 44.2% |
| 5. その他（具体的に：） | 2.3% |
| 無回答 | 2.3% |

問11 子育てを楽しんでいると感じますか。

（該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください）

- (N=303)
- | | | |
|-------------------------------|---------|-------|
| 1. 楽しいと感じることの方が多い | ⇒問11-1へ | 43.6% |
| 2. 楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい | ⇒問11-2へ | 42.6% |
| 3. つらいと感じることの方が多い | ⇒問11-2へ | 6.6% |
| 4. わからない | | 4.3% |
| 5. その他（具体的に：） | | 1.7% |
| 無回答 | | 1.3% |

問11-1 問11で「1」と答えた方におうかがいします。

子育てをする中で、どのような支援・対策が有効だと思いますか。

（該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください）

- (n=132)
- | | | | |
|----------------------|-------|------------------------|-------|
| 1. 地域における子育て支援の充実 | 22.7% | 7. 子どもの教育環境 | 42.4% |
| 2. 保育サービスの充実 | 29.5% | 8. 子育てしやすい住宅・まちの環境での充実 | 37.1% |
| 3. 子育て支援のネットワークづくり | 5.3% | 9. 仕事と家庭生活の両立 | 59.1% |
| 4. 地域における子どもの活動拠点の充実 | 14.4% | 10. 子どもが安心して犯罪・事故の被害 | 27.3% |
| 5. 妊娠・出産に対する支援 | 9.8% | 11. 要介護状態に対する支援 | 3.8% |
| 6. 母親・乳児の健康に対する安心 | 5.3% | 12. その他（具体的に：） | 0.8% |
| | | 無回答 | 1.5% |

問11-2 問11で「2」か「3」と答えた方におうかがいします。

自分にとって子育てのつらさを解消するために必要なことは何ですか。

(該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください)

(n=149)	1. 地域における子育て支援の充実	18.8%	7. 子どもの教育環境	34.9%
	2. 保育サービスの充実	15.4%	8. 子育てしやすい住居・暮らし環境の充実	26.8%
	3. 子育て支援のネットワークづくり	2.0%	9. 仕事と家庭生活の両立	63.8%
	4. 地域における子どもの活動拠点の充実	6.0%	10. 子どもと家族にしかけ・情報の提供	19.5%
	5. 妊娠・出産に対する支援	3.4%	11. 要保児童に対する支援	5.4%
	6. 母親・乳児の健康に対する安心	6.7%	12. その他(具体的に：)	8.7%
			無回答	5.4%

問12 日ごろの子育てについて、どのように感じていますか

(①～⑦のそれぞれの問について、該当する項目の番号1つに○をつけてください)

① 子どもの成長が楽しみですか。

(N=303)	1. 楽しみ	76.2%	4. 楽しみではない	0.3%
	2. どちらかといえば楽しみ	18.5%	5. 特に感じない	1.0%
	3. どちらかといえば楽しみではない	1.7%	無回答	2.3%

② 子育てに自信がもてなくなることがありますか。

(N=303)	
1. まったくない	6.3%
2. あまりない	23.1%
3. ときどきある	50.5%
4. よくある	16.2%
5. 特に感じない	2.0%
無回答	2.0%

③ 子育てが嫌になることがありますか。

(N=303)	
1. まったくない	25.7%
2. あまりない	33.3%
3. ときどきある	34.0%
4. よくある	5.0%
無回答	2.0%

④ ゆったりした気分ですごくしていますか。

(N=303)	1. すごくしている	10.6%	3. どちらかというすごくしていない	26.7%
	2. どちらかというすごくしている	54.8%	4. すごくしていない	5.9%
			無回答	2.0%

⑤ イライラして子どもをだいたいしてしまうことがありますか。

(N=303)	
1. まったくない	34.3%
2. あまりない	36.3%
3. ときどきある	24.4%
4. よくある	3.0%
無回答	2.0%

⑥ しつけのために子どもを厳しくしかることがありますか。

(N=303)	1. まったくない	2.6%	4. よくある	15.2%
	2. あまりない	16.5%	無回答	3.6%
	3. ときどきある	62.0%		

⑦ 子どもに食事を与えない、風呂に入れないなど、子どもの面倒をみないことがありますか。

(N=303)	1. まったくない	85.1%	4. よくある	0.0%
	2. あまりない	8.3%	無回答	4.6%
	3. ときどきある	2.0%		

日ごろのお子さんの過ごし方についておうかがいします

問13 遊学前のお子さんがある方におうかがいします。

日ごろ、お子さんの世話をどのようにしていますか

(該当する該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

(n=80)	1. 認可保育所(園)が定める最低基準に適合した施設で都道府県などの認可を受けたものを利用している	70.0%
	2. 家庭的な保育(保育ママ：保育者の家庭などで子どもをあずかるサービス)を利用している	1.3%
	3. 事業所内保育施設(企業が従業員用に運営する施設)を利用している	1.3%
	4. 自治体の認証・認定保育施設(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)を利用している	2.5%
	5. 認定こども園【共通利用時間のみの保育の利用】(保育施設と幼稚園が一体化した施設)を利用している	0.0%
	6. 認定こども園【共通利用時間(4時間程度)以上の保育の利用】(保育施設と幼稚園が一体化した施設)を利用している	0.0%
	7. 保育所などその他の方法(具体的に：)	2.5%
	8. 幼稚園(通常の就園時間)を利用している	7.5%
	9. 幼稚園のあすかり保育(通常の就園時間を延長してあずかるサービス)を利用している	2.5%
	10. 幼稚園と他の方法(具体的に：)	2.5%
	11. ファミリーサポートセンターを利用している	3.8%
	12. 非営利組織(NPOなど)による子育て支援サービスを利用している	1.3%
	13. ベビーシッターなどを利用している	2.5%
	14. 親・祖父母などの親族が世話をしている	23.8%
	15. 知人・友人にあずけている	0.0%
	16. 職場に連れて行く	2.5%
	17. その他(具体的に：)	10.0%
	無回答	2.5%

問14 すべての方におこないます。

この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の保育サービスを利用できなかったり、学校を休まなければならなかったことはありますか。

(該当する項目の番号に○をつけてください)

(n=303)

1. あった ⇒問 14-1 へ 56.4% 2. なかった ⇒問 15 へ 39.3% 無回答 4.3%

問 14-1 問 14 で「1. あった」と答えた方におうかがいします。

① この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。(半日程度についても1日としてカウントしてください)。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください

(n=171)

1. 仕事を休んで自分で世話をした	64.9%	(平均 6.4) 日
2. 日ごろ自宅にいて、自分で世話をした	10.5%	(平均 11.1) 日
3. 親族・知人(同居者を含む)にあずけた	33.9%	(平均 6.5) 日
4. 認可保育所の病後児保育を利用した	0.6%	(平均 3.0) 日
5. 子ども家庭支援センター「しらとり」の病後児保育を利用した	0.0%	(平均 →) 日
6. 病院や診療所の病児・病後児保育を利用した	2.9%	(平均 9.2) 日
7. 非営利組織(NPO など)による子育て支援サービスを利用した	0.0%	(平均 →) 日
8. ベビーシッターを利用した	1.2%	(平均 8.5) 日
9. ファミリーサポートセンターを利用した	0.6%	(平均 1.0) 日
10. 子連れではがをした(出動・在宅とも)	5.3%	(平均 6.0) 日
11. 子どもだけで留守番させた	32.2%	(平均 3.3) 日
12. その他(具体的に:)	3.5%	(平均 3.4) 日
無回答	0.6%	

② ①で「1. 仕事を休んで自分で世話をした」と答えた方におうかがいします。

仕事を休むことは困難でしたか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

(n=111)

1. 非常に困難 18.9%

2. どちらかというと困難 58.6%

3. 特に困難ではない 18.9%

無回答 3.6%

③ ①で「1」「3」「10」「11」と答えた方におうかがいします。

その際、できれば施設にあずけたいと思われた日数はどれくらいありますか。

に日数を記入してください。

(n=152)

平均

3.2

日

問15 就学前のお子さんまたは小学校1～3年生のお子さんがある方におうかがいします。ご自分が病気のとき、お子さんの世話をどのようにしていますか。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

(n=127)

1. 自分で面倒をみる 66.9%

2. 親・祖父母など親族に頼む 52.8%

3. 友人・知人に頼む 1.6%

4. 保育園、幼稚園、小学校など、通常と同じすごし方をする 31.5%

5. その他の認可外保育施設を利用する 0.0%

6. 幼稚園のあずかり保育を利用する 0.0%

7. ファミリーサポートセンターを利用する 0.8%

8. 非営利組織(NPO など)による子育て支援サービスを利用する 0.0%

9. ベビーシッターなどを利用する 0.0%

10. ショートステイを利用する 0.8%

11. ひとり親ホームヘルプサービスなどの公的サービスを利用する 3.1%

12. その他(具体的に:) 5.5%

無回答 7.9%

問16 小学生のお子さんがある方におうかがいします。

放課後、おさんはどこですごしていますか。

(該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください)

(n=135)

1. 自宅で親・祖父母など親族とすごす 30.4%

2. 友達や兄弟姉妹と家の中で遊ぶ 35.6%

3. 自宅でひとりすごす 23.0%

4. 友人や兄弟姉妹と公園などで遊ぶ 51.9%

5. 小学校で遊ぶ 10.4%

6. 学習クラブや放課後子ども教室ですごす 36.3%

7. トワイライトステイ(午後5時以降)ですごす 0.7%

8. ファミリーサポートセンターを利用している 0.0%

9. 同居していない親族や知人家ですごす 5.9%

10. 学習塾や習い事に行く 26.7%

11. スポーツクラブに参加する 5.9%

12. 図書館、文化センターなどの公共施設に行く 11.9%

13. 学校の部活動に参加する 3.7%

14. その他(具体的に:) 2.2%

無回答 1.5%

問17 小学生のお子さんがある方におうかがいします。

夏休みなどの学校が長期休業中、お子さんはどこで過ごしていますか。

(該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください)

- (n=135)
- 1. 自宅で親・祖父母など親族とすごす 35.6%
 - 2. 同居していない親族や知人宅ですごす 28.9%
 - 3. 自宅で子どもだけですごす 46.7%
 - 4. 学童クラブや放課後子ども教室ですごす 34.1%
 - 5. 図書館、文化センターなどの公共施設に行く 19.3%
 - 6. 職場に連れて行く 1.5%
 - 7. その他〔具体的に： 〕 7.4%
- 無回答 0.0%

問18 すべての方におうかがいします。

この1年間に、保護者が仕事や用事などで泊まりがけで外出し、お子さんを連れて行くことが困難だったことはありませんか。

(該当する項目の番号に○をつけてください)

- (N=303)
- 1. あった ⇒問 18-1へ 21.1% 2. なかった ⇒問 19へ 75.6% 無回答 3.3%

問 18-1 問 18で「1. あった」とお答えした方におうかがいします。

この1年間で何日くらいありましたか。対照表別に泊数をご記入ください。

(あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ泊数を記入してください)

(n=64) ⇒問 18-2へ

1. 親族・知人（同居者を含む）にあずけた	62.5%	(平均 6.2)	泊
2. 保育サービス（※）を利用した	4.7%	(平均 3.7)	泊
3. 子どもも連れて行った	9.4%	(平均 2.2)	泊
4. 子どもだけで留守番させた	26.6%	(平均 2.4)	泊
5. その他（具体的に： ）」	4.7%	(平均 22.0)	泊
無回答	1.6%		

※保育サービスとは、ショートステイを実施している施設、認可外保育施設、ベビーシッターなどをさします。

問 18-2 問 18-1で「1. 親族・知人（同居者を含む）にあずけた」と答えた方におうかがいします。

親族・知人（同居者を含む）に子どもをあずけることは困難でしたか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

- (n=40)
- 1. 非常に困難 5.0%
 - 2. どちらかというと困難 52.5%
 - 3. 特に困難ではない 40.0%
- 無回答 2.5%

問19 泊まりがけで出かける際に子どもをあずかる、ショートステイ（※）というサービスがありますか、利用したいと思いますか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)

※ショートステイは、病気・出張・出張・冠婚葬祭などの理由で、保護者が一時的に家庭で子どもをみることでできないときに、お子さんを短期間あずかり、食事・通園通学などの援助をします。

(N=303)

- 1. いつも利用したい 30% 3. あまり利用したいと思わない 43.9%
 - 2. ときどき利用したい 17.2% 4. 利用したくない 22.4%
- 無回答 13.5%

問20 すべての方におうかがいします。

子育てに関して、どのようなことがあったらよいと思いますか。

(該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください)

(N=303)

- 1. 認可保育所の待機がなくなるよう保育所の数を増やす 37.0%
 - 2. 求職中でも保育所に入れるようにする 27.1%
 - 3. 求職中などの一時保育を充実する 18.8%
 - 4. 保育施設などの延長保育・休日保育を充実する 18.5%
 - 5. 保育施設などの病後児保育を充実する 14.5%
 - 6. 学童クラブなどのあずかり時間を延長する 18.8%
 - 7. 保育施設や学童クラブなどの定員、受入可能数を拡大する 14.2%
 - 8. 保育施設や学童クラブなどの保育料の受入体制を充実する 5.9%
 - 9. 保育施設や学童クラブなどの保育料などを値下げする 12.9%
 - 10. 認可外保育などを利用した際にかかった保育料を援助する 14.9%
 - 11. 保育施設や学童クラブなどの安全対策や衛生対策を充実する 6.6%
 - 12. 保育施設や学童クラブなどで保護者への十分な情報伝達・育児要望に
対応する 5.3%
 - 13. その他〔具体的に： 〕 7.9%
 - 14. 特にない 11.6%
- 無回答 5.6%

生活や子育ての心配ごとについておうかがいします

問21 あなたが生活していくにあたって心配なことは何ですか。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

- (N=303)
- | | | | |
|--------------|-------|---------------|-------|
| 1. 生活費のこと | 84.2% | 7. 家事のこと | 15.5% |
| 2. 仕事のこと | 61.1% | 8. 結婚のこと | 6.3% |
| 3. 住居のこと | 39.6% | 9. 元夫または元妻のこと | 5.6% |
| 4. 自分の健康のこと | 55.1% | 10. 借金の返済のこと | 11.9% |
| 5. 子育てのこと | 42.2% | 11. その他【具体的に: | 7.6% |
| 6. 子どもの健康のこと | 44.2% | 12. 特になし | 2.3% |
| | | 無回答 | 1.7% |

問22 子育ての中で、日ごろ悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。

(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

- (N=303)
- | | |
|---------------------------------|-------|
| 1. 病気に関すること | 26.4% |
| 2. 発育・発達に関すること | 13.5% |
| 3. 食事や栄養に関すること | 13.2% |
| 4. 子育ての方法がよくわからないこと | 5.0% |
| 5. 子どもの接し方に自信が持てないこと | 12.5% |
| 6. 子どもとの時間を十分にとれないこと | 30.7% |
| 7. 子どものほめ方／しかり方がよくわからないこと | 13.9% |
| 8. いじめに関すること | 11.6% |
| 9. 友だちつきあひなど対人関係に関すること | 24.1% |
| 10. 子どもの教育・塾、進路に関すること | 50.8% |
| 11. 子どもに適切な働きがないこと | 10.6% |
| 12. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと | 23.4% |
| 13. 子どもに関することに関する話し相手や相談相手がないこと | 8.3% |
| 14. 学費など、子どもにかかるお金のこと | 73.9% |
| 15. その他【具体的に: | 2.6% |
| 16. 特になし | 2.6% |
| 無回答 | 2.6% |

問23 あなたは、子育てについて、気軽に相談できる人がいますか。

(該当する項目の番号に○をつけてください)

- (N=303)
- | | | |
|--------|-----------|-------|
| 1. いる | ⇒問 23-1 へ | 78.2% |
| 2. いない | ⇒問 24 へ | 20.5% |
| 無回答 | | 1.3% |

問 23-1 問 23 で「1. いる」と答えた方におうかがいします。気軽に相談できる人はどなたですか。(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)

- (n=237)
- | | | | |
|----------------|-------|-------------------|------|
| 1. 兄弟姉 | 73.0% | 10. 保健師 | 0.8% |
| 2. 友人・知人 | 80.2% | 11. 病院・医師 | 4.6% |
| 3. 職場の人 | 39.2% | 12. 民生委員・児童委員など | 0.4% |
| 4. 保育所 | 10.5% | 13. 児童相談所 | 1.3% |
| 5. 児童館 | 0.0% | 14. ハローワーク | 0.0% |
| 6. 学童クラブ | 4.6% | 15. 民間の相談機関【具体的に: | 0.0% |
| 7. 学校・教育相談 | 8.9% | 16. その他【具体的に: | 2.5% |
| 8. 子ども家庭支援センター | 2.1% | 無回答 | 0.0% |
| 9. 市の機関【具体的に: | 1.7% | | |

問24 都や市では子育てや生活（就労など）について、以下のような相談できる施設などがあります。これまでに利用したことはありますか。

(④～⑩のそれぞれについて1つずつ○をつけてください)

(N=303)

施設等	利用状況			
	利用して	利用したことがあ	利用していないが	知らない
①児童相談所	1.7%	8.6%	85.7%	12.9%
②育児相談（保育所・保育園）	4.3%	10.2%	50.2%	21.5%
③子ども家庭支援センター「だっこ」	2.6%	12.2%	49.8%	23.1%
④子ども家庭支援センター「しらとり」	0.7%	5.9%	50.8%	29.0%
⑤女性センター	0.3%	8.6%	46.2%	31.0%
⑥子育て相談室（保健センター）	0.3%	4.3%	43.9%	37.3%
⑦教育・就学相談（教育センター）	2.6%	5.6%	35.6%	42.6%
⑧東京都教育相談センター	0.3%	2.0%	32.0%	52.1%
⑨民生委員・児童委員	1.0%	3.0%	45.5%	36.0%
⑩母親学級、両親学級、育児学級	0.0%	13.2%	41.3%	30.7%
⑪保健センターの育児・相談サービス	0.3%	3.0%	34.0%	47.9%
⑫家庭教育に関する学級・講座	0.0%	2.3%	29.7%	53.1%
⑬保育所や幼稚園の園庭などの開放	1.3%	7.9%	47.2%	28.7%
⑭児童館	2.3%	15.2%	43.9%	25.1%
⑮子育て支援情報誌（「子育てのたまご箱」など）	3.6%	8.6%	22.4%	51.2%
⑯母子・女性相談（母子自立支援員・婦人相談員）	0.0%	11.9%	31.4%	42.2%
				14.5%

施設等	利用状況			
	利用している	利用したことがない	知っているが利用していない	知らない
①東京ウィメンズプラザ	0.3%	3.0%	22.4%	60.1%
②東京都母子家庭等就業自立支援センター	0.0%	3.0%	33.7%	48.5%
③ひとり親家庭電話相談	0.0%	3.0%	36.6%	46.2%
				14.2%

子育て支援サービスに関する情報についておうかがいします

問25 ふだん、子育てに関する情報入手するためにインターネットを利用していますか。
(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)
(N=303)

1. よく利用している 6.6% 3. あまり利用していない 15.5%
2. とまどき利用している 17.8% 4. まったく利用しない 58.4%
無回答 1.7%

問26 子育て支援サービスに関する情報は、どこから入手できるとよいと思いますか。
(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)
(N=303)

1. 市のホームページ 42.6% 7. 認可保育所・幼稚園 19.1%
2. 携帯電話用の市のホームページ 21.8% 8. 小学校 26.4%
3. 市役所や文化センターの窓口 27.7% 9. 子ども家庭支援センター 7.3%
4. 広報ふちゅう 59.7% 10. テレビ・ラジオ 9.9%
5. 自治会の回覧板 8.9% 11. その他(具体的に:) 3.0%
6. 健康診断などで配られるパンフレット 7.6% 無回答 4.6%

児童虐待防止についておうかがいします

問27 児童虐待について次の①～③のことを知っていますか。

(それぞれの項目について該当する番号に○をつけてください)

①「児童虐待の防止などに関する法律」(児童虐待防止法)があるのを知っていますか		利用状況	
		はい	いいえ
②ご近所などで児童虐待と思われることを見たり聞いたりとがありませんか		82.2%	16.8%
③児童虐待と思われることがおきた場合に相談や通報する施設を知っていますか		11.2%	86.1%
		42.9%	55.8%
			1.3%

(N=303)

問28 児童虐待を耳聞きした場合には、どちらに通報しようと思いますか。
(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)
(N=303)

1. 児童相談所 52.8% 5. 府中市保健センター 0.3%
2. 子ども家庭支援センター 6.9% 6. 警察署 23.8%
3. 市役所 10.9% 7. その他(具体的に:) 0.7%
4. 保健所 2.3% 無回答 2.3%

地域との関わりについておうかがいします

問29 あなたは、隣近所の人と、どの程度おつきあひしていますか。

(該当する項目を1つ選びその番号に○をつけてください)
(N=303)

1. 個人的なことを相談しあえる人がある 10.9%
2. さしぜわりのないことなら、話せる相手がある 28.4%
3. 道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる 43.6%
4. ほとんど近所づきあひをしない 12.9%
無回答 4.3%

問29-1

問29で「1. 個人的なことを相談しあえる人がある」か「2. さしぜわりのないことなら、話せる相手がある」と答えた方におうかがいします。
どのような方と近所づきあひをしていますか。
(該当する項目の番号すべてに○をつけてください)
(n=119)

1. 地域の自治会の人 40.3%
2. 子どもの学校や幼稚園の人 72.3%
3. 自分の習い事の人 9.2%
4. その他(具体的に:) 11.8%
無回答 1.7%

問29-2

問29で「3. 道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」か「4. ほとんど近所づきあひをしない」と答えた方におうかがいします。
主な理由をお答えください。
(該当する項目を3つ選びその番号に○をつけてください)
(n=171)

1. 仕事や家事・育児などで忙しく時間がないから 56.1%
2. 引越してきて間もないから 10.5%
3. 普段つきあう機会がないから 74.9%
4. 同世代の人が近くにいないから 31.0%
5. 風の合う人・話の合う人が近くにいないから 26.9%
6. あまりかわりを持ちたくないから 25.1%
7. その他(具体的に:) 2.3%
無回答 1.8%

子育てと仕事の両立についておうかがいします

問30 男女ともに子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業など（職場）がどのような
なったらよいと思いますか。

（該当する項目を3つまで選びその番号に○をつけてください）

(N=303)

- | | |
|--|--------------|
| 1. 妊娠中の通勤・通勤・通勤などに配慮した各種制度（時差出勤制度など） | 11.9% |
| 2. 産前産後の休暇が十分に与えられる制度 | 12.9% |
| 3. 子どもが満1歳になるまでの育児休業期間にある程度の給料保障がされる制度 | 19.5% |
| 4. 育児休業期間が1年を超えてとれる制度 | 5.0% |
| 5. 出産・育児などのため会社を辞めた女性を再雇用する制度（再雇用制度） | 16.8% |
| 6. 育児のために必要な場合に、就業時間を縮めることができる制度（短時間勤務制度） | 15.5% |
| 7. 就業時間がある程度自由に融通できる制度（フレックスタイム制度） | 27.1% |
| 8. 自宅で仕事をすることができるとする制度（在宅勤務制度） | 18.2% |
| 9. 子どもが病気やけがのときなどに休暇がとれる制度 | 52.1% |
| 10. 子どもの行事（運動会やお遊戯会など）に参加するための休暇制度 | 29.4% |
| 11. 企業（職場）内に託児所を設けること | 11.2% |
| 12. 男女ともに子育てと仕事が両立しやすいように、企業（職場）内で子育ての理解を促していくこと | 19.5% |
| 13. 保育料に対する企業（職場）からの助成 | 12.9% |
| 14. 特に希望することはない | 3.3% |
| 15. その他（具体的に：
無回答 | 1.3%
4.0% |

ひとり親への支援制度についておうかがいします

問31 市ではひとり親の方へ次のような支援制度があります。利用状況、利用意向についてお
うかがいします。(①～⑭について利用状況、利用意向それぞれ1つずつ○をつけてください)

(N=303)

制度名	利用状況				利用意向		
	利用している	利用しているが ある	利用していないが 知	知らない	利用したい	利用したくない	無回答
①母子自立支援の相談	0.5%	8.3%	48.2%	32.7%	10.6%	9.2%	23.4%
②ひとり親ホームヘルプサ ービス	1.3%	1.7%	37.3%	49.2%	10.6%	11.2%	24.1%
③母子家庭自立支援教育訓練給 付金	0.3%	4.0%	58.7%	26.7%	10.2%	7.6%	22.4%
④母子家庭高等技能訓練促進費 支給	0.3%	2.0%	47.9%	33.9%	10.9%	7.3%	22.1%
⑤市営住宅優遇入居	2.0%	5.9%	55.4%	23.5%	12.9%	9.6%	19.8%
⑥児童扶養手当	71.6%	11.2%	11.2%	1.0%	5.0%	1.3%	29.0%
⑦児童育成手当	85.8%	6.9%	1.3%	1.0%	5.0%	0.3%	30.4%
⑧ひとり親生活費助成	70.6%	11.9%	8.6%	2.3%	6.6%	0.3%	28.7%
⑨児童発達支援助成	7.3%	3.3%	21.5%	56.4%	11.6%	2.3%	22.1%
⑩休業ホーム利用交通費助成	5.9%	7.9%	26.1%	50.2%	9.9%	2.0%	23.4%
⑪福祉資金（母子・女性）の貸 付	3.0%	0.7%	43.9%	42.2%	10.2%	13.2%	22.8%
⑫母子自立支援プログラム英 定	0.7%	1.0%	23.4%	64.4%	10.6%	6.3%	22.8%

問32 悩みや不安、必要と感じる支援などがありましたら、ご自由にお書きください。

お忙しいところご協力いただきありがとうございました。

府中市
次世代育成支援に関する市民意向調査
調査報告書
平成 21 年 3 月

発 行：府中市 子ども家庭部 子育て支援課
〒183-8703 府中市宮西町 2 丁目 24 番地
TEL 042(335)4192 (直通)

調 査：株式会社生活構造研究所
〒102-0083 千代田区麹町 2 丁目 5 番地 4
TEL 03(5275)7861



① ほっとするね 緑の府中

府中市